取扱説明書

FOMA® SH905i

’08.4

ドコモ　W-CDMA･GSM／GPRS方式

このたびは、「FOMA SH905i」を
お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなどの機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA SH905iは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル･地下･建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル･マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA･GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDメモリーカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送･保管できます。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、
  RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.

本書のご使用にあたって

本FOMA端末は、きせかえツール（☞P.134）に対応しております。きせかえツールを利用してカスタムメニュー画像を変更した場合、メニューの操作履歴に従ってカスタムメニューの項目が変わるものがあります。また、機能番号を入力しても項目を選択できないものがあります。
この場合、本書での説明どおりに操作できないため、基本メニューに切り替える（☞P.34）か、メニュー画面リセット（☞P.135）を行ってください。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかたについて

本書では、FOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- ディスプレイに表示されるアイコンや画面は、本体色に合わせて初期設定されています（きせかえツール☞P.134）。
  本体色ごとのお買い上げ時の設定内容は、P.458「メニュー一覧」を参照してください。
  本書では、主にきせかえツールの設定が本体色「White」の場合で説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

本書の引きかたについて

本書では、次のような検索方法で、お客様の用途に応じて、機能やサービスの説明ページを探すことができます。

次ページで詳しく説明しています。

索引から ☞P.512

FOMA SH905iのディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能名・サービス名がわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から ☞P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから ☞表紙

表紙のインデックスを使用して、本書をめくりながら探します。

目次から ☞P.6

機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から ☞P.8

新機能や便利な機能など、FOMA SH905iの特徴的な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

メニュー一覧から ☞P.458

FOMA SH905iの画面に表示されるメニューおよびお買い上げ時の設定内容を一覧表でまとめています。

クイックマニュアルから ☞P.522

基本的な機能について簡潔に説明しています。切り離して外出の際にお持ちいただけます。
また、クイックマニュアル「海外利用編」も記載しておりますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。

- この『FOMA SH905i取扱説明書』の本文中においては、「FOMA SH905i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードについて☞P.335
- 本書ではmicroSDメモリーカードを、「microSDメモリーカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書では「ＩＣカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を、「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。
-
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

索引、かんたん検索、表紙インデックスからの引きかたは、アラーム機能を例に説明します。
● 本文中のページとは内容が異なります。

索引から

☞P.512

FOMA SH905iのディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能の名称やサービスの名称がわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から

☞P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

P.401
「アラーム」
の説明ページへ

表紙インデックスから

☞表紙

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。

P.401「アラーム」の説明ページへ

※本文中のページとは内容が異なります。

お知らせ

- お買い上げ時の設定については、P.458「メニュー一覧」を参照してください。

ディスプレイの表示について

- 本書では、お買い上げ時の状態をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更などによっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。
- Flash画像やアニメーション効果を持つアイコンなどが表示されている場合には、ディスプレイの表示が本書の表記とは異なる場合があります。

ボタン表記と操作手順

- 本書ではボタンの表記を簡略したデザインで表記しております。

実際のボタン	本書での表記
例)1	1(P.24「各部の名称と機能」を参照してください)

- 操作手順の表記と意味は、次のとおりです。

表　記	意　味
例)待受画面で● ▶[設定] ▶[表示・ランプ・省電力] ▶[ランプ設定] ▶項目を選択	待受画面で●を押す→✣で[設定]を選んで●を押す→✣で[表示・ランプ・省電力]を選んで●を押す→✣で[ランプ設定]を選んで●を押す→✣で設定項目を選んで●を押す

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

メールを使いこなしたい

※1 有料サービスです。
※2 お申し込みが必要な有料サービスです。

よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとしてまとめています（☞P.522）。

目次

FOMA SH905iの主な機能

FOMAとは、第３世代移動通信システム(IMT-2000)の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモードだからスゴイ!

ｉモードは、ｉモードメニューサイト(番組)やｉモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

デコメール/デコメ絵文字

デコメール/デコメ絵文字にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えたり、画像や動く絵文字を挿入することができます。☞P.211、P.424

メガｉアプリ/直感ゲーム

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりすることができます。大容量のメガｉアプリ対応のため、高精細３Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。
また、ケータイを「傾ける」「振る」などといった感覚的な操作で楽しむ直感ゲームにも対応。
FOMA SH905iなら音声認識にも対応しているので声に反応した操作も可能です。☞P.248、P.252

着うたフル®/うた・ホーダイ/Music&Videoチャネル※/ビデオクリップ

※お申し込みが必要な有料サービスです。
１曲まるごと楽曲をダウンロードできる着うたフル®や、ケータイ１つで定額で好きな曲を好きなだけ楽しめるうた・ホーダイに対応。また、事前に設定するだけで、夜間に自動でダウンロードして音楽番組などを楽しめるMusic&Videoチャネルに対応。FOMA SH905iなら動画付きの番組も楽しめます。さらに、10Mバイトまでのｉモーションに対応しているので１曲まるごとのミュージッククリップなどを楽しめるビデオクリップにも対応しています。☞P.376、P.381、P.387

- 「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

高速通信対応

FOMAハイスピードエリア対応で、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速通信を行うことができます。☞P.446

国際ローミング

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます(GSM・３Gエリアに対応)。音声電話、テレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。また、日本語で話しかければ英語に、英語で話しかければ日本語に翻訳するしゃべって翻訳 for SHをプリインストールしています。☞P.254、P.450

おサイフケータイ/トルカ

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のＩＣカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」のｉアプリをプリインストールしています。また機種変更などのFOMA端末お取替え時でもＩＣカード内データを簡単に移行できる「ｉＣお引っこしサービス」にも対応しています。☞P.256、P.264
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能な電子カードで、メールや赤外線通信を使って簡単に交換できます。☞P.266

GPS

GPSを使って取得した位置情報を利用して、今いる場所の地図や周辺情報を探したり、自分の位置をメール添付して通知したり、目的地までのナビゲーションが可能です。地図アプリをプリインストールしており、手軽に高精細な地図を利用することができます。☞P.274

きせかえツール

ｉモードからお気に入りのキャラクターの画面などをダウンロードして、待受やメニュー画面などを一括して変更することができます。FOMA SH905iなら利用頻度に合わせてメニューの表示順序の入れ替えも可能で、メニュー画面を自分好みにカスタマイズすることができます。☞P.134

豊富なネットワークサービス

- デュアルネットワークサービス(月額使用料:有料)☞P.437
- 留守番電話サービス(月額使用料:有料)☞P.430
- 2in1(月額使用料:有料)☞P.440
- キャッチホン(月額使用料:有料)☞P.432
- SMS☞P.242
- 転送でんわサービス☞P.433
- 迷惑電話ストップサービス☞P.435

有効画素数約320万画素のCMOSカメラ搭載

（記録画素数：約320万画素）
オートフォーカス対応のデジタルカメラで静止画や動画の撮影・再生を行うことができます。連写やフレーム付撮影も可能です。また、自分撮りやテレビ電話を利用することもできます。☞P.156

microSDメモリーカード対応

小型のmicroSDメモリーカードに対応。FOMA端末（本体）とmicroSDメモリーカードとの間でやりとりをしたり、microSDメモリーカードへの直接保存による長時間の動画撮影＆再生にも対応しています。コンテンツ移行対応のデータをmicroSDメモリーカードに保存したり、パソコンを利用して音楽や画像を保存することもできます。☞P.335

インターネットムービープレーヤー

フルブラウザからPC動画をストリーミング再生できます。ニュースやスポーツなどの多彩なコンテンツを、高画質で楽しむことができます。☞P.308

マンガ・ブックリーダー

microSDメモリーカードに保存した電子書籍／電子辞書／電子コミックをFOMA端末で読むことができます。また、サイトからダウンロードした電子コミックも楽しめます。☞P.366

お目覚めTV

あらかじめ設定しておいた時間になると、ワンセグを自動的に起動させることができます。☞P.296

3.0型フルWVGA高精細大画面液晶

3.0型のワイド大画面で、ワンセグや撮影した静止画・動画などを美しい画質で見ることができます。ゲームなどのｉアプリも迫力あるワイド大画面で楽しめます。さらに、明るさセンサーにより、周囲の明るさに合わせてバックライトの輝度を調整し、省電力に生かすこともできます。☞P.134

TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッド

カスタムメニュー、ｉモードやフルブラウザなどで、TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッドに指先を乗せてポインタを動かし、ダブルタップで項目を選択することができます。カーソルの移動や画面のスクロールなど、マルチガイドボタンの代わりに使うこともできます。☞P.32
また、手書き認証にも対応しています。☞P.143

プライベートフィルタ

ディスプレイの濃淡を変えることにより、まわりの人から見えにくくし、大切なプライバシーを保護します。☞P.140

名刺リーダー

カメラで名刺に記載されている名前や会社名、住所、電話番号、メールアドレスなどを読み取り、電話帳に登録できます。☞P.178

拡大文字表示

ディスプレイに表示される文字のサイズを、一括して拡大することができます。ｉモード、フルブラウザ、メール／メッセージ、文字入力について個別に設定することもできます。☞P.139

多彩なロック機能やセキュリティ設定

各種ロック機能やセキュリティの設定で、FOMA端末を安心してお使いいただけます。

- 各種ロック機能☞P.145
- シークレットモード☞P.149
- まとめて簡単ロック☞P.148
- まとめて自動ロック☞P.149
- 発着信履歴表示☞P.149
- 手書き認証☞P.143

あんしん設定

おまかせロック※1 ☞P.146

FOMA端末を紛失した際に、お申し出によりそのFOMA端末へロックをかけられ、解除もできます。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面をご覧ください。なお、おまかせロックは有料サービス※2です。

※1 おまかせロックは、ご契約者の方からのお申し出により、ロックがかかるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますのでご了承ください。

※2 ご利用中の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

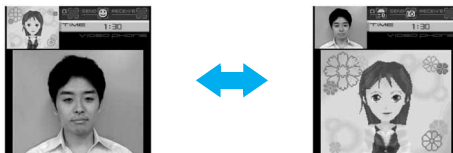
電話帳お預かりサービス☞P.117、P.153

携帯電話の電話帳、画像、メールを、お預かりセンターに保存し、紛失時などにお預かりセンターに保存したデータを携帯電話に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集・管理することができ、編集したデータを携帯電話に反映することも可能です。
電話帳お預かりサービスご利用にあたっての注意事項およびご利用方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。なお、本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。

FOMA SH905iを使いこなす！

ここでは、FOMA SH905iの機能を紹介します。

テレビ電話 ☞P.50、P.54

離れている相手とお互いの映像を見ながら会話することができます。お買い上げ時の状態で、相手の声がスピーカから聞こえるようになっているため、すぐに会話を始めることができます。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。

テレビ電話中

プッシュトーク ☞P.88

プッシュトーク電話帳から相手を選んでプッシュトークボタンを押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大５人まで）と通信できます。

ｉチャネル ☞P.204

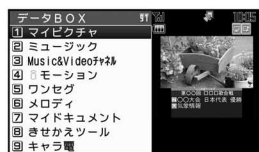
ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、Flash（☞P.182）で作られたリッチな詳細情報を取得できます。
※お申し込みが必要な有料サービスです。

ワンセグ

■ ワンセグ ☞P.289

移動体向け地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」を視聴することができます。

■ マルチウインドウ ☞P.292

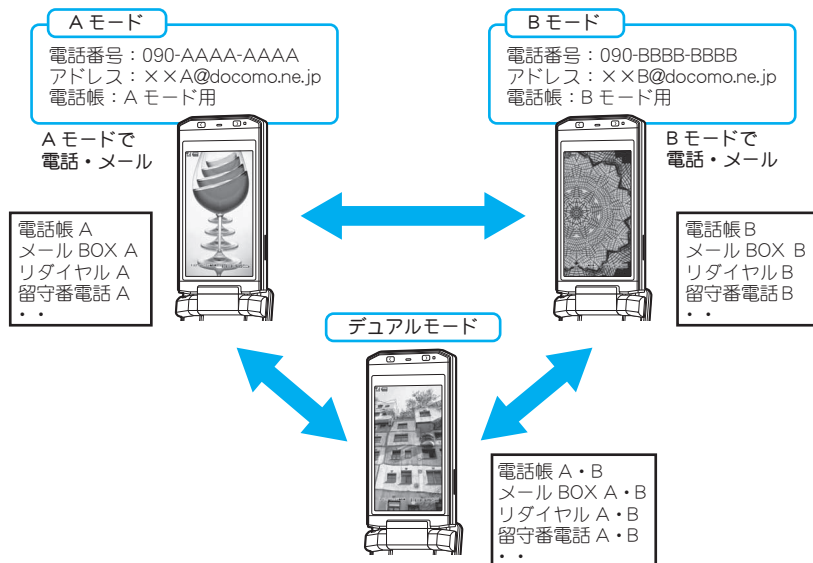
マルチウインドウでワンセグを視聴しながら他の機能を利用できます。

■ ビデオ ☞P.293、P.312、P.327

ワンセグの視聴中にビデオ録画や静止画録画をすることができます。録画した番組や静止画は、FOMA端末で見ることができます。

■ 視聴予約・録画予約 ☞P.294

視聴や録画の予約をすることができます。

2in1 ☞P.440

１つの携帯電話で、２番号・２メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも２つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。電話帳やメールBOX、発着信履歴、待受画面なども１台で「Aモード」「Bモード」に分けて別々に管理できるほか、A・B両モードを同時に管理できる「デュアルモード」で利用することもできます。
※お申し込みが必要な有料サービスです。

音楽再生

Music&Videoチャネル☞P.376

お好みの音楽番組が夜間に自動配信されるサービスです。番組は定期的に自動更新され、お好きな時間に最新の音楽情報を楽しむことができます。

ミュージックプレーヤー☞P.381

サイトやインターネットホームページからダウンロードした着うたフル®や、ナップスター®を利用して転送したWMAファイルをミュージックプレーヤーで再生できます。うた・ホーダイにも対応しています。また、iモーションの[マルチメディア]フォルダに保存したデータも再生できます。

SDオーディオ☞P.392

音楽CDの楽曲などを、SD-Jukeboxとパソコンなどを利用してmicroSDメモリーカードに保存すると、FOMA端末で音楽を再生できます。

着もじ ☞P.58

電話をかけて相手を呼び出している間、相手の着信画面にメッセージを表示させることができます。着信側はメッセージを見て相手の用件、気持ちを事前に知ることができます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示内容の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

区分	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末・電池パック・アダプタ（充電器含む）・FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

禁止

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解、改造をしないでください。
また、ハンダ付けしないでください。

分解禁止

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

濡らさないでください。

水濡れ禁止

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指示

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

- 電池パック SH14
- 卓上ホルダ SH16
- FOMA ACアダプタ01／02
- FOMA DCアダプタ01／02
- FOMA乾電池アダプタ 01
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02
- FOMA 補助充電アダプタ 01

※ その他、互換性のある商品については、ドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

⚠警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

禁止

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

禁止

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

禁止

ショートによる火災や故障の原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。
また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

指示

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（ＩＣカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

指示

1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

禁止

落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

禁止

故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

指示

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

指示

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

指示

充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

禁止

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると、誤動作するなどの影響を与える場合があります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

禁止

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

禁止

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

次ページへ続く▶▶

⚠警告

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDメモリーカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

禁止

火災、感電、故障の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

禁止

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

指示

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については、各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

指示

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

指示

心臓に影響を与える可能性があります。

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

指示

落雷、感電の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

指示

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

⚠警告

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

指示

ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

禁止

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

人の多い場所では、使用しないでください。

禁止

アンテナが他の人に当たり、けがの原因となります。

アンテナが破損したまま使用しないでください。

禁止

肌に触れるとやけどなど、けがの原因となります。

モーショントラッキングご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

禁止

モーショントラッキングは、FOMA端末を傾けたり振ったりして操作をする機能です。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。

FOMA端末に金属製などのストラップを付けている場合は、モーショントラッキングご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。

禁止

けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

禁止

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

禁止

強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

⚠注意

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止　失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカに耳を近づけないでください。

禁止　難聴になる可能性があります。

ディスプレイの表面には、落下や衝撃等により破損した場合の安全性確保（強化ガラスパネルの飛散防止）を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。

禁止　フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

指示　安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

指示

使用箇所	素　材	表面処理
イヤホンマイク端子	ステンレス	すずメッキ
外部接続端子	ステンレス	すずメッキ
充電端子	ステンレス	金メッキ
microSDメモリーカードスロット内部	ステンレス	－
ワンセグアンテナの金属部分	黄銅	クロムメッキ

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

指示　けがなどの事故や破損の原因となります。

⚠注意

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

指示　視力低下につながる可能性があります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

禁止　電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

禁止　電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火の中に投下しないでください。

禁止　電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

禁止　電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

指示　失明の原因となります。

次ページへ続く▶▶

⚠警告

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。

禁止

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

指示

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

指示

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

指示

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

禁止

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを充電しないでください。

禁止

電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。

指示

皮膚に傷害を起こす原因となります。

アダプタ（充電器含む）の取り扱いについて

⚠警告

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

禁止

感電、発熱、火災の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。

禁止

感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

禁止

火災の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。

禁止

落雷、感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

禁止

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

禁止

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

禁止

感電、火災の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

濡れ手禁止

感電の原因となります。

⚠警告

指定の電源、電圧で使用してください。

指示

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：
AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指示

指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

指示

火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

指示

感電、ショート、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

指示

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

感電、発煙、火災の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。

電源プラグを抜く

感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

FOMAカード（ＩＣ部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。

指示

手や指を傷付ける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

指示

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、FOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内ではFOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

指示

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意について

共通のお願い

- 水をかけないでください。FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
  アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。温度は５℃～35℃、湿度は45％～85％の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、microSDメモリーカードスロットカバーをはめた状態でご使用ください。
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやキーまたはボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
  故障の原因となります。
- microSDメモリーカードの使用中は、microSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（５℃～35℃）の場所で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックは、電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。
  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

アダプタ(充電器含む)についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - ■ 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ(充電器含む)が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。故障の原因となります。
- 卓上ホルダのスタンドを収める場合は、指やアダプタ(充電器含む)のコードなどを挟まないようご注意ください。けがなどの事故や破損の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 他のＩＣカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- ＩＣ部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。
- ＩＣを傷付けたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となります。

FeliCa リーダー／ライターについて

- FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク 〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
  技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
  運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。
  やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
  FOMA端末のFeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。
  また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」、「mova」、「おサイフケータイ」、「トルカ」、「プッシュトーク」、「プッシュトークプラス」、「ｉメロディ」、「mopera」、「mopera U」、「FirstPass」、「キャラ電」、「デコメール」、「着モーション」、「ｉモーションメール」、「ｉアプリ」、「ｉアプリDX」、「ｉモーション」、「ｉモード」、「ｉチャネル」、「パケ・ホーダイ」、「iD」、「DCMX」、「ショートメール」、「WORLD WING」、「公共モード」、「DoPa」、「WORLD CALL」、「デュアルネットワーク」、「ビジュアルネット」、「Vライブ」、「セキュリティスキャン」、「musea」、「sigmarion」、「メッセージF」、「マルチナンバー」、「おまかせロック」、「電話帳お預かりサービス」、「着もじ」、「ｉCお引っこしサービス」、「ファミリーワイドリミット」、「きせかえツール」、「ケータイお探しサービス」、「OFFICEED」、「IMCS」、「ｉエリア」、「2in1」、「うた・ホーダイ」、「Music&Videoチャネル」、「メロディコール」、「エリアメール」、「直感ゲーム」、「イマドコかんたんサーチ」、「i-mode」ロゴ、「FOMA」ロゴ、「i-αppli」ロゴ、「DCMX」ロゴ、「iD」ロゴ、「WORLD WING」ロゴ、「HIGH-SPEED」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはＮＴＴコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- symbian 本機には、Symbian Software Ltd よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。
  Symbian、Symbian OS、およびすべてのSymbian 関連の商標およびロゴはSymbian Software Ltd の商標または登録商標です。

- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- マルチタスク／Multitaskは、日本電気株式会社の登録商標です。
- 本製品は、インターネットブラウザとその他のアプリケーションソフトウェアとして、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Client、NetFront Browser DTV Profile Wireless Editionを搭載しています。
- 本製品は放送コンテンツ起動機能として、株式会社ACCESSのMedia:/メディアコロン仕様を採用しています。

- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- ACCESS、NetFront、Media:/メディアコロンは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。

ACCESS™ NetFront

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista™、PowerPoint®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴは商標です。

- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2007 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- picsel ドキュメントビューアはPicsel Technologiesにより実現しています。
  Picsel, Picsel Powered, Picsel Viewer, Picsel Document Viewer and the Picsel cube logo are trademarks or registered trademarks of Picsel Technologies and/or its affiliates.
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよびLC®は、シャープ株式会社の登録商標です。
- 平成書体は（財）日本規格協会文字フォント開発普及センターの知的財産で「ＳＨ平成明朝」はダイナコムウェア株式会社が使用許諾を受け開発したフォントです。
- DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。
- ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- Dolby、ドルビーおよびダブルＤ記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

- FlashFX® Pro™ は、米国Datalight, Inc.の商標または登録商標です。
(U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156)
- PhotoSolid®は、株式会社モルフォの登録商標です。
- 「TOUCH CRUISER」、「プライベートフィルタ」、「お目覚めTV」、「卓上時計」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
  - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
  - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
  - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。

  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
  - タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
  - 永久記録および/または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

  追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ｉ)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ｉｉ)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。
HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ｉ)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ｉｉ)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。
HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™および Adobe® Reader®テクノロジーを搭載しています。
ADOBE® FLASH® ENABLED

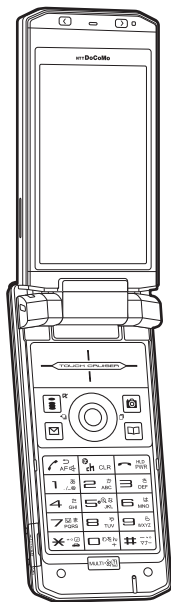
Adobe、Flash、Flash LiteおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。

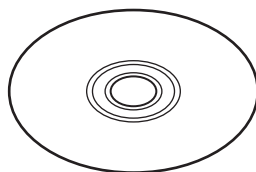
- ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。
- 下記１件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations ;

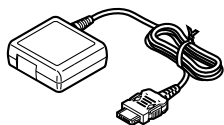
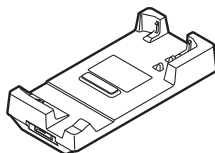
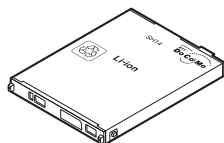
4,901,307	5,490,165	5,056,109
5,504,773	5,101,501	5,506,865
5,109,390	5,511,073	5,228,054
5,535,239	5,267,261	5,544,196
5,267,262	5,568,483	5,337,338
5,600,754	5,414,796	5,657,420
5,416,797	5,659,569	5,710,784
5,778,338		

- コンテンツ所有者は、WMDRM(Windows Media digital rights management)技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護コンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、保護コンテンツを再生またはコピーするために必要なソフトウェアのWMDRM機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツが影響を受けることはありません。保護コンテンツを利用するためにライセンスをダウンロードする場合、Microsoftがライセンスに無効化リストを含める場合がありますのであらかじめご了承ください。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、WMDRMのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 「CP8 PATENT」
- Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows Vista™ は、Windows Vista™ (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- 本書では、Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000と記載しています。
- 本書では、Windows® XP ProfessionalおよびWindows® XP Home EditionをWindows XPと記載しています。
- 本書では、Windows Vista™ (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)をWindows Vistaと記載しています。

本体付属品および主なオプション品について

本体付属品

FOMA SH905i本体
（保証書・リアカバーSH17含む）

FOMA SH905i取扱説明書（本書）
※ P.522にクイックマニュアルを記載しております。

FOMA SH905i用CD-ROM
※ PDF版「パソコン接続マニュアル」、「区点コード一覧」を収録しています。

主なオプション品

FOMA ACアダプタ01／02
（保証書・取扱説明書付き）

卓上ホルダ SH16
（取扱説明書付き）

電池パック SH14
（取扱説明書付き）

● その他のオプション品については、P.481を参照してください。

ご使用前の確認

各部の名称と機能

※ 本書で記載しているボタンは、実際のデザインとは異なる場合があります。

明るさセンサー部分について

照明・省電力設定の明るさ調整（☞P.132、P.134）を［自動］に設定すると、周りの明るさを感知して自動的にディスプレイの照明の明るさやボタンのバックライトの照明を点灯させるかどうかを調整します。センサー部分（10）にシールなどを貼らないでください。明るさを検知できないことがあります。

1 受話口
- 相手の声がここから聞こえます。
- 待受中に伝言メモ／音声メモの録音内容がここから聞こえます。

2 ディスプレイ（☞P.28）

3 ｉモード／操作ガイダンス用ボタン（）
- テレビ電話をかけたり受けたりするときに押します（☞P.51、P.66）。
- ｉモードを利用するときに押します（☞P.180）。
- 画面左下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します（☞P.27）。
- 待受画面で1秒以上押すと、ｉアプリのソフト一覧画面が表示されます（☞P.249）。

4 マルチガイドボタン（4方向ボタン＆決定ボタン）（☞P.27）
- メニュー、リダイヤル、着信履歴、ショートカットメニュー、アクティブマーカー（☞P.397）を表示／選択するときや操作を実行／決定するときに押します。
- 待受画面でを1秒以上押すと、まとめて簡単ロックを設定／解除します（☞P.148）。解除するときは、端末暗証番号の入力が必要です。
- 待受画面でを1秒以上押すと、ＩＣカードロックを設定／解除します（☞P.272）。解除するときは、端末暗証番号の入力が必要です。
- 待受画面でを1秒以上押すと、受話音量を調節できます（☞P.123）。

5 メール／操作ガイダンス用ボタン
- メール機能を利用するときに押します（☞P.208）。
- 待受画面で1秒以上押すと、メールの新規作成画面が表示されます（☞P.208）。2回押すとｉモード問い合わせをします（☞P.220、P.238）。
- 画面左下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します（☞P.27）。
- 文字を入力中に大文字／小文字を切り替えます（☞P.421）。
- 文字入力画面で1秒以上押すと、顔文字を利用できます（☞P.424）。
- メールテロップ表示中に1秒以上押すと、受信BOX一覧画面が表示されます（☞P.219）。

6 開始／ハンズフリーボタン
- 音声電話をかけるときや受けるときに押します。
- 音声電話の通話中に1秒以上押すと、ハンズフリーへの切替・解除ができます（☞P.53）。
- テレビ電話の通話中に押すとハンズフリーへの切替・解除ができます（☞P.82）。
- プッシュトーク通信中に押すとハンズフリーへの切替・解除ができます（☞P.89）。

7 microSDメモリーカードスロット（☞P.336）
microSDメモリーカードを挿入します。

8 充電端子（☞P.43）
卓上ホルダで充電するための端子です。

9 ＊／改行／公共モード（ドライブモード）ボタン＊
- [＊]（[✱]）や、[゛]（濁点）、[゜]（半濁点）を入力したり改行するときに押します（☞P.421）。
- 待受画面で1秒以上押すと、公共モード（ドライブモード）を設定／解除します（☞P.71）。
- 文字入力画面で1秒以上押すと、文字を貼り付けることができます（☞P.426）。

10 明るさセンサー（☞P.132、P.134）
周囲の明るさを感知して自動的にディスプレイの照明の明るさやボタンのバックライトのON／OFFを調整します。

11 Up／Downボタン（フロント）、（☞P.27）
- ビューアポジションでカメラ機能やミュージックプレーヤーなどを利用中に使用します。
- ビューアポジションでワンセグ視聴中にを1秒以上押すと、電話帳やメールなど他の機能を利用することができます（☞P.292）。

12 TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッド（☞P.32）

13 カメラ／操作ガイダンス用ボタン
- カメラを起動するときに押します（☞P.161）。
- 画面右下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します（☞P.27）。
- 待受画面で1秒以上押すと、データBOXメニューを表示します（☞P.347）。

14 電話帳／操作ガイダンス用ボタン
- 電話帳を利用するときに押します（☞P.100）。
- 待受画面で1秒以上押すと、電話帳登録画面が表示されます（☞P.102、P.107）。
- 画面右下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します（☞P.27）。
- 入力する文字の種類を変更するときに押します（☞P.422）。
- 文字入力画面で1秒以上押すと、定型文挿入画面が表示されます（☞P.424）。

15 ｉチャネル／クリア／ｉアプリ待受画面ボタンCLR（ch）
- チャネル一覧を表示するときに押します（☞P.204）。
- 入力した電話番号や文字などを削除するときに使います（☞P.422）。
- 前の画面に戻るときに押します。
- ｉアプリ待受画面を設定しているときに押すと、ｉアプリが起動します（☞P.258）。

16 電源／終了／応答保留ボタン
- 電源を入れる／切るときに2秒以上押します（☞P.45）。
- 通話やｉモードなどを終了するとき、および着信時の応答を保留するときに押します（☞P.70）。
- 待受画面にGIFアニメーション、Flash画像を設定しているときに押すと、再生／一時停止できます。ｉモーションを設定しているときに押すと、再生／停止できます（☞P.128）。

17 ダイヤル／文字入力ボタン1～9、0
- 電話番号を入力するときに押します（☞P.51）。
- 文字を入力するときに押します（☞P.420）。

18 #／マナーモードボタン#
- [#]や[ー]（長音）、[～]（波形）、[、]（読点）、[。]（句点）、[!]（感嘆符）、[?]（疑問符）、[・]（中点）を入力するときに押します。
- 待受画面で1秒以上押すと、マナーモードを設定／解除します（☞P.127）。
- 文字入力画面で1秒以上押すと、文字を切り取ることができます（☞P.425）。

19 MULTI／GPS／サポートブックボタンMULTI
- マルチアシスタント起動：アプリ実行中に押すと、電話帳やメールなど他の機能を利用することができます（☞P.396）。
- GPS測位：待受画面で1秒以上押すと、自分の現在地を確認できます（☞P.274）。
- サポートブック表示：待受画面で押すとサポートブックが表示されます（☞P.36）。
- ショートカットメニュー登録：画面に[]が表示されているときに1秒以上押すと、ショートカットメニューに登録できます（☞P.410）。

20 送話口
自分の声をここから伝えます。

21 スピーカ
- 着信音などが鳴ります。
- 音声電話／テレビ電話／プッシュトークのハンズフリー通信時に相手の声を聞くことができます。

22 Up／Downボタン(サイド)▲(▢／Eco)、▼(☞P.27)
- カメラ機能やミュージックプレーヤーなどを利用中に使用します。
- 通常ポジションで待受画面表示中に▲(▢)を押すと、Ecoモード(省電力)に設定できます。すでにEcoモード(省電力)に設定していた場合は、照明・省電力設定画面が表示されます(☞P.132)。
- 通常ポジションで▲(▢)を１秒以上押すと、プライベートフィルタの設定／解除を切り替えます(☞P.140)。
- ビューアポジションまたはFOMA端末を閉じた状態で待受画面を表示中に、▲(▢)を１秒以上押すとミュージックプレーヤーを起動できます(☞P.386)。

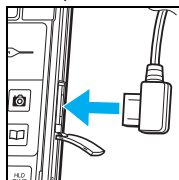
23 プッシュトークボタンP(P)(☞P.27)
- プッシュトーク電話帳を利用するときに押します(☞P.92)。
- プッシュトーク発信するときに使用します。プッシュトーク通信中に、話をしたいときに押したまま使用します(☞P.89)。
- １秒以上押すと、サイドボタン操作をロック／解除できます(☞P.149)。
- インターネットムービープレーヤーやビデオプレーヤーなどを利用中に使用します。

24 カメラ／テレビボタン(📷／TV)(☞P.27)
- カメラ機能やミュージックプレーヤーなどを利用中に使用します。
- 待受画面などで押すと、ワンセグを起動できます(☞P.289)。
- ビューアポジションで待受画面表示中に１秒以上押すと、カメラを起動できます(☞P.161)。

25 着信ランプ／充電ランプ
- 着信時やGPS機能利用時などに点滅します(☞P.137)。
- 充電中に点灯します(☞P.41)。

26 ストラップ取付口
市販のストラップを取り付けるときは、FOMA端末を閉じた状態で取り付けてください。

27 ワンセグアンテナ(☞P.287)
ワンセグを受信するときに使います。

28 イヤホンマイク端子(☞P.415)
平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続します。
イヤホンジャック変換アダプタ(別売)を使用すると、従来のスイッチ付イヤホンマイクなども利用できます。

29 赤外線ポート
赤外線通信(☞P.352)や、赤外線リモコン(☞P.356)を利用するときに使います。

30 撮影ランプ／充電ランプ
- カメラ起動時に点灯します(☞P.161)。
- カメラ撮影中は点滅します(☞P.162、P.165)。
- 充電中に点灯します(☞P.41)。

31 FOMAアンテナ
アンテナが内蔵されています。よりよい条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

32 カメラ
静止画や動画を撮影(☞P.156)したり、テレビ電話時(☞P.50)にカメラ映像を相手に送信するときに使います。

33 FeliCa マーク(☞P.265)
ＩＣカードが搭載されています(取り外すことはできません)。
FeliCa マークを読み取り機にかざしておサイフケータイとして使います。

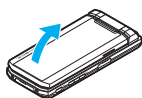
34 リアカバー(☞P.40)
リアカバーの裏側に、無線対策のためのシートが貼られています。このシートをはがさないでください。

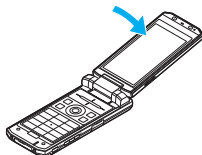
35 外部接続端子
ACアダプタ／DCアダプタ(☞P.42)、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02(別売)など外部機器を接続するための端子です。

FOMA端末の開きかた

FOMA端末を利用するときは、FOMA端末を開くか(通常ポジション)、ビューアポジションにします。
- 携帯するときは、操作１の図のようにFOMA端末を閉じておくことをおすすめします。

通常ポジション

1

両手で持って軽く開く。

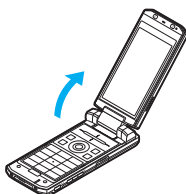
2

ディスプレイを最後まで開く。

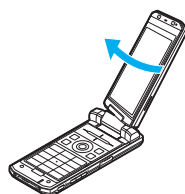
ビューアポジション

- 通常ポジションからFOMA端末のディスプレイを回転させる場合は、ディスプレイを途中で止まる位置まで手前に戻して（操作２の位置）から右回りに180度回転させてください。

1

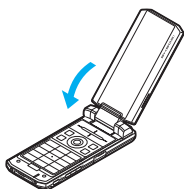
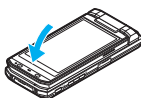
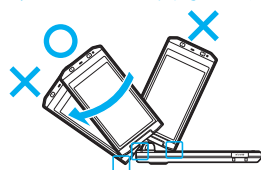
両手で持って軽く開く。

2

ディスプレイを途中で止まる位置まで開く。

3

ディスプレイを右回りに180度回転させる。

4

ディスプレイを手前に倒す。

5

お知らせ

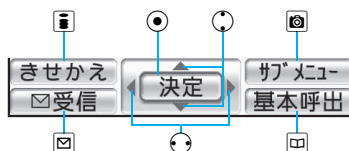
- FOMA端末のディスプレイを回転させるときは、下記の点にご注意ください。
  - ■ ディスプレイ側をボタン面やストッパー部、本体に当てないようにしてださい。ボタン面やストッパー部、本体を傷つけたり破損する場合があります（上図「ディスプレイ回転時のご注意」）。
  - ■ ワンセグアンテナを伸ばしている場合には、ワンセグアンテナをディスプレイに当てないようにしてください。
  - ■ 左回りに回転させたり180度以上回転させないでください。

マルチガイドボタンの操作方法と操作ガイダンスの選択方法

マルチガイドボタンの操作方法

画面に表示されているメニューの選択や決定には、マルチガイドボタン（４方向ボタン⦿＆決定ボタン⦿）を使います。⦿でカーソルを移動させ、⦿で決定します。

操作ガイダンスの選択方法

画面下部に表示される操作ガイダンスのメニューはそれぞれに割り当てられたボタンを使って実行することができます。場面によって割り当てられる機能が異なります。

ビューアポジションでのボタン操作

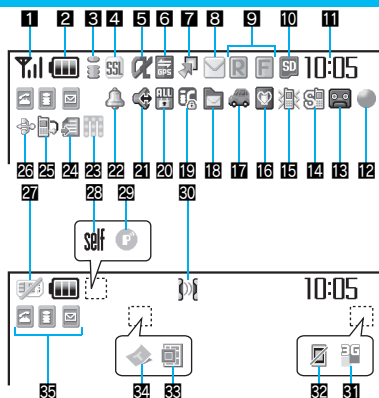
通常ポジション時の操作ボタンと同じはたらきをするビューアポジション時のボタン操作は下記の表のとおりです。

- 利用する機能によって、操作が異なる場合があります。

	通常ポジション	ビューアポジション
カーソル移動	⦿、⦿、⦿、⦿	⌃、⌄、▲(Eco)、▼
決定	⦿	◙（📷）
クリア	CLR	◙（🅟）
マルチアシスタント起動	MULTI	⌃を１秒以上押す

ディスプレイの見かた

電源を入れたときや機能の設定中などに、現在の状態を確認できます。
いずれかのボタンを押すと、一定時間ディスプレイの照明が点灯します。
● ビューアポジションのときは横画面表示になり、マークの位置が異なります。

ディスプレイ上部に表示されるマーク

ディスプレイ下部に表示されるマーク

1 電波状態表示

(アイコン)	電波の強さの目安 強 ⟷ 弱

● [圏外]が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。電波マークは変更できます(☞P.136)。

2 電池残量/充電中表示(☞P.44)

(アイコン)	電池残量の表示
(アイコン)	充電時の表示

● 電池マークは変更できます(☞P.136)。

3 iモード/フルブラウザ表示(☞P.180、P.303)

(アイコン) FB FB wFB fFB	iモード/フルブラウザの状態を表示

4 SSL表示(☞P.181)

SSL	SSL対応サイト表示中 SSL対応インターネットホームページ表示中

● マルチアシスタント動作時に表示されている場合は、マルチアシスタントを利用してiモード/フルブラウザ/iアプリ/ソフトウェア更新を実行中です。

5 iアプリ表示(☞P.249)

(アイコン)	iアプリ起動中 iアプリ待受画面起動中
(アイコン)	iアプリ待受画面設定中※
(アイコン)	iアプリDX起動中 iアプリDX待受画面起動中
(アイコン)	iアプリDX待受画面設定中※

※ iアプリが待受画面として表示されますが操作できない状態です。

6 GPS表示(☞P.274、P.279)

GPS(青色)	位置提供設定を[位置提供機能ON]に設定中 位置提供設定を[許可期間設定]に設定中で、位置提供許可期間中
GPS(黒色)	位置提供設定を[許可期間設定]に設定中で、位置提供拒否期間中
(アイコン)	GPS測位中

7 ショートカットメニュー表示(☞P.410)

(アイコン)	ショートカットメニューに登録できるときに表示

8 iモードメール/SMS/エリアメール受信表示(☞P.218、P.303)

(緑色) (赤色) SMS (アイコン) (アイコン) SMS(赤文字) SMS(青文字)	iモードメール/SMS/エリアメールの受信状態を表示 受信メールを保存するメモリの状態を表示

9 メッセージR/Fアイコン表示(☞P.237)

R(緑色) F(緑色) R(黄色) F(黄色) R F R F R F R F R F R F	メッセージR/Fの受信状態を表示 メッセージR/Fの保管状態を表示

● iモードセンター保管中でも表示されないことがあります。

10 microSDメモリーカード表示(☞P.335)

SD(グレー)	microSDメモリーカードを挿入中
SD(ピンク)	microSDメモリーカードを利用中

11 時計表示(☞P.46)

● 小時計マークは変更できます(☞P.136)。

12 ワンセグ録画中表示（☞P.293、P.294）

●	ワンセグ録画中

13 伝言メモ表示（☞P.74）

（アイコン）	伝言メモ設定中

- 伝言メモが録音／録画されているときは、両方の件数を合わせ、[（アイコン）]～[（アイコン）]と表示されます。音声電話伝言メモ３件とテレビ電話伝言メモ２件が録音／録画されると、[（アイコン）]と表示されます。

14 サイレント表示（☞P.122）

（アイコン）	音声電話着信音を［サイレント］に設定中

15 バイブレータ表示（☞P.125）

（アイコン）	着信バイブレータ設定中

16 マナーモード表示（☞P.127）

（アイコン）	マナーモード設定中

17 公共モード（ドライブモード）表示（☞P.71）

（アイコン）	公共モード（ドライブモード）設定中

18 ｉモードメールセンター保管状態表示（☞P.218）

（アイコン）	センターにメールを保管中
（アイコン）	センターに保管中のメールがいっぱい

19 ＩＣカードロック表示（☞P.272）

（アイコン）	ＩＣカードロック中

20 制限表示（☞P.145、P.149）

（アイコン）	シークレットモード設定中
（アイコン）	シークレットデータ編集中
（アイコン）	ダイヤル発信制限中
（アイコン）	オールロック中
（アイコン）	機能別ロック中
（アイコン）	ダイヤル発信制限・機能別ロックを設定中
（アイコン）（赤色）	シークレットモード・機能別ロック・ダイヤル発信制限を設定中
（アイコン）（青色）	ボタン操作無効・シークレットモード・機能別ロック・ダイヤル発信制限を設定中
（アイコン）	ボタン操作無効設定中

21 ハンズフリー／ミュート通話中表示（☞P.53、P.80、P.82、P.88）

（アイコン）（赤色）	ハンズフリー通話中
（アイコン）（緑色）	ハンズフリー対応機器接続中
MUTE	ミュート通話中（ディスプレイを回転させたときのみ）

22 アラーム表示（☞P.295、P.401、P.406）

（アイコン）	アラーム設定中 スケジュールアラーム設定中※ 視聴予約アラーム設定中※ 録画予約アラーム設定中※

※ 当日にアラームが設定されている場合のみ表示されます。

23 Music&Videoチャネル番組予約表示（☞P.377）

（アイコン）	Music&Videoチャネルの番組配信12時間前になると表示

24 ｉモードメール送信予約表示（☞P.217）

（アイコン）	送信予約メールあり
（アイコン）	自動送信に失敗したメールあり

25 イヤホンマイク接続表示（☞P.416）

（アイコン）	オート着信設定の電話／テレビ電話を［オート着信あり］に設定中で、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中 オート着信設定のプッシュトークを［オート着信あり］に設定中

- プッシュトークのオート着信設定中はスイッチ付イヤホンマイクを接続していなくても表示されます。

26 USBモード表示（☞P.345）

（アイコン）	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）接続中

27 FOMAカードエラー表示

（アイコン）	FOMAカードが挿入されていないとき、またはFOMAカードに異常があるときに表示
（アイコン）	FOMAカード以外のカードを挿入したときに表示

28 セルフモード表示（☞P.146）

self	セルフモード設定中

- 電話やプッシュトークの発着信、ｉモードメール／SMSの送受信、ｉモード、赤外線通信などの機能を使えないようにしたときに表示します。

29 プッシュトーク表示（☞P.88）

（アイコン）	プッシュトーク通信中

次ページへ続く

30 赤外線通信／外部機器通信中表示

アイコン	説明
(アイコン)	赤外線通信機能で他の機器とデータ通信中(☞P.352) 赤外線リモコン送信中(☞P.356)
(アイコン)(緑色)	外部機器を接続し、パケット通信中
(アイコン)(赤色)	外部機器を接続し、パケットデータ送受信中
(アイコン)	外部機器を接続し、64Kデータ通信中

31 3G／GSM表示(☞P.453)

アイコン	説明
(緑色)	3Gネットワーク(パケット通信可)
(赤色)	3Gネットワーク(パケット通信不可)
(アイコン)	GSM／GPRSネットワーク(パケット通信可)
(アイコン)	GSM／GPRSネットワーク(パケット通信不可)

32 プライベートフィルタ表示(☞P.140)

アイコン	説明
(アイコン)	プライベートフィルタ設定中

- 国際ローミング時やワンセグ録画中は表示されません。

33 マンガ表示設定状態表示(☞P.366)

アイコン	説明
(アイコン)	コマ表示設定中
(アイコン)	ページ表示設定中

- ハンズフリー中は表示されません。

34 トルカ表示(☞P.267)

アイコン	説明
(アイコン)	未読トルカあり

- ハンズフリー中や電子コミック表示中は表示されません。

35 マルチタスク表示(☞P.396)
起動中の機能を表示します。

アイコン	説明	アイコン	説明
(アイコン)	4つ以上のアプリが起動中	(アイコン)	カメラ(静止画)
		(アイコン)	カメラ(動画)
(アイコン)	テレビ電話	(アイコン)	文字読み取り(OCR)
(アイコン)	音声電話		
(アイコン)	電話帳	(アイコン)	バーコードリーダー
(アイコン)	プッシュトーク／プッシュトーク電話帳		
		(アイコン)	名刺リーダー
		(アイコン)	ボイスレコーダー
(アイコン)	モデム通信中(データ通信中に表示)	(アイコン)	スケジュール
		(アイコン)	テキストメモ
		(アイコン)	電卓
(アイコン)	ソフトウェア更新	(アイコン)	マンガ・ブックリーダー
(アイコン)	赤外線受信	(アイコン)	トルカ
(アイコン)	iアプリ	(アイコン)	GPS
(アイコン)	iモード、iチャネル、インターネットムービープレーヤー	(アイコン)	アラーム
		(アイコン)	タイマー
		(アイコン)	microSD管理
		(アイコン)	各種設定
(アイコン)	フルブラウザ	(アイコン)	伝言メモ・音声メモ
(アイコン)	メール、SMS、メッセージR／F、iモード問い合わせ		
		(アイコン)	リダイヤル・メール送信履歴表示中
(アイコン)	メール・SMS作成中	(アイコン)	ドキュメントビューア
(アイコン)	SDオーディオ	(アイコン)	自分の電話番号表示中
(アイコン)	データBOX、Music&Videoチャネル		
		(アイコン)	ワンセグ
(アイコン)	着信履歴・メール受信履歴表示中	(アイコン)	視聴予約・録画予約アラーム鳴動中

36 操作ガイダンス
(アイコン)、(アイコン)、(アイコン)、(アイコン)、(アイコン)、(アイコン)などのボタン操作で利用できる機能を表示します。

その他のマークについて

次の機能をご利用時に表示されるマークについては、各機能のページを参照してください。

- テレビ電話(☞P.50)
- リダイヤル／着信履歴(☞P.55～P.57)
- 電話帳(☞P.101～P.103)
- カメラモード(☞P.159～P.160)
- メール／SMS(☞P.225～P.227)
- メール受信／送信履歴一覧・詳細画面(☞P.231～P.232)
- メッセージR／F(☞P.237～P.239)
- トルカ(☞P.268)
- ワンセグ(☞P.290～P.291)
- インターネットムービープレーヤー(☞P.308)
- データBOXのマイピクチャ(☞P.314)
- データBOXのiモーション(☞P.324)
- データBOXのメロディ(☞P.334)
- PDF対応ビューア(☞P.359)
- Music&Videoチャネル(☞P.376、P.378～P.381)
- ミュージックプレーヤー(☞P.384～P.385)

お知らせ

- FOMA端末上では、microSDメモリーカードは[microSD]または[SD]と表示されます(☞P.335)。
- 本書で記載しているディスプレイの表示は、一部変形・省略しているものもあります。
- FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

ストックアイコンからお知らせの内容を確認する

かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあるときなどに、待受画面にストックアイコンを表示してお知らせします。待受画面でストックアイコンを選び、お知らせの内容を確認することができます。

■ ストックアイコン

アイコン	メッセージ	ページ	アイコン	メッセージ	ページ
	着信あり　○件※1	P.74		ソフトウェア更新説明あり	P.502
	伝言メモ　○件／○件	P.77		ソフトウェア更新必要あり	P.499
	留守録音あり　○件※1	P.431		ソフトウェア更新確認必要	P.500
	新着メールあり　○件	P.218 P.243		USBモード設定	P.345
	新着メッセージRあり　○件	P.237		ダウンロード成功 (Music&Videoチャネル)	P.377
	新着メッセージFあり　○件	P.237			
	新着トルカあり　○件	P.267		ダウンロード失敗 (Music&Videoチャネル)	P.377
	圏内自動送信結果あり	P.210		積算料金　上限超過	P.413
	ソフトウェア更新完了	P.502	MENU	カスタムメニュー／基本メニュー※2	P.34

※1　2in1のモードを[デュアルモード]に設定している場合、Bナンバー件数も表示されます。
※2　メニュー画面によって、表示されるメッセージが異なります。

1 待受画面にストックアイコンが表示されているときに◉

- メッセージが表示されます。
- 待受画面に設定しているｉモーションの再生中や、ｉアプリ待受画面起動中は、ストックアイコンが表示されません。

2 ストックアイコンを選択

- お知らせの内容を確認できます。
- 内容を確認するとストックアイコンとメッセージは消えます。

ディスプレイの表示を切り替える

カレンダー表示を設定しているときに待受画面で を押すと、待受画面表示とカレンダー表示が切り替わります(☞P.129)。

待受画面表示

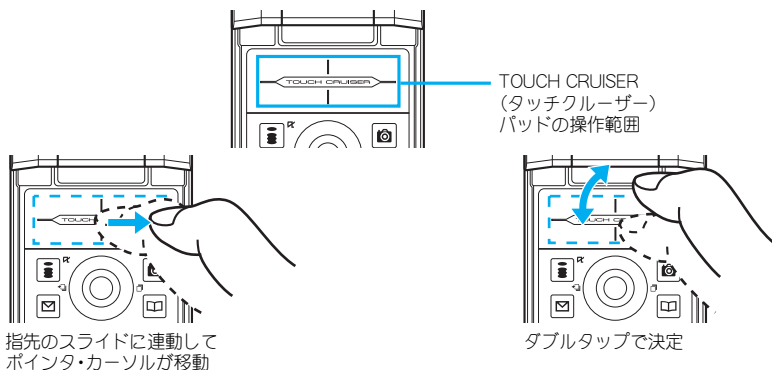
カレンダー表示の例
(2ヶ月表示(下))

- [1ヶ月(大)]を設定しているときは、スケジュールが設定されている日付の右側にアイコンが表示されます。

TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッド

TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドの使いかた

TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドを使って項目を選択したり、カーソルの移動や画面のスクロールなどマルチガイドボタンと同じ操作をすることができます。

- ポインタを動かしたり、ダブルタップする場合は、「TOUCH CRUISER」のロゴがある範囲で操作してください。
- 指先を少し立てると操作しやすくなります。

お知らせ

- 次の場合(画面)は、TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドでは操作できません。ただし、サブメニューを表示した場合は操作できます。
  - ■ 待受画面　■ｉアプリ　■ ダイヤル入力画面
  - ■ 音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発信中・着信中・通話中　など

■ ポインタを移動する

カスタムメニュー画面やｉモード接続中、フルブラウザ接続中で、ポインタ([ ]や[ ]、[ ]など)を上下/左右/斜めに動かして項目を選ぶことができます。

- カスタムメニューによっては、ポインタの形が違うものやポインタに対応していないものがあります。
- ｉモード接続中やフルブラウザ接続中に画面の端にポインタを移動させると、[ ][ ]/[ ][ ]が表示され、その矢印の方向に画面のスクロールができます。また、リンクがあるときは[ ]が表示され、ダブルタップするとリンク先に移動します。
- 指をスライドする速度によって、ポインタの移動速度が変わります。

例)カスタムメニュー画面

カーソルを移動する
基本メニュー画面やサブメニュー画面などで、4方向ボタンの代わりにカーソルを上下／左右に移動できます。

- ページが複数ある場合は、カーソルを移動することでページを切り替えることができます。

例）基本メニュー画面

決定する
ポインタやカーソルを移動したあと、決定ボタンの代わりにポインタやカーソルのあたっている項目をダブルタップして決定することができます。

TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッド利用時のご注意

- 30分以上の連続使用は避けてください。規則的に休憩をとって目を休め、ストレッチ体操で指・手・手首・前腕・肩を楽にするようにしてください。
- 指や手首を痛める原因となりますので、不要な力で操作したり、無理な姿勢で操作することは避けてください。
- 本製品は1本の指で操作するように設計されています。次のような場合は動作しません。
  - ■ 手袋をした指での操作
  - ■ ペン、ボールペン、鉛筆などによる操作
  - ■ 2本以上の指での操作
  - ■ 異物を操作面上に乗せたままでの操作
  - ■ 爪先での操作
- TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッドに水滴が付着している場合や結露している状態、濡れた指や汗で湿った指で操作した場合は、正常に動作しないことがあります。
- 故障の原因となりますので、取り扱いに際しては下記の点にご注意ください。
  - ■ 落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。
  - ■ FOMA端末にコーヒー、ジュースなどの液体をこぼさないでください。
  - ■ 分解しないでください。
- 傷やセンサーの故障の原因となりますので、ペン先のようなとがった金属で操作しないでください。
- TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッドが汚れたときは、乾いた布で汚れを落としてください。特に汚れがひどい場合は水で湿らせた布で拭き取り、十分乾かしてからご使用ください。
- TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッドにシールなどを貼ると誤動作の原因となりますのでご注意ください。

TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッドの設定をする<TOUCH CRUISER設定>

TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッドを利用するかどうかを設定する

1 待受画面で◉▶［設定］▶［一般設定］▶［TOUCH CRUISER設定］▶［利用設定］▶［ON］／［OFF］

ポインタ速度・スクロール速度・ダブルタップ速度を設定する

1 待受画面で◉▶［設定］▶［一般設定］▶［TOUCH CRUISER設定］

2 速度を選択

ポインタ速度	［ポインタ速度設定］→［速い］／［普通］／［ゆっくり］
スクロール速度	［スクロール速度設定］→［速い］／［普通］／［ゆっくり］
ダブルタップ速度	［ダブルタップ速度設定］→［速い］／［普通］／［ゆっくり］

メニューの選択方法

機能の設定、変更、登録は、メニュー画面から行うことができます。

待受画面にストックアイコン(☞P.31)が表示されている場合は、MENUを選んだ状態から操作してください。

メニュー画面と切り替え方法

待受画面で⦿を押したとき、メニュー優先設定で設定しているメニュー画面が表示されます。カスタムメニュー、基本メニューから選ぶことができます。

メニュー画面

カスタムメニュー	きせかえツール(☞P.134)を利用して、以下のようなお好みのデザインや機能を持ったメニューに変更することができます。 ● 次のメニュー項目まで表示したメニュー ● よく使う機能を見やすく大きい文字で表示したメニュー(お買い上げ時に登録されている[シンプル(Simple)]) ● メニュー項目を変更できるメニュー(☞P.135) ● メニュー項目を操作履歴により並べ替えることができるメニュー(☞P.135)など FOMA端末の本体色によって、お買い上げ時に設定されているデザインが異なります。
基本メニュー	機能番号を入力して、すばやく目的の機能を呼び出すことができます。また、12個のアイコンから選択して機能を呼び出すこともできます。基本メニューのアイコンや背景画像は変更することもできます(☞P.136)。
ショートカットメニュー	登録された機能を、すばやく呼び出すことができます。ご希望の機能を登録することもできます(☞P.410)。

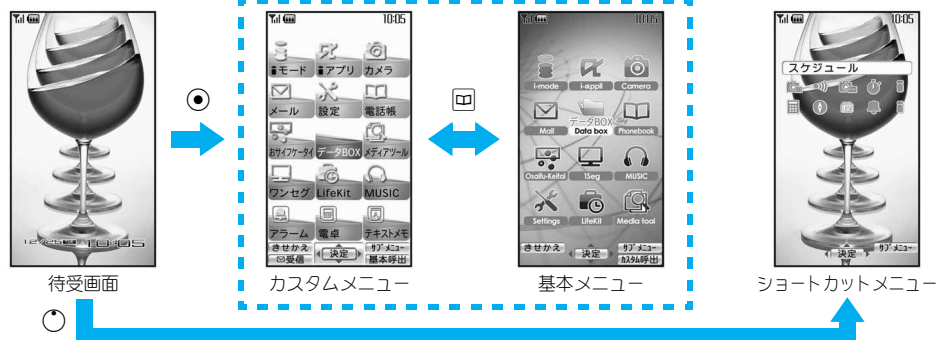
関連操作

使用するメニュー画面を設定する<メニュー優先設定>

1 待受画面で⦿▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[メニュー優先設定]
2 [カスタムメニュー]/[基本メニュー]

メニュー画面の切り替え方法

待受画面　カスタムメニュー　基本メニュー　ショートカットメニュー

機能を呼び出す方法

機能を呼び出すには、次の方法があります。

■ マルチガイドボタンやTOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッド、あらかじめ割り当てられたボタンを利用して1つずつメニューを選択し、確認しながら機能を呼び出します。
本書ではこの方法を基準に説明しています。

■ 機能番号を入力して、すばやく目的の機能を呼び出します(基本メニューの場合のみ利用できます)。

- 選択できる機能については、メニュー一覧(☞P.458)を参照してください。
- カスタムメニューでは、利用できないメニューも選択できますが、機能は利用できません。
- 操作ガイダンスに機能が表示されているときは、割り当てられたボタンを使って操作することができます(☞P.27)。
- 機能を選び直すときは、CLRを押すと1つ前の画面に戻ります。終話キーを押すと、待受画面に戻ります。

各メニュー画面から機能を呼び出す

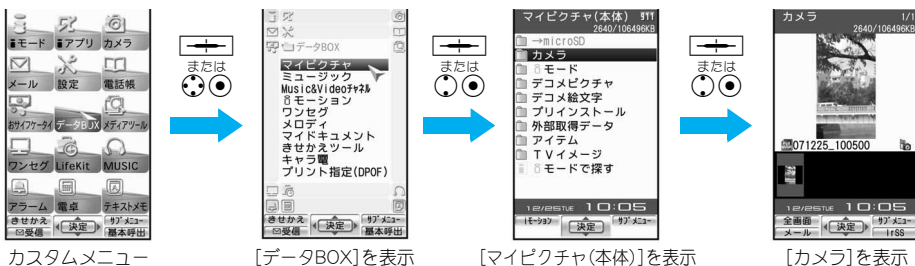
例:それぞれのメニュー画面から[マイピクチャ(本体)]を呼び出して、[カメラ]内の静止画を表示する場合

● マークはTOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドで機能名やアイコンを選んでダブルタップします(メニュー画面によってはダブルタップが必要ない場合があります)。TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドの使いかたについてはP.32を参照してください。

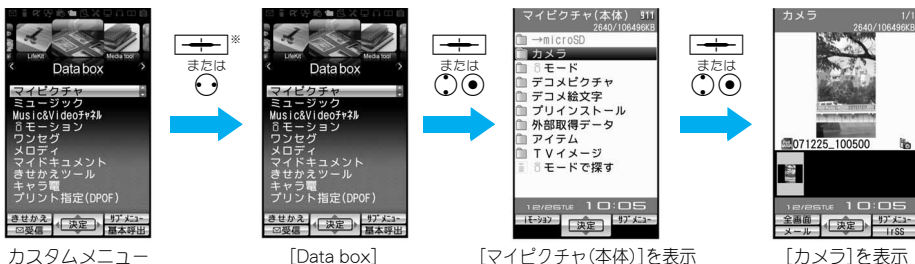
カスタムメニューからマルチガイドボタンやTOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドを使って呼び出す

● カスタムメニューに設定したきせかえツールによっては、機能の選択方法が異なる場合があります。
● 画面はTOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドを使って操作している画面です。

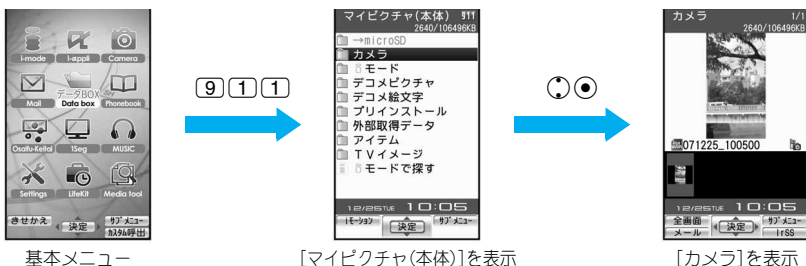
本体色「White」、「Black」の場合(画面は本体色「White」の画面です)

カスタムメニュー　[データBOX]を表示　[マイピクチャ(本体)]を表示　[カメラ]を表示

本体色「Blue」、「Pink」の場合(画面は本体色「Blue」の画面です)

● 画面上部の機能を選ぶと、画面下部に選んだ機能のメニューが表示されます。

カスタムメニュー　[Data box]　[マイピクチャ(本体)]を表示　[カメラ]を表示

※ ダブルタップしなくても、ポインタを下に移動して、表示されているメニューを選ぶことができます。

基本メニューから機能番号を入力して呼び出す

基本メニュー　[マイピクチャ(本体)]を表示　[カメラ]を表示

● 基本メニューでも、マルチガイドボタンやTOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドを使って、機能を呼び出すこともできます。

お知らせ

● カスタムメニュー表示中にビューアポジションにすると、待受画面に戻ります。基本メニュー表示中にビューアポジションにすると、リスト表示になります。
● きせかえツールを利用してカスタムメニュー画像を変更した場合、本書での説明どおりに操作できないことがあります。この場合は、基本メニューに切り替える(☞P.34)か、メニュー画面リセット(☞P.135)を行ってください。

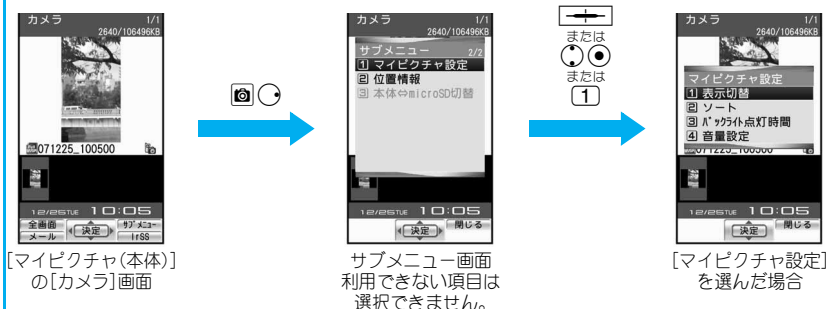
次ページへ続く

サブメニューから機能を選択する

操作ガイダンスに[サブメニュー]が表示されているときに、📷を押すとその画面で使用できる機能(サブメニュー)が表示されます。マルチガイドボタンやTOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドを使って、表示されたサブメニューを選択してください。
サブメニューに複数のページがある場合は、マルチガイドボタンやTOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドを使ってページを切り替えます。
機能番号を入力する方法でも、サブメニューを選択することができます。ただし、機能番号がないサブメニューもあります。

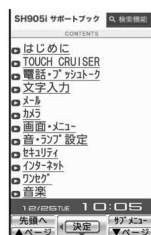
[マイピクチャ(本体)]の[カメラ]画面

サブメニュー画面
利用できない項目は選択できません。

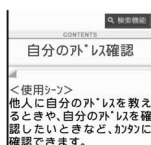
[マイピクチャ設定]を選んだ場合

サポートブック

便利に使うためのサポート情報を表示する

マンガ・ブックリーダー機能を利用した、FOMA端末上の簡単な操作ガイドです。FOMA端末の操作方法がわからないときに利用してください(☞P.366)。
マルチアシスタント機能を使ってメールの作成などの操作中にMULTIを押して、サポートブック(内蔵)を呼び出すこともできます(☞P.396)。

- すばやく使いこなすためのコツや、知っておくと便利な機能の説明が表示されます。
- サポートブックで調べた機能を直接起動することもできます。

例:自分のアドレスを確認するには

1 **待受画面でMULTI ▶[メール]**

2 **[自分のアドレス確認]**

内容表示画面

- タイトルの下に説明文が表示されます。

関連操作

サポートブックから機能を起動する
サポートブックの内容表示画面で起動項目を選択▶[はい]

お知らせ

- サポートブック以外の機能を同時に使用している場合、サポートブックから機能を起動することはできません。

FOMAカードを使う

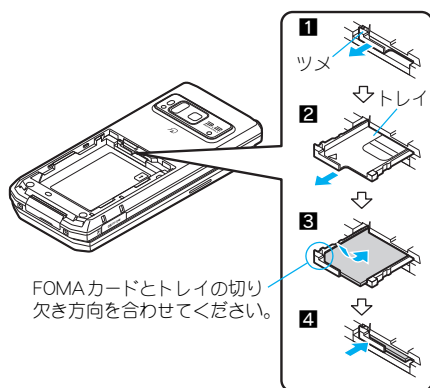
FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているＩＣカードです。FOMAカードには、電話帳のデータやSMSを保存できます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。

- FOMAカードを取り付けないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、プッシュトーク通信、ｉモード、ｉチャネル、ｉモードメールやSMSの送受信、メッセージR／F受信、データ通信などの通信機能を利用できません。また、ワンセグを視聴することもできません。

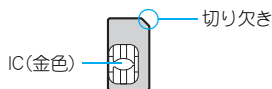
FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

※ P.45「電源を切る」の操作 1 を参照して電源を切ってから背面を上向きにして電池パックを取り外し、FOMAカードの取り付けや取り外しを行ってください。

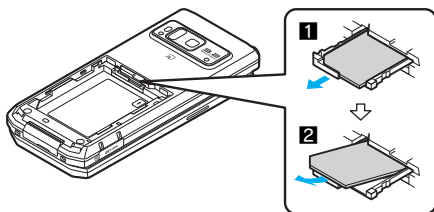
取り付けかた

FOMAカードを取り付けるときは、FOMA端末を閉じてから両手で持って行ってください。

1 ツメ（1）に指などをかけて、トレイを引き出す（2）

- トレイが止まるところまでまっすぐ引き出します。

2 FOMAカードのIC面を上に向けて、トレイに載せ、セットする（3）

3 トレイを奥まで押し込む（4）

取り外しかた

FOMAカードを取り外すときは、FOMA端末を閉じてから両手で持って行ってください。

1 ツメに指などをかけて、トレイを引き出し（1）、FOMAカードを取り外す（2）

- 取り外す際は、FOMAカードが落ちないようにご注意ください。

お知らせ

- 無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとFOMAカードが破損したり、トレイが変形したりするおそれがありますので、ご注意ください。
- FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書を参照してください。
- FOMAカードを他のｉチャネル対応端末に差し替えた場合、ｉチャネルテロップは表示されません。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、ｉチャネルテロップが自動的に表示されます。
- 取り外したFOMAカードは、なくさないようにご注意ください。
- FOMAカードのＩＣ部分が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがありますので、ご注意ください。
- トレイが外れたときは、トレイをガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。

FOMAカードの暗証番号について

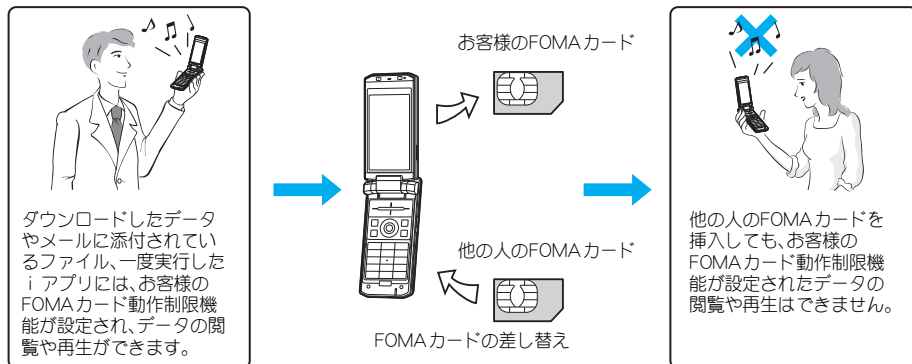
FOMAカードには「PIN1コード」、「PIN2コード」という２つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも[0000]に設定されていますが、４～８桁の任意の数字に変更できます（☞P.144）。

FOMAカード動作制限機能について<FOMAカード動作制限機能>

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にFOMAカードを挿入した状態で、次のいずれかの方法でデータやファイルを取得したり、ｉアプリを実行したりすると、取得したデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
  - ■ サイトやインターネットホームページから画像やメロディ、PDFなどのファイルをダウンロードしたとき
  - ■ サイトやインターネットホームページを画面メモとして保存したとき
  - ■ ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき
  - ■ ｉアプリを実行したとき
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイル、ソフトは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、表示／再生／ｉモードメールへの添付／ソフトの起動／赤外線通信機能やｉC通信機能によるデータの送信、microSDメモリーカードへのコピーなどを実行できます。
- FOMAカード動作制限が設定されるデータは次のとおりです。
  - ■ メロディ
  - ■ 画像（アニメーション、Flash画像を含む）
  - ■ 着うた®・着うたフル®
  - ■ 画面メモ
  - ■ メッセージR／Fに添付されているファイル
  - ■ トルカ（詳細）の画像
  - ■ キャラ電
  - ■ デコメールや署名に挿入されている画像
  - ■ テレビ電話静止画メモ
  - ■ ｉモーション
  - ■ ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - ■ ダウンロード辞書
  - ■ PDFデータ
  - ■ コンテンツ移行対応のデータ
  - ■ メッセージR／F本文中の画像
  - ■ Music&Videoチャネルの番組
  - ■ きせかえツール
  - ■ 動作制限となるデータが含まれたメールテンプレート
  - ■ [マンガ]フォルダ内に保存された電子書籍／電子辞書／電子コミック
  - ■ ｉモードメールに添付されているファイル（下記を除く）
    - ・トルカ　・電話帳　・スケジュール　・ブックマーク　・ドキュメント

  ※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- FOMAカードに保存される設定は次のとおりです。
  - ■ 電話番号表示
  - ■ PIN設定
  - ■ SMS有効期間設定
  - ■ SMS本文入力設定
  - ■ SMSセンター設定
  - ■ Bilingual（バイリンガル）
  - ■ SSL証明書
- データ、ファイルの取得時やｉアプリの実行時に挿入していたFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作が実行できなくなります。

※ 以降、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

お知らせ

- 他の人のFOMAカードに差し替えたときに、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを待受画面や着信音などに設定できません。
- FOMAカードを他の人のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能がはたらき、サイトなどからダウンロードしたデータやファイルを待受画面や着信音などに設定してあった場合、お買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、設定した状態に戻ります。
  例:FOMAカード動作制限機能が設定された[メロディA]を着信音に設定したとき
  お客様のFOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えたりすると、着信音はお買い上げ時に設定されていた着信音になります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、[メロディA]の着信音に戻ります。
- 赤外線通信機能やデータの送受信機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影した静止画/連続画像/動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを移動したり削除することはできます。
- iモードメールのメール表示画面で反転表示されている文字などを選択して、iアプリを起動する場合、FOMAカード動作制限機能が設定されていると、起動や取得ができません。
- iアプリ待受画面を設定後、他の人のFOMAカードに差し替えると、設定したiアプリを待受で起動できないため、待受画面設定で設定した画像が表示されます。

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード(青色)」をご使用になる場合、「FOMAカード(緑色/白色)」とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

機　能	FOMAカード(青色)	FOMAカード(緑色/白色)	ページ
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.106
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P.199
WORLD WINGの利用	利用不可	利用可	P.450
サービスダイヤル	利用不可	利用可	P.438

WORLD WINGについて

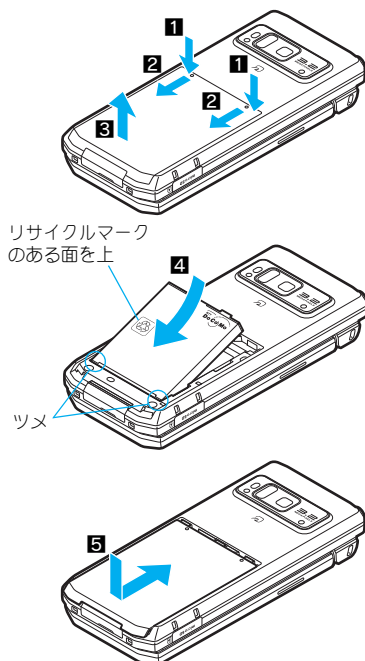
WORLD WINGとは、FOMAカード(緑色/白色)とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万が一、FOMAカード(緑色/白色)を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

電池パックは、FOMA端末専用の電池パック SH14をご利用ください。

電池パックの取り付けかた

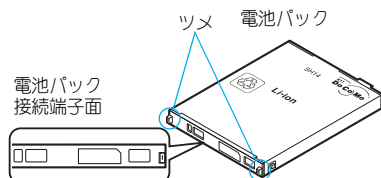
FOMA端末を閉じてから両手で持って行ってください。

1 リアカバーを矢印の方向(❶)へ軽く押しながら約2mmスライド(❷)させる

2 矢印の方向(❸)にリアカバーを持ち上げ、取り外す

リサイクルマーク
のある面を上

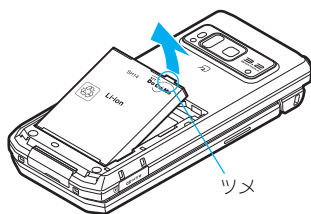
ツメ

3 電池パックを取り付ける(❹)

- 電池パックには取り付け用のツメが付いています。電池パックのリサイクルマークのある面を上に向けて取り付けてください。

4 リアカバーを取り付ける(❺)

- リアカバーを図の位置に合わせて、リアカバーを押しながらスライドさせます。

電池パックの取り外しかた

必ず電源を切って、FOMA端末を閉じてから両手で持って行ってください。

1 P.40「電池パックの取り付けかた」の操作1～2の手順でリアカバーを取り外す

2 電池パックを取り外す

- 電池パックには取り外し用のツメが付いています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指などをかけて上方向に取り外してください。

お知らせ

- 無理に取り付けたり、取り外したりすると、FOMA端末の電池パックとの接続端子(充電端子)が破損することがあります。
- 詳しくは、電池パック SH14の取扱説明書をご覧ください。
- リアカバーはしっかりと閉めてください。不十分だと、リアカバーが外れ、振動で電池パックが外に飛び出すおそれがあります。
- 電池パック接続端子面やFOMA端末の電池パックとの接続端子(充電端子)が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因ともなりますので、汚れたときは乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- はじめてお使いになるときや電池パックを交換したときは、必ず充電してください。お買い上げの際には、電池パックは完全に充電された状態ではありません。

FOMA端末を充電する

充電時のご注意

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）で充電してからご使用ください。

充電時間の目安とランプ表示について

FOMA端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間の目安は次のとおりです。

充電器名	充電時間
FOMA ACアダプタ01／02	約120分
FOMA DCアダプタ01／02	約120分

- 充電中は充電ランプが赤色で点灯し、充電が完了すると消えます。
- 充電ランプが赤色で点滅したときは、電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。また、電池パックが寿命のときも赤色で点滅します。
- FOMA端末の電源を入れておいても充電できます（充電中は、ディスプレイの[ ]が点滅します）。
  充電が完了すると、充電ランプが消灯し、ディスプレイの[ ]が[ ]に変わります。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。充電停止中は、充電ランプは消灯します（ディスプレイの[ ]は停止中でも点滅します）。

十分に充電したときの利用可能時間（目安）

ネットワーク	3G／GSM切替	連続待受時間	連続通話時間
FOMA／3G	3G	移動時：約370時間	音声電話時：約200分 テレビ電話時：約100分
	自動	移動時：約345時間 静止時：約540時間	
GSM	自動	静止時：約290時間	音声電話時：約190分

ワンセグ視聴時間
約230分

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態で使用できる時間の目安であり、連続待受時間は、FOMA端末を折りたたんで、電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、待受画面や省電力モード、不在着信お知らせ、新未読メールお知らせなどの機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないまたは弱い場所）などにより、通話・待受時間は半分程度になる場合があります。iモード通信を行うと、通話（通信）・待受時間は短くなります。iチャネルをご契約の場合は、情報を自動的に受信して更新しますので、通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信を行わなくても、画像の撮影や編集、ワンセグの視聴、iモードメールの作成、ダウンロードしたiアプリやiアプリ待受画面の起動、SDオーディオやミュージックプレーヤーの使用などによって、通話（通信）・待受時間は、短くなります。iアプリのソフトによって、ダウンロードしたあとも通信を行う場合があります。あらかじめ設定することによって、接続を行わないようにできます。
- 実際のご利用時間は、待受と通話の組み合わせとなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。
- ワンセグ視聴時間は、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、短くなる場合があります。

電池パックの寿命は

- 電池パックは消耗品です。充電をくり返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらiアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion

充電について

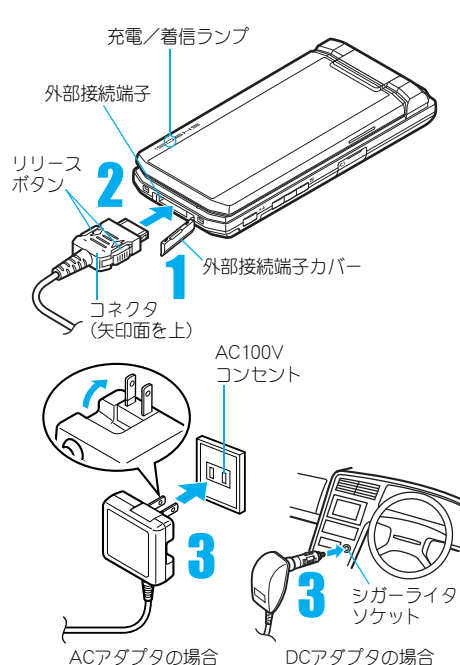
- 詳しくはFOMA ACアダプタ01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ01（別売）、FOMA DCアダプタ01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ02／FOMA海外兼用ACアダプタ01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

充電時のご注意

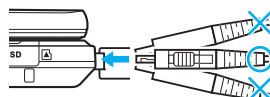
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、FOMA端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。
  このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタからFOMA端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、電池警告音が鳴る、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 警告音が鳴ったあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 電池切れの表示がされ、警告音が鳴ってから60秒以内に充電を始めると、通常の状態に復帰します。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電をくり返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから(電池残量が減ってからなど)充電することをおすすめいたします。
- 電池パック単体での充電はできません。

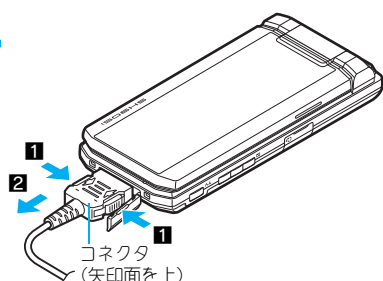
ACアダプタ／DCアダプタを使って充電する

[必ずFOMA ACアダプタ01／02(別売)、FOMA DCアダプタ01／02(別売)の取扱説明書を参照してください]

- FOMA端末を開いた状態やビューアポジションでも充電できます。

1 外部接続端子カバーを開く

2 ACアダプタまたはDCアダプタの向き(裏表)をよく確かめ、外部接続端子に水平に差し込む

- コネクタの向きを確かめ、FOMA端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

3 ACアダプタの場合は、電源プラグを起こし、AC100Vコンセントに差し込む
DCアダプタの場合は、電源プラグを車のシガーライタソケットに差し込む

- 充電開始音が鳴り、充電ランプが赤色で点灯します。充電中に着信した場合は、設定した着信ランプの色で点滅します。
- ビューアポジションで待受画面表示中はディスプレイに卓上時計を表示することができます(☞P.130)。

4 充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯すると、充電が完了する

- コネクタを取り外す場合は、必ずコネクタの両側にあるリリースボタンを押した状態(1)で、コネクタを水平に抜いてください(2)。無理に引っ張ると故障の原因となります。
  コネクタを取り外したあとは、外部接続端子カバーを閉じてください。
- 長時間使用しないときは、アダプタをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。

お知らせ

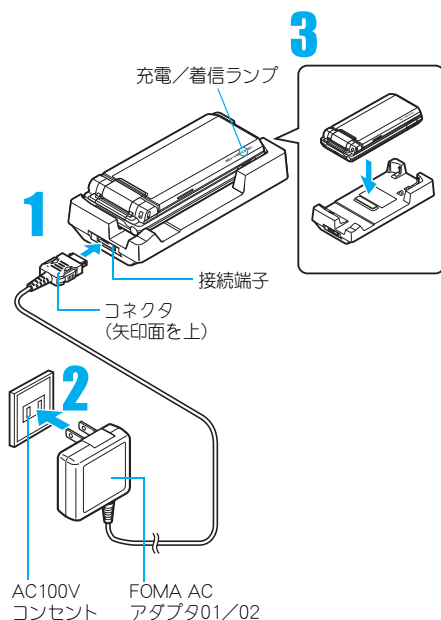
- ACアダプタなどのコネクタは、正しい向き（裏表）や角度で、無理な力がかからないように、ゆっくり確実に接続してください。無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子が破損する場合がありますので、ご注意ください。
- 外部接続端子カバーは、無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。
- 充電時FOMA端末の周りに物などを置かないでください。FOMA端末に傷を付けるおそれがあります。ビューアポジションで充電すると、ディスプレイなどに傷が付く場合があります。

DCアダプタのとき

- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタはマイナスアース車専用です（DC12V・24V両用）。
- DCアダプタの電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- FOMA端末の電源を入れても、イグニッションをOFFにしたり、DCアダプタをシガーライタソケットから抜いたりすると、電源が切れますので注意してください。通話および待受状態を継続したい場合は、FOMA端末に差しているコネクタを先に抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。

卓上ホルダを使って充電する

[必ず卓上ホルダ SH16（別売）の取扱説明書を参照してください]

- FOMA端末を開いた状態やビューアポジションでも充電できます。

1 ACアダプタのコネクタの矢印面を上に向け、卓上ホルダの接続端子に差し込む

- コネクタが卓上ホルダに水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントに差し込む

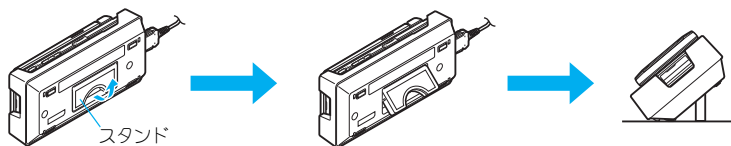
3 FOMA端末を卓上ホルダに置く

- 左図のように、FOMA端末を矢印の方向に「カチッ」と音がするように置いてください。
- 充電開始音が鳴り、充電ランプが赤色で点灯します。充電中に着信した場合は、設定した着信ランプの色で点滅します。
- ビューアポジションで待受画面表示中はディスプレイに卓上時計を表示することができます（☞P.130）。

4 充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯すると、充電が完了する

- 卓上ホルダを押さえながら、FOMA端末を持ち上げます。
- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

卓上ホルダを立てる

卓上ホルダ背面のスタンドを「カチッ」と音がするまで立てると、卓上ホルダを立てた状態で充電できます。

お知らせ

- 充電開始音が鳴らないとき（充電開始音量を［サイレント］に設定、またはマナーモードに設定している場合や、電源を切っている場合を除く）や、充電ランプが点灯しないときは、FOMA端末が卓上ホルダに正しく置かれていない場合がありますので、正しく置き直してください。
- FOMA端末を卓上ホルダに置くとき、ストラップを挟まないようにご注意ください。

電池残量確認

電池残量の確認のしかた

電池残量の目安は、ディスプレイで確認できます。

	電池残量が十分残っています。
	電池残量が少なくなっています。
	電池残量がほとんどありません。充電してください。
	電池残量がありません（しばらくすると電源が切れます）。
	電池パック充電中です。

- 電池マークのデザインを変更（☞P.136）した場合、上記の表示と異なる場合があります。

電池残量を音と表示で確認する

1 待受画面で◉ ▶［設定］▶［一般設定］▶［確認］▶［電池残量確認］

- 電池残量のグラフィックが表示されます（残量に応じた音も鳴ります）。
- 電池残量確認音は、ボタン／待受ｉモーション音で設定した音量で鳴ります（☞P.123）。
- 約２秒間経過するか、CLR／◉を押すと、１つ前の画面に戻ります。

グラフィック			
音	ピーピーピー	ピーピー	ピー
状態	十分残っています。	少なくなっています。	電池残量が ほとんどありません。 充電してください。

電池が切れたら

電源が切れそうになると、[電池がありません。保存していないデータは失われます。動作中の機能は終了します]と表示されます(◉を押すと表示は消えます)。
しばらくすると警告音が「ピピピ…」と鳴ります。右の画面が表示され、端末の操作ができなくなり、約60秒後に電源が切れます。

- 音声電話やテレビ電話の通話中は、警告音が「ピピピ…」と鳴り、[電池がありません。保存していないデータは失われます。動作中の機能は終了します]と表示されます。約20秒後に通話が切れると同時に上の画面が表示され、約60秒後に電源が切れます。
- マナーモードや公共モード(ドライブモード)を設定しているときは、警告音は鳴りません(通話中を除く)。
- ⌒を押すと、通話中の場合は電話が切れます。電源を切って充電してください。

電源ON／OFF

電源を入れる／切る

電源を入れる

- 電源を入れる前にFOMAカードが正しく取り付けられていることを確認してください(☞P.37)。
- FOMAカードが挿入されていない場合[FOMAカード(UIM)を挿入してください]と表示され、FOMAカードエラーが表示されます(☞P.29)。

1 ⌒(電源)を2秒以上押す

- ウェイクアップ画面が表示されるまで時間がかかることがあります。
- ウェイクアップ画面が表示され、初期設定の画面が表示されます。続けて、初期設定(☞P.46)の操作を行ってください。初期設定が完了していないときは、電源を入れるたびに設定画面が表示されます。

- 初期設定が完了しているときは、電源を入れると、右のような画面が表示されます。この画面を「待受画面」といいます。

- [PIN1コードを入力してください]と表示されたときは、PIN1コード(☞P.144)を入力します。

- [圏外]が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。表示が消えるところまで移動してください。

待受画面

お知らせ

- FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。正しく入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。ただし再度電源を入れることは可能です。

電源を切る

1 ⌒(電源)を2秒以上押す

- 電源が切れるまで時間がかかることがあります(電源が切れるまでディスプレイに終了画面が表示されます)。

お知らせ

- 外部機器との接続は、通信が終了していることを確認したうえで、FOMA端末の電源を切ってから行ってください。

初期設定

初期設定を行う

はじめてFOMA端末の電源を入れると自動的に初期設定画面が表示されます。各設定項目はメニューからも設定できます（初期設定が完了しているときは、待受画面が表示されます）。

■ 日時設定　■ 端末暗証番号変更　■ ボタン／待受ｉモーション音　■ 位置提供　■ 文字サイズ設定

● 設定されていない項目があるときは、FOMA端末の電源を入れるたびに、設定画面が表示されます。

1 日付・時刻を設定する（☞P.46）

● 待受画面で⦿を押し、[設定]→[初期設定]を選択しても初期設定できます。

● 日時は、2001年１月１日 00:00から2050年12月31日 23:59まで設定できます。

2 端末暗証番号を登録する（☞P.143）

3 ボタン／待受ｉモーション音を設定する（☞P.123）

● [ON]／[OFF]を選択します。

4 GPS位置提供可否を設定する（☞P.279）

● [ON]／[OFF]を選択します。

5 文字サイズを設定する（☞P.139）

● [標準]／[拡大]を選択します。

● 初期設定が完了するとソフトウェア更新機能確認画面が表示されます。記載内容をお読みになり[確認]を選択してください（メニューから初期設定を行った場合や、ソフトウェア更新を[自動で更新]以外に設定している場合は表示されません）。

お知らせ

初期設定を中止するとき

● 設定中に⌒を押します。

日時設定

日付・時刻を合わせる

FOMA端末の日付と時刻を設定します。自動的に日時を補正するように設定できます。

● 海外での利用時には、自動的に現地の日時に時差補正できます。

1 待受画面で⦿▶[設定]▶[一般設定]▶[日時設定]

● 料金上限通知設定が[有効]に設定されている場合は、日時設定の際に端末暗証番号の入力が必要です。

● 時刻は24時間制で表示されます。

2 [自動時刻時差補正]を選択▶[ON]／[OFF]

自動的に日時を補正するとき	[ON]→▣
日時を入力するとき	[OFF]→[日付]を選択→日付を入力して⦿→[時刻]を選択→時刻を入力して⦿→▣ ● 24時間制で入力します。また、月日・時刻が１桁（１～９）のときは、01～09のように前に「０」を付けます。 ● ⦿で数字を選ぶこともできます。また、入力を間違えたときは、⦿でカーソルを移動して、入力し直してください。

関連操作

タイムゾーンを手動で変更する<都市設定>
1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[日時設定]▶[自動時刻時差補正]を選択▶[OFF]
2 📷(都市設定)▶タイムゾーンを選択▶都市を選択▶📱

お知らせ

- 設定した日付・時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、約1週間以上電池パックを外すか、電池残量のない状態で放置するとリセットされることがあります。そのときは、充電してから設定し直してください。
- 日付・時刻を正しく設定しないと、リダイヤル、着信履歴、音声電話伝言メモ、テレビ電話伝言メモ、カメラ画像のタイトル・撮影日時などで日時が正しく記録されません。また、自動電源ON／OFF、アラーム、スケジュール、SSL通信(認証)、iアプリ自動起動、iアプリDX起動、視聴予約、録画予約、再生制限のあるiモーション／音楽データ／電子コミックの再生や表示など時計を利用する機能が正しくご利用になれません。

自動時刻時差補正を[ON]にしたときについて

- ドコモネットワークの時刻情報をもとに、自動的に時刻を補正します。
- 時刻補正を行った場合、[自動時刻時差補正を行いました]と表示されます。
- 自動時刻時差補正を[ON]にしても、しばらく時刻が補正されない場合があります。自動時刻時差補正を有効にするには、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できない場合があります。
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。
- 海外などで時差補正が行われると、リダイヤル、着信履歴やメール受信／送信履歴一覧(SMSのみ)、受信／送信メール一覧には現地での日時が表示され、[🌐]が表示されます。受信／送信メールは表示されている日時の順ではなく、メールを受信／送信した順に表示されます。
- メールの未送信BOXには、[🌐]は表示されません。また、未送信BOXを日付順表示にしていると、未送信メールは表示されている日時の順に表示されます。
- 海外のネットワークによっては時差補正が行われない場合があります。
- 海外でご利用時、次の場合を除いて日本時間と現地時間(または都市設定で設定した時間)が表示(デュアル表示)されます。
  - ■ 自動時刻時差補正が[ON]で、海外のネットワークより時刻補正情報を受信していない場合
  - ■ 自動時刻時差補正が[OFF]で、都市設定を日本時間と同じ都市に設定している場合

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

音声電話やテレビ電話、プッシュトークをかけるときに、相手の電話機(ディスプレイ)に自分の電話番号(発信者番号)を表示させることができます。

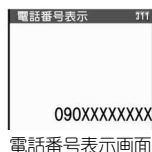
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知するかしないかの設定については、十分にご注意ください。
- 発信者番号通知機能は、相手の電話機が発信者番号を表示可能な場合のみ、利用できます。

お客様の電話番号を通知するかどうかを設定する方法は、次のとおりです。

	設定方法	番号を通知する	番号を通知しない
あらかじめ設定しておく方法	待受画面で◉を押し、[設定]→[NWサービス]→[発信者番号通知]→[発信者番号通知設定]を選択する	[はい]を選択する	[いいえ]を選択する
電話をかけるときに指定する方法	電話番号の前に「186」／「184」を付ける	「186」を付ける	「184」を付ける
	電話番号を入力して、サブメニューから選ぶ(☞P.60、P.90)	📷を押し、[番号通知設定]→[番号通知]を選択する	📷を押し、[番号通知設定]→[番号非通知]を選択する

- 発信者番号通知は、[圏外]で設定することはできません。
- 発信者番号通知の設定を確認するときは、待受画面で◉を押し、[設定]→[NWサービス]→[発信者番号通知]→[設定確認]を選択します。
- 発信者番号通知の設定内容より、電話発信するときの指定が優先されます。電話をかけるときに何も指定しないと、発信者番号通知の設定内容に従います。

自分の電話番号を確認する

1 待受画面で⦿ 0

電話番号表示画面

- 音声電話中は📷を押して[電話番号表示]を選択、テレビ電話中は📷を押して[自局番号表示]を選択します。
- 電話帳の機能別ロック中は、端末暗証番号を入力して⦿を押します。
- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定している場合、📱を押して[Aナンバー]と[Bナンバー]を切り替えて表示することができます。
- 所有者情報の確認・登録・変更については、P.411を参照してください。

お知らせ

- 2in1利用中に「2in1のBナンバーの変更」や「FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1契約者)」を行った場合、正しいBナンバーを取得するために、2in1機能OFFにしてから、再度2in1設定をONにしていただくか、2in1契約問合せ(☞P.411)を行ってください。また、「FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1未契約者)」を行った場合も、正しい所有者情報に更新するために、2in1機能OFFにしてください。

電話／テレビ電話

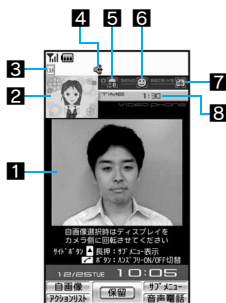
テレビ電話について

自分側の映像としてキャラ電や静止画を送信したり、背面のカメラを利用して周囲の状況や自分の顔を送信したりできます。自分の顔を送信するときは、ディスプレイを回転させることで、お互いの顔を見ながら通話することができます（☞P.78、P.80）。

- テレビ電話は64K（kbps）で通信できます。
- テレビ電話でも、着もじを送信／受信できます（☞P.58）。
- テレビ電話中はデジタル通信料がかかりますので、ご注意ください。
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用できます（☞P.61）。
- テレビ電話通信機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。
- ドコモのテレビ電話は、「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1　3GPP（3rd Generation Partnership Project）：第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2　3G-324M：第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

テレビ電話中の画面の見かた

- 画面はイメージで、実際に同じ画面は表示されません。

1 親画面：相手側の映像（お買い上げ時）

2 子画面：自分側の映像（お買い上げ時）

3 テレビ電話中表示

（アイコン）	テレビ電話通信中

4 ハンズフリー／ミュート通話中マーク

（赤色）	ハンズフリー通話中
（緑色）	USBハンズフリー通話中
MUTE	ミュート通話中（ディスプレイを回転させたときのみ）

5 自分側のカメラ映像の明るさ

±0	-2 -1 ±0 +1 +2 暗い ← 標準 → 明るい

6 送信画像マーク

（アイコン）	キャラ電（全体アクションモード）を送信中	（アイコン）	代替画像として静止画送信中
（アイコン）	キャラ電（パーツアクションモード）を送信中	（アイコン）	データBOXのマイピクチャの画像を送信中
（アイコン）	カメラ映像送信中	（アイコン）	カメラ映像の一時停止中

7 受信画像マーク

（アイコン）	相手側の画像を撮影、保存するときに表示

8 通話時間：通話時間を最長9時間59分59秒まで表示します。9時間59分59秒を超えると、0分00秒に戻ってカウントします。

お知らせ

- テレビ電話中のディスプレイの明るさは、照明・省電力設定のオリジナルEcoモードの設定に従います。照明時間設定のテレビ電話時を［通常時と同じ］に設定している場合は、明るさ調整で設定した明るさに調整されます。［常にON］に設定している場合は、［明るさ2］に調整されます。

電話／テレビ電話をかける

電池残量および電波状態が十分であることを確認してください。

- [圏外]が表示されているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。表示が消えるところまで移動してください。
- 電波が強く[Yıl]が表示されていて移動せずに通話をしているときでも、通話が切れることがあります。
- テレビ電話の場合、お買い上げ時はキャラ電の[キャラ(女性)]が相手に送信されます。送信する代替画像は、代替画像設定(☞P.81)で設定できます。お互いの顔を見ながらテレビ電話をする場合は、P.80「相手側に送信する映像について設定する」を参照してください。
- テレビ電話をかけるときは、お互いの映像を見ながら通話できるように、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク(☞P.415)を利用するか、ハンズフリー(☞P.82)を利用してください。

1 待受画面で電話番号を市外局番からダイヤルする

数字キーを入力し、「クイック」を押すとスケジュール、電卓などの機能にジャンプします

090XXXXXXXX

- 同一市内でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

携帯電話にかける	電話番号11桁(090-XXXX-XXXX、080-XXXX-XXXX)を入力

- 電話番号は80桁まで入力できます。13桁を超えると2行で表示されます。26桁を超えた場合、最後から26桁が2行表示されます。
- ダイヤルを間違えたときは、CLRを押すと、最後の1桁が消去されます。CLRを1秒以上押すと、すべての桁が消去され、待受画面に戻ります。
- 国際電話をかけるときは、P.61を参照してください。

2 (音声電話)／(テレビ電話)

テレビ電話の発信画面

テレビ電話発信中

ドコモ太郎

090XXXXXXXX

電話帳に名前と静止画を登録している場合

- 携帯電話は一般の電話と違い、「ルルル……」という呼出音の前に「プップップッ」という発信音が入ります。
- 電話帳に登録しているときは、電話番号と名前が表示されます。また、画像を設定しているときは、画像もあわせて表示されます。
- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたときは、相手が番号通知をお願いする旨のサービスを「開始」に設定しています。発信者番号を通知してかけ直してください(☞P.47、P.60)。

音声電話のとき

- 発信中は[発信中]と表示されます。

テレビ電話のとき

- 発信中は[テレビ電話発信中]と表示されます。

3 相手が電話に出たら通話する

テレビ電話

- 音声電話中はを押して[電話番号表示]、テレビ電話中はを押して[自局番号表示]を選択すると、自分の電話番号を表示できます。

音声電話のとき

- 通話中はディスプレイ上部に[]が表示されます。

テレビ電話のとき

- テレビ電話中の画面の見かたはP.50を参照してください。
- 代替画像設定で設定したキャラ電や静止画が送信されます(☞P.81)。
- テレビ電話中に次の操作ができます。

カメラ映像を送信する		(自画像)(または、を1秒以上押す) ● 自分の映像を送信する方法については、P.80を参照してください。
プッシュホン信号を送信する<DTMF送信モード>	キャラ電を送信中	→[DTMF送信モード]→[ON]→送信する番号を入力
	カメラ映像を送信中	送信する番号を入力

次ページへ続く

通話が終わったら[終話]

- テレビ電話の場合は、[マナー]（[P]）を１秒以上押しても操作できます。

お知らせ

- 2in1のモードが［デュアルモード］のときは、操作２のあとに発信番号選択画面が表示されます。発信番号を、［Aナンバー］／［Bナンバー］から選択してください。
- 通話中は通話時間が表示されますが、通話時間の表示は目安です。通話時間は最長９時間59分59秒まで表示され、これを超えると０分00秒に戻ります。
- 連続通話するとFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 通話中にビューアポジションにしたときの動作は、クローズ動作設定に従います。

音声電話のとき

- 操作１と２の手順を逆にしても電話をかけることができます。この場合、ダイヤルしてから約５秒間何も操作しないと発信します。

テレビ電話のとき

- FOMA端末から緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけることはできません。
- 相手がテレビ電話に出ると、［テレビ電話接続　[発信]を押すとハンズフリーへの切替・解除ができます］と表示されます。この時点からデジタル通信料がかかります。
- テレビ電話に対応していない端末にテレビ電話をかけた場合は接続できません。また、ネットワーク状況によって64Kが利用できない機器と接続する場合も接続できません。音声自動再発信が［ON］に設定されている場合は、自動的に音声電話で発信し直します。その場合、通話料金は音声電話通話料となります。なお、ISDNの同期64Kのアクセスポイント、3G-324M（☞P.50）に対応していないISDNのテレビ電話など（2008年３月現在）や間違い電話をかけたときなどは、このような動作にならないことがあります。また、通信料金が発生する場合もありますので、ご注意ください。
- 自分側のカメラ映像を送信する場合、光量が少ない場所では映像に白い線などのノイズが増えます。また、太陽やランプなどの強い光源がじかに入る場所では、映像が暗くなったり、乱れることがあります。適切な場所でテレビ電話をご利用ください。
- キャッチホンをご契約いただいている場合、テレビ電話中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、着信履歴に記憶され、待受画面に［☎］（着信あり）が表示されます。
- テレビ電話中は、ｉモードメールやメッセージR／Fは受信されず、ｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに保管されたｉモードメールやメッセージR／Fは、テレビ電話終了後、ｉモード問い合わせを行うと受信できます。ただし、テレビ電話中でも、SMSは自動的に受信します。
- 音声や映像の送受信に失敗した場合、自動的に復旧しません。もう一度テレビ電話をかけ直してください。
- テレビ電話の通信が開始されると、音声自動再発信は行いません。
- テレビ電話は［テレビ電話通話時間］としてカウントされます（☞P.412）。
- テレビ電話中に音声電話をかけたり、ｉモードを利用することはできません。
- イヤホンマイク接続中は、テレビ電話ハンズフリー設定にかかわらず、イヤホンマイクによる通話となります。

テレビ電話がつながらなかったとき

- テレビ電話がつながらなかったときは、接続できなかった理由をメッセージで表示します。なお、相手の電話機の種類やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とは異なることがあります。

メッセージ	理　由
番号をご確認の上、おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合に表示されます。
お話中です	相手が通話中に表示されます。※
転送致しますのでお待ちください	相手が転送設定している場合に表示されます。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいるか、または電源を入れていません。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます（ビジュアルネットなどの発信時）。
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末の場合表示されます。
パケット通信中です	相手がパケット通信中に表示されます。
接続できませんでした	上記以外の場合に表示されます。
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超過している場合に表示されます。
ｉモードから接続してください	ｉモードに接続してからアクセスする必要があるVライブに、直接テレビ電話発信したときに表示されます。コンテンツ提供者が公開しているサイトに接続し、リンクからテレビ電話発信して視聴してください。

※ 相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。

関連操作

ハンズフリーで話す<ハンズフリー>

音声電話通話中のときはを1秒以上押す
テレビ電話通話中のときは

- 音声電話中に解除するとき:を1秒以上押す
- テレビ電話中に解除するとき:

通話中に保留する<通話保留>

1 通話中に▶[通話保留]
- テレビ電話の場合は、／()を押しても通話保留になります。

2 保留中の音声電話に出るときはまたは
保留中のテレビ電話に出るときは
- テレビ電話の場合は、を押すか、を1秒以上押すとカメラ映像を送信して電話に出ることができます。

発信番号を選択して電話をかける<マルチナンバー選択>

1 待受画面で相手先電話番号を入力して▶[マルチナンバー選択]
2 発信番号を選択▶(音声電話)／(テレビ電話)

2in1利用時に発信番号を選択して電話をかける<2in1選択>

1 待受画面で相手先電話番号を入力して▶[2in1選択]
2 [Aナンバー]／[Bナンバー]▶(音声電話)／(テレビ電話)

お知らせ

ハンズフリーについて
- ハンズフリー中は[]が表示されます。
- 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
- 屋外や騒音が大きい場所でハンズフリー通話を行う場合は、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイクをご利用ください。
- 着信中および、音声電話の発信中は操作できません。
- 受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。その場合は、／を押して音量を下げてください。
- 通話を終了するとハンズフリーは解除されます。

通話保留について
- 保留中は保留音が流れます。マナーモード設定中はFOMA端末から保留音は聞こえません。
- 相手には保留音が流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。テレビ電話の場合、相手には保留画像設定で設定した画像が送信されます。相手には、[保留]という文字が重なって表示されます。
- 保留中にFOMA端末を閉じても、保留状態は続きます。クローズ動作設定とは連動していません。

マルチナンバー選択について
- マルチナンバーをご契約の場合、登録しているマルチナンバーを選択してから電話をかけることができます。

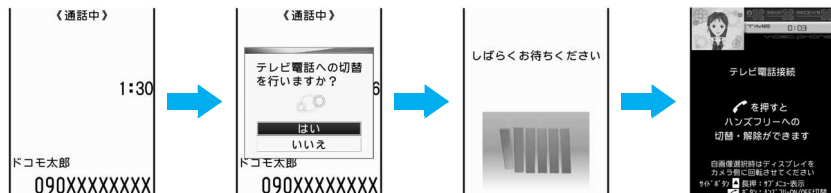
2in1選択について
- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定しているときに利用できます。
- [Bナンバー]を選んだ場合、電話番号入力画面に[B]が表示されます。

音声電話／テレビ電話を切り替える

自分から電話をかけたときに、音声電話⇔テレビ電話を切り替えられます。

- 画面右下の操作ガイダンスに音声電話のときは[テレビ電話]、テレビ電話のときは[音声電話]が表示され、切り替えることができます(音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種でご利用いただけます)。
- 相手のFOMA端末のテレビ電話切替機能通知(☞P.84)が「開始」に設定されている必要があります。
- 電話を受けたときは切り替えることができません。相手から切り替えてもらってください。
- 切り替え操作を行っても、相手のFOMA端末の状況によっては[切替できません]と表示され、切り替えできない場合があります(☞P.68)。
- ワンセグ起動中は切り替えできません。
- テレビ電話に切り替えた場合、お買い上げ時はキャラ電の[キャラ(女性)]が相手に送信されます。送信する代替画像は、代替画像設定(☞P.81)で設定できます。お互いの顔を見ながらテレビ電話をする場合は、P.80「相手側に送信する映像について設定する」を参照してください。

1 音声電話中に[TV](テレビ電話)▶[はい]

- 音声電話中に[カメラ]を押して[テレビ電話切替]を選択しても操作できます。
- テレビ電話から音声電話に切り替えるときは、通話中に[TV](音声電話)を押す、または[カメラ]を押して[音声電話切替]を選択して操作します。
- [いいえ]を選択すると、通話中の画面に戻ります。
- 切り替えには、約5秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。切り替え中は、[しばらくお待ちください]と表示され、音声ガイダンスが流れます。
- テレビ電話に切り替わり、代替画像設定で設定したキャラ電や静止画が送信されます。

音声電話からテレビ電話へ切り替える場合

- 音声電話⇔テレビ電話の切り替えは、通話中何度でも可能です。切り替えるたびに、通話時間表示が0秒から開始されます。

お知らせ

- 電波状況によっては、音声電話からテレビ電話またはテレビ電話から音声電話に切り替わらず、接続が切れる場合があります。
- 切り替え中は、通話時間に含まれず、料金は加算されません。

音声電話からテレビ電話へ切り替えるとき

- 相手が映像を表示しないように選択した場合、相手側のカメラ映像は表示されません。
- パケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- テレビ電話に切り替えると、切り替え前の通話状態／テレビ電話ハンズフリー設定にかかわらず、ハンズフリー通話になります。
- [しばらくお待ちください]と表示されている間は、ハンズフリーへの切替・解除ができません。
- キャッチホンでの通話中に、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。

テレビ電話から音声電話へ切り替えるとき

- ハンズフリー通話中に音声電話に切り替えた場合、ハンズフリーは解除されます。

リダイヤル／着信履歴を利用する

前にかけた相手にかけ直す<リダイヤル>

以前にかけた電話番号（リダイヤル）は、最後にかけた電話番号から最大30件（プッシュトークを含む）までFOMA端末に記憶されます。

- 記憶できる件数を超えたときは、古い電話番号から順に削除されます。
- 同じ電話番号に複数回かけたときは、最新の１件だけが記憶されます。ただし、複数の相手にプッシュトーク発信した場合や、プッシュトークグループまたはプッシュトークプラスを利用して発信した場合は、毎回記憶されます。
- 2in1利用時、AナンバーとBナンバーのリダイヤルがそれぞれ最大30件、合計60件まで記憶されます。ただし、それぞれのモードで表示される件数は最新の履歴から最大30件です。

1 待受画面で◯（□）

リダイヤル一覧画面

- 最新のリダイヤルから順に、電話番号と日時が一覧表示されます。
- 海外などで時差補正が行われた場合は現地での日時が表示され、［◯］が表示されます。
- 電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、メモリ番号の小さい方の名前が表示されます。
- プッシュトークの場合、相手の名前か、プッシュトークグループのグループ名が表示されます。
- 次のページを表示するときは◯、前のページを表示するときは◯を押します。

電話の種類

表示なし	音声電話	B	Bナンバー発信（2in1［デュアルモード］時のみ）
（アイコン）	テレビ電話	（アイコン）	プッシュトーク（相手が１人の場合）
（アイコン）	国際電話	（アイコン）	プッシュトーク（相手が複数の場合）
M0～M2	マルチナンバー発信（マルチナンバー設定時のみ）	（アイコン）NW	プッシュトーク（プッシュトークプラス利用）

リダイヤル詳細画面を表示する	電話番号を選択
着信履歴一覧画面に切り替える	◯（着信履歴）

2 電話番号を選んで、電話をかける

音声電話	◯
テレビ電話	◯→◯
プッシュトーク	◯（◯）

- 表示されている電話番号に発信します。
- 「186」や「184」を付けて電話をかけたときは、別のリダイヤルとして記憶されます。

お知らせ

- 通話中に音声電話⇔テレビ電話を切り替えても、リダイヤルの電話の種類には、発信時の種類が表示されます。
- リダイヤル／着信履歴表示については、P.149を参照してください。
- 複数の相手に発信したプッシュトークのリダイヤルを選んだ場合、◯（◯）または◯を押すと全員に発信します。音声電話やテレビ電話をかけることはできません。
- 発着信履歴表示のリダイヤル表示が［OFF］に設定されているときも履歴は記憶されていますが、リダイヤルは表示されません。
- リダイヤル一覧画面で◯（受信履歴）を押すとメール受信履歴一覧画面が、◯（送信履歴）を押すとメール送信履歴一覧画面が表示されます（☞P.231）。

お知らせ

リダイヤルのサブメニュー

リダイヤル一覧画面でのメニュー名	リダイヤル詳細画面でのメニュー名	内　容
電話帳登録	電話帳登録	電話番号を電話帳に登録する。
削除	1件削除	記憶しているリダイヤルを削除する(☞P.56)。
―	番号通知設定	発信する際の番号の通知／非通知／NW設定に従うを設定する。
―	番号付加設定	プレフィックス選択、国際電話発信を行う。
―	マルチナンバー選択※1	マルチナンバーに登録している発信番号を選択する(☞P.439)。
―	2in1選択※2	2in1のモードを[デュアルモード]に設定しているときに、発信番号を選択する(☞P.441)。
―	テレビ電話画像設定	テレビ電話中に相手に送信する画像を設定する。
―	着もじ	メッセージ作成、メッセージ選択、送信メッセージ履歴表示を行う。
メール作成	メール作成	メールを作成する。電話帳にメールアドレスが登録されていない場合は、発信した電話番号が宛先に入力される。
スケジュール作成	スケジュール作成	電話番号とリダイヤル日時をスケジュールに登録する。

※1　2in1未契約時または2in1機能OFF時に表示されます。
※2　2in1利用中に表示されます。

関連操作

リダイヤル／着信履歴を削除する<削除>

1 待受画面で○(□)(リダイヤル)／○(□)(着信履歴)

2 電話番号を選んで[📷]▶[削除]▶[1件削除]▶[はい]

● すべてのリダイヤル／着信履歴を削除するとき：[📷]▶[削除]▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力して⦿▶[はい]

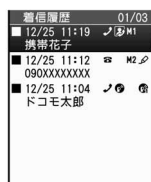
お知らせ

● リダイヤルを全件削除すると、着もじの送信メッセージ履歴も削除されます。
● リダイヤル／着信履歴を全件削除すると、AナンバーとBナンバーのすべてのリダイヤル／着信履歴が削除されます。

着信履歴で電話をかける<着信履歴>

かかってきた電話の履歴(着信履歴)は、最後にかかってきた電話番号から最大30件(プッシュトークを含む)までFOMA端末に記憶されます。

● 記憶できる件数を超えたときは、古い電話番号から順に削除されます。
● 2in1利用時、AナンバーとBナンバーの着信履歴がそれぞれ最大30件、合計60件まで記憶されます。ただし、それぞれのモードで表示される件数は最新の履歴から最大30件です。

1 待受画面で○(□)

着信履歴一覧画面

● 最新の着信履歴から順に、電話番号と日時が一覧表示されます。
● 海外などで時差補正が行われた場合は現地での日時が表示され、[⊕]が表示されます。
● 電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、メモリ番号の小さい方の名前が表示されます。
● 次のページを表示するときは○、前のページを表示するときは○を押します。

履歴の種類

アイコン	内容
♪	電話に出たものや、応答保留したもの
📼	伝言メモで用件録音／録画されたもの
☎	電話に応答しなかったもの、転送先や留守番電話サービスセンターに転送したもの、電話帳指定着信拒否(☞P.151)、電話帳指定着信許可(☞P.150)、電話帳登録外着信拒否(☞P.153)、非通知理由別着信拒否(☞P.152)、公共モード(ドライブモード)(☞P.71)の設定により着信が拒否されたもの

電話の種類

表示なし	音声電話	B	Bナンバー着信（2in1[デュアルモード]時のみ）
[icon]	テレビ電話	[icon]	着もじ
[icon]	64Kデータ通信	[icon]	プッシュトーク（相手が1人の場合）
[icon]	国際電話	[icon]	プッシュトーク（相手が複数の場合）
M0～M2	マルチナンバー着信（マルチナンバー設定時のみ）	[icon]	プッシュトーク（プッシュトークプラス利用）

待受画面に[☎]（着信あり）が表示されているとき（不在着信）	待受画面で◉→[☎]（着信あり）を選択 ● 最新の着信履歴が表示されます（☞P.74）。
着信履歴詳細画面を表示する	電話番号を選択
リダイヤル一覧画面に切り替える	[icon]（リダイヤル）

2 電話番号を選んで、電話をかける

音声電話	[icon]
テレビ電話	◉→[icon]
プッシュトーク	[icon]（[icon]）

お知らせ

- 着信履歴を削除するには、P.56を参照してください。
- 着信履歴の電話の種類は、通話中に音声電話⇔テレビ電話を切り替えても、応答時の種類が表示されます。
- 複数の相手に発信されたプッシュトークの着信履歴を選んだ場合、[icon]（[icon]）または◉を押すと全員に発信します。音声電話やテレビ電話をかけることはできません。
- 電話帳の機能別ロック中は、電話番号のみ表示されます。機能別ロックを解除すると、電話帳に登録されている名前が表示されます。
- ダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号とは異なる番号が表示される場合があります。
- 発着信履歴表示の着信履歴表示が[OFF]に設定されているときも履歴は記憶されていますが、着信履歴は表示されません。
- 着信履歴一覧画面で[icon]（受信履歴）を押すとメール受信履歴一覧画面が、[icon]（送信履歴）を押すとメール送信履歴一覧画面が表示されます（☞P.231）。
- 着もじを受信した着信履歴から発信しても、受信した着もじは送信されません。
- 着もじを受信した着信履歴の場合、着信履歴詳細画面にメッセージの内容が表示されます。

着信履歴のサブメニュー

- 下記の項目以外はリダイヤルのサブメニューと同様の操作ができます。詳しくは、P.56「リダイヤルのサブメニュー」を参照してください。

着信履歴一覧画面でのメニュー名	着信履歴詳細画面でのメニュー名	内　容
—	呼出時間表示※1	呼出時間※2を表示します。
全表示／限定表示	全表示／限定表示	全表示／限定表示を行う。

※1 着信履歴一覧画面に[♪]が表示されているもの（かかってきた電話に出たものや、応答保留中に切断されたり切断したもの）については選択できません。

※2 呼出時間は電話帳指定着信拒否、電話帳指定着信許可、電話帳登録外着信拒否、非通知理由別着信拒否、公共モード（ドライブモード）の設定により着信が拒否された場合は[0:00]と表示されます。

- 呼出動作開始時間設定が[ON]で、不在着信履歴表示が[OFF]に設定されている場合に、電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたとき、次の着信は、着信履歴には表示されません。
  - ■ 呼出動作開始時間内に電話が切断された着信
  - ■ 電波の状況が悪いために切断された着信

  ただし、サブメニューから[全表示]を選択すると着信履歴を表示させることができます（表示されていない着信履歴が存在しない場合は[全表示]を選択できません）。

リダイヤルや着信履歴から電話帳に登録する

1 待受画面で◯(□)／◯(→□)▶電話番号を選んで◎▶[電話帳登録]

2 登録方法を選択

登録方法	本体新規	追加／上書	プッシュトークグループ登録
	FOMAカード新規	プッシュトーク電話帳	

- 電話帳入力画面に、選択した電話番号が入力されています。電話帳登録の操作を続けます(☞P.102、P.107)。
- [プッシュトークグループ登録]は、プッシュトーク発着信履歴のみ選択可能です。複数の相手に対してプッシュトーク通信が行われた履歴が対象になります。また、相手側の電話番号がプッシュトーク電話帳に登録されているときにプッシュトークグループに登録できます。

着もじ

着もじを設定する

着もじとは

音声電話やテレビ電話をかけるときに同時にメッセージ(着もじ)を送信して、呼び出し中の相手の電話機に表示し、あらかじめ用件を伝えることができます。
あらかじめ着もじメッセージを登録しておくことができます。また、着もじを受信したときに表示するかどうかを設定できます。

- 全角・半角・絵文字・記号問わず10文字まで送信できます。
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金がかかりません。
- 送信画面および受信画面の着もじメッセージの前には、[✎]が表示されます。
- 着もじが表示されるのは着信中(発信中)のみです。通話を開始したら着もじは消えます。
- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

着もじを受信したときの着信画面

音声電話の場合

テレビ電話の場合

- 受信した着もじは、着信履歴詳細画面でもメッセージの内容を確認できます(☞P.57)。
- オールロック中や着もじの機能別ロック中は、着もじを受信してもディスプレイに表示されません。ロックを解除すると、着信履歴詳細画面でメッセージの内容を確認できます。

着もじメッセージの編集や設定をする

■ 着もじメッセージを登録する＜メッセージ作成＞

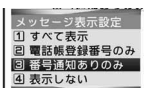
着もじメッセージは最大10件まで登録できます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[その他のNWサービス]▶[着もじ]▶[メッセージ作成]

2 番号を選んで▤(編集)▶メッセージを入力して◉

- 登録している着もじメッセージを確認するときは、番号を選択します。

着もじを表示するかどうかを設定する<メッセージ表示設定>

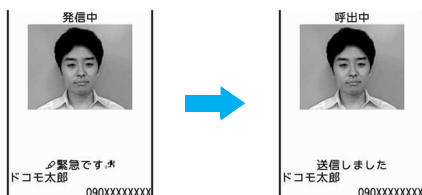
1 **待受画面で⦿ ▶ [設定] ▶ [その他のNWサービス] ▶ [着もじ] ▶ [メッセージ表示設定] ▶ 表示方法を選択**

着もじメッセージを付けてダイヤルする<着もじ>

1 **待受画面で相手先電話番号を入力して📷 ▶ [着もじ]**

- 電話帳から着もじを付けて発信するときは、待受画面で📖を押して名前を選択し、📷を押して[着もじ]を選択します。

2 **着もじメッセージを選択**

新規作成する	[メッセージ作成]→着もじメッセージを入力して⦿
登録している着もじメッセージから選択する	[メッセージ選択]→着もじメッセージを選択
送信メッセージ履歴から選択する	[送信メッセージ履歴]→着もじメッセージを選択 ● 送信メッセージ履歴を1件削除するときは、着もじメッセージを選んで📷を押し、[1件削除]→[はい]を選択します。 ● すべての送信メッセージ履歴を削除するときは、📷を押し[全件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]を選択します。

3 **📞(音声電話)/📱(テレビ電話)**

- 着もじが相手に届いた場合[送信しました]と表示され、送信料金がかかります。

お知らせ

- 送信メッセージ履歴は、最後に送信したものから最大10件まで記憶されます。
- 呼出動作開始時間設定で設定した時間より呼出時間が短い着信でも、着もじは表示され、送信料金がかかります。
- 電波状態によって、相手側の端末に着もじが届いていても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合も、送信料金はかかります。
- 着もじの機能別ロック中は、登録されている着もじや送信メッセージ履歴から着もじメッセージを選ぶ場合、端末暗証番号の入力が必要です。
- 海外での利用時には着もじを送受信することはできません。
- 音声自動再発信時には、テレビ電話発信時の着もじが自動で送信されます。
- 着もじはプッシュトークに対応していません。
- 着信側が以下の状態の場合には、着もじを付けて発信しても着もじは表示されず、送信料金はかかりません。
  - ■ 相手が対応端末でないとき
  - ■ メッセージ表示設定で許容している着信以外の着信のときなど

  さらに、着信側が以下の設定・状態の場合には、送信側の画面には送信結果も表示されません(着信側の着信履歴に、着もじは保存されません)。
  - ■ 圏外のときや電源が入っていないとき
  - ■ 公共モード(ドライブモード)を設定しているとき
  - ■ 伝言メモの応答時間を[0秒]に設定しているときなど

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

■ 発信者番号を通知しないとき

1 待受画面で相手先電話番号を入力して[カメラ]▶[番号通知設定]▶[番号非通知]▶[発信](音声電話)／[i](テレビ電話)

■ 発信者番号を通知するとき

1 待受画面で相手先電話番号を入力して[カメラ]▶[番号通知設定]▶[番号通知]▶[発信](音声電話)／[i](テレビ電話)

お知らせ

- 電話帳やリダイヤル、着信履歴の詳細画面で、サブメニューを表示して、番号通知／番号非通知を選び電話をかけることもできます。
- 「186」を入力してから相手先電話番号を入力して[カメラ]を押し、[番号通知設定]→[番号非通知]を選択した場合、発信者番号は通知されます。
- 相手先電話番号を入力し、プレフィックス選択から[186]を付けた場合は発信者番号は通知されます。
- 「184」を入力してから相手先電話番号を入力して[カメラ]を押し、[番号通知設定]→[番号通知]を選択した場合、発信者番号は通知されません。
- 相手先電話番号を入力し、プレフィックス選択から[184]を付けた場合は発信者番号は通知されません。
- 「186」や「184」を付けて電話をかけたときは、別のリダイヤルとして記憶されます。
- プッシュトーク発信する場合、「186」や「184」を入力してから相手先電話番号入力する方法では設定できません。「186」や「184」を付けて発信しても、ネットワークサービスの発信者番号通知設定に従って発信されます。

関連操作

ネットワークサービスの発信者番号通知設定に従って発信する
待受画面で相手先電話番号を入力して[カメラ]▶[番号通知設定]▶[NW設定に従う]▶[発信](音声電話)／[i](テレビ電話)

「186」を付けてダイヤルする(発信者番号を通知する)
待受画面で[1][8][6]▶相手先電話番号を入力して[発信](音声電話)／[i](テレビ電話)

「184」を付けてダイヤルする(発信者番号を通知しない)
待受画面で[1][8][4]▶相手先電話番号を入力して[発信](音声電話)／[i](テレビ電話)

お知らせ

通話ごとの発信者番号通知について
- ネットワークサービスの発信者番号通知設定にかかわらず有効です。

ポーズダイヤル

プッシュホン信号を手早く送り出す

チケットの予約や銀行の残高照会サービスの電話番号と送信するメッセージ(番号)などの組み合わせを電話帳に登録しておくと、簡単な操作で送信できます。

電話帳にプッシュホン信号を登録する

1 電話帳に電話番号を入力(☞P.102の操作3)して◯ ▶ 送信する番号を入力する

- ◯を押すとポーズ[P]が入力されます。また、TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドの上で指先を上にスライドさせても入力できます。
- 番号を入力したあと、◯を押すと続けて番号を入力できます。

2 ◉ ▶ 電話帳の他の項目を入力する

- 詳しくは、P.102「基本的な登録のしかた」を参照してください。

プッシュホン信号を利用してメッセージを送る

- ポーズダイヤルは音声電話のみに対応しています。

1 プッシュホン信号を登録した電話帳から音声電話をかける

- 詳しくは、P.109～P.113を参照してください。
- 電話がつながると、登録した[P]以降の番号が表示されます。

2 タイミングを合わせて[i](PB送信)

- [P]以降の番号がプッシュホン信号で送信されます。
- [P]で区切った複数の番号を登録しているときは、[i](PB送信)を押すたびに送信されます。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

通話中にダイヤルボタンで送信する

通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュホン信号を1つずつ送信できます。

1 電話をかけ、つながったら送信する番号のダイヤルボタンを押す

- 押したボタンの番号が、プッシュホン信号として送信されます。
- プッシュホン信号でメッセージを送るときは、80桁以上入力できます(最初に入力した順に消去されます)。

WORLD CALL

国際電話を利用する

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。

[通話方法] 009130 ➡ 010 ➡ 国番号 ➡ 地域番号(市外局番) ➡ 相手先電話番号 ➡ [発信]

- 上記の操作方法を、FOMA端末の電話帳に登録できます。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください(ただし、イタリアの一般電話などにかける場合は、「0」が必要です)。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月の携帯電話の通話料金と合わせてご請求いたします。

電話／テレビ電話

次ページへ続く▶▶

- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- WORLD CALLをご利用された場合は、直前の通話時間の概算がFOMA端末の画面で確認できます（☞P.412）。
- 電話帳、着信履歴、リダイヤルを利用するときは、「009130010」を自動的に付加して電話をかけることができます。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（前ページのダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接、お問い合わせください。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

テレビ電話対応の海外の特定３G携帯電話をご利用のお客様に対し、前ページのダイヤル方法のあとにテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

国際ダイヤルアシスト設定

国際電話の設定をする

国際アクセス番号／国番号の自動付加を設定する<自動変換機能設定>

日本から国際電話をかけるときに、電話番号の先頭に［＋］を入力すると、自動的に国際アクセス番号に変換して発信できます。また、海外で電話をかけるときに、電話番号の先頭の［０］を自動的に国番号に変換して発信できます。

1 **待受画面で⦿▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［その他の設定］▶［国際ダイヤルアシスト設定］▶［自動変換機能設定］**

2 **［自動国際プレフィックス変換］を選択▶［ON］**
- 自動付加する国際アクセス番号は、国際プレフィックス設定で設定できます。

3 **［自動国番号変換設定］を選択▶［ON］▶自動付加する国番号を選択**
- 国番号設定で登録されている国番号から選択できます。

4 **［i］（完了）**

■［＋］を入力して国際電話をかける

- ［0］を１秒以上押すと［+］を入力できます。

1 **待受画面で［＋］、国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号を入力して［発信］**
- ［+］を国際アクセス番号に変換して付加した番号が表示されます。

2 **［発信］**
- 国際電話を発信します。
- ［+］を国際アクセス番号に変換しないときは、［元の番号で発信］を選択します。

WORLD CALL以外の番号を設定する<国際プレフィックス設定>

日本から国際電話をかけるときに利用する国際アクセス番号を最大10件登録できます。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ダイヤルアシスト設定]▶[国際プレフィックス設定]▶新規に登録する番号を選択**

すでに登録されている番号を変更する	番号を選択→[変更]
すでに登録されている番号を削除する	番号を選択→[削除]→[はい]
登録した番号を自動付加対象に設定する	番号を選択→[自動付加／解除] ● 名称の右に[✪]が表示されます。 ● 自動付加を解除するときは、再び同様の操作を行います。

2 **名称を入力して◉▶付加番号を入力して◉**

- 名称は、最大全角7文字(半角14文字)まで入力できます。
- 付加番号は、16桁まで入力できます。
- 付加番号を入力するとき、0を1秒以上押すと[+]を入力できます。

国際アクセス番号を選んで国際電話をかける<国際電話発信>

国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号のみを入力して、国際電話をかけることができます。

1 **待受画面で国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号を入力して📷▶[番号付加設定]**

2 **[国際電話発信]▶国際アクセス番号を選択▶✆**

関連操作

電話帳から発信する
電話帳の詳細画面で📷▶[番号設定]▶[番号付加設定]▶[国際電話発信]▶国際アクセス番号を選択▶✆

着信履歴やリダイヤルから発信する
着信履歴、リダイヤルの詳細画面で📷▶[番号付加設定]▶[国際電話発信]▶国際アクセス番号を選択▶✆

国番号を設定する<国番号設定>

海外から国際電話をかけるときに利用する国番号を最大30件登録できます。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ダイヤルアシスト設定]▶[国番号設定]▶新規に登録する番号を選択**

すでに登録されている国番号を変更する	番号を選択→[編集]
すでに登録されている国番号を削除する	番号を選択→[削除]→[はい]

2 **国名を入力して◉▶国番号を入力して◉**

- 国名は、最大全角7文字(半角14文字)まで入力できます。
- 国番号は、[+]を含めて最大6桁まで入力できます。

プレフィックス設定

電話番号の先頭に付加する番号を設定する

国際アクセス番号など、電話番号の先頭に付けるプレフィックス番号を最大5件まで登録できます。電話帳、着信履歴、リダイヤルからの発信時にも付加できます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[プレフィックス設定]▶新規に登録する番号を選択

すでに登録されている番号を変更する	番号を選択→[変更]
すでに登録されている番号を削除する	番号を選択→[削除]→[はい]

2 プレフィックス番号を入力して◉

- 0を1秒以上押すと[+]を入力できます。
- 最大16桁まで入力できます。

プレフィックス番号を付けて電話をかける<プレフィックス選択>

1 待受画面で電話番号を入力して📷▶[番号付加設定]

2 [プレフィックス選択]▶プレフィックス番号を選択▶✆

関連操作

電話帳から発信する
電話帳の詳細画面で📷▶[番号設定]▶[番号付加設定]▶[プレフィックス選択]▶プレフィックス番号を選択▶✆

着信履歴やリダイヤルから発信する
着信履歴、リダイヤルの詳細画面で📷▶[番号付加設定]▶[プレフィックス選択]▶プレフィックス番号を選択▶✆

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

サブアドレスを使用すると、ISDN端末に電話をかけるときに、特定の端末を呼び出すことができます。

- サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。Vライブでコンテンツを選択するときにも利用します。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[サブアドレス設定]▶[ON]

サブアドレスを指定して電話をかける

- 電話番号とサブアドレスは相手にお問い合わせください。

1 待受画面で電話番号、✱、サブアドレスの順にダイヤルして✆

お知らせ

- 電話番号の先頭に「¥」を入力したり、「186」、「184」、プレフィックス設定で付加された番号のあとに「¥」を入力すると、「¥」以降は電話番号とみなされます。

再接続機能

途切れた通話を自動的に再接続する

● 再接続機能はプッシュトーク通信中も有効です。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[通話中設定]▶[再接続機能]▶アラーム音を選択**

アラーム音	アラームあり(高音)	アラームあり(低音)	アラームなし

お知らせ

● 電波の状態により再接続可能な時間は異なります。目安は約10秒間です。
● 再接続されるまでの間(最長10秒間)、相手は無音状態になります。また、この間も通話料金がかかります。

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

● 通常は、[ON]でのご使用をおすすめします。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[通話中設定]▶[ノイズキャンセラ]▶[ON]**

お知らせ

● ノイズキャンセラでは、通話を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や、話しかたにより、音声の聞こえかたが変わることがあります。

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01(別売)やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01(別売)をご利用時には、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01(別売)が必要です。

お知らせ

● 着信時の画面表示や着信音などの動作、公共モード(ドライブモード)設定中の着信動作は、FOMA端末の設定に従います。
● ハンズフリー対応機器から音を鳴らすように設定している場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を[サイレント]に設定していても、電話の着信時にハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
● FOMA端末から音を鳴らすように設定している場合、通話中にFOMA端末を閉じたときはクローズ動作設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らすように設定している場合は、クローズ動作設定にかかわらずFOMA端末を閉じても通話は継続されます。
● 伝言メモ設定中は、ハンズフリー対応機器と接続中でも伝言メモの設定に従います。
● ハンズフリー対応機器の特性や仕様によっては、FOMA端末の一部の通話操作ができないことがあります。

電話／テレビ電話を受ける

電話の着信は、着信音、着信ランプ、バイブレータなどで確認できます。

- テレビ電話の場合、お買い上げ時はキャラ電の[キャラ（女性）]が相手に送信されます。送信する代替画像は、代替画像設定（☞P.81）で設定できます。お互いの顔を見ながらテレビ電話をする場合は、P.80「相手側に送信する映像について設定する」を参照してください。
- テレビ電話を受けるときは、お互いの映像を見ながら通話できるように、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク（☞P.415）を利用するか、ハンズフリー（☞P.82）を利用してください。

電話／テレビ電話

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

電話帳に名前と静止画を登録している場合

- 発信者番号が通知されたときは、電話番号が表示されます。電話帳に相手の名前と電話番号が登録されているときは、名前もあわせて表示されます。
- 電話帳にピクチャーコール（静止画または動画／ｉモーション）が設定されているときは（☞P.104）、名前や電話番号に加えて、設定された画像が表示されます。
  発信者番号が通知されないときは、表示されません。

音声電話のとき

- 着信中は[着信中]と表示されます。

テレビ電話のとき

- 着信中は[テレビ電話着信中]と表示されます。

着もじを受信した場合

- 着もじを受信したときは、メッセージが表示されます（☞P.58）。
- 発信者番号が通知されないときは、非通知理由のメッセージが表示されます。
  [非通知設定]、[公衆電話]、[通知不可能]（☞P.152）

2 [通話キー]

- 着信中は、次のボタンで操作ができます。

	FOMA端末を開いているとき	FOMA端末を閉じているとき
応答保留（☞P.70）	[終話キー]	−
クイックサイレント（☞P.127）	[#]	[▲Eco]（Eco）／[▼]／[カメラ]（カメラ）／[P]（P）
クイック伝言メモ（☞P.76）	[7]を１秒以上押す	−
マナーモード設定／解除（☞P.127）	[#]を１秒以上押す	[▼]を１秒以上押す
伝言メモ録音※1／着信転送／留守転送／着信拒否※2	[カメラ]	−
カメラ映像で応答（テレビ電話のみ）	[i]（自画像） ● 自分の映像を送信する場合は、P.80を参照してください。	−

※１ テレビ電話のときは、[テレビ電話伝言メモ]になります。

※２ ワンセグ起動中にテレビ電話を着信した場合は、[メール]（着信拒否）を押して着信拒否することもできます。

- テレビ電話の場合、エニーキーアンサーを[ON]に設定していても、上記以外のボタン操作は無効です。

音声電話のとき

- エニーキーアンサーで電話を受けることができます（☞P.68）。

テレビ電話のとき

- 代替画像設定で設定したキャラ電や静止画が送信されます（☞P.81）。
- 相手側から映像が送信されてこないときには、黒い画面が表示されます。

通話が終わったら[終話キー]

● テレビ電話の場合は、[キー]([キー])を1秒以上押しても操作できます。

お知らせ

● ビル電話などダイヤル市外通話のできない電話機から、FOMA端末へ電話をかけることはできません。
● 電話帳に登録されていない相手や電話番号を通知してこない相手から着信があったときに、設定した秒数後に着信音が鳴るようにできる呼出動作開始時間設定や、電話帳に登録されていない相手からの電話をつながらないようにに設定できる電話帳登録外着信拒否を設定できます。
● 特定の電話帳をリストに登録して、着信拒否／着信許可を設定できます。
● 留守番電話サービスの着信通知を利用すると、FOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内になったときに着信があったことを知らせるSMSを受信します。その場合は電話帳に登録されている相手からの着信のときは、本文に名前が表示されます。
● 通話中にビューアポジションにしたときの動作は、クローズ動作設定に従います。
● 公共モード(ドライブモード)設定中に電話がかかってきたときは、着信音が鳴らず、着信ランプも点滅しません。着信履歴には記憶されます。
● 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合、設定した呼出時間が経過すると、留守番電話サービスに接続し、メッセージ録音／録画が開始されます。また、設定した呼出時間内に応答すると、留守番電話サービスに接続せずに、そのまま通話できます。

テレビ電話のとき

● 送信する代替画像は、代替画像設定で設定できます。
● 転送でんわサービスを「開始」に設定しても、転送先が3G-324M(☞P.50)に準拠したテレビ電話対応機種でないと、テレビ電話は転送されません。転送先をあらかじめご確認のうえ、転送設定してください。

編集中に電話がかかってきたとき

● 電話帳やｉモードメール、SMS、着もじメッセージなどの編集中に、電話の着信があると、編集はいったん中断されます。このとき、編集中のデータは自動保存され、通話が終わったあと、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。ただし、変換途中で確定前の文字については、正しく保存されていない場合がありますので、ご注意ください。

登録しているマルチナンバーに着信があると

● 着信した番号に応じて[着信中]／[テレビ電話着信中]の文字の右にマルチナンバーの名称が表示されます。

■ 音声電話の通話中に「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえたとき

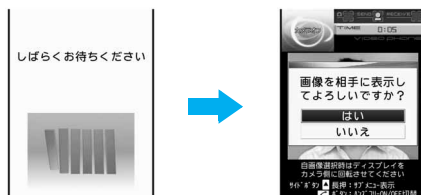
留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンのいずれかをご契約いただいている場合、通話中着信設定を「開始」に設定し、通話中着信動作選択を[通常着信]に設定すると、通話中に別の音声電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、以下の動作が可能です。

転送でんわサービス	着信中に[キー]を押して[着信転送]を選択して登録転送先へ転送できます(☞P.433)。
留守番電話サービス	着信中に[キー]を押して[留守転送]を選択して留守番電話サービスセンターへ転送できます(☞P.430)。
キャッチホン	通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます(☞P.432)。

音声電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける

相手(発信側)の操作で音声電話⇔テレビ電話を切り替えます。

- 自分(着信側)から切り替えることはできません(音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種でご利用いただけます)。
- 自分のFOMA端末のテレビ電話切替機能通知(☞P.84)を「開始」に設定しておく必要があります。

1 通話中に、相手がテレビ電話／音声電話に切り替える

音声電話からテレビ電話へ切り替える場合

- 切り替えには、約5秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。切り替え中は、[しばらくお待ちください]と表示され、音声ガイダンスが流れます。

音声電話からテレビ電話に切り替えたとき

- 相手がテレビ電話に切り替えたときは、音声ガイダンスが流れたあと、左の画面が表示されます。操作2に進みます。

テレビ電話から音声電話に切り替えたとき

- 相手が音声電話に切り替えたときは、音声ガイダンスが流れたあと、音声電話に切り替わります。そのまま音声電話を始めてください。

2 [はい]

音声電話からテレビ電話に切り替えたとき

- 自分側のカメラ映像が送信されます。
- [いいえ]を選択すると、自分側のカメラ映像は送信されません。相手側の画面には、[テレビ電話代替]に[カメラオフ]という文字が重なって表示されます。

お知らせ

- マルチアシスタントから他の画面を表示したとき、保留中、パケット通信中、FOMA端末を閉じているときなどは、切り替えられません。また、サブメニューから機能を実行しているときは切り替えられないことがあります。

エニーキーアンサー

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする

エニーキーアンサーを設定すると、通常時のボタン以外でも通話を開始することができます。

	通常時	エニーキーアンサー設定時
音声電話	[発信]	[1]～[9]、[0]、[＊]、[●]、[十字]、[サイド]、[メール]、[電話帳]、[CLR]
テレビ電話	[発信]、[サイド]	－
プッシュトーク	[発信]、[P]([P])	[1]～[9]、[0]、[＊]、[●]、[サイド]、[カメラ]、[メール]、[電話帳]、[CLR]、[MULTI]

- 保留中および応答保留中の再開／開始の操作については、P.53、P.70を参照してください。

1 待受画面で[●]▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[着信時設定]▶[エニーキーアンサー]▶[ON]

クローズ動作設定

FOMA端末を閉じて通話を終了／保留する

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[クローズ動作設定]▶クローズ動作を選択

電話／テレビ電話	保留	閉じたときに保留する(保留音あり)
	終話	閉じたときに通話を終了する
	ミュート	閉じたときにミュートする(保留音なし)
プッシュトーク	終話	閉じたときに通信を終了する
	スピーカ通話	閉じたときに相手の声がスピーカから聞こえるようにする

お知らせ

- [保留]に設定しているときは、保留音が流れます。保留音は変更(☞P.71)できます。テレビ電話の場合、相手には保留画像設定で設定した画像が送信されます。
- [ミュート]に設定しているときは、保留音は鳴りません。テレビ電話の場合、代替画像設定で設定したキャラ電や静止画が送信されます。
- [保留]または[ミュート]に設定している場合、再び通話するときは、FOMA端末を開きます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続しているときは、[保留]、[ミュート]、[終話]の設定にかかわらず、FOMA端末を閉じても通話が継続されます。
- 音声電話／テレビ電話の場合、FOMA端末を閉じた状態でイヤホンマイクを抜くと、[ミュート]、[終話]に設定中はミュート状態になり、[保留]に設定中は保留状態になります。再びイヤホンマイクを接続するか、FOMA端末を開くと、通話できます。プッシュトークの場合、FOMA端末を閉じた状態でイヤホンマイクを抜くと、[終話]、[スピーカ通話]の設定にかかわらず、スピーカ通話となります。
- プッシュトークの場合、[スピーカ通話]に設定しているときは、FOMA端末を開くとPTハンズフリー設定の通信状態に戻ります。

受話音量

通話中に相手の声の音量を調節する

通話中に相手の声の大きさを10段階で調節できます。

- 受話音量を上げて通話すると、周囲の状況により雑音が発生することがあります。適切な音量でご使用ください。
- 通話中や待受中に調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。

1 通話中に◌̇／◌̣

受話音量調節画面

- (Eco)／を押しても操作できます。
- 待受中の受話音量調節については、P.123を参照してください。
- テレビ電話の通話中にを押し、[受話音量]を選択しても操作できます。

2 ◌̇／◌̣で音量を調節する

- (Eco)／を押しても操作できます。
- 音量調節後、◉、CLRを押す、または、約2秒経過すると元の画面に戻ります。テレビ電話の場合、()、()を押しても元の画面に戻ります。

電話／テレビ電話

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

- 応答保留中も、相手に通話料金がかかります。
- 転送でんわサービスや留守番電話サービスをご契約されている場合は、転送先への転送や留守番電話サービスセンターへの接続ができます(☞P.67)。

1 着信音が鳴っている間に

- 音声電話をかけてきた相手には、電話はつながった状態のまま、応答保留音(☞P.70)が流れ、保留されます。
- テレビ電話をかけてきた相手には、電話はつながった状態のまま、応答保留音(☞P.70)が流れ、自分のFOMA端末で設定した応答保留画像(☞P.81)に[応答保留]という文字が重なって表示されます。
- 応答保留中に電話を切るときは、を押します。テレビ電話の場合、()を1秒以上押しても電話を切ることができます(どちらも着信履歴に記憶されます)。
- 応答保留中に相手が電話を切ったときも着信履歴に記憶されます。

2 電話に出られるようになったら

- テレビ電話の場合は、を押すか、を1秒以上押すとカメラ映像を送信して電話に出ることができます。

応答保留音

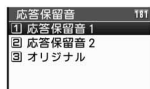
応答保留音を設定する

応答保留中に相手へ流れるガイダンスを設定します。

- [応答保留音1](日本語)と[応答保留音2](英語)、または録音した音声メモを選択できます。

応答保留音1…ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。

応答保留音2…I can't take your call now. Please hold the line for a moment or call me back later, thank you.

1 待受画面で ▶[設定]▶[音･バイブ･マナー]▶[保留･応答保留音]▶[応答保留音]▶応答保留音を選択

ガイダンスの言語を設定する	[応答保留音1]:日本語/[応答保留音2]:英語
音声メモを録音してから設定する	[オリジナル]→[録音]→録音する→[再生]→メモを選んで ● 録音中に途中で録音を止めるときはを押します。
録音した待受中音声メモを設定する	[オリジナル]→[再生]→メモを選んで
音声メモに機能別ロックを設定する	[オリジナル]→[機能別ロック]→端末暗証番号を入力して→[ON] ● 機能別ロックを解除するとき:[OFF]

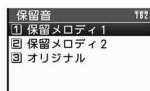
- [応答保留音1]または[応答保留音2]を選んでを押すと、応答保留音が再生されます。もう一度を押すと再生が停止され、元の画面に戻ります。

保留音

通話保留音を設定する

通話を保留中に相手へ流れる保留音を設定します。

● 通話中の保留音は受話音量と同じ音量で流れます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[保留・応答保留音]▶[保留音]▶保留音を選択

保留メロディを設定する	[保留メロディ 1]／[保留メロディ 2]
音声メモを録音してから設定する	[オリジナル]→[録音]→録音する→[再生]→メモを選んで[■] ● 録音中に途中で録音を止めるときは◉を押します。
録音した待受中音声メモを設定する	[オリジナル]→[再生]→メモを選んで[■]
音声メモに機能別ロックを設定する	[オリジナル]→[機能別ロック]→端末暗証番号を入力して◉→[ON] ● 機能別ロックを解除するとき：[OFF]

● [保留メロディ 1]または[保留メロディ 2]を選んで[■]を押すと、保留音が再生されます。もう一度[■]を押すと再生が停止され、元の画面に戻ります。

公共モード(ドライブモード)

公共モード(ドライブモード)を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所(電車、バス、映画館など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

● 公共モードの設定／解除は、待受中のみできます(画面に[圏外]が表示されているときでも可能です)。
● 公共モード設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。
● 本機能は、データ通信時はご利用できません。
● 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に[非通知設定]の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます(公共モードのガイダンスは流れません)。

1 待受画面で[✱]を1秒以上押す

● 公共モードが設定され、[🚗]が表示されます。
● 着信時に相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れます。
● マナーモードを同時設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

公共モード(ドライブモード)を解除する

1 待受画面で[✱]を1秒以上押す

● 公共モードが解除され、[🚗]が消えます。

公共モード(ドライブモード)を設定すると

お客様のFOMA端末に音声電話、テレビ電話やプッシュトークがかかってきても、着信音は鳴りません。ディスプレイには[☎](着信あり)が表示され、着信履歴に記憶されます(☞P.56)。

- 音声電話をかけてきた相手の方には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。テレビ電話をかけてきた相手の方には、公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。ただし、電源が入っていない場合や電波が届かないところにいる場合は、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスは流れず、圏外時と同じガイダンスが流れます。
- ｉモードメール、SMSやメッセージR／Fは、着信バイブレータを設定しても振動しません。また、着信音も鳴りませんが自動的に受信し着信のマークが表示されます。エリアメールを受信したときもブザー音・バイブレータ・着信ランプは動作しません。
- データ通信を着信したときも着信バイブレータ・着信音・着信ランプは動作しません。
- プッシュトーク着信した場合は応答を行わず、発信者のディスプレイには[接続できませんでした]と表示されます。3人以上の会話では、参加メンバーに対して、運転中であることが伝わります。
- GPS機能の位置情報の提供を要求されたとき、サービス毎の利用設定で、位置提供を[許可]に設定している場合、位置提供の確認画面のあと、GPS測位画面が表示されてGPS測位後位置提供されますが、位置提供／許可音、位置提供／毎回確認音、バイブレータ、着信ランプは動作しません。また、サービス毎の利用設定で、位置提供を[毎回確認]に設定している場合、位置情報は提供されません。

公共モード(ドライブモード)設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名		音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス(☞P.430)		着信音は鳴らず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため留守番電話サービスに接続する旨のガイダンスが流れ、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。着信履歴には記憶されます。※1	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス(☞P.433)		接続されず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため転送する旨のガイダンスが流れ、指定した転送先に転送されます。着信履歴には記憶されます。※2	接続されず、すぐに転送されます。ただし、転送先が3G-324M(☞P.50)に準拠したテレビ電話以外の場合は切断されます。着信履歴には記憶されます。
キャッチホン(☞P.432)		着信音は鳴らず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴には記憶されます。	着信音は鳴らず、相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴には記憶されます。
迷惑電話ストップサービス(拒否登録した電話番号から着信した場合)(☞P.435)		接続されず、相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴にも記憶されません。	相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴にも記憶されません。
番号通知お願いサービス(☞P.436)	電話番号を通知していない場合	接続されず、番号通知お願いのガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴にも記憶されません。	番号通知お願いの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴にも記憶されません。
	電話番号を通知している場合	着信音は鳴らず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴には記憶されます。	公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴には記憶されます。

※1 留守番電話サービスの呼出時間を[0秒]に設定している場合は、ガイダンスは流れず、すぐに留守番電話サービスセンターに接続されます。着信履歴にも記憶されません。

※2 転送でんわサービスの呼出時間を[0秒]に設定している場合は、ガイダンスは流れず、すぐに転送されます。着信履歴にも記憶されません。

お知らせ

- 公共モード設定中にアラーム時刻になっても、アラーム音は鳴りません。着信ランプ／バイブレータの動作もしません。

公共モード(電源OFF)を利用する

公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面で[*][2][5][2][5][1]▶[発信]

- 公共モード(電源OFF)が設定されます(待受画面上の変化はありません)。
- 公共モード(電源OFF)設定後、電源を切った際の着信時に、携帯電話の電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れます。

公共モード(電源OFF)を解除する

1 待受画面で[*][2][5][2][5][0]▶[発信]

- 公共モード(電源OFF)が解除されます。

公共モード(電源OFF)の設定を確認する

1 待受画面で[*][2][5][2][5][9]▶[発信]

- 現在の設定状況を確認できます。

公共モード(電源OFF)を設定すると

公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。プッシュトーク着信した場合は応答を行わず、発信者のディスプレイには[接続できませんでした]と表示されます。3人以上の会話では、参加メンバーに対して、不参加であることが伝わります。

公共モード(電源OFF)に設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名		音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス(☞P.430)		携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため留守番電話サービスセンターに接続する旨のガイダンスが流れ、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。※1	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス(☞P.433)		携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため転送する旨のガイダンスが流れ、指定した転送先に転送されます。公共モード(電源OFF)のガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います(☞P.434)。※2	公共モード(電源OFF)の映像ガイダンスは流れず、すぐに転送されます。転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は、転送されずに切断されます。
迷惑電話ストップサービス(拒否登録した電話番号から着信した場合)(☞P.435)		相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れたあと、切断されます。	相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。
番号通知お願いサービス(☞P.436)	電話番号を通知していない場合	番号通知お願いのガイダンスが流れたあと、切断されます。	番号通知お願いの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。
	電話番号を通知している場合	公共モード(電源OFF)のガイダンスが流れたあと、切断されます。	公共モード(電源OFF)の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。

※1 留守番電話サービスの呼出時間を[0秒]に設定している場合は、ガイダンスは流れず、すぐに留守番電話サービスセンターに接続されます。着信履歴にも記憶されません。

※2 転送でんわサービスの呼出時間を[0秒]に設定している場合は、ガイダンスは流れず、すぐに転送されます。着信履歴にも記憶されません。

不在着信

不在着信を確認する

かかってきた電話に出られなかったとき、待受画面には[☎](着信あり)と着信件数が表示されます(不在着信表示)。

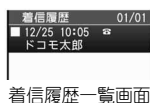
- 不在着信を確認するか、待受画面に[着信あり　○件]が表示されているときにCLRを1秒以上押すと、ストックアイコンの表示が消えます。
- 不在着信を着信ランプでお知らせすることができます(☞P.138)。

1 待受画面に[☎](着信あり)が表示されているときに◉

- ○(✚□)を押しても、着信履歴を確認できます(☞P.56)。

2 [☎](着信あり)を選択

着信履歴一覧画面

- 不在着信には[☎]が表示されます。

3 電話番号を選択

- 不在着信の内容が表示されます。
- 着信履歴と同様の操作で、電話をかけたり、他の着信履歴を確認できます。

伝言メモ／テレビ電話伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときにFOMA端末が応答して伝言を預かることができます。音声電話がかかってきた場合は、音声ガイダンスを流して相手の用件を録音します。テレビ電話がかかってきた場合は、応答画像で応対して相手の画像と音声を録画します。

- 伝言メモはFOMA端末の電源が切れていたり、電波の届かない場所にいるときには利用できません。ネットワークサービスの留守番電話サービスをあわせてご利用になると便利です。
- 音声電話伝言メモは3件(1件あたり約15秒)まで録音できます。通話中音声メモや待受中音声メモを録音したときは、それらの件数も含めて3件です。
- テレビ電話伝言メモは2件(1件あたり約15秒)まで録画できます。
- 待受画面に表示される伝言メモのマークの件数は、音声電話伝言メモとテレビ電話伝言メモ、音声メモの合計です。
- マナーモード設定中は、伝言メモの設定／解除はできません。

伝言メモ／テレビ電話伝言メモを設定する

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[伝言メモ設定]▶[伝言メモ設定]▶[ON]

伝言メモ表示

- 伝言メモが設定され、ディスプレイ上部に[📼]が表示されます。
- 伝言があると、[📼](1件の場合)[📼](2件の場合)…のように件数を表すマークが表示されます。
- 音声電話伝言メモ3件とテレビ電話伝言メモ2件が録音／録画されると、[📼]が表示され、それ以降、音声電話やテレビ電話がかかってきても伝言メモで応答しません。不要な用件を削除すると、伝言メモが再び有効になります。

お知らせ

- 留守番電話サービスを利用すると、1件あたり最長3分間、それぞれ20件まで録音／録画できます。設定しているときは、音声電話伝言メモ3件、またはテレビ電話伝言メモ2件が録音／録画されていても留守番電話サービスセンターで用件をお預かりします。
- 伝言メモの再生と削除については、P.77を参照してください。
- 伝言メモ設定またはマナーモード設定により伝言メモを設定しているときは、伝言メモが自動的に応答します。
- テレビ電話伝言メモの応答画像は、テレビ電話時応答画像で設定できます。

伝言メモを解除する

1　待受画面で◉▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［伝言メモ設定］▶［伝言メモ設定］▶［OFF］

● 伝言メモが解除され、ディスプレイ上部の［📼］が消えます。

伝言メモ／テレビ電話伝言メモを設定したときは

1　電話がかかってくると、伝言応答時間（☞P.76）のあとに伝言メモが応答する

音声電話伝言メモ
応答中

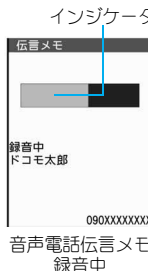
テレビ電話伝言メモ
応答中

● 音声電話をかけてきた相手には、音声ガイダンスが流れます。
● テレビ電話がかかってきたときは、［伝言メモ準備中お待ちください］と表示されたあと、テレビ電話伝言メモ用の応答画像が表示されます。テレビ電話をかけてきた相手には、伝言メモメッセージが流れ、応答画像が送信されます。
● 伝言メモ応答中、録音中、録画中に📞で電話に出ることができます。また、テレビ電話のときは、▣を押すか、▯を１秒以上押すとカメラ映像を送信できます。

2　相手の用件を録音／録画する

インジケータ

音声電話伝言メモ
録音中

時間

テレビ電話伝言メモ
録画中

● 録音を開始するときに、相手に「ピー」と発信音が流れます。
● インジケータ、時間は目安です。
● 用件の録音／録画が終わると、元の画面に戻ります。
● 音声電話伝言メモのときは、録音中は相手の声が受話口から聞こえます。マナーモード設定時は、受話口から相手の声は聞こえません。
● テレビ電話伝言メモのときは、録画中は画面に相手の画像は表示されませんが、実際は相手の画像も録画しています。
● 伝言メモが３秒以下の場合、録音／録画されないことがあります。
● 伝言メモの録音／録画中に電話に出た場合、電話に出るまでの間に録音／録画された内容は記憶されます。

お知らせ

● FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって録音／録画内容が消失する場合があります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、音声電話伝言メモ、テレビ電話伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
● 電波の状態により録音／録画内容が途切れたりすることがあります。
● テレビ電話伝言メモの応答中または録画中、相手には、自分のFOMA端末で設定した応答画像に［伝言メモ応答中］または［伝言メモ録画中］という文字が重なって表示されます。
● 伝言メモ録音／録画中は別の電話がかかってきても受けることができません。相手には話中音が流れます。
● 伝言メモのガイダンスは録音／録画できません。
● 公共モード（ドライブモード）を設定しているときは、伝言メモは動作しません。

関連操作

応答メッセージが始まるまでの時間を設定する<伝言応答時間>

待受画面で⦿▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［伝言メモ設定］▶［伝言応答時間］▶応答時間（3桁：000〜120秒）を入力して⦿

- 着信音を鳴らさずに、伝言メモが応答するようにするとき：応答時間に［000秒］を入力

応答メッセージを設定する<応答メッセージ>

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［伝言メモ設定］▶［応答メッセージ］
2 メッセージの種類を選択
  - オリジナルの応答メッセージを録音するとき：［オリジナル］▶［録音］▶録音する▶［再生］▶メモを選んで
  - オリジナルの応答メッセージを設定するとき：［オリジナル］▶［再生］▶メモを選んで
  - 応答メッセージを再生／停止するとき：

テレビ電話伝言メモの応答画像を設定する<テレビ電話時応答画像>

待受画面で⦿▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［伝言メモ設定］▶［テレビ電話時応答画像］▶フォルダを選択▶静止画を選んで

- 静止画を確認するとき：静止画を選択

お知らせ

伝言応答時間について

- 伝言応答時間は、音声電話伝言メモとテレビ電話伝言メモに共通の設定です。
- オート着信設定と同じ時間には設定できません。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。
  伝言メモを優先させるためには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモの応答時間を短く設定してください。

応答メッセージについて

- お買い上げ時には、［応答メッセージ 1］と［応答メッセージ 2（英文）］が登録されています。
  応答メッセージ 1 .... ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください。
  応答メッセージ 2（英文）... I can't take your call now. Please leave your message, thank you.
- オリジナルの応答メッセージを削除（☞P.77）すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 録音中に途中で録音を止めるときは⦿を押します。

テレビ電話時応答画像について

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」サイズの静止画を利用できます。ただし、GIFアニメーションは利用できません。
- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画は利用できません。

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、伝言メモを設定していない場合も、その着信に限り用件を録音／録画できます。

1 着信中に7を 1 秒以上押す

- 音声電話着信中にを押して［伝言メモ録音］を選択しても操作できます。音声ガイダンスが流れたあと、録音が始まります。
- テレビ電話着信中にを押して［テレビ電話伝言メモ］を選択しても操作できます。［伝言メモ準備中　お待ちください］と表示されたあと、テレビ電話伝言メモ用の応答画像が表示され、録画が始まります。
- 伝言メモについて、詳しくはP.74を参照してください。

伝言メモ・音声メモを再生／削除する

伝言メモの用件、通話中音声メモや待受中音声メモの内容を再生したり、削除できます。

伝言メモ・音声メモを再生する

再生時の音量は、受話音量調節（☞P.69）の設定に従います。

- 音声メモの録音については、P.412を参照してください。

1 待受画面で◉ ▶ [LifeKit] ▶ [音声／伝言メモ] ▶ [再生]

メモ
1 録音
2 再生
3 機能別ロック

メモメニュー画面

メモリスト画面

- 待受画面で7を1秒以上押し、[再生]を選択しても操作できます。

[ ]（伝言メモ）が表示されているとき

- 待受画面で◉を押し、[ ]を選択して[再生]を選択します。
- 未再生のメモには、[ ]が表示されます。

メモ種別

アイコン	種別
	伝言メモ
	通話中音声メモ
	待受中音声メモ

電話種別

アイコン	種別
表示なし	音声電話
	テレビ電話

2 メモを選択

インジケータ

音声電話
伝言メモの場合

- インジケータは目安です。
- 非通知着信および待受中音声メモの場合、電話番号や名前は表示されません。
- 途中で止めるときは、◉を押します。メモリスト画面が表示されますので、最初から聞くときは再び◉を押します。他のメモを選択すると選んだメモが再生されます。
- 伝言メモ・音声メモの再生中に電話がかかってくると、再生は自動的に止まります。
- 伝言メモ・音声メモの再生中にアラーム時刻になると、再生は自動的に止まり、アラームが動作します。
- 着信履歴表示を[OFF]に設定しているときは、メモリスト画面は表示されず、伝言メモ・音声メモは再生／削除できません。

伝言メモ・音声メモを削除する

1 メモリスト画面（☞P.77）でメモを選んで📷 ▶ 削除方法を選択

削除方法	操作
1件削除する	[1件削除]→[はい]
すべてを削除する	[全件削除]→[はい]

関連操作

伝言メモ・音声メモを機能別ロックする<機能別ロック>

待受画面で◉ ▶ [LifeKit] ▶ [音声／伝言メモ] ▶ [機能別ロック] ▶ 端末暗証番号を入力して◉ ▶ [ON]

キャラ電を利用する

- キャラ電については、P.330もあわせて参照してください。

キャラ電を代替画像として送信する<送信画像切替>

テレビ電話中の操作で、相手に送信するキャラ電を選択できます。

- あらかじめ送信するキャラ電を設定しておくこともできます（☞P.81）。

1 テレビ電話中に[カメラ] ▶ [送信画像切替] ▶ [キャラ電] ▶ フォルダを選択 ▶ キャラ電を選んで[メニュー]（決定）

お知らせ

- DTMF送信モードを[ON]に設定した場合は、ダイヤルボタンでプッシュホン信号が送出されるため、キャラ電のボタン操作ができません。
- [キャラ（女性）]を削除したあとで、設定リセットを行うと[テレビ電話代替]になります。

お買い上げ時に登録されているキャラ電

キャラ（女性）

OL風のキャラクタです。喜びや哀しみの感情を表したり、手を振ったり、頭を傾けるなどのさまざまなアクションで対応します。

全体アクションモードでのアクション一覧

番号（ボタン操作）	アクション
1	喜ぶ
2	怒る
3	哀しむ
4	投げキッス
5	驚く
6	ゴメン
7	恥ずかしー
8	ずっこけ
9	バーン！

パーツアクションモードでのアクション一覧

番号（ボタン操作）	アクション
1 1	（右腕）手を振る（ループ）
1 2	（左腕）手を振る（ループ）
1 3	（顔）うなずく
1 4	（右腕）おいでおいで（ループ）
1 5	（左腕）おいでおいで（ループ）
1 6	（顔）左右ブルブル
1 7	（顔）右に傾ける
1 8	（顔）左に傾ける

- アクションを途中で中止するときは、0を押します。

キャラ（男性）

ビジネスマン風のキャラクタです。うなずいたり、笑うなどの感情を表したり、手を上げるなどのアクションで対応します。

全体アクションモードでのアクション一覧

番号（ボタン操作）	アクション
1	うなずく
2	笑う
3	怒る
4	驚く
5	悩む
6	携帯電話
7	決めポーズ

パーツアクションモードでのアクション一覧

番号（ボタン操作）	アクション
1 1	右手を上げる
4 4	右手を下げる
3 3	左手を上げる
6 6	左手を下げる
8 8	通常ズーム
9 9	ズームアップ

- アクションを途中で中止するときは、0を押します。

テレビ電話中にキャラ電を切り替える<キャラ電切替>

テレビ電話中にキャラ電を送信しているとき、別のキャラ電に切り替えることができます。

1 代替画像でキャラ電を送信中に[カメラ]▶[キャラ電設定]▶[キャラ電切替]▶フォルダを選択▶キャラ電を選んで[i](決定)

全体アクションとパーツアクションを切り替える<アクション切替>

表示中のキャラ電の動作を、全体アクションかパーツアクションに切り替えることができます。

1 代替画像でキャラ電を送信中に[カメラ]▶[キャラ電設定]▶[アクション切替]

- [↑]を1秒以上押しても切り替わります。
- 全体アクションモードとパーツアクションモードが交互に切り替わります。

キャラ電にアクションをさせる

- アクション一覧を表示せずに、アクションの番号([1]～[9])を押してアクションをさせることもできます。
- あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについては、P.78を参照してください。
- 全体アクションモードにすると、[笑う]や[怒る]などの感情を選ぶことができます。
- パーツアクションモードにすると、体の一部を動かしたり、ジャンプやダンスなどをさせることができます。
- パーツアクションの中には、別のアクションと組み合わせて実行できるものもあります。
- キャラ電によっては、マイクからの音に合わせて口を動かしたりなどアクションの種類は異なります。
- アクションしないものもあります。
- キャラ電によっては、操作しなくてもアクションを行うものがあります。

1 代替画像でキャラ電を送信中に[カメラ]▶[キャラ電設定]▶[アクション一覧]

- [メール](アクションリスト)を押すか、[↓]を1秒以上押しても、アクション一覧が表示されます。

開始する	アクションを選択 ● アクションを中止するとき：[0]
詳細を表示する	[i](または、[▼]を1秒以上押す)

相手側に送信する映像について設定する

送信する画像を通話中に切り替える<送信画像切替>

テレビ電話中に、相手に送信する画像を変更できます。

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」サイズの静止画を利用できます。ただし、GIFアニメーションは利用できません。
- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画は利用できません。ただし、FOMA端末で撮影した画像はファイル制限設定に関係なく利用できます（テレビ電話中に撮影した静止画メモは利用できません）。
- microSDメモリーカード内の静止画は直接利用できません。あらかじめFOMA端末（本体）マイピクチャの[外部取得データ]フォルダにコピーしてご利用ください。

1 テレビ電話中に📷▶[送信画像切替]▶送信する画像を選択

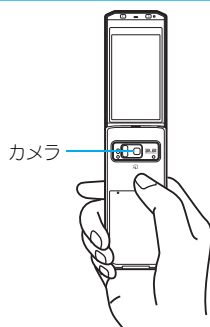
カメラ映像	[自画像]
代替画像	[代替画像]→フォルダを選択→静止画を選んで▣
キャラ電	[キャラ電]→フォルダを選択→キャラ電を選んで▣

- 通常ポジションで代替画像送信中にディスプレイを回転させるとカメラ映像に切り替わり送信されます。
- ▣を押すか▫を1秒以上押すたびに、カメラ映像と代替画像が切り替わり送信されます。
- ここでの設定は、テレビ電話を終了すると解除されます。

お互いの顔を見ながらテレビ電話をするとき

自分の顔を相手に送信する場合は、ディスプレイを回転させてカメラを自分に向けます。

- サブメニューを操作するときは、▫（Eco）を1秒以上押し、▫（Eco）／▫で項目を選び、▫（📷）を押します。戻るときは▫（P）を押します。
- 画面によっては、サイドボタンで操作できない場合があります。

※ この状態で、ハンズフリーが解除の場合、送話口と受話口からの音はミュートされます。通話中は別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク（☞P.415）を利用するか、ハンズフリー（☞P.82）を利用してください（音声電話の場合も同様です）。

お知らせ

- 送信画像をカメラ映像に切り替えたときに、電池残量が[▭]以下、またはカメラ周辺の温度が高くなると、[ただいまカメラを利用できません]と表示されます。カメラを使用できなくなり、代替画像に切り替わります。

関連操作

カメラ映像のズームアップ／ズームダウンを行う<ズームアップ／ズームダウン>

1 カメラ映像を送信中に◯または◯
2 ◯（ズームアップ）または◯（ズームダウン）
- 最大ズーム：▫／最小ズーム：▫

データBOXの静止画を送信する<ファイル再生>

テレビ電話の通話中に📷▶[送信画像切替]▶[ファイル再生]▶フォルダを選択▶静止画を選んで▣

明るさを調整する<明るさ調整>

カメラ映像を送信中に◯（明るくする）を1秒以上押す、または◯（暗くする）を1秒以上押す

お知らせ

ズームアップ/ズームダウンについて

- 最大22段階のズームを設定できます。
- 代替画像を送信しているときは、画像をズームできません。
- 相手の映像はズームできません。
- テレビ電話を終了するとズームは解除されます。

明るさ調整について

- ディスプレイ上部に[-2]、[-1]、[±0]、[+1]、[+2]が表示されます。
- テレビ電話を終了すると、明るさは元に戻ります。
- 代替画像を送信しているときは、明るさを調整できません。

相手に送信する画像を発信時に変更する<テレビ電話画像設定>

1 待受画面で相手先電話番号を入力して▶[テレビ電話画像設定]▶送信する画像を選択

- 電話帳内容表示画面やリダイヤル詳細画面、着信履歴詳細画面から発信するときは、を押して[テレビ電話画像設定]を選択します。
- ここでの設定は、その発信に限り有効です。

カメラ映像	[自画像] ● 自分の映像を送信する場合は、P.80を参照してください。
キャラ電	[キャラ電]→フォルダを選択→キャラ電を選んで ● キャラ電を確認するときは、キャラ電を選んで(確認)を押します。戻るときはCLRを押します。

代替画像を設定する<代替画像設定>

テレビ電話中の代替画像に、静止画やキャラ電(☞P.330)を設定できます。

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF:176×144」サイズの静止画を利用できます。ただし、GIFアニメーションは利用できません。
- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画は利用できません。

1 待受画面で▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[送信画像設定]▶[代替画像設定]▶代替画像を選択

代替画像	[代替画像]→フォルダを選択→静止画を選んで
キャラ電	[キャラ電]→フォルダを選択→キャラ電を選んで

- 画像を確認するときは、画像を選んで(確認)を押します。戻るときはCLRを押します。

お知らせ

- 代替画像として静止画を送信中、相手には、静止画に[カメラオフ]という文字が重なって表示されます。キャラ電を設定している場合、[カメラオフ]は表示されません。
- 代替画像は次の優先順位で送信されます。

	優先順位(高→低)
画像	電話帳の代替画像設定→テレビ電話設定の代替画像設定

関連操作

応答保留や通話保留の画像を変更する<応答保留画像設定/保留画像設定>

1 待受画面で▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[送信画像設定]
2 [応答保留画像設定]/[保留画像設定]
3 フォルダを選択▶画像を選んで

送信画質を設定する<送信画質設定>

テレビ電話中に送信するカメラ映像の画質を設定できます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[送信画質設定]▶画質を選択

- テレビ電話の通話中に設定するときは、📷を押し[テレビ電話設定]→[送信画質設定]を選択します(テレビ電話を終了すると解除され、待受画面から設定した画質に戻ります)。

画質優先	撮影対象の形や色などを中心に伝えたいとき
標準	画質の美しさと動きのバランスをとるとき
動き優先	撮影対象の動きを中心に伝えたいとき

お知らせ

- テレビ電話中の送信側と受信側の画質設定は異なります。

テレビ電話ハンズフリー設定

テレビ電話のハンズフリーについて設定する

テレビ電話の通話開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定できます。ハンズフリーにすると、相手の声をスピーカから流して、映像を見ながら通話できます。

- 他の人の迷惑にならないような場所でご利用ください。
- 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[テレビ電話ハンズフリー設定]▶[ON]／[OFF]

通話中にハンズフリーへの切替・解除を行う

1 テレビ電話の通話中に📞

- 📞を押すたびにハンズフリーへの切替・解除ができます。
- ハンズフリー中は[🔊]が表示されます。

お知らせ

- 屋外や騒音が大きい場所でハンズフリー通話を行う場合は、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイクをご利用ください。
- ハンズフリー通話中、音が割れて聞きとりにくいときは、受話音量を下げてください。

テレビ電話中の映像を設定する

テレビ電話の通話中にディスプレイの画像表示を変更できます。

● 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	設定内容	ページ
明るさ調整	カメラ映像の明るさを5段階で調整できます。	P.80
テレビ電話画面設定	相手側の映像と自分側の映像の表示方法を変更できます。	P.83
子画面表示設定	子画面の表示位置を設定できます。	P.83
テレビ電話中照明	テレビ電話中のディスプレイの照明時間を設定できます。	P.84
カメラ一時停止	カメラ映像を一時停止させて送信できます。	P.84

テレビ電話の画面を設定する<テレビ電話画面設定>

● テレビ電話画面設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。

● 次の4種類から選ぶことができます。

相手大／自分小

相手のみ

自分大／相手小

自分のみ

1 **テレビ電話の通話中に📷▶[テレビ電話設定]▶[テレビ電話画面設定]**

● 待受画面で⦿を押し、[設定]→[通話・通信機能設定]→[テレビ電話設定]→[テレビ電話画面設定]を選択しても操作できます。

2 **表示方法を選択**

テレビ電話の子画面を設定する<子画面表示設定>

● 子画面を[右下]に設定すると、通話時間や明るさ調整、送信、受信画像マークは左下に表示されます。

● 子画面表示設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。

● 次の2種類から選ぶことができます。

左上

右下

1 **テレビ電話の通話中に📷▶[テレビ電話設定]▶[子画面表示設定]**

● 待受画面で⦿を押し、[設定]→[通話・通信機能設定]→[テレビ電話設定]→[子画面表示位置]を選択しても操作できます。

2 **表示位置を選択**

次ページへ続く

関連操作

照明を設定する<テレビ電話中照明>

1 テレビ電話の通話中に[カメラ]▶[テレビ電話設定]▶[テレビ電話中照明]
- 待受画面から：◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[照明・省電力設定]▶[オリジナルEcoモード]▶[照明時間設定]▶[テレビ電話時]

2 [通常時と同じ]／[常にON]

カメラ映像を一時停止させて送信する<カメラ一時停止>

テレビ電話でカメラ映像を送信して通話中に[カメラ]▶[送信画像切替]▶[カメラ一時停止]
- 元に戻すとき：[マナー]／CLR／[サイド](P)（または、[サイド]を1秒以上押す）

お知らせ

テレビ電話中照明について
- [通常時と同じ]に設定すると、照明時間設定の通常時で設定した点灯時間になります。
- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。
- テレビ電話中照明は、テレビ電話を終了しても保持されます。

カメラ一時停止について
- カメラ映像が停止した状態の静止画を送信できます。
- 代替画像を送信しているときは、カメラ一時停止の設定はできません。
- 一時停止中、相手には、自分側の映像に[停止中]という文字が重なって表示されます。
- テレビ電話を終了すると、カメラ一時停止の設定は元に戻ります。

テレビ電話の設定を変更する

音声電話で自動的にかけ直す<音声自動再発信>

テレビ電話をかけたときに接続できなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[音声自動再発信]▶[ON]
- テレビ電話通信が開始された場合、音声自動再発信は行いません。

お知らせ
- 音声電話で再発信した場合の通話料金は、テレビ電話通話料ではなく、音声電話通話料になります。
- ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M(☞P.50)に対応していないISDNのテレビ電話など(2008年３月現在)や間違い電話をかけたときなどは、音声自動再発信を行わないことがあります。また、通信料金が発生することもありますので、ご注意ください。

テレビ電話切替機能通知

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

相手に自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能かどうかを通知する設定です。
- テレビ電話切替機能通知を「停止」に設定すると、相手から切り替えることはできません。
- 音声電話中、テレビ電話中、および圏外時にテレビ電話切替機能通知を変更することはできません。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[テレビ電話切替機能通知]▶切替機能通知を選択

開始する	[切替機能通知開始]→[はい]
停止する	[切替機能通知停止]→[はい]
設定を確認する	[切替機能通知設定確認]

パケット通信中着信設定

ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する

● プッシュトーク通信中、ソフトウェア更新中、パターンデータ更新中、パケット通信を利用したデータ通信中にテレビ電話がかかってきた場合は、着信拒否されます。

1 待受画面で◉ ▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［テレビ電話設定］▶［パケット通信中着信設定］▶ 着信動作を選択

テレビ電話優先	かかってきたテレビ電話に出ることができます。
パケット通信優先	テレビ電話着信を拒否します。
留守番電話	自動的に留守番電話サービスに接続します。
転送でんわ	自動的に転送でんわサービスに接続します。

● ［テレビ電話優先］に設定していても、テレビ電話に出ないとパケット通信は継続されます（テレビ電話に出ると、パケット通信は切断されます）。
● ［留守番電話］や［転送でんわ］に設定するには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのお申し込みが必要です。なお、未契約の場合は、［留守番電話］や［転送でんわ］に設定しても［パケット通信優先］となります。

静止画メモ

相手の画像を静止画として保存する

テレビ電話中に、相手の画像を静止画撮影できます。

● テレビ電話画面設定を［自分のみ］に設定している場合、静止画メモを選択できません。
● 撮影サイズは「QCIF：176×144」です。

1 テレビ電話中に📷 ▶［静止画メモ］▶ ◉（📷）

● 静止画撮影中、相手には、自分側の映像に［撮影中］という文字が重なって表示されます。
● シャッター音は鳴りません。
● 静止画が撮影され、［保存中］が表示されます。
● 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの［カメラ］フォルダに保存されます。
● 撮影した静止画はFOMA端末外へ出力できません。

プッシュトーク

プッシュトークとは

プッシュトークボタンを押してプッシュトーク用電話帳を呼び出し、相手を選んでプッシュトークボタンを押すだけのかんたん操作で複数の人(自分を含めて最大５人まで)と通信することができます。プッシュトークボタンを押す(発言する)ごとにプッシュトーク通信料が課金されます。

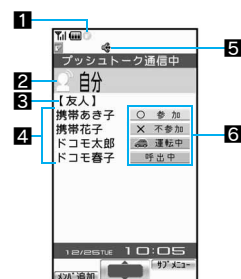
● プッシュトークの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

プッシュトークプラス※について

自分も含め最大20人までとプッシュトーク通信ができるサービスです。ネットワーク上の共有電話帳を利用したり、メンバーの状態を確認できたりするなど、より便利にプッシュトークをご利用いただけます。

● 操作方法などの詳細については、お申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

※ 別途ご契約が必要です。

プッシュトーク通信中の画面の見かた

1 プッシュトークマーク

Ⓟ	プッシュトーク通信中

2 発言者名欄：現在発言しているメンバーの名前(電話帳に登録されていない場合は電話番号)

自分：自分が発言者のとき(発言可能)
表示なし：発言者がいないとき
？：発言者が特定できなかったとき
FOMA端末(本体)電話帳に登録されているときは、名前が表示されます。電話帳のピクチャーコールを設定しているときは、画像も表示されます。プッシュトークプラスから発信されたときは、ネットワーク上の電話帳の名前で表示され、ピクチャーコールを設定していても画像は表示されません。

3 グループ名：プッシュトーク電話帳のグループ名またはネットワーク上の電話帳に登録されているグループ名が表示されます。

4 参加メンバー：FOMA端末(本体)電話帳に登録されている場合は名前が表示されます。プッシュトークプラスから発信された場合は、ネットワーク上の電話帳の名前で表示されます。電話帳に登録されていない場合は、電話番号が表示されます。

5 ハンズフリーマーク

(赤色)	ハンズフリー通信中

6 メンバー状態表示：各メンバーの通信状態が表示されます。通信中に通信状態が変わった場合、参加音や信号音(プッシュトークから抜けるとき)が鳴り、表示が変わります。

● メンバーが複数で画面内にすべてを表示できない場合にスクロールバーが表示されます。でスクロールしてメンバーを確認できます。

参加：プッシュトークに参加しています。
不参加※：応答がない、相手がプッシュトークを終了している、相手が圏外にいる、または相手が電源を切っています。
運転中※：相手が公共モード(ドライブモード)を設定しています。
呼出中※：相手を呼び出し中です。
※ ３人以上のプッシュトーク通信の場合のみ表示されます。

お知らせ

● プッシュトークの発信中／着信中／通話中画面では、TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドは無効です。ただし、サブメニューを表示した場合は操作できます。

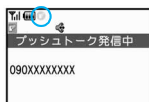
プッシュトーク発信する

パケット通信を利用し、プッシュトークボタンを押すだけのかんたん操作で通信することができます。
1人または複数の相手との会話が可能です。

- 発言できるのは常に1人です。話すときは[P]（[P]）を押して発言権を取得する必要があります。
- 発言権を取得している間だけ話すことができます。なお、自分が発言権を取得している間、相手の声は聞こえません。
- [P]（[P]）を押し発言権を取得すると同時に、発言者に対してプッシュトーク通信料が課金されます。
- プッシュトーク電話帳に登録すると、簡単な操作で登録したメンバーと通信できます。
- 2in1のBナンバーでプッシュトーク、プッシュトークプラスを利用することはできません。

1 待受画面で電話番号をダイヤルする

- 次の方法でもプッシュトーク発信できます。
  - ■ プッシュトーク電話帳から（☞P.94）
  - ■ 電話帳から（☞P.109）
  - ■ リダイヤルから（☞P.55）
  - ■ 着信履歴から（☞P.56）
  - ■ Phone To機能を利用（☞P.195）

2 [P]（[P]）

プッシュトーク発信中画面

- 発信中は画面左上の［P］が点滅します。
- 相手が応答すると参加音が鳴って画面左上の［P］が点灯に変わり、プッシュトーク通信中画面が表示されます。
- ハンズフリーへの切替・解除をするときは[通話]または[i]を押します。なお、[P]（[P]）を押しているときはハンズフリーへの切替・解除はできません。

3 発言者名欄に何も表示されていないときに[P]（[P]）▶［自分］と表示される▶[P]（[P]）を押したまま話す

- 発言権を取得すると発言権取得音が鳴り、発言者名欄に［自分］と表示されます。
- 他の人が話している最中に[P]（[P]）を押すと、エラー音が鳴ります。
- 自分が話し終わったら[P]（[P]）を離してください。発言権開放音が鳴ります。

4 通信を終わるときは[終話]

- FOMA端末を閉じているときやビューアポジションのときは、[カメラ]（[カメラ]）を1秒以上押します。
- 発言権取得回数が表示され、待受画面に戻ります。

お知らせ

- プッシュトークを使用して緊急通報番号（110番、119番、118番）へ電話をかけることはできません。
- メンバーの一部（発信者を含む）の通信が切れた場合も、他のメンバー間でプッシュトーク通信を続けることができます。
- 1回の発言権で、発言できる時間には限りがあります。一定時間発言権を継続して取得し続けた場合は、発言時間満了予告音が鳴り、発言権が解除されます。
- 音声電話中・テレビ電話中・データ通信中にプッシュトーク発信することはできません。
- iモード中にプッシュトーク発信すると、iモード通信は切断されます。
- PT通信中着信設定を［通常着信］に設定している場合、プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときに[通話]を押すと、プッシュトーク通信を終了して音声電話に出ることができます。
- ハンズフリー通信中に音声電話着信があり音声電話に出た場合、ハンズフリーは解除されます。
- プッシュトーク通信中に音声電話／テレビ電話をかけたり、iモードを利用することはできません。
- 一定時間発言権の取得者がいない場合には、プッシュトーク通信が自動的に終了します。
- プッシュトークの発信者がネットワークサービスの発信者番号通知設定を「通知」に設定して発信した場合、着信したメンバー全員に発信者や全メンバーの電話番号が通知されます。「非通知」に設定して発信した場合、着信したメンバー全員の発言者や参加メンバーの欄にすべて［非通知］と表示されます。電話番号はお客様の大切な情報です。通知する場合は十分ご注意ください。
- プッシュトーク通信終了時に発言権取得回数が表示されますが、発言権取得回数の表示は目安です。発言権取得回数は最大999回まで表示され、これを超えると［***］と表示されます。

次ページへ続く

お知らせ

- プッシュトーク通信中は、iモードメールやメッセージR/Fは受信されず、iモードセンターに保管されます。iモードセンターに保管されたiモードメールやメッセージR/Fは、プッシュトーク通信終了後、iモード問い合わせを行うと受信できます。ただし、プッシュトーク通信中でも、SMSは自動的に受信します。

関連操作

着信履歴/リダイヤルを利用してプッシュトーク発信する

待受画面で◯▶着信履歴を選んで[P]（[P]）
待受画面で◯▶リダイヤルを選んで[P]（[P]）

プッシュトーク通信中に受話音量を調節する

プッシュトーク通信中に◯/◯▶◯/◯

- FOMA端末を閉じているとき：[▲](Eco)/[▼]
- ビューアポジションのとき：[▲]/[▼]

番号通知/非通知を選択してプッシュトーク発信する<番号通知設定>

1 待受画面で電話番号を入力して[📷]▶[番号通知設定]
2 [番号通知]/[番号非通知]/[NW設定に従う]▶[P]（[P]）

複数メンバーとのプッシュトーク切断後に再参加する

複数メンバー宛のプッシュトーク通信後、自分だけがプッシュトークを切断した場合や、かかってきたプッシュトークに出られなかったときなどは、そのプッシュトーク通信が続いている場合のみ、該当する着信履歴/リダイヤルから発信すると、そのメンバーとの通信に途中参加できます。

- プッシュトーク通信が終了している場合は、そのメンバーへの新たな発信となり、自分が発信者になります。

待受画面で◯▶着信履歴を選んで[P]（[P]）
待受画面で◯▶リダイヤルを選んで[P]（[P]）

お知らせ

着信履歴/リダイヤルを利用してプッシュトーク発信するについて

- 2in1利用時は、Bナンバーの着信履歴/リダイヤルからプッシュトーク発信することはできません。

番号通知設定について

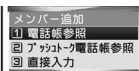
- 番号通知設定を[番号通知]に設定して発信した場合、着信したメンバー全員に発信者や全メンバーの電話番号が通知されます。[番号非通知]に設定して発信した場合、着信したメンバー全員の発言者や参加メンバーの欄にすべて[非通知]と表示されます。
- プッシュトーク発信時、番号通知設定で番号通知方法を設定した場合は、ネットワークサービスの発信者番号通知設定より優先されます。
- 番号通知設定を[NW設定に従う]に設定して発信した場合、ネットワークサービスの発信者番号通知設定に従って発信されます。

メンバー追加

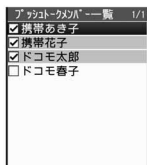
通信中にメンバーを追加する

自分が発信者の場合、プッシュトーク通信中にメンバーを追加することができます。

- プッシュトークプラスからの発信の場合は、メンバー追加できません。
- 通信中にメンバーを追加しても、リダイヤルには反映されません。また、先に通信中の相手の着信履歴にも反映されません。

1 プッシュトーク通信中に[📷]▶[メンバー追加]

- プッシュトーク通信中に、[✉](メンバ追加)を押してもメンバーを追加することができます。

プッシュトーク

2 追加方法を選んで発信する

プッシュトーク電話帳からメンバーを選ぶ場合

電話帳からメンバーを選ぶとき	[電話帳参照]→名前を選択
プッシュトーク電話帳からメンバーを選ぶとき	[プッシュトーク電話帳参照]→名前を選んで(くり返し可)→(発信)
直接入力するとき	[直接入力]→電話番号を入力して(発信)

- 発信するメンバーの合計が4人になるまで、メンバーは何度でも追加できます。すでに4人に発信している場合、参加していないメンバーを再度呼び出すことはできますが、新規メンバーは追加できません。
- 一度にメンバー追加できる人数は、5人を超えない範囲で、次のとおりです。
  - ■ プッシュトーク電話帳から選ぶとき：3人
  - ■ 電話帳から選ぶとき、または直接入力するとき：1人

お知らせ

- プッシュトーク通信中の相手がメンバー追加機能に対応していない機種のとき、相手側は次のような動作になる場合があります。
  - ■ メンバー追加したときに、追加メンバーは表示されず、参加音も鳴りません。
  - ■ 追加したメンバーが発言したときに、発言者欄に[?]が表示されます。
  - ■ 追加したメンバーがプッシュトークから抜けたときに、信号音は鳴りません。
- プッシュトークの発信者がネットワークサービスの発信者番号通知設定を「通知」に設定して発信した場合、追加したメンバーを含むメンバー全員に発信者を含む全メンバーの電話番号が通知されます。「非通知」に設定して発信した場合、追加したメンバーを含む全メンバーの発言者や参加メンバーの欄にすべて[非通知]と表示されます。ただし、プッシュトーク通信中の相手がメンバー追加機能に対応していない機種のときにメンバーを追加した場合、番号通知設定にかかわらず相手側には追加したメンバーは表示されません。
- 電話帳の機能別ロック中は、電話帳またはプッシュトーク電話帳からメンバーを追加できません。ダイヤル発信制限中は、直接入力によるメンバー追加はできません。
- 2in1のモードを[Aモード]に設定している場合、電話帳2in1設定が[B]に設定された電話帳は表示されません。

プッシュトーク着信する

1 プッシュトークを着信すると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

2 ()／

- エニーキーアンサーでプッシュトークを受けることもできます（☞P.68）。
- FOMA端末を閉じているときは、ハンズフリーでの応答になります。FOMA端末を開いているときは、PTハンズフリー設定に従います（☞P.97）。
- 画面左上の[]が点灯に変わり、プッシュトーク通信中画面が表示されます。
- 通信方法は、P.89「プッシュトーク発信する」と同様です。
- 通信中に音量を調節することができます（☞P.90）。
- 着信中は、次のボタンで操作ができます。

	FOMA端末を開いているとき	FOMA端末を閉じているとき	ビューアポジションのとき
不参加		()を1秒以上押す	()を1秒以上押す
クイックサイレント（☞P.127）		(Eco)／／()	()
マナーモード設定（☞P.127）	を1秒以上押す	を1秒以上押す	を1秒以上押す

3 通信を終わるときは

- FOMA端末を閉じているときやビューアポジションのときは、()を1秒以上押します。

次ページへ続く

お知らせ

- オート着信設定を[オート着信あり]に設定すると、プッシュトーク着信した場合、自動的にハンズフリーで応答できます。ただし、マナーモード中は、オート着信設定を[オート着信あり]に設定していても自動的に応答できません。
- プッシュトークは応答保留できません。
- 指定した相手からの着信を許可／拒否したい場合は、電話帳指定着信許可、電話帳指定着信拒否、電話帳登録外着信拒否の設定を行ってください。設定は音声電話、テレビ電話と共通です。ただし、プッシュトークプラスからの発信には無効です。
- 音声電話中・テレビ電話中・データ通信中にプッシュトーク着信した場合は接続されません。音声電話中の場合は着信履歴に記憶され、待受画面に[☎]（着信あり）が表示されます。テレビ電話中、データ通信中の場合は着信履歴に記憶されません。
- プッシュトーク通信中に、テレビ電話や64Kデータ通信、別のプッシュトークの着信があった場合は着信履歴に記憶され、プッシュトーク通信が継続されます。PT通信中着信設定を[通常着信]に設定している場合、プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときに[発信]を押すと、プッシュトーク通信を終了して音声電話に出ることができます。[通常着信]以外に設定しているときは着信履歴に記憶され、プッシュトーク通信が継続されます。
- ｉモード中にプッシュトーク着信した場合、ｉモード通信中着信設定を[プッシュトーク着信優先]に設定しているときはｉモード通信が切断され、プッシュトークに応答することができます。[ｉモード優先]に設定しているときはプッシュトーク着信しても接続されず、着信履歴にも記憶されません。
- 公共モード（ドライブモード）設定中で、電源が入っているときにプッシュトーク着信した場合は接続されず、着信履歴に記憶され、待受画面に[☎]（着信あり）が表示されます。相手の通信中画面のメンバー状態表示には[運転中]と表示されます。相手が１人の場合は、運転中であることは表示されません。

プッシュトーク電話帳登録

プッシュトーク電話帳を登録する

プッシュトーク電話帳を登録すると、FOMA端末（本体）電話帳にも登録されます。
FOMA端末（本体）電話帳への登録を行い、そのうち、名前・フリガナ・電話番号１件のみをプッシュトーク電話帳に登録します。FOMA端末（本体）電話帳へ登録済みの電話帳を、プッシュトーク電話帳に登録できます。プッシュトーク電話帳には最大1000件まで登録できます（☞P.100）。

- 2in1のモードを[Bモード]に設定している場合、プッシュトーク電話帳は登録できません。
- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定している場合、電話帳2in1設定が[B]に設定された電話帳は、プッシュトーク電話帳に登録できません。
- 2in1のモードを[Aモード]に設定している場合、電話帳2in1設定が[B]に設定された電話帳は表示されません。

登録できる内容

アイコン	項　目	内　容
👤	名前	名前を入力します。最大全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
ｶﾅ	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。修正もできます。最大半角32文字まで入力できます。
[グループ]	プッシュトークグループ	所属するプッシュトークグループを登録できます。１～９のグループがあり、グループ名の変更もできます。
[電話番号]	プッシュトーク電話番号	プッシュトークに使う電話番号を登録できます。

1 **待受画面で[P]（[P]）▶プッシュトークメンバー一覧画面（☞P.93）で[カメラ]▶[新規作成]**

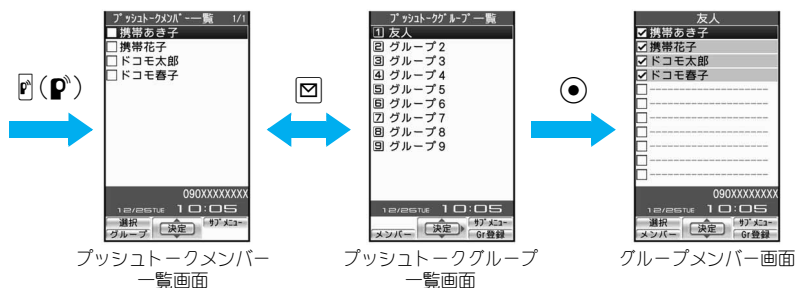
- プッシュトークグループ一覧画面が表示されたときは、[メニュー]（メンバー）を押します。

2 **登録方法を選択▶電話帳を登録する**

電話帳から選ぶ	[電話帳参照]→名前を選択 ● 電話番号が複数登録されている場合は、名前を選んで[i]（確認）を押し、プッシュトークで使用する電話番号を１つ選択します。
直接入力する	[直接入力]→名前を入力して●→[☎]を選択→電話番号を入力して●→電話種別アイコンを選択→[i]→● ● FOMA端末（本体）電話帳の名前入力画面が表示されます。 ● 登録方法の詳細については、P.100「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」を参照してください。 ● 電話番号を複数登録した場合は、FOMA端末（本体）電話帳への登録後、プッシュトークで使用する電話番号を１つ選択します。

プッシュトーク電話帳について

プッシュトーク電話帳に登録した相手に発信する場合は、プッシュトークグループ一覧からグループを選択する方法と、プッシュトークメンバー一覧からメンバーを選択する方法があります。
✉(メンバー)/✉(グループ)を押すとプッシュトークグループ一覧画面とプッシュトークメンバー一覧画面を切り替えることができます。

プッシュトークメンバー一覧画面　プッシュトークグループ一覧画面　グループメンバー画面

プッシュトークグループに登録する

プッシュトーク電話帳にプッシュトークグループを設定すると、簡単な操作で同じプッシュトークグループのメンバーと通信することができます。

- 1グループ19人までメンバーの登録が可能です。同時に発信できるのは、4人までとなります。
- 最大9つのグループを登録できます。また、グループ名を編集することもできます。

プッシュトークグループを新規作成する<グループ新規作成>

グループを新規に作成するには、あらかじめ登録されている[グループ1]~[グループ9]の中から事前にグループを削除してください(☞P.96)。

1 プッシュトークメンバー一覧画面/プッシュトークグループ一覧画面(☞P.93)で📷▶[プッシュトークグループ設定]

2 [グループ新規作成]▶プッシュトークグループ名を入力して◉

- プッシュトークグループ名は最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。

関連操作

プッシュトークグループ名を編集する<グループ名編集>

1 プッシュトークメンバー一覧画面で📷▶[プッシュトークグループ設定]▶[グループ名編集]▶グループを選択
- プッシュトークグループ一覧画面のとき:グループを選んで📷▶[プッシュトークグループ設定]▶[グループ名編集]

2 グループ名を編集して◉

プッシュトークグループに登録する<プッシュトークグループ登録>

登録済みのプッシュトーク電話帳を、プッシュトークグループのメンバーとして登録します。

1 プッシュトークメンバー一覧画面(☞P.93)で、名前を選んで📱(選択)

- 複数のメンバーを選ぶ場合は、操作1をくり返します。
- チェックを1つも入れないときは、カーソル位置の電話帳を1件だけ選んだことになります。

2 📷▶[プッシュトークグループ登録]

3 プッシュトークグループを選択▶登録位置を選択

- 登録済みのメンバーを選ぶと、上書き登録されます。また、グループ内に同じ電話番号が登録されている場合、重複して登録することはできません。
- 操作1で複数のメンバーを選んだ場合は、登録位置を選ぶ必要はありません。

次ページへ続く

関連操作

プッシュトークグループ一覧画面からプッシュトークグループに登録する
<プッシュトークグループ登録>

1 プッシュトークグループ一覧画面でグループを選んで[MENU]▶[プッシュトークグループ設定]▶[プッシュトークグループ登録]
 ● グループメンバー画面のとき:[MENU]▶[プッシュトークグループ設定]▶[プッシュトークグループ登録]

2 メンバーを選択(くり返し可)▶[i]

プッシュトーク電話帳を修正する<データ編集>

プッシュトーク電話帳に登録されている電話番号やグループを変更できます。

1 プッシュトークメンバー一覧画面(☞P.93)で、名前を選んで[MENU]▶[データ編集]

2 項目を選択▶編集する

- 電話番号を変更するときは、電話番号を選択し、FOMA端末(本体)電話帳に登録されている別の電話番号を選択します。
- 登録先のグループを変更するときは、変更するグループ、変更先のグループ、登録位置を順に選択します。
- 他のグループに追加登録するときは、[グループなし]→登録先のグループを選択して、登録位置を選択します。

3 [i](完了)▶[はい]

プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する

プッシュトーク電話帳からプッシュトーク発信します。あらかじめプッシュトーク電話帳にメンバーを登録しておいてください。

- 2in1のモードを[Bモード]に設定している場合、プッシュトーク電話帳は利用できません。
- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定している場合、電話帳2in1設定が[B]に設定された電話帳は利用できません。

プッシュトークグループから発信する

- 最大4人の相手と通信できます。

1 待受画面で[P](P)▶相手を選ぶ

- プッシュトークメンバー一覧画面が表示されたときは、[✉](グループ)を押します。

グループを選ぶ(グループのメンバー全員にプッシュトーク発信する場合)	[○]
グループの一部のメンバーを選ぶ	グループを選択→名前を選んで[i](くり返し可) ● [☑]が選択、[□]が解除の状態です。 ● チェックを1つも入れないと、カーソル位置の相手を1人だけ選んだことになります。

2 [P](P)

- 通信方法は、P.89「プッシュトーク発信する」と同様です。
- 5人以上のメンバーがグループに登録されている状態で発信した場合、[同時に通話できる人数4人を超えています]と表示されます。登録メンバーが5人以上設定されていた場合、4人まで選択して発信してください。

相手を選んで発信する

プッシュトーク電話帳のプッシュトークメンバー一覧画面から相手を選んで通信します。

1 待受画面で(P)

- プッシュトークグループ一覧画面が表示されたときは、(メンバー)を押します。

2 名前を選んで(選択)

- 複数のメンバーを選ぶ場合は、操作2をくり返します。
- フリガナを入力して検索することもできます。フリガナを1文字ずつ入力するたびに、入力した文字以降で最も近いフリガナの電話帳にカーソルが移動します。

3 (P)

関連操作

自動で着信する<オート着信設定>

プッシュトークメンバー一覧画面で▶[プッシュトーク設定]▶[オート着信設定]▶[オート着信あり]

着信音の鳴動時間を設定する<着信鳴動時間設定>

1 プッシュトークメンバー一覧画面で▶[プッシュトーク設定]▶[着信鳴動時間設定]
2 着信音を鳴らす時間(2桁:01〜60秒)を入力して

プッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する<クローズ動作設定>

プッシュトークメンバー一覧画面で▶[プッシュトーク設定]▶[クローズ動作設定]

- 通信を終了するとき:[終話]
- 相手の声がスピーカから聞こえるようにするとき:[スピーカ通話]

番号通知/非通知を選択してプッシュトーク発信する<番号通知設定>

1 プッシュトークメンバー一覧画面で名前を選んで▶[番号通知設定]
2 [番号通知]/[番号非通知]/[NW設定に従う]▶(P)

お知らせ

オート着信設定について

- オート着信すると自動的にハンズフリーに切り替わります。また、マナーモード設定時はオート着信できません。
- プッシュトーク電話帳のオート着信設定とオート着信設定のプッシュトークは連動しています。

着信鳴動時間設定について

- 複数の相手との通信の場合、設定した時間内に応答しなかったときは、参加メンバーの通信中画面のメンバー状態表示に[不参加]と表示されます。
- プッシュトーク電話帳の着信鳴動時間設定と着信鳴動時間設定のプッシュトーク鳴動時間設定は連動しています。
- オート着信設定を[オート着信あり]に設定した場合、着信鳴動時間設定は選択できません。

クローズ動作設定について

- FOMA端末を閉じたときに通信を終了するか、相手の声がスピーカから聞こえるようにするか選択できます。
- プッシュトーク電話帳のクローズ動作設定とクローズ動作設定のプッシュトークは連動しています。

番号通知設定について

- P.90「番号通知設定について」を参照してください。

ネットワーク接続について

- ネットワーク接続をご利用の場合は、プッシュトークプラスのご契約が必要です。

プッシュトーク電話帳を削除する

1 プッシュトークメンバー一覧画面（☞P.93）で、メンバーを選んで📷▶［削除］

- プッシュトークグループ一覧画面が表示されたときは、✉（メンバー）を押します。
- 全件削除をするときは、メンバーを選ぶ必要はありません。

2 削除方法を選択

データを1件削除する	［1件削除］
複数のデータをまとめて削除する	［選択削除］→メンバーを選択（くり返し可）→📷 ● すべてを選択／解除する場合は、i（全選択）／i（全解除）を押します。
プッシュトーク電話帳のすべてのデータを削除する	［全件削除］→端末暗証番号を入力して◉

3 削除する電話帳の種類を選択

プッシュトーク電話帳のみ削除する	［プッシュトーク電話帳のみ］→［はい］
FOMA端末（本体）電話帳からも削除する	［本体電話帳も含む］→［はい］ ● FOMA端末（本体）電話帳とプッシュトーク電話帳からデータを削除します。

プッシュトークグループを削除する<削除>

1 プッシュトークグループ一覧画面（☞P.93）で、グループを選んで📷▶［削除］

- プッシュトークメンバー一覧画面が表示されたときは、✉（グループ）を押します。

2 削除方法を選択

グループを1件削除する	［グループ1件削除］→［はい］
すべてのグループを削除する	［グループ全件削除］→［はい］

プッシュトークグループからメンバーを削除する<グループから削除>

1 プッシュトークグループ一覧画面（☞P.93）で、グループを選択

- プッシュトークメンバー一覧画面が表示されたときは、✉（グループ）を押します。

2 メンバーを選んで📷▶［グループから削除］▶削除方法を選択

メンバーを1件削除する	［1件削除］→［はい］
複数のメンバーをまとめて削除する	［選択削除］→メンバーを選択（くり返し可）→📷→［はい］ ● すべてを選択／解除する場合は、i（全選択）／i（全解除）を押します。
グループ内のすべてのメンバーを削除する	［グループ内全件削除］→［はい］

プッシュトークの発着信について設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項　目	設定内容	ページ
着信鳴動時間設定	プッシュトークの着信音を鳴らす時間を設定します。	P.126
オート着信設定	プッシュトーク着信時、自動応答するかどうかを設定します。	P.416
PT通信中着信設定	プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの動作を設定します。	P.97
ｉモード通信中着信設定	ｉモード通信中にプッシュトーク着信を受けるかどうかを設定します。	P.198
PTハンズフリー設定	プッシュトーク通信開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定します。	P.97
クローズ動作設定	プッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じたときの動作を［終話］、［スピーカ通話］（相手の声をスピーカから聞こえるようにする）に設定します。	P.69
呼出動作開始時間設定	電話帳に登録されていない相手や電話番号を通知してこない相手からの着信時、設定した秒数後に着信音が鳴るように設定します。音声電話・テレビ電話と共通の設定です。	P.152
再接続機能	電波の状態などで通信が途切れたときに自動的に再接続して通信を継続できるようにします。音声電話・テレビ電話と共通の設定です。	P.65

通信中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ<PT通信中着信設定>

プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの動作を設定します。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［プッシュトーク設定］▶［PT通信中着信設定］▶着信動作を選択

- プッシュトークメンバー一覧画面で📷を押し、［プッシュトーク設定］→［PT通信中着信設定］を選択して設定することもできます。

留守番電話	自動的に留守番電話サービスに接続します。
転送でんわ	自動的に転送でんわサービスに接続します。
着信拒否	着信を拒否します。
通常着信	プッシュトーク通信を続けるか、終了してかかってきた音声電話に出るか選択できます。

- ［留守番電話］や［転送でんわ］に設定するには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのお申し込みが必要です。なお、未契約の場合は、［留守番電話］や［転送でんわ］に設定しても［通常着信］となります。

プッシュトークのハンズフリーについて設定する<PTハンズフリー設定>

プッシュトークの通信開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定できます。
- FOMA端末を閉じているときは、PTハンズフリー設定にかかわらずハンズフリーに切り替わります。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［プッシュトーク設定］▶［PTハンズフリー設定］▶［ON］

- プッシュトークメンバー一覧画面で📷を押し、［プッシュトーク設定］→［PTハンズフリー設定］を選択して設定することもできます。
- 設定を解除するときは［OFF］を選択します。

お知らせ

- マナーモード設定中は、PTハンズフリー設定を［ON］にしていてもハンズフリーに切り替わりません。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳の両方を使用できます。FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳のそれぞれに、名前、電話番号、メールアドレスなどを登録できます。
プッシュトーク用にプッシュトーク電話帳も利用できます。

FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳とプッシュトーク電話帳の違い

● お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットしても、FOMAカード電話帳のデータを利用できます。複数のFOMA端末で電話帳を共用したい場合は、FOMAカード電話帳に登録しておくと便利です。

	FOMA端末(本体)電話帳	FOMAカード電話帳	プッシュトーク電話帳
件数	1000件	50件	1000件
名前の登録文字数	最大全角16文字(半角32文字)	半角英数のみ:最大21文字 全角のみ、全角／半角混在、半角カタカナのみ:最大10文字	最大全角16文字(半角32文字)
フリガナ	最大半角32文字	半角英数のみ:最大25文字 全角のみ、全角／半角混在:最大12文字	最大半角32文字
グループの設定	20グループ	11グループ	9グループ(プッシュトークグループ☞P.93)
アイコン	電話番号:9種類 メールアドレス:6種類	−	−
メモリ番号の設定	000～999	−	−
電話番号	1つの電話帳に3件 (電話帳全体で登録可能な電話番号は3000件まで)	1つの電話帳に1件	1つの電話帳に1件
メールアドレス	1つの電話帳に3件 (電話帳全体で登録可能なメールアドレスは3000件まで)	1つの電話帳に1件	−

−:登録不可

● FOMA端末(本体)電話帳には、その他に下記データをそれぞれ1件登録できます。

■ 会社・学校
■ 所属
■ 役職
■ 郵便番号
■ 住所
■ 位置情報
■ 誕生日
■ メモ
■ 指定着信音
■ 指定メール着信音
■ 指定着信ランプ色
■ 指定着信ランプパターン
■ 指定メール着信ランプ色
■ 指定メール着信ランプパターン
■ 画像(ピクチャーコール)
■ 代替画像

電話帳登録

FOMA端末(本体)電話帳に登録する

よくかける電話番号を、名前やメールアドレスなどとあわせて電話帳に登録すると、簡単な操作で電話をかけたり、iモードメールやSMSを送信したりできます。

● カメラで撮影した静止画や動画／iモーションなどを、電話帳に登録できます。画像を登録した相手から電話がかかってきたときは、名前や電話番号と登録した画像が表示されます。
● FOMA端末(本体)電話帳への新規登録時、続けてプッシュトーク電話帳にも登録できます。

登録できる内容

(未登録)
(未登録)
グループなし
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
OFF
(設定なし)
指定着信音選択
(設定なし)
指定メール着信音選択
(設定なし)
指定着信ランプ色
(設定なし)
指定着信ﾗﾝﾌﾟﾊﾟﾀｰﾝ
(設定なし)
指定ﾒｰﾙ着信ランプ色
(設定なし)
指定ﾒｰﾙ着信ﾗﾝﾌﾟﾊﾟﾀｰﾝ
(設定なし)
ピクチャーコール設定
(設定なし)
代替画像設定
(設定なし)

FOMA端末(本体)
電話帳入力画面

アイコン	項　目	内　容	ページ
	名前	名前を入力します。	P.102
	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。修正もできます。	P.102
	グループ	グループに分けて登録できます。	P.103
	電話番号	3件の電話番号を登録できます。それぞれの電話番号を9つのアイコンで分類できます。	P.102
	メールアドレス	3件のメールアドレスを登録できます。それぞれのメールアドレスを6つのアイコンで分類できます。	P.102
	会社・学校	会社や学校を登録できます。	P.103
	所属	所属を登録できます。	P.104
	役職	役職を登録できます。	P.104
	郵便番号	郵便番号を登録できます。	P.104
	住所	住所を登録できます。	P.104
	位置情報	位置情報(測位日時、緯度、経度、測地系、測位レベル)を登録できます。	P.104
	誕生日	誕生日を登録できます。	P.104
	メモ	メモを登録できます。	P.104
	シークレット登録	電話帳を表示しないようにできます。電話帳を他人に見られたくない場合に設定します。	P.104
	シークレットコード	相手から指定されたシークレットコードを入力します。メールを送信するときに使います。	P.104
	指定着信音選択	電話がかかってきたときに、専用の着信音や着モーションで相手を識別できます。	P.104
	指定メール着信音選択	メールを受信したときに、専用のメール着信音や着モーションで相手を識別できます。	P.104
	指定着信ランプ色	電話がかかってきたときに、専用のランプ色で相手を識別できます。	P.104
	指定着信ランプパターン	指定着信ランプの点滅パターンを設定できます。	P.104
	指定メール着信ランプ色	メールを受信したときに、専用のランプ色で相手を識別できます。	P.104
	指定メール着信ランプパターン	指定メール着信ランプの点滅パターンを設定できます。	P.104
	ピクチャーコール設定	電話をかけたり、電話がかかってきたときに、画像で相手を識別できます。また、電話帳リストに専用の画像が表示されます。カメラで撮影した静止画や動画/iモーションなどを1件登録できます。	P.104
	代替画像設定	テレビ電話中に代替画像を送信する場合の静止画やキャラ電を設定できます。	P.105

お知らせ

- ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 2in1利用時、2in1のモードによって利用できる電話帳も自動的に切り替わります。電話帳登録時に、2in1のモードに対応する電話帳2in1設定が次のとおり自動的に登録されます。ただし、電話帳2in1設定は個別に変更することも可能です(☞P.441)。
  - ■ 2in1のモードが[Aモード]/[デュアルモード]、または2in1機能がOFFの場合、電話帳2in1設定は[A]になります。
  - ■ 2in1のモードが[Bモード]の場合、電話帳2in1設定は[B]になります。
- 電話帳お預かりサービス(☞P.117、P.153)をご契約いただくことで、FOMA端末の電話帳をお預かりセンターに保存できます。

基本的な登録のしかた

電話帳に相手の名前、電話番号、メールアドレスを登録します。

1 待受画面で[電話帳キー]▶[カメラキー]▶[新規作成]▶[本体新規]

- 音声電話中は[カメラキー]を押し、[電話帳登録]→[本体新規]を選択します。

2 名前を入力して[決定キー]

FOMA端末(本体)
電話帳入力画面

- 名前は最大全角16文字(半角32文字)まで入力できます。また、フリガナは最大半角32文字まで入力できます。
- [ｶﾅ]の行に、入力した名前のフリガナが自動的に入力されます。名前の入力後に修正した場合、フリガナには自動で反映されません。
- 名前に記号や絵文字を入力したときや、ワンタッチ変換で入力したときは、フリガナは自動的に入力されません。
- フリガナが違っているときは、[ｶﾅ]を選択し、正しいフリガナに修正します。

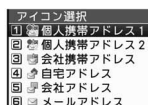
3 [電話アイコン]を選択▶電話番号を入力して[決定キー]

- 登録先が一般電話の場合は、同一市内でも必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号は26桁まで入力できます。
- 電話番号には、[*]や[#]も入力できますが、正しく発信できない場合があります。
- [186]を付けて電話帳に登録すると、電話番号をｉモードメールの宛先に選択した場合、送信できません。
- 国際電話をかける電話番号を登録するときは[0]を1秒以上押して[+]を入力し、電話番号を入力します。
- ポーズ[P]を入力するときは、[上キー]を押します。また、TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドの上で指先を上にスライドさせても入力できます。
- [CLR]を押すと、最後の1桁またはカーソル位置の文字が消えます。
- [CLR]を1秒以上押すと、カーソルが最後の位置にあるときは番号がすべて消えます。カーソルがそれ以外の位置にあるときはカーソル以降の番号がすべて消えます。

4 電話種別アイコンを選択

アイコン	種別	アイコン	種別
	一般電話		自宅
	個人携帯1		会社
	個人携帯2		自宅FAX
	会社携帯		会社FAX
	テレビ電話		

- 電話番号を複数登録するときは、操作3～4をくり返します。

5 [メールアイコン]を選択▶メールアドレスを入力して[決定キー]

- 半角の英字、数字、一部の記号を最大で半角50文字まで入力できます。
- メールアドレスに、絵文字は入力できません。

[@]や[.](ピリオド)を入力する	[1]を数回押す
インターネットに関連した定型文を入力する	[電話帳キー]を1秒以上押す→[インターネット] ● メールアドレスの一部を簡単に入力できます(☞P.424)。

6 メールアドレス種別アイコンを選択

ドコモ太郎
ｶﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ
グループなし
090XXXXXXXX
(未登録)
(未登録)
docomo.taro.ΔΔ@doc‥
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)

アイコン	種別	アイコン	種別
	個人携帯アドレス１		自宅アドレス
	個人携帯アドレス２		会社アドレス
	会社携帯アドレス		メールアドレス

● メールアドレスを複数登録するときは、操作５～６をくり返します。

7 (完了)▶メモリ番号(３桁:000～999)を入力する

● 操作ガイダンスに[完了]が表示されないときは、名前を入力してください。
● メモリ番号を入力せずに⦿を押すと、[010]～[999]の空いているメモリ番号の中で、最も小さい番号に登録されます。空いていないときは、[000]～[009]の中で最も小さい番号に登録されます。
● メモリ番号[000]～[099]に登録した相手には、ワンタッチダイヤルで電話をかけることができます(☞P.116)。
● メモリ番号を登録後、[プッシュトーク電話帳に登録しますか？]と表示されます。

8 プッシュトーク電話帳に登録するかどうかを選択

登録する	[はい] ● 電話番号が２件以上登録されている場合は、プッシュトークで使用する電話番号を１つ選択します。
登録しない	[いいえ]

お知らせ

● シークレット登録を[ON]に設定しているときは、シークレットモードを[ON]に設定しないと電話帳を上書き登録できません。
● すでにFOMA端末(本体)電話帳に1000件登録されているときに、電話番号またはメールアドレスを登録しようとした場合、メモリ番号を指定すると、すでに登録されている電話帳に上書き登録されます。ただし、FOMAカード電話帳の場合には上書き登録されません。
● 電話帳の登録件数を確認するには、P.351「各項目ごとのメモリ使用状況を確認する」を参照してください。
● FOMAカードへのコピーについては、P.107を参照してください。
● microSDメモリーカードへのコピーについては、P.340を参照してください。
● FOMA端末(本体)の電話帳を赤外線通信やｉＣ通信で送受信できます。
● 2in1のモードを[Bモード]に設定している場合、プッシュトーク電話帳への登録確認画面は表示されません。

メモリ番号にはこんな指定方法もあります

● 百の位の数字を１桁入力して⦿を押します。
空いているメモリ番号(1の場合、[100]～[199])の中で、最も小さい番号に登録されます。
● 百の位と十の位の２桁を入力して⦿を押します。
空いているメモリ番号(1 2の場合、[120]～[129])の中で、最も小さい番号に登録されます。

編集中にｉモードメールやSMS、メッセージR／Fを受信すると

● 受信・自動送信表示を[操作優先]に設定した場合は、受信結果は表示されず、編集を続けることができます。

記号や絵文字の使用について

● FOMA端末(本体)電話帳の[名前]、[会社・学校]、[所属]、[役職]、[住所]、[メモ]には、記号や絵文字も入力できますが、赤外線通信などでｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

関連操作

グループを設定する<グループ選択>
電話帳入力画面で[ ]を選択▶グループを選択

会社・学校を登録する
電話帳入力画面で[ ]を選択▶会社・学校を入力して⦿
● 最大全角14文字(半角29文字)まで入力できます。

電話帳

次ページへ続く

関連操作

所属を登録する
電話帳入力画面で[ ]を選択▶所属を入力して⦿
- 最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。

役職を登録する
電話帳入力画面で[ ]を選択▶役職を入力して⦿
- 最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。

郵便番号を登録する
電話帳入力画面で[〒]を選択▶郵便番号を入力して⦿

住所を登録する
電話帳入力画面で[ ]を選択▶住所を入力して⦿
- 最大全角50文字(半角100文字)まで入力できます。

位置情報を登録する<位置情報>
電話帳入力画面で[ ]を選択
- 以降の操作については、P.284を参照してください。

誕生日を登録する
電話帳入力画面で[ ]を選択▶誕生日を入力して⦿
- 1900年1月1日〜2099年12月31日まで入力できます。

メモを登録する
電話帳入力画面で[ ]を選択▶メモを入力して⦿
- 最大全角100文字(半角200文字)まで入力できます。

シークレット登録する<シークレット登録>
電話帳入力画面で[ ]を選択▶[ON]

メールアドレスにシークレットコードを設定する<シークレットコード>
1 電話帳入力画面で[ ]を選択▶端末暗証番号を入力して⦿
2 [コード設定]
   - 設定済みのシークレットコードを確認するとき:[コード参照]
   - シークレットコードを解除するとき:[設定解除]
3 メールアドレスを選択▶シークレットコード(4桁)を入力▶[はい]

着信音や着モーションを設定する<指定着信音選択/指定メール着信音選択>
1 電話帳入力画面で[♪指定着信音選択]/[指定メール着信音選択]を選択
2 [メロディ]/[ミュージック]/[iモーション]
   - 設定を解除するとき:[設定なし]
3 P.120の操作2を参照して着信音を選ぶ

着信ランプの色を設定する<指定着信ランプ色/指定メール着信ランプ色>
1 電話帳入力画面で[指定着信ランプ色]/[指定メール着信ランプ色]を選択
2 着信ランプの色を選択
   - 設定を解除するとき:[(設定なし)]

着信ランプのパターンを設定する<指定着信ランプパターン/指定メール着信ランプパターン>
1 電話帳入力画面で[指定着信ランプパターン]/[指定メール着信ランプパターン]を選択
2 ランプパターンを選択
   - 設定を解除するとき:[(設定なし)]

画像を設定する<ピクチャーコール設定>
1 電話帳入力画面で[ピクチャーコール設定]を選択
2 [マイピクチャ]/[iモーション]
   - カメラで静止画を撮影するとき:[静止画撮影]▶撮影
   - カメラで動画を撮影するとき:[動画撮影]▶撮影
   - 設定を解除するとき:[設定なし]
3 フォルダを選択▶画像を選んで[ ]

代替画像を設定する<代替画像設定>

1 電話帳入力画面で[代替画像設定]を選択

2 [キャラ電]／[静止画]

● 設定を解除するとき：[設定なし]

3 フォルダを選択▶キャラ電／静止画を選んで

● キャラ電／静止画を確認するとき：キャラ電／静止画を選択

お知らせ

シークレット登録について

● シークレット登録については、P.116を参照してください。

シークレットコードについて

● シークレットコードや、自分のシークレットコードの登録については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
● シークレットコードは、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合のみ有効です。
● シークレットコードに[0000]は設定できません。
● シークレットコードは、電話帳データ1件につき、メールアドレス1～3のうち1つのメールアドレスに対してのみ設定できます。
● メールアドレスにシークレットコードを設定しても、メール作成画面（☞P.208）の宛先欄にシークレットコードは表示されません。
● メールアドレスにシークレットコードを含めて、「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」の形式で電話帳に登録している場合は、メール送信できないことがあります。メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードを登録してください。

指定着信音選択／指定メール着信音選択について

● データBOXのメロディやミュージックから着信音、ｉモーションから着モーションを選択できます。
● 次の場合は、指定着信音／指定メール着信音に設定できません。
  ■ 映像のみ、またはテロップの付いた動画／ｉモーション
  ■ 再生制限のある着うた®や動画／ｉモーション、着うたフル®、うた・ホーダイ
  ■ 再生期限および更新有効期間が終了したうた・ホーダイ
  ■ 着信音設定が[不可]の着うた®や動画／ｉモーション、まるごと着信音設定とオススメ着信音設定が[不可]の着うたフル®（☞P.349）
● 映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを着モーションに設定した場合、自動的にピクチャーコールに設定されます。
● 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合、テーマ・各種画面設定で設定されている画像がｉモーション、Flash画像のときは、お買い上げ時に設定されている画像が表示されます。
● microSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーした動画／ｉモーションは着モーションに設定できません。撮影した動画を着モーションに設定する場合は、FOMA端末（本体）に保存してください。
● 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、着信音選択の非通知設定着信音で設定した着信音が鳴ります。設定していないときは、通常の着信音が鳴ります。
● 電話帳の機能別ロック中に、電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。
● シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。指定着信音選択／指定メール着信音選択の設定を有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
● 指定メール着信音を利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
● 複数の着信音が設定されているときの優先順位についてはP.121を参照してください。

指定着信ランプ／指定メール着信ランプについて

● 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の着信ランプが点滅します。
● シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信ランプが点滅します。指定着信ランプ／指定メール着信ランプの設定を有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
● 電話帳の機能別ロック中に、電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信ランプが点滅します。
● 指定メール着信ランプを利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。

お知らせ

- 複数の着信ランプが設定されているときの優先順位については、P.138を参照してください。

ピクチャーコール設定について

- ピクチャーコール設定でｉモーションを設定している場合、発信時には発着信画面設定で設定した画像が表示されます。
- 音声のみのｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)、またはテロップの付いた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。
- ピクチャーコールに設定した画像のデータサイズによっては、画像展開に時間がかかることがあります。
- ピクチャーコールに動画／ｉモーションを設定した場合、電話帳リスト画面に画像を表示したときは、最初の１コマ目が表示されます。
- ピクチャーコールを設定した相手から、キャッチホンで着信した場合も設定した画像が表示されます。ただし、ｉモーションを設定した場合は[電話着信１]が表示されます。
- microSDメモリーカードからFOMA端末(本体)にコピーしたり、赤外線通信やｉC通信、ドコモケータイdatalinkなどを使用してパソコンや他のFOMA端末から転送した動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません(FOMA端末(本体)からmicroSDメモリーカードにコピーしてから、もう一度FOMA端末(本体)にコピーしたものを含む)。撮影した動画をピクチャーコールに設定する場合は、FOMA端末(本体)に保存してください。
- 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の電話着信画面が表示されます。
- シークレット登録した相手から電話がかかってくると、通常の電話着信画面が表示されます。ピクチャーコールの設定を有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- ピクチャーコールに設定した画像をデータBOXから削除するときは、[１件削除]または[選択削除]を選択します。リンク設定されている旨のメッセージが表示されます。削除の確認画面で[はい]を選択すると削除されます。
- 静止画撮影後のプレビュー画面で📷を押し、[画面設定]→[電話帳]を選択すると、撮影した静止画をピクチャーコールに設定できます(グループ設定のピクチャーコール設定を除く)。ただし、保存先がmicroSDメモリーカードに設定されている場合は[i](→本体)を押して保存先をFOMA端末(本体)に変更してから📷を押し、[画面設定]→[電話帳]を選択してピクチャーコールに設定します。
- 指定着信音に映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを設定している場合、ピクチャーコールに静止画を設定すると、指定着信音の設定は解除されます。また、ピクチャーコールに映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを設定すると、指定着信音の設定にも反映されます。
- 複数のピクチャーコールが設定されているときの優先順位については、P.131を参照してください。

FOMAカード電話帳登録

FOMAカード電話帳に登録する

FOMAカード電話帳にも登録できます。FOMA端末(本体)電話帳と登録できる項目が一部異なります。

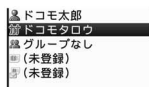
- FOMAカード電話帳には、最大50件まで登録できます。

登録できる内容

アイコン	項　目	内　容
👤	名前	名前を入力します。
ｶﾅ	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。修正もできます。
👥	グループ	グループに分けて登録できます。11のグループがあり、グループ名の変更もできます。
☎	電話番号	１つの電話帳に電話番号を１件登録できます。
✉	メールアドレス	１つの電話帳にメールアドレスを１件登録できます。

基本的な登録のしかた

1 待受画面で[電話帳ボタン]▶[カメラボタン]▶[新規作成]

2 [FOMAカード(UIM)新規]▶名前を入力して[決定]

- 名前の入力については、P.102の操作２を参照してください。半角英数のみの場合は最大21文字まで、全角のみや全角／半角が混在している場合、半角カタカナのみの場合は最大10文字まで入力できます。
  半角英数のみで10文字以上入力してから全角／半角カタカナを入力した場合、全角／半角カタカナ以降に入力した文字は登録されません。また、全角／半角混在で10文字以上入力した場合、11文字目以降の文字は登録されません。
- フリガナの入力については、全角カタカナのみで最大12文字、半角英数のみで最大25文字まで入力できます。全角／半角が混在している場合は最大12文字まで入力できます。半角で12文字以上入力してから全角カタカナを入力した場合、全角カタカナ以降に入力した文字は登録されません。

3 [グループアイコン]を選択▶設定するグループを選択

4 [電話番号アイコン]を選択▶電話番号を入力して[決定]

- FOMAカード(緑色／白色)をご使用のときは26桁、FOMAカード(青色)をご使用のときは20桁まで入力できます。
- 電話番号の入力については、P.102の操作３を参照してください。

5 [メールアイコン]を選択▶メールアドレスを入力して[決定]

- メールアドレスの入力については、P.102の操作５を参照してください。

6 [iモードボタン](完了)

FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳の間でコピーする

FOMA端末(本体)電話帳をFOMAカード電話帳にコピー、またはFOMAカード電話帳をFOMA端末(本体)電話帳にコピーできます。

1 待受画面で[電話帳ボタン]▶電話帳の名前を選んで[カメラボタン]▶[コピー]

2 [FOMAカードへコピー]▶コピー方法を選択

- FOMAカード電話帳をFOMA端末(本体)電話帳にコピーするときは、[本体へコピー]→コピー方法を選択します。

１件コピーする	[１件コピー]→[はい]
選択してコピーする	[選択コピー]→名前を選択(くり返し可)→[カメラボタン]→[はい] ● すべてを選択／解除する場合は、[iモードボタン](全選択)／[iモードボタン](全解除)を押します(選択／解除できるのは電話帳リスト画面の上部に表示されている項目の電話帳のみです)。
電話帳の内容を確認してコピーする	操作１で名前を選択→[カメラボタン]→[コピー]→[FOMAカードへコピー](FOMA端末(本体)電話帳の場合)／[本体へコピー](FOMAカード電話帳の場合)→[はい]

お知らせ

- FOMAカードが挿入されていない場合は、この機能を利用できません。
- シークレット登録した電話帳は、シークレットモードを[ON]に設定しないとコピーできません。

電話帳

次ページへ続く

お知らせ

- FOMA端末(本体)に登録した電話帳をFOMAカードにコピーすると、各項目は次のように登録されます。
  - ■ 名前は全角10文字(半角21文字)を超えた文字は破棄されます。
  - ■ フリガナは全角カタカナで登録され、12文字を超えた文字は破棄されます。さらに、FOMAカードにコピーした電話帳をFOMA端末(本体)にコピーすると、フリガナは半角カタカナで登録されます。
  - ■ 名前が英数字の場合、フリガナは半角で登録され、25文字を超えた文字は破棄されます。
  - ■ FOMA端末(本体)電話帳のグループ名と同じグループ名がFOMAカード電話帳にあるときは、そのまま登録されます。同じグループ名がないときは[グループなし]となります。なお、全角と半角は別の文字として扱われます。
- FOMAカードに登録した電話帳をFOMA端末(本体)にコピーすると、各項目は次のように登録されます。
  - ■ フリガナは半角で登録されます。
  - ■ FOMAカード電話帳の電話番号、メールアドレスは、FOMA端末(本体)電話帳のそれぞれ1件目に保存されます。
  - ■ FOMAカード電話帳のグループ名と同じグループ名がFOMA端末(本体)電話帳にあるときは、そのまま登録されます。同じグループ名がないときは、[グループなし]となります。なお、全角と半角は別の文字として扱われます。
  - ■ メモリ番号は[010]~[999]→[000]~[009]の順で、使用していないメモリ番号が割り当てられます。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の利用できない文字がスペースに変換される場合があります。
- 電話帳データをコピーしてもコピー元のデータは残ります。
- 他のFOMA端末で登録したFOMAカードのデータを自分のFOMA端末にコピーする場合、半角英数記号以外のラテン文字、ギリシャ文字、一部の記号または区点コード一覧にない全角文字はスペースで表示されます。

グループ設定

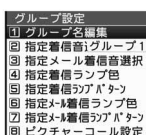
グループを設定する

電話帳にグループを設定して、グループごとの名前、着信音、着信ランプや電話がかかってきたときの画像を設定することができます。

- FOMAカード電話帳の場合、グループ名編集のみできます。

グループ名を変更する<グループ名編集>

- [1グループなし]は変更できません。

1 待受画面で📖▶設定するグループを選択

グループ設定画面

電話帳リスト画面のとき	📷→[グループ設定]→グループを選択
グループ選択画面のとき	グループを選んで📷→[グループ設定]

- グループ選択ではFOMA端末(本体)電話帳(19グループ)のあとに、FOMAカード電話帳(10グループ)が表示されます。

2 [グループ名編集]▶グループ名を編集して⦿

- グループ名の入力文字数は次のとおりです。
  - ■ FOMA端末(本体)電話帳:最大全角10文字(半角20文字)
  - ■ FOMAカード電話帳: 半角英数のみの場合は最大21文字
全角のみや全角/半角が混在している場合、半角カタカナのみの場合は最大10文字
- お買い上げ時のグループ名に戻すときは、CLRを1秒以上押して⦿を押します。

3 i(完了)

電話帳

関連操作

グループごとの着信音や着モーションを設定する<指定着信音選択／指定メール着信音選択>

1 グループ設定画面で[指定着信音選択]／[指定メール着信音選択]

2 [メロディ]／[ミュージック]／[ｉモーション]

- 設定を解除するとき：[設定なし]

3 P.120の操作2を参照して着信音を選ぶ

グループごとの着信ランプの色を設定する<指定着信ランプ色／指定メール着信ランプ色>

1 グループ設定画面で[指定着信ランプ色]／[指定メール着信ランプ色]

2 着信ランプの色を選択

- 設定を解除するとき：[（設定なし）]

グループごとの着信ランプのパターンを設定する<指定着信ランプパターン／指定メール着信ランプパターン>

1 グループ設定画面で[指定着信ランプパターン]／[指定メール着信ランプパターン]

2 ランプパターンを選択

- 設定を解除するとき：[（設定なし）]

グループごとの画像を設定する<ピクチャーコール設定>

1 グループ設定画面で[ピクチャーコール設定]

2 [マイピクチャ]／[ｉモーション]

- カメラで静止画を撮影するとき：[静止画撮影]▶撮影
- カメラで動画を撮影するとき：[動画撮影]▶撮影
- 設定を解除するとき：[設定なし]

3 フォルダを選択▶画像を選んで[i]

お知らせ

指定着信音選択／指定メール着信音選択について

- P.105「指定着信音選択／指定メール着信音選択について」を参照してください。

指定着信ランプ／指定メール着信ランプについて

- P.105「指定着信ランプ／指定メール着信ランプについて」を参照してください。

ピクチャーコール設定について

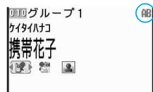
- グループピクチャーコールを設定すると、グループ選択画面に[■]が表示されます。
- P.106「ピクチャーコール設定について」を参照してください。

電話帳検索

電話帳から電話をかける

登録した電話帳を呼び出して電話をかけたり、メールを送信できます。

- 2in1利用時、2in1のモードによって表示される電話帳が自動的に切り替わります（☞P.441）。
- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定している場合、電話帳リスト画面や電話帳内容表示画面には電話帳2in1設定が次のマークで表示されます。[Aモード]／[Bモード]、または2in1機能がOFFの場合は表示されません。

電話帳リスト画面

電話帳内容表示画面

マーク	説明
A	A
B	B
AB	共通

電話帳の検索方法を選択する<検索方法選択>

電話帳の検索のしかたには、フリガナ検索、グループ検索、メモリ番号検索があります。

- FOMAカード電話帳にはメモリ番号がないため、メモリ番号では検索できません。
- 待受画面で[電話帳]を押すと、前回選択した検索方法で表示されます。

1 待受画面で[電話帳]▶[カメラ]▶[検索方法選択]▶検索方法を選択

フリガナ検索	FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳の両方がフリガナ順に表示されます。
グループ検索	FOMA端末(本体)電話帳のあとにFOMAカード電話帳が表示されます。
メモリ番号検索	FOMA端末(本体)電話帳のみが表示されます。

- 選んだ検索方法で、電話帳が表示されます。

電話帳

関連操作

音声電話中に電話帳を表示する

音声電話中に[MULTI]▶[[電話帳](電話帳)]

microSDメモリーカード内の電話帳を表示する<microSDデータ参照>

待受画面で[電話帳]▶[カメラ]▶[microSDデータ参照]

- グループ検索のとき:待受画面で[電話帳]▶グループを選択▶[カメラ]▶[microSDデータ参照]

microSDメモリーカード内の電話帳の内容を所有者情報にコピーする<所有者情報へコピー>

待受画面で[電話帳]▶[カメラ]▶[microSDデータ参照]▶名前を選択▶[カメラ]▶[コピー]▶[所有者情報へコピー]▶端末暗証番号を入力して[決定]▶[はい]

電話帳をｉモードメールに添付して送信する<メール添付>

待受画面で[電話帳]▶名前を選んで[カメラ]▶[メール添付]▶ｉモードメール作成・送信

電話帳を機能別ロックする<機能別ロック>

1 待受画面で[電話帳]▶[カメラ]▶[機能別ロック]
- グループ検索のとき:待受画面で[電話帳]▶グループを選択▶[カメラ]▶[機能別ロック]

2 端末暗証番号を入力して[決定]▶[ON]

お知らせ

microSDメモリーカード内の電話帳データ参照について

- microSDメモリーカード内の電話帳データの検索方法は、選択できません。

所有者情報へコピーについて

- 1件目に登録している電話番号は所有者情報にコピーされません。
- 画像転送設定を[する]に設定している場合、microSDメモリーカード内の電話帳の画像が所有者画像に設定されます。
- 2in1のモードを[Bモード]に設定している場合は、Bナンバーの所有者情報にコピーされます。それ以外の場合は、Aナンバーの所有者情報にコピーされます。

メール添付について

- FOMAカード電話帳は添付できません。
- microSDメモリーカード内の電話帳を参照中は、[メール添付]を選択できません。
- ｉモードメールの作成・送信については、P.208を参照してください。

名前で検索する<フリガナ検索>

1 **待受画面で[電話帳]**

電話帳リスト画面
（カ～コ行）

- フリガナ検索の電話帳リスト画面が表示されないときは、[カメラ]を押し[検索方法選択]→[フリガナ検索]を選択します。
- フリガナ検索は次の順番で表示されます。
  カタカナ（50音→濁点・半濁点）→英字→数字→スペース※→記号→フリガナなし
  ※ フリガナの1文字目にスペースが入力されている場合は、数字のあと、記号より前に表示されます。

2 **名前を選ぶ**

50音順の前の行／次の行を表示する	[左右]
1件ずつ選択する	[上下]
ページ単位でスクロールする	下：[電話帳]（▼ページ）／上：[メール]（▲ページ）
フリガナを入力する（スピーディーサーチ）	フリガナを1文字ずつ入力するたびに、最も近いフリガナの電話帳が順次表示されます。

3 **[決定]**

電話帳
内容表示画面

- 各アイコンを選択すると、次の動作を行います。

[電話番号アイコン]	登録している電話番号に発信します。 ● 複数登録している場合は、登録した数だけアイコンが表示されます。利用するアイコンを選んでください。
[メールアドレスアイコン]	登録しているメールアドレス宛のメール作成画面が表示されます。 ● 複数登録している場合は、登録した数だけアイコンが表示されます。利用するアイコンを選んでください。
[会社アイコン]	登録している会社・学校、所属、役職を確認できます。
[住所アイコン]	登録している住所を確認できます。
[位置情報アイコン]	位置情報メニューが表示されます（☞P.284）。
[メモアイコン]	登録しているメモの内容を確認できます。
[着信音アイコン]	設定している着信音または着モーションを再生します。
[着信ランプアイコン]	設定している着信ランプ色と着信ランプパターンで点滅します。
[画像アイコン]	設定している静止画、動画／iモーションを表示します。
[キャラ電アイコン]	設定している静止画やキャラ電を表示します。

- [〒]を選ぶと登録した郵便番号を表示します。
- [誕生日]を選ぶと登録した誕生日を表示します。

4 **電話をかける**

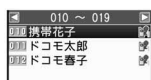
音声電話	[発信]または[決定]
テレビ電話	[テレビ電話]
プッシュトーク	[プッシュトーク]（[P]）または[メール]

- 表示されている電話番号に発信します。

電話帳

メモリ番号で検索する<メモリ番号検索>

- メモリ番号[000]～[099]に登録した相手には、ツータッチダイヤルで電話をかけることができます（☞P.116）。

1 待受画面で📖

FOMA端末（本体）
電話帳リスト画面
（メモリ番号010～019）

- メモリ番号検索の電話帳リスト画面が表示されないときは、📷を押し[検索方法選択]→[メモリ番号検索]を選択します。

2 メモリ番号を選ぶ

前の10番台／次の10番台を表示する	⊙ ● 表示されている電話帳の前後10番台の先頭から表示されます。
1件ずつ選択する	⊙
メモリ番号を入力する（スピーディーサーチ）	● メモリ番号を1桁ずつ入力するたびに、該当する電話帳が順次表示されます。たとえば、「085」を入力すると次のようになります。 ■ 1桁目「0」を入力：メモリ番号[000]～[009]の電話帳が表示されます。 ■ 2桁目「8」を入力：メモリ番号[080]～[089]の電話帳が表示されます。 ■ 3桁目「5」を入力：メモリ番号[085]の電話帳が選択されます。 ● 入力したメモリ番号が登録されていない場合は、入力したメモリ番号より大きくて一番近いメモリ番号の電話帳が表示されます。ただし、入力したメモリ番号より大きいメモリ番号の電話帳が登録されていない場合は、メモリ番号「000」から順次検索し、最も小さいメモリ番号の電話帳を表示します。

- 引き続き、P.111「名前で検索する」の操作3以降を参照してください。

グループで検索する<グループ検索>

1 待受画面で📖

グループ選択
1 グループなし
2 グループ1
3 グループ2
4 グループ3
5 グループ4
6 グループ5
7 グループ6
8 グループ7

グループ選択画面

- グループ選択画面が表示されないときは、📷を押し[検索方法選択]→[グループ検索]を選択します。

2 グループを選択

電話帳リスト画面
（グループ1）

- フリガナ順（カタカナ（50音→濁点・半濁点）→英字→数字→スペース→記号→フリガナなし）に表示されます。
- グループ設定していない電話帳は[グループなし]にグループ分けされています。

3 名前を選ぶ

前のグループ／次のグループを表示する	⊙
1件ずつ選択する	⊙（現在のグループ内）
フリガナを入力する（スピーディーサーチ）	フリガナを1文字ずつ入力するたびに、現在のグループ内で最も近いフリガナの電話帳が順次表示されます。

- 引き続き、P.111「名前で検索する」の操作3以降を参照してください。

電話番号で検索する<電話番号検索>

1 待受画面で▶▶[電話番号検索]

- グループ検索のときは、グループを選択してを押し、[電話番号検索]を選択します。

2 電話番号の一部を入力して⦿

- 最大26桁まで入力できます。
- 検索結果が表示されます。

3 電話番号を選択

- 引き続き、P.111「名前で検索する」の操作3以降を参照してください。

関連操作

発信方法を選択して電話をかける

1 待受画面で▶名前を選択
- グループ検索のとき:待受画面で▶グループを選択▶名前を選択

2 発信方法を選択して発信する
- 国際電話をかけるとき:▶[番号設定]▶[番号付加設定]▶[国際電話発信]▶国際アクセス番号を選択▶または⦿
- プレフィックス番号を付けるとき:▶[番号設定]▶[番号付加設定]▶[プレフィックス選択]▶プレフィックス番号を選択▶または⦿
- 発信者番号非通知でかけるとき:▶[番号設定]▶[番号通知設定]▶[番号非通知]▶または⦿
- 発信者番号通知でかけるとき:▶[番号設定]▶[番号通知設定]▶[番号通知]▶または⦿
- ネットワークサービスの発信者番号通知設定に従うとき:▶[番号設定]▶[番号通知設定]▶[NW設定に従う]▶または⦿
- 画像を指定してテレビ電話をかけるとき:P.81「相手に送信する画像を発信時に変更する」の操作1のあと
- マルチナンバーを選択するときは、P.440を参照してください。
- 2in1利用時に発信番号を選択するときは、P.441を参照してください。
- 着もじメッセージを付けて電話をかけるときは、P.59を参照してください。

電話帳リスト画面の表示方法を変更する<表示切替>

1 待受画面で▶▶[表示切替]

- グループ検索のときは、グループを選択してを押し、[表示切替]を選択します。

2 表示方法を選択

名刺表示

リスト表示

ピクチャー一覧

お知らせ

- ピクチャー一覧の場合、1件目の電話番号とメールアドレスが表示され、電話をかけることはできますがメールアドレスは選択できません。登録されている他の電話番号やメールアドレスを選択するときは、電話帳内容表示画面から選択してください。
- グループ設定のピクチャーコールを設定した場合、設定した画像が、グループ内のメンバー全員の画像として表示されます。ただし、個人ごとに設定した画像があるときは、その画像が表示されます。

電話帳内容表示画面の表示を変更する<画像表示切替>

電話帳のピクチャーコールに設定した画像を、電話帳内容表示画面に表示できます。
- microSDメモリーカード内のデータを表示している場合は、切り替えできません。

1 待受画面で[電話帳] ▶ 名前を選択 ▶ [カメラ] ▶ [画像表示切替]

画像を転送しないように設定する<画像転送設定>

電話帳をmicroSDメモリーカードにコピーしたり、赤外線送信やｉC送信するときに、ピクチャーコールに設定した画像を転送しないように設定できます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます(☞P.335)。
- 画像転送設定を[する]に設定している場合、電話帳をmicroSDメモリーカードにコピーしたり、赤外線送信やｉC送信するときに時間がかかることがあります。
- 画像転送設定を[する]に設定しても、次の場合は転送できません。
  - ■ お買い上げ時に登録されている画像
  - ■ 取得元がテレビ電話の画像
  - ■ 取得元がｉモードでファイル制限ありの画像

1 待受画面で[電話帳] ▶ [カメラ] ▶ [画像転送設定]
- グループ検索のときは、グループを選択して[カメラ]を押し、[画像転送設定]を選択します。

2 [しない]
- 画像を転送するときは、[する]→[はい]を選択します。

電話帳編集

電話帳を修正する

電話帳に登録・設定した内容を、項目ごとに編集できます。
- オールロック、ダイヤル発信制限を設定しているときは、編集できません。
- 指定着信許可／指定着信拒否に設定されている電話帳は編集できません。

1 待受画面で[電話帳] ▶ 名前を選んで[カメラ] ▶ [データ編集] ▶ [修正]
- 電話帳内容表示画面から編集するときは、[カメラ]を押し、[データ編集]→[修正]を選択します。
- 修正できる内容については、P.101、P.106を参照してください。

2 項目を選択 ▶ 編集する
- 編集方法は、新規登録時と同様です。
- 名前を修正してもフリガナは自動で反映されません。
- 複数の電話番号を登録している場合、1件目の電話番号を削除したときは[(未登録)]となりますが、他の電話番号は変更されません。

3 [i](完了) ▶ 登録する

FOMA端末(本体)電話帳のとき	上書き登録する	⦿→[はい]
	別のメモリ番号に登録する	メモリ番号を入力 ● [CLR]を1秒以上押し、メモリ番号を消去して⦿を押すと、空いているメモリ番号に登録できます(☞P.103)。
FOMAカード電話帳のとき		[はい]

- プッシュトーク電話帳に電話番号が登録されている電話帳を編集して上書き登録するときは、プッシュトーク電話帳の内容も変更される旨のメッセージが表示されます。[はい]を選択すると、上書き登録されます。

関 連 操 作

複数登録されている電話番号やメールアドレスの順番を入れ替える<項目入替>

1 待受画面で□▶名前を選んで◙▶[データ編集]▶[項目入替]

- 電話帳内容表示画面から操作するとき：◙▶[データ編集]▶[項目入替]

2 [電話番号入替]／[メールアドレス入替]

3 移動元を選択▶移動先を選択

登録内容をコピーする<項目コピー>

待受画面で□▶名前を選択▶項目を選んで◙▶[コピー]▶[項目コピー]

プッシュトーク電話帳に登録する<プッシュトーク電話帳登録>

待受画面で□▶名前を選んで◙▶[データ編集]▶[プッシュトーク電話帳登録]

- 電話帳内容表示画面から登録するとき：◙▶[データ編集]▶[プッシュトーク電話帳登録]

お知らせ

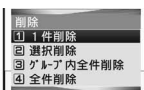
登録内容のコピーについて

- コピーできる項目は、FOMA端末（本体）電話帳内の、[名前]、[電話番号１～３]、[メールアドレス１～３]、[会社・学校]、[所属]、[役職]、[住所]、[メモ]とFOMAカード電話帳内の、[名前]、[電話番号]、[メールアドレス]です。
- 電話帳からコピーした内容の貼り付け方法については、P.426「文字を貼り付ける」を参照してください。

電話帳削除

電話帳を削除する

- FOMA端末（本体）電話帳に登録されている電話帳データを削除すると、プッシュトーク電話帳からも削除されます。

1 **待受画面で□▶名前を選んで◙▶[削除]**

2 **削除方法を選択**

1件削除する	[1件削除]→[はい]
複数をまとめて削除する	[選択削除]→名前を選択（くり返し可）→◙→[はい] ● すべてを選択／解除する場合は、▮（全選択）／▮（全解除）を押します（選択／解除できるのは電話帳リスト画面の上部に表示されている項目の電話帳のみです）。
選んだグループ内のすべてを削除する	[グループ内全件削除]→グループを選択→端末暗証番号を入力して◉→[はい]
FOMA端末（本体）電話帳のすべてを削除する	[全件削除]→[本体電話帳]→端末暗証番号を入力して◉→[はい]
FOMAカード電話帳のすべてを削除する	[全件削除]→[FOMAカード電話帳]→端末暗証番号を入力して◉→[はい]

- プッシュトーク電話帳に登録されている電話番号があるときは、プッシュトーク電話帳の削除確認画面で[はい]を選択すると、プッシュトーク電話帳とFOMA端末（本体）電話帳のデータが削除されます。

電話帳の内容表示画面から削除する<1件削除>

電話帳の内容表示画面で◙▶[1件削除]▶[はい]

シークレット登録

知られたくない電話帳を守る

電話帳をシークレット登録すると、そのデータはFOMA端末のシークレットモードを[ON]に設定しない限り呼び出せなくなり、他の人に見られるのを防ぐことができます。

- FOMAカード電話帳は、シークレット登録できません。

電話帳をシークレット登録する<シークレット登録>

1 電話帳入力画面(☞P.101)で[🔑]を選択▶[ON]

2 [i](完了)▶登録する

新規に登録する(☞P.102)	メモリ番号を入力
上書き登録する	⦿→[はい]

- [プッシュトーク電話帳に登録しますか？]と表示された場合、登録するときは[はい]を選択します。

お知らせ

- メモリ番号[000]～[099]に登録した電話帳をシークレット登録した場合、シークレットモードを[ON]に設定しないとツータッチダイヤルで電話をかけることはできません。
- シークレット登録した電話帳のメールアドレスも、シークレットモードを[ON]に設定しないと呼び出せません。

シークレットデータを呼び出すとき

- シークレットモードを[ON]に設定した状態で、通常の電話帳と同様の操作で呼び出します。電話帳リスト画面でシークレットデータを選ぶと、[🔑]が点滅します。
- 呼び出したあとは、発信や編集など、通常の電話帳と同様の操作ができます。

リダイヤル、着信履歴、送信メッセージ履歴、メール受信履歴、メール送信履歴、スケジュールでの表示について

- シークレット登録した電話帳の電話番号やメールアドレスの場合、名前は表示されず、電話番号やメールアドレスが表示されます。名前を表示させるには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音と着信ランプでお知らせします。電話帳で設定した着信音と着信ランプを有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。

ツータッチダイヤル／ツータッチメール

少ないボタン操作で電話発信やメール送信をする

FOMA端末(本体)電話帳のメモリ番号[000]～[099]に登録した相手には、簡単な操作で電話をかけたり、iモードメールを作成して送信することができます。

- 電話帳に複数の電話番号／メールアドレスが登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号／メールアドレスに発信／送信します。
- 電話帳の機能別ロック中は、ツータッチダイヤルやツータッチメールを利用することはできません(☞P.147)。

1 待受画面で、メモリ番号の下1桁または下2桁の数字を押す

- メモリ番号000～009:下1桁の数字に対応する[0]～[9]を押します。
- メモリ番号010～099:下2桁の数字に対応する[1][0]～[9][9]を押します。

2 機能を選ぶ

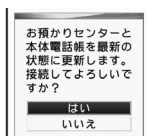
音声電話をかける	[📞]
テレビ電話をかける	[i]
メールを作成する	[✉]

- 指定したメモリ番号に登録されている相手に発信、またはメール作成画面が表示されます。
- メールの作成および送信方法は、P.208の操作2～4を参照してください。

電話帳をお預かりセンターに保存（復元・更新）する

FOMA端末（本体）電話帳をお預かりセンターに保存する<お預かりセンターに接続>

- すでに電話帳を保存している場合は、最新の内容に更新されます。
- 所有者情報もお預かりセンターへ保存されます。
- FOMAカード電話帳やmicroSDメモリーカード内の電話帳は保存できません。
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

1 待受画面で◉▶［LifeKit］▶［電話帳お預かりサービス］▶［お預かりセンターに接続］

- 電話帳リスト画面から、📷を押して［お預かりセンターに接続］を選択しても操作できます。

2 ［はい］▶端末暗証番号を入力して◉

- 保存が完了すると、完了お知らせ画面が表示され、待受画面に戻ります。

お知らせ

- ｉモードサービスエリア圏外・電源OFF時などでは利用できません。
- 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

自動更新について

- お預かりセンターのサイトで、定期的にお預かりセンターへ更新・保存するように設定できます。
- 電話帳の自動更新時に他の機能を起動していた場合は自動更新されません。電話帳の自動更新が起動されなかった場合は、待受画面に［電話帳お預かりセンター　更新通知あり］を表示してお知らせします。

お預かりセンターへ保存できる電話帳のピクチャーコール設定画像の制限について

- 画像種別はGIF、JPEGのみです。
- １枚あたり最大300Kバイトまでの画像を保存できます（300Kバイトを超える画像はお預かりセンターへ保存されません）。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像はお預かりセンターへ保存されません。

電話帳の通信履歴を表示する<通信履歴表示>

電話帳やメール、画像を保存／更新した通信履歴を、最新のものから最大30件まで確認できます。
通信履歴が30件を超えた場合は、最も古い履歴から順に削除されます。

1 待受画面で◉▶［LifeKit］▶［電話帳お預かりサービス］▶［通信履歴表示］▶履歴を選択

電話帳の画像を送信するかどうかを設定する<電話帳内画像送信>

電話帳をお預かりセンターに保存するときに、ピクチャーコールに設定した画像も送信するかどうかを設定できます。

- 電話帳内画像送信を［ON］に設定している場合、送信に時間がかかることがあります。

1 待受画面で◉▶［LifeKit］▶［電話帳お預かりサービス］▶［電話帳内画像送信］▶設定項目を選択

画像を送信する	［ON］→［はい］
画像を送信しない	［OFF］

音／画面／照明設定

■音の設定

■画面／照明の設定

音の設定

携帯電話から鳴る音を変える

音声電話、テレビ電話やプッシュトークの着信、ｉモードメール、SMSやメッセージR／Fの受信を知らせる着信音を変更したり、音にステレオ効果(☞P.124)を設定することができます。また、タイマー音やGPS関連音も変更できます。

- 着信ランプが動作するように設定されているメロディを着信音に設定しているときは、メロディと連動して着信ランプを点滅させること(メロディ連動)ができます。
- 着信音には、内蔵されているメロディのほかに、ｉモードで取得したメロディや着うた®、動画／ｉモーション、着うたフル®、FOMA端末で撮影した動画などを設定できます。
- 動画／ｉモーションを着信音に設定すると、着信時に映像や音声が再生されます(着モーション)。

着信音や着モーションを変更する <着信音選択>

1 待受画面で⊙▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音選択]▶[着信音選択]▶項目を選択

項目	音声電話着信音	非通知設定着信音
	テレビ電話着信音	通知不可能着信音
	公衆電話着信音	

テレビ電話着信音
1 メロディ
2 モーション
3 ミュージック
4 音声電話着信音に従う

テレビ電話着信音を変更する場合

2 着信音を選択

<table>
<tr><td colspan="2">メロディを設定する</td><td>[メロディ]→フォルダを選択→メロディを選んで▣
● メロディを確認するときは、メロディを選んで⊙(確認)を押します。戻るときは▣を押します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">着うた®や動画／ｉモーションを設定する</td><td>[ｉモーション]→フォルダを選択→着うた®や動画／ｉモーションを選んで▣
● 着うた®や動画／ｉモーションを確認するときは、着うた®や動画／ｉモーションを選んで⊙(確認)を押します。戻るときは□を押します。
● 映像のみ、またはテロップの付いた動画／ｉモーションは設定できません。
● microSDメモリーカードからFOMA端末(本体)にコピーした動画／ｉモーションは設定できません。撮影した動画を着モーションに設定する場合は、FOMA端末(本体)に保存してください。microSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内の着うた®や動画／ｉモーションを選んだときは、FOMA端末(本体)への移動確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、データBOXのｉモーションの[ｉモード]フォルダに移動され、着モーションに設定されます。
● 着信音・着信画面の組み合わせについては、P.202を参照してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">着うたフル®を設定する※</td><td>1曲全部</td><td>[ミュージック]→フォルダを選んで▣→着うたフル®を選んで▣→[まるごと設定]
● 着うたフル®を確認するときは、着うたフル®を選んで⊙(確認)を押します。戻るときはCLRを押します。</td></tr>
<tr><td>曲の一部</td><td>[ミュージック]→フォルダを選んで▣→着うたフル®を選んで▣→[オススメ設定]→範囲を選んで▣
● 選択できる範囲は、着うたフル®ごとにあらかじめ決められています。
● 選択した範囲を確認するときは、範囲を選んで⊙(確認)を押します。戻るときはCLRを押します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">音声電話着信音と同じ音に設定する</td><td>[音声電話着信音に従う]
● テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を音声電話着信音と同じ音にします。</td></tr>
</table>

※ microSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内の着うたフル®を選択したときは、FOMA端末(本体)への移動確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、データBOXのミュージックの[ｉモード]フォルダに移動され、着信音に設定されます。

お知らせ

● 着信音を変更した場合、着信画面も変更されることがあります(☞P.202)。
● 複数の着信音が設定されているとき、着信音やメール着信音は次の優先順位で鳴ります。

	優先順位(高→低)
着信音	マルチナンバー着信音※→電話帳指定着信音→グループ指定着信音→Bナンバー着信音→通常の着信音
メール着信音	電話帳指定メール着信音→グループ指定メール着信音→Bアドレス宛のメール着信音→通常のメール着信音

※ 2in1利用中は、マルチナンバーの着信音が無効になります。

● 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、着信音選択の非通知設定着信音で設定した着信音が鳴ります。設定していないときは、通常の着信音が鳴ります。
● 発信者番号が通知されないテレビ電話着信は、非通知設定着信音よりもテレビ電話着信音が優先されます。
● 着うた®や音声のみの動画／ｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)を着モーションとして設定した場合、着信画面は電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定の優先順位で表示されます。
● データ通信時の着信音は、音声電話着信音で設定した音と同じです。着信画面は、音声電話着信画面で設定した画面と同じです。動画／ｉモーションが設定されているときは動画／ｉモーション画面となります。
● 次の場合は、着信音に設定できません。
  ■ 再生制限のある着うた®や動画／ｉモーション、着うたフル®、うた・ホーダイ
  ■ 再生期限および更新有効期間が終了したうた・ホーダイ
  ■ 着信音設定が[不可]の着うた®や動画／ｉモーション、まるごと着信音設定とオススメ着信音設定が[不可]の着うたフル®(☞P.349)
  ■ 対応するミュージック(会員制)サービスのライセンスがないうた・ホーダイ
  ■ ダウンロードの途中で保存した着うたフル®

関連操作

ｉモードメール、メッセージR／F、SMS、プッシュトークの着信音を変更する<メール着信音選択>

1 待受画面で⦿▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音選択]▶[メール着信音選択]▶[メール着信音]／[メッセージR着信音]／[メッセージF着信音]／[SMS着信音]
  ● プッシュトークのとき：待受画面で⦿▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音選択]▶[プッシュトーク着信音選択]

2 [メロディ]／[ｉモーション]／[ミュージック]▶P.120の操作2を参照して着信音を選択
  ● メッセージR着信音、メッセージF着信音、SMS着信音をメール着信音と同じ着信音にするとき：[メール着信音に従う]

関連操作のお知らせ

プッシュトーク着信音について
● プッシュトーク着信音に設定できる動画／ｉモーションは、音声のみのｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)です。

お買い上げ時に内蔵されているメロディ

曲　名	作曲者名	3D情報
着信音1	－	－
着信音2	－	－
着信音3	－	－
着信音4	－	－
着信音5	－	－
着信音6	－	－
鳴き声(ヒヨコ)	－	有
黒電話	－	－
Sunrise	－	－
Sunset	－	－
Stardust	－	－
クリスタル	－	－
Smily Tap	－	有
Classy Room	－	有
Groove	－	有
ラグタイムダンス	SCOTT JOPLIN	有
ジュピター	GUSTAV HOLST	有
Festival Night	－	有
JE TE VEUX	－	－
ガヴォット	GOSSEC FRANCOIS JOSEPH	－
王家の末裔	－	－
Siesta	－	有
ラヴァーズコンツェルト	J.S.BACH	有
Feelin' Groovy	－	有
サイレント	－	－
TI(標準音)	－	－
TI(時間です)	－	－
TI(It's time)	－	－

お知らせ

● メロディごとのアイコンについては、P.334「メロディの種類とマークについて」を参照してください。
登録したメロディは、パソコンをお持ちの場合はmicroSDメモリーカード(☞P.335)をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。ファイル制限ありのメロディは転送できません。
● FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

タイマーの音を変更する＜タイマー音＞

1 **待受画面で⦿▶［設定］▶［音・バイブ・マナー］▶［音選択］▶［タイマー音］▶タイマー音を選択**

標準音を設定する	［標準音］ ● 標準音を確認するときは、[i]を押します。戻るときは[i]を押します。
メロディを設定する	［メロディ］→フォルダを選択→メロディを選んで[i] ● メロディを確認するときは、メロディを選んで⦿（確認）を押します。戻るときは[i]を押します。
設定しない	［OFF］

2 **タイマー音を鳴らす時間（2桁：00～99秒）を入力して⦿**

お知らせ

- 動画／iモーションは、タイマー音に設定できません。
- 設定時に標準音またはメロディを確認するときは、音量選択の［タイマー音］で設定した音量で再生されます。音量設定が［サイレント］のときは［音量1］で再生されます。メロディの場合、再生中に◯を押して調整できます。

GPS機能利用時の音を変更する＜GPS音選択＞

1 **待受画面で⦿▶［設定］▶［音・バイブ・マナー］▶［音選択］▶［GPS音選択］▶項目を選択**

項目	現在地確認音	位置提供／毎回確認音
	現在地通知音	
	位置提供／許可音	

2 **GPS音を選択**

メロディを設定する	［メロディ］→フォルダを選択→メロディを選んで[i] ● メロディを確認するときは、メロディを選んで⦿（確認）を押します。戻るときは[i]を押します。
設定しない	［OFF］

お知らせ

位置提供許可／位置提供毎回確認について

- 「位置提供許可時」とは、GPSサービス利用設定が［許可］の場合、もしくは［i Menu］→［料金＆お申込・設定］→［オプション設定］→［位置情報利用設定］で位置情報利用設定が［許可］の場合です。
- 「位置提供毎回確認時」とは、GPSサービス利用設定が［毎回確認］の場合、もしくは［i Menu］→［料金＆お申込・設定］→［オプション設定］→［位置情報利用設定］で位置情報利用設定が［毎回確認］の場合です。
- GPSサービス利用設定については、P.281を参照してください。

音量調節

携帯電話から鳴る音の音量を変える

音声電話、テレビ電話やプッシュトークの着信、iモードメール、SMSやメッセージR／Fの受信を知らせる着信音量を変更できます。また、ボタンを押したときや待受iモーション再生時の音量、タイマー音や充電開始／完了の音量、GPS関連音の音量も変更できます。

- 調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。
- データ通信時の着信音量は、音声電話着信音で設定した音量と同じです。

着信音の音量を調節する＜着信音量選択＞

- ［音量1］～［音量10］、［サイレント］（音を鳴らさない）、［ステップトーン］（だんだん大きな音になる）に調節できます。

1 **待受画面で⦿▶［設定］▶［音・バイブ・マナー］▶［音量選択］▶［着信音量選択］▶項目を選択**

項目	音声電話着信音	非通知設定着信音
	テレビ電話着信音	通知不可能着信音
	公衆電話着信音	

音／画面／照明設定

2 ○／○で音量を調節して◉

- [ステップトーン]に設定するときは、[音量10]のときに○を押します。設定すると、[音量2]から鳴り始め、[音量10]まで3秒ごとに2段階ずつ上がり、以降は[音量10]で鳴ります。
着モーションを設定しているときもステップトーンで再生されます。
- [サイレント]に設定するときは、[音量1]のときに○を押します。音声電話着信音を[サイレント]に設定したときは、ディスプレイ上部に[ ]が表示されます。

関連操作

ｉモードメール、SMS、メッセージR／F、プッシュトークの着信音量を調節する<メール着信音量選択>

1 待受画面で◉▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音量選択]▶[メール着信音量選択]▶[メール着信音]／[メッセージR着信音]／[メッセージF着信音]／[SMS着信音]
- プッシュトークのとき：待受画面で◉▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音量選択]▶[プッシュトーク着信音量選択]

2 ○／○▶◉

受話音量を調節する<受話音量>

受話音量を10段階で調節できます。

1 待受画面で○／○を1秒以上押す

- カレンダーが表示されているときは、□を押しカレンダーを非表示にしてから操作してください。

2 ○／○で音量を調節する

- 音量調節後、◉／CLRを押す、または、約2秒経過すると待受画面に戻ります。

ボタンを押したときや待受ｉモーション再生時の音量を調節する<ボタン／待受ｉモーション音>

FOMA端末のボタンを押したときの音(ボタン音)や待受画面に設定しているｉモーションを再生するときの音(待受ｉモーション音)の音量を調節します。また、充電開始／完了音、タイマー音の音量を調節できます。

- [音量1]～[音量10]、[サイレント](音を鳴らさない)に調節できます。
- 電池残量確認音(☞P.44)はボタン／待受ｉモーション音で設定した音量で鳴ります。[サイレント]に設定すると、電池残量確認音も鳴りません。
- テレビ電話やキャラ電プレーヤーでキャラクタ操作中は、ボタンを押しても音が鳴りません。
- マナーモード設定中は、この機能の設定にかかわらず、音は鳴りません。
- TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドをダブルタップして選択したときも音が鳴ります。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音量選択]▶[ボタン／待受ｉモーション音]

2 ○／○で音量を調節して◉

- [サイレント]に設定するときは、[音量1]のときに○を押します。

関連操作

充電開始音／完了音の音量を調節する<充電開始音／充電完了音>

1 待受画面で◉▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音量選択]▶[充電開始音]／[充電完了音]

2 ○／○▶◉

タイマー音の音量を調節する<タイマー音>

1 待受画面で◉▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音量選択]▶[タイマー音]

2 ○／○▶◉

GPS機能利用時の音の音量を調節する ＜GPS音量選択＞

● [音量1]～[音量10]、[サイレント](音を鳴らさない)、[ステップトーン](だんだん大きな音になる)に調節できます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音量選択]▶[GPS音量選択]▶項目を選択

項目	現在地確認音	位置提供／毎回確認音
	現在地通知音	
	位置提供／許可音	

2 ◌／◌で音量を調節して◉

お知らせ

位置提供許可／位置提供毎回確認について

● 「位置提供許可時」とは、GPSサービス利用設定が[許可]の場合、もしくは[i Menu]→[料金＆お申込・設定]→[オプション設定]→[位置情報利用設定]で位置情報利用設定が[許可]の場合です。

● 「位置提供毎回確認時」とは、GPSサービス利用設定が[毎回確認]の場合、もしくは[i Menu]→[料金＆お申込・設定]→[オプション設定]→[位置情報利用設定]で位置情報利用設定が[毎回確認]の場合です。

● GPSサービス利用設定については、P.281を参照してください。

音再生設定

3Dサウンドや音質を設定する

メロディなどを再生するときのステレオ効果やイコライザを設定できます。

● 音再生設定のメロディステレオ効果／メロディイコライザ設定と、メロディ再生中(☞P.333)のステレオ効果設定／イコライザ設定は連動しています。

3Dサウンド／サラウンドを設定する ＜メロディステレオ効果＞

設定した着信音などを、次のとおり設定できます。

ステレオ／3DサウンドON	3Dサウンドを3次元の立体音響でステレオスピーカから再生できます。3D情報が含まれていない着信音はステレオサウンドで鳴ります。
サラウンド ※1	3D情報が含まれていてもこの情報を無視して、着信音がサラウンドで鳴ります。3D情報が含まれていない場合も着信音がサラウンドで鳴ります。
OFF	着信音の種類にかかわらず、モノラル※2で再生されます。

※1 音に臨場感・立体感を出す再生方式

※2 立体感を出さない再生方式

● [OFF]に設定すると立体的な音で再生されません。

● iモーションを設定した場合、サラウンド効果は無効となります。

3Dサウンドとは

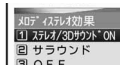
3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカ(またはステレオイヤホンセット)を使用して、立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド対応の i アプリによるゲームや着信音を臨場感あふれるサウンドでお楽しみいただけます。

● 迫力ある3Dサウンドを最も効果的にお楽しみいただくには、FOMA端末を約40cm離し、正面に向けてお持ちください。

● 正面から左右にずらした位置で聞く場合や、正面でも近すぎたり遠すぎたりした場合には効果が薄れてしまいますのでご注意ください。

● 個人差により、立体感が異なる場合があります。違和感がある場合は、メロディステレオ効果を[OFF]にしてください。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音再生設定]▶[メロディステレオ効果]▶ステレオ効果を選択

メロディステレオ効果
1 ステレオ/3DサウンドON
2 サラウンド
3 OFF

イコライザを設定する ＜メロディイコライザ設定＞

音楽のジャンルに合わせてイコライザを設定できます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音再生設定]▶[メロディイコライザ設定]▶イコライザを選択

イコライザ	ノーマル	ポップス
	ロック	クラシック

音楽起動設定

ビューアポジションで起動する音楽プレーヤーを設定する

ビューアポジションまたはFOMA端末を閉じた状態で起動できる音楽プレーヤーを設定します。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音再生設定]▶[音楽起動設定]▶音楽プレーヤーの種類を選択

音楽プレーヤーの種類	ミュージックプレーヤー
	SDオーディオ

バイブレータ設定

着信やアラームを振動で知らせる

電話やプッシュトーク着信、メール受信、アラームを振動でお知らせできます。また、GPS機能利用時に振動させることができます。

- アラーム動作時のバイブレータは、ここで設定した着信バイブレータの設定に従います。
- バイブレータと音量の設定は連動していません。着信音やアラーム音を鳴らしたくないときは、音量を[サイレント]に設定してください。バイブレータ設定中でも音量は別途設定できます(☞P.122、P.402)。
- メロディに設定されているバイブレータを利用できます(メロディ連動)。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[バイブレータ設定]▶項目を選択

項目	着信バイブレータ
	メール着信バイブレータ
	GPSバイブレータ→現在地確認
	GPSバイブレータ→現在地通知
	GPSバイブレータ→位置提供/許可
	GPSバイブレータ→位置提供/毎回確認

2 バイブレータを選択

OFF	バイブレータは動作しません。
パターン1	約0.8秒振動→約0.8秒停止のくり返し
パターン2	約0.3秒振動→約0.3秒停止→約0.3秒振動→約1秒停止のくり返し
パターン3	連続振動
メロディ連動	● バイブレータが動作するように作成されているメロディを着信音に設定しているとき、メロディと連動させる(メロディ連動)ことができます。 ● バイブレータが動作するように作成されていないメロディを着信音に設定すると、[パターン1]で振動します。

- バイブレータが設定されます。着信バイブレータを設定したときは、ディスプレイ上部に[📳]が表示されます。
- ◌で[パターン1]~[パターン3]を選ぶと、バイブレータの振動を確認することができます。

お知らせ

- バイブレータを設定した場合、机の上などにFOMA端末を置いておくと、着信があったときに落下するおそれがありますので、ご注意ください。
- バイブレータを設定しても、Flash画像からのバイブレータ動作には反映されません。
- [メロディ連動]に設定しても、主旋律と連動していません。

位置提供許可/位置提供毎回確認について

- 「位置提供許可時」とは、GPSサービス利用設定が[許可]の場合、もしくは[iMenu]→[料金&お申込・設定]→[オプション設定]→[位置情報利用設定]で位置情報利用設定が[許可]の場合です。
- 「位置提供毎回確認時」とは、GPSサービス利用設定が[毎回確認]の場合、もしくは[iMenu]→[料金&お申込・設定]→[オプション設定]→[位置情報利用設定]で位置情報利用設定が[毎回確認]の場合です。
- GPSサービス利用設定については、P.281を参照してください。

メロディコール設定

呼出音を変える

音声電話をかけてきた相手に、「プルル」という呼出音の代わりに季節感のあるメロディを流します。お好みのメロディに変更することもできます。

- テレビ電話/プッシュトークから発信された場合、メロディコールは流れません。
- メロディコールの利用方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

※ メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです(お申し込みにはiモード契約が必要です)。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[着信時設定]▶[メロディコール設定]▶[はい]

- メロディコールのサイトに接続されます。設定サイトに接続した際のパケット通信料は無料です。

2 設定する

通話品質アラーム

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

電波状態が悪いなど通話が途中で切れそうなとき、直前にアラーム音でお知らせします。

- 通話品質アラームは音声電話のみに対応しています。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[通話中設定]▶[通話品質アラーム]▶アラーム音を選択

アラーム音	アラームあり(高音)
	アラームあり(低音)
	アラームなし

お知らせ

- 電波が強く[Yıl]が表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも、通話品質アラームが鳴ることがあります。
- 急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうこともあります。

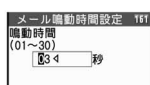
着信鳴動時間設定

メール/プッシュトークの着信音やGPS機能利用時の音を鳴らす時間を設定する

- 通話中、i アプリ実行中、カメラ起動中、GPS測位中、ワンセグ視聴中(マルチウインドウ時を除く)、パターンデータ更新中にメールを受信した場合、メール着信音は鳴りません。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[着信鳴動時間設定]▶項目を選択▶[ON]

項目	メール鳴動時間設定
	プッシュトーク鳴動時間設定
	GPS鳴動時間設定→現在地確認音
	GPS鳴動時間設定→現在地通知音
	GPS鳴動時間設定→位置提供/許可音
	GPS鳴動時間設定→位置提供/毎回確認音

- [OFF]に設定すると音は鳴りません。
- プッシュトークは[ON]/[OFF]を選択できません。必ず[ON]に設定されます。

2 着信音を鳴らす時間を入力して◉

- GPSの位置提供/毎回確認音は01~20秒、メール着信音やGPSの現在地確認音、現在地通知音、位置提供/許可音は01~30秒、プッシュトーク着信音は01~60秒の間で入力できます。

お知らせ

位置提供許可/位置提供毎回確認について

- 「位置提供許可時」とは、GPSサービス利用設定が[許可]の場合、もしくは[i Menu]→[料金&お申込・設定]→[オプション設定]→[位置情報利用設定]で位置情報利用設定が[許可]の場合です。
- 「位置提供毎回確認時」とは、GPSサービス利用設定が[毎回確認]の場合、もしくは[i Menu]→[料金&お申込・設定]→[オプション設定]→[位置情報利用設定]で位置情報利用設定が[毎回確認]の場合です。
- GPSサービス利用設定については、P.281を参照してください。

イヤホン切替設定

イヤホンだけから着信音を鳴らす

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続したとき、FOMA端末のスピーカから着信音やアラーム音などを出さず、イヤホンだけから聞こえるように設定できます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどが接続されていないときは、[イヤホンのみ]に設定していても、スピーカから着信音やアラーム音などが鳴ります。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[イヤホン切替設定]▶着信音の出力先を選択

着信音の出力先	イヤホンのみ
	イヤホン+スピーカー

お知らせ

- イヤホンマイクからの音量は、各機能の音量設定で設定されている音量で聞こえます。着信音量を[サイレント]に設定している場合、着信音はイヤホンから聞こえません。
- イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。内蔵アンテナが正しくはたらかないことがあります。
- イヤホンマイクのプラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全で途中で止まっていると、音が途切れたり、雑音や大きな音がすることがあります。
- 次の場合は故障ではありません。
  - ■ 通話中にイヤホンマイクのプラグの差し込みが不完全で、音が途切れたり雑音がすることがある。
  - ■ 電源を入れた瞬間に、「パチッ」という音がする。

マナーモード

電話から鳴る音を消す

公共の場所などで電話の音を周囲に出したくないときは、マナーモードを利用しましょう。FOMA端末から音を出さないように、簡単に切り替えることができます。

- マナーモードの種類によって、各機能の設定内容が以下の表のように異なります。

機　能	通常マナーモード	サイレントマナーモード	オリジナルマナーモード※1
伝言メモ、バイブレータ	ON	OFF	ON
着信音、メール着信音	サイレント	サイレント	サイレント
アラーム音、ボタン／待受ｉモーション音、電池残量警告音	OFF	OFF	OFF
マイク感度アップ※2	ON	ON	ON

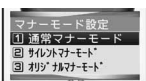
※1　オリジナルマナーモードの設定は変更できます（☞P.128）。

※2　マイク感度アップを[ON]に設定している場合は、通話中にマイクの感度が高くなり、小さな声で通話できます。ただし、ハンズフリーでの通話中は、マイク感度は変わりません。

- マナーモード設定中も、カメラのシャッター音、動画の撮影開始音／停止音は鳴ります。また、エリアメールを受信したときは、バイブレータ・着信ランプが動作します（オリジナルマナーモードのメール着信音を「サイレント」以外に設定した場合は、専用警報音（ブザー音）またはエリアメール専用着信音が鳴ります）。

マナーモードを設定する

1 待受中に#を1秒以上押す

- 着信中にマナーモードを設定するときは、着信中に#を1秒以上押します。前回と同じマナーモードが設定されます。FOMA端末を閉じているときは、着信中に▼を1秒以上押します。
- 着信中に[通常マナーモード]、[サイレントマナーモード]を設定した場合は着信音が止まります。[オリジナルマナーモード]の場合は設定した音量に変わります。通話が終了してもこの設定は有効です。電話に出られなかったときは、相手の用件が録音／録画されます。ただし、すでに3件の伝言メモ／音声メモ、2件のテレビ電話伝言メモが録音／録画されている場合、伝言メモは応答しません。☎を押すと電話に出ることができます。
- 待受画面で●を押し、[設定]→[音・バイブ・マナー]→[マナーモード設定]→[ON]を選択しても、マナーモードの種類を変更できます。マナーモード設定中に操作した場合は、設定中のマナーモードの種類が変更されます。マナーモード解除中に操作した場合は、マナーモードが設定されます。

2 マナーモードの種類を選択

- [通常マナーモード設定しました]、[サイレントマナーモード設定しました]、または[オリジナルマナーモード設定しました]と表示され、マナーモードが設定されます。
- 操作1のあと、何も操作しないでそのままにしておくと、約2秒後、選択中のマナーモードで設定されます。
- マナーモードを設定すると[マナーアイコン]が表示されます。

マナーモード設定時の待受中や着信中は（通常マナーモード）

- ボタン／待受ｉモーション音、警告音、メロディ再生音（確認画面を表示）、ｉアプリのメロディ／効果音、充電開始／完了音、電池残量確認音、通話保留音、バーコード認識音、料金上限通知アラーム音などの音は鳴りません。
- 各種着信音、アラーム音、タイマー音、各種GPS音などはバイブレータによるお知らせに変わります。
- 伝言メモが自動的に設定されます。また、メニュー操作による伝言メモの設定／解除（☞P.74）はできません。

マナーモードを解除する

1 待受中／着信中に#を1秒以上押す

- [マナーアイコン]が消え、マナーモードが解除されます。

指定した時刻にマナーモードを自動的に解除する＜マナーモード自動解除＞

1 待受画面で解除時刻（4桁:24時間制）を入力

2 ●（クイック）▶[マナー解除]

- # 1秒以上押しても設定できます。

マナーモードを設定していないときに着信音を止める＜クイックサイレント＞

着信中に#

- FOMA端末を閉じているとき：着信中に▲（Eco）／▼／●（📷）／●（P）

関連操作のお知らせ

マナーモード自動解除について

- 解除時刻は、設定した時刻から24時間以内です。解除時刻に待受画面以外を表示していたり、電源が入っていない場合は、待受画面に戻ったときにマナーモードが解除されます。

クイックサイレントについて

- クイックサイレントは、その着信に限り、着信音を止めることができます。

オリジナルマナーモード

マナーモードを変更する

オリジナルマナーモード選択時に設定される各機能の設定内容を変更できます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[マナーモード設定]▶[ON]

2 [オリジナルマナーモード]▶機能を選択▶[ON]/[OFF]

- 設定できる機能については、P.127を参照してください。
- 音量の設定のときは、◯/◯で音量を調節し、◉を押します。
- 設定が終わったら▭を押します。待受画面に戻り、設定したオリジナルマナーモードが設定されます。

お知らせ

- オリジナルマナーモードの伝言メモを[OFF]に設定していても、伝言メモを[ON]に設定していると、伝言メモが動作します。
- 電池残量警告音を[ON]に設定した場合、電池残量が少なくなると、警告音が「ピピピ…」と鳴ります。
- マナーモード設定中でも、オリジナルマナーモードの設定内容を変更できます。
- 外部機器接続中に外部機器から音を鳴らすように設定したときは、マナーモードを設定していても外部機器から音が鳴ります。

画面設定

待受画面の表示を変える

画像を表示する<待受画面設定>

あらかじめ登録されている画像やカメラで撮影した静止画、動画、サイトでダウンロードした画像やFlash画像、iモーション、iモードメールで受信した画像など、データBOXに保存されている画像を、待受画面に表示できます。

- FOMA端末にはあらかじめ待受画面が登録されています。
- データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像、iモーション内の動画/iモーションを利用できます。ただし音声のあるFlash画像を利用しても、音は鳴りません。
- 音声のみの動画/iモーション(歌手の歌声など映像のないiモーション)、再生制限のある動画/iモーション、ファイル形式がASFの動画/iモーションは待受画面に設定できません。
- [Bモード]/[デュアルモード]の待受画面を変更する場合は、モード別待受画面設定(☞P.441)で設定してください。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[画面設定]▶[待受画面設定]▶画像を選択

画像を設定する	[マイピクチャ]→フォルダを選択→画像を選んで▣→[はい] ● JPEG画像の場合、[標準]/[拡大/縮小(全画面)]/[拡大/縮小(ワイド)]から表示サイズを選択します。GIF画像、GIFアニメーションの場合、[標準]/[拡大/縮小(全画面)]から表示サイズを選択します。「待受:480×854」より大きいサイズの場合、[標準]は選択できません。Flash画像の場合、表示サイズを選択できません。 ● 画像を確認するときは、画像を選んで◉(確認)を押します。戻るときはCLRを押します。
動画/iモーションを設定する	[iモーション]→フォルダを選択→動画/iモーションを選んで▣→[はい] ● 動画/iモーションを確認するときは、動画/iモーションを選んで◉(確認)を押します。戻るときは▣を押します。 ● 再生を一時停止するときは◉(ポーズ)を押します。続きを再生するときは、◉を押します。 ● 「sQCIF:128×96」、「QCIF:176×144」、「hQVGA:240×176」、「QVGA:320×240」サイズの動画/iモーションを設定できます。「sQCIF:128×96」、「QCIF:176×144」サイズの動画/iモーションの場合、[標準]または[拡大]から表示サイズを選択します。
iアプリを設定する	[iアプリ] ● iアプリの設定方法については、P.258を参照してください。

お知らせ

- JPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを表示サイズ[標準]で設定したとき、次の場合は2倍に拡大して表示されます。
  - ■ 通常ポジションのとき:画像サイズが「240×427」以下の場合
  - ■ ビューアポジションのとき:画像サイズが「240×240」以下の場合
- microSDメモリーカード内の画像や動画/iモーションは直接、待受画面に設定できません。FOMA端末(本体)にコピー/移動してから設定してください。microSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内の動画/iモーションは直接設定できます。
- Flash画像やGIFアニメーション、動画/iモーションを待受画面に設定した場合は下記のように動作します。

Flash画像やGIFアニメーション	最初の1コマ目から最長約20秒まで再生され、再生終了後は停止したコマが待受画面として表示されます。再生中に▭を押すと、一時停止し、再度▭を押すと再生が再開されます。
動画/iモーション	最初の1コマ目から最長約20秒まで再生され、再生終了後は1コマ目が待受画面として表示されます。再生中に▭を押すと、1コマ目に戻り停止し、再度▭を押すと再生が再開されます。

音/画面/照明設定

お知らせ

- 待受画面での動画／ｉモーションの音量は、ボタン／待受ｉモーション音の音量に従います。待受画面でｉモーションを再生中にMULTを１秒以上押すと、音声の有無を切り替えることができます。
- 待受画面に設定している画像を削除した場合、お買い上げ時の画像に戻ります。
- 設定したGIFアニメーションまたは設定したFlash画像は、コマ落ちなど、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- 省電力モードになっているときに、いずれかのボタンを押すと画面が表示されます。音声電話中以外は、押したボタンの機能は実行されません。画面表示後、ボタン操作を行うことができます。

カレンダーを表示する <カレンダー表示設定>

待受画面に重ねて、今月または、今月と次月の２ヶ月分、今月を先頭に４ヶ月分のカレンダーを表示できます。休日設定日(☞P.407)、祝日(☞P.407)は赤色で表示されます。スケジュールが設定されている日付には、アンダーラインが表示されます。また、[１ヶ月(大)]のときは、スケジュールが設定されている日付の右側にアイコンが表示されます。

- お買い上げ時は、カレンダーには「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律(平成17年法律第43号)」に基づいた祝日が登録されています(2008年３月現在)。春分の日、秋分の日の日付は前年の２月１日の官報で発表されるため異なる場合があります。
- 待受画面にGIFアニメーションやFlash画像、ｉモーションを設定しているとき、カレンダー表示に切り替えると、待受画面の画像が停止します。
- Bilingual設定を[English]に設定したときは、カレンダー表示も英語表示になります。
- ビューアポジションのときは、カレンダーは表示されません。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[画面設定]▶[カレンダー表示設定]▶表示方法を選択

表示方法		
	１ヶ月(大)	２ヶ月→上
	１ヶ月→左上	２ヶ月→下
	１ヶ月→右上	４ヶ月
	１ヶ月→左下	OFF
	１ヶ月→右下	

１ヶ月(大)表示

１ヶ月表示(左上)

２ヶ月表示(下)

４ヶ月表示

- ◎を押すと、前後の月のカレンダーが表示されます。[４ヶ月]の場合は、前後２ヶ月分のカレンダーが表示されます。
- カレンダー表示を設定しているときに、待受画面でを押すと、カレンダー表示の有無が切り替わります。
- カレンダー表示と、ｉチャネルテロップ設定を[ON]に設定している場合、待受画面でを押すと、カレンダー表示とｉチャネルテロップ表示が切り替わります。

時計を表示する<待受時計表示設定>

待受画面に重ねて、日時を表示できます。

- 時計表示を[ON(大)]や[OFF]に設定すると、待受画面右上の時計は表示されません。[ON(小)]に設定すると、待受画面右上の時計が表示されます。
- データBOXのマイピクチャに保存されている横160×縦160ドット、横320×縦320ドットのGIF画像を利用できます。ただし、Flash画像、GIFアニメーション、JPEG画像は利用できません。
- Bilingual設定を[English]に設定したときは、日時も英語表示になります。ただし、画像によっては、Bilingualで日本語表示／英語表示を切り替えたときに正しく表示されない場合があります。
- ビューアポジションの場合は、[ON(大)]に設定していても[ON(小)]の表示になります。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[画面設定]▶[待受時計表示設定]

2 [時計表示]を選択▶時計の種類を選択

時計(大)を表示する	[ON(大)]
時計(小)を表示する	[ON(小)]→◉ ● 待受画面に戻り、操作が終了します。 ● ディスプレイ上部に表示される時計の画像は変更できます(☞P.136「マークのデザインを変更する」)。
時計を表示しない	[OFF]→◉ ● 待受画面に戻り、操作が終了します。

3 [時計グラフィック設定]を選択▶フォルダを選択▶画像を選んで◉(決定)

- 画面に時計の見本が表示されます。

4 [表示位置設定]を選択▶表示位置を選択▶◉(完了)

卓上時計設定

充電中に卓上時計を表示する

ビューアポジションで待受画面表示中に充電を開始すると、卓上時計を表示することができます。

● ［2時間］に設定すると、卓上時計の表示を開始してから2時間後に卓上時計が終了し、待受画面に戻ります。

● カラーテーマ設定（☞P.136）によって下記のように卓上時計のデザインが変わります。また、それぞれのデザインは日付、曜日、時間経過などによって変わります。

カラーテーマ	デザイン例
GentleWhite Natural SilverLine	10:05:00 TUE 25 DEC 2007 グラフィック時計
UrbanBlack CobaltBlue	10:05 TUE 25 DEC 2007 季節時計
JewelryPink Gorgeous Citrus	2007 TUE 25 DEC 10:05:00 イベント時計

1 待受画面で◉▶［設定］▶［表示・ランプ・省電力］▶［画面設定］▶［卓上時計設定］▶［2時間］

● 卓上時計を表示しないときは、［OFF］を選択します。

お知らせ

● 卓上時計表示中にいずれかのボタンを押すと、待受画面に戻ります。

● 音声電話やテレビ電話の着信、メール受信、アラーム動作、時間経過などにより卓上時計が終了した場合は、待受画面を表示させて◎／◎を押すと、再度卓上時計を表示させることができます。

● 卓上時計は、照明・省電力設定にかかわらず［明るさ3］で表示されます。

発着信画面設定

発着信時の画像を変更する

● データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像を利用できます。着信画面にはｉモーションも利用できます（音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を除く）。

● 設定可能な動画／ｉモーションの画像サイズは、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「hQVGA：240×176」、「QVGA：320×240」です。

● 横480×縦288ドットより横または縦が大きいサイズの画像は、縮小して表示されます。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［表示・ランプ・省電力］▶［テーマ・各種画面設定］▶［発着信画面設定］▶項目を選択▶ⓘ（画像選択）

項目	電話発信画面	公衆電話着信画面
	音声電話着信画面	非通知設定着信画面
	テレビ電話着信画面	通知不可能着信画面

● 項目を選択すると、設定されている画像のプレビュー画面が表示されますが、動画／ｉモーションを設定している場合は表示されません。

2 フォルダを選択▶画像を選んでⓘ（決定）

● 着信画面を設定するときは、フォルダを選ぶ前に［マイピクチャ］／［ｉモーション］を選択します。

● 画像を確認するときは、画像を選択します。CLRを押すと元の画面に戻ります。あらかじめ登録されているGIFアニメーションの場合、◉を押すと再生され、約15～30秒経過すると、自動的に停止します。

● 動画／ｉモーションの場合、再生を一時停止するときは◉（ポーズ）を押します。続きを再生するときは◉を押します。元の画面に戻るときは⊡を押します。

● 着信画面にｉモーションを設定する場合については、P.202を参照してください。

お知らせ

● 着信画面を変更した場合、着信音も変更されることがあります（☞P.202）。

● 発信画面・着信画面に設定した元の画像を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

● 発信画面・着信画面に設定できない画像は表示されません。

● 発信者番号が通知されないテレビ電話着信は、非通知設定着信画面よりもテレビ電話着信画面が優先されます。

お知らせ

- microSDメモリーカード内の画像は、発信画面・着信画面には設定できません。FOMA端末(本体)にコピー/移動してから設定してください。microSDメモリーカードからFOMA端末(本体)にコピーした動画/iモーションは着信画面に設定できません。撮影した動画を設定する場合は、FOMA端末(本体)に保存してください。microSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内の動画/iモーションは直接設定できます。
- ピクチャーコール設定を[ON]に設定している場合は、着信画面の設定よりもピクチャーコール設定が優先される場合があります。

メール送受信画面設定

メール送受信時の画像を変更する

メール送信時、メール受信時、メール受信完了時の画像を変更できます。

- データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像を利用できます。メール受信完了画面にはiモーションも利用できます(音声のみのiモーション(歌手の歌声など映像のないiモーション)を除く)。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[テーマ・各種画面設定]▶[メール送受信画面設定]▶項目を選択▶i(画像選択)

項目	メール送信画面設定	メール受信完了画面
	メール受信画面設定	

- 項目を選択すると、設定されている画像のプレビュー画面が表示されますが、動画/iモーションを設定している場合は表示されません。

2 フォルダを選択▶画像を選んでi(決定)

- メール受信完了画面を設定するときは、フォルダを選ぶ前に[マイピクチャ]/[iモーション]を選択します。
- 画像を確認するときは、画像を選択します。CLRを押すと元の画面に戻ります。あらかじめ登録されているGIFアニメーションの場合、◉を押すと再生され、15～30秒経過すると、自動的に停止します。
- 動画/iモーションの場合、再生を一時停止するときは◉(ポーズ)を押します。続きを再生するときは◉を押します。元の画面に戻るときは回を押します。

お知らせ

- メール受信完了画面を変更した場合、メール着信音も変更されることがあります。
- メール送信画面・メール受信画面・メール受信完了画面に設定した元の画像を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

お知らせ

- メール送信画面・メール受信画面・メール受信完了画面に設定できない画像は表示されません。
- microSDメモリーカード内の画像は、メール送信画面・メール受信画面・メール受信完了画面には設定できません。FOMA端末(本体)にコピー/移動してから設定してください。microSDメモリーカードからFOMA端末(本体)にコピーした動画/iモーションはメール受信完了画面に設定できません。撮影した動画を設定する場合は、FOMA端末(本体)に保存してください。microSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内の動画/iモーションは直接設定できます。
- SMSとメッセージR/Fの受信完了画面は、お買い上げ時に設定されている画面から変更できません。

ピクチャーコール設定

電話帳に登録した画像を着信時に表示するかどうかを設定する

電話帳にピクチャーコールを設定(☞P.104、P.109)している相手から着信があったとき、ピクチャーコールの画像を表示するかどうかを設定できます。

- 相手の発信者番号が通知されない場合や、電話帳にピクチャーコール(画像)を設定していないときは、ピクチャーコール設定を[ON]に設定してもピクチャーコールの画像は表示されません(☞P.106)。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[テーマ・各種画面設定]▶[発着信画面設定]▶[ピクチャーコール設定]▶[ON]/[OFF]

お知らせ

- 画像は次の優先順位で表示されます。

	優先順位(高→低)
画像	電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定 ● iモーションを設定している場合は、設定しているiモーションが優先される場合があります。

照明・省電力設定

バッテリーを節約する

ディスプレイの表示時間などを調整してバッテリーの消耗を抑えることができます。
照明・省電力設定の種類によって、表示時間などが以下の表のように異なります。

	通常モード(明るさ自動)	通常モード(明るさ固定)	Ecoモード(省電力)	オリジナルEcoモード※1
照明時間設定	約10秒	約10秒	約5秒	約10秒
画面表示時間設定	約1分	約1分	約30秒	約1分
明るさ調整※2	自動	6	1	自動
ボタン照明設定	点灯	点灯	消灯	点灯

※1 オリジナルEcoモードの設定は変更できます(☞P.132)。
※2 [自動]に設定すると、明るさセンサー(☞P.25)が周囲の明るさによって自動的にディスプレイの照明の明るさやボタンのバックライトの照明を点灯させるかどうかを調整します。携帯電話を開いた直後、急に暗いところや明るいところに移動した場合などは、明るさの調整に時間がかかることがあります。明るさセンサーにはシールなどを貼らないでください(☞P.24)。明るさを検知できないことがあります。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[照明・省電力設定]▶照明・省電力設定の種類を選択

ワンタッチでEcoモード(省電力)に設定する

1 待受画面で(Eco)▶[はい]

- Ecoモード(省電力)に設定されます。すでにEcoモード(省電力)に設定していた場合は、照明・省電力設定画面が表示されます。

お知らせ

- 設定を解除するときは、もう一度(Eco)を押すと照明・省電力設定画面が表示されますので、[Ecoモード(省電力)]以外の照明・省電力設定を選んでください。
- 通常ポジションのときのみ設定できます。

オリジナルEcoモード

オリジナルの省電力モードを設定する

照明・省電力設定の[オリジナルEcoモード]には、照明時間設定、画面表示時間設定、明るさ調整、ボタン照明設定をそれぞれ設定できます。

ディスプレイとボタンの照明時間を設定する<照明時間設定>

ディスプレイとボタンのバックライトの照明が点灯している時間を、以下の場合についてそれぞれ設定できます。設定した時間を過ぎると、バックライトが消灯します。

- オリジナルEcoモードで設定した照明時間設定、画面表示時間設定、明るさ調整、ボタン照明設定は、照明・省電力設定の種類を[通常モード(明るさ自動)]、[通常モード(明るさ固定)]、[Ecoモード(省電力)]に設定すると無効になります。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[照明・省電力設定]▶[オリジナルEcoモード]▶[照明時間設定]▶項目を選択

照明時間設定
1 通常時
2 充電時 10秒
3 テレビ電話時
4 インターネット時
5 アプリ時

項目	説明
通常時	電源を入れたとき、ボタンを押したとき、FOMA端末を開閉したとき、電話がかかってきたときなどに照明が点灯する時間を、1～99秒の間で設定できます。
充電時	ACアダプタ(別売)、DCアダプタ(別売)を接続しているときに照明が点灯する時間を[通常時と同じ]または[常にON]に設定できます。
テレビ電話時	テレビ電話の通話中に照明が点灯する時間を[通常時と同じ]または[常にON]に設定できます。
インターネット時	iモード/フルブラウザ中に照明が点灯する時間を[通常時と同じ]または[常にON]に設定できます。
iアプリ時	iアプリ中に照明が点灯する時間を[通常時と同じ]または[ソフトに従う]に設定できます。

2 照明時間を設定する

項目	設定
通常時	点灯時間(01～99秒)を入力して◉
充電時/テレビ電話時/インターネット時	[通常時と同じ]/[常にON]
iアプリ時	[通常時と同じ]/[ソフトに従う]

音/画面/照明設定

お知らせ

- 点灯時間(秒数)は通常時のみに設定できます。
- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。
- 通常時の照明時間設定と画面表示時間設定を同じ時間に設定している場合は、画面表示時間設定が優先されます。
- テレビ電話中のディスプレイの明るさは、照明・省電力設定のオリジナルEcoモードの設定に従います。照明時間設定のテレビ電話時を[通常時と同じ]に設定している場合は、明るさ調整で設定した明るさに調整されます。[常にON]に設定している場合は、[明るさ2]に調整されます。
- Flash画像、動画の再生時の照明時間は、イメージビューア、iモーションプレーヤーのバックライト点灯時間の設定に従います。
- 次の機能でバックライト点灯時間を[照明設定に従う]に設定した場合、照明時間設定の通常時の設定が反映されます。
  - ■ イメージビューア
  - ■ iモーションプレーヤー
  - ■ カメラ(動画撮影時)
  - ■ キャラ電プレーヤー
  - ■ ドキュメントビューア
  - ■ マンガ・ブックリーダー
  - ■ インターネットムービープレーヤー
  - ■ Music&Videoチャネルプレーヤー
- スライドショー、静止画撮影、文字読み取り、バーコードリーダー、名刺リーダーでは、ここでの設定にかかわらず、常に点灯します。
- 複数の照明時間が設定されているとき、次の優先順位で点灯します。

	優先順位(高→低)
照明時間	iアプリ時→テレビ電話時／インターネット時→充電時→通常時 ● iアプリ起動中にテレビ電話を利用する場合、テレビ電話時の照明時間設定が優先されます。 ● 充電時の照明時間設定を[常にON]に設定すると、テレビ電話を利用しながら充電する場合、テレビ電話時の設定にかかわらず、[常にON]になります。

ボタンの照明を点灯させる
＜ボタン照明設定＞

- [点灯]に設定したときの点灯時間は、照明時間設定に従います。
- [点灯]に設定すると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[照明・省電力設定]▶[オリジナルEcoモード]▶[ボタン照明設定]▶[点灯]

画面表示時間を設定する
＜画面表示時間設定＞

一定時間FOMA端末を使用しなかったときに、ディスプレイの表示を消してバッテリーの消費を抑えます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[照明・省電力設定]▶[オリジナルEcoモード]▶[画面表示時間設定]▶省電力モードになるまでの時間を選択

時間	30秒	2分	5分	15分
	1分	3分	10分	20分

お知らせ

- 省電力モードになっているときに、いずれかのボタンを押すと画面が表示されます。音声電話中以外は、押したボタンの機能は実行されません。画面表示後、ボタン操作を行うことができます。
- iチャネルテロップ再生中は画面表示時間設定に従って省電力モードになりますが、画面表示時間設定が[30秒]に設定されている場合は、iチャネルテロップ再生開始から60秒間は省電力モードになりません。
- Flash画像やGIFアニメーションを待受画面に設定している場合、省電力モードから復帰したときは先頭から再生されます。
- 次の場合は、画面表示時間設定で設定した時間が経過しても省電力モードになりません。
  - ■ テレビ電話中
  - ■ メール通信中
  - ■ スライドショー再生中
  - ■ プッシュトーク通信中
  - ■ カメラ起動中
  - ■ 外部機器とのデータ転送中
  - ■ iモード通信中
  - ■ iモーション再生中※1
  - ■ GPS測位中
  - ■ ワンセグ視聴中※2
  - ■ ワンセグ録画中※2
  - ■ ビデオ再生中
  - ■ 卓上時計表示中

※1 待受iモーションは画面表示時間設定に従います。
※2 マルチウインドウ時を除きます。

音／画面／照明設定

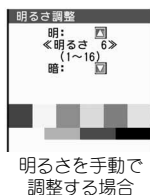
ディスプレイの明るさを調整する ＜明るさ調整＞

ディスプレイの明るさを調整できます。明るさ調整を［自動］に設定すると、周囲の明るさによって自動的にディスプレイの明るさが調整されます。さらにボタン照明設定を［点灯］に設定しているときは、周囲の明るさによって自動的にボタンの照明の［点灯］／［消灯］も調整されます。

- 明るくすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［表示・ランプ・省電力］▶［照明・省電力設定］▶［オリジナルEcoモード］▶［明るさ調整］▶明るさを選択

明るさを自動で調整する	［自動］
明るさを手動で調整する	［手動］→◯／◯→◉ ● 明るさを16段階に調整できます。調整するたびに設定した明るさで画面が表示されます。手動に変更時は［明るさ 6］に設定されています。

明るさを手動で調整する場合

きせかえツール

カスタムメニューのデザインを変更する

カスタムメニュー画面は、きせかえツールを利用して変更できます。

きせかえツールを利用する

サイトからダウンロードしたきせかえツールを利用すると、着信音、待受画面やメニューアイコンなどをまとめて変更できます。

- きせかえツールをダウンロードする方法については、P.193を参照してください。
- 設定できる項目は次のとおりです。

画面	待受画面、電話発信画面、電話着信画面、テレビ電話着信画面、メール送信画面、メール受信画面、メール受信完了画面、電波マーク、電池マーク、お知らせアニメ、カスタムメニュー画像（ｉモードメニュー画像、メールメニュー画像を含む）
着信音	音声電話着信音、テレビ電話着信音、メール着信音、メッセージR着信音、メッセージF着信音、プッシュトーク着信音
その他	カラーテーマ、文字サイズ

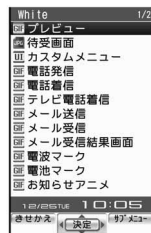
- 設定できる項目は、きせかえツールによって異なります。
- データBOXのきせかえツールの［プリインストール］フォルダ内のきせかえツールは、画面のみのきせかえツールです。
- きせかえツールを利用してカスタムメニュー画像を変更した場合、メニューの操作履歴に従ってカスタムメニューの項目が変わるものがあります。また、機能番号を入力しても項目を選択できないものがあります。この場合、本書での説明どおりに操作できないため、基本メニューに切り替える（☞P.34）か、メニュー画面リセット（☞P.135）を行ってください。
- きせかえツールに［ドコモダケ］を設定している場合は、［基本メニュー呼び出し］を選択すると一時的に通常のメニュー構成に戻すことができます。

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［きせかえツール］

- 基本メニュー、カスタムメニューで📱を押しても操作できます。
- 待受画面で◉を押し、［設定］→［表示・ランプ・省電力］→［テーマ・各種画面設定］→［きせかえツール］を選択しても操作できます。

2 フォルダを選択

3 きせかえツールを選択

- データを確認するときは、データを選択します。ただし、ビューアポジションではカスタムメニュー画像は確認できません。通常ポジションに戻してご利用ください。

きせかえツール内データ一覧画面

4 📱（きせかえ）▶［はい］

- 文字サイズの一括設定確認画面が表示された場合、きせかえツールに指定されている文字サイズに変更するときは［はい］を選択します。

お知らせ

- microSDメモリーカードの［移行可能コンテンツ］フォルダ内のきせかえツールはデータの確認はできますが、直接きせかえツールの設定をすることはできません。FOMA端末（本体）に移動してから設定してください。
- 2in1利用時、いずれのモードできせかえツールを設定しても、次の項目以外は、すべてのモード／電話番号／メールアドレスに反映されます。
  - 待受画面はAモードのみ反映されます。
  - 音声電話着信音とテレビ電話着信音はAナンバーのみ反映されます。
  - メール着信音はAアドレスのみ反映されます。

関連操作

データ確認時の音量を設定する<音量設定>
1 きせかえツール内データ一覧画面で📷▶[音量設定]
2 ○/○▶◉

待受画面にｉモーションを設定するときの表示サイズを設定する<待受ｉモーション設定>
1 きせかえツール内データ一覧画面で📷▶[待受ｉモーション設定]
2 [標準]/[拡大]

メニュー項目を変更する

きせかえツールによっては、カスタムメニューの項目を他の機能に変更できます(手動カスタマイズ)。
- お買い上げ時に登録されている[White]、[Black]、[Pink]、[Blue]、[拡大メニュー(Large)]は手動カスタマイズに対応しています。

■ メニュー項目を変更する<機能割り当て変更>

1 カスタムメニューで項目を選んで📷▶[機能割り当て変更]
- カスタムメニューが手動カスタマイズに対応していないきせかえツールを設定しているときや、変更できない項目を選択しているときは、[機能割り当て変更]を選択できません。

2 割り当てる機能を選択▶[はい]
- きせかえツールによって割り当てられる機能が異なります。

■ 手動カスタマイズしたカスタムメニューをリセットする<機能割り当てリセット>

1 カスタムメニューで📷▶[機能割り当てリセット]▶[はい]

メニュー項目を操作履歴により自動的に並べ替える

きせかえツールによっては、メニューの操作履歴に従ってカスタムメニューの項目を自動的に並べ替えるものがあります(自動カスタマイズ)。
- お買い上げ時に登録されている[ドコモダケ]は自動カスタマイズに対応しています。
- きせかえツールによって並べ替えかたなどが異なります。

■ 自動カスタマイズされたカスタムメニューをリセットする<メニュー操作履歴のリセット>

1 カスタムメニューで📷▶[メニュー操作履歴のリセット]▶[はい]

きせかえツール設定を初期状態に戻す

■ 画面/着信音のすべての設定項目を初期状態に戻す<画面/音設定の初期化>

- 画面/音設定の初期化を行うと、お買い上げ時の本体色にかかわらず、きせかえツール[White](本体色White用)が設定されます。

1 待受画面で9を1秒以上押す

2 [画面/音設定の初期化]▶端末暗証番号を入力して◉▶[確認]

■ メニュー画面だけをリセットする<メニュー画面リセット>

- メニュー画面リセットを行うと、お買い上げ時の本体色にかかわらず、きせかえツール[White](本体色White用)のメニュー画面が設定されます。

1 待受画面で9を1秒以上押す
- カスタムメニューで📷を押しても操作できます。

2 [メニュー画面リセット]▶端末暗証番号を入力して◉▶[確認]

テーマ・各種画面設定

ディスプレイをアレンジする

サブメニュー枠のデザインを変更する<サブメニュー画像設定>

サブメニューの上下の枠のデザインを変更できます。
- データBOXのマイピクチャの[プリインストール]フォルダ内の画像を利用できます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[テーマ・各種画面設定]▶[サブメニュー画像設定]▶▤(画像選択)
- ✉を押すと、上枠と下枠の画像設定画面を切り替えられます。

2 [プリインストール]▶画像を選んで▤(決定)
- 画像を確認するときは、画像を選択します。CLRを押すと元の画面に戻ります。
- 上枠用の画像を設定すると、下枠用の画像設定画面が表示されます。画像を設定するときは、▤(画像選択)を押し、操作2をくり返します。

ダイヤル入力画面の数字のデザインを設定する＜ダイヤル画像設定＞

1 **待受画面で◉▶［設定］▶［表示・ランプ・省電力］▶［テーマ・各種画面設定］▶［ダイヤル画像設定］▶項目を選択**

お知らせウィンドウのアニメーションを設定する＜お知らせウィンドウアニメ＞

確認メッセージやエラーメッセージを表示するお知らせウィンドウの画像を設定できます。

- 横212×縦42ドット、横424×縦84ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。ただし、Flash画像は利用できません。

1 **待受画面で◉▶［設定］▶［表示・ランプ・省電力］▶［テーマ・各種画面設定］▶［お知らせウィンドウアニメ］▶▣（画像選択）**

2 **フォルダを選択▶画像を選んで▣（決定）**

- 画像を確認するときは、画像を選択します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

マークのデザインを変更する＜電波／電池／小時計マーク＞

- データBOXのマイピクチャに保存されている画像で、電波マークは横48×縦60ドット、横96×縦120ドット、電池マークは横72×縦40ドット、横144×縦80ドット、小時計マークは横49×縦40ドット、横98×縦80ドットのGIF画像を利用できます。ただし、Flash画像、GIFアニメーション、JPEG画像は利用できません。

1 **待受画面で◉▶［設定］▶［表示・ランプ・省電力］▶［テーマ・各種画面設定］▶［電波／電池／小時計マーク］▶マークを選択**

マーク	電波マーク	小時計マーク
	電池マーク	

2 **▣（画像選択）▶フォルダを選択▶画像を選んで▣（決定）**

- 画像を確認するときは、画像を選択します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

画面の配色を変更する＜カラーテーマ設定＞

1 **待受画面で◉▶［設定］▶［表示・ランプ・省電力］▶［テーマ・各種画面設定］▶［カラーテーマ設定］▶カラーテーマを選択▶［はい］**

カラーテーマ	GentleWhite	Natural
	UrbanBlack	Gorgeous
	JewelryPink	Citrus
	CobaltBlue	SilverLine

- カラーテーマを選択すると、画面が選択中の配色パターンで表示されます。

基本メニューのデザインを変更する

基本メニューのアイコンや背景画像、アイコン名の有無を変更できます。

基本メニューのアイコンを設定する＜アイコン画像設定＞

- 横76×縦76ドット、横152×縦152ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。サイトでダウンロードした画像も利用できます。
- 1つのアイコンに対して非選択時用、選択時用の2枚の画像を設定できます。
- GIFアニメーションの場合は最大3シーンが切り替わります。選択時用の画像は設定できません。
- データBOXのマイピクチャの画像をメニューアイコンに設定した場合、元の画像を削除しても、メニューアイコンの設定を変更するまで画面は保持されます。

1 **基本メニューで、アイコンを選んで📷▶［アイコン設定］**

2 **［アイコン画像設定］▶フォルダを選択▶非選択時用の画像を選んで▣（決定）**

- メニューアイコンに設定できない画像は表示されません。
- GIFアニメーションを選択したときは、基本メニュー画面に戻ります。
- 画像を確認するときは、画像を選択します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

3 **選択時用の画像を選択**

選択時用の画像を別に設定する	［はい］→フォルダを選択→画像を選んで▣
非選択時用と同じ画像を設定する	［いいえ］

関連操作

アイコン名を表示する<アイコン名表示>
基本メニューで📷▶[アイコン設定]▶[アイコン名表示]▶[ON]

関連操作のお知らせ

アイコン名表示について
- アイコン画像の中に文字が含まれている場合、アイコン名表示を[ON]にすると、文字が二重に表示されます。

基本メニューの背景を設定する<背景設定>

- JPEG画像、GIF画像を利用できます（Flash画像、GIFアニメーションは利用できません）。
サイトでダウンロードした画像も利用できます。
- データBOXのマイピクチャの静止画を背景画像に設定した場合、元の静止画を削除しても、背景画像の設定を変更するまで画面は保持されます。

1 基本メニューで📷▶[背景設定]▶フォルダを選択▶静止画を選んで▣（決定）
- 背景画像に設定できない静止画は表示されません。
- 静止画を確認するときは、静止画を選択します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

基本メニューをお買い上げ時の状態に戻す<メニュー画面リセット>

基本メニューのアイコン画像設定、アイコン名表示、背景設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 基本メニューで📷▶[メニュー画面リセット]▶端末暗証番号を入力して◉▶[はい]

操作ガイドを表示する<操作ガイド>

操作ガイドブックを呼び出して、基本メニューのアイコンや、待受画面でのボタンの操作方法を調べることができます。

1 基本メニューで📷▶[操作ガイド]▶確認したい項目を選択

項目	アイコン	待受画面

- 選択した項目の操作ガイドブックが表示されます。

ランプ色設定／ランプパターン設定

イルミネーションを設定する

着信時や通話中、GPS機能利用時などに点滅する着信ランプの色や点滅パターンを設定します。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[ランプ設定]▶項目を選択

項目	
	着信ランプ→音声電話
	着信ランプ→テレビ電話
	着信ランプ→プッシュトーク
	メールランプ→メール受信ランプ
	メールランプ→メール送受信中ランプ※
	通話中ランプ※
	アラーム／タイマーランプ※
	ＩＣカードランプ※
	開閉連動ランプ※
	GPSランプ→現在地確認
	GPSランプ→現在地通知
	GPSランプ→位置提供／許可
	GPSランプ→位置提供／毎回確認

※ 項目を選択したあと[ON]を選択します。

2 [ランプ色設定]▶ランプ色を選択

ランプ色	レインボー	アクア
	オーロラ	サンシャイン
	サンセット	プラズマ
	リーフ	スカイ

- 色を選ぶたびに、着信ランプの色が変わります。
- GPSランプの現在地確認または現在地通知の場合、[OFF]に設定するとランプが点滅しません。
- ＩＣカードランプは、[ON]／[OFF]の設定になります。ランプ色は変更できません。

3 [ランプパターン設定]▶ランプパターンを選択

ランプパターン	宝石	シグナル
	蛍	ネオン
	流星	花火
	星空	メロディ連動※

※ メール送受信中ランプ／通話中ランプ／開閉連動ランプは設定できません。
- パターンを選ぶたびに、着信ランプの点滅パターンが変わります。
- GPSランプ／ＩＣカードランプは、[ON]／[OFF]の設定になります。ランプパターンは変更できません。

音／画面／照明設定

次ページへ続く

お知らせ

- データ通信時の着信ランプは、音声電話着信ランプで設定したランプ色と同じです。
- 複数の着信ランプが設定されているとき、着信ランプやメール着信ランプは次の優先順位で点滅します。

	優先順位(高→低)
着信ランプ	電話帳指定着信ランプ→グループ指定着信ランプ→通常の着信ランプ
メール着信ランプ	電話帳指定メール着信ランプ→グループ指定メール着信ランプ→通常のメール着信ランプ

位置提供許可／位置提供毎回確認について

- 「位置提供許可時」とは、GPSサービス利用設定が[許可]の場合、もしくは[ｉMenu]→[料金＆お申込・設定]→[オプション設定]→[位置情報利用設定]で位置情報利用設定が[許可]の場合です。
- 「位置提供毎回確認時」とは、GPSサービス利用設定が[毎回確認]の場合、もしくは[ｉMenu]→[料金＆お申込・設定]→[オプション設定]→[位置情報利用設定]で位置情報利用設定が[毎回確認]の場合です。
- GPSサービス利用設定については、P.281を参照してください。

お知らせランプ

電話やメールがあったことをランプで知らせる

不在着信や新着メールがあるときにランプを点滅してお知らせします。

- 不在着信はランプ色[アクア]、新着メールはランプ色[リーフ]、不在着信と新着メールの両方があるときはランプ色[アクア]と[リーフ]で、約4秒間隔で点滅します。ランプ色は変更できません。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[ランプ設定]▶[お知らせランプ]▶項目を選択▶[ON]**

項目	不在着信お知らせ
	新未読メールお知らせ

お知らせ

- 通常ポジション／ビューアポジションの場合は、省電力モードのときにお知らせランプが点滅します。
- お知らせランプが点滅し始めてから約24時間何も操作しなかった場合、お知らせランプが消灯します。

表示画質設定

画質を変更する

画像や映像を表示する機能ごとに、ディスプレイ画質を設定できます。また、動画再生中は、映像シーンに応じてバックライトの明るさを自動制御することができます。

画質モードを設定する＜鮮やか画質モード設定＞

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[表示画質設定]▶[鮮やか画質モード設定]▶機能を選択**

機能	待受
	カメラ
	ワンセグ／データBOX(ワンセグ)
	データBOX(マイピクチャ)
	データBOX(Music&V ch)
	データBOX(ｉモーション)
	インターネットムービープレーヤー

2 **画質を選択▶画質を確認して◉**

ノーマル	通常の画質です。
ダイナミック	彩度をアップし、エッジを強調した画質です。
ビビッド※1	彩度をアップした画質です。
シャープネス※1	エッジを強調した画質です。
映画※2	映画を見るのに適した画質です。

※1 [ワンセグ／データBOX(ワンセグ)]では設定できません。

※2 [ワンセグ／データBOX(ワンセグ)]のみ設定できます。

動画再生中にバックライトの明るさを自動制御する＜シーン別制御＞

- 照明・省電力設定の明るさ調整を、手動で1～8に設定している場合に有効です。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[表示画質設定]▶[シーン別制御]▶[ON]**

フォント（書体）設定
文字の設定（フォント）を変える

1 待受画面で◉▶［設定］▶［表示・ランプ・省電力］▶［文字表示設定］▶［フォント（書体）設定］▶フォントを選択

- ◌でフォントを選ぶと、見本の文字のフォントが変わります。

これは見本です
読みやすいフォント

LCゴシック

これは見本です
読みやすいフォント

SH平成明朝

これは見本です
読みやすいフォント

SHクリスタルタッチ

文字サイズ設定
文字のサイズを変える

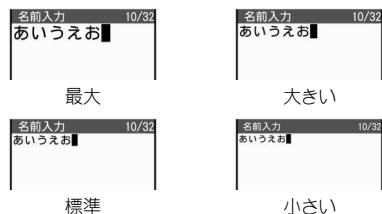
ディスプレイに表示される文字のサイズを一括して変更できます。i モード、フルブラウザ、メール／メッセージ、文字入力について個別に設定することもできます。

- 一括設定の場合、次の画面の文字サイズが変更されます。
  - ■ i モード
  - ■ フルブラウザ
  - ■ メール／メッセージ
  - ■ 文字入力
  - ■ マンガ・ブックリーダー
  - ■ サブメニュー
  - ■ リスト表示
  - ■ 確認メッセージやエラーメッセージ

1 待受画面で◉▶［設定］▶［表示・ランプ・省電力］▶［文字表示設定］▶［文字サイズ設定］▶文字サイズを選択

一括設定		［一括設定］→［標準］／［拡大］ ● 待受画面で⑤を１秒以上押しても、［標準］と［拡大］を切り替えることができます。 ● メニューの変更確認画面が表示された場合、［はい］を選択すると文字サイズとメニューが変更されます。［いいえ］を選択すると文字サイズのみ変更されます。
個別設定	i モード	［個別設定］→［i モード］を選択→［最大］／［大きい］／［標準］／［小さい］→［はい］
	フルブラウザ	［個別設定］→［フルブラウザ］を選択→［大きい］／［標準］／［小さい］／［最小］→［はい］
	メール／メッセージ	［個別設定］→［メール／メッセージ］を選択→［最大］／［大きい］／［標準］／［小さい］／［最小］→［はい］
	文字入力	［個別設定］→［文字入力］を選択→［最大］／［大きい］／［標準］／［小さい］→［はい］

例：文字入力を個別設定した場合

最大　大きい　標準　小さい

お知らせ

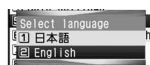
- 文字サイズ設定の一括設定を［拡大］に設定した場合、基本メニューでの機能番号（☞P.458）が変更されるものがあります。
- メール作成画面では、個別設定の文字入力を［最大］にした場合でも、宛先、題名、添付ファイル欄は［大きい］と同じ文字サイズで表示されます。
- ユーザ辞書の文字入力など、画面によっては文字サイズを変更できない場合があります。
- フルブラウザは、表示モード設定が［ケータイモード］の場合のみ変更されます。

Bilingual
画面を英語表示に切り替える

ディスプレイに表示される各機能名やメッセージ、およびメニュー項目名などを日本語表示／英語表示に切り替えます。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［一般設定］▶［Bilingual］▶［English］

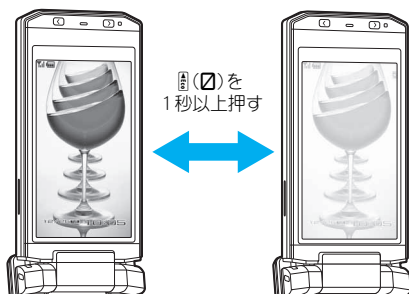
- 英語表示から日本語表示に切り替える場合は、待受画面で◉を押し［Settings］→［General settings］→［Select language］→［日本語］を選択します。

日本語表示

英語表示

お知らせ

- FOMAカードを挿入している場合、FOMAカードに保存されます。Bilingual設定は、FOMA端末（本体）と挿入されたFOMAカードに保存されますが、それぞれの設定が異なる場合は、FOMAカードの設定が優先されます。

プライベートフィルタ設定

ディスプレイをまわりの人から見えにくくする

● ディスプレイの濃淡を変えることにより、まわりの人から見えにくくします。

1 待受中／操作中に(⧄)を1秒以上押す

● プライベートフィルタが設定され、ディスプレイ上部に[⧄]が表示されます。

● 設定を解除するときは、もう一度(⧄)を1秒以上押します。

お知らせ

● オールロック中やビューアポジション時などはプライベートフィルタを設定／解除できません。

● FOMA端末を閉じたり、電源を切るとプライベートフィルタは解除されます。ただし、マナーモード連動が[ON]でマナーモードに設定している場合は、FOMA端末を閉じたり、電源を切ってもプライベートフィルタは設定されたままです。

● 画面表示時間設定により、ディスプレイ表示が消えている間はプライベートフィルタは解除されます。

● プライベートフィルタ設定中にカメラを起動しても、プライベートフィルタは解除されません。

マナーモードに連動してプライベートフィルタを設定する＜マナーモード連動＞

マナーモードを設定したときに、自動的にプライベートフィルタも設定されるようにします。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[プライベートフィルタ設定]▶[マナーモード連動]▶[ON]

● マナーモード設定中でも、プライベートフィルタを設定／解除することができます。

プライベートフィルタ濃度を変更する＜フィルタ濃度設定＞

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[プライベートフィルタ設定]▶[フィルタ濃度設定]▶フィルタ濃度を選択

フィルタ濃度	濃い	標準	薄い

● [濃い]、[標準]、[薄い]の順でまわりの人から見えにくくする効果があります。

あんしん設定

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 端末暗証番号（各種機能用の暗証番号）、iモードパスワード、PIN1コード・PIN2コード入力時は、[✱]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
- 詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号（各種機能用の暗証番号）

端末暗証番号は、お買い上げ時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（☞P.143）。

端末暗証番号入力の画面が表示された場合は、４～８桁の端末暗証番号を入力し、⦿を押します。

- 間違った端末暗証番号を入力した場合は、[端末暗証番号が違います]と表示されたあと、端末暗証番号入力の前の画面に戻ります。正しい端末暗証番号を確認してから、もう一度操作してください。

ネットワーク暗証番号

ドコモｅサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字４桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、iモードからは、ドコモｅサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My DoCoMo」、「ドコモｅサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

iモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には４桁の「iモードパスワード」が必要になります（このほかにも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。

- iモードパスワードは、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
- iモードから変更される場合は、[iMenu]→[料金＆お申込・設定]→[オプション設定]→[iモードパスワード変更]から変更ができます。

PIN1コード・PIN2コード

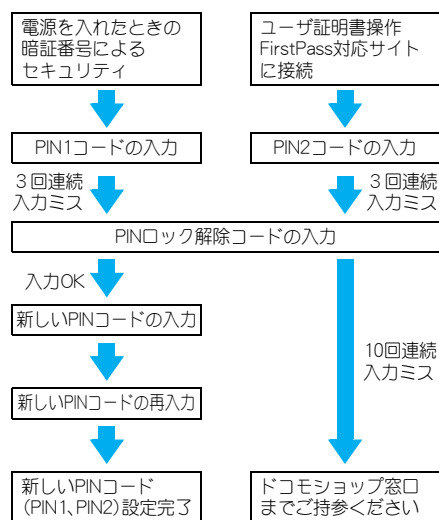
FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという２つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（☞P.144）。

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する４～８桁の暗証番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。PIN2コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する４～８桁の暗証番号（コード）です。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

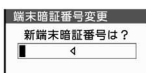
PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための８桁の番号です。PINロック解除コードを入力することによりロック状態を解除できます。なお、お客様ご自身では変更することはできません。PINコードやPINロック解除コードは、控えを取るなどしてお忘れにならないよう、ご注意ください。

- PIN1コード、PIN2コードの入力を、３回連続して間違えると自動的にロックされます。
- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとFOMAカードが完全にロックされます。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

お客様自身の端末暗証番号（４～８桁の数字）に変更してください。お買い上げ時は、[0000]に設定されています。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[セキュリティ]▶[端末暗証番号変更]▶現在の端末暗証番号を入力して◉

2 新しい端末暗証番号を入力して◉▶もう一度、新しい端末暗証番号を入力して◉

手書き認証

手書き認証について

TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッド上で文字や記号を手書きし、認証を行います。セキュリティ機能として端末暗証番号入力の代わりに利用できます。端末暗証番号入力に比べて登録内容の自由度が高くなります。ただし、厳密な筆跡による認証は行っておりませんので、登録内容は他人に知られないように十分ご注意ください。

- TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）の利用設定を[OFF]に設定していても、手書き認証の手書き入力や認証用記号登録は可能です。

手書き認証を設定する<手書き認証設定>

手書き認証に必要な文字や記号を登録します。

- 手書き認証技術は完全に本人認証を保証するものではありません。当社では本製品を第三者に使用されたこと、また手書き認証の誤認証により使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 手書き認証に失敗した場合、エラー発生日時がエラー履歴に記録され確認することができます。最新のものから最大９件まで記録されます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[セキュリティ]▶[手書き認証設定]▶端末暗証番号を入力して◉

2 [ON]

- [OFF]を選択した場合は、操作完了となります。

3 認証用記号を登録する

- １画ごとの入力の長さが短いと、大きさ・形状・位置が変わる可能性が高く、正確な認証が難しくなりますのでご注意ください。

新規に登録する	[確認]→[認証用記号登録]→[確認]→文字・記号を手書き入力して◉(登録) ● TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッド上で、認証に使用する文字や記号を手書き入力します。 ● ２画以上12画以内で入力します。 ● [登録できませんでした。再度登録してください]と表示されたときは、もう一度登録してください。
上書き登録する	[認証用記号登録]→[上書登録]→[確認]→文字・記号を手書き入力して◉(登録)
登録した認証用記号を確認する	[認証用記号登録]→[登録データ確認] ● 確認を終わるときは◉を押します。 ● 認証用記号を削除するときは、▣(削除)を押し、[はい]を選択します。
エラー履歴を確認する	[エラー履歴] ● 確認を終わるときは◉を押します。

4 ▣(完了)

- [登録された記号で認証を行う簡易なセキュリティです]と表示されます。

あんしん設定

次ページへ続く▶▶

5 [確認]

手書き認証を実行する

1 手書き認証画面で、登録した認証用記号を手書き入力する ▶ ⦿(認証)

- TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッド上で、登録した文字や記号を手書き入力します。
- 登録時と同じ筆順で入力してください。また、できるだけ登録時と同じ形状で同じ位置に入力してください。
- CLRを押すと、入力した内容が削除されます。
- 認証に成功すると[認証が成功しました]と表示され、目的の機能を利用できます。
- 端末暗証番号入力に切り替えるときは(暗証番号)を押します。
- 認証に失敗すると、[認証できませんでした。エラーが続く場合は認証用記号登録を再度行ってください]と表示されます。もう一度認証する場合は[再認証]を選択し、再び操作1を行ってください。端末暗証番号を入力する場合は、[端末暗証番号入力]を選択し、端末暗証番号を入力して⦿を押します。

FOMAカード(UIM)設定

PINコードを設定する

FOMAカードのPIN1コード、PIN2コードを変更できます。PIN1コード、PIN2コードは、FOMAカードに保存されます。お買い上げ時は、PIN1コード・PIN2コードとも[0000]に設定されています。

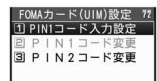
- PIN1コードは、FOMAカードを不正に使用されないための、4～8桁の暗証番号です。PIN2コードは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の暗証番号です。ユーザ証明書操作時(FirstPassを利用するためのユーザ証明書の発行)や、FirstPass対応サイトに接続(☞P.199)するときに入力します。
- PIN1コード・PIN2コードは4～8桁の数字を入力してください(☞P.142)。

お知らせ

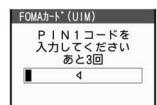
- PIN1コード／PIN2コード入力画面で入力を3回間違えると、PIN1コード／PIN2コードがロックされます。PINロックを解除してください。PINロック解除時に、新しいPIN1コード／PIN2コードを入力する必要があります(☞P.145)。
- PIN2コードの3回連続入力ミスによってFOMA端末がロックされた場合でも、電話の発着信、メールの送受信などの通信は可能ですが、PIN1コードの3回連続入力ミスによってFOMA端末がロックされた場合には、通信が必要な機能の操作はできなくなります。

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定する<PIN1コード入力設定>

FOMA端末を不正に使用されないために、電源を入れたときにPIN1コードを入力しないと使えないように設定します。

1 待受画面で⦿ ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [FOMAカード(UIM)設定] ▶ 端末暗証番号を入力して⦿

FOMAカード設定画面

2 [PIN1コード入力設定] ▶ [ON]／[OFF] ▶ PIN1コードを入力して⦿

- PIN1コードは3回まで入力できます。PIN1コード入力画面には残存入力回数が表示されます。

■ 電源を入れたときにPIN1コードを入力する

PIN1コード入力設定を[ON]に設定すると、電源を入れたときに、PIN1コードの入力画面が表示されます。

- PIN1コードを入力しないとFOMA端末を操作できません。FOMA端末が無断で使用されるのを防ぐことができます。

1 (電源)を2秒以上押して、電源を入れる ▶ PIN1コードを入力して⦿

- PIN1コードは3回まで入力できます。PIN1コード入力画面には残存入力回数が表示されます。
- PIN1コードを正しく入力すると、待受画面が表示されます。

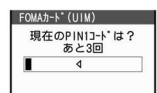
PIN1コード／PIN2コードを変更する <PIN1コード変更／PIN2コード変更>

1 待受画面で⦿ ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [FOMAカード(UIM)設定] ▶ 端末暗証番号を入力して⦿

- PIN1コード入力設定が[OFF]に設定されている場合、PIN1コードは変更できません。

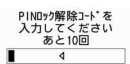
2 変更するPINコードを選択 ▶ 現在のPINコードを入力して⦿

- PINコードは3回まで入力できます。PINコード入力画面には残存入力回数が表示されます。

- 間違ったPIN1コード／PIN2コードを入力すると、操作3のあと[PIN1/PIN2コードが認識できませんでした]と表示され、操作2の画面に戻ります。

3 新しいPINコードを入力して◉▶もう一度、新しいPINコードを入力して◉

PINロックを解除する

PIN1／PIN2がロックされた画面

- PINロック解除コードは10回まで入力できます。PINロック解除画面には残存入力回数が表示されます。
- PIN1コード・PIN2コードは４～８桁の数字を入力してください(☞P.142)。

PIN1ロックを解除するとき

- PIN2コードのロックを解除するときも、同様の操作で解除します。

1 PINロック中にPINロック解除コード入力画面で、PINロック解除コード(８桁の数字)を入力して◉

2 新しいPIN1コードを入力して◉▶もう一度、新しいPIN1コードを入力して◉

- [変更しました]と表示されます。

各種ロック機能について

電話帳の呼び出し、登録、削除やダイヤルボタンでの発信などの機能を制限できます。

- ロックの設定／解除には、端末暗証番号の入力が必要です。
- 設定できる項目は次のとおりです。

ロック機能	動作・制限内容	ページ
オールロック	電源のON／OFFと音声電話／テレビ電話に応答する以外の操作ができないようにして、FOMA端末の無断使用を防ぎます。	P.145
おまかせロック	FOMA端末内のすべてのデータにアクセスできないように、遠隔操作でロックします。	P.146
セルフモード※	音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発着信、ｉモードメールやSMSの送受信、メッセージR／Fの受信、ｉモードの機能を使えないように設定します。	P.146
機能別ロック	マルチメディア、メール、電話帳(プッシュトーク電話帳含む)やスケジュールなどの表示や編集・操作ができないようにして、個人情報の閲覧や書換えを防止します。機能ごとに設定が可能です。	P.147
ダイヤル発信制限	ダイヤル入力による発信や電話帳の編集ができないようにします。電話帳、リダイヤル、着信履歴を使った発信だけが可能です。	P.148
まとめて簡単ロック	ダイヤル発信制限・機能別ロック・ＩＣカードロックをワンタッチ操作で設定します。	P.148
まとめて自動ロック	ディスプレイの表示がOFFになったときに、ダイヤル発信制限・機能別ロック・ＩＣカードロックが自動で設定されるようにします。	P.149
ＩＣカードロック設定	ＩＣカード機能を利用できないようにロックします。	P.272
ボタン操作無効※	サイドボタンを操作できないようにして、誤動作を防ぎます。	P.149

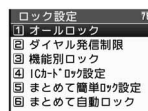
※ 端末暗証番号の入力は不要です。

オールロック

他の人が使用できないようにする

電源ON／OFFと音声電話／テレビ電話に応答する以外の操作ができないようにします。

オールロックを設定する

1 待受画面で◉▶[設定]▶[セキュリティ]▶[ロック設定]▶端末暗証番号を入力して◉

ロック設定画面

2 [オールロック]▶[はい]

- オールロックが設定され、待受画面に[オールロック]と表示されます。
- オールロックを設定すると[🔒]が表示されます。

オールロックを解除する

1 オールロック中に、待受画面で端末暗証番号を入力して◉

- 待受画面の[オールロック]の文字と[🔒]が消え、オールロックが解除されます。

お知らせ

- オールロック中は待受画面には[待受画面１]の画像が表示され、カレンダー表示設定は[OFF]になります。オールロックを解除すると元の設定に戻ります。
- オールロックを設定しても、FeliCa のＩＣカード機能はロックされません。
- オールロック中に不在着信があっても画面には表示されません。オールロックを解除すると[☎](着信あり)が表示されます。

あんしん設定

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- オールロック中は音声電話やテレビ電話をかけることはできません。ただし、緊急通報番号（110番、119番、118番）には発信できます。発信する場合は、端末暗証番号入力画面で電話番号を入力して[発信]を押します。電話番号は［＊＊＊］で表示されます。
- オールロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- オールロック中も、i モードメール／SMSやメッセージR／Fの自動受信ができますが、画面には表示されません。オールロックを解除すると、i モードメールやSMS、メッセージR／Fのアイコンが表示されます。
- オールロック中も、エリアメールは自動受信され、画面に表示されます。
- オールロック中も、GPS機能の位置提供の要求には対応します。
- オールロックの解除に５回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。再び電源を入れて、正しい端末暗証番号を入力してください。

おまかせロック

おまかせロックを利用する

おまかせロックとは

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により、遠隔操作でFOMA端末にロックをかけることができるサービスです。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※ おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。
※ おまかせロック中も位置提供可否設定を［位置提供機能ON］に設定している場合や、［許可期間設定］に設定中で位置提供許可期間中の場合は、GPS機能の位置提供要求に対応します。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間　24時間
※パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

※ おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（i モード<FOMA>編）』をご覧ください。

おまかせロックを設定すると

- ［おまかせロック中です］と表示され、おまかせロックが設定されます。
- おまかせロックはお客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。

- おまかせロック中は、音声／テレビ電話の着信に対する応答と電源ON／OFFの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能（ＩＣカード機能を含む）を使用することができなくなります。
- 音声／テレビ電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている氏名、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。
- おまかせロック中に受信したメールは、メールセンターに保存されます。
- 電源ON／OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
- FOMAカードやmicroSDメモリーカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

- 他の機能が起動中の場合でも、当該機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用することができます。
- 圏外、セルフモード中、電源が入っていないときはロックがかかりません。
- 公共モード（ドライブモード）を設定した状態でおまかせロックをかけると、公共モード（ドライブモード）のガイダンスが流れ、通話を終了します。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者の方からのお申し出によりロックをかけるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード

発信や着信ができないようにする

音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発着信、i モードメールやSMSの送受信、メッセージR／Fの受信、i モードなど、通信が必要なすべての機能を使えないように設定できます。

- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていないことを通知するガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス（☞P.430）、転送でんわサービス（☞P.433）をご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスをご利用になれます。
- セルフモード中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）へはダイヤルできます。発信後にセルフモードの設定は解除されます。
- ｉＣ通信、赤外線通信、赤外線リモコン操作もできません。

1 待受画面で● ▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［セルフモード］▶［ON］／［OFF］▶［はい］

● セルフモードを設定すると、ディスプレイ上部の［Yıl］が消え［self］が表示されます。

お知らせ

● ｉモード待機中（［ ］点滅）は、セルフモードを設定できません。

セルフモード中は

● セルフモード設定前に送受信したｉモードメールやSMS、メッセージR／Fを読んだり、新規作成や編集して保存することはできますが、送信はできません。
● 送信されてきたｉモードメールやメッセージR／FはｉモードセンターでSMSはSMSセンターで、お預かりします。受信する場合はセルフモードを解除して、ｉモード問い合わせ、SMS問い合わせを行ってください。
● セルフモード中は、GPS機能の現在地確認、現在地通知、位置提供を行うことができません。また、現在地通知先の登録、修正、削除を行うことができません。

機能別ロック

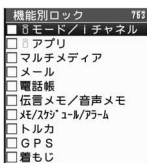
電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

個人情報を他の人が見たり、無断で書換えられたりするのを防ぐため、メール、電話帳などへのアクセスを機能ごとに制限します。

● 以下の項目ごとにロックできます。
ｉモード／ｉチャネル、ｉアプリ、マルチメディア、メール（メッセージR／Fを含む）、電話帳、伝言メモ／音声メモ、メモ／スケジュール／アラーム、トルカ、GPS、着もじ
● マルチメディアの機能別ロックを設定するとカメラ機能（静止画撮影、動画撮影）、ワンセグ機能（番組表、予約リストを除く）、Music&Videoチャネル機能、ミュージックプレーヤー機能、SDオーディオ機能、ボイスレコーダー機能、マンガ・ブックリーダー機能（microSDメモリーカード挿入時のみ）、ドキュメントビューア機能、PDF対応ビューア機能もロックされます。

1 待受画面で● ▶［設定］▶［セキュリティ］▶［ロック設定］▶端末暗証番号を入力して●

2 ［機能別ロック］▶ロック／解除する項目を選択▶ 📷（完了）

● ［☑］はロック、［□］は解除の状態です。
● 項目を選択すると、ロックと解除を交互に切り替えることができます。
● 機能別ロックが設定されると、ディスプレイ上部に［ ］が表示されます。

機能別ロック設定画面

● ［ ］（全選択）を押すとすべての項目をロックできます。また、チェックがすべての項目に入っている場合は、［ ］（全解除）を押すとすべての項目を解除できます。
● 各機能のメニュー（マルチメディア、アラーム、GPS、着もじは除く）から機能別ロックを設定してもチェックボックスに反映されます。

お知らせ

● ワンセグ機能（番組表、予約リストを除く）、GPS機能（対応ｉアプリを除く）以外の機能別ロック中の機能を利用しようとすると、端末暗証番号入力画面が表示されます。正しい端末暗証番号を入力すると、機能別ロックは一時解除され、機能操作を終了すると再びロックされます。microSDメモリーカードのPIMデータ（電話帳、テキストメモ、スケジュール、ブックマーク、メール）は各機能の［microSDデータ参照］から参照できます。PIMとは「個人情報管理プログラム」を意味します。
● ｉアプリの機能別ロック中は、番組表もロックされます。
● ワンセグ機能（番組表、予約リストを除く）は一時解除できません。ワンセグ機能を利用する場合は、マルチメディアの機能別ロックを解除してください。
● 機能別ロック中は、ロックがかかっている項目の赤外線受信、ｉC受信はできません。
● 電話帳登録外着信拒否を設定しているときは、電話帳を機能別ロックできません。
● 電話帳の機能別ロック中は、電話帳に登録されている相手から着信があっても、名前や画像は表示されません。
● 電話帳の機能別ロックを設定すると、次の機能も禁止されます。
■ ツータッチダイヤル、ツータッチメール、イヤホン発信
■ 指定着信音、指定メール着信音
■ 指定着信ランプ、指定メール着信ランプ
■ ｉモードメールやSMS送信時の電話帳を利用した宛先入力※
■ 電話帳指定着信許可・拒否の［OFF］以外の設定
■ アラーム、スケジュールの電話帳を利用した連絡先設定※
■ スケジュールの連絡先別表示※
■ 電話帳登録外着信拒否
■ プッシュトーク通信中の電話帳（プッシュトーク電話帳含む）からのメンバー追加
※ 端末暗証番号を入力すると、機能別ロックは一時的に解除されます。
● メモ／スケジュール／アラームの機能別ロック中は、予約リストもロックされます。
● メモ／スケジュール／アラームの機能別ロック中は、設定時刻になってもアラームやスケジュールアラーム、視聴予約アラーム、録画予約アラーム、お目覚めTVは動作しません。
● マルチメディアの機能別ロック中は、テレビ電話時に代替画像を送信する場合、［テレビ電話代替］が送信されます。

あんしん設定

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- マルチメディアの機能別ロック中は、電話帳の指定着信音、指定メール着信音は鳴らず、音選択で設定している着信音が鳴ります。ピクチャーコール設定した画像は表示されません。カメラの起動には、端末暗証番号の入力が必要です。アラームやスケジュールアラームには、通常のアラーム画像が表示され、[着信音1]が鳴ります。
- GPSの機能別ロックを設定すると、GPSメニューの操作やGPS対応iアプリのGPS機能を使った操作ができなくなります。ただし、位置提供の要求には対応します。

ダイヤル発信制限

ダイヤルボタンでの発信を禁止する

電話帳（microSDメモリーカード内の電話帳を除く）、リダイヤル・着信履歴（電話帳に登録されている電話番号のみ）以外で電話をかけられないように制限します。

- ダイヤル発信制限を設定していても、緊急通報番号（110番、119番、118番）へはダイヤルできます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[セキュリティ]▶[ロック設定]▶端末暗証番号を入力して◉

2 [ダイヤル発信制限]▶[ON]／[OFF]

- ダイヤル発信制限を設定すると、ディスプレイ上部に[囲]が表示されます。

お知らせ

- ダイヤル発信制限を設定すると、次の機能も禁止されます。
  - ■ 直接アドレス入力によるSMSおよびiモードメールの送信（電話帳からのアドレス入力の場合は可能）
  - ■ 電話帳の登録／修正／削除
  - ■ アラームからの発信（電話帳に登録されている場合は可能）
  - ■ 赤外線通信やiC通信による電話帳データの送受信
  - ■ プレフィックス設定
  - ■ 国際プレフィックス設定
  - ■ Phone To（AV Phone To）機能
  - ■ Mail To機能
  - ■ 電話帳データのFOMA端末（本体）⇔FOMAカード間データ転送（もしくは、コピー）
  - ■ バーコードリーダー、文字読み取りでの発信
  - ■ 電話帳データのFOMA端末（本体）⇔microSDメモリーカード間データ転送（もしくは、コピー）
  - ■ 電話帳（プッシュトーク電話帳、ネットワーク上の電話帳を含む）とリダイヤル・着信履歴（電話帳に登録されている電話番号のみ）以外からのプッシュトーク発信
  - ■ 現在地通知先の登録／修正／削除
  - ■ 直接入力による現在地通知

まとめて簡単ロック

ワンタッチで各種ロックを設定する

ダイヤル発信制限・機能別ロック・ICカードロックを一度に設定できます。ロックする項目はあらかじめ設定できます。

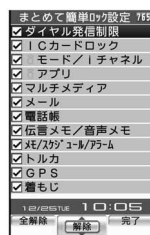
- 各ロック機能の詳細については、それぞれダイヤル発信制限（☞P.148）、機能別ロック（☞P.147）、ICカードロック設定（☞P.272）を参照してください。

ロックする機能を設定する <まとめて簡単ロック設定>

まとめて簡単ロックによってロックする項目を選択します。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[セキュリティ]▶[ロック設定]▶端末暗証番号を入力して◉

2 [まとめて簡単ロック設定]▶ロック／解除する項目を選択▶📷（完了）

- [☑]はロック、[□]は解除の状態です。
- 項目を選択すると、ロックと解除を交互に切り替えることができます。
- 📱（全選択）を押すとすべての項目をロックできます。また、チェックがすべての項目に入っている場合は、📱（全解除）を押すとすべての項目を解除できます。

まとめて簡単ロック設定画面

まとめて簡単ロックする

1 待受画面で◉を1秒以上押す▶[はい]

- 設定した機能のロックが設定され、該当するアイコンが表示されます。

お知らせ

- 電話帳登録外着信拒否が設定中の場合、まとめて簡単ロックを設定しても電話帳の機能別ロックは設定されません。

まとめて簡単ロックを解除する

1 待受画面で◉を1秒以上押す▶端末暗証番号を入力して◉

お知らせ

- ロック設定画面（☞P.145）から各ロック機能を選択して、個別にロックを解除できます。

自動的にまとめて簡単ロックする <まとめて自動ロック>

待受中に、省電力モードになったときやFOMA端末を閉じたときに、まとめて簡単ロックが自動的に設定されるようにします。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[セキュリティ]▶[ロック設定]▶端末暗証番号を入力して◉**

2 **[まとめて自動ロック]▶[ON]／[OFF]**

3 **[OK]**

お知らせ

- まとめて自動ロックでロックした場合、P.148「まとめて簡単ロックを解除する」と同じ動作で解除できます。
- まとめて簡単ロックを解除しても、まとめて自動ロックは[OFF]になりません。FOMA端末を閉じたり、省電力モードになった場合は、再度まとめて簡単ロックが設定されます。

ボタン操作無効

サイドボタンの誤動作を防止する

FOMA端末を閉じているときにサイドボタンを操作できないようにして、誤動作を防ぎます。

- ビューアポジション中は、ボタン操作無効の設定に関係なく、ボタン操作することができます。

1 **P(P)を1秒以上押す**

- ボタン操作無効を設定すると、[🔒]が表示されます。
- 電源を切ると、ボタン操作無効は解除されます。
- プッシュトーク着信時は、P(P)を押して応答することができます。

お知らせ

- 設定を解除するときは、もう一度P(P)を1秒以上押します。
- ボタン操作無効を設定していても、着信中のマナーモード設定／解除やクイックサイレントは利用できます。
- ビューアポジション中やプッシュトーク通信中は設定／解除できません。

発着信履歴表示

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する

- 発着信履歴表示を[OFF]に設定している間も、着信履歴、リダイヤルは記憶されます。[ON]に設定したときに、[OFF]に設定していた間の履歴も確認できます。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[セキュリティ]▶[発着信履歴表示]▶端末暗証番号を入力して◉**

2 **項目を選択▶[ON]／[OFF]**

項目	着信履歴表示	リダイヤル表示

お知らせ

- 着信履歴表示を[OFF]に設定しているときは、伝言メモを再生できません。
- リダイヤル表示を[OFF]に設定しているときは、着もじの送信メッセージ履歴(☞P.59)も表示されません。

メール履歴の表示を設定する <メール履歴表示>

- メール履歴表示を[OFF]に設定している間も、メール受信履歴、メール送信履歴は記憶されます。[ON]に設定したときに、[OFF]に設定していた間の履歴も確認できます。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[セキュリティ]▶[メール履歴表示]▶端末暗証番号を入力して◉**

2 **項目を選択▶[ON]／[OFF]**

項目	メール送信履歴表示	メール受信履歴表示

シークレットモード

シークレット登録されている情報を表示する

シークレットモードを設定すると、電話帳、スケジュールを表示したときに、通常のデータとシークレットデータとして登録したデータの両方が表示されます。

- シークレットモードを解除すると、通常の電話帳、スケジュールだけが表示されます。
- 待受中に、省電力モードになったときやFOMA端末を閉じたときに、シークレットモードが自動的に解除されるように設定できます。
- 電源を切ると、シークレットモードは解除されます。
- シークレットデータの登録方法については、電話帳はP.116、スケジュールはP.406を参照してください。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[セキュリティ]▶[シークレットモード]▶端末暗証番号を入力して◉**

次ページへ続く

2 [ON]／[OFF]

設定する	自動解除しない	[ON]→[自動解除しない]
	自動解除する	[ON]→[自動解除する]→⦿
解除する		[OFF]

- シークレットモードを設定すると、ディスプレイ上部に[🔑]が表示されます。

電話帳指定着信許可

指定した電話番号からの電話だけを受ける

指定した相手からの電話だけをつながるようにできます。それ以外の電話番号からの電話（相手が電話番号を通知してこない場合も含む）はつながらなくなります。
電話帳指定着信許可を設定するには、登録されている電話帳から着信許可するすべての相手先電話番号をリストに登録し、そのあとで一括して設定します。リストはあとから追加・修正できます。

- 電話帳指定着信許可に設定している相手が発信者番号を通知してこなかった場合、電話はつながりませんので、番号通知お願いサービス（☞P.436）もあわせて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信拒否、電話帳登録外着信拒否、非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否を設定しているときは、電話帳指定着信許可は設定できません。
- 着信許可以外の相手へは、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに[☎]（着信あり）が表示され、着信履歴に名前または電話番号が記憶されます。
- 電話帳の機能別ロック中は電話帳指定着信許可の設定は無効となるため、許可していない相手からの電話もつながります。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
- FOMAカード電話帳の電話番号は設定できません。FOMA端末（本体）電話帳に登録された電話番号のみ設定できます。
- プッシュトーク着信のときも電話帳指定着信許可の設定に従って動作します。ただし、プッシュトークプラスご利用時、ネットワーク上の電話帳からのプッシュトーク着信は電話帳指定着信許可の設定には従いません。

着信を許可する電話番号を登録する

電話帳指定着信許可の相手先電話番号は、最大20件まで登録できます。

1 待受画面で⦿▶[設定]▶[セキュリティ]▶[着信拒否／許可設定]▶端末暗証番号を入力して⦿

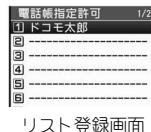
2 [電話帳指定着信許可]▶[リスト登録]

- [電話帳指定拒否を解除してください]と表示されたときは、電話帳指定着信拒否が設定されています。解除してからやり直してください（☞P.152）。
- [着信拒否設定を解除してください]と表示されたときは、電話帳登録外着信拒否、非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否のいずれかの着信拒否が設定されています。解除してからやり直してください。
- すでに他の方を登録しているときは、名前が表示されます。

3 リストの番号を選択▶名前を選択

- 電話帳指定着信許可のリストには、電話帳の名前と電話番号が登録されます。
- 続けて、他の相手先電話番号を登録するときは、操作３をくり返します。

リスト登録画面

- 電話帳指定着信許可を利用するには、このあと、電話帳指定着信許可を設定します（☞P.151）。
- 相手先に２つ以上の電話番号があるときは、それぞれ登録してください。

お知らせ

- 電話帳指定着信許可のリストに登録した電話帳を修正・削除すると、登録した内容も修正・削除されます。ただし、電話帳指定着信許可に設定している場合は、電話帳を修正・削除（グループ内全件削除・全件削除は可能）できません。
- 2in1利用中にリスト登録する場合、利用中のモードによって表示される電話帳のみ表示されます。

関連操作

電話帳から登録する<着信許可リスト登録>
待受画面で📖▶名前を選んで📷▶[データ編集]▶[着信リスト登録]▶[着信許可リスト登録]▶端末暗証番号を入力して⦿▶リスト番号を選択

リストの電話番号を削除する<削除>
リスト登録画面で名前を選択▶[削除]▶[はい]
- 電話帳指定着信許可を設定したあと、リスト登録した電話帳をすべて削除すると設定は解除されます。

リストの電話番号を変更する<変更>
リスト登録画面で名前を選択▶[変更]▶名前を選択

あんしん設定

指定した番号からの着信を許可する

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[セキュリティ]▶[着信拒否／許可設定]▶端末暗証番号を入力して◉**

2 **[電話帳指定着信許可]▶[ON]**

- リスト登録をしていないときはリスト登録画面が表示されます。リスト登録が終わると電話帳指定着信許可が設定されます。
- 解除するときは、[OFF]を選択します。

電話帳指定着信拒否

指定した電話番号からの電話を受けない

指定した相手からの電話をつながらないようにできます。それ以外の電話番号からの電話（相手が電話番号を通知してこない場合も含む）はつながります。電話帳指定着信拒否を設定するには、登録されている電話帳から着信拒否するすべての相手先電話番号をリストに登録し、そのあとで一括して設定します。リストはあとから追加･修正できます。

- 電話帳指定着信拒否に設定している相手が発信者番号を通知してこなかった場合、電話はつながります。番号通知お願いサービス（☞P.436）や非通知理由別着信拒否もあわせて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信許可を設定しているとき、電話帳指定着信拒否は設定できません。
- 拒否した相手へは、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに[☎]（着信あり）が表示され、着信履歴に名前が記憶されます。
- 電話帳の機能別ロック中は電話帳指定着信拒否の設定は無効となるため、拒否している相手からの電話もつながります。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
- FOMAカード電話帳の電話番号は設定できません。FOMA端末（本体）電話帳に登録された電話番号のみ設定できます。
- プッシュトーク着信のときも電話帳指定着信拒否の設定に従って動作します。ただし、プッシュトークプラスご利用時、ネットワーク上の電話帳からのプッシュトーク着信は電話帳指定着信拒否の設定には従いません。

着信を拒否する電話番号を登録する

電話帳指定着信拒否の相手先電話番号は、最大20件まで登録できます。

- 非通知理由別着信拒否については、P.152を参照してください。

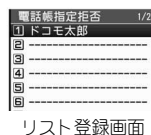
1 **待受画面で◉▶[設定]▶[セキュリティ]▶[着信拒否／許可設定]▶端末暗証番号を入力して◉**

2 **[電話帳指定着信拒否]▶[リスト登録]**

- [電話帳指定許可を解除してください]と表示されたときは、電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください（☞P.151）。
- すでに他の方を登録しているときは、名前が表示されます。

3 **リストの番号を選択▶名前を選択**

リスト登録画面

- 電話帳指定着信拒否のリストには、電話帳の名前と電話番号が登録されます。
- 続けて、他の相手先電話番号を登録するときは、操作3をくり返します。
- 電話帳指定着信拒否を利用するには、このあと、電話帳指定着信拒否を設定します（☞P.152）。
- 相手先に2つ以上の電話番号があるときは、それぞれ登録してください。

お知らせ

- 電話帳指定着信拒否のリストに登録した電話帳を修正･削除すると、登録した内容も修正･削除されます。ただし、電話帳指定着信拒否に設定している場合は、電話帳を修正･削除（グループ内全件削除･全件削除は可能）できません。
- 2in1利用中にリスト登録する場合、利用中のモードによって表示される電話帳のみ表示されます。

関連操作

電話帳から登録する<着信拒否リスト登録>
待受画面で📖▶名前を選んで📷▶[データ編集]▶[着信リスト登録]▶[着信拒否リスト登録]▶端末暗証番号を入力して◉▶リスト番号を選択

リストの電話番号を削除する<削除>
リスト登録画面で名前を選択▶[削除]▶[はい]
- 電話帳指定着信拒否を設定したあと、リスト登録した電話帳をすべて削除すると設定は解除されます。

リストの電話番号を変更する<変更>
リスト登録画面で名前を選択▶[変更]▶名前を選択

指定した番号からの着信を拒否する

1 **待受画面で⦿▶[設定]▶[セキュリティ]▶[着信拒否／許可設定]▶端末暗証番号を入力して⦿**

2 **[電話帳指定着信拒否]▶[ON]**

- リスト登録をしていないときはリスト登録画面が表示されます。リスト登録が終わると電話帳指定着信拒否が設定されます。
- 解除するときは、[OFF]を選択します。

非通知理由別着信拒否

発信者番号のわからない電話を受けない

発信者番号が通知されない着信があった場合、電話番号が通知されない理由(非通知理由)が通知されます。非通知理由によって、電話を受けないように設定できます。

- 着信拒否として指定した非通知理由に該当する相手から電話がかかってきた場合、電話はつながらなくなります。それ以外の非通知理由の場合はつながります。着信拒否の相手へは、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに[☎](着信あり)が表示され、着信履歴に非通知理由が記憶されます。
- 番号通知お願いサービス(☞P.436)もあわせて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信許可を設定しているときは、非通知理由別着信拒否は設定できません。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。プッシュトークはこの機能の設定に従います。
- 電話帳登録外着信拒否を設定している場合も、発信者番号のわからない電話は非通知理由別着信拒否が優先されます。
- 非通知理由別着信拒否と公共モード(ドライブモード)を同時に設定した場合、非通知理由別着信拒否が優先されます。

1 **待受画面で⦿▶[設定]▶[セキュリティ]▶[着信拒否／許可設定]▶端末暗証番号を入力して⦿**

2 **非通知理由の種類を選択▶[許可]／[拒否]**

非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合(ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります)

呼出動作開始時間設定

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

電話帳に登録されていない相手(相手が電話番号を通知してこない場合も含む)から電話がかかってきたとき、設定した秒数後に着信音が鳴るように設定できます。

- 呼出動作開始時間設定と電話帳登録外着信拒否を同時に設定することはできません。
- 迷惑電話を防ぐ対策の１つです。
- 呼出動作開始時間を設定した場合、呼出開始前に切れた電話を着信履歴に表示するかどうかも設定できます。

1 **待受画面で⦿▶[設定]▶[音･バイブ･マナー]▶[呼出動作開始時間設定]▶[ON]**

- 解除するときは、[OFF]を選択します。

2 **呼出動作開始時間(２桁:01〜99秒)を入力して⦿▶不在着信履歴表示を設定する**

着信履歴に表示する	[ON]
着信履歴に表示しない	[OFF] ● 着信履歴で📷を押し、[全表示]を選択すると、すべての履歴を確認できます。📷を押し、[限定表示]を選択すると、元の表示に戻ります。

お知らせ

- 伝言メモや留守番電話サービスを設定しているとき、呼出動作開始時間設定を優先させるためには、伝言メモや留守番電話サービスの呼出時間より短く設定してください。
- 電話帳の機能別ロック中は、電話帳登録している相手からの電話でも呼出動作開始時間設定に従って動作します。
- 呼出動作開始時間設定と公共モード(ドライブモード)を同時に設定した場合は、公共モード(ドライブモード)が優先されます。
- 呼出動作開始時間設定とマナーモードを同時に設定した場合は、設定した時間が経過したあとにマナーモードの設定に従って動作します。ただし、伝言メモの応答時間には着信音が鳴るまでの時間も含まれます。
- 呼出動作開始時間設定は、プッシュトーク着信のときも呼出動作開始時間設定に従って動作します。ただし、プッシュトークプラスご利用時、ネットワーク上の電話帳からのプッシュトーク着信は呼出動作開始時間設定には従いません。

電話帳登録外着信拒否

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

電話帳に登録されていない相手からの電話がつながらないように設定します。

- 相手には、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに[☎](着信あり)が表示され、着信履歴に記憶されます。
- 相手が発信者番号を通知している場合のみ有効です。番号通知お願いサービス(☞P.436)もあわせて設定することをおすすめします。
- 電話帳登録外着信拒否と公共モード(ドライブモード)を同時に設定した場合、電話帳登録外着信拒否が優先されます。
- 電話帳登録外着信拒否を設定している場合も、発信者番号のわからない電話は非通知理由別着信拒否が優先されます。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
- プッシュトーク着信のときも電話帳登録外着信拒否に従って動作します。ただし、プッシュトークプラスご利用時、ネットワーク上の電話帳からのプッシュトーク着信は電話帳登録外着信拒否には従いません。
- 電話帳登録外着信拒否と呼出動作開始時間設定を同時に設定することはできません。呼出動作開始時間設定を解除してからやり直してください(☞P.152)。

1 **待受画面で⦿▶[設定]▶[セキュリティ]▶[着信拒否／許可設定]▶端末暗証番号を入力して⦿**

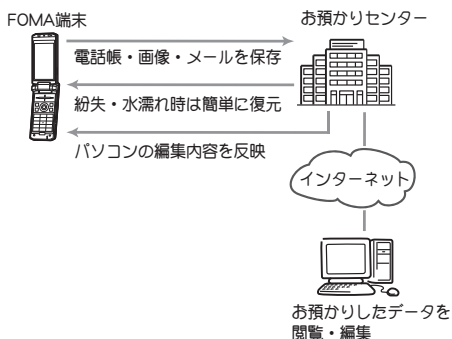
2 **[電話帳登録外]▶[許可]／[拒否]**

電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスを利用する

電話帳お預かりサービスとは

電話帳お預かりサービスとは、お客様のFOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール(以下「保存データ」といいます)を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。
万が一の紛失や水濡れなどで保存データが消失しても、ｉモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている保存データを新しいFOMA端末に復元させることができます。また、FOMA端末の電話帳データとお預かりセンターの電話帳データを、定期的に自動で最新の状態にすることができます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのページで編集したり、編集した保存データをFOMA端末内に保存させることができます。

※ 電話帳お預かりサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

※ 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです(お申し込みにはｉモード契約が必要です)。

- 電話帳の保存方法についてはP.117、メールの保存方法についてはP.227、画像の保存方法についてはP.321を参照してください。
- 電話帳お預かりサービスをご契約いただいていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末を安心してお使いいただくため、次の設定や機能を利用できます。

目　的	機能／サービス名称	参照先
大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい。	メール選択受信	P.219
災害時にｉモードを利用して安否情報を登録／確認したい。	「ｉモード災害用伝言板」サービス	※１
メールアドレスを変更したい。	アドレス変更	
URLが記載されたメールを受信したくない。	迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）	
指定したドメインからのメールを受信／拒否したい。	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否したい。		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否したい。		
迷惑メール対策のおすすめ設定を簡単に設定したい。	迷惑メール対策（かんたんメール設定）	
１日１台のｉモード対応携帯電話から送信される500通目以降のｉモードメールを受信拒否したい。	迷惑メール対策（ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限）	
SMSを受信したくない。	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない。	迷惑メール対策（未承諾広告※メール拒否）	
受信するメールのサイズを制限したい。	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認したい。	メール設定確認	
メール機能を一時的に停止したい。	メール機能停止	
紛失した携帯電話のおよその位置を確認したい。	ケータイお探しサービス	
FeliCaのＩＣカード機能を利用できないようにしたい。	ＩＣカードロック設定	P.272
特定の相手からの電話を着信しないように、電話番号を登録したい。	迷惑電話ストップサービス	P.435
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない。	番号通知お願いサービス	P.436
FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合はダウンロードしてソフトウェアを更新したい。	ソフトウェア更新	P.498
外部からFOMA端末にデータやプログラムを取り込む際に、問題を引き起こす可能性がないかどうかを調べたい。	スキャン機能	P.504
SMSを受信したときに、URLが記載された迷惑SMSかどうかを調べたい。		
ユーザ証明書を利用して、SSLに対応したサイトに接続したい（FirstPass対応のサイトに限ります）。	FirstPass	P.199

※１『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

カメラ

著作権・肖像権について

お客様がFOMA端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

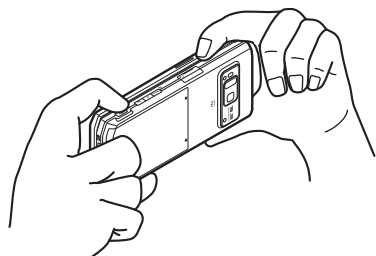
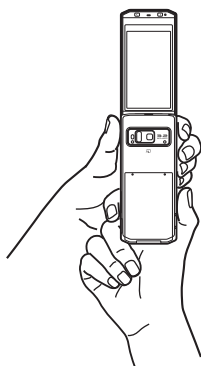
カメラのはたらき

カメラを利用して静止画や動画を撮影できます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます（☞P.335）。

- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

■ 他の人や風景を撮影するとき

通常ポジション

ビューアポジション

■ 自分を撮影するとき

多彩な撮影方法について

- 画像の利用方法に応じた、サイズの設定（☞P.167）や画質の設定（☞P.167）
- 連続撮影（☞P.163）
- フレーム付き（☞P.169）や色合いやタッチを変えた撮影（☞P.169）
- 撮影した画像をメールに添付して送信（☞P.173）
- オートフォーカスで撮影（☞P.168）
- セルフタイマーで撮影（☞P.168）

カメラのご使用について

- レンズ部に指紋や油脂などが付くとピントが合わなくなります。また、画像がぼやけたり、強い光源からすじを引くことなどがあります。撮影前に、柔らかい布で拭いてください。
- 充電中でも、電池残量が少ないと画像が暗くなったり、画像が乱れることがあります。充電中は撮影しないでください。
- FOMA端末を閉じるときなど、取り扱い時にはレンズ部に力がかからないように注意してください。故障の原因となります。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラのレンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源をじかに撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なう場合がありますので、ご注意ください。
- 画質を最優先して撮影したいときには、[SUPER FINE]に設定して撮影してください。データ量は多くなりますが画質がよくなります。
  画質を優先すると保存枚数は減り、iモードメールに添付して送信する場合の送信時間が長くなることがあります。用途に合わせて設定してください（☞P.167）。
- 静止画を連続撮影したり、動画を長時間撮影することによりFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 静止画撮影のプレビュー画面や動画の撮影中画面で、着信やアラームが動作すると、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。そのあと、切り替わった画面を終了させるとカメラの画面に戻り、着信前に撮影したデータを保存できます。
- 静止画モード、動画モード起動中はボタンを押しても音は鳴りません。

■ 撮影時の留意事項

- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費が早いため、撮影が終わったら[終話]を押してカメラモードを終了させることをおすすめします。
- 撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく動かないようにしっかりと固定して撮影してください。静止画撮影、動画撮影時は手ぶれ補正撮影機能を使ってください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、FOMA端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生する場合があります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整することにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できる場合があります。
- ビューアポジションのときはサイドボタン操作無効を設定したり解除したりできません。

撮影サイズについて

FOMA SH905iで撮影(保存)できる静止画と動画の撮影サイズ(画像サイズ)は次のとおりです。

- 本書でのサイズ表記はすべて横×縦です。

サイズ	静止画	動画	説明
sQCIF: 128×96	○	○	QCIFよりひと回り小さいサイズで、メール添付などに適したサイズです。
QCIF: 176×144	○	○	メール添付などに適したサイズです。
QVGA: 240×320	○	–	iモード端末に送信するのに適したサイズです。
QVGA: 320×240	–	○	パソコンでの再生に適したサイズです。
CIF: 352×288	○	–	パソコンでの表示に適したサイズです。
VGA: 480×640	○	–	パソコンでの表示に適したサイズです。
VGA: 640×480	–	○	FOMA SH905iで動画撮影できる最も大きなサイズです。パソコンでの再生に適したサイズです。
待受: 480×854	○	–	FOMA SH905iのディスプレイと同じサイズです。待受画面に設定する静止画を撮影するときなどに便利です。
UXGA: 1200×1600	○	–	パソコンでの表示に適したサイズです。
フルHD: 1080×1920	○	–	パソコンでの表示に適したサイズです。
3M: 1536×2048	○	–	FOMA SH905iで静止画撮影できる最も大きなサイズです。パソコンでの表示やプリントに適したサイズです。
パノラマ: 1280×320	○※	–	パノラマ撮影するときのサイズです。

※ビューアポジションのときは、設定できません。

お知らせ

タイトルについて

- 撮影(保存)した静止画/動画には、自動的に撮影日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
  例:2007年12月25日午後1時5分7秒に撮影した場合→[071225_130507]
- 連続撮影を行った場合、末尾に連番([_01]、[_02]…)が付きます。
- タイトルの編集については、P.348を参照してください。

カメラ

撮影／保存できる目安

- FOMA端末（本体）に保存した静止画や動画は、パソコンをお持ちの場合はmicroSDメモリーカード（☞P.335）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。
- 静止画および動画の撮影サイズの設定方法については、P.167を参照してください。

静止画モード

- 撮影枚数は、同じ撮影サイズ、画質で撮影して、FOMA端末（本体）、64MバイトのmicroSDメモリーカードに保存したときの目安です。FOMA端末（本体）、64MバイトのmicroSDメモリーカードに他の画像やｉアプリのソフトなどが保存されている場合、撮影できる静止画枚数は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる静止画枚数が少なくなることがあります。各画質別の撮影枚数の目安は、次のとおりです。

FOMA端末（本体）

	ECONOMY	NORMAL	SUPER FINE
sQCIF：128×96	約1000枚	約1000枚	約1000枚
QCIF：176×144	約1000枚	約1000枚	約1000枚
QVGA：240×320	約1000枚	約1000枚	約1000枚
CIF：352×288	約1000枚	約1000枚	約1000枚
VGA：480×640	約1000枚	約1000枚	約1000枚
待受：480×854	約1000枚	約1000枚	約570枚
UXGA：1200×1600	約430枚	約260枚	約160枚
フルHD：1080×1920	約430枚	約260枚	約160枚
3M：1536×2048	約260枚	約160枚	約80枚
パノラマ：1280×320	–	–	約330枚

64MバイトのmicroSDメモリーカード

	ECONOMY	NORMAL	SUPER FINE
sQCIF：128×96	約3700枚	約3700枚	約1800枚
QCIF：176×144	約3700枚	約1800枚	約1200枚
QVGA：240×320	約1800枚	約1200枚	約530枚
CIF：352×288	約1800枚	約1200枚	約530枚
VGA：480×640	約1200枚	約750枚	約530枚
待受：480×854	約930枚	約620枚	約310枚
UXGA：1200×1600	約230枚	約140枚	約90枚
フルHD：1080×1920	約230枚	約140枚	約90枚
3M：1536×2048	約140枚	約90枚	約45枚
パノラマ：1280×320	–	–	約180枚

動画モード

- 撮影時間は、FOMA端末（本体）、64MバイトのmicroSDメモリーカードへ保存したときの目安です。FOMA端末（本体）、64MバイトのmicroSDメモリーカードに他の画像やｉアプリのソフトなどが保存されている場合、撮影できる時間や件数は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる時間が少なくなることがあります。
各画質別の撮影時間の目安は、次のとおりです。

FOMA端末（本体）の1回あたりの連続撮影時間

			ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
sQCIF：128×96	メール用（短）	映像+音声	約155秒	約105秒	約52秒	–
		映像のみ	約214秒	約130秒	約62秒	–
		音声のみ	約318秒			
	メール用（長）	映像+音声	約10分	約434秒	約215秒	–
		映像のみ	約14分	約534秒	約257秒	–
		音声のみ	約21分			
QCIF：176×144	メール用（短）	映像+音声	約134秒	約78秒	約28秒	約19秒
		映像のみ	約176秒	約91秒	約31秒	約20秒
		音声のみ	約318秒			
	メール用（長）	映像+音声	約552秒	約323秒	約117秒	約79秒
		映像のみ	約12分	約375秒	約129秒	約85秒
		音声のみ	約21分			
QVGA：320×240	メール用（短）	映像+音声	–	–	–	約10秒
		映像のみ	–	–	–	約10秒
		音声のみ	約318秒			
	メール用（長）	映像+音声	–	–	–	約41秒
		映像のみ	–	–	–	約42秒
		音声のみ	約21分			
VGA：640×480	メール用（長）	映像+音声	–	–	–	約16秒
		映像のみ	–	–	–	約16秒
		音声のみ	約21分			

※ FOMA端末（本体）に動画を保存する場合、ファイルサイズ制限（☞P.168）を［制限なし］に設定できません。

FOMA端末（本体）の合計撮影時間

			ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
sQCIF：128×96	メール用（短）	映像+音声	約258分	約175分	約86分	–
		映像のみ	約356分	約216分	約103分	–
		音声のみ	約530分			
	メール用（長）	映像+音声	約547分	約372分	約184分	–
		映像のみ	約754分	約458分	約220分	–
		音声のみ	約1122分			
QCIF：176×144	メール用（短）	映像+音声	約223分	約130分	約46分	約31分
		映像のみ	約293分	約151分	約51分	約33分
		音声のみ	約530分			
	メール用（長）	映像+音声	約473分	約277分	約100分	約67分
		映像のみ	約620分	約321分	約110分	約72分
		音声のみ	約1122分			
QVGA：320×240	メール用（短）	映像+音声	–	–	–	約16分
		映像のみ	–	–	–	約16分
		音声のみ	約530分			
	メール用（長）	映像+音声	–	–	–	約35分
		映像のみ	–	–	–	約36分
		音声のみ	約1122分			
VGA：640×480	メール用（長）	映像+音声	–	–	–	約13分
		映像のみ	–	–	–	約13分
		音声のみ	約1122分			

※ FOMA端末（本体）に動画を保存する場合、ファイルサイズ制限（☞P.168）を［制限なし］に設定できません。

64MバイトのmicroSDメモリーカードの1回あたりの連続撮影時間

			ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
sQCIF:128×96	メール用(短)	映像+音声	約155秒	約105秒	約52秒	–
		映像のみ	約214秒	約130秒	約62秒	–
		音声のみ	約318秒			
	メール用(長)	映像+音声	約10分	約434秒	約215秒	–
		映像のみ	約14分	約534秒	約257秒	–
		音声のみ	約21分			
	制限なし	映像+音声	約60分	約60分	約60分	–
		映像のみ	約60分	約60分	約60分	–
		音声のみ	約360分			
QCIF:176×144	メール用(短)	映像+音声	約134秒	約78秒	約28秒	約19秒
		映像のみ	約176秒	約91秒	約31秒	約20秒
		音声のみ	約318秒			
	メール用(長)	映像+音声	約552秒	約323秒	約117秒	約79秒
		映像のみ	約12分	約375秒	約129秒	約85秒
		音声のみ	約21分			
	制限なし	映像+音声	約60分	約60分	約58分	約39分
		映像のみ	約60分	約60分	約60分	約42分
		音声のみ	約360分			
QVGA:320×240	メール用(短)	映像+音声	–	–	–	約10秒
		映像のみ	–	–	–	約10秒
		音声のみ	約318秒			
	メール用(長)	映像+音声	–	–	–	約41秒
		映像のみ	–	–	–	約42秒
		音声のみ	約21分			
	制限なし	映像+音声	–	–	–	約20分
		映像のみ	–	–	–	約20分
		音声のみ	約360分			
VGA:640×480	メール用(長)	映像+音声	–	–	–	約16秒
		映像のみ	–	–	–	約16秒
		音声のみ	約21分			
	制限なし	映像+音声	–	–	–	約474秒
		映像のみ	–	–	–	約480秒
		音声のみ	約360分			

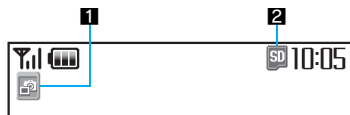
64MバイトのmicroSDメモリーカードの合計撮影時間

			ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
sQCIF:128×96	メール用(短)	映像+音声	約312分	約212分	約106分	–
		映像のみ	約431分	約261分	約127分	–
		音声のみ	約611分			
	メール用(長)	映像+音声	約313分	約213分	約107分	–
		映像のみ	約432分	約262分	約128分	–
		音声のみ	約613分			
	制限なし	映像+音声	約314分	約214分	約108分	–
		映像のみ	約433分	約263分	約129分	–
		音声のみ	約615分			
QCIF:176×144	メール用(短)	映像+音声	約261分	約160分	約56分	約37分
		映像のみ	約342分	約186分	約62分	約40分
		音声のみ	約611分			
	メール用(長)	映像+音声	約262分	約161分	約57分	約38分
		映像のみ	約343分	約187分	約63分	約41分
		音声のみ	約613分			
	制限なし	映像+音声	約263分	約162分	約58分	約39分
		映像のみ	約344分	約188分	約64分	約42分
		音声のみ	約615分			
QVGA:320×240	メール用(短)	映像+音声	–	–	–	約19分
		映像のみ	–	–	–	約19分
		音声のみ	約611分			
	メール用(長)	映像+音声	–	–	–	約20分
		映像のみ	–	–	–	約20分
		音声のみ	約613分			
	制限なし	映像+音声	–	–	–	約20分
		映像のみ	–	–	–	約20分
		音声のみ	約615分			
VGA:640×480	メール用(長)	映像+音声	–	–	–	約472秒
		映像のみ	–	–	–	約478秒
		音声のみ	約613分			
	制限なし	映像+音声	–	–	–	約474秒
		映像のみ	–	–	–	約480秒
		音声のみ	約615分			

撮影画面の見かた

カメラモードでは、ディスプレイに次のマークが表示されます。

- 全画面モード(☞P.172)にするとマークは表示されません。

■ ディスプレイ上部に表示されるマーク（全モード共通）

1 モード表示(☞P.166)

	静止画モード
	動画モード
	文字読み取りモード
	バーコードリーダーモード
	名刺リーダーモード

2 microSDメモリーカード表示(☞P.172)

(グレー)	FOMA端末(本体)へ保存
(ピンク)	microSDメモリーカードへ保存

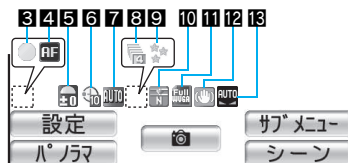
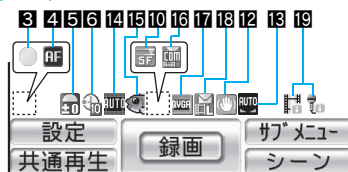
■ ディスプレイ下部に表示されるマーク

静止画モード

動画モード

文字読み取りモード

カメラ

次ページへ続く

バーコードリーダーモード

名刺リーダーモード

3 フォーカスロック表示（☞P.171）

●（緑色）	フォーカスロックされたとき
●（赤色）	フォーカスを合わせているとき

4 AFモード（☞P.168）

AF	標準
（接写アイコン）	接写
MF	マニュアルフォーカス （静止画モード・動画モード のみ）

5 画像の明るさ表示（☞P.166）

±0	-2 -1 ±0 +1 +2 暗い ← 標準 → 明るい

6 セルフタイマー表示（☞P.168）

（2）	2秒	（10）	10秒
（5）	5秒		

7 静止画シーン別撮影表示（☞P.170）

AUTO	オート		スポーツ
	人物	Aa	文字
	夜景		逆光
	風景		

8 連続撮影表示（☞P.163）

25	高速、標準、マニュアル（25枚用）
9	高速、標準、マニュアル（9枚用）
6	標準、マニュアル（6枚用）
4	標準、マニュアル（4枚用）
2～25	連写枚数共通（2～25枚）

9 静止画エフェクト撮影表示（☞P.169）

	モノクロ		波紋
	セピア		万華鏡（大）
	きらきら		万華鏡（小）
	色えんぴつ		魚眼
	円ソフトフレーム		

10 画質表示（☞P.167）

E	ECONOMY	SF	SUPER FINE
N	NORMAL	F	FINE （動画モードのみ）

11 静止画撮影サイズ表示（☞P.167）

S QCIF	sQCIF：128×96	Full WVGA	待受：480×854
QCIF	QCIF：176×144	UXGA	UXGA：1200×1600
QVGA	QVGA：240×320	Full HD	フルHD：1080×1920
CIF	CIF：352×288	3M	3M：1536×2048
VGA	VGA：480×640	PANORAMA	パノラマ：1280×320

12 手ぶれ補正撮影表示（☞P.170）

	手ぶれ補正［ON］

13 ホワイトバランス表示（☞P.170）

AUTO	オート		太陽光
	白熱灯		くもり
	蛍光灯		

14 動画シーン別撮影表示（☞P.170）

AUTO	オート		風景（ソフト）
	人物		風景（シャープ）

15 動画エフェクト撮影表示（☞P.169）

	モノクロ		波紋
	セピア		万華鏡（大）
	きらきら		万華鏡（小）
	色えんぴつ		魚眼
	残像		

16 共通再生モード表示（☞P.172）

COM	共通再生モード［ON］

17 動画撮影サイズ表示（☞P.167）

S QCIF	sQCIF：128×96	QVGA	QVGA：320×240
QCIF	QCIF：176×144	VGA	VGA：640×480

18 動画ファイルサイズ制限表示（☞P.168）

	メール用（短）（500Kバイト）
	メール用（長）（2Mバイト）

19 映像・音声切替表示（☞P.169）

	映像＋音声		音声のみ
	映像のみ		

20 反転モード表示（☞P.176）

AUTO	自動		反転文字
	通常文字		

21 QRコード連結番号表示（☞P.175）

1～16	分割されたデータを読み取るときに、 何枚目を読み取っているかを表示

ズーム利用時（静止画モード、動画モード）

静止画モードで⊙を押すと下の画面が表示され、ズームを調整できます。動画モードの場合はすでに表示されています（☞P.166）。

静止画モード

動画モード

マニュアルフォーカス利用時

静止画／動画撮影画面で📷を押し、［撮影メニュー］→［AFモード］→［マニュアルフォーカス］を選択すると下の画面が表示されます。⊙でフォーカスを調整できます（☞P.168）。

一括設定変更時

静止画／動画撮影画面で▯（設定）を押すと下の画面が表示され、現在の設定内容を確認しながら変更することができます（☞P.171）。

カメラを起動する／終了する

ビューアポジションのとき

1 待受画面で▯（📷）を1秒以上押す

- 撮影ランプが点灯して、静止画撮影画面が表示されます。カメラからの画像がディスプレイに表示されます。
- 終了するときは、▯（▯）を押します。

通常ポジションのとき

1 待受画面で📷

- 撮影ランプが点灯して、静止画撮影画面が表示されます。カメラからの画像がディスプレイに表示されます。
- 終了するときはFOMA端末を閉じるか、▯またはCLRを押します。

動画モードを起動するとき

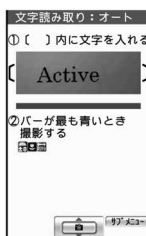
1 静止画撮影画面で📷 ▶［カメラモード切替］▶［動画］

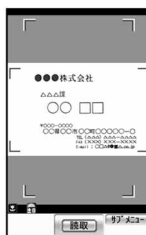
- 撮影ランプが点灯して、動画撮影画面が表示されます。カメラからの画像がディスプレイに表示されます。
- 終了するときはFOMA端末を閉じるか、▯またはCLRを押します。

お好みのカメラモードで起動する

1 待受画面で⊙ ▶［カメラ］▶ カメラモードを選択

静止画撮影

動画撮影

文字読み取り

バーコードリーダー

名刺リーダー

- カメラを起動したあと、カメラモードを切り替えるとき：☞P.166

お知らせ

静止画保存中や動画撮影中、動画撮影確認メニュー画面表示中に着信があると

- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。
  - ■ 静止画撮影の場合、撮影した静止画は保持されます。
  - ■ 動画撮影の場合、通話終了後、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。［保存］を選択すると動画が保存され、動画撮影画面に戻ります。［取消］→［はい］を選択すると動画が削除され、動画撮影画面に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

自動終了について

- 各カメラモードで、撮影前のファインダーが表示されている状態で約2分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し待受画面に戻ります。未保存のデータがある場合、または、サブメニューや一括設定変更画面、読み取り結果画面を表示している場合、カメラモードは終了しません。

■ ショートカットキーについて

各モードでよく使う操作は以下のボタンに割り当てられ、ワンタッチで操作可能です。

- 静止画や動画の撮影、文字読み取り、バーコードリーダー、名刺リーダーは、カメラモードを切り替えて操作します。

ボタン	静止画モード	動画モード	文字読み取りモード	バーコードリーダーモード	名刺リーダーモード
◌	ズームアップ		－	－	－
◌	ズームダウン		－	－	－
▣	シーン別撮影		－	－	－
▣	パノラマ撮影／通常撮影	共通再生モード／通常撮影	－	－	－
◌	明るさアップ				
◌	明るさダウン				
✱	本体⇔microSD切替		－	－	－
⌒	フォーカスロック				
1	カメラモード切替				
2	マイピクチャのフォルダ一覧画面表示	iモーションのフォルダ一覧画面表示	読み取り対象選択	保存データ	－
3	AFモード		AFモード切替		AFモード
4	セルフタイマー		反転モード切替	－	－
5	サイズ選択		－	－	－
6	画質		－	－	－
7	エフェクト撮影		－	－	－
8	手ぶれ補正		－	－	－
9	ホワイトバランス		－	－	－
0	操作ガイド		－	－	－

■ 操作ガイドについて

撮影時に操作ガイドブックを呼び出して、操作方法を調べることができます。

1 静止画／動画撮影画面（☞P.161）で▣▶［操作ガイド］

静止画撮影

静止画を撮影する

FOMA端末で静止画を撮影します。

- 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの［カメラ］フォルダまたはmicroSDメモリーカード（☞P.335）に保存されます（☞P.172）。なお、静止画の保存には時間がかかる場合があります。
- 撮影をするときは、シャッター音が鳴り、撮影ランプが1回点滅し、静止画を確認するためのプレビュー画面が表示されます。
- シャッター音、フォーカスロック音、セルフタイマー音は、マナーモードや公共モード（ドライブモード）設定中、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中でも鳴ります。
- シャッター音、フォーカスロック音、セルフタイマー音の音量は変更できません。
- FOMA端末（本体）のメモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます（☞P.352）。
- microSDメモリーカードのメモリの空き容量がない場合は、保存先をmicroSDメモリーカードに設定しても、自動的に保存先がFOMA端末（本体）内の、データBOXのマイピクチャの［カメラ］フォルダに切り替わります。

ビューアポジションで撮影する

1 カメラを起動する（☞P.161）

- FOMA端末を横方向にお持ちください。
- ズーム（☞P.166）を利用したり、一括設定変更画面（☞P.171）を表示できます。

2 撮影する

撮影する	▣（📷）
フォーカスロックをかけて撮影する（☞P.171）	▣（📷）を半押し→フォーカスロックをかける→▣（📷）を深く押す

3 ▣（📷）を押して保存する

- 撮影後、保存前に▣（P）を押すと、撮影した静止画が破棄されます。

通常ポジションで撮影する

1 カメラを起動する（☞P.161）

- ズーム（☞P.166）を利用したり、一括設定変更画面（☞P.171）を表示できます。

2 撮影する

撮影する	◉（📷）または▣（📷）
フォーカスロックをかけて撮影する（☞P.171）	⌒→フォーカスロックをかける→◉（📷） または、▣（📷）を半押し→フォーカスロックをかける→▣（📷）を深く押す

カメラ

3 保存する

保存する	⦿または▯(📷)
位置情報を貼り付ける	📷→[位置情報貼付] ● GPS機能で現在地を測位します(☞P.274)。
保存先を変更する	▯ ● 保存先をFOMA端末(本体)またはmicroSDメモリーカードに切り替えます。
撮影した静止画を削除して撮影し直す	CLR
ｉモードメールで送信する(☞P.173)	✉
撮影した静止画を編集／利用する	📷 ● 撮影した静止画を利用して、画像編集、プチエステ、画面設定や全画面モード切替ができます。 画像編集:☞P.316～P.320 プチエステ:☞P.320 画面設定:☞P.315 全画面モード切替:☞P.172

自分を撮影するとき

ディスプレイを回転させて自分を撮影することができます。

1 通常ポジションでカメラを起動(☞P.161)し、ディスプレイを回転させる

2 カメラを自分に向けて⦿(📷)または▯(📷)

● 撮影については、P.162「通常ポジションで撮影する」の操作２を参照してください。

3 ⦿(保存)または▯(📷)

● 保存については、P.162「通常ポジションで撮影する」の操作３を参照してください。
● 撮影サイズが「待受:480×854」以下の場合、撮影した静止画は鏡像(左右逆向き)で表示され、⦿(保存)または▯(📷)を押すと正像(見たとおりの向き)で保存されます。撮影後のプレビュー画面で📷を押し、[正像で確認]、[鏡像で保存]を選択できます。ただし、フレーム撮影の場合、[鏡像で保存]は選択できません。
● 撮影サイズが「UXGA:1200×1600」以上の場合、撮影した静止画は正像で表示・保存されます。

お知らせ

● 撮影前のファインダーが表示されている状態でFOMA端末を閉じると、カメラモードを終了します。
● 撮影後の[処理中]表示中にFOMA端末を閉じると、撮影した静止画は破棄され、カメラモードが終了する場合があります。

連続撮影する<連続撮影>

複数の静止画を連続して撮影できます。
連続撮影できる撮影サイズは次のとおりです。

	高速連続撮影	標準連続撮影	マニュアル連続撮影	フレーム撮影との組み合わせ
sQCIF:128×96	○	○	○	○
QCIF:176×144	○	○	○	○
QVGA:240×320	○	○	○	○
CIF:352×288	×	○	○	○
VGA:480×640	×	○	○	×
待受:480×854	×	○	○	×

● 「UXGA:1200×1600」、「フルHD:1080×1920」、「３M:1536×2048」、「パノラマ:1280×320」での連続撮影はできません。

高速、標準、マニュアル

高速連続撮影では約0.1秒間隔、標準連続撮影では約0.2秒間隔で、静止画を連続して自動的に撮影します。マニュアル連続撮影では、自分のシャッター操作で静止画を連続して撮影します。

● 連続撮影最大枚数は撮影サイズにより異なります。

sQCIF：128×96	QCIF：176×144	QVGA：240×320	CIF：352×288	VGA：480×640	待受：480×854
25枚	25枚	9枚	9枚	6枚	4枚

連続撮影をする

● 撮影サイズによって、[連続撮影]や[高速]が選択できなかったり、連続撮影最大枚数が異なります。

1 静止画撮影画面(☞P.161)で📷▶[撮影メニュー]▶[連続撮影]▶連続撮影の種類を選択

種類	OFF	標準
	高速	マニュアル

2 ⦿(📷)または▯(📷)

● １枚目が撮影され、以降自動的に撮影されます。最後の撮影時に撮影ランプが１回点滅します。
● ✓を押すか▯(📷)を半押しして、フォーカスロックをかけて撮影することもできます(☞P.171)。
● マニュアル撮影のときは、連続撮影最大枚数まで⦿(📷)または▯(📷)を押します。
● 全枚数撮影すると、撮影画像一覧画面が表示されます。
● 撮影を中止するときは、📷(中止)を押します。それまで撮影した静止画が表示されます。📷を押して[全件保存]、または📷を押して[１件保存]を選択すると静止画が保存できます。

3 保存する

撮影した静止画をすべて保存する	[カメラ]→[全件保存]
撮影した静止画をすべて削除する	[カメラ]→[全件削除]
撮影した静止画の中から1件選んで保存する	静止画を選んで[カメラ]→[1件保存] ● 他の静止画を追加保存するときは、同様の操作をくり返します。 ● 静止画を確認してから保存するときは、静止画を選択し、[●]を押します。
撮影した静止画の中から1件選んで削除する	静止画を選んで[カメラ]→[1件削除] ● 静止画を確認してから削除するときは、静止画を選択し、[カメラ]を押します。
撮影した静止画の中から1件選んで位置情報を貼り付ける	静止画を選んで[カメラ]→[位置情報貼付] ● GPS機能で現在地を測位します（☞P.274）。
iモードメールで送信する（☞P.173）	静止画を選んで[i] ● 静止画を確認してからiモードメールで送信するときは、静止画を選択し、[メール]を押します。

● 自動保存モード（☞P.173）が[ON]のときは、自動的に一括保存されます。
● 連続撮影した静止画の保存と削除が終わると、静止画撮影画面に戻ります。

お知らせ

● 連続撮影を設定しているときに、撮影サイズを変更したり、エフェクト撮影を設定すると、連続撮影は解除されます。

連続撮影時のご注意

● [高速]／[標準]での連続撮影中は、[左右]によるズームの利用や、[上下]による明るさの調整はできません。
● 連続撮影中に着信やアラームが動作すると、撮影中の静止画は保持され、連続撮影は中止されます。ただし、着信やアラーム動作のタイミングによっては、撮影中の静止画が破棄され、静止画撮影画面に戻ることもあります。
● 連続撮影中にFOMA端末を閉じたり、[終話]を押すと、撮影を中止してカメラモードを終了します。また、ポジションを変えると、撮影を中止して静止画撮影画面が表示されます。

パノラマ撮影する<パノラマ>

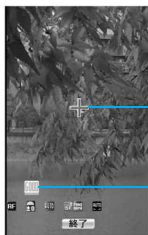
FOMA端末を横方向に動かし、連続して画像を取り込むことにより、1枚のパノラマ写真を自動的に作成できます。
● 画質は[SUPER FINE]になり、変更できません。
● ビューアポジションのときはパノラマ撮影できません。

1 静止画撮影画面（☞P.161）で[メール]（パノラマ）

● 撮影サイズ（☞P.167）を「パノラマ：1280×320」に設定しても操作できます。
● もう一度[メール]（通常撮影）を押すと、通常の静止画撮影画面に戻ります。

パノラマ撮影画面

2 [●]（[カメラ]）または[サイドキー]（[カメラ]）

● パノラマ撮影が開始されます。パノラマ撮影したい範囲でFOMA端末を左右どちらか一方向に動かしてください（往復はしないでください）。撮影開始時点で中央に表示された十字表示が上下に大きくぶれないようにします。
● FOMA端末を移動させる速度は、画面左下の移動速度表示が[GOOD]となるようにしてください。
● 撮影がほぼ完了すると[OK]が表示されます。[OK]が表示されたあともFOMA端末を動かすと合成画像が更新されますが、[MAX]が表示されるとそれ以上更新されません。このときは、操作3に進んでください。
● [クリア]を押すか[サイドキー]（[カメラ]）を半押しして、フォーカスロックをかけて撮影することもできます（☞P.171）。

パノラマ撮影中画面

1 十字表示
撮影開始場所を原点として画面中央に表示されます。カメラを動かしたときに原点からのずれが確認できます。

2 移動速度表示

SLOW	FOMA端末を移動させる速度が遅すぎるときに表示
GOOD	FOMA端末を移動させる速度が適切なときに表示
FAST	FOMA端末を移動させる速度が速すぎるときに表示

3 [●]（終了）

● 撮影完了音が鳴り、取り込んだ画像が合成され、プレビュー画面が表示されます。

4 ◉(保存)または▣(📷)

お知らせ

- パノラマ撮影に設定中は、AFモード切替、連続撮影、エフェクト撮影、フレーム撮影、手ぶれ補正はできません。
- パノラマ撮影中は、⊙によるズームの利用や、⊙による明るさの調整はできません。
- パノラマ撮影中に着信やアラームが動作すると、画像の取り込みは中止され、それまでに取り込んだ画像は破棄されます。
- パノラマ撮影中に約2分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し待受画面に戻ります。それまでに取り込んだ画像は破棄されます。
- [SLOW]が表示された場合は画質にあまり影響しませんが、[FAST]が表示された場合は画質が劣化することがあります。特に、近距離で撮影する場合は[FAST]が表示されないようにご注意ください。
- [OK]が表示されてからも撮影を続けた場合、撮り始めと撮り終わりの部分が破棄されることがあります。
- 以下のような場合は、きれいなパノラマ画像にならないことがあります。
  - 動いているものを撮影したとき
  - 撮影物の遠近の差が大きいとき
  - 撮影場所の明暗の差が大きいとき
- 撮影中にFOMA端末が上下にぶれると、パノラマ写真の上下が狭くなったり、ほとんど何も写っていない状態になることがあります。
- FOMA端末を動かした範囲には関係なく、横1280×縦320のサイズで保存されます。FOMA端末を動かした範囲が狭いと、何も写っていない空白の領域が多くなります。

動画撮影

動画を撮影する

FOMA端末で動画を撮影(録画)します。

- 撮影した動画はデータBOXのｉモーションの[カメラ]フォルダまたはmicroSDメモリーカード(☞P.335)に保存されます。
- 電池残量が少ない場合は撮影できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- FOMA端末で撮影した動画(Mobile MP4)は、メール送信できます(☞P.173)。
- 撮影した動画を着モーション(☞P.120)に設定する場合は、FOMA端末(本体)に保存してください。
- カメラ撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。ただし、撮影されるまでに時間がかかることがあります。
- 撮影中は撮影ランプが点滅します。
- カメラ撮影開始音、停止音、セルフタイマー音は、マナーモードや公共モード(ドライブモード)設定中、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続中でも鳴ります。
- カメラ撮影開始音、停止音、セルフタイマー音の音量は変更できません。
- ピントが合わない場合は、フォーカスロックをご使用ください(☞P.171)。
- 撮影中に撮影残時間表示が00:00:00になったとき(撮影中にファイルサイズが制限に達したときや、microSDメモリーカードの空き容量がなくなったとき)は、自動的に撮影が停止しますが、撮影した動画は保存／再生／取り消し／メール添付はできます。

ビューアポジションで撮影する

1 動画モードを起動(☞P.161)し、ビューアポジションにする

2 撮影する

オートフォーカスで撮影する	▣(📷) ● 中央の被写体に自動的にピントを合わせて撮影します。
撮影中にフォーカスロックをかける(☞P.171)	撮影中に▣(📷)を半押し→フォーカスロックをかける

3 撮影を止めるときは、▣(📷)

4 保存する

- ⌃／⌄で項目を選んで▣(📷)を押します。

保存する	[保存]
ｉモーションメールで送信する(☞P.173)	[メール作成] ● メールを作成するときは、通常ポジションにしてください。
撮影した動画を再生する	[再生]
撮影した動画を取り消す	[取消]→[はい]

通常ポジションで撮影する

1 動画モードを起動する(☞P.161)

- 自分を撮影する場合は、ディスプレイを回転させ、カメラを自分に向けてください。

2 撮影する

オートフォーカスで撮影する	◉(録画)または▣(📷) ● 中央の被写体に自動的にピントを合わせて撮影します。
撮影中にフォーカスロックをかける(☞P.171)	撮影中に✓または▣(📷)を半押し→フォーカスロックをかける

3 撮影を止めるときは◉(停止)または▣(📷)

4 保存する

保存する	[保存]
ｉモーションメールで送信する(☞P.173)	[メール作成]
撮影した動画を再生する	[再生]
撮影した動画を取り消す	[取消]→[はい]

- FOMA端末(本体)に保存するときに、メモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます(☞P.352)。

お知らせ

- 撮影残時間表示は目安であり、撮影対象により、撮影開始前の残時間表示よりも長く撮影できる場合や、00:00:00より以前に撮影が自動的に停止する場合があります。
- 撮影中にFOMA端末を閉じると撮影が自動的に停止し、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。撮影開始から1秒未満の場合は、撮影を停止し、カメラモードを終了します。ただし、映像・音声切替が[音声のみ]のときにFOMA端末を閉じた場合は、録音が継続されます。
- 動画撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合がありますので、ご注意ください。

撮影時の設定を変える

カメラを切り替える<カメラモード切替>

静止画、動画、文字読み取り、バーコードリーダー、名刺リーダーの各モードを切り替えます。

- [電池がありません。保存していないデータは失われます。動作中の機能は終了します]と表示されたときに充電を開始してすぐカメラモードを切り替えようとすると[電池残量が足りません]と表示され、カメラモードを起動できません。

1 撮影画面で📷▶[カメラモード切替]▶カメラモードを選択

カメラモード	静止画	バーコードリーダー
	動画	名刺リーダー
	文字読み取り	

明るさを設定する<明るさ調整>

明るさを5段階で調整できます。

1 静止画／動画撮影画面(☞P.161)で、○／○を押して明るさを調整する

- ビューアポジションのときは、▲／▼を押します。
- バーコードリーダー(☞P.173)、文字読み取り(☞P.176)、名刺リーダー(☞P.178)でも○で明るさを調整できます。
- ディスプレイのマークで確認できます(☞P.160)。
- カメラモードを終了すると、明るさが0に戻ります。

デジタルズームを利用する<ズーム切替>

1 静止画撮影画面(☞P.161)で○／○を押して、ズームを切り替える

- ビューアポジションのときは、▲(Eco)／▼を押します。
- ズームバーが表示されます。
- 動画撮影画面(☞P.161)の場合は、すでにズームバーが表示されています。

	通常ポジション	ビューアポジション
ズームアップ	○ ● TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドに指先を乗せて左から右にスライドしても操作できます。	▼
徐々にズームアップ	○を1秒以上押す	▼を1秒以上押す
ズームダウン	○ ● TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドに指先を乗せて右から左にスライドしても操作できます。	▲(Eco)
徐々にズームダウン	○を1秒以上押す	▲(Eco)を1秒以上押す
瞬間ズームアップ※1	TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドで右端をダブルタップ	−
等倍(元の大きさ)に戻す	TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドで左端をダブルタップ※2	−

※1 瞬間ズームマーク位置になります。静止画の場合は、さらに○を押すと2倍に拡大されます(エフェクト撮影やパノラマ撮影を設定している場合を除く)。画像は少し粗くなります。
※2 静止画の場合、最大倍率になっているときは2回ダブルタップします。

● ズームできる範囲(倍率)は撮影サイズによって異なります。

カメラモード	撮影サイズ	最大倍率(ズームの段階)
静止画	sQCIF:128×96	約24.0倍(26段階)
	QCIF:176×144	約17.4倍(23段階)
	QVGA:240×320	約12.8倍(20段階)
	CIF:352×288	約7.8倍(15段階)
	VGA:480×640	約6.4倍(13段階)
	待受:480×854	約4.7倍(10段階)
	UXGA:1200×1600	約2.5倍(4段階)
	フルHD:1080×1920	等倍(−)
	3M:1536×2048	等倍(−)
	パノラマ:1280×320	約2.3倍(9段階)
動画	sQCIF:128×96	約15.2倍(28段階)※
	QCIF:176×144	約10.6倍(24段階)※
	QVGA:320×240	約6.4倍(19段階)※
	VGA:640×480	約3.2倍(12段階)※

※ 手ぶれ補正が[OFF]でビューアポジションの場合

● 撮影サイズ変更、動画撮影での手ぶれ補正の設定変更、エフェクト撮影の設定変更、映像・音声切替を行ったり、カメラモードを終了すると、等倍に戻ります。

お知らせ

撮影時のご注意

● 手ぶれに注意してください。撮影サイズが大きくなったり、撮影画質が高画質になるほど、手ぶれしやすくなります。撮影するときにFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。FOMA端末が動かないようしっかり持って撮影してください。撮影時は手ぶれ補正撮影機能を使ってください(☞P.170)。

撮影サイズを設定する<サイズ選択>

静止画や動画の撮影サイズを設定できます。

● 撮影サイズを変更すると、エフェクト撮影の設定は解除されます。静止画撮影の場合は、フレーム撮影、連続撮影、全画面モードの設定も解除されます。

● 各サイズについては、P.157を参照してください。

1 静止画/動画撮影画面(☞P.161)で📷 ▶[サイズ選択]▶サイズを選択

サイズ	静止画撮影	動画撮影
sQCIF:128×96	[sQCIF]	[sQCIF]
QCIF:176×144	[QCIF]	[QCIF]
QVGA:240×320	[QVGA]	−
QVGA:320×240	−	[QVGA]
CIF:352×288	[CIF]	−
VGA:480×640	[VGA]	−
待受:480×854	[待受]	−
VGA:640×480	−	[VGA]
UXGA:1200×1600	[UXGA]	−
フルHD:1080×1920	[フルHD]	−
3M:1536×2048	[3M]	−
パノラマ:1280×320	[パノラマ]※	−

※ ビューアポジションのときは設定できません。

● 設定したサイズに応じたマークが表示されます(☞P.160)。

お知らせ

● 画像をiモードメールに添付して送信する場合、サイズ選択や画質により通信料金は異なります。

● 動画撮影時、サイズ選択を「QVGA:320×240」または「VGA:640×480」にすると、画質は[SUPER FINE]に設定されます。

画質を設定する<画質>

静止画や動画の画質を設定できます。
[ECONOMY]→[NORMAL]→[FINE](動画のみ)→[SUPER FINE]の順に画質がきれいになりますが、データ量が多くなり登録できる枚数、撮影できる時間は少なくなります。

● 各画質の撮影枚数、撮影時間の目安については、P.158を参照してください。

1 静止画/動画撮影画面(☞P.161)で📷 ▶[撮影メニュー]▶[画質]▶画質を選択

画質	ECONOMY	FINE※
	NORMAL	SUPER FINE

※ [FINE]は動画撮影時のみ選択できます。

● 動画撮影時、「sQCIF:128×96」の場合は[SUPER FINE]に設定できません。また、「QVGA:320×240」と「VGA:640×480」の場合は[SUPER FINE]のみ設定できます。

● 設定した画質に応じてマークが表示されます(☞P.160)。

お知らせ

● 画質を優先して撮影したいときは、[FINE]または[SUPER FINE]に設定してください。

● 動画撮影の場合、エフェクト撮影、共通再生モードを設定しているときは画質を選択できません。

ファイルサイズ制限を設定する <ファイルサイズ制限>

動画を撮影する前に、保存するファイルサイズを制限できます。

- ｉモーションメールで送信する場合は、[メール用(短)]、[メール用(長)]を選択してください。メール添付可能なサイズで撮影できます。[メール用(短)]を選択するとファイルサイズを約500Kバイトに制限します。[メール用(長)]を選択するとファイルサイズを約2Mバイトに制限します。

1 動画撮影画面(☞P.161)で▶[撮影メニュー]▶[ファイルサイズ制限]▶ファイルサイズを選択

ファイルサイズ	メール用(短)※1	制限なし※2
	メール用(長)	

※1 撮影サイズが「VGA：640×480」に設定されている場合は、設定できません。
※2 保存先がFOMA端末(本体)に設定されている場合は、設定できません。

お知らせ

- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定し、ファイルサイズ制限を[制限なし]に設定した場合、撮影時間は最長約1時間になります(映像･音声切替が[音声のみ]の場合を除く)。また、撮影直後にメール送信を実行すると、先頭から約2Mバイト以内のデータを切り出して送信します。
- 保存先をFOMA端末(本体)に変更した場合、ファイルサイズ制限は[メール用(長)]に設定されます。保存先をmicroSDメモリーカードに変更した場合、ファイルサイズ制限は[制限なし]に設定されます。ただし、共通再生モードを設定しているときは、保存先にかかわらず[メール用(短)]に設定され、変更できません。

セルフタイマーを使って撮影する <セルフタイマー>

1 静止画／動画撮影画面(☞P.161)で▶[撮影メニュー]▶[セルフタイマー]▶セルフタイマーを設定する

セルフタイマー	OFF	ON(5秒)
	ON(2秒)	ON(10秒)

- [ ]、[ ]または[ ]が表示されます。

2 ●または( )

- タイマー音が鳴り、セルフタイマーが動作します。設定した時間(約2秒／約5秒／約10秒)が経過すると、撮影開始音が鳴り、自動的に撮影されます。[ ]、[ ]または[ ]と撮影ランプが点滅します。
- 撮影を中止するときは、CLRを押します。ビューアポジションのときは( )を押します。このとき、セルフタイマーは設定されたままです。
- 撮影後もセルフタイマーは解除されません。

お知らせ

セルフタイマー動作中のご注意

- ●または( )を押すと、その時点で撮影されます。
- 着信やアラームが動作すると、セルフタイマーは中止され、撮影画面に戻ります。
- 静止画モードでは、セルフタイマー動作中は、によるズームの利用や、による明るさの調整はできません。
- FOMA端末を閉じたり、を押すと、撮影を中止してカメラモードを終了します。

AFモードを設定する<AFモード>

被写体に合わせて、AF(オートフォーカス)モードの切り替えができます。

- 静止画撮影の場合、AFモードはカメラモードを起動し直したり、撮影サイズの設定を変更すると[標準]に戻ります。
- 文字読み取り、バーコードリーダー、名刺リーダーの場合は[接写]、[標準]の切り替えとなります。

標準	オートフォーカスが動作し、中央の被写体に自動的にピントを合わせます。
接写	近距離(約10～20cm)の撮影に適したモードです。
マニュアルフォーカス	手動でピントを合わせることができます。

1 静止画／動画撮影画面(☞P.161)で▶[撮影メニュー]▶[AFモード]▶AFモードを選択

標準	[標準]
接写	[接写]
マニュアルフォーカス※	[マニュアルフォーカス]→フォーカス調整バー表示→でピント調整して● ● バーが最も青い色になるように調整してください。 ● もう一度マニュアルフォーカスでピントを調整したいときは、AFモード画面で再びマニュアルフォーカスを選んでください。

※ ピントの調整をするときは、TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドを利用できます。

お知らせ

- AFモードを切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。

映像と音声の組み合わせを設定する
＜映像･音声切替＞

動画撮影の種類を[映像＋音声]、[映像のみ]、[音声のみ]に設定できます。

1 動画撮影画面(☞P.161)で📷▶[撮影メニュー]▶[映像･音声切替]▶映像と音声の組み合わせを選択

組み合わせ	映像＋音声	映像のみ	音声のみ

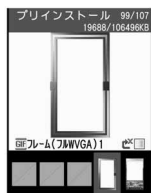
お知らせ

● 共通再生モードを設定しているときは[映像＋音声]になり、変更できません。

フレームを重ねて撮影する
＜フレーム撮影＞

撮影する静止画にフレームを設定し、フレーム付きで撮影できます。

● FOMA端末にはあらかじめ「QCIF：176×144」、「CIF：352×288」、「待受：480×854」用のフレームが登録されています。
● 連続撮影(☞P.163)ではそれぞれの静止画にフレームが付きます。
● 撮影サイズが「UXGA：1200×1600」、「フルHD：1080×1920」、「3M：1536×2048」、「パノラマ：1280×320」の場合、または「VGA：480×640」、「待受：480×854」で連続撮影設定時はフレーム撮影できません。
● 撮影サイズとフレームの縦横が異なるときは、フレームが90度回転します。
● サイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたフレームを利用してフレーム撮影できます。
● 撮影サイズを変更すると、フレーム撮影が解除されます。

1 静止画撮影画面(☞P.161)で📷▶[撮影メニュー]▶[フレーム撮影]▶フレームを設定する

[プリインストール]フォルダを選んだ場合

フレームを利用する	[ON]→フォルダを選択→フレームを選んで▣ ● フレームを確認するときは、フレームを選択します。戻るときはCLRを押します。
フレームを解除する	[OFF]

● 選択したフレームと被写体の合成された画面が表示されます。

2 ◉(📷)または▣(📷)

いろいろな効果を付けて撮影する
＜エフェクト撮影＞

撮影する静止画や動画にエフェクトを設定し、色合いやタッチを変えて撮影できます。

● エフェクト撮影を設定しているときに、連続撮影を設定したり、撮影サイズの変更や映像･音声切替を行うと、エフェクト撮影は解除されます。
● 静止画撮影サイズが「VGA：480×640」、「待受：480×854」、「UXGA：1200×1600」、「フルHD：1080×1920」、「3M：1536×2048」、「パノラマ：1280×320」の場合、動画撮影サイズが「VGA：640×480」の場合、エフェクト撮影できません。

1 静止画／動画撮影画面(☞P.161)で📷▶[撮影メニュー]▶[エフェクト撮影]▶エフェクトの種類を選択

OFF	エフェクトを解除する
モノクロ	モノトーンで濃淡を表現
セピア	セピア色で濃淡を表現
きらきら	光輝部をさらに輝かせる効果を表現
色えんぴつ	色つきの線画で表現
円ソフトフレーム※1	画面の周りにぼかしの効果を付ける
残像※2	動きの残像を表現
波紋	波紋効果を付ける
万華鏡(大)	万華鏡の効果を表現(模様が大きい)
万華鏡(小)	万華鏡の効果を表現(模様が小さい)
魚眼	魚眼レンズでの効果を表現

※1 静止画のみに設定できます。
※2 動画のみに設定できます。

2 ◉または▣(📷)

お知らせ

● 動画撮影の場合、画質を変更することはできません。撮影サイズが「sQCIF：128×96」の場合は[FINE]、「QCIF：176×144」、「QVGA：320×240」の場合は[SUPER FINE]に自動的に設定されます。
● 動画撮影の場合、エフェクト撮影を設定すると、手ぶれ補正が自動的に[OFF]になります。このあと、エフェクト撮影を解除すると、エフェクト撮影設定前の手ぶれ補正の設定になります。
● 動画撮影の場合、共通再生モードを設定しているときはエフェクト撮影できません。

手ぶれを補正して撮影する<手ぶれ補正>

- 静止画撮影サイズが「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「QVGA：240×320」、「CIF：352×288」、「パノラマ：1280×320」の場合、動画撮影サイズが「VGA：640×480」の場合、手ぶれ補正撮影できません。
- 静止画撮影の場合、シーン別撮影／ホワイトバランスを［オート］以外に設定した場合や、連続撮影時は手ぶれ補正撮影できません。
- 静止画撮影サイズが「VGA：480×640」、「待受：480×854」でフレームを設定している場合、手ぶれ補正撮影できません。
- エフェクト撮影時は手ぶれ補正撮影できません。
- 手ぶれ補正の効果は、被写体や撮影時の条件によって異なります。

1 静止画／動画撮影画面（☞P.161）で📷▶［カメラ設定］▶［手ぶれ補正］▶［ON］

お知らせ

- 手ぶれ補正を［ON］で撮影する場合、被写体や周囲の明るさによっては撮影画像にノイズがのったり、暗くなったりすることがありますが故障ではありません。その場合は、手ぶれ補正を［OFF］にして撮影してください。
- 動画撮影の場合、共通再生モードを設定しているときは手ぶれ補正撮影できません。
- 他の機能からカメラを起動した場合、静止画撮影サイズが「3M：1536×2048」のときは手ぶれ補正撮影できません。
- 静止画で手ぶれ補正撮影後の［処理中］表示中に、次の動作が起きると、撮影した静止画は破棄され、プレビュー表示にならない場合があります。
  - ■ 着信やアラームが動作した場合（静止画撮影画面に戻る）
  - ■ FOMA端末を閉じた場合（カメラモード終了）

撮影環境や被写体に応じた設定を行う<シーン別撮影>

自然な色合いやピントで撮影できるよう、撮影環境や被写体に応じた撮影モードを設定できます。

1 静止画／動画撮影画面（☞P.161）で📷▶［撮影メニュー］▶［シーン別撮影］▶シーンを選択

静止画撮影時のシーンの種類

オート	通常の撮影に適しています。
人物	人物を撮影する場合に適した設定です。
夜景	夜景など光の少ない場所を撮影する場合に適した設定です。
風景	自然や街並みなどきめ細かな被写体を撮影する場合に適した設定です。
スポーツ	屋外でのスポーツなど動きの多い被写体を撮影する場合に適した設定です。
文字	白と黒などコントラストのはっきりした被写体を撮影する場合に適した設定です。
逆光	逆光により顔などが暗くなってしまう被写体を撮影する場合に適した設定です。

動画撮影時のシーンの種類

オート	通常の撮影に適しています。
人物	人物を撮影する場合に適した設定です。
風景（ソフト）	自然や街並みなどの風景をソフトなイメージで撮影する場合に適した設定です。
風景（シャープ）	自然や街並みなどの風景をシャープなイメージで撮影する場合に適した設定です。

- 設定したシーンに応じてマークが表示されます（☞P.160）。
- 静止画撮影画面または動画撮影画面で、□（シーン）を押しても操作できます（□（シーン）を押すごとに順番にマークとシーンが切り替わります）。

お知らせ

- カメラモードを終了すると、［オート］に戻ります。
- シーン別撮影を［オート］以外に設定すると、ホワイトバランスが自動的に［オート］になります。

色合いを調節する<ホワイトバランス>

撮影時の光の状況に応じて、色合いを調節して撮影できます。

1 静止画／動画撮影画面（☞P.161）で📷▶［撮影メニュー］▶［ホワイトバランス］▶ホワイトバランスの種類を選択

オート	自動的に色合いを調節します。
白熱灯	白熱灯の下での撮影に適しています。
蛍光灯	蛍光灯の下での撮影に適しています。
太陽光	晴れた日の屋外での撮影に適しています。
くもり	曇りの日の屋外や、日陰での撮影に適しています。

お知らせ

- カメラモードを終了すると［オート］に戻ります。
- ホワイトバランスを［オート］以外に設定すると、シーン別撮影が自動的に［オート］になります。

音声のノイズを少なくする<ノイズキャンセラ>

動画撮影画面で、音声用のノイズキャンセラを設定できます。

1 動画撮影画面（☞P.161）で📷▶［カメラ設定］▶［ノイズキャンセラ］▶［ON］

お知らせ

- ノイズキャンセラでは、音声を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や話し方により、音声の聞こえ方が変わることがあります。

撮影時のバックライトの点灯時間を設定する<バックライト点灯時間>

1 動画撮影画面(☞P.161)で[メニュー]▶[カメラ設定]▶[バックライト点灯時間]▶点灯時間を選択

照明設定に従う	[照明設定に従う] ● 照明時間設定に従ってバックライトが点灯します(☞P.132)。
常に点灯する	[常にON] ● 常時点灯します。ただし、ファインダー以外の画面ではバックライトの点灯時間は照明時間設定に従います。

フォーカスロックで撮影する<フォーカスロック>

ピントを合わせた状態でフォーカスをロックして、構図を変えて撮影できます。

1 静止画／動画撮影画面(☞P.161)で被写体にピントを合わせて[クリア]を押すか、[シャッター]([カメラ])を半押ししたまま構図を変える

- フォーカスがロックされます。
  - ■ ●(赤色)フォーカスを合わせているとき
  - ■ ●(緑色)フォーカスがロックされたとき
- 動画撮影時は撮影中にフォーカスロックをかけることができます。
- フォーカスがロックされると音が鳴ります。ただし、動画撮影時を除きます。
- フォーカスロックをかけたままで撮影の設定を変更した場合、フォーカスロックは解除されます。
- FOMA端末を開閉したりビューアポジションにすると、フォーカスロックは解除されます。

フォーカスロックをやり直す	[クリア]でフォーカスロックしたとき	[クリア]→[クリア]
	[シャッター]([カメラ])を半押しでフォーカスロックしたとき	[シャッター]([カメラ])から指を離す→[シャッター]([カメラ])を半押し

2 撮影する

撮影する	[クリア]でフォーカスロックしたとき	●
	[シャッター]([カメラ])を半押しでフォーカスロックしたとき	[シャッター]([カメラ])を深く押す

- 被写体との距離は変えないでください。

お知らせ

AFモードがマニュアルフォーカス以外のとき
- フォーカスがすでにロックされている状態で●を押した場合、オートフォーカスは作動しません。

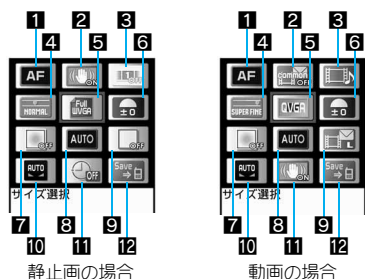
お知らせ

- 動画撮影中に[クリア]を押すか[シャッター]([カメラ])を半押しすると、再度フォーカスロックをかけることができます。撮影中に被写体との距離が変化してピントが合わなくなったときにご使用ください。ただし、フォーカスロックするときに雑音が入ることがありますのでご注意ください。

撮影時の設定を一括変更する<一括設定変更>

撮影時によく使う機能の設定内容を一覧表示したり、一括して変更することができます。

1 静止画／動画撮影画面(☞P.161)で[メニュー](設定)

- ビューアポジションのときは、[左]を1秒以上押し、[マナー](Eco)／[右]または[上]／[下]で項目を選び、[シャッター]([カメラ])を押します。撮影画面に戻るときは[P]([P])を押します。

- 設定を変更するときは[方向キー]で項目を選び、●(変更)を押します。撮影画面に戻るときは[メニュー](戻る)を押します。TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドを利用することもできます。

	静止画撮影	動画撮影
1	AFモード	AFモード
2	手ぶれ補正	共通再生モード
3	連続撮影	映像・音声切替
4	画質	画質
5	サイズ選択	サイズ選択
6	明るさ調整	明るさ調整
7	エフェクト撮影	エフェクト撮影
8	シーン別撮影	シーン別撮影
9	フレーム撮影	ファイルサイズ制限
10	ホワイトバランス	ホワイトバランス
11	セルフタイマー	手ぶれ補正
12	本体⇔microSD切替	本体⇔microSD切替

他のFOMA端末でも再生できるように設定する<共通再生モード>

共通再生モードを設定して動画を撮影すると、FOMA端末の機種にかかわらず、再生することができます。

- 撮影サイズは「QCIF：176×144」、画質は[FINE]、ファイルサイズ制限は[メール用(短)](500Kバイト)、手ぶれ補正は[OFF]、映像・音声切替は[映像+音声]、エフェクト撮影は[OFF]になり、変更できません。

1 動画撮影画面(☞P.161)で📷▶[撮影メニュー]▶[共通再生モード]▶[ON]

お知らせ

- カメラモードを終了すると、[OFF]に戻ります。

カメラの設定を変える

カメラのシャッター音を変える<シャッター音>

シャッター音を、4種類のパターンから選択できます。

- シャッター音の音量は変更できません。また、マナーモードや公共モード(ドライブモード)設定中や平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続中でも鳴ります。

1 待受画面で⦿▶[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音選択]▶[シャッター音]▶シャッター音を選択

シャッター音	標準音	ピンポーン
	デジタルカメラ	トゥインクル

- シャッター音を確認するときは、シャッター音を選んで▮(再生)を押します。止めるときは▮(停止)を押します。

画像をディスプレイいっぱいに表示する<全画面モード切替>

通常ポジション時にカメラモードで表示されるマークを消し、静止画をディスプレイいっぱいに表示できます。

- 撮影サイズが「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「CIF：352×288」、「パノラマ：1280×320」の場合、全画面モードにできません。
- カメラモードを終了すると、全画面モードは解除されます。

1 静止画撮影画面(☞P.161)で📷▶[全画面モード切替]

- もう一度📷を押して[全画面モード切替]を選択すると、全画面モードを解除できます。

microSDメモリーカードに保存する<本体⇔microSD切替>

撮影した画像をmicroSDメモリーカードに保存できます。

市販のmicroSDメモリーカードが必要となります(☞P.335)。

1 静止画/動画撮影画面(☞P.161)で📷▶[本体⇔microSD切替]

- 保存先が変更され、撮影画面に戻ります。
- 静止画撮影のときは、撮影後に▮(→microSD)を押して切り替えることもできます。
- 設定内容に応じてmicroSDメモリーカードマークの色が変わります。

SD(グレー)	FOMA端末(本体)へ保存
SD(ピンク)	microSDメモリーカードへ保存

- microSDメモリーカードに保存できる動画の撮影時間はmicroSDメモリーカードのメモリにより異なります。映像が含まれる動画の場合、最長約1時間です。

お知らせ

- 静止画モードでは、保存先がmicroSDメモリーカードに設定されていても、microSDメモリーカードの空き容量が不足した場合、保存先がFOMA端末(本体)に切り替わります。動画モードでは、microSDメモリーカードに空き容量がない場合、保存先をmicroSDメモリーカードに設定して撮影を開始するとカメラモードは終了し待受画面に戻ります。
- microSDメモリーカードに保存した静止画/動画の確認については、P.342を参照してください。
- 保存先がmicroSDメモリーカードに設定されている場合、撮影画像は[カメラフォルダxxx](フォルダが複数ある場合は「xxx」の数字が最も大きなフォルダ)に保存されます。
- フォルダ内の保存件数が400件を超えると、新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに静止画/動画が保存されます。パソコンなどで利用したmicroSDメモリーカードは、管理情報の更新を行わないと保存できません(☞P.346)。
- 撮影画像をmicroSDメモリーカードに保存するときは、DCF1.0準拠(ExifVer.2.2、JPEG準拠)の形式で保存されます。
- 「DCF」とは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、デジタルカメラなどの画像ファイルなどを、関連機器間で便宜に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- 「Exif」とは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画用のファイルフォーマットです。

自動保存モードを設定する ＜自動保存モード＞

撮影した静止画を自動的に保存するように設定できます。
- 自動保存モードを[ON]に設定すると、撮影直後の画像編集や画面設定などの操作はできなくなります。
- 撮影した静止画はmicroSDメモリーカードか、FOMA端末(本体)に自動的に保存されます。
- microSDメモリーカードに保存するときは、撮影前に保存先を切り替えておきます(☞P.172)。

1 静止画撮影画面(☞P.161)で📷▶[カメラ設定]▶[自動保存モード]▶[ON]

静止画撮影／動画撮影の設定をお買い上げ時の状態に戻さないようにする ＜カメラ設定保持＞

カメラモードを終了したときに各設定を記憶しておくことができ、次回静止画や動画のカメラモードにしたときも同じ状態で利用できます。
- 設定を保持できる項目は、次のとおりです。

静止画	サイズ選択、画質、本体⇔microSD切替、自動保存モード、手ぶれ補正
動画	サイズ選択、画質、ファイルサイズ制限、バックライト点灯時間、本体⇔microSD切替、手ぶれ補正、ノイズキャンセラ

1 静止画／動画撮影画面(☞P.161)で📷▶[カメラ設定]▶[カメラ設定保持]

2 [ON]

メール送信

撮影後すぐに静止画または動画を送る

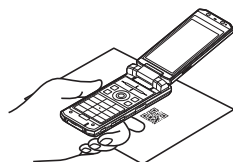
静止画または動画撮影後、保存前のプレビュー画面から、撮影した静止画や動画を添付したｉモードメールを送信できます。
- 撮影した動画はｉモーションメールとして送信します。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定していた場合、撮影した画像はmicroSDメモリーカードに保存され、メール作成画面が表示されます。

1 静止画プレビュー画面(☞P.163)で✉(メール)
- 動画のときは、撮影終了後の画面で[メール作成]を選択します。

- 撮影した動画のファイルサイズが2Mバイトを超えている場合、メールに添付するために切り出すかどうかの確認画面が表示されます。
[はい]を選択すると、2Mバイト以下になるように先頭から切り出して添付されます。

2 ｉモードメールを作成し、送信する
- 詳しくは、P.208の操作2～4を参照してください。

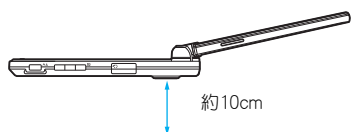
バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってバーコード(JANコード、QRコード)を読み取ると、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示、ｉアプリToを利用できます。読み取った文字のコピーや貼り付け、メロディの再生や保存、画像またはトルカの表示や保存を行うこともできます。
- 読み取り結果をmicroSDメモリーカードに保存することはできません。
- JANコードとQRコード以外のバーコード・二次元コードは読み取りできません。
- 分割されたQRコードも読み取りできます。
- ビューアポジションでは利用できません。

バーコード(JANコード、QRコード)から文字を読み取って利用する

バーコード(JANコード、QRコード)から読み取った文字を利用して、ｉモード接続、フルブラウザ接続、ｉモードメール作成、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信、SMS作成、ｉアプリの起動などを行うことができます。
- バーコードリーダー起動時、AFモードは[接写]に設定されています。接写撮影の焦点距離は約10cmです。
- サイトを表示中に、バーコードリーダーを利用してJANコード、QRコードの情報をテキストボックスに入力できます(☞P.183)。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れない場合があります。

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[バーコードリーダー]

- 静止画撮影画面(☞P.161)で📷を押し、[カメラモード切替]→[バーコードリーダー]を選択しても切り替えられます。

- バーコード(JAN コード、QR コード)の真正面からカメラまでを約10cm離して、バーコードやFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。

2 ディスプレイの中央に読み取るバーコード(JANコード、QRコード)を表示する

- 被写体がJANコードかQRコードかは、FOMA端末が自動的に判断します。
- 光沢のある用紙の場合は、読み取りにくいことがあります。照明が直接反射しないように角度を調節してください。

フォーカスロックをかける	✎ ● 認識しにくいコードでも認識できることがあります。焦点が合ったときは「ピッピッ」と鳴ります。
保存データを見る	📷→[保存データ]
AFモードを切り替える	📷→[AFモード切替]→[接写]/[標準]

3 ◉(読取)

- 読み取り開始時にフォーカスロックされていないときは、自動的にフォーカスロックがかかります。
- バーコード(JANコード、QRコード)の読み取りが開始されます。読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。
- 読み取りを開始してから1分経過しても読み取れなかったときは、[読み取りできませんでした]と表示され、操作2の画面に戻ります。
- 読み取りを中断するときは、▯(中断)またはCLRを押します。読み取りを中断して操作2の画面に戻ります。

4 読み取った文字を選択

- 読み取った文字や数字に下線が付いている場合は、その部分を選択できます。
- 読み取った文字の内容に応じて、i モード接続/フルブラウザ接続選択画面(URLのとき)、メール作成確認画面(メールアドレスのとき)、電話(テレビ電話)発信確認画面(電話番号のとき)が表示されます。
- 電話帳データやメールデータ、ブックマークデータ、i アプリデータの場合は、電話帳登録確認画面やメール作成確認画面、Bookmark登録確認画面、i アプリ起動確認画面が表示されます。
- 読み取った文字や数字に下線が付いていない場合は、◉を押しても表示が変わりません。

読み取った文字をすべてコピーする	▯
読み取った文字の一部をコピーする	📷→[コピー]→始点を選択→終点を選択
読み取ったデータを保存する	📷→[保存]→保存先を選択 ● 5件まで保存できます。

お知らせ

- 読みとった文字を選択後の電話(テレビ電話)発信確認画面から、SMSの作成/送信ができます。
- バーコード読み取り画面でビューアポジションにすると[縦に戻してご利用下さい]と表示されます。バーコードを読み取る場合は、通常ポジションに戻してご利用ください。
- URL入力画面や、サイトを表示中(☞P.180の操作1～3)の文字入力画面で、📷を押し[引用]→[バーコードリーダー]を選択してもバーコードリーダーを起動できます。
- 電話帳の機能別ロック中は、端末暗証番号を入力すると機能別ロックが一時的に解除され、読み取った結果から電話帳登録できます。電話帳登録が終了すると、再びロックされます。
- フォーカスロック音、読み取り完了音は、マナーモードや公共モード(ドライブモード)設定中は鳴りません。

JANコードとは

- 幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。
- 右図を読み取ると[4942857119022]と表示されます。

QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。データとは、文字列(英数字・漢字・カナ・絵文字)や画像データ、メロディデータなどを含みます。
- 右図を読み取ると[株式会社NTTドコモ]と表示されます。

カメラ

お知らせ

分割されたデータについて

- QRコードには、分割されたデータ(最大16個)を読み取って１つのデータとなるものがあります。分割されたデータを読み取った場合、操作３のあとで右の画面が表示されます。( )には残り個数／全連結数が表示されています。
[はい]を選択すると次のQRコードの読み取り画面に進みます。次のQRコードをディスプレイの中央に表示させると、自動的に次のQRコードを読み取ります。操作をくり返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。

QRコードから画像、トルカやメロディを読み取って利用する

1 QRコードを読み取る（☞P.174の操作１～３）

- 結果画面に、読み取り結果が画像データの場合は[画像]、メロディデータの場合は[メロディ]、トルカデータの場合は[トルカ]と表示されます。

2 ⦿▶表示・再生する

画像を表示する	[表示] ● ファイル形式によっては表示できないものもあります。
メロディを再生する	[再生] ● ファイル形式によっては再生できないものもあります。 ● 再生を中止するときは⦿またはCLRを押します。
トルカを表示する	[表示] ● 複数のトルカが含まれている場合は先頭のトルカのみ取得します。
画像、メロディやトルカを保存する	[保存] ● 画像はデータBOXのマイピクチャの[外部取得データ]フォルダに保存されます。 ● メロディはデータBOXのメロディの[外部取得データ]フォルダに保存されます。 ● トルカは[おサイフケータイ]メニューの[トルカ]内に保存されます。
画像、メロディやトルカを保存しない	[保存しない]

読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する

- 読み取ったメールアドレスや電話番号、URLを電話帳やブックマークに登録できます。

1 バーコードを読み取る（☞P.174の操作１～３）▶読み取り結果画面で📷

2 読み取り結果を登録する

電話帳に登録する	FOMA端末(本体)電話帳に新規登録する	[電話帳登録]→[本体新規]→[はい] ● 読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます(☞P.102)。 ● あらかじめテレビ電話用電話番号としてバーコードに設定されているときは、テレビ電話用電話番号として登録されます。
	FOMAカード電話帳に新規登録する	[電話帳登録]→[FOMAカード新規]→[はい] ● 読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます(☞P.107)。
	電話帳に追加／上書き登録する	[電話帳登録]→[追加／上書]→[はい]→名前を選択 ● 読み取った文字は対応した項目に上書き登録されます。このあと、電話帳登録の操作を続けます(☞P.102、P.107)。ただし、URLの場合は、メモの項目(☞P.101)に上書き登録されます。
ブックマークに登録する(URLのみ)(☞P.188、P.304)		[Bookmark登録]→[ｉモード登録]／[フルブラウザ登録]→フォルダを選択→[OK]

■ 保存データを利用するとき

1 読み取り開始画面（☞P.174の操作２）で📷▶[保存データ]▶保存データを選択

- このあと、P.175「読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する」の操作１～２に進みます。
- 保存データは再保存できません。

カメラ

文字読み取り(OCR)

文字を読み取る

紙などに印刷されたURL、メールアドレス、電話番号、英単語をFOMA端末で撮影し、FOMA端末で扱える文字に変換します。
読み取った文字を利用して、サイトやインターネットホームページへの接続、iモードメールの送信、音声電話/テレビ電話/プッシュトークの発信、SMSの送信ができます。また、電話帳登録、ブックマーク登録、辞書検索もできます。

- 読み取れる文字は、次のものです。URL、メールアドレス、電話番号、英単語などのカテゴリは、読み取った文字によって自動的に識別されます。漢字やひらがななど、全角の文字は認識できません。

URL	半角英字、半角数字、半角記号[. -(ハイフン) _ : / ~]
メールアドレス	半角英字、半角数字、半角記号[. @ -(ハイフン) _ :]
電話番号	半角数字、半角記号[-(ハイフン) + P # *]
英単語	半角英字、半角数字、半角記号[-(ハイフン) / ? ! @ + * ' ( ) , . &]

- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、文字サイズによっては、正しく読み取れない場合があります。

文字を読み取って利用する

カテゴリ(URL、メールアドレス、電話番号、英単語)を自動的に識別して、文字を読み取り、iモード接続、iモードメール作成、音声電話/テレビ電話/プッシュトークの発信、SMS作成、辞書検索、電話帳登録、ブックマーク登録などを行うことができます。

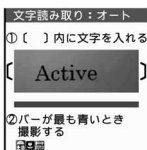
- 文字読み取り起動時、AFモードは[接写]に設定されています。

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[文字読み取り]

- 静止画撮影画面(☞P.161)で📷を押し、[カメラモード切替]→[文字読み取り]を選択しても切り替えることができます。

2 読み取る文字をディスプレイの中央に表示する

- 光沢のある用紙の場合は、読み取りにくいことがあります。照明が直接反射しないように角度を調節してください。

- ディスプレイの〔 〕枠内の中央に入るように調整してください。〔 〕の端の文字は読み取りにくい場合があります。
- 読み取り文字の真正面からカメラまでの距離を約10cmにして、文字やFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。表示される文字は小さくて見づらくなりますが、被写体表示の下にあるバーが最も青い色になるように、撮影する印刷物などとの距離を調整してください。
- 一度の操作で読み取る文字数は、60文字以内を目安にしてください。

フォーカスロックをかける	✆
読み取り対象のカテゴリを選ぶ	📷→[読み取り対象選択]→カテゴリを選択 ● 文字読み取り起動時は、[オート]に設定されています。
AFモードを切り替える	📷→[AFモード切替]→[接写]/[標準] ● 大きな文字を読み取るときは[標準]に、小さな文字を読み取るときは[接写]に設定してください。
反転文字(黒地に白の文字)を読み取る	📷→[反転モード切替]→[反転文字] ● 文字読み取り起動時は、[自動]に設定されています。うまく読み取れないときは、[通常文字]または[反転文字]に設定してください。

3 ◉(📷)

- 複数の行を撮影したときは、◌で読み取る行を指定します。文字の読み取りは、1行単位で行います。

4 ◉(読取)

- 文字の読み取りが開始されます。読み取りが完了すると、完了音が鳴り、文字読み取りの候補選択画面になります。読み取った文字の内容が表示されます。

読み取り結果を修正する	◌で修正する文字を選んで◌で候補を選択 ● 1文字ずつの修正候補が、画面下部に表示されます。修正候補がない場合はダイヤルボタンで入力します。 ● 1文字ずつ削除するときは、CLRを押します。
読み取った文字を削除して読み取りをやり直す	▯→[はい]

カメラ

5 ⦿

読み取った文字を削除して読み取りをやり直す	[i]→[はい]
続けて文字を読み取る	[カメラ]→[続き読み取り] ● 文字読み取り画面が表示されます。 ● 先に読み取った文字につなげて、1つの文として利用できます。数行に分かれているURLやメールアドレスを読み取るときなどに便利です。最大256文字まで読み取りできます。
読み取りを追加する	[カメラ]→[追加読み取り] ● 文字読み取り画面が表示されます。 ● 最大3回に分けて読み取った文字を、1つのグループとして関連づけます。電話帳の項目を続けて読み取り、まとめて電話帳に登録するときなどに便利です。
読み取った文字を編集する	[カメラ]→[編集]
読み取った文字をすべてコピーする	[カメラ]→[全コピー] ● 他の画面に貼り付けて使用できます。
読み取った文字を削除する	[カメラ]→[削除]→[はい]
読み取り結果のカテゴリを変更する	⊙ ● 読み取り結果が電話番号のときは、カテゴリを変更できません。

6 ⦿ ▶ 読み取り結果を利用する

URLを利用する		[ｉモード接続]／[フルブラウザ接続]
メールアドレスを利用する		[はい]→ｉモードメール作成・送信(☞P.208)
電話番号を利用する	音声電話	[発信]／⦿→[はい]
	テレビ電話	[i]→[はい]
	プッシュトーク	[メール]／[P]([P])→[はい]
	SMS	[SMS]→[はい]→SMS作成・送信(☞P.242)
英単語を利用する		[はい]→辞書で検索する

お知らせ

- 文字読み取り画面でビューアポジションにすると[縦に戻してご利用下さい]と表示されます。文字を読み取る場合は、通常ポジションに戻してご利用ください。
- 電話帳の機能別ロック中は、端末暗証番号を入力すると機能別ロックが一時的に解除され、読み取った結果から電話帳登録できます。電話帳登録が終了すると、再びロックされます。
- フォーカスロック音、読み取り完了音は、マナーモードや公共モード(ドライブモード)設定中は鳴りません。

お知らせ

- 読み取る文字のカテゴリが、電話番号の場合、(　)は-(ハイフン)となります。また、電話帳に登録するときや電話をかけるときには、-(ハイフン)は削除されます。
- 読み取る文字のカテゴリがURLの場合、対象のURLの「http://」が一部省略されていても、読み取り結果に追加されます。

読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する

読み取った文字は、認識したカテゴリに応じて、電話帳の各項目やブックマークに登録できます。

- 電話帳には認識したカテゴリに応じて、以下の項目に登録されます。

URL※1	[URL]	メールアドレス	[Mail]
電話番号	[Tel]	英単語※2	[Word]

※1 URLはメモに登録されます。
※2 英単語は名前／フリガナに登録されます。

- ブックマークにはURLのみ登録できます。

1 文字の読み取り後の画面(☞P.177の操作5)で[カメラ]

2 読み取り結果を登録する

電話帳に登録する	FOMA端末(本体)電話帳に新規登録する	[電話帳登録]→[本体新規]→[はい] ● 読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます(☞P.102)。
	FOMAカード電話帳に新規登録する	[電話帳登録]→[FOMAカード新規]→[はい] ● 読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます(☞P.107)。
	電話帳に追加／上書き登録する	[電話帳登録]→[追加／上書]→[はい]→名前を選択 ● 読み取った文字は対応した項目に上書き登録されます。このあと、電話帳登録の操作を続けます(☞P.102、P.107)。ただし、URLの場合は、メモの項目(☞P.101)に上書き登録されます。
URLをブックマークに登録する(☞P.188、P.304)		[Bookmark登録]→[ｉモード登録]／[フルブラウザ登録]→フォルダを選択→[OK]

読み取った文字を辞書で検索する

● microSDメモリーカードに保存した電子辞書が必要です。

1 文字の読み取り後の画面（☞P.177の操作5）で📷▶[辞書検索]▶[はい]

2 フォルダを選択▶辞書を選択

● 辞書の検索方法については、P.369の操作2以降を参照してください。

● 検索終了後、⌒または、CLRを数回押すと、文字読み取り後の画面に戻ります。

名刺リーダー

名刺リーダーを利用する

カメラを使って名刺を読み取り、FOMA端末（本体）電話帳に新規登録できます。

● 登録できる項目は次のとおりです。

■ 名前　■ フリガナ（姓のみ）
■ 電話番号／携帯電話番号／FAX番号（最大合計3件）
■ メールアドレス（最大3件）　■ 会社・学校
■ 所属　■ 役職　■ 郵便番号
■ 住所　■ メモ（URL、その他の項目）

● 名刺リーダー起動時、AFモードは[接写]に設定されています。

1 待受画面で⦿▶[LifeKit]▶[名刺リーダー]

● 静止画撮影画面（☞P.161）で📷を押し、[カメラモード切替]→[名刺リーダー]を選択しても切り替えられます。

● 撮影ランプが点灯して、ファインダーが表示されます。

2 ディスプレイの中央に名刺を表示する

● 名刺全体がディスプレイに表示されている枠に納まるようにFOMA端末を固定してください。名刺以外のもの、特に文字を含むものがディスプレイ内に入らないようにしてください。

● 名刺をディスプレイに表示する際、縦向き横向きどちらでも読み取ることができますが、斜めにはしないでください。

● ビューアポジションで読み取ることもできます。

● できるだけ名刺を大きく表示すると読み取りやすくなりますが、カメラを名刺に近づけすぎるとピントが合いにくくなります。名刺からカメラまでの距離は10cm離してください。

● ピントが合いにくい場合はAFモードを切り替えてください。

AFモードを切り替える	📷→[AFモード]→[接写]／[標準]
フォーカスロックをかける	✓または▯（📷）を半押し
明るさを調整する	◯／◯ ● ビューアポジションのときは、◯／◯を押します。

3 ⦿（読取）または▯（📷）

● 読み取り完了後、読み取り結果画面が表示されます。

● 読み取り開始時にフォーカスロックされていないときは、自動的にフォーカスロックがかかります。

4 ⦿（登録）または▯（📷）

● 電話帳入力画面に、読み取った項目が入力されています。電話帳登録の操作を続けます（☞P.102）。

● 電話番号／携帯電話番号／FAX番号が合計4件以上ある場合や、メールアドレスが4件以上ある場合は、それぞれ上から3件目まで登録されます。電話種別アイコンは[☎]／[📱]／[📠]が、メールアドレス種別アイコンは[✉]が登録されます。

お知らせ

● 名刺によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。

● 読み取り対象外の名刺は次のとおりです。

■ 日本語および英語以外の名刺
■ 背景が付いている名刺
■ 手書きまたは手書き風のフォントを使用した名刺
■ 縦書きと横書きが混在した名刺
■ ディスプレイなどに表示された名刺

● 読み取り性能が低下する名刺は次のとおりです。

■ 文字が薄くコントラストの低い名刺
■ 極端に小さい文字を含む名刺
■ 斜体フォントを含む名刺
■ 光沢のある用紙に印刷された名刺
■ ロゴまたはロゴ風書体の文字を含む名刺
■ 文字どうしの間隔が狭く接触している文字を含む名刺

● フリガナは正しい読みかたにならない場合や、自動付与されない場合があります。

● 項目の分類は正しく認識されない場合があります。

● 一部の文字は読み取り結果表示の際に除去される場合があります。

● 電話帳の機能別ロック中は、端末暗証番号を入力すると機能別ロックが一時的に解除され、電話帳登録できるようになります。電話帳登録が終了すると、再びロックされます。

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

※ 掲載している画面はイメージのため、実際の画面とは異なる場合があります。

i モード

i モードとは

i モードでは、i モード対応FOMA端末(以下i モード端末)のディスプレイを利用して、サイト(番組)接続、インターネット接続、i モードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- i モードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- i モードの詳細については、『ご利用ガイドブック(i モード<FOMA>編)』をご覧ください。

i モードのご利用にあたって

- サイト(番組)やインターネット上のホームページ(インターネットホームページ)の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト(番組)やインターネットホームページからi モード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル(静止画・動画・メロディなど)、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定音着信などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

サイト表示

サイトを表示する

IP(情報サービス提供者)が提供する各種サービスをご利用いただけます。
FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。サイトによりサービス内容は異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。

- サイト表示中は、ポインタ([ ]や[ ]など)を動かして項目を選択することができます(☞P.32、P.183)。

1 待受画面で[i]

- i モードメニューが表示されます。

2 [i Menu]

- 接続を中止するときは、接続中([ ]点滅)に、[i](中止)を押します。

i モード中に表示されるマーク

マーク	説明
(アイコン)	i モード待機中(点滅)
(アイコン)	i モード接続中(点滅)
(アイコン)	SSLページ表示中
(アイコン)	画像読み込み中に表示 画像表示設定が[OFF]の場合に表示
(アイコン)	画像読み込みに失敗した場合に表示 表示できない形式の画像の場合に表示
(アイコン)	URLが正しくないため画像が読み込めない場合に表示
(アイコン)	i アプリダウンロード中

3 項目を選択

- この操作をくり返し、目的のサイトを表示します。

操作	キー
画面を上下にスクロールする	下: 上:
1画面単位でスクロールする	下:(▼ページ) 上:(▲ページ)

4 終了するときは[ ]▶[はい]

お知らせ

- データBOXのフォルダ一覧やデコメールテンプレート一覧、i アプリのソフト一覧などで[i モードで探す]を選択すると、サイトに接続することができます。
- 文字が正しく表示されない場合は、文字コード変換を行うと正しい文字に変換して表示できることがあります(☞P.187)。

お知らせ

- サイトなどからダウンロードしたファイル形式により、FOMA端末の持っている最大表示色数で表示できない場合があります。
- サイト表示中に[i](ｉモードメニュー)を押すと、ｉモード終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、ｉモードメニューが表示されます。
- サイトによっては、TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドで操作できない場合があります。

ミュージックプレーヤー利用履歴の送信について

- ｉモードサイトやメッセージR／F、トルカから、ミュージックプレーヤーで再生した音楽データの履歴を送信できます。送信用のボタンを選択すると、サイトからお客様の携帯電話で再生した楽曲情報が要求され、楽曲情報送信の確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報(タイトル名、アーティスト名、再生日時)が送信されます。
送信される楽曲情報は、IP(情報サービス提供者)がお客様に、カスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

関連操作

Flash画像やGIFアニメーションを再び再生する<リトライ>

サイト表示中に[カメラ]▶[表示／設定]▶[リトライ]

ｉモードを機能別ロックする<機能別ロック>

待受画面で[i]▶[ｉモード設定]▶[機能別ロック]▶端末暗証番号を入力して[●]▶[ON]

関連操作のお知らせ

Flash画像の再生については、P.182「Flash画像を表示する」を参照してください。

携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号送信について

サイトやインターネットホームページを表示するときに、携帯電話情報通知画面が表示されることがあります。[携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を送信します]と表示された場合、携帯電話情報を送信するときは[はい]を選択します。送信しないときは[いいえ]を選択します。送信せずに元の画面に戻るには、[CLR]を押すか、[戻る]を選択します。

お知らせ

- 携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号が送信される前に必ず、送信確認画面が表示されます。自動的に送信されることはありません。
- 送信される「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。

お知らせ

- 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。

サイトなどでの画像表示について

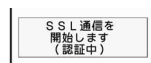
サイトやインターネットホームページ、画像メールやメッセージR／Fの画面には、画像が表示されることがあります。

- FOMA端末では、GIF形式やJPEG形式の画像、Flash画像を表示できます。ただし、これらの形式でも表示できない画像もあります。
- 画像を受信中は、[🔍]が表示され、受信が終わると画像を表示します。
- 画像を表示するかしないかを画像表示設定(☞P.198)で設定できます。[OFF]に設定すると、画像の代わりに[🔍]が表示されます。

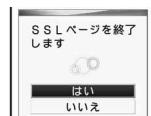
お知らせ

- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- インターネット接続でGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像も表示できます。ただし、受信したｉモードメールにGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像のURLが記載されていても、画像メールとしては表示できません。この場合は、対象のURLを選択するとWeb To機能を利用してGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像が表示されます。
- 画像を取得できなかったときは、[▣]が表示されます。再読み込みを行うと、取得可能な場合があります。
- GIF形式、JPEG形式、Flash画像以外の画像を受信したときは、画像の代わりに[▣]が表示され、画像は表示できません。

SSL対応のページを表示するとき

FOMA端末では、SSL通信に対応したサイトや「https://」から始まるインターネットホームページ(SSLページ)を表示できます。SSL対応のページを表示しようとしているときは、右のような画面が表示されます。
SSL通信を中止するときは[i](中止)を押します。
SSL対応のページを表示するときは、以下のいずれかの証明書が使用されます(☞P.199)。

■ CA証明書　■ ドコモ証明書　■ ユーザ証明書

- SSL対応のページを表示しているときは、[SSL]が表示されます。

SSL対応のページから通常のページへ移動するときは、SSLを終了するかどうかを確認する旨のメッセージが表示されます。

次ページへ続く

お知らせ

- [このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？]などと表示されたときは、ページのSSL証明書が不正、または期限切れになっているか、FOMA端末が使用しているSSL証明書と異なる証明書を使用しているページを表示しようとしています。
この場合、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報を安全に送信できませんので、ご注意ください。続けてページを表示させるときは[はい]を選択します。ページを表示させないときは[いいえ]を選択します。

関連操作

サイトのサーバ証明書を参照する<証明書参照>
サイト表示中に📷▶[表示／設定]▶[証明書参照]

最後に表示したページに再接続する<ラストURL>

iモードを終了すると、最後に表示していたページのURLがラストURLとして記憶されます。ラストURLを利用すると、最後に表示したページに簡単に接続できます。

1 待受画面でⓘ▶[ラストURL]

- 最後に表示したページのURLが表示されます。
- URLが半角2000文字を超えるページは表示できない場合があります。メロディのダウンロード完了の画面など、ページによってはラストURLに記憶されない場合があります。

ラストURL
http://www.xxx.ΔΔ.jp

2 ⦿(接続)

関連操作

ラストURLを削除する<削除>
「最後に表示したページに再接続する」の操作1の画面で📷▶[削除]▶[はい]

ラストURLをブックマークに登録する<Bookmark登録>
「最後に表示したページに再接続する」の操作1の画面で📷▶[Bookmark登録]▶フォルダを選択▶[OK]

ラストURLをコピーする<コピー>
「最後に表示したページに再接続する」の操作1の画面で📷▶[コピー]

関連操作のお知らせ

ブックマーク登録について
- ブックマークの登録方法については、P.188を参照してください。

コピーについて
- コピーは最大半角2000文字まで可能です。

文字サイズを変更する<文字サイズ設定>

サイトやインターネットホームページ、画面メモの文字サイズを設定できます。

- サイトによっては、文字サイズ設定を変更すると正しく表示されない場合があります。

1 待受画面でⓘ▶[iモード設定]▶[文字サイズ設定]▶文字サイズを選択

文字サイズ	最大	標準
	大きい文字	小さい文字

メロディの再生音量を設定する<効果音設定>

サイトやインターネットホームページ、画面メモのメロディの再生音量を設定できます。

1 待受画面でⓘ▶[iモード設定]▶[効果音設定]

- サイトやインターネットホームページを表示中に📷を押し、[表示／設定]→[効果音設定]を選択しても音量変更することができます。

2 ⬆／⬇で音量を調節して⦿

サイトの見かたと操作

サイトやインターネットホームページでは、表示されている画面から他の画面に移動したり、情報をもう一度読み込むことができます。表示中のURLを確認したり、電話番号などを電話帳に登録できます。

Flash画像を表示する

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flashとは絵や音を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。
また、Flash画像をデータBOXのマイピクチャに保存し、待受画面に設定できます(☞P.128、P.315)。

1 Flash画像のあるサイト(☞P.180)、インターネットホームページ(☞P.187)や保存している画面メモ(☞P.190)を表示する

- Flash画像が自動的に再生されます。Flash画像の一部が画面外にある場合は、画像全体が表示されるまでスクロールすると自動的に再生されます。

Flash画像内にリンクなどが設定されているとき	⬆、⬇、⦿、0～9、＊、＃で、Flash画像内のリンクなどを選ぶことができます。 ● [↕]が表示されていない場合でも、操作できることがあります。
Flash画像の効果音の音量を設定する(☞P.197)	Flash画像を表示中に📷→[表示／設定]→[効果音設定]→⬆／⬇→⦿
Flash画像を再び再生する	Flash画像を表示中に📷→[表示／設定]→[リトライ]

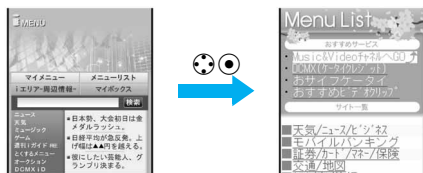
お知らせ

- 画像表示設定を［OFF］に設定しているときは、Flash画像は表示されません。
- 待受画面や発着信画面に設定されたFlash画像の効果音は再生されません。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によっては、再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。バイブレータを［OFF］に設定していても振動しますので、ご注意ください。
- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。
- Flash画像をデータBOX、画面メモ、microSDメモリーカードなどに保存して再生した場合、保存箇所によって、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- Flash画像の保存については、P.191「サイトやメッセージから画像を取得する」を参照してください。
- サイトによっては、TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッドを操作してもポインタが表示されないことがありますが、操作自体はできる場合があります。

リンク先や項目を選択する

サイトやインターネットホームページでは、表示されている画面から、他の画面に移動できる場合があります。これを「リンク」といいます。リンク設定されている文字列は通常、青色で表示されます。選択されているリンクは、反転表示されます。

- リンクは画像に設定されていることもあります。選択すると、画像が実線で囲まれます。

リンクを選んで画面を移動する

リンク先へ

- ○を押すと、次のリンクが反転され、○を押すと、前のリンクが反転表示されます。
- TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッド使用時、リンクがあるときは［☝］が表示されます。リンク先へ移動する場合はダブルタップします。

番号をダイヤルボタンで指定して画面を移動する

選択できるリンクの先頭に［1］、［2］、［3］などの番号が付いていることがあります。先頭に付いている番号と同じダイヤルボタン（1～9、0、＊、＃）を押すと、移動できます。

※ 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページもあります。

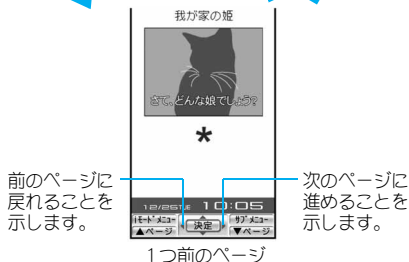
サイトやインターネットホームページ内の項目選択や文字入力

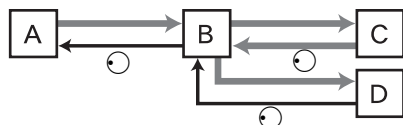
サイトやインターネットホームページ内で、次の方法で項目を選択したり、文字入力を行う場合があります。

名　称	表示例	内　容
ラジオボタン	○ ： 非選択状態 ◉ ： 選択状態	項目などの選択に使用します。1つの項目のみ選択できます。
チェックボックス	□ ： 未選択状態 ☑ ： 選択状態	項目などの選択に使用します。複数の項目を選択できます。
プルダウンメニュー	東　京 足立区 北　区	項目などの選択に使用します。プルダウンメニューを選ぶと、選択できる項目の一覧が表示されます。
テキストボックス	ID パスワード	文字を入力できます。文字入力画面で、📷を押し［引用］→［バーコードリーダー］を選択してJANコード／QRコードの文字情報を読み取ってテキストボックスに入力できます。メロディと画像は入力できません。文字情報として表示されます。また、テキストボックスに入力できない文字を読み取っても表示されません。 ● IDやパスワードは［ログイン情報貼付］を利用して簡単に入力することができます。詳しくは、P.186を参照してください。

iモード／iモーション／iチャネル

前のページに戻る／次のページに進む（キャッシュ、履歴について）

FOMA端末はサイトやインターネットホームページの画面と表示してきた経路を記憶しています。これを「キャッシュ」といいます。◯を押すと、キャッシュとして記憶されたページを最大50ページまで通信を行わずに表示できます。

- ◯を押して前のページを表示したあとは、◯を押して次のページを表示できます。
- キャッシュに記憶されたページを表示するときは、以前入力した文字や設定などの情報は表示されません。
- ◯を押して前、または次のページを表示するときに、キャッシュ内にそのページが残っていない場合や、FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしている場合、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたサイトのページを表示する場合は、サイトからダウンロードして表示します。
- キャッシュに保存した画面を切り替えているとき、画面の表示に時間がかかることがあります。
- Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。
- 履歴とキャッシュの情報は、i モードを終了するとリセットされます。
- ◯を続けて押すと、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、途中で◯を押して前のページを表示させ（「C」から「B」に戻る）、そのページから他のページ（「D」）を表示させたときは、「D」から◯を２回押しても「C」は表示されません。「B」→「A」の順で前のページを表示します。

〈画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき〉

… ページの表示の順
… 前のページを表示させたときの順番

情報を再読み込みする<再読み込み>

サイトやインターネットホームページの情報が正常に受信できなかったとき（[■]が表示されたとき）などに、もう一度そのサイトやインターネットホームページに接続して、情報を読み込むことができます。

- この操作はサイトやインターネットホームページの情報のダウンロードが完全に終わってから行ってください。
- 再読み込みを行っても、サイトやインターネットホームページの情報が正常に受信できない場合もあります。
- 画面メモは、再読み込みできません。

1 サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に ■ ▶［再読み込み］

- 再読み込みを開始します。
- 再読み込みを中止するときは、接続中（[■]点滅）に、■（中止）を押します。

URLを参照する<URL表示>

表示中のサイトやインターネットホームページのURLを確認できます。
URLとは、「http://www.xxx.△△.jp」などで表示されるアドレスです。URLは最大半角2033文字（http://などを含む）まで表示できます。

- 表示したURLを編集することはできません。

1 サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に■ ▶［表示／設定］▶［URL表示］

- 画面メモ（☞P.190）／ブックマーク（☞P.188）のURLを表示するときは、それぞれの一覧画面で■を押して［URL表示］を選択します。

URLをコピーする	■
画面を上下にスクロールする	下：◯　上：◯

i モード／i モーション／i チャネル

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>

サイトやインターネットホームページで反転表示された電話番号やメールアドレスを、電話帳に登録できます。

- 画面メモで反転表示される電話番号やメールアドレスも、電話帳に登録できます（☞P.190）。
- 反転表示される電話番号やメールアドレスでも、電話帳に登録できないことがあります。

1 サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に、電話番号やメールアドレスを選んで📷▶［保存／登録］

2 ［電話帳登録］▶登録方法を選択

登録方法	本体新規	追加／上書
	FOMAカード新規	

- 電話帳入力画面に、選択した電話番号やメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます（☞P.102、P.107）。

表示履歴を利用する<履歴一覧>

表示したページの履歴は新しいものから順に50件まで記憶され、履歴を利用してページを表示できます。

- ｉモードを終了すると、履歴は削除されます。

1 サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に📷▶［履歴一覧］

2 履歴を選択

- URLを確認するときは、履歴を選んで（URL表示）を押します。

マイメニュー

マイメニューに登録する

ｉMenuの中のよく利用するサイトをマイメニューに登録すると、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

- マイメニューは最大45件まで登録できます。マイメニューに登録できないサイトもあります。
- インターネットホームページは登録できません。簡単に接続するにはブックマークをご利用ください（☞P.188）。

マイメニューに登録する

1 登録したいサイトを表示中（☞P.180）に、マイメニュー登録用のメニュー（例：［1マイメニュー登録］）を選択

2 ［ｉモードパスワード入力］の入力欄を選択▶ｉモードパスワードを入力して⊙

3 ［決定］

お知らせ

- 各サイトによってページ構成が異なります。
- 有料サイトに申し込むと、自動的にマイメニューに登録されます。
- 詳しくは最新の『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

マイメニューに登録したサイトを表示する

1 待受画面で▶［ｉMenu］▶［マイメニュー］

2 サイトを選択

お知らせ

- デュアルネットワークサービスをご利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末でご利用になれない場合があります。

iモードパスワード変更

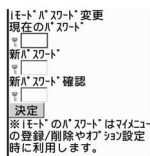
iモードパスワードを変更する

マイメニューの登録／削除、メッセージR／Fやiモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときには、4桁のiモードパスワード（☞P.142）が必要です。

- iモードパスワードの変更は、iモードをご契約後に可能となります。なお、iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
- iモードパスワードをお忘れのときは、ご契約いただいたご本人であるかどうかを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口にご持参いただき、iモードパスワードを［0000］にリセットさせていただきます。

1 **待受画面でⓘ▶［i Menu］▶［料金＆お申込・設定］▶［オプション設定］**

2 **［iモードパスワード変更］**

iﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更
現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ確認
決定
※iﾓｰﾄﾞのﾊﾟｽﾜｰﾄﾞはﾏｲﾒﾆｭｰの登録/削除やｵﾌﾟｼｮﾝ設定時に利用します。

3 **［現在のパスワード］の入力欄を選択▶現在のiモードパスワードを入力して◉**

4 **［新パスワード］の入力欄を選択▶新しいiモードパスワードを入力して◉**

5 **［新パスワード確認］の入力欄を選択▶もう一度新しいiモードパスワードを入力して◉**

6 **［決定］**

ログイン情報登録

IDとパスワードを登録する

サイトによっては、IDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。あらかじめログイン情報（IDとパスワード）を登録しておくと、テキストボックスに簡単に入力することができます。

- 最大20件まで登録できます。
- 端末暗証番号、手書き認証の認証用記号および各サービスのIDやパスワードは、他人にわかりやすい番号、文字や記号はお避けください。また、IDやパスワードの使用および管理については、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、IDやパスワードが他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 登録したログイン情報は、iモードとフルブラウザの両方で利用できます。

1 **待受画面でⓘ▶［iモード設定］▶［ログイン情報登録］**

- サイト表示中に、📷を押して［ログイン情報登録］を選択しても操作できます。

2 **端末暗証番号を入力して◉**

- ログイン情報登録一覧画面が表示されます。

3 **登録する番号を選択**

- 登録済みのログイン情報を確認するときは、ログイン情報を選んでⓘ（確認）を押します。

4 **［タイトル］▶タイトルを入力して◉**

- 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

5 **［項目1］▶IDを入力して◉**

- 最大全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

6 **［項目2］▶パスワードを入力して◉**

- 最大全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

7 **ⓘ（完了）**

登録したログイン情報を利用する ＜ログイン情報貼付＞

テキストボックスにログイン情報を一括して貼り付けます。

1 **サイト表示中にテキストボックスを選んで📷▶［ログイン情報貼付］**

2 **端末暗証番号を入力して◉**

3 **ログイン情報を選択**

- ログイン情報を確認するときは、ログイン情報を選んでⓘ（確認）を押します。

お知らせ

- サイトによっては、入力したいテキストボックスに貼り付けられない場合があります。

ログイン情報を削除する

1 **ログイン情報登録一覧画面（☞P.186「IDとパスワードを登録する」の操作2）でログイン情報を選んで📷（削除）▶削除方法を選択**

1件削除する	［1件削除］→［はい］
全件削除する	［全件削除］→［はい］

インターネット接続

インターネットホームページを表示する

インターネットホームページのアドレス(URL:http://などで始まるアドレス)を入力して、接続できます。

- iモードに対応していないインターネットホームページや、情報量の多いインターネットホームページは正しく表示されないことがあります。

1 待受画面で[i] ▶ [Internet] ▶ [URL入力]

- URLの入力画面が表示されます(「http://」が入力されています)。
- 以前にURLを入力したことがある場合には、そのURLが表示されます。
- サイト表示中に[MENU]を押し、[Internet]→[URL入力]を選択しても操作できます。

2 URLを入力して●

- 最大半角512文字まで入力できます(「http://」などを含む)。
- 表示中の操作はサイトの場合と同様です。
- 接続を中止するときは、接続中([ ]点滅)に、[i](中止)を押します。

バーコードリーダーでURLを読み取るとき(☞P.173)	URLの入力画面で[MENU]→[引用]→[バーコードリーダー]
URLを間違えたとき	URLの入力画面で[CLR] ● 最後の一文字またはカーソルのあたっている文字が消えます。 ● すべての文字を消すときは、カーソルが最初の1文字、または最後の1文字のあとにあるときに[CLR]を1秒以上押します。

3 終了するときは[ ] ▶ [はい]

お知らせ

- 文字が何も入力されていない状態で[CLR]を2回押すと、iモードメニューに戻ります。
- 受信したデータが、1ページの最大サイズを超えた場合、[最大サイズを超えたので中断しました]と表示され、受信を中断し取得したところまでのデータを表示します。

関連操作

フルブラウザ表示に切り替える<フルブラウザ切替>

インターネットホームページやサイトを表示中に[MENU] ▶ [フルブラウザ切替] ▶ [はい]

インターネットホームページを正しい文字で表示し直す<文字コード変換>

インターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、正しい文字に変換して再表示します。

1 サイト(☞P.180)やインターネットホームページ(☞P.187)を表示中に[MENU] ▶ [表示/設定] ▶ [文字コード変換]

- インターネットホームページを正しい文字に変換して再表示します。
- 正しく表示されないときは、同じ操作をくり返します。

お知らせ

- 正しく表示されているときに文字コードを変換すると、正しく表示できない場合があります。
- 文字コード変換をくり返しても、正しく表示できない場合があります。
- 文字コード変換を4回くり返すと、元の表示に戻ります。
- 正しい文字で表示し直したあと、再読み込み、進む、戻るなどの操作を行った場合、文字表示は元に戻ります。

URL履歴を使ってページを表示する<URL履歴>

FOMA端末には、iモードメニューの[Internet]から接続したインターネットホームページの履歴を最大9件まで記憶しています。
この履歴を利用して、インターネットホームページへ再接続できます。

1 待受画面で[i] ▶ [Internet] ▶ [URL履歴]

- サイト表示中に[MENU]を押して、[Internet]→[URL履歴]を選択しても操作できます。

2 URLを選択

お知らせ

- URL履歴が9件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。

関連操作

URL履歴を削除する<1件削除>

1 「URL履歴を使ってページを表示する」の操作1のURL履歴一覧画面で[MENU] ▶ [1件削除]
- すべてのURL履歴を削除するとき:[MENU] ▶ [全件削除] ▶ 端末暗証番号を入力して●

2 [はい]

URL履歴のURLを表示する<URL表示>

「URL履歴を使ってページを表示する」の操作1のURL履歴一覧画面で[MENU] ▶ [URL表示]
- URLをコピーするとき:[MENU]

ブックマーク

サイトやホームページを登録してすばやく表示する

よく見るサイトやインターネットホームページのURLをブックマークに登録しておくと、すぐに見たいページを表示できます。

- フォルダを追加して、ブックマークを種類ごとに分けて管理できます(☞P.189)。
- 画像やメロディが保存されているサイトやインターネットホームページのURLをブックマークに登録したとき、サイトやインターネットホームページによってはブックマークから表示できない場合もあります。

ブックマークに登録する

ブックマークはフォルダ全体で最大100件まで登録できます。

- 1件あたりのURLの文字数は、最大半角256文字までです。URLの文字数が256文字を超えるときは登録できません。

1 サイト(☞P.180)やインターネットホームページ(☞P.187)を表示中に[カメラ]▶[Bookmark]

2 [Bookmark登録]

- タイトルの先頭から全角12文字分(半角24文字分)までが登録されます。タイトルの文字数が全角12文字(半角24文字)を超えるときは、超えた部分が削除されて登録されます。

すでにブックマークが100件登録されているとき	[Bookmarkがいっぱいです。他のBookmarkを上書きしますか？]→[はい]→フォルダを選択→上書きするブックマークを選択
すでに同じURLが登録されているとき	[同じURLが登録されています。上書きしますか？]→[はい] ● [いいえ]を選択すると、サイトやインターネットホームページの表示画面に戻ります。
URLが長すぎるとき	[URLが長すぎて登録できません]と表示され、登録できません。

3 フォルダを選択▶登録方法を選択

登録する	[OK]
タイトルを変えて登録する	[タイトル編集]→タイトルを編集して⦿ ● 全角12文字(半角24文字)まで入力できます。
保存するフォルダを変更して登録する	[フォルダ変更]→フォルダを選択→[OK]

お知らせ

- サイトやインターネットホームページ上で、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューで選択したり、テキストボックスに入力した状態でブックマークに登録しても、選択した項目や入力した文字はブックマークに登録されません。

お知らせ

- サイトやインターネットホームページによっては、ブックマークに登録できない場合があります。
- microSDメモリーカードへのコピーについては、P.340を参照してください。
- FOMA端末(本体)のブックマークを赤外線通信やｉC通信で送受信できます。

ブックマークからサイトやインターネットホームページを表示する

1 待受画面で[i]▶[Bookmark]

- サイト表示中に[カメラ]を押し、[Bookmark]→[Bookmark一覧]を選択しても操作できます。

Bookmarkフォルダ一覧画面

登録しているすべてのBookmark一覧を表示する	[カメラ]→[全Bookmark表示]
microSDメモリーカード内のブックマークを表示する	[カメラ]→[microSDデータ参照] ● 再びFOMA端末(本体)のブックマークを表示するときは、[CLR]を2回押します。

2 フォルダを選択▶ブックマークを選択

- ブックマークのURLを確認するときは、ブックマークを選んで[カメラ]を押して[URL表示]を選択します。ブックマークのURLをコピーするときは、URL確認中に[カメラ](コピー)を押します。
- 接続を中止するときは、接続中([⚡]点滅)に[i](中止)を押します。

お知らせ

- ブックマークにタイトルがない場合、Bookmark一覧にはURLが表示されます。
- Bookmark一覧は利用した順に表示されます。
- FOMA端末(本体)内のｉモードのBookmark一覧では、フルブラウザのブックマークは表示されません。microSDメモリーカード内のBookmark一覧画面では、ｉモードのブックマークとフルブラウザのブックマークが混在して表示されます。ｉモードのブックマークには[ｉ]が、フルブラウザのブックマークには[フル]が表示されます。
- コピーしたURLはメールやテキストメモの本文などに貼り付けることができます。

ブックマークをｉモードメールに添付する<メール添付>

1 Bookmarkフォルダ一覧画面(☞P.188)で、フォルダを選択

2 ブックマークを選んで[カメラ]▶[メール添付]

3 ｉモードメールを作成し、送信する

- 詳しくは、P.208の操作2～4を参照してください。

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

お知らせ

● 相手の機種が対応していない場合、添付ファイルは削除されます。

フォルダを管理する

ブックマークを最大20個([Bookmark]フォルダ含む)のフォルダに分けて管理できます。
作成したフォルダはフォルダ名を編集したり、削除できます。ただし、あらかじめ登録されている[Bookmark]フォルダは、フォルダ名を編集したり、削除することはできません。

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

1 **Bookmarkフォルダ一覧画面(☞P.188)で📷▶[フォルダ管理]**

2 **[フォルダ新規作成]▶フォルダ名を入力して⦿**

● 「新しいフォルダ」名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

1 **Bookmarkフォルダ一覧画面(☞P.188)で、フォルダを選んで📷▶[フォルダ管理]**

2 **[フォルダ名編集]▶フォルダ名を編集して⦿**

● 最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。
● フォルダ名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

フォルダを削除する<削除>

1 **Bookmarkフォルダ一覧画面(☞P.188)で、フォルダを選んで📷▶[削除]**

2 **削除方法を選択**

フォルダを1件削除する	[フォルダ1件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]
複数のフォルダをまとめて削除する	[フォルダ選択削除]→端末暗証番号を入力して⦿→フォルダを選択(くり返し可)→📷→[はい] ● すべてを選択/解除する場合は、i(全選択)/i(全解除)を押します。
フォルダ内に限らず、すべてのブックマークを削除する(フォルダは残す)	[全削除(フォルダ残)]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]

ブックマークを管理する

ブックマークのタイトルを変更する<タイトル編集>

1 **Bookmarkフォルダ一覧画面(☞P.188)で、フォルダを選択▶ブックマークを選んで📷▶[タイトル編集]**

2 **タイトルを編集して⦿**

● 最大全角12文字(半角24文字)まで入力できます。
● タイトルを削除するときは、タイトル編集画面でCLRを1秒以上押します。

ブックマークを別のフォルダに移動する<移動>

1 **Bookmarkフォルダ一覧画面(☞P.188)で、フォルダを選択▶ブックマークを選んで📷▶[移動]**

2 **移動方法を選択**

ブックマークを1件移動する	[1件移動]→フォルダを選択
複数のブックマークをまとめて移動する	[選択移動]→ブックマークを選択(くり返し可)→📷→フォルダを選択 ● すべてを選択/解除する場合は、i(全選択)/i(全解除)を押します。
フォルダ内のすべてのブックマークを移動する	[フォルダ内全件移動]→フォルダを選択

ブックマークを削除する<削除>

1 **Bookmarkフォルダ一覧画面(☞P.188)で、フォルダを選択▶ブックマークを選んで📷▶[削除]**

2 **削除方法を選択**

ブックマークを1件削除する	[1件削除]→[はい]
複数のブックマークをまとめて削除する	[選択削除]→ブックマークを選択(くり返し可)→📷→[はい] ● すべてを選択/解除する場合は、i(全選択)/i(全解除)を押します。
フォルダ内のすべてのブックマークを削除する	[フォルダ内全件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]

画面メモ

サイトの内容を保存する

お好きなサイトやインターネットホームページの画面を、画面メモとして保存しておくことができます。

● 画面メモ内の画像を、データBOXのマイピクチャに保存し直すと待受画面に設定できます（☞P.128）。
● 画面メモは最大400件まで保存できます。保存できる最大件数はデータ量によって変わります。保存した画面メモのデータ量が大きいときは、保存できる最大件数は少なくなります。
● 保存できる容量分の保護設定ができます。保護した画面メモは、全件削除時に削除されません。

画面メモを保存する

1 サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に[📷] ▶［保存／登録］

2 ［画面メモ保存］

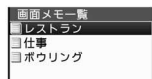
保存する	［OK］ ● タイトルの全角12文字分（半角24文字分）までが登録されます。タイトルが設定されていないときは、［無題］と表示されます。
タイトルを変えて保存する	［タイトル編集］→タイトルを編集して◉ ● 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

お知らせ

● サイトやインターネットホームページ上で、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューで選択したり、テキストボックスに入力した状態で画面メモを保存しても、選択した項目や入力した文字は画面メモに保存されません。
● 画面メモ保存時に、最大保存件数分（400件）または１件あたりの最大サイズ分（100Kバイト）の空き容量がない場合、他の画面メモを上書きするメッセージが表示されます。

画面メモを表示する

1 待受画面で[i] ▶［画面メモ］

画面メモ一覧
レストラン
仕事
ボウリング

画面メモ一覧画面

画面メモマークの意味

マーク	意味
📄	通常の状態です。
📄	保護されています。
📄	FOMAカード動作制限（☞P.38）が設定されています。

2 画面メモを選択

画面を上下にスクロールする	下：◌　上：◌
１画面単位でスクロールする	下：[▼]（▼ページ） 上：[▲]（▲ページ）
前後の画面メモを表示する	次：◌　前：◌
画面メモ一覧画面に戻るとき	[i]（リスト）

お知らせ

● 画面メモに表示される情報は保存した時点の情報です。最新のサイトやインターネットホームページの情報と異なる場合があります。

関連操作

画面メモのURLを確認する<URL表示>
画面メモ表示画面で[📷] ▶［表示／設定］▶［URL表示］
● 画面メモ一覧画面から：画面メモを選んで[📷] ▶［URL表示］
● URLをコピーするとき：[📷]

画面メモの詳細な情報を確認する<情報表示>
画面メモ表示画面で[📷] ▶［表示／設定］▶［情報表示］
● 画面メモ一覧画面から：画面メモを選んで[📷] ▶［情報表示］
● 確認を終わるとき：◉または[CLR]

画面メモ内の画像／背景画像をデータBOXのマイピクチャに保存する<画像保存／背景画像保存>
画面メモ表示画面で[📷] ▶［保存／登録］▶［画像保存］／［背景画像保存］

画面メモのURLを記載したｉモードメールを作成する<メール作成>
画面メモ表示画面で[📷] ▶［メール作成］▶［メール作成］

画面メモ内の画像を添付したｉモードメールを作成する<画像メール作成>
画面メモ表示画面で[📷] ▶［メール作成］▶［画像メール作成］▶ 画像を選択 ▶［URL貼り付け］／［画像添付］

画面メモ内の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>
画面メモ表示画面で[📷] ▶［保存／登録］▶［電話帳登録］

画面メモ内のFlash画像の効果音量を調節する<効果音設定>
画面メモ表示画面で[📷] ▶［表示／設定］▶［効果音設定］▶ ◌／◌ ▶ ◉

画面メモ内のFlash画像を再び再生する<リトライ>
画面メモ表示画面で[📷] ▶［表示／設定］▶［リトライ］

関連操作のお知らせ

画像の取得については、P.191を参照してください。
画像メール作成について
● ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは、送信できません。
● 画像メール作成については、P.196を参照してください。
電話帳登録については、P.185「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」を参照してください。
Flash画像の再生については、P.182「Flash画像を表示する」を参照してください。

画面メモを管理する

画面メモを保護／削除したり、タイトルを変更できます。

画面メモのタイトルを変更する <タイトル編集>

1 画面メモ一覧画面（☞P.190）で、画面メモを選んで[カメラ]▶[タイトル編集]

- 画面メモ表示画面のときは、[カメラ]を押して[タイトル編集]を選択します。

2 タイトルを編集して⦿

- 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。
- タイトルを削除するときは、タイトル編集画面で[CLR]を１秒以上押します。

画面メモを保護する<保護設定>

- 保護された画面メモには、[保護アイコン]が表示されます。

1 画面メモ一覧画面（☞P.190）で、画面メモを選んで[カメラ]▶[保護設定]

- 画面メモ表示画面のときは、[カメラ]を押して[保護]を選択します。

2 [ON]／[OFF]

画面メモを削除する<削除>

1 画面メモ一覧画面（☞P.190）で、画面メモを選んで[カメラ]▶[削除]

- 画面メモ表示画面のときは、[カメラ]を押して[１件削除]を選択します。

2 削除方法を選択

画面メモを１件削除する	[１件削除]→[はい]
複数の画面メモをまとめて削除する	[選択削除]→画面メモを選択（くり返し可）→[カメラ]→[はい] ● すべてを選択／解除する場合は、[i]（全選択）／[i]（全解除）を押します。
すべての画面メモを削除する※	[全件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]

※ 保護されている画面メモは削除されません。

- 画面メモ表示画面から削除する場合は、[１件削除]のみ選択できます。

画像保存

サイトやメッセージから画像を取得する

サイト、インターネットホームページやメッセージR／Fのお好みの画像やFlash画像、フレームやスタンプを取得して保存できます。保存した画像は待受画面などに設定できます（☞P.128）。また、デコメールのテンプレートを提供しているサイトからデコメールテンプレートをダウンロードし、メール作成に利用することもできます。

- 取得した画像はデータBOXのマイピクチャの[ｉモード]、[アイテム]、[デコメピクチャ]または作成したフォルダに保存できます。画像の種別やサイズによって、保存先として選択できるフォルダが変わります。デコメールテンプレートはメールメニューの[テンプレート]に保存されます（☞P.213）。
- 画像サイズが20×20ドットでファイル制限なしのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションは、デコメ絵文字として[デコメ絵文字]フォルダに保存されます。
- 画像の保存件数は、FOMA端末（本体）に保存する場合は最大1000件です。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。
- 最大100KバイトのGIF画像、JPEG画像、SWF画像（Flash）を保存できます。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像を、microSDメモリーカードに直接保存することができます（コンテンツ移行対応）。

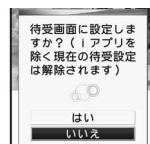
例：サイトやインターネットホームページから待受画面に設定できる画像をダウンロードする場合

1 サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に[カメラ]▶[保存／登録]

2 [画像保存]▶画像を選択▶フォルダを選んで[カメラ]（確定）

- [表示画面に設定しますか？（現在の表示設定は解除されます）]と表示され、[いいえ]を選択すると画像が保存され操作を終了します。

3 [はい]▶[待受画面設定]▶[はい]

- 画像によっては、さらに表示サイズを選択します。
- 画像のファイル形式によって、設定できる項目が異なります。設定できない項目は選択できません。

お知らせ

- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- ダウンロードした画像のサイズによっては、待受画面などに設定した場合、すべて表示できない場合があります。

関連操作

デコメールのテンプレートをダウンロードしてデコメールを作成する

1 サイトやインターネットホームページを表示中に、デコメールテンプレートを選択

2 ［保存］▶［メール作成］▶メールを作成する

- プレビューするとき：［プレビュー］
- 保存しないとき：［戻る］

サイトや画面メモの背景画像を保存する

<背景画像保存>

1 サイトやインターネットホームページ、画面メモを表示中に📷▶［保存／登録］

2 ［背景画像保存］▶フォルダを選んで📷

関連操作のお知らせ

デコメールテンプレートについて

- テンプレートを保存しないと、メールは作成できません。
- メモリの空き容量がない場合は、テンプレートを保存できません。不要なテンプレートを選択削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください（☞P.214）。

i メロディ

サイトから i メロディをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからメロディをダウンロードして保存できます。i メロディは最大500件まで保存できます。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。

保存したメロディは着信音に設定したり、i モードメールに添付したりできます。

- 最大100KバイトのSMF、MFiを保存できます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているメロディを、microSDメモリーカードに直接保存することができます（コンテンツ移行対応）。

1 **サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に、メロディを選択**

2 **保存する**

メロディを再生する	［再生］ ● 再生を中止するときは、⦿またはCLRを押します。 ● 音声電話着信音（☞P.122）の音量で再生されます。音声電話着信音が［サイレント］、［ステップトーン］のときは、［音量 1］で再生されます。
メロディを保存する	［保存］→［本体］／［microSD］
保存しない	［保存しない］

お知らせ

登録した i メロディは、パソコンをお持ちの場合はmicroSDメモリーカード（☞P.335）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください（i モードメール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているメロディは転送できません）。

PDFダウンロード

サイトからPDFデータをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからPDFデータをダウンロードして、表示・保存できます。

- ダウンロードできるPDFデータのファイルサイズは、最大２Mバイトまでです。２Mバイト以上のファイルをダウンロードすることはできません。また、ダウンロードしたPDFデータが表示できない場合もあります。
- 500Kバイト以上のPDFデータをダウンロードする場合には、［500KBを超えるデータです。ダウンロードしますか？］の確認画面が表示されます。
- FOMA端末（本体）には最大50件まで保存できます。PDFデータのサイズによっては、保存できる件数が変わります。
- ファイルサイズが不明のPDFデータは、ダウンロードできません。
- ダウンロードしたPDFデータをmicroSDメモリーカードに保存したときは、¥PRIVATE¥DOCOMO¥DOCUMENT¥PUDxxxフォルダに保存されます（☞P.338）。フォルダ名の「xxx」は、001～999の３桁の半角数字です。

1 **サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に、PDFデータを選択**

i モード／i モーション／i チャネル

分割ダウンロードに対応しているPDFデータのとき	● 1ページ目がダウンロードされるとPDF対応ビューアが起動し、PDFデータが表示されます。残りのページのダウンロードも継続されます。 ● リンクを選んで他のページに移動することもできます。このとき、[続きのページをダウンロードしますか？]と表示されたら[はい]を選択します。
保存してから表示するタイプのPDFデータのとき	[ダウンロード保存しますか？]→[はい] ● PDFデータを表示する前にファイル全体をダウンロードします。 ● このあと、操作3に進みます。

● PDFデータに表示されるマークの見かたについては、P.359を参照してください。
● ダウンロードに失敗したPDFデータでも再度ダウンロードすると表示できます。ただし、再度ダウンロードしても表示できない場合もあります。
● ページ単位でダウンロードしたPDFデータは、microSDメモリーカードに保存できません。

2 ダウンロードが完了したら📷▶[保存]

3 保存する

FOMA端末(本体)に保存する	フォルダを選んで📷
microSDメモリーカードに保存する	[→microSD]→フォルダを選んで📷 ● あらかじめmicroSDメモリーカードを挿入してください。 ● ファイル制限のあるPDFデータはmicroSDメモリーカードに保存できません。

● 保存が完了すると、PDFデータが表示されます。
● パスワードが設定されているときは、パスワードを入力して⦿を押すと、PDFデータが表示されます。
● FOMA端末(本体)のメモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除して、メモリの空き容量を増やしてから保存します(☞P.352)。

お知らせ

● 保存や終了の際に、しおりやマークがそれぞれ10件を超える場合、[しおり情報が10件を超えました。削除しますか？]または[マーク情報が10件を超えました。削除しますか？]と表示されます。しおりやマークを選択して削除すると、PDFデータの保存や終了ができます。

きせかえツール

きせかえツールをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからきせかえツールをダウンロードして保存できます。

● FOMA端末(本体)には最大50件まで保存できます。
● ダウンロードできるきせかえツールのファイルサイズは、最大2Mバイトです。
● ダウンロードしたきせかえツールは、データBOXのきせかえツールの[ｉモード]フォルダまたはmicroSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダに保存されます。

1 サイト(☞P.180)やインターネットホームページ(☞P.187)を表示中に、きせかえツールを選択

2 保存する

きせかえツールを確認する	[プレビュー]
きせかえツールを保存する	[保存]→[本体]／[microSD]
保存しない	[戻る]

● 保存先がFOMA端末(本体)の場合、保存が完了すると、きせかえするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、きせかえが実行されます。

ダウンロード辞書

サイトから辞書をダウンロードする

サイトやインターネットホームページからダウンロード辞書をダウンロードし、FOMA端末に登録して利用できます。

● ダウンロード辞書は最大10件まで登録できます。ただし、使用できる辞書は最大5件です。
● 保存できるダウンロード辞書のファイルサイズは、最大6Kバイトです。
● FOMA端末で利用できるダウンロード辞書は、ｉMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。
[ｉMenu]→[メニューリスト]→[ケータイ電話メーカー]→[SH-MODE]

サイト接続用QRコード

1 サイト(☞P.180)やインターネットホームページ(☞P.187)を表示中に、ダウンロード辞書を選択

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

2 保存する

ダウンロード辞書を表示する	[表示]
ダウンロード辞書を保存する	[保存]→保存先番号を選択 ● すでに登録されている番号を選んだときは、上書きするかどうかを確認する旨のメッセージが表示されます。[はい]を選択します。
ダウンロード辞書を保存しない	[保存しない]

3 ダウンロード辞書の使用を設定する

● すでに使用辞書に5件登録されているときは、使用辞書登録の確認画面は表示されません。現在使用されている辞書を解除してから、やり直してください。解除方法については、P.427「使用辞書を設定／解除する」を参照してください。

キャラ電ダウンロード

サイトからキャラ電をダウンロードする

サイトやインターネットホームページからキャラ電をダウンロードし、FOMA端末に保存できます。

● ダウンロードできるキャラ電は最大100Kバイトです。
● キャラ電は最大50件まで保存できます。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。
● ダウンロードしたキャラ電は、データBOXのキャラ電の[ｉモード]フォルダに保存されます。
● お買い上げ時に登録されているキャラ電は、ｉMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。
[ｉMenu]→[メニューリスト]→[ケータイ電話メーカー]→[SH-MODE]

サイト接続用QRコード

1 サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に、キャラ電を選択

2 保存する

キャラ電を表示する	[表示] ● キャラ電プレーヤーが表示されます。
キャラ電を保存する	[保存]
キャラ電を保存しない	[保存しない]

トルカダウンロード

サイトからトルカをダウンロードする

● 待受画面で◉を押し、[おサイフケータイ]→[ｉモードで探す]を選択すると、簡単にサイトに接続することができます。

1 サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に、トルカを選択

● サイトからダウンロードできるトルカは最大1Kバイト、トルカ（詳細）は最大100Kバイトです。

2 保存する

トルカを保存する	[はい]
トルカを保存しない	[いいえ]
プレビュー画面を表示する	[プレビュー]

電子コミックダウンロード

電子コミックをダウンロードする

サイトやインターネットホームページから電子コミックなど（電子書籍／電子辞書を含む）をダウンロードし、microSDメモリーカードに保存できます。

● ダウンロードした電子コミックなどは、マンガ・ブックリーダーの[マンガ・ブックリーダー]フォルダ／[マンガ]フォルダに保存されます。
● 最大3Mバイトの電子コミックなどをダウンロードできます。
● ダウンロードできる電子コミックなどの種類（拡張子）は、XMDF形式（.zbf）とテキスト形式（.zbk）です。

1 サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に、電子コミックなどを選択▶[はい]

2 保存する

保存する	[はい] ● microSDメモリーカードに保存されます。
保存しない	[いいえ]

Phone To(AV Phone To)・Mail To・Web To・Media To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／F、メールやトルカ内で反転表示された情報(電話番号、メールアドレス、URLなど)を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示できます。また、ワンセグを起動したり、視聴予約や録画予約を行うこともできます。

- パソコンなどから装飾されたメールを受信すると、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To、Media To機能が使用できない場合があります。
- 住所リンク機能を利用して、サイト、インターネットホームページ、トルカに表示されているURLから、地図サイトに接続したり、アプリを起動してナビゲーションを利用できます(☞P.284)。

Phone To(AV Phone To)機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／F、メールやトルカ内に表示されている電話番号に、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信やSMS送信を行うことができます。

- 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。
- ダイヤル発信制限中は、Phone To(AV Phone To)機能を使って電話をかけることはできません。
- 2in1のモードを[Bモード]に設定している場合は、プッシュトーク発信できません。

1 サイト(☞P.180)、インターネットホームページ(☞P.187)、メッセージR／F(☞P.239)、メール(☞P.224)やトルカ(☞P.267)を表示中に、電話番号を選択

2 電話をかける

音声電話	[発信]／[決定]→[はい]
テレビ電話	[テレビ電話]→[はい]
プッシュトーク	[メール]／[P]([P])→[はい]
SMS	[SMS]→[はい]→SMS作成・送信(☞P.242)

- 電話帳に登録されている電話番号の場合、電話番号と登録されている名前が表示されます。

お知らせ

- サイトやインターネットホームページの場合、電話番号自体は表示されず、[電話番号はこちら]などの文字が反転表示されることがあります。

お知らせ

- メールの本文中に次の条件を満たす数字列が表示されている場合は、電話番号として認識されてPhone To(AV Phone To)機能を利用できます。
  - ■ [0]または[+]で始まる[0]と[+]を含めて10～26桁の数字列
  - ■ [#]または[*]で始まる[#]と[*]を含めて5～26桁の数字列
  - ■ 「tel:」または「TEL:」で始まる3～26桁の数字列
  - ■ 「tel-av:」または「TEL-AV:」で始まる3～26桁の数字列(テレビ電話)
  - ※ 上記の数字列内に「-」(ハイフン)、「(」、「)」が含まれているときも、電話番号として認識されます。ただし、これらの記号が連続した場合は、連続した記号の前までが、電話番号として認識されます。

Mail To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／F、メールやトルカ内に表示されているメールアドレスに、iモードメールを送ることができます。

- 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。
- サイトやインターネットホームページの場合、メールアドレス自体は表示されず、[メールはこちら]などの文字が反転表示されることがあります。
- メールアドレスが2つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できない場合があります。
- メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。51文字以上のアドレスを選択した場合は、50文字で削除されます。
- ダイヤル発信制限中は、Mail To機能を使ってiモードメールを送ることはできません。
- 2in1のモードを[Bモード]に設定している場合は、Mail To機能を利用できません。

1 サイト(☞P.180)、インターネットホームページ(☞P.187)、メッセージR／F(☞P.239)、メール(☞P.224)やトルカ(☞P.267)を表示中に、メールアドレスを選択

- メール作成画面が表示されます。選択したメールアドレスが入力されています。
- サイトやインターネットホームページから操作したときは、題名や本文が入力されていることもあります。

2 iモードメールを作成し、送信する

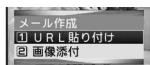
- 詳しくは、P.208の操作2～4を参照してください。

画像メールを作成する<画像メール作成>

サイトやインターネットホームページで表示されている画像のURLを貼り付けたり、画像を添付したｉモードメールを作成できます。

- JPEG画像、GIF画像、Flash画像を送信できます。
- ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送信できません。

1 サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に📷▶［メール作成］

2 ［画像メール作成］▶画像を選択▶作成方法を選択

URLを貼り付けたｉモードメールを作成する	［URL貼り付け］
画像を添付したｉモードメールを作成する	［画像添付］→◉

- 位置情報が付加されている画像を添付する場合は、確認画面が表示されます。［はい］を選択するとメール本文に位置情報URLが貼り付けられます。
- 位置情報URLとは、地図や周辺情報などを提供するサイトのURLに位置情報（緯度・経度）・測地系※、測位レベルなどの情報を付加したものです。
  ※ 測地系とは、地球上の位置を緯度・経度で表すための基準のことです。

3 ｉモードメールを作成し、送信する

- 詳しくは、P.208の操作2～4を参照してください。

ｉアプリTo機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／F、メール、トルカや画面メモ内に表示されているURLから、ｉアプリを起動します。

- ｉアプリTo設定が［許可する］に設定されているときに、ｉアプリを起動できます。
- URLが半角512文字を超える場合は、ｉアプリを起動できません。

1 サイト（☞P.180）、インターネットホームページ（☞P.187）、メッセージR／F（☞P.239）、メール（☞P.224）、トルカ（☞P.267）や画面メモ（☞P.190）を表示中に、ｉアプリのアドレス（URL）を選択▶［はい］

- ｉアプリを起動します。

Web To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／F、メールやトルカ内に表示されているURLからｉモード接続でインターネットホームページを表示できます。ｉモードメールの場合は、フルブラウザ接続できます。

- 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。
- メール本文に画像のURLが記載されているときは、画像を表示・保存できます。
- メール本文にｉモーションのURLが記載されているときは、ｉモーションを取得することができます。
- URLが半角2033文字を超える場合は、インターネットホームページを表示できません。
- サイトやインターネットホームページの場合、URL自体は表示されず、インターネットホームページの名称などの文字が反転表示されることがあります。

1 サイト（☞P.180）、インターネットホームページ（☞P.187）、メッセージR／F（☞P.239）、メール（☞P.224）やトルカ（☞P.267）を表示中に、アドレス（URL）を選択

- 以降は、ｉモードのインターネット接続と同様です（☞P.180）。
- トルカ表示中は上記の手順に加えて、［はい］を選択します。

■ ｉモードメール表示中にWeb To機能を使う

メール本文のURLを選択したときは、ｉモード接続とフルブラウザ接続を選択できます。

1 ｉモードメール本文のアドレス（URL）を選択▶接続方法を選択

ｉモード接続する	🅘
フルブラウザ接続する	📖

関連操作

メール本文のURLから画像を保存する
<画像保存>
URLを選択▶🅘▶📷▶［保存／登録］▶［画像保存］▶画像を選択▶フォルダを選んで📷

関連操作のお知らせ

- 画像は、データBOXのマイピクチャの［ｉモード］、［デコメピクチャ］、［デコメ絵文字］、［アイテム］または作成したフォルダに保存できます。

Media To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメールに表示されている番組情報のリンクからワンセグを起動したり、視聴予約や録画予約を行うことができます。

1 サイト(☞P.180)、インターネットホームページ(☞P.187)、メッセージR／F(☞P.239)やメール(☞P.224)を表示中に、番組情報のリンクを選択

- ワンセグが起動したり、視聴予約／録画予約画面になります。
- 視聴予約や録画予約の場合、番組情報によっては登録項目が入力されているものがあります。
- チャンネル設定(☞P.288)をしていない状態でMedia To機能からワンセグを起動しようとすると、チャンネル設定が起動します。
- ワンセグの視聴についてはP.289、視聴予約や録画予約についてはP.294を参照してください。
- 反転表示されていてもMedia To機能が利用できない場合があります。

ｉモードの設定を行う

ｉモード接続に関する各種の機能を設定します。

Flash画像の効果音量を調節する ＜効果音設定＞

- マナーモード設定中は、この機能の設定にかかわらず、効果音は鳴りません。
- Flash画像によっては効果音の鳴らないものもあります。

1 サイト(☞P.180)やインターネットホームページ(☞P.187)を表示中に[カメラ] ▶ [表示／設定]

- 待受画面で[i]を押して[ｉモード設定]を選択しても操作できます。

2 [効果音設定] ▶ [上]／[下]で音量を調節して[決定]

- 効果音を鳴らさないときは、[サイレント]を選択します。

ｉモードから接続先を変更する(ISP接続通信)＜接続先選択＞

※ ドコモのｉモードサービスをご利用の場合、設定を変更する必要はありません。

ISP接続通信とは

ドコモのFOMA端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ(ISP)への接続が可能になります。ISP接続通信のご利用に際しては、パケット通信サービスのお申し込みが必要です。なお、ISP接続通信にはパケット通信料がかかります。

※ ｉモードをご契約しているお客様はお申し込み不要です。

- ドコモ以外の接続先を選択した際のパケット通信はパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容(サイト接続、インターネット接続、メール機能など)、お申し込み方法については、各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合があります。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダにお客様の電話番号や位置情報が通知される場合があります。
- FOMA端末(本体)に登録できる接続先は、最大10件です(「ｉモード(FOMAカード)」を含まず)。
- 「ｉモード(FOMAカード)」以外の接続先にすると、ｉモードをご利用できなくなります。

接続先を登録する

1 待受画面で[i] ▶ [ｉモード設定] ▶ [接続先選択]

2 登録する番号を選択 ▶ [編集]

3 端末暗証番号を入力して[決定]

4 接続先名称を入力して[決定]

- 新規登録のときは[接続先○]と表示されます。○には操作２で選択した接続先の番号が表示されます。
- 表示されている接続先名称を消すときは、[CLR]を１秒以上押します。
- 最大全角８文字(半角16文字)まで入力できます。

5 接続先番号を入力して[決定]

- 半角英数字と記号を、最大半角99文字まで入力できます。

6 接続先アドレスを入力して[決定]

- 半角英数字と記号を、最大半角30文字まで入力できます。

次ページへ続く

7 ｉチャネルの接続先アドレスを入力して◉

- 半角英数字と記号を、最大半角30文字まで入力できます。
- 接続先が登録され、登録した接続先に変更されます。

お知らせ

- お買い上げ時の接続の情報を変更することはできません。

接続先を変更する

あらかじめ、接続先を登録しておく必要があります。

1 待受画面で[i]▶[ｉモード設定]▶[接続先選択]

2 接続先の番号を選択▶[設定]

- [ｉモード(FOMAカード)]を選択した場合は、[ｉモード(FOMAカード)を選択しました]と表示され、接続先が変更されます。

関連操作

登録内容をリセットする<リセット>

待受画面で[i]▶[ｉモード設定]▶[接続先選択]▶接続先の番号を選択▶[リセット]▶端末暗証番号を入力して◉

関連操作のお知らせ

- 現在設定されている接続先、または登録している接続先をリセットすると、接続先は「ｉモード(FOMAカード)」になります。

Flash再生時に端末情報を利用するかどうかを設定する<端末情報データ利用設定>

1 待受画面で[i]▶[ｉモード設定]▶[端末情報データ利用設定]▶[利用する]／[利用しない]

- サイト表示中に[📷]を押し、[表示／設定]→[端末情報データ利用]を選択しても操作できます。

画像を表示しないようにする<画像表示設定>

サイト、インターネットホームページや画面メモの画像を表示しないように設定できます。

1 待受画面で[i]▶[ｉモード設定]▶[画像表示設定]▶[OFF]

- サイト表示中に[📷]を押し、[表示／設定]→[画像表示設定]を選択しても操作できます。

お知らせ

- 画像表示設定を、[OFF]に設定すると、画像の表示位置に[🔍]が表示されます。
  この場合、表示されている[🔍]を画面メモに登録しても、画像は保存されません(☞P.190)。
- 画像表示設定を、[OFF]に設定すると、Flash画像も表示されません。
- ｉモードメールやメッセージR／Fの添付画像は、画像表示設定を[OFF]に設定していても表示されます。

ｉモード通信中にプッシュトーク着信を受けるかどうかを設定する<ｉモード通信中着信設定>

1 待受画面で[i]▶[ｉモード設定]▶[ｉモード通信中着信設定]▶優先順位を選択

優先順位	プッシュトーク着信優先
	ｉモード優先

ｉモード機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す<ｉモード設定リセット>

ｉモードに関する下記設定をお買い上げ時(☞P.458)の状態に戻します。

設定項目	
接続先選択	ｉモーション自動再生設定
ログイン情報登録	セキュア通信サービス設定のセンター接続先設定
画像表示設定	端末情報データ利用設定
文字サイズ設定	効果音設定
証明書設定	ｉモード通信中着信設定

- ｉチャネル初期化も行われます(☞P.205)。

1 待受画面で[i]▶[ｉモード設定]▶[ｉモード設定リセット]▶端末暗証番号を入力して◉

2 [はい]

SSL証明書を操作する

CA証明書の有効／無効を設定する ＜証明書設定＞

SSLページを表示する際は以下の証明書が必要です。

- CA証明書…認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時にFOMA端末内に保存されています。
- ドコモ証明書…FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色／白色）内に保存されています。
- ユーザ証明書…FOMA端末内のFirstPassセンターのメニュー（☞P.199）を選択してFirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード（緑色／白色）内に保存されます。

各証明書の内容は、表示できます。また、万が一、CA証明書自体の安全性に問題が生じた場合は、CA証明書を無効にできます。

- CA証明書を無効にすると、そのCA証明書を使用するSSLページは表示できません。

1 待受画面で[i]▶［iモード設定］▶［証明書設定］▶証明書を選んで[📷]（有効／無効）

- 有効な証明書には［☑］が、無効な証明書には［□］が表示されます。
- 有効／無効が切り替わります。
- 証明書の内容を表示するときは、証明書を選択します。

FirstPassの設定を行う ＜ユーザ証明書操作＞

FirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続する際は、ユーザ証明書が必要です。ユーザ証明書は、お客様がFOMAと契約されていることを証明するもので、FirstPassセンターからユーザ証明書の発行を申請したり、ダウンロードしたりできます。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカード（緑色／白色）に保存され、クライアント認証に対応しているサイトやインターネットホームページで利用できます。

- FOMAカード（青色）ではご利用になれません。
- FOMAデータプランではiモードブラウザからのSSLクライアント認証の機能はご利用になれません（ISP接続通信でご利用の場合は料金プランにかかわらずご利用いただけます）。
- FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻を正しく設定してください（☞P.46）。
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassは、海外ではご利用できません。

お知らせ

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意のうえ、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。
  PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分にご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。
- iモード通信によるFirstPass対応サイトへのアクセスに発生するパケット通信料は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルに含まれます。

クライアント認証について

- FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバ認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証を受けることで、より安全に通信サービスを受けられます。

FirstPassセンターに接続する

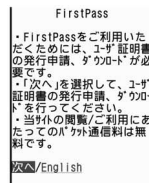
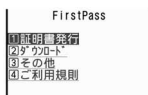
ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターから行います。FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は変更されることがあります。

1 待受画面で[i]▶［iモード設定］▶［セキュア通信サービス設定］▶［ユーザ証明書操作］

FirstPass
・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを行ってください。
・当ｻｲﾄの閲覧/ご利用にあたってのﾊﾟｹｯﾄ通信料は無料です。
次へ/English

次ページへ続く

2 ［次へ］

FirstPass
1証明書発行
2ダウンロード
3その他
4ご利用規則

お知らせ

- FirstPassを利用する前には、操作２の画面で、［ご利用規則］を選択し、記載内容をよくお読みください。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- FirstPassセンターへ接続中は、次の機能を利用できません。
  - ｉモードメールの送受信（SMSの受信／返信は利用可）
  - ｉモード問い合わせ（SMS問い合わせ）
  - メッセージR／Fの受信
  - ｉモーションの取得
  - Web To機能
  - プッシュトーク

ユーザ証明書の発行を申請して、ダウンロードする

ユーザ証明書のダウンロードを行う前に必ずユーザ証明書の発行を申請し、ユーザ証明書をダウンロードします。

1 **FirstPassセンターに接続する（☞P.199「FirstPassセンターに接続する」）▶［証明書発行］**

に基づきお客様に発生した現在かつ通常の損害に限り、かつ一つの1ユーザ証明書に起因する損害賠償額の総額は、FOMAサービス基本使用料の1か月分を上限とします。

「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。

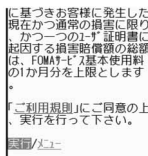
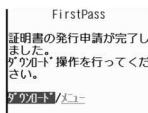
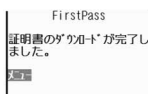
実行/メニュー

2 ［実行］

3 **PIN2コードを入力して⦿**

FirstPass
証明書の発行申請が完了しました。
ダウンロード操作を行ってください。
ダウンロード/メニュー

4 ［ダウンロード］

5 ［実行］

- 終了するときは、⊡を押し［はい］を選択します。

FirstPass
証明書のダウンロードが完了しました。
メニュー

お知らせ

- ユーザ証明書を新規でダウンロードする場合と更新でダウンロードする場合、どちらの場合も必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。

ユーザ証明書を使ってサイトに接続する

ユーザ証明書を用いてFirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続します。

- ダウンロードしたユーザ証明書を見る方法については、P.199を参照してください。

1 **サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）に接続する▶FirstPass対応のサイトを表示する**

- サイト表示中にサーバ証明書を参照するときは、📷を押し［表示／設定］→［証明書参照］を選択します。

2 **［はい］▶PIN2コードを入力して⦿**

お知らせ

- ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続した場合、［ユーザ証明書がありません。継続しますか？］と表示されます。［いいえ］を選択するとSSL通信が切断されます。FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードしてから再び接続してください。
- ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、［ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？］と表示されます。［NO］を選択すると元のページに戻ります。FirstPassセンターでユーザ証明書を更新してから再び接続してください。

ユーザ証明書の失効を申請する

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

1 **FirstPassセンターに接続する（☞P.199「FirstPassセンターに接続する」）▶［その他］▶［証明書失効］**

2 **［はい］▶PIN2コードを入力して⦿**

3 ［実行］▶［次へ］

4 ［実行］

- ［証明書の失効申請が完了しました。］の画面が表示されます。
- 終了するときは、⊡を押し［はい］を選択します。

お知らせ

- 失効申請が完了すると、FirstPass対応サイトは表示できなくなります。

お知らせ

- 失効が完了したユーザ証明書を有効にする場合には、再びユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。

証明書発行接続先を変更する ＜センター接続先設定＞

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で[i]▶[ｉモード設定]▶[セキュア通信サービス設定]▶[センター接続先設定]

2 [接続先]

- 接続先をドコモにするとき：[ドコモ]

3 [編集]▶端末暗証番号を入力して⦿

- リセットするときは、[リセット]を選択し、端末暗証番号を入力して⦿を押します。お買い上げ時の設定に戻ります。

4 接続先情報を入力して⦿

- 半角英数字と記号を、最大半角99文字まで入力できます。

5 接続先アドレスを入力して⦿

- 半角英数字と記号を、最大半角100文字まで入力できます。

ｉモーション

ｉモーションとは

ｉモーションとは、映像や音声、音楽のデータです。ｉモーション対応サイトやインターネットホームページから、FOMA端末に取得することができます。取得したｉモーションは、その場で再生したり、FOMA端末に保存して楽しむことができます。
ｉモーション対応サイトは、ｉMenuの[メニューリスト]から探すこともできます。

- ｉモーションには、標準タイプとストリーミングタイプがあります。
  - ■ 標準タイプ
    FOMA端末に保存できます。次の２つのタイプがあります。
    - 取得したあとで再生するタイプ
    - 取得しながら再生可能なタイプ

    ｉモーションによっては、標準タイプでも保存できないもの（再生できないデータなど）があります。
    - 標準タイプのｉモーションには、１回の操作で取得する500Kバイト以下のものと、何らかの原因で取得が中断されても分割して取得可能な10Mバイト以下のものがあります。
  - ■ ストリーミングタイプ（最大10Mバイト）
    ストリーミングタイプとは、データを取得しながら同時に再生する方式で、再生し終わったデータは破棄され、くり返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。なお、ｉモーション自動再生設定（☞P.203）を[しない]に設定しても、ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生されます。
- 取得したｉモーションがどちらのタイプであるかは、サイトやインターネットホームページによって異なります。
- ｉモーションは最大100件まで保存できます。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。
- サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているｉモーションを、microSDメモリーカードに移動できます。ただし、取得元のサイトによっては移動できない場合もあります。

着信音・着信画面の組み合わせ

着信音・着信画面にｉモーションを設定した場合の組み合わせと動作は次のとおりです。

- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は着信画像に設定できません。
- 音声のないｉモーションは着信音に設定できません。

設定した着信音の種類	設定した着信画面の種類	着信したときに動作する着信音と着信画面の種類
メロディ	JPEG画像、GIF画像、音声のないｉモーション、Flash画像	着信音：メロディ 着信画像：設定した着信画像※
映像と音声を含むｉモーション	映像と音声を含むｉモーション	着信音：映像と音声を含むｉモーション 着信画像：映像と音声を含むｉモーション
音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）	JPEG画像、GIF画像	着信音：音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション） 着信画像：設定した着信画像
着信音［サイレント］	JPEG画像、GIF画像、音声のないｉモーション、Flash画像	着信音：サイレント 着信画像：設定した着信画像※

※ Flash画像の効果音は再生されません。

お知らせ

- 着信音に映像と音声を含むｉモーションを設定した場合は、着信画像もそのｉモーションに自動的に変更されます。ただし、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合は、着信画像は変更されず、設定した画像が表示されます。
- 着信画像に映像と音声を含むｉモーションを設定した場合は、着信音もそのｉモーションに自動的に変更されます。ただし、映像のみのｉモーションの場合は、次の優先順位に設定した着信音が再生されます。
- 着信音は、電話帳指定着信音→グループ指定着信音→通常の着信音の優先順位で鳴ります。
- 設定した画像は、電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定の優先順位で表示されます。いずれも設定していない場合は、お買い上げ時に設定されている画像が表示されます。
- テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を［音声電話着信音に従う］に設定していた場合の動作は次のとおりです。
  - ■ 着信音にメロディ、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定すると着信画面はお買い上げ時の設定に戻ります。
  - ■ 着信画面にJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像、映像のみのｉモーションを設定すると着信音は［着信音 1］に戻ります。
  - ■ 着信画面も音声電話着信画面に従って表示されます。
- ｉモーションによっては設定できないものがあります。

ｉモーション取得

サイトからｉモーションを取得する

サイトからｉモーションを取得し再生する

サイトやインターネットホームページからｉモーションを取得して再生します。

- テロップ付きのｉモーションを取得しても、テロップは表示されません。
- ワンセグ起動中は、ｉモーションをダウンロードできません。

1 **サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に、ｉモーションを選択**

ストリーミングタイプのとき		［はい］ ● 取得しながら再生されます。
標準タイプのとき	ｉモーション自動再生設定［する］	ｉモーションを取得し、準備ができたら再生します。
	ｉモーション自動再生設定［しない］	再生・保存などの選択画面が表示されます。［再生］／［保存］／［情報表示］を選択します。 ● ｉモーションが保存されていない場合に［戻る］を選択すると［このｉモーションを保存しますか？］と表示されます。［はい］を選択すると保存されます。

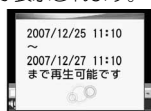
- 取得を中止するときは、取得中にCLRまたは◉を押します。
- 再生を中止するときは、回を押します。
- 再生中に一時停止するときは、◉（ポーズ）を押します。

お知らせ

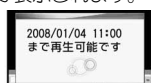
- ｉモーションによっては、データ取得中の再生ができないものもあります。
- データを取得しながら再生できるｉモーションの場合、電波状況などにより再生できなくなったときでも、ｉモーションの取得完了後に再生できます。
- ｉモーションのデータ取得中に、電波状況により再生が停止したり、画像が乱れたりすることもあります。
- 長い期間電池パックを外していると、FOMA端末の日付・時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限／再生期間が決められているｉモーションは、再生できません。
- ｉモーションによっては、データを取得しても正しく再生できないことがあります。
- ｉモーションは着モーション（☞P.120）、待受画面（☞P.128）に設定できます。設定できないｉモーションもあります。

再生期間が設定されたｉモーション

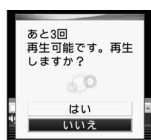
再生期間が設定されているｉモーションを取得して再生しようとすると、右の画面が表示されます。

- 再生期間前および再生期間後には再生できません。
- 再生期間が過ぎているｉモーションを取得しようとしたときは、[再生制限データに誤りがあるため、取得できません]と表示されます。

再生期限が設定されたｉモーション

再生期限が設定されているｉモーションを取得して再生しようとすると、右の画面が表示されます。

- 再生期限が過ぎているｉモーションを取得しようとしたときは、[再生制限データに誤りがあるため、取得できません]と表示されます。

再生回数が設定されたｉモーション

再生回数が設定されているｉモーションを取得し、保存してから再生しようとすると、右の画面が表示されます。

- 再生回数が0回のｉモーションを取得しようとしたときは、[このデータは保存できません。取得しますか？]と表示されます。取得するときは[はい]を選択します。

ｉモーションを保存する

- ｉモーションはデータBOXのｉモーションの[ｉモード]フォルダに保存されます。microSDメモリーカードに保存できるｉモーションは、[移行可能コンテンツ]フォルダ内の[ｉモーション]フォルダに保存できます（コンテンツ移行対応）。
- 保存したｉモーションは、ｉモーションプレーヤーで再生できます。
- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。

1 **取得したｉモーションの再生／停止（一時停止）中に📷▶[保存]**

2 **[本体]／[microSD]**

ｉモーションの詳細情報を表示する

1 **取得したｉモーションの再生／停止（一時停止）中に📷▶[情報表示]**

- 映像一覧画面（☞P.321）からｉモーションの詳細情報を表示するときは、📷を押して[情報表示]を選択します。
- ストリーミングタイプのｉモーションのときは、取得中または一時停止中に、📷を押して[情報表示]を選択します。
- 確認を終わるときは、●またはCLRを押します。

ｉモーション自動再生設定

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する

ｉモーションを取得した際に、自動再生するかどうかを設定できます。

1 **待受画面でｉ▶[ｉモード設定]▶[ｉモーション自動再生設定]▶[する]／[しない]**

お知らせ

- ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生の設定にかかわらず、常に自動再生されます。
- 自動再生を[する]に設定しても、ｉモーションによっては自動再生されない場合があります。
- 自動再生を[しない]に設定すると、ｉモーションの取得完了後、再生や保存操作を選択する画面が表示されます。

iチャネル

iチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP(情報サービス提供者)がiチャネル対応端末に配信するサービスです。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、iチャネル対応ボタンを押すことでチャネル一覧に表示されます(チャネル一覧の表示方法は☞P.204)。さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

- iチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです(お申し込みにはiモード契約が必要です)。

また、チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があり、「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでiチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関しては、配信される情報の自動更新にパケット通信料はかかりません。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP(情報サービス提供者)が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、iチャネルのサービス利用料には含まれません。ただし、「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する場合は、iチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。
また、国際ローミング中のベーシックチャネルに関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、iチャネルのサービス利用料に含まれませんのでご注意ください。

- iチャネルの詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

iチャネルを表示する

iチャネルを契約し、iチャネル情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。詳しい情報を見たいときは、チャネル一覧からサイトに接続して詳細情報を入手できます。

1 待受画面でCLR(ch)

- チャネル一覧が表示されます。
- 待受画面にiアプリを設定しているときは、CLR(ch)を1秒以上押します。
- 待受画面でiを押し、[iチャネル]→[iチャネル一覧起動]を選択してもチャネル一覧を表示できます。
- 最初にiチャネル情報を取得する際は、情報をすべて受信するまで、終話キーを押しても中止できません。

2 チャネルを選択

お知らせ

- お客様の操作によりiチャネルテロップ設定を[OFF]にした場合、iチャネルテロップは表示されません。
- iチャネル表示時、TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッドでは操作できない場合があります。

最新情報の受信について

- 電源が入っていないときや圏外など電波状況が良くないときは、情報を受信できない場合があります。チャネル一覧を表示したときに情報を受信すると、待受画面でテロップが流れます。
- 情報を受信しても、着信音・バイブレータは鳴動しません。ただし、情報を受信中は、メール送受信中ランプが点滅します。
- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したときに情報を受信することがあります。
- オールロック中は、チャネル一覧を表示できません。iモード/iチャネルの機能別ロック中は、端末暗証番号の入力が必要です。

iチャネルの接続先変更について

- iモード接続先選択でiチャネルの接続先を設定できます。通常は設定を変更する必要はありません。
- iチャネルの接続先を変更すると、iチャネルテロップは表示されなくなります。ただし、チャネル一覧を表示すると最新の情報を受信し、iチャネルテロップが表示されます。
- iチャネルの接続先変更後、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、チャネル一覧を表示してください。

関連操作

効果音の音量を調節する<効果音設定>
チャネル一覧で[カメラ]▶[表示/設定]▶[効果音設定]▶上/下▶決定

関連操作のお知らせ

- iチャネルの音量は、iモードの効果音設定と共通の設定です。

iチャネルテロップ設定

iチャネルの設定を行う

待受画面にiチャネルテロップを表示するかどうかを設定します。

1 **待受画面で[i]▶[iチャネル]▶[iチャネルテロップ設定]▶[ON]**

● 表示させないときは、[OFF]を選択します。

2 **[テロップ文字サイズ設定]を選択▶文字サイズを選択**

文字サイズ	小	中	大(標準)

● 画面下部にテロップの見本が表示されます。

3 **[テロップ色設定]を選択▶テロップの色を選択**

テロップの色	パターン1～パターン9

4 **[テロップ速度設定]を選択▶速度を選択**

速度	遅い	標準	速い

5 **[i](完了)**

お知らせ

● iチャネルサービスまたはiモードサービスを解約すると、iチャネルテロップは表示されなくなります。
● iチャネルサービス解約前にiモードサービスを解約した場合、iチャネルテロップ設定は[ON]に設定されたままとなります。
● iチャネルサービスまたはiモードサービス未契約時は、iチャネルテロップは表示されません。
● オールロック中、iモード／iチャネルの機能別ロック中、公共モード(ドライブモード)中は、iチャネルテロップは表示されません。
● 待受画面に設定しているiモーションの再生中や、iアプリ待受画面起動中は、iチャネルテロップは表示されません。
● カレンダー表示設定とiチャネルテロップ設定がどちらも設定されているときは、待受画面で[⌐]を押すと、カレンダー表示とiチャネルテロップ表示が切り替わります。
● 2in1利用時は、2in1のモードごとにiチャネルテロップを表示するかどうかを設定できます。

iチャネル初期化

iチャネルの設定をお買い上げ時の状態に戻す

iチャネルテロップ設定をお買い上げ時(☞P.458)の状態に戻します。

1 **待受画面で[i]▶[iチャネル]▶[iチャネル初期化]▶端末暗証番号を入力して⦿**

2 **[はい]**

お知らせ

● iチャネルテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、待受画面でCLR(ch)を押して最新の情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。

メール

iモードメール

iモードメールとは

iモードを契約するだけで、iモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までファイル(JPEG、トルカ、PDFなど)を添付することができます。また、デコメールにも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えられるほか、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。

- iモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

メールメニュー

メールメニューを表示する

iモードメールの作成、受信メールや送信メールの表示などは、メールメニューから行います。

1 待受画面で✉

メニュー	機　能	ページ
受信BOX	受信したメールの表示や返信、転送などを行います。	P.217 P.224
送信BOX	送信したメールの表示や再送信などを行います。	P.217 P.224
未送信BOX	未送信メールの編集や送信を行います。	P.217 P.224
新規メール作成	新規にメールを作成して送信や保存を行います。	P.208 P.216
新規SMS作成	新規にSMSを作成して送信や保存を行います。	P.242 P.242
WEBメール	WEBメールサイトに接続し、Bアドレスからメールの作成や送信を行います。 ● 2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定しているときに利用できます。WEBメールの詳細については、『ご利用ガイドブック(2in1編)』をご覧ください。	−
iモード問い合わせ	iモードセンターにメールやメッセージR/Fが保管されていないか問い合わせます。	P.220 P.238
SMS問い合わせ	SMSセンターにSMSが保管されていないか問い合わせます。	P.243
メール選択受信	iモードセンターで保管されているメールのうち、受信したいメールのみを選んで受信します。	P.219
テンプレート	デコメールテンプレートの表示や編集などを行います。	P.213
メール設定	iモードメールやSMSに関係する各種機能を設定します。	P.233

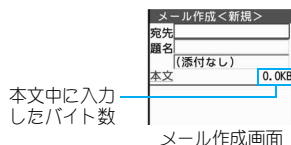
iモードメール作成・送信

iモードメールを作成して送信する

- iモード端末以外の相手にiモードメールを送信する場合は、題名や本文に半角カタカナ、絵文字を入力しないでください。受信側で正しく表示されないことがあります。
- 他の携帯電話会社に絵文字入りのiモードメールを送ると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。
  ※ 送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
  ※ 送信先に該当する絵文字がない場合は、文字または「=」に変換されます。
- iモードメールの送信先を[To]、[Cc]、[Bcc]に分けて送信できます。[宛先]に入力したアドレスへは[To]で送信されます。
- 表示される文字サイズは、文字サイズ設定(☞P.233)で変更できます。

1 待受画面で✉ ▶ [新規メール作成]

メール作成画面

2 [宛先]を選択 ▶ 入力方法を選択

電話帳から選択する	[電話帳検索]→相手を選択 ● 登録されている他のメールアドレスを選択するときは、相手を選んで[i]を押し、メールアドレスを選択します。 ● [✉]、[✉1]、[✉2]、[✉]、[✉]、[✉]のいずれも表示されない場合、メールアドレスは登録されていません。 FOMAカード電話帳の場合は、メールアドレスが登録されていなくても[✉]が表示されます。

メール

直接入力する	[直接入力]→宛先を入力して◉ ● 半角の英字、数字、一部の記号を最大50文字まで入力できます。 ● ｉモード端末にｉモードメールを送信する場合は、「@docomo.ne.jp」を省略できます。 ● 記号入力(☞P.424)、インターネットに関連した定型文(☞P.424)を利用できます。
メール送信履歴から選択する	[メール送信履歴]→相手を選択→◉ ● ｉモードメールのメール送信履歴がある場合に選択できます。
メール受信履歴から選択する	[メール受信履歴]→相手を選択→◉ ● ｉモードメールのメール受信履歴がある場合に選択できます。
メールメンバーから選択する	[メールメンバー]→メールメンバーを選択 ● あらかじめメールメンバーを登録しておいてください(☞P.235)。
複数に送信する(☞P.210)	● [宛先]を入力すると「同報」の入力欄が追加されます。 ● 「同報」の入力欄を選択→送信種別を選択→入力方法を選択 ● メールメンバーを設定した場合はメンバー全員が必ず[To]で入力されます。 ● 最大４件まで宛先を追加できます。
宛先を変更する	宛先を選択→入力方法を選択 ● [電話帳検索]、[メール送信履歴]、[メール受信履歴]を選択したときは、[アドレスを上書きしますか？]と表示されます。[はい]を選択すると、メールアドレスを選択できます。 ● [メールメンバー]を選択したときは、[アドレスを全件上書きします。よろしいですか？]と表示されます。[はい]を選択すると、メールメンバーを選択できます。 ● [直接入力]を選択したときは、アドレス入力画面が表示されます。
宛先を確認する	宛先を選択→[宛先確認] ● 名前やメールアドレスを確認できます。
宛先を削除する	宛先を選択→[宛先削除]→[はい]

● 電話帳に登録されている相手の場合、宛先欄に名前が表示されます。

3 [題名]や[本文]を選択 ▶ 入力して◉

● 題名は、最大全角100文字(半角200文字)まで入力できます。

明日、ボウリング大会に向けて練習を行います。時間は、午後7時。場所は、いつものボウリング場です。

本文入力画面

● メール本文入力画面では、画面中央の文字入力エリアで文字を決定したあと、◉を押して本文のカーソル位置に入力します。
● 以下の場合は、本文入力画面において全角5000文字(半角10000文字)以上のサイズとなり、入力可能な残バイト数はマイナス表示になります。マイナス表示となった場合は、10000バイト以下(残バイト数が０以上)になるように編集してください。
  ■ 貼り付けした文字数と、すでに入力されているメール本文の合計サイズが10001バイト以上になる場合
  ■ 本文入力済みのｉモードメールを、装飾操作によりデコメールに変更した場合
● 改行[↲]は全角１文字としてカウントします。全角、半角のスペース(空白)もそれぞれ全角１文字、半角１文字としてカウントします(題名に改行[↲]は入力できません)。
● 絵文字入力モード(☞P.424)にすると、[i]を押すたびに、絵文字と絵文字Ｄ(デコメ絵文字)が切り替わります。絵文字Ｄ(デコメ絵文字)に切り替えると、デコメ絵文字を入力できます。デコメ絵文字と挿入画像合わせて最大20種類、合計90Kバイトまで入力できます。デコメ絵文字を入力すると、デコメールになります。
● 本文入力画面の文末で◯を押すと[↲](改行)されます。また、CLRを押すと[↲]は削除されます。本文に何も入力されていない状態でCLRを押すと、メール作成画面に戻ります。

定型文を利用する	本文入力画面で📷→[定型文挿入]→分類を選択→定型文を選択→◉ ● 定型文については、P.476を参照してください。
署名を貼り付ける	メール作成画面または本文入力画面で📷→[署名貼付] ● あらかじめ署名を登録しておきます(☞P.234)。 ● 自動署名貼付が[ON]に設定されている場合、署名は自動的に貼り付けられます(☞P.234)。 ● 署名は、本文サイズに含まれます。本文と署名の合計サイズが送信できるサイズを超える場合、入力可能な残バイト数はマイナス表示になります。残バイト数が０以上になるように編集してください。
位置情報URLを貼り付ける	本文入力画面で📷→[位置情報]→[現在地確認から付加]／[位置履歴から付加]／[電話帳から付加]→位置情報を選択 ● 位置情報を選択する方法については、P.284を参照してください。 ● 位置情報URLも文字数にカウントされます。 ● 位置情報URLの前に[📍]が付加されます。
デコメールを作成する(☞P.211)	本文入力画面で📷→[デコレーション]、または✉(デコレーション)

4 [i](送信)

● 送信が完了すると、[ｉモードメール送信しました]と表示され、メール作成前の画面に戻ります。

メール

次ページへ続く▶▶

● 送信を中止するときは、送信中の画面で⦿(中止)を押します。
⌐または CLR を押しても中止できます。
ただし、タイミングによってはｉモードメールが送信される場合があります。
送信を中止したｉモードメールは、未送信メールとして保存されます。

圏外で送信できないとき

● 圏外のためメールを送信できなかったときは、送信予約画面が表示されます。[はい]を選択すると送信予約され、圏内になったときにメールが自動送信されます。詳しくは、P.217「電波の届くところになったらメールを自動送信する」を参照してください。

お知らせ

● 宛先にメールメンバーを設定すると、1人目のアドレスは[宛先]に入力され、2人目以降は同報の入力欄に[To]で入力されます([Cc]、[Bcc]への変更も可能です)。
● 宛先を削除した場合、同報欄の一番上に表示されているアドレスの送信種別が[To]の場合は、[宛先]に入力されます。
● 受信側の機種によっては題名をすべて受信できないことがあります。
● 何らかの原因で送信できなかったｉモードメールは、未送信メールとして保存されます。
● 送信できていても、電波状況などによっては、[送信できませんでした]と表示される場合があります。
● 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されない場合があります。
● 電話帳の機能別ロック中は、電話帳に登録されている相手でも名前は表示されません。
● 送信メールは送信SMSと合わせて最大500件まで保存できます。送信メールが500件保存されている状態で新しいｉモードメールを送信すると、保護されていない一番古い送信メールから順に自動的に上書きされます(上書き確認のメッセージは表示されません)。
必要なｉモードメールは保護することをおすすめします。特に2Mバイトなどサイズが大きい添付ファイルを送信する場合は削除される送信メールが多くなりますのでご注意ください。
● メール履歴表示を[OFF]に設定しているときは、宛先入力で[メール送信履歴]、[メール受信履歴]を選択できません。
● メールの機能別ロック中は、端末暗証番号を入力するとｉモードメールを作成し、送信できます。
● 2in1のモードを[Bモード]に設定している場合、ｉモードメールは作成できません。
● Bアドレスからはｉモードメールを送信できません。WEBメールサイトから送信してください。

編集中に電話がかかってくると

● 通話後、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。

相手がシークレットコードを登録しているとき

● 「@」の前に、相手のシークレットコード(4桁の数字)を入力します。電話帳に相手のシークレットコードを登録しているときは、入力する必要はありません(☞P.104)。

お知らせ

● 宛先が「携帯電話番号」または「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳にシークレットコードが設定されているかどうかを自動的に調べ、シークレットコードが設定されているときは、シークレットコードを付けて送信します(☞P.104)。
● メールアドレスを「携帯電話番号+シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、ｉモードメール送信や返信ができないことがあります。「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードを登録してください。
● ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合に宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。

同報送信について

FOMA端末では同じ内容のｉモードメールを複数の宛先に同時に送信できます。最大5人の相手に送信できます。

● 「同報」の入力欄では送信種別(To／Cc／Bcc)を選択できます。
■ To　：送信相手の宛先です。[To]で指定したアドレスは他の送信相手に表示されます。
■ Cc　：[To]宛に送信したメールを第三者に知らせるときに使います。
■ Bcc：[Cc]と同じように第三者に知らせるときに使いますが、[Bcc]で指定したアドレスは、[To]や[Cc]の相手には表示されません。
● 最大5人までのアドレスをメールメンバーに登録しておくと、複数のアドレスを簡単に指定することができます(☞P.235)。
● 宛先に入力したアドレスは[Bcc]にしたものを除き、受信した相手に表示されます。ただし、相手の機種によっては表示されない場合もあります。
● 複数の宛先に送信しても、1件の送信メールとして保存されます。送信メール表示画面では、送信に成功した宛先がすべて表示されます。
● 送信に失敗した宛先があったときは、送信メール1件と未送信メール1件が保存されます。未送信メールには、送信されていない宛先がすべて表示されます。
● 同じメールアドレスを宛先や同報として複数設定すると、重複するアドレスは削除されます。

■ 送信種別を変更する

入力した宛先や同報の送信種別を変更できます。

1 **ｉモードメールの作成中(☞P.208の操作1～3)に、2件目以降の宛先の入力欄を選択▶[送信種別変更]**

2 **送信種別を選択**

送信種別	To	Cc	Bcc

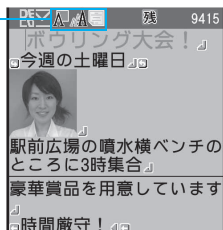
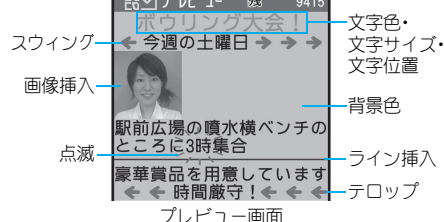
メール

デコメールを作成して送信する

iモードメール作成時、本文の色や文字サイズを変更したり、画像を挿入する、背景に色を付けるなどの装飾を行うことができます。

- 作成できるデコメールの本文は最大10000バイトまでです。挿入画像またはデコメ絵文字は、本文のサイズとは別に最大20種類、合計90Kバイトまで挿入できます。

■ 装飾の種類と効果

- 残バイト数が0またはマイナス表示されている場合、本文に装飾できません。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

本文入力画面

プレビュー画面

■ パレットについて

- 本文入力画面で、🄼(デコレーション)を押すとパレットが表示されます。パレットから装飾の種類を選択するか、📷を押してサブメニューから装飾の種類を選択できます(☞P.212)。

サブメニュー	装飾の種類
[文字色]	文字色 **装飾内容:**文字に色を付けます。なお、絵文字に対して文字の色を設定すると、設定した色で表示されます。通常の絵文字色にしたいときは、[指定なし]に設定してください。 **装飾指定:**色を選択 ● [その他の色]を選択したときは、さらに色を選択します。
[文字サイズ]	文字サイズ **装飾内容:**文字の大きさを、[大]、[標準]、[小]のいずれかに変更します。 **装飾指定:**[大]/[標準]/[小] ● デコメ絵文字のサイズは変更できません。
[画像挿入]	画像挿入 **装飾内容:**本文中に画像を表示します。GIFアニメーションなど動きがある画像は、一定時間たつと止まります。文字位置が画像の位置に反映されます。画像や文字の位置は変更できます。なお、デコレーション変更時は、画像挿入できません。 **装飾指定:**挿入する位置で⦿→フォルダを選択→画像を選んで▯ ● 位置情報が付加されている画像を挿入するときは、位置情報URLの貼り付け確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、メール本文に位置情報URLが貼り付けられます。 ● デコメ絵文字を選んで、挿入することもできます。
[点滅]	点滅 **装飾内容:**文字を点滅させます。一定時間がたつと、点滅が自動的に止まります。 **装飾指定:**[設定]/[解除]
[テロップ]	テロップ **装飾内容:**文字を流して表示(テロップ表示)します。一定時間がたつと、文字の流れが止まります。 **装飾指定:**[設定]/[解除]
[スウィング]	スウィング **装飾内容:**文字を左右に揺らして表示(スウィング表示)します。一定時間がたつと、文字の揺れが止まります。 **装飾指定:**[設定]/[解除]
[文字位置]	文字位置 **装飾内容:**文字の配置を、左寄せ、センタリング、右寄せのいずれかに変更します。 **装飾指定:**[左寄せ]/[センタリング]/[右寄せ]
[ライン挿入]	ライン挿入 **装飾内容:**本文中にライン(罫線)を挿入して表示します。1行分のラインが挿入されます。挿入した位置の文字色がラインの色に反映されます。ラインの色(文字色)は変更できます。なお、デコレーション変更時は、ライン挿入できません。 **装飾指定:**挿入する位置で⦿
[背景色]	背景色 **装飾内容:**メール本文の背景に色を付けます。なお、デコレーション変更時は、背景色を変更できません。 **装飾指定:**背景の色を選択 ● [その他の色]を選択したときは、さらに色を選択します。

サブメニュー	装飾の種類
[デコレーション変更]	デコレーション変更 装飾内容:範囲を指定して装飾を行います。 装飾指定:開始位置で●を押して終了位置で●→装飾を指定 ● [画像挿入]、[ライン挿入]、[背景色]は選択できません。
[元に戻す]	元に戻す 装飾内容:直前に行った編集を取り消します。
[デコレーションなし]	デコレーションなし 装飾内容:装飾されていない通常の文字を入力します。すでに挿入しているすべての装飾は解除されません。
[全解除]	全解除 装飾内容:すべての装飾を解除します。挿入した画像も削除され、テキストメールに戻ります。
[文字入力]	文字入力 装飾内容:文字を入力します。パレット表示中に✉を押しても操作できます。
[プレビュー]	プレビュー 装飾内容:装飾を確認します。パレット表示中に▮を1秒以上押しても操作できます。

ボタン操作	装飾の種類	装飾の内容
✉	カーソル切替/装飾選択	本文中のカーソル移動とパレット選択中のカーソル移動を切り替えます。
▮	装飾範囲	装飾する範囲を選択するときに押します。

お知らせ

● 受信側のｉモード端末によっては、メール本文にデコメール参照用URLが付いたメールを受信します。受信者はURLを選択することによってWeb上でデコメールを閲覧することができます。ただし、端末によっては本文のみ受信し、デコメール参照用URLがないメールを受信する場合もあります。

画像挿入について

● FOMA端末にはあらかじめ画像(デコメピクチャ)が登録されています。

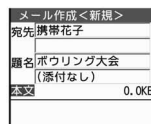
お知らせ

● 同一画像を続けて挿入した場合は20個以上の入力も可能です。ただし、次の場合は同一画像とはみなされません。
  ■ いったん作成中のメールを保存してから同一画像を挿入/貼り付けした場合
  ■ 同一画像を含む署名を挿入した場合
● 他のアプリケーションがすでに起動している場合(例えば、音声電話中)のメール作成においては、画像選択時の画像プレビューができない場合があります。[決定]による画像選択確定のみとなります。
● 挿入した画像の情報を表示させるには、カーソルを画像の直前に移動して、サブメニューから[情報表示]を選択すると、挿入画像の情報が表示できます。

装飾しながら本文を作成する

装飾方法を指定してから文字を入力したり、指定した装飾方法で入力済みの文字を装飾できます。

1 メール作成画面で宛先、題名を入力する(☞P.208の操作1～3)

メール作成<新規>
宛先 携帯花子
題名 ボウリング大会
(添付なし)
本文 0.0KB

2 [本文]を選択

● 装飾方法を指定してから文字を入力する場合は操作3に進みます。文字を入力してから装飾する場合は、本文を入力します。

3 ✉(デコレーション)▶パレットから装飾の種類を選択▶装飾を指定する

パレット表示画面

● パレットを表示しているときに本文中のカーソルを移動する場合は、✉(カーソル切替)を押します。もう一度✉(装飾選択)を押すと、パレットの選択に戻ります。
● パレット設定が[OFF]のときは、✉(デコレーション)を押し、サブメニューから装飾の種類を選択し、装飾を指定します。

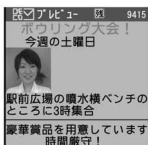
点滅を指定する	[点滅]→[設定]→文字を入力
テロップを指定する	[テロップ]→[設定]→文字を入力
スウィングを指定する	[スウィング]→[設定]→文字を入力
プレビュー画面を表示する	📷→[プレビュー] ● ●を押すと元の画面に戻ります。

メール

4 装飾の指定が終わったら本文を入力する

- 入力しているバイト数が表示されます。
- すでに入力している文字を装飾するときは、P.213「範囲を指定して装飾する」を参照してください。
- パレット設定が[OFF]の場合は、装飾の指定が終わったら✉(文字入力)を押し、本文を入力します。
- 本文を入力すると、装飾が反映されます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。装飾した文字を削除するときは、装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押して文字を削除した場合は、文字と文字にかかっている装飾データが削除されます。
- 本文の変更を1つ前の状態に戻すときは、📷を押して[元に戻す]を選択します。連続して複数の装飾を指定したあとで、装飾範囲を指定した場合、元に戻すことはできません。

5 📷▶[プレビュー]

- iを1秒以上を押してもプレビュー画面が表示されます。
- 続けて装飾をするときは、⦿を押してプレビュー画面を閉じたあと、操作3～4をくり返します。

6 ⦿(確認)

- 装飾を全解除するときは、✉(デコレーション)を押し、📷→[全解除]を選択します。パレット設定が[OFF]のときは、✉(デコレーション)を押し、[全解除]を選択します。挿入した画像も削除されます。

7 ⦿▶i(送信)

お知らせ

- 受信したデコメールを引用返信、または転送した場合、装飾や挿入した画像も引用されます(ファイル制限ありの画像を除く)。
- デコメール対応FOMA端末以外から送信された装飾メールは装飾が正しく表示されないことがあります。
- 装飾決定すると、状態アイコンが[デコメール]に変わります。
- デコメール非対応機種からデコメール閲覧用のURL付きメールを転送されても閲覧できません。

関連操作

パレットを表示するかどうかを設定する
<パレット設定>

1 P.212「装飾しながら本文を作成する」の操作2のあと📷▶[パレット設定]
2 [ON]／[OFF]

範囲を指定して装飾する

1 パレット表示画面(☞P.212)でi(装飾範囲)

- パレット表示画面で📷を押して[デコレーション変更]を選択しても操作できます。

2 装飾開始位置にカーソルを移動して⦿

- すべての文章を選択するときは、iを押します。
- 選択を取り消すときは、✉を押します。

3 装飾終了位置にカーソルを移動して⦿

4 パレットから装飾の種類を選択▶装飾を指定する

- 指定した範囲が装飾されます。
- 1つ前の状態に戻すときは📷を押して[元に戻す]を選択します。
- [画像挿入]、[ライン挿入]、[背景色]、[デコレーション変更]、[デコレーションなし]は選択できません。
- 同じ範囲を続けて装飾するときは、操作4をくり返します。

5 装飾の指定が終わったら✉(文字入力)

- 以降の操作については、P.213の操作5～7を参照してください。

お知らせ

- パレット設定が[OFF]のときは、サブメニューから装飾の種類を選択し、装飾を指定してから範囲を選択します。
- 連続して複数の装飾を指定したあとで、装飾範囲を指定した場合、元に戻すことはできません。

テンプレートを利用して送信する

テンプレートを利用してデコメールを作成できます。テンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール用の雛形です。テンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成／送信できます。
また、作成したデコメールをテンプレートとして保存したり、テンプレートをサイトからダウンロード(☞P.191)できます。

- テンプレートは最大10～100件まで保存できます。

テンプレートを利用してデコメールを作成する<テンプレート>

1 待受画面で✉▶[テンプレート]

● テンプレート一覧が表示されます。

2 テンプレートを選択▶📱(メール)

● テンプレートが本文入力画面に反映されます。

● デコメール作成と同様に編集できます。詳しくは、P.211を参照してください。

メール作成中にテンプレートを呼び出す

1 メール作成画面(☞P.208の操作1)/メール本文入力画面(☞P.209の操作3)で📷▶[テンプレート呼出]

2 テンプレートを選択▶📱(決定)

● テンプレート選択前に本文が入力されているとき(装飾なし)は、[本文をコピーして貼り付けますか?]と表示されます。[はい]を選択するとテンプレートが本文入力画面に反映され、貼り付ける位置を選択すると本文の内容が貼り付けられます。

お知らせ

● 本文サイズが10000バイト、または挿入画像の合計が90Kバイトを超えているテンプレートは呼び出しできません。

● 2in1のモードを[Bモード]に設定している場合、[テンプレート]は利用できません。

● 次の場合は、テンプレートを呼び出したとき[入力した本文が失われます。テンプレートを呼び出しますか?]と表示されます。テンプレートを反映するとテンプレート選択前の本文の内容が削除されます。

■ メール本文入力画面で、装飾した本文が入力されている場合

■ メール作成画面で、本文が入力されている場合

作成したメールをテンプレートとして保存する<テンプレート保存>

1 デコメールの作成が終了(☞P.212の操作1～6)したら⦿▶メール作成画面で📷▶[テンプレート保存]

2 [はい]

● メールメニューの[テンプレート]に保存されます。

● テンプレートを呼び出して作成したデコメールの場合は、[新規保存]または[上書き保存]を選択します。

お知らせ

● 保存したテンプレートには、自動的に保存日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
例:2007年12月25日午後1時5分7秒に保存した場合→[071225_130507]

● 作成したデコメールに添付ファイルがあっても、添付ファイルなしで保存されます。

● メモリが不足している場合、テンプレートを保存できません。不要なテンプレートを選択削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください(☞P.214)。

テンプレートを編集する<編集>

1 待受画面で✉▶[テンプレート]▶テンプレートを選んで📷▶[編集]

2 デコメールを編集(☞P.212の操作3～6)して⦿▶[新規保存]/[上書き保存]

関連操作

テンプレートのタイトルを編集する<タイトル編集>

1 待受画面で✉▶[テンプレート]▶テンプレートを選んで📷▶[タイトル編集]

2 タイトルを編集して⦿

テンプレートを削除する<削除>

1 待受画面で✉▶[テンプレート]▶テンプレートを選んで📷▶[削除]

2 1件削除するときは[1件削除]

● 複数のテンプレートをまとめて削除するとき:[選択削除]▶テンプレートを選択(くり返し可)▶📷

● すべてのテンプレートを削除するとき:[全件削除]▶端末暗証番号を入力して⦿

3 [はい]

テンプレートの詳細情報を表示する<情報表示>

待受画面で✉▶[テンプレート]▶テンプレートを選んで📷▶[情報表示]

● 確認を終わるとき:⦿またはCLR

関連操作のお知らせ

テンプレートの削除について

● 選択削除の場合、すべてを選択/解除するときは、📱(全選択)/📱(全解除)を押します。

テンプレートの情報表示について

● タイトル名、ファイル名、ファイル形式、ファイル制限が表示されます。

メール

添付ファイル

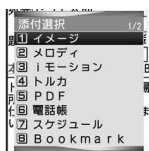
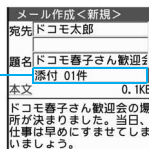
ファイルを添付する

iモードメールに静止画や動画／iモーションなどを添付して送信できます。

添付できるファイルについて

- 次のデータを添付することができます。
  - ■ 静止画／イメージ（JPEG画像、GIF画像※1、GIFアニメーション、Flash画像）
  - ■ メロディ（SMF※1、MFi）
  - ■ 動画／iモーション（MP4）
  - ■ トルカ※2（トルカ、トルカ（詳細））
  - ■ PDFデータ※3
  - ■ 電話帳（vCard）
  - ■ スケジュール（vCalendar）
  - ■ ブックマーク（vBookmark）
  - ■ ドキュメントファイル（BMP、PNG、Word、Excel、PowerPoint、Text）
  - ■ その他のファイル（FOMA端末で識別できないファイルなど）

  ※1 movaサービスのiモード端末では受信できません。
  ※2 1Kバイトを超えるトルカ、100Kバイトを超えるトルカ（詳細）は添付できません。
  ※3 ダウンロード中およびページ単位で部分的にダウンロードしたPDFは添付できません。
- データは合計で最大2Mバイト、10個まで添付できます。
- 添付ファイルのサイズによっては送信に時間がかかります。

1 iモードメールを作成（☞P.208の操作1～3）▶ ○で添付ファイル欄を選んで◉

2 添付するファイルを選択

静止画／イメージを添付する	[イメージ]→フォルダを選択→画像を選んで▣ ● 画像を確認するときは、画像を選んで◉（確認）を押します。 ● 位置情報が付加されている画像を添付する場合は、位置情報URLの貼り付け確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、メール本文に位置情報URLが貼り付けられます。
メロディを添付する	[メロディ]→フォルダを選択→メロディを選んで▣ ● メロディを再生するときは、メロディを選んで◉（確認）を押します。再生を止めるときは、▣を押します（100Kバイトを超えるメロディは再生できません）。
動画／iモーションを添付する	[iモーション]→フォルダを選択→動画／iモーションを選んで▣ ● 動画／iモーションを再生するときは、動画／iモーションを選んで◉（確認）を押します。再生を止めるときは、▣を押します。
トルカを添付する	[トルカ]→フォルダを選択→トルカを選んで▣ ● トルカを確認するときは、トルカを選んで◉（確認）を押します。
PDFデータを添付する	[PDF]→フォルダを選択→PDFデータを選んで▣ ● PDFデータを確認するときは、PDFデータを選んで◉（確認）を押します。
電話帳を添付する	[電話帳]→[本体]／[microSD]→名前を選択 ● 電話帳を確認するときは、名前を選んで▣を押します。 ● [microSD]を選択した場合、電話帳の確認はできません。
スケジュールを添付する	[スケジュール]→[本体]→日を選んで▣→スケジュールを選択 ● スケジュールを確認するときは、スケジュールを選んで▣を押します。 ● microSDメモリーカードから選ぶときは、[microSD]を選択し、スケジュールを選択します。スケジュールの確認はできません。
ブックマークを添付する	[Bookmark]→[iモード]／[フルブラウザ]→フォルダを選択→ブックマークを選択 ● microSDメモリーカードから選ぶときは、[microSD]を選択し、ブックマークを選択します。
ドキュメントファイルを添付する	[ドキュメント]→ファイルを選んで▣ ● ファイルを確認するときは、ファイルを選んで◉（確認）を押します。
microSDメモリーカード内のその他のファイルを添付する	[その他]→フォルダを選択→ファイルを選択 ● ファイルの確認はできません。
撮影した静止画を添付する	[カメラ起動（静止画）]→◉（📷）→◉ ● 撮影した静止画は、[カメラ]フォルダに保存されます。 ● 撮影サイズは自動的に「待受：480×854」になります。

撮影した動画を添付する	[カメラ起動(動画)]→◉(録画)→◉→[保存] ● 撮影した動画は、[カメラ]フォルダに保存されます。 ● 500Kバイトを超える動画／ｉモーションの場合、2Mバイト対応機種以外の機種に送るときは、[メール用(短)]を選択してください。 ● 撮影サイズは自動的に「QCIF：176×144」になります。

● メール作成画面に戻ります。添付ファイル欄に添付件数が表示されます。添付ファイル欄を選択すると、添付ファイルのファイル名とファイルサイズが表示されます。

3 [i](送信)

お知らせ

● フレーム、スタンプ、FOMA端末にあらかじめ内蔵されているメロディは添付できません。
● 相手の機種がFOMA SH900iより前に発売された機種の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
● FOMA SH903iより前に発売された機種に送信した場合、添付ファイルの種類やファイルサイズによっては、添付ファイルを受信できない場合があります。
● ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送信できません。
● FOMA端末で撮影した画像にファイル制限を設定している場合、添付して送信できますが、受け取った方はそのファイルを外部へ送信できません。
● 受信側の端末によっては、正しく受信や表示ができないことや、動画が粗くなったり連続静止画に変換されることがあります。2Mバイト対応機種以外に動画を送信する場合は、共通再生モードを[ON]に設定して撮影した動画がおすすめです。
● 相手の機種が対応していないファイルは削除されます。

撮影した静止画の添付について
● 自動保存モードを[ON]に設定している場合、撮影後のプレビュー画面は表示されません。

貼り付けられたデータについて
● メールに貼り付けられたメロディ(MFi)は、メールの返信や転送をする際に引用できません。

トルカについて
● トルカのデータサイズによっては、メールに添付して送信することができない場合があります。

関連操作

添付ファイルを追加する
1 メール作成画面で添付ファイル欄を選んで◉▶[添付ファイル追加]
2 P.215「ファイルを添付する」の操作2を参照して添付するファイルを選択

添付したファイルを解除する
1 メール作成画面で添付ファイル欄を選んで◉▶ファイルを選んで[カメラ](添付解除)
2 [1件解除]／[全件解除]▶[はい]
● 複数のファイルをまとめて解除するとき：[選択解除]▶ファイルを選択(くり返し可)▶[カメラ]▶[はい]

添付したファイルを確認する
メール作成画面で添付ファイル欄を選んで◉▶ファイルを選択

関連操作のお知らせ

添付ファイルの追加について
● すでに添付できる最大件数分のファイルが添付されている場合、または2Mバイトまで添付されている場合は、[添付ファイル追加]を選択できません。

添付ファイルの解除について
● 選択解除の場合、すべてを選択／解除するときは、[i](全選択)／[i](全解除)を押します。

添付ファイルの確認について
● 添付ファイルのマークが[?]の場合、ファイルを確認できません。

ｉモードメール保存

ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

ｉモードメールを保存する

ｉモードメールの作成中に操作を中断しなければならないときや、作成したｉモードメールを保存しておきたいときは、FOMA端末に一時保存しておくことができます。

1 **ｉモードメールの作成中(☞P.208の操作1～3)に[カメラ]▶[保存]**

● 作成中のｉモードメールが、未送信メールとして保存されます。

お知らせ

● メール作成中で宛先、題名、本文、添付ファイルのいずれかが入力されている場合、[クリア]を押すと、終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、メールの作成を中止できます。ただし、作成を中止したメールは保存されません。

電波の届くところになったらメールを自動送信する<送信予約>

圏外にいるときに作成したｉモードメールを、圏内になったときに自動送信するように設定できます。

- 最大30件まで送信予約できます。送信予約したメールは[未送信トレイ]に保存されます。

1 ｉモードメールを作成(☞P.208の操作1～3)して📷▶[送信予約]

- メールが自動送信されると、ディスプレイに[✉](圏内自動送信結果あり)が表示され、自動送信結果を確認できます。自動送信結果画面で[成功]を選択すると送信BOXが、[失敗]を選択すると未送信BOXが表示されます。
- 自動送信に失敗したメールがあるときは、ディスプレイ上部に[✉]が表示されます。再度送信を行うときは、未送信BOXから自動送信に失敗したメールを選んで送信してください。また、送信予約を解除することもできます。

関連操作

自動送信結果を確認する

待受画面に[✉](圏内自動送信結果あり)が表示されているときに⦿▶[✉](圏内自動送信結果あり)を選択▶[成功]／[失敗]

自動送信のエラー情報を確認する<自動送信エラー表示>

未送信メール一覧画面(☞P.225)で送信予約メールを選んで📷▶[圏内自動送信]▶[自動送信エラー表示]

送信予約を解除する<送信予約解除>

未送信メール一覧画面(☞P.225)で送信予約メールを選んで✉(または、📷▶[圏内自動送信]▶[送信予約解除]▶[1件解除])

- すべての送信予約を解除するとき:未送信メール一覧画面(☞P.225)で📷▶[圏内自動送信]▶[送信予約解除]▶[全件解除]

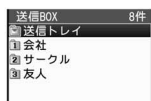
関連操作のお知らせ

送信予約解除について

- 次の操作を行ったときも送信予約が解除されます。
  - ■ 未送信BOXから送信予約メールを選んで編集した場合
  - ■ 接続先設定を変更した場合
  - ■ FOMAカードを差し替えた場合

送信／保存したｉモードメールを編集･送信する

送信したｉモードメールを編集･再送する

1 待受画面で✉▶[送信BOX]

2 フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

- ⊙を押すと、前または次のメール表示画面が表示されます。
- CLRを押すと、送信メール一覧画面に戻ります。メール一覧画面で、メールを選んでiを押しても編集できます。✉を押すと、再送できます。
- 添付ファイルを確認するときは、ファイル名を選択します。
- 画像が添付されているときは、本文の下に画像と添付種別マーク、ファイル名が表示されます(☞P.226)。

3 編集･再送する

編集する	i(または、📷→[編集])→メールを編集してi ● 新規作成時と同様に編集できます。P.208の操作2～3を参照してください。
再送する	📷→[再送]

保存したｉモードメールを編集･送信する

1 待受画面で✉▶[未送信BOX]

2 フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

- 送信予約メールを選んだときは、[自動送信する場合は編集完了後に送信予約してください]と表示されますので、⦿を押してください。送信予約が解除され、編集できます。

3 項目を選択▶編集してi(送信)

- 新規作成時と同様に編集できます。P.208の操作2～3を参照してください。
- 未送信メールは1件ずつ選択して、送信します。
- 送信したｉモードメールは[送信トレイ]に保存されます。ただし、振分け条件設定(☞P.233)の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。

メール自動受信

ｉモードメールを受信したときは

メール選択受信設定(☞P.234)が[OFF]に設定されている場合、ｉモードメールを自動的に受信します。

- 受信メールはｉモードメールとSMSを合わせて4～1000件まで保存できます。受信メールのサイズによっては、保存できる件数が異なります。
- 保存するメモリの空き容量がない場合、保護されていない保存日時の一番古い既読メールに上書きされます。必要なｉモードメールは保護することをおすすめします(上書き確認のメッセージは表示されません)。特に2Mバイトなどサイズが大きい添付ファイルを受信する場合は削除される受信メールが多くなりますのでご注意ください。
- FOMA端末が以下のようなときに送られてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
  - ■ 電源が入っていないとき
  - ■ セルフモード中
  - ■ 圏外
  - ■ テレビ電話の通話中
  - ■ プッシュトーク通信中
  - ■ おまかせロック中
  - ■ メール選択受信設定が[ON]のとき
  - ■ 赤外線通信中
  - ■ FirstPassセンター接続中
  - ■ 保護や未読のｉモードメールがいっぱいで空き容量がないとき
  - ■ ｉＣ通信中

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます（☞P.222）。
- 通話中、ｉアプリ実行中、カメラ起動中、GPS測位中、パターンデータ更新中、全画面表示でワンセグを視聴中や録画中にメールを受信した場合、メール着信音は鳴りません。
- FOMA端末（本体）のメールをmicroSDメモリーカードにコピー、またはmicroSDメモリーカード内のメールをFOMA端末（本体）にコピーできます。
- 文字サイズの設定によって、画面に表示される文字数が変わります。

マークの意味

マーク	意　味
（緑色）	未読ｉモードメールがあります（☞P.218）。
	未読ｉモードメールと未読SMSの両方があります（☞P.218、P.243）。
	FOMA端末内の受信ｉモードメールやSMSがいっぱいです。 未読メールの確認（☞P.218、P.244）、保護解除（☞P.230）、不要なメールの削除（☞P.231）を行ってください。
（赤色）	FOMA端末内の受信ｉモードメールやSMS、FOMAカード内のSMSがいっぱいです。 未読メールの確認（☞P.218、P.244）、保護解除（☞P.230）、不要なメールの削除（☞P.231）を行ってください。
（赤文字）	未読SMSがあります（☞P.243）。
（青文字）	FOMAカード内のSMSがいっぱいです。不要なメールの削除（☞P.231）を行ってください。
	未読エリアメールがあります（☞P.241）。
（青色）	ｉモードセンターでメールをお預かりしています（メール選択受信設定が[OFF]のとき）。 ｉモードメールを受信したいときは、ｉモード問い合わせ（☞P.220）を行ってください。
	ｉモードセンターでお預かりしているｉモードメールがいっぱいです。 ｉモード問い合わせ（☞P.220）を行ってください。
	機能別ロックが設定されています。メールの機能別ロック中にｉモードメールを確認したいときは、端末暗証番号の入力が必要です（☞P.142）。

- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていても、[ ]（青色）が表示されない場合があります。
- メール選択受信設定を[ON]に設定しているときは、[ ]（青色）や[ ]は表示されません。

新着ｉモードメールを表示する

1　ｉモードメールが届くと、自動的に受信する（[ ]点滅）

- 受信を中止するときは、受信中に◉を押します。
- 受信を中止したｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます（[ ]（青色）表示）。
- 受信を中止するタイミングにより、ｉモードメールを受信してしまう場合もあります。

メール受信画面

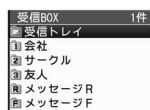
2　受信終了後、ｉモードメールの受信完了画面が表示され、ｉモードメール着信音が鳴る（[ ]表示）

- 受信完了画面で、何も操作しないでそのままにしておくと、約30秒後、自動的に受信前の画面に戻ります。待受画面に戻ると[ ]（新着メールあり）が表示されます。このときは、待受画面で◉を押し、[ ]（新着メールあり）を選択すると、受信BOX一覧画面が表示されます。

受信完了画面

- 受信したｉモードメールは、[受信トレイ]に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.233）の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。

3　[メール]を選択

- 未読のメールが保存されているフォルダは、ピンク色で表示されています。
- SMSを受信したときも、受信BOXに保存されます。

4　フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

- 受信メールの見かたについては、P.226を参照してください。
- 添付ファイルの確認については、P.223を参照してください。

お知らせ

- メロディ自動再生が[自動再生する]に設定されているときは、メロディが再生されます。他の画面に移動すると、メロディが止まります。100Kバイトを超えるメロディは再生できません。
- 画像が添付されているときは、本文の下に画像と添付種別マーク、ファイル名が表示されます。
- メロディとｉアプリToの両方が貼り付けられている場合は、両方のデータが無効となります。

お知らせ

- あらかじめ受信するｉモードメールのサイズ(本文＋添付ファイルまたは貼付データ)を制限できます(ｉモードメニューから[ｉMenu]→[料金＆お申込・設定]→[オプション設定]→[メール設定]→[メールサイズ制限])。
  設定した文字数(データ量)を超えた場合、添付ファイルは選択受信添付ファイルとして受信します。貼付データはｉモードセンターで削除され、再度受信することはできません。
- 画像が挿入されているデコメールの場合、添付ファイル受信設定で画像を受信しないように設定していても、挿入画像は表示されます。
- To、Cc、Bccを設定できるFOMA端末やパソコンなどから送信されたｉモードメールは、自分がTo、Cc、Bccのどれに当てはまるかを、FOMA端末で確認できます(☞P.226)。
- 正しく表示できない文字はスペースなどで表示されます。

着信音を止めるとき

- 次のボタンを押します。

ボタン	動作
◉	着信音が止まり、受信BOX一覧画面が表示されます。
CLR、⏎	着信音が止まり、待受画面または受信前の画面に戻ります。
◌	受信完了画面のまま着信音が止まります。

待受中以外の状態で受信したとき

- 受信・自動送信表示を[通知優先]に設定している場合、メール着信音が鳴り、ディスプレイに[✉]と受信完了画面が表示されます。

メールテロップを表示する ＜メールテロップ設定＞

他の機能を起動中にメールを受信した場合、画面にメールテロップを表示することができます。

- カメラ撮影時や、ワンセグ以外の機能の全画面表示中、メールテロップは表示されません。

1 **待受画面で✉▶[メール設定]▶[メールテロップ設定]**

2 **テロップ表示する項目を選択**

項目	差出人＋題名	OFF
	お知らせのみ	

お知らせ

- メールテロップ設定を[差出人＋題名]に設定した場合、差出人が電話帳に登録されていないとき、および電話帳の機能別ロックが設定されているときは、メールアドレスが表示されます。
- メールテロップ設定を[差出人＋題名]または[お知らせのみ]に設定している場合、受信・自動送信表示にかかわらずテロップが表示されます(映像と音声は継続します)。

お知らせ

- メールテロップ設定を[差出人＋題名]に設定していても、メールの機能別ロックが設定されている場合、または受信メールの保存先フォルダのフォルダセキュリティが[ON]に設定されている場合は、お知らせのみが表示されます。

■ メールテロップが表示されたときは

例：ワンセグ視聴中にメールを受信した場合

メールテロップ表示

- メールテロップ表示中に✉を1秒以上押すと、受信BOX一覧画面が表示されます。ビューアポジションのときは、▯(▯)を1秒以上押します。
- テロップ表示を消すときは、▯(▯)を押します。

お知らせ

- マルチアシスタントで複数の機能を使用しているときや、使用している機能(☞P.479)によっては受信BOX一覧画面を表示できない場合があります。

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめ[メール選択受信設定]を[ON]に設定します(☞P.234)。
なお、[ON]に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

ｉモードメールが届いたときは

メール選択受信設定を[ON]に設定しているときにｉモードセンターにｉモードメールが届くと、待受画面には右の画面が表示されます(メール選択受信通知)。
いずれかのボタンを押すと、表示が消えます。
ｉモードメールを選択受信するときは、表示を消してから行ってください。

- 右上の画面が表示されているときに、電話がかかってきて⌒や⏎を押しても、通話終了後、再び右上の画面に戻ります。
- 右上の画面が表示されるときは、メール着信音は鳴らず、バイブレータも振動しません。

ｉモードメールを選択受信する ＜メール選択受信＞

1 待受画面で✉▶[メール選択受信]▶[メール選択受信]

- ｉモードセンターに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールが表示されます。
- メール選択受信設定を[OFF]に設定しているときは、[メール選択受信をご利用になる場合は「メール設定」から「メール選択受信設定」をONにしてください]と表示されます。

2 ｉモードメールごとに[受信]／[削除]／[保留]を選択

- 表示されていない部分を確認するときは、◎を押します。
- ファイルが添付されているときはサイズの右側に次のマークが表示されます。

マークの意味

マーク	意味
📷	画像ファイルが添付されています。
♪	メロディファイルが添付されています。
🎞	ｉモーションが添付されています。
■	トルカが添付されています。
📄	その他のファイルが添付されています。

- ｉモードセンターのｉモードメールをすべて削除するときは、メール選択受信画面の最下部にある[削除]を選択します。確認画面で[決定]を選択すると、ｉモードセンターのｉモードメールがすべて削除されます。

3 [受信／削除]を選択▶[決定]を選択

- 受信／削除したいｉモードメールを選び直すときは、[ｷｬﾝｾﾙ]を選択します。

4 受信したｉモードメールを表示する（☞P.218の操作３～４）

ｉモードから選択受信する＜メール選択受信＞
待受画面でｉ▶[ｉMenu]▶[メニューリスト]▶[メール選択受信]

ｉモード問い合わせ

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管されています（☞P.217）。ｉモードセンターに問い合わせて受信できます。

- ｉモードセンターには、約10Mバイト、最大1000件のｉモードメールが保管できます。
- ｉモード問い合わせをする種類（ｉモードメール、メッセージR／F）を設定できます（☞P.234）。
- メール選択受信設定を[ON]に設定していても、ｉモード問い合わせをすると、すべてのｉモードメールを受信します。
- ｉモード問い合わせをしたあと、[ ]が点滅している間に再びｉモード問い合わせの操作をしても、実際には問い合わせを行いません。すべての種類について[０件]と表示されます。
- SMSの問い合わせについては、P.243を参照してください。
- 複数のｉモードメール、メッセージR／Fを受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージR／Fに設定されている着信音が鳴ります。

1 待受画面で✉▶[ｉモード問い合わせ]

- 待受画面で✉を２回押すか、ｉを押して[ｉモード問い合わせ]を選択しても、ｉモード問い合わせを行います。
- ｉモード問い合わせ設定（☞P.234）の設定に従い[ｉモードメール]→[メッセージR]→[メッセージF]の順でｉモード問い合わせを行います（問い合わせをしているマーク（[✉]、[R]（緑色）、[F]（緑色））が順次表示されます）。
- 受信を中止するときは、受信中に◉を押します。
- 受信を中止したｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます（[✉]（青色）表示）。
- 受信を中止するタイミングにより、ｉモードメールを受信してしまう場合もあります。

2 問い合わせ結果が表示され、ｉモードメールがある場合は、ｉモードメール着信音が鳴る

- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていないときは、件数が[０]と表示されます。

3 受信したｉモードメールを表示する（☞P.218の操作３～４）

お知らせ

- 電波状況などにより、エラーメッセージが表示され、問い合わせできない場合や中断される場合があります。

iモードメール返信

iモードメールに返信する

iモードメールの返信方法には、受信メールの本文を引用して返信する方法と、本文を引用しないで返信する方法があります。

- 未送信BOXのメモリの空き容量がない場合は、iモードメールを返信できません。
- SMSの返信については、P.244を参照してください。

1 iモードメールを表示する（☞P.218の操作1～4）▶[カメラ]▶［返信／転送］

- メール一覧画面で[i]または、メール表示画面で[i]を押してもメールを返信できます。

2 返信方法を選択

返信する	［返信］ ● 受信メールの題名の先頭に［Re:］が付いた題名が入力されています。
受信メールの本文を引用して返信する	［引用返信］ ● 本文の先頭に［>］が挿入され、受信メールの内容が引用されます。 ● デコメールのときは、装飾と挿入した画像が引用されます（ファイル制限ありの画像を除く）。

メール作成＜返信＞
宛先 携帯花子
題名 Re:ドコモ春子さん歓
（添付なし）
本文 0.0KB

- 返信できないiモードメールを選んだときは、［返信先が無効です］と表示されます。
- 引用返信するときに［>］と本文を合わせて10000バイトを超える場合、[⊠]が表示されます。10000バイト以内になるように編集してください。
- 同報があるiモードメールを選んだときは、返信先の選択画面が表示されます。［差出人に返信］または［全員に返信］を選択します。

3 iモードメールを作成し、送信する

- 題名や本文を編集できます。
- 詳しくは、P.208の操作2～4を参照してください。

お知らせ

- iモードメール作成中に[クリア]を押すと、終了確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、iモードメールの作成を中止できます。ただし、作成を中止したiモードメールは保存されません。
- iモードメールの返信画面で未編集のまま[クリア]を押すと、終了確認画面は表示されません。
- 送信元のメールアドレスが50文字を超えているときは返信できません。返信できないiモードメールには受信メール表示画面で[⊠]が表示されます。
- 相手がシークレットコードを登録している場合、iモードメール送信時にメールアドレスにシークレットコードを付加する必要があります（☞P.210）。

お知らせ

- 本文にiアプリToが貼り付けられている場合、引用返信してもiアプリToは引用できません。また、ドコモケータイdatalinkや赤外線通信、iC通信を利用しても、iアプリToの情報は送信できません。

手早く返信する<クイック返信>

受信メール表示画面から簡単に返信メールを送信できます。

- あらかじめクイック返信メール設定（☞P.235）で本文を登録しておきます。10件まで登録できます。

1 iモードメールを表示する（☞P.218の操作1～4）▶[カメラ]▶［返信／転送］

2 ［クイック返信］▶本文を選択

- 本文を確認するときは、本文を選んで[i]（確認）を押します。
- 宛先、題名、本文を確認します。

3 [i]（送信）

iモードメール転送

iモードメールを他の宛先に転送する

- 送信メールを保存するメモリの空き容量がない場合は、iモードメールを転送できません。

1 iモードメールを表示する（☞P.218の操作1～4）▶[カメラ]▶［返信／転送］

2 ［転送］▶iモードメールを作成し、送信する

- 受信メールの題名の先頭に［Fw:］が付いた題名が入力されています。
- デコメールのときは、装飾と挿入した画像が転送されます（ファイル制限ありの画像を除く）。
- 題名や本文を編集できます。
- 詳しくは、P.208の操作2～4を参照してください。

お知らせ

- iモードメール作成中に[クリア]を押すと、終了確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、iモードメールの作成を中止できます。ただし、作成を中止したiモードメールは保存されません。
- iモードメールの転送画面で未編集のまま[クリア]を押すと、終了確認画面は表示されません。

転送するiモードメールに添付ファイルがあるとき

- 取得が完了した添付ファイルのみ転送されます。取得していない選択受信添付ファイルは転送されません。

次ページへ続く

お知らせ

- メロディ添付のｉモードメールを転送した機種がFOMA SH900iより前に発売された機種の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- 転送するｉモードメールに、ｉアプリToやｉモードメール添付、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されているとき、それらのファイルは削除されます。
- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定している場合、Bアドレス宛のメールを転送したときは、Aアドレスからの送信となり、Aアドレスの送信BOXに保存されます。

メールアドレスや電話番号を電話帳に登録する

受信メールや送信メールの送信元や宛先、またはメール本文に書かれたメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

- SMSの場合、送信元／宛先の電話番号が電話帳の電話番号欄に登録されます。
- 次の場合は、電話帳に登録できません。
  - ■ メールアドレスが半角50文字を超える受信メールの送信元
  - ■ ダイヤル発信制限中
  - ■ FOMA端末(本体)電話帳の場合は1000件、FOMAカード電話帳の場合は50件がすでに登録されているときの新規登録
- 電話帳の機能別ロック中は、端末暗証番号を入力すると電話帳に登録できます。

送信元／宛先のメールアドレスを電話帳に登録する<アドレス登録>

1 **受信／送信メール表示画面(☞P.226)で[カメラ]▶[登録／保存]**

2 **[アドレス登録]▶登録方法を選択**

登録方法	本体新規	追加／上書※
	FOMAカード新規	

※ 追加／上書きする名前を選択します。

- 電話帳入力画面に、送信元または宛先のメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます(☞P.102、P.106)。

お知らせ

- 送信元または宛先が複数存在する場合は、[アドレス登録]を選択するとアドレス選択画面が表示されます。送信元または宛先を選択します。

メール本文の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>

1 **受信／送信メール表示画面(☞P.226)で、電話番号やメールアドレスを選んで[カメラ]▶[登録／保存]**

2 **[電話帳登録]▶登録方法を選択**

登録方法	本体新規	追加／上書※
	FOMAカード新規	

※ 追加／上書きする名前を選択します。

- 電話帳入力画面に、選択した電話番号やメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます(☞P.102、P.106)。

選択受信添付ファイルを取得する

受信したｉモードメールのサイズが添付ファイルを含めて100Kバイトを超える場合、一部またはすべての添付ファイルは自動的に取得されず、選択受信添付ファイルとして受信します。この場合は、ｉモードセンターからファイルを取得する必要があります。

- 添付ファイル受信設定で受信しないように設定したファイルも選択受信添付ファイルとして受信します。
- メールBOXに保存するメモリの空き容量がない場合、保護されていない既読の受信メールが添付ファイルのサイズに応じて削除されます。

1 **選択受信添付ファイルが添付されている受信メールを表示する(☞P.218の操作1～4)▶ファイル名を選択**

- ファイルが取得され、メールBOXに保存されます。
- 未取得の選択受信添付ファイルがある場合、メール表示画面の一番下に保存期限が表示されます。すべてのファイルを取得すると、保存期限の表示が消えます。

受信トレイ To 7
07/12/25 16:11
携帯花子
食事の店
この店はどうでしょうか？
-END-
Docomo.jpg
7.1KB
保存期限:2008/01/04

添付ファイル確認

添付ファイルを確認・保存・削除する

- 添付ファイルはそれぞれのカテゴリの選択した保存先に保存されます。
- FOMA端末で識別できないファイル(その他のファイル)は、microSDメモリーカードの[その他]フォルダに保存されます。
- 未取得の選択受信添付ファイルを保存するときは、ｉモードセンターから取得してから操作してください。

1 ファイルが添付されている受信メールを表示する(☞P.218の操作１～４)

- 送信メールでも操作できます。

2 ◯でファイルを選んで、確認する

確認する		⦿ ● 添付ファイルが表示または再生されます。 ● JPEG画像の場合は、画像表示画面で📱(IrSS)を押すと、高速赤外線通信でIrSS™機能対応機器に送信できます。
保存する	静止画／イメージ、PDFデータ	📷→[添付ファイル]→[保存]→[はい]→フォルダを選んで📷
	動画／ｉモーション、メロディ	📷→[添付ファイル]→[保存]→[はい]→[本体]／[microSD]
	電話帳	📷→[添付ファイル]→[保存]→[はい] ● microSDメモリーカードに保存されます。 ● 電話帳を表示してから保存するとき：⦿→⦿(登録)→[本体へ登録]／[microSDへ保存] ● 複数件１ファイル形式の場合、１件目のデータのみ確認・登録できます。
	スケジュール、ブックマーク	📷→[添付ファイル]→[保存]→[はい] ● microSDメモリーカードに保存されます。 ● 添付ファイルを表示してから保存するとき：⦿→⦿(登録)→[本体へ登録]／[microSDへ保存] ● 複数件１ファイル形式の場合、１件目のデータのみ確認・登録できます。
	トルカ	📷→[添付ファイル]→[保存]→[はい]→[本体]／[microSD] ● トルカを表示してから保存するとき：⦿→ⓘ(保存)(トルカの場合)／⦿(保存)(トルカ(詳細)の場合)→[はい]→[本体]／[microSD]
	ドキュメントファイル	📷→[添付ファイル]→[保存]→[はい] ● microSDメモリーカードに保存されます。
	その他のファイル	📷→[添付ファイル]→[保存]→[はい] ● FOMA端末で識別できないその他のファイルの場合、電子書籍などの場合は、添付ファイルの確認およびFOMA端末(本体)への登録はできません。microSDメモリーカードに保存されます。
削除する		📷→[添付ファイル]→[メールから削除]→[はい]

お知らせ

- ｉモードメールに添付された画像は、正しく表示されないことがあります。また、以下の画像の場合は受信しても表示されない場合があります。
  - 縦または横が2640ドット以上、かつ画像面積が5200000ドット(縦×横)以上のJPEG画像
  - 縦または横が2048ドット以上、かつ画像面積が4194304ドット(縦×横)以上のGIF画像

  画像については、P.312「保存した画像を表示する」を参照してください。
- メモリが不足している場合、残容量より大きい添付ファイルを取得すると、保護されていない既読の受信メールが削除される場合があります。
- ｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要です(☞P.481「動画再生ソフトのご紹介」)。詳しくは、ドコモのホームページを参照してください。
- 100Kバイトを超えるメロディやFlash画像は再生できません。
- その他のファイルをmicroSDメモリーカードに保存した場合、ファイル名は「OTHER001」～「OTHER999」に変更されます。

本文中画像確認

デコメールに挿入された画像を確認・保存する

- デコメ絵文字も確認・保存できます。
- 画像は、データBOXのマイピクチャの[ｉモード]フォルダまたは[デコメピクチャ]フォルダ、microSDメモリーカードの[その他の静止画]フォルダに保存できます。デコメ絵文字は、データBOXのマイピクチャの[デコメ絵文字]フォルダに保存されます。

1 画像が挿入されている受信メール表示画面(☞P.226)で📷▶[本文中画像確認]

- 送信メール表示画面でも操作できます。

2 ◯で画像を選んで確認する

確認する	⦿
保存する	ⓘ→[はい]→フォルダを選んで📷 ● デコメ絵文字のとき：ⓘ→[はい]

お知らせ

- 添付された画像は、添付ファイルで確認・保存を行ってください。

メール

テンプレート保存

デコメールをテンプレートとして保存する

- メモリが不足している場合、テンプレートを保存できません。不要なテンプレートを選択削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください(☞P.214)。
- 保存したテンプレートは、メールメニューの[テンプレート]に保存されます。

1 受信したデコメールを表示する(☞P.218の操作1～4)▶[カメラ]▶[登録／保存]▶[テンプレート保存]▶[はい]

- 送信メールでも操作できます。

お知らせ

- 保存したテンプレートには、自動的に保存日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
例:2007年12月25日午後1時5分7秒に保存した場合→[071225_130507]
- 受信したデコメールに添付ファイルがあっても、添付ファイルなしで保存されます。
- 挿入画像がファイル制限されている場合、画像は削除して保存されます。

受信BOX／送信BOX／未送信BOX

受信／送信メールBOXのメールを表示する

受信、送信、未送信のｉモードメールやSMSを確認できます。

- ｉモードメールとSMSの両方が、受信BOXや送信BOXに保存されます。
- 受信メール、送信メール、未送信メールはｉモードメールとSMSを合わせて下記件数まで保存されます。メールのサイズによっては、保存できる件数が異なります。

受信メール	最大1000件
送信メール	最大500件
未送信メール	最大500件

- 受信／送信／未送信のｉモードメールとSMSは、フォルダで管理できます。FOMA端末(本体)には、自分でフォルダを作成できます。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードのそれぞれに[送信トレイ]、[受信トレイ]フォルダがあります。[送信トレイ]フォルダには、FOMA端末(本体)とFOMAカードの[送信トレイ]の送信メールが混在して表示されます。[受信トレイ]フォルダも同様です。

例:受信メールの場合

1 待受画面で[メール]▶[受信BOX]

- 未読のｉモードメールまたはSMSがある場合、そのフォルダはピンク色で表示されます。
- 送信メールを確認するときは、待受画面で[メール]を押して[送信BOX]を選択します。
- 未送信メールを確認するときは、待受画面で[メール]を押して[未送信BOX]を選択します。
- 受信／送信BOX一覧画面または受信／送信メール一覧画面で[iモード]を押すと、受信BOXと送信BOXを切り替えることができます。
- すべての受信／送信／未送信メールを一覧表示するときは、受信／送信／未送信BOX一覧画面で[メニュー](全表示)を押します。

2 フォルダを選択▶ｉモードメール／SMSを選択

- メール連動型ｉアプリフォルダのメールを表示するときは、フォルダを選んで[カメラ]を押して[ｉモードメール閲覧]を選択してから、ｉモードメールを選択します。

受信トレイ 07/12/25 15:10 携帯花子 すい星が来ます
すい星は明日12時ごろ地球へ接近する予定です。きっときれいですよ。
-END-

メール表示画面

表示を終了する	[終話]
他のメールを確認する	[CLR]→メール一覧画面でメールを選び直す
表示中の受信／送信メールのアドレスや題名、本文をコピーする	[カメラ]→[移動／コピー]→[コピー]→項目を選択
全画面表示する	[カメラ]→[全画面モード切替](または、[メニュー]を1秒以上押す) ● 戻るとき:[1]～[9]、[0]、[＊]、[#]、[決定]、[メニュー]、[カメラ]、[CLR]

お知らせ

メール表示画面での画面操作

画面を上下にスクロールする	下:[下] 上:[上]
1画面単位でスクロールする	下:[iモード] 上:[メール]
前後のメッセージ内容を表示する	次:[右] 前:[左]

関連操作

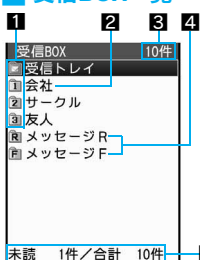
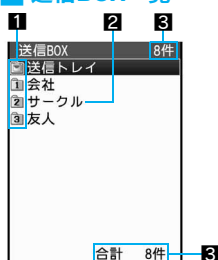
メール表示画面から電話をかける<電話発信>

1 受信／送信メール表示画面で[カメラ]▶[電話発信]
2 音声電話をかけるときは[決定]▶[はい]
- テレビ電話をかけるとき:[メニュー]▶[はい]
- プッシュトーク発信するとき:[メール]▶[はい]

関連操作のお知らせ

- メールやSMSの送信元／宛先に、電話帳に登録している名前が表示されている場合、その電話帳に電話番号が登録されているときに発信できます。

BOX一覧画面の見かた

受信BOX一覧

送信BOX一覧

未送信BOX一覧

1 フォルダマーク

受信BOX一覧の場合、未読メールが保存されると、ピンク色で表示されます。

	作成されたフォルダ ● 0～9のフォルダの場合、0～9を押すと、対応するフォルダのメール一覧画面が表示されます。
	メール連動型ｉアプリのフォルダ

2 フォルダ名

3 総保存件数

画面右上に、各BOX内の総保存件数が表示されます。画面右下には、選んだフォルダ内の保存件数が表示されます。受信BOXでは、画面左下に、選んだフォルダ内の未読メールの件数も表示されます。

- 総保存件数にはメッセージR／Fの件数も含まれます。

4 メッセージR／F用フォルダ

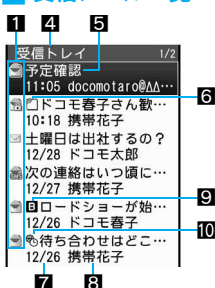
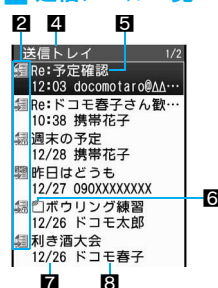
	メッセージRが保存されます。
	メッセージFが保存されます。

お知らせ

- メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作成されたメールフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。なお、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダの削除はできません。
- FOMAカードへのコピーについては、P.245を参照してください。
- microSDメモリーカードへのコピーについては、P.340を参照してください。

お知らせ

- FOMA端末（本体）のｉモードメールやSMSを赤外線通信やｉC通信で送受信できます。

メール一覧画面／表示画面の見かた

受信メール一覧　送信メール一覧

未送信メール一覧

- プレビュー表示が［OFF］の画面です。

1 受信メールの種類

［受信トレイ］フォルダの場合、FOMA端末（本体）とFOMAカード両方の［受信トレイ］内のｉモードメールとSMSが混在表示されます。

- 未読メールを選んで☒（既読）を押すと、メール表示画面を表示せずに、既読メールにすることができます。

	未読ｉモードメール		未読ｉモードメール（保護有）
	既読ｉモードメール		既読ｉモードメール（保護有）
	未読SMS		未読SMS（保護有）
	既読SMS		既読SMS（保護有）
	メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール		メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール（保護有）
	メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール		メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール（保護有）
	返信済みｉモードメール		返信済みｉモードメール（保護有）
	転送済みｉモードメール		転送済みｉモードメール（保護有）
	FOMAカード未読SMS		FOMAカード既読SMS

メール

	未読エリアメール		メール連動型ｉアプリでの未読エリアメール
	既読エリアメール		メール連動型ｉアプリでの既読エリアメール
	転送済みエリアメール		転送済みメール連動型ｉアプリでのエリアメール

2 送信メールの種類
[送信トレイ]フォルダの場合、FOMA端末(本体)とFOMAカード両方の[送信トレイ]内のｉモードメールとSMSが混在表示されます。

	送信済みｉモードメール		送信済みｉモードメール(保護有)
	送信済みSMS		送信済みSMS(保護有)
	メール連動型ｉアプリでの送信済みｉモードメール		メール連動型ｉアプリでの送信済みｉモードメール(保護有)
	FOMAカード送信済みSMS		

3 未送信メールの種類

	未送信ｉモードメール		未送信ｉモードメール(保護有)
	未送信SMS		未送信SMS(保護有)
	送信予約されているｉモードメール		送信予約されているｉモードメール(保護有)
	自動送信に失敗したｉモードメール		自動送信に失敗したｉモードメール(保護有)

4 フォルダ名

5 題名
先頭から全角10文字(半角21文字)まで表示されます。全角10文字(半角21文字)を超える場合は、全角９文字(半角19文字)まで表示され、以降は「…」の表示となります。
題名のないメールは[無題]と表示されます。

6 データが付いているとき

	GIF画像、JPEG画像、Flash画像		Wordファイル
	メロディ		Excelファイル
	ｉアプリToの情報		PowerPointファイル
	動画／ｉモーション		Textファイル
	トルカ・トルカ(詳細)		BMPファイル
	PDFデータ		PNGファイル
	電話帳		表示できないデータ
	スケジュール		電子書籍／電子辞書／電子コミック

	未取得のvCalendar		添付ファイル複数あり
	Bookmark		

7 受信日時(受信メール)／送信日時(送信メール)／保存日時(未送信メール)
当日の場合は時間、当日以外の場合は日付が表示されます。

8 送信元／宛先(送信先)
受信SMSの場合は、相手によって、次のように表示されます。
- 相手の電話番号が通知され、かつ電話帳に登録されている場合 ……電話帳に登録されている名前
- 相手の電話番号が通知され、電話帳に登録されていない場合 .[090(または080など)XXXXXXXX]
- 相手の電話番号が非通知の場合 ….[非通知設定]
- 相手が公衆電話を利用して送信した場合 ………………………………[公衆電話]

エリアメールの送信元は、[エリアメール]と表示されます。

9 2in1のモード種別
2in1のモードが[デュアルモード]のときに表示されます。

B	Bアドレス宛のメール／Bナンバー宛のSMS

10 時差補正

	海外などで日時が時差補正されているメール

受信メール表示　　送信メール表示

1 フォルダ名
文字サイズ設定により表示文字数が異なります。
最大　　　：全角３文字(半角７文字)
大きい　　：全角５文字(半角11文字)
標準　　　：全角７文字(半角14文字)
小さい／最小：全角９文字(半角18文字)

2 保護マーク
保護されているときに表示されます。

3 受信種別※
受信種別(To／Cc／Bcc)が表示されます。

4 受信日時※
ｉモードセンターまたはSMSセンターで受信した日時が表示されます。

5 送信日時

6 送信元※

送信種別(To／Cc)は同報が設定されている場合に表示されます。

TO ×←	Toに指定されていたアドレスが返信不可の場合(50文字を超える場合など)
CC ×←	Ccに指定されていたアドレスが返信不可の場合(50文字を超える場合など)

7 宛先(送信先)

メールの宛先(送信先)と送信種別(To／Cc／Bcc)が表示されます。

8 題名※

9 本文

文末には[- END -]が表示されます。また、受信可能文字数を超えた場合、[/]または[//]が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。

10 添付種別マーク／ファイル名

	GIF画像、JPEG画像、Flash画像		BMPファイル
	メロディ		PNGファイル
	動画／iモーション		表示できないデータ
	トルカ・トルカ(詳細)		電子書籍／電子辞書／電子コミック
	PDFデータ		未取得の選択受信添付ファイル
	電話帳		取得途中の選択受信添付ファイル
	スケジュール		取得不可の選択受信添付ファイル
	Bookmark		貼り付けデータ不正／削除済みの添付ファイル
	Wordファイル		
	Excelファイル		FOMAカード動作制限機能が設定されているファイル
	PowerPointファイル		
	Textファイル		

※ 2in1のBアドレス宛のメールの場合は、受信種別やアイコンの色が緑色で表示されます(受信日時[ ]、送信元[ ]／[ ](返信・転送できないメール)、題名[Sub])。

画面操作については、P.224「メール表示画面での画面操作」を参照してください。

- 宛先または送信元のメールアドレスが電話帳に登録されているときは、相手の名前が宛先または送信元の欄に表示されます。電話帳に登録されていない場合、電話番号またはメールアドレスが表示されます。ただし、電話帳の機能別ロック中や、電話帳がシークレット登録(☞P.116)されている場合、名前は表示されません。シークレット登録した電話帳の名前を表示させるには、シークレットモード(☞P.149)を[ON]に設定してください。
- 受信メールまたは送信メールの場合、画像が添付されているときは、画像が表示されます。

メールをお預かりセンターに保存する <お預かりセンターに保存>

- FOMA端末に保存されているｉモードメールやSMSを保存できます。
- 本文サイズが10000バイト、または挿入画像の合計が90Kバイトを超えるメールは、保存／更新できません。
- 選択保存するときは、最大10件まで選択できます。
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 保存したメールの復元などの利用方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

1 受信／送信／未送信メール一覧画面(☞P.225)でメールを選んで[MENU]▶[お預かりセンターに保存]

- 受信／送信メール表示画面のときは、[MENU]を押し、[お預かりセンターに保存]→[はい]を選択し、端末暗証番号を入力して⦿を押します。

2 メールを保存する

1件保存する	[1件保存]→[はい]→端末暗証番号を入力して⦿
複数のメールをまとめて保存する	[選択保存]→メールを選択(くり返し可)→[MENU]→[はい]→端末暗証番号を入力して⦿ ● フォルダ内のメール件数が10件以下のときは、[i](全選択)／[i](全解除)を押して、すべてを選択／解除できます。

お知らせ

- 添付ファイルは保存できません。
- SMS送達通知は保存できません。
- お預かりセンターへ保存したときの通信履歴は、通信履歴表示で確認できます(☞P.117)。

フォルダを管理する

受信／送信／未送信のｉモードメールやSMSは、フォルダに分けて管理したり、削除や表示順番を並べ替えることができます。

- フォルダは、それぞれ最大20個([受信トレイ]、[送信トレイ]、[未送信トレイ]、[メッセージR]、[メッセージF]、メール連動型ｉアプリフォルダを含まず)作成することができ、フォルダ名を編集したり、削除できます。ただし、[受信トレイ]、[送信トレイ]、[未送信トレイ]、[メッセージR]、[メッセージF]、メール連動型ｉアプリフォルダは名前を編集したり、削除したりできません。

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

1 受信／送信／未送信BOX一覧画面(☞P.225)で[MENU]▶[フォルダ管理]

2 [フォルダ新規作成]▶フォルダ名を入力して⦿

- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、フォルダ名編集画面で[CLR]を1秒以上押します。

次ページへ続く

お知らせ

- FOMAカードにはフォルダを作成できません。
- フォルダ名は最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

1 **受信／送信／未送信BOX一覧画面(☞P.225)でフォルダを選んで[カメラ]▶[フォルダ管理]**

2 **[フォルダ名編集]▶フォルダ名を編集して◉**

- フォルダ名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

フォルダの表示順を上／下に移動する<フォルダ移動(↑)／フォルダ移動(↓)>

1 **受信／送信／未送信BOX一覧画面(☞P.225)でフォルダを選んで[カメラ]▶[フォルダ管理]**

2 **[フォルダ移動(↑)]／[フォルダ移動(↓)]**

お知らせ

- [受信トレイ]、[送信トレイ]、[未送信トレイ]の位置は変更できません。

フォルダのセキュリティを設定する<フォルダセキュリティ>

1 **受信／送信／未送信BOX一覧画面(☞P.225)でフォルダを選んで[カメラ]▶[フォルダ管理]**

2 **[フォルダセキュリティ]▶端末暗証番号を入力して◉**

3 **[ON]／[OFF]**

お知らせ

- フォルダセキュリティを[ON]に設定すると、フォルダのマークが[ ]に変わります。
  また、メール一覧を表示するときに端末暗証番号の入力が必要になります。
- フォルダセキュリティを設定した場合、受信／送信／未送信BOX一覧画面で[i](全表示)を押してすべてのメール一覧を表示するときに端末暗証番号の入力が必要になります。
- [メッセージR]、[メッセージF]は、フォルダセキュリティを設定できません。

フォルダを削除する

削除方法	説　明	操作できる画面
フォルダ1件削除	フォルダを1件ずつ削除します。	受信／送信／未送信BOX一覧画面
フォルダ選択削除	複数のフォルダをまとめて削除します。	
既読全件削除(受信メール)	[受信トレイ]を含む全フォルダ内の保護されていないすべての既読iモードメール／SMSを削除します。	受信BOX一覧画面
未読全件削除(受信メール)	[受信トレイ]を含む全フォルダ内の保護されていないすべての未読iモードメール／SMSを削除します。	
全削除(フォルダ残)	保護されていないすべてのiモードメール／SMSを削除します。フォルダは残します。	受信／送信／未送信BOX一覧画面
全削除(フォルダ消)	すべてのフォルダと、保護されていないすべてのiモードメール／SMSを削除します。	

作成したフォルダを削除する<削除>

1 受信／送信／未送信BOX一覧画面でフォルダを選んで[カメラ]▶[削除]
2 [フォルダ1件削除]
- フォルダを選んで削除するとき：[フォルダ選択削除]▶フォルダを選択(くり返し可)▶[カメラ]
3 端末暗証番号を入力して◉▶[はい]

すべてのメールを削除する<全件削除>

1 受信／送信／未送信BOX一覧画面で[カメラ]▶[削除]
2 [既読全件削除]／[未読全件削除]／[全削除(フォルダ残)]／[全削除(フォルダ消)]
3 端末暗証番号を入力して◉▶[はい]

お知らせ

- FOMAカード内のSMSは削除されません。
- メールが保存されているフォルダも削除できます。
- 保護されているメールは削除できません。
- [フォルダ1件削除]または[フォルダ選択削除]を行った場合、フォルダに保存されているメールも削除されます。ただし、保護されているメールがあるときは、フォルダおよびフォルダに保存されているメールは削除できません。
- [全削除(フォルダ消)]を選択した場合、保護されていないiモードメールやSMSは削除されますが、保護されているiモードメールやSMSは削除されません。保護されているiモードメールやSMSが保存されているフォルダは残ります。

お知らせ

- メール連動型ｉアプリフォルダに対応したソフトがある場合、フォルダを削除できません。ソフトを削除してからフォルダを削除してください。また、対応したソフトがない場合、フォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOX一覧内に作成されたメール連動型ｉアプリフォルダのうち、いずれかを削除すると、他のメール連動型ｉアプリフォルダもすべて削除されます。
- フォルダ選択削除の場合、すべてを選択／解除するときは、(全選択)／(全解除)を押します。
- フォルダを削除した場合、2in1のAアドレス宛／Aナンバー宛のｉモードメール／SMS、およびBアドレス宛／Bナンバー宛のｉモードメール／SMSの両方が削除されます。
- 既読全件削除、未読全件削除、全削除(フォルダ残／フォルダ消)を行っても、メッセージR／Fは削除されません。

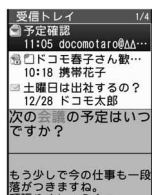
メールを管理する

メール一覧画面に本文を表示する <プレビュー表示>

- 受信BOX、送信BOX、未送信BOXについて、それぞれ設定できます。
- マルチウインドウのときは、プレビュー表示されません。

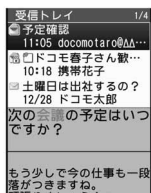
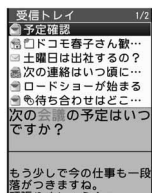
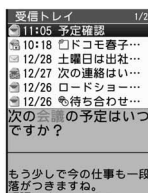
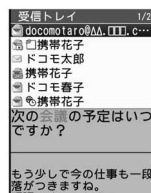
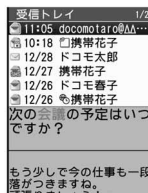
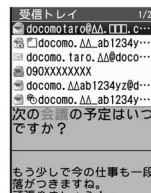
1 **受信／送信／未送信メール一覧画面(☞P.225)で ▶ [表示設定] ▶ [プレビュー表示] ▶ [ON]**

- 1(小さくする)／3(大きくする)を押すと、本文の文字サイズを切り替えることができます。

[OFF]の場合

[ON]の場合

メールの表示を切り替える <一覧表示>

メール一覧画面で以下の6通りの表示に切り替えることができます。

- 受信BOX、送信BOX、未送信BOXについて、それぞれの表示方法を設定できます。

2行表示

題名表示※1

日時＋題名表示※1

名前表示※2

日時＋名前表示※2

アドレス表示※3

※1 SMSは本文先頭文字を表示します。
※2 電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスまたは電話番号を表示します。
※3 SMSは電話番号を表示します。

1 **受信／送信／未送信メール一覧画面(☞P.225)で ▶ [表示設定]**

2 **[一覧表示] ▶ 表示方法を選択**

表示方法	2行表示	名前表示
	題名表示	日時＋名前表示
	日時＋題名表示	アドレス表示

受信メールの差出人のアドレスを表示する <アドレス確認>

1 **受信メール一覧画面(☞P.225)でメールを選んで ▶ [表示設定] ▶ [アドレス確認]**

メールを並べ替える <ソート>

メールの表示方法

日付順(新→旧)	受信／送信／保存した日時が新しい順
日付順(旧→新)	受信／送信／保存した日時が古い順
アドレス順	相手のメールアドレスによって、数字→英字大文字→英字小文字の順
題名順	題名によって、半角文字(記号→数字→英字大文字→英字小文字)→全角文字(ひらがな→カタカナ→漢字→絵文字→数字→英字大文字→英字小文字)→半角カタカナの順(各文字種類内では、文字コード順)
保護メール優先※	保護メール→通常のメールの順
添付ありメール優先※	添付ありメール→添付なしメールの順
サイズ順(大→小)	サイズ(添付ファイルを含む)の大きい順
サイズ順(小→大)	サイズ(添付ファイルを含む)の小さい順

※ 各項目内は「日付(新→旧)」の順で表示されます。

次ページへ続く

1 受信／送信／未送信メール一覧画面(☞P.225)で[MENU]▶[表示設定]

2 [ソート]▶ソート方法を選択

お知らせ

- [受信トレイ]、[送信トレイ]の場合、iモードメール、FOMA端末(本体)のSMS、FOMAカードのSMSのすべてがソートされます。
- サイズ順でのソートの場合、先にiモードメールとFOMA端末(本体)内のSMSの並べ替えを行い、その次にFOMAカード内のSMSのみで並べ替えを行います。
- メール一覧以外の画面を表示すると、変更した表示方法は、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、表示方法を変更した状態でメール表示画面を確認したあと、[CLR]を押したり、[1件移動]または[1件削除]してメール一覧画面に戻った場合は、変更した状態が保持されます。

メールを題名で検索する<題名検索>

iモードメールを題名に含まれる文字列で検索します。

1 受信／送信／未送信メール一覧画面(☞P.225)で[MENU]▶[題名検索]

2 文字列を入力して[●]

- 最大全角15文字(半角30文字)まで入力できます。
- 検索結果が表示されます。メールを選択すると、メールを確認できます。検索結果に戻るときは[CLR]を押します。

メールを別のフォルダに移動する<移動>

1 受信／送信／未送信メール一覧画面(☞P.225)でメールを選んで[MENU]▶[移動／コピー]

2 [移動]▶移動方法を選択

1件移動する	[1件移動]→フォルダを選択
フォルダ内で複数をまとめて移動する	[選択移動]→メールを選択(くり返し可)→[MENU]→フォルダを選択
フォルダ内のすべてを移動する	[フォルダ内全件移動]→フォルダを選択

メール表示画面で別のフォルダに移動する<1件移動>

1 受信／送信メール表示画面(☞P.226)で[MENU]▶[移動／コピー]

2 [1件移動]▶フォルダを選択

お知らせ

- FOMAカード内のSMSはFOMAカード内では移動できません。
- 選択移動の場合、選択できるのは最大50件までです。フォルダ内のメール件数が50件以下のときは、[i](全選択)／[i](全解除)を押して、すべてを選択／解除できます。
- メール連動型iアプリをダウンロードするときに自動的に作成されるフォルダに、すでに受信しているiアプリメールを手動で振り分けることもできます。
- フォルダ内全件移動を行った場合、2in1のAアドレス宛／Aナンバー宛のiモードメール／SMS、およびBアドレス宛／Bナンバー宛のiモードメール／SMSの両方が移動します。

メールを保護する<保護>

1 受信／送信／未送信メール一覧画面(☞P.225)でメールを選んで[MENU]▶[保護]

- 受信／送信メール表示画面のときは、[MENU]を押し[保護]→[ON]を選択し、表示しているメールを保護します。

2 保護／解除方法を選択

1件保護する	[保護]→[1件保護]
複数をまとめて保護する	[保護]→[選択保護]→メールを選択(くり返し可)→[MENU]
フォルダ内のすべてを保護する	[保護]→[フォルダ内全件保護]
1件解除する	[解除]→[1件解除]
複数をまとめて解除する	[解除]→[選択解除]→メールを選択(くり返し可)→[MENU]
フォルダ内のすべてを解除する	[解除]→[フォルダ内全件解除]

お知らせ

- エリアメールは保護できません。
- FOMAカード内のSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードにコピーすると、保護は解除されます。
- 複数をまとめて保護／解除する場合、選択できるのは最大50件までです。フォルダ内のメール件数(解除の場合は、保護メールの件数)が50件以下のときは、[i](全選択)／[i](全解除)を押して、すべてを選択／解除できます。
- フォルダ内全件保護またはフォルダ内全件解除を行った場合、2in1のAアドレス宛／Aナンバー宛のiモードメール／SMS、およびBアドレス宛／Bナンバー宛のiモードメール／SMSの両方が保護／解除されます。

■ メールを削除する<削除>

メールの削除方法

削除方法	説　明	操作できる画面
1件削除	iモードメール／SMSを1件ずつ削除します。	受信／送信／未送信メール一覧画面 受信／送信メール表示画面
選択削除	保護されていない複数のiモードメール／SMSをまとめて削除します。	受信／送信／未送信メール一覧画面
フォルダ内全件削除	フォルダ内の保護されていないすべてのiモードメール／SMSを削除します。	受信／送信／未送信メール一覧画面
フォルダ内既読削除（受信メール）	フォルダ内の保護されていないすべての既読iモードメール／SMSを削除します。	受信メール一覧画面
フォルダ内未読削除（受信メール）	フォルダ内の保護されていないすべての未読iモードメール／SMSを削除します。	受信メール一覧画面

メールを1件ずつ削除する<1件削除>

1 受信／送信メール表示画面で📷▶［1件削除］
2 ［はい］

メール一覧画面から1件ずつ削除する<1件削除>

受信／送信／未送信メール一覧画面でメールを選んで📷▶［削除］▶［1件削除］▶［はい］

メール一覧画面からすべてのメールを削除する<フォルダ内全件削除>

1 受信／送信／未送信メール一覧画面で📷▶［削除］
2 ［フォルダ内全件削除］
- 既読メールを全件削除するとき：［フォルダ内既読削除］
- 未読メールを全件削除するとき：［フォルダ内未読削除］

3 端末暗証番号を入力して⦿▶［はい］

メールを選んで削除する<選択削除>

1 受信／送信／未送信メール一覧画面で📷▶［削除］
2 ［選択削除］
3 メールを選択（くり返し可）▶📷▶［はい］

iアプリフォルダ内のメールを削除する<削除>

1 受信／送信／未送信BOX一覧画面でiアプリフォルダを選んで📷▶［iモードメール閲覧］
2 1件削除のときは、メールを選んで📷▶［削除］
3 ［1件削除］▶［はい］
- フォルダ内の受信／送信／未送信メールをすべて削除するとき：［フォルダ内全件削除］▶端末暗証番号を入力して⦿▶［はい］
- 既読メールを削除するとき：［フォルダ内既読削除］▶端末暗証番号を入力して⦿▶［はい］
- 未読メールを削除するとき：［フォルダ内未読削除］▶端末暗証番号を入力して⦿▶［はい］
- メールを選んで削除するとき：［選択削除］▶メールを選択（くり返し可）▶📷▶［はい］

お知らせ

- メール一覧画面からは、FOMAカード内のメールを選択して削除できます。
- 選択削除の場合、選択できるのは最大50件までです。フォルダ内のメール件数が50件以下のときは、i（全選択）／i（全解除）を押して、すべてを選択／解除できます。
- iアプリのソフトによっては、フォルダ内からiアプリメールが自動的に削除されることがあります。
- 全件削除を行った場合、2in1のAアドレス宛／Aナンバー宛のiモードメール／SMS、およびBアドレス宛／Bナンバー宛のiモードメール／SMSの両方が削除されます。

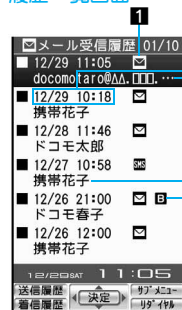
メール受信履歴・メール送信履歴

メールの履歴を利用する

FOMA端末は、送受信したメール（iモードメール、SMS）の履歴を、最新のものから受信／送信それぞれ30件まで記憶しています。これらの履歴を利用して、メールを送信したり、音声電話や、テレビ電話をかけたり、相手のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

- 記憶できる件数を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。
- 同じ相手と複数回送受信したときは、それぞれ別の履歴として記憶されます。
- 同報送信したメールアドレスは履歴に記憶されません。送信メール表示画面で、送信に成功した宛先を確認することができます（☞P.226）。
- メールアドレスは最大半角50文字まで表示されます。
- エリアメールは受信履歴として記憶されません。

■ メール受信／送信履歴一覧・詳細画面の見かた

ここでは、受信メールで説明しています。

1 履歴の種類

✉	iモードメール
SMS	SMS
✉×	返信できないメールまたは発信者番号非通知のSMS（メール受信履歴）／送信を失敗したメール（メール送信履歴）

メール

2 受信日時(メール受信履歴)/送信日時(メール送信履歴)

⊕	海外などで日時が時差補正されたときに表示(iモードメール受信時は表示されません)

3 相手のメールアドレスまたは電話番号

4 相手の名前
電話帳に同じメールアドレスや電話番号が登録されているときに表示されます。

5 2in1のモード種別
2in1のモードが[デュアルモード]のときに表示されます。

B	Bアドレス宛のメール/Bナンバー宛のSMS

6 履歴番号
受信日時/送信日時が新しい順に番号が表示されます。

お知らせ

- メール受信履歴、メール送信履歴を表示しないように設定できます(☞P.149)。

メール受信履歴/メール送信履歴を利用してメールを送信する

1 待受画面で◯(→□)▶✉(受信履歴)

- 画面右上に表示される数字が小さいほど、新しく受信したものです。
- メール受信履歴表示を[OFF]に設定しているときには、[メール受信履歴表示OFF設定中]と表示されます。
- メール送信履歴を利用してメールを送信するときは、待受画面で◯(□)を押して✉(送信履歴)を押します。メール送信履歴表示を[OFF]に設定しているときには、[メール送信履歴表示OFF設定中]と表示されます。

2 履歴を選択

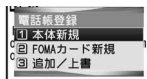
- 確認を終わるときは、⊡を押します。

3 ⦿(メール)

- iモードメールの履歴を選んで操作した場合は、iモードメール作成画面が表示されます。宛先欄には、相手のメールアドレスが入力されています。以降の操作については、P.209の操作3～4を参照してください。
- SMSの履歴を選んで操作した場合は、SMS作成画面が表示されます。宛先欄には、相手の電話番号が入力されています。以降の操作については、P.242の操作3～4を参照してください。

メール受信履歴/メール送信履歴のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する

1 メール受信/メール送信履歴一覧画面(☞P.231)で、履歴を選択▶📷▶[電話帳登録]

- メール受信/メール送信履歴一覧画面で、履歴を選んで📷を押して[電話帳登録]を選択しても操作できます。
- iモードメールの履歴を選んで操作を行うと、電話帳にメールアドレスが登録されます。
- SMSの履歴を選んで操作を行うと、電話帳に電話番号が登録されます。

2 登録方法を選択

登録方法	本体新規	追加/上書※
	FOMAカード新規	

※ 追加/上書きする名前を選択します。

- 電話帳入力画面に、メールアドレスまたは電話番号が入力されています。電話帳登録の操作を続けます(☞P.102、P.107)。

メールの履歴を削除する<削除>

1 メール受信/メール送信履歴一覧画面(☞P.231)で、履歴を選んで📷▶[削除]

2 削除方法を選択

1件削除する	[1件削除]→[はい]
すべてを削除する	[全件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]

お知らせ

- 全件削除を行った場合、2in1のAアドレス宛/Aナンバー宛のiモードメール/SMS、およびBアドレス宛/Bナンバー宛のiモードメール/SMSの両方の受信履歴が削除されます。

関連操作

メールの履歴から電話をかける<電話発信>

1 メール受信/メール送信履歴一覧画面で履歴を選んで📷▶[電話発信]
2 音声電話をかけるときは⦿▶[はい]
- テレビ電話をかけるとき:▣▶[はい]
- プッシュトーク発信するとき:✉▶[はい]

関連操作のお知らせ

- メールやSMSの送信元/宛先に、電話帳に登録している名前が表示されている場合、その電話帳に電話番号が登録されているときに発信できます。

メール

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

メールの文字サイズを切り替える＜文字サイズ設定＞

ディスプレイに表示されるｉモードメールやSMSの文字の大きさを設定できます。

1 待受画面で[メール] ▶［メール設定］▶［文字サイズ設定］▶項目を選択

項目	表示画面	文字入力画面

2 文字サイズを選択

文字サイズ	最大	標準	最小※
	大きい	小さい	

※［表示画面］を選択したときのみ表示されます。

関連操作

メール表示画面でワンタッチで文字サイズを切り替える
　文字を小さくするときは[1]
　文字を大きくするときは[3]

メール表示画面でサブメニューから文字サイズを切り替える＜文字サイズ設定＞
1 受信／送信メール表示画面で[i] ▶［文字サイズ設定］
2 文字サイズを選択

メールを自動的にフォルダに振り分ける＜振分け条件設定＞

フォルダに振分け条件を設定すると、条件に合ったｉモードメールやSMSを自動的に振り分けることができます。

- ［受信トレイ］や［送信トレイ］、［未送信BOX］、［メッセージR］、［メッセージF］のフォルダに振分け条件を設定することはできません。
- SMSをFOMAカードへ振り分けることはできません。
- 受信／送信BOXで、それぞれ最大25個（ｉアプリフォルダを含む）まで振り分けができ、1つのフォルダに最大10件まで振分け条件を設定できます。
- 通常のメールを、メール連動型ｉアプリフォルダに振り分けることもできます。このとき、メール連動型ｉアプリの振分け条件が優先されます。

振分け条件について

振分け条件として設定できるのは、次の6つです。

条件	説明
アドレス（差出人）	差出人のメールアドレスで振り分けます（受信メールのみ）。
アドレス（差出人／同報）／アドレス（送信先／同報）	受信メールはFrom、To、Cc、送信メールはTo、Cc、Bccのアドレスが振分け条件の対象となり、画面上で上にあるフォルダから優先的に振り分けられます。
グループ	FOMA端末（本体）電話帳に設定されているグループで振り分けます。
題名	題名に含まれている文字列で振り分けます。
電話帳登録なし	FOMA端末（本体）電話帳に登録されていない相手からのメールを振り分けます。送信メールの場合、電話帳未登録のアドレスが送信先／同報に1件でも存在すると指定フォルダに振り分けます。
すべての受信（送信）メール	すべての受信メール（または送信メール）を振り分けます。

- 複数のフォルダの振分け条件に合致した場合、［フォルダ1］が最も優先順位が高く、一番下に表示されているフォルダが最も優先順位が低くなります。
- シークレット登録した電話帳データは、登録されていないのと同じ扱いになります。［グループ］では振分け対象外になり、［電話帳登録なし］では振分け対象になりますので、ご注意ください。［グループ］の対象にするには、シークレットモードを［ON］に設定してください。
- 指定したメールアドレスのメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します（最大半角50文字）。ただし、送信元がｉモード端末（mova含む）のアドレスの場合、「@docomo.ne.jp」は省略できます。また、電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。
- 電話帳の機能別ロック中は、［グループ］と［電話帳登録なし］は振り分け対象外となりますので、ご注意ください。
- FOMAカード電話帳に登録してある相手からのメールは、［電話帳登録なし］のメールとして振り分けられます。
- ｉアプリメールは振分け条件に関係なく、対応するメール連動型ｉアプリフォルダに振り分けられます。
- 2in1利用中にメール振分け条件を設定する場合は、［アドレス（差出人）］／［アドレス（差出人／同報）／アドレス（送信先／同報）］／［題名］／［すべての受信（送信）メール］の条件でご利用ください。

フォルダに振分け条件を設定する

1 受信／送信BOX一覧画面（☞P.225）でフォルダを選んで[i] ▶［振分け条件設定］

- 上にあるフォルダに設定されている条件ほど優先度が高くなります。

2 登録先番号を選択 ▶ 振分け条件を設定する

- 設定済みの番号を選択すると、振分け条件を編集できます。振分け条件を選び直して[●]を押し、［はい］を選択します。
- メール連動型ｉアプリフォルダに設定するときは、［メールはソフトで利用されます。設定しますか？］と表示されます。［はい］を選択し、振分け条件を設定します。［いいえ］を選択すると、操作1の画面に戻ります。

メール

次ページへ続く

受信メールを差出人のメールアドレスで振り分ける	[アドレス(差出人)]→入力方法を選択→メールアドレスを選択(または、入力して◉) ● 半角20文字分まで表示されます。
差出人または宛先と同報のメールアドレスで振り分ける	[アドレス(差出人／同報)]または[アドレス(送信先／同報)]→入力方法を選択→メールアドレスを選択(または、入力して◉) ● 半角20文字分まで表示されます。
グループで振り分ける	[グループ]→グループ名を選択 ● グループ名が表示されます。
題名に含まれる文字列で振り分ける	[題名]→文字列を入力して◉ ● 最大全角15文字(半角30文字)まで入力でき、入力した文字列の先頭から全角10文字分(半角20文字分)が表示されます。
FOMA端末(本体)の電話帳に登録していない相手からのメールを振り分ける	[電話帳登録なし]
すべての受信(送信)メールを振り分ける	[全ての受信メール]または[全ての送信メール]→[はい] ● [全ての受信(送信)メール]が[1]に設定されます。 ● [いいえ]を選択すると、指定した番号に設定されます。

3 **複数の振分け条件を設定するときは、操作 2 をくり返す**

4 **i(完了)**

設定した振分け条件を削除する

振分け条件を削除できます。

1 **受信／送信BOX一覧画面(☞P.225)でフォルダを選んで📷 ▶ [振分け条件設定]**

2 **振分け条件を選んで📷 ▶ 削除方法を選択**

1件削除する	[1件削除]→[はい]→i
全件削除する	[全件削除]→[はい]→i

iモードメールに署名を付ける ＜署名登録＞

署名を利用して自分の名前や電話番号、メールアドレスなどを伝えることができます。また、署名を装飾できます。

- iモードメール作成時に、自動的にあらかじめ署名を本文に貼り付ける(入力される)ように設定できます。
- 署名は1件のみ登録できます。
- SMSには署名を貼り付けることができません。

1 **待受画面で✉ ▶ [メール設定] ▶ [署名登録]**

- すでに署名が登録されているときは、現在登録されている署名が表示されます。

2 **署名を入力して◉ ▶ [ON]**

- 本文は全角5000文字(半角10000文字)まで、挿入画像は最大90Kバイトまで入力できます。改行[↲]も入力できます。

関連操作

署名を装飾する
待受画面で✉ ▶ [メール設定] ▶ [署名登録] ▶ P.212「装飾しながら本文を作成する」の操作3～6を参照して署名を装飾

署名を削除する
待受画面で✉ ▶ [メール設定] ▶ [署名登録] ▶ CLRを1秒以上押す ▶ ◉ ▶ [OFF]

iモード問い合わせの内容を設定する ＜iモード問い合わせ設定＞

iモード問い合わせをするかどうかを種類別(iモードメール、メッセージR／F)に設定できます。

1 **待受画面で✉ ▶ [メール設定] ▶ [iモード問い合わせ設定] ▶ 種類を選択 ▶ [ON]／[OFF]**

種類	iモードメール	メッセージF
	メッセージR	

2 **i(完了)**

iモードメールを選択して受信できるようにする＜メール選択受信設定＞

- メール選択受信設定を[ON]に設定した場合でも、iモード問い合わせを行うとすべてのメールを受信します。受信したくない場合には、お問い合わせしたい項目からiモードメールを外してご利用ください(☞P.234)。

1 **待受画面で✉ ▶ [メール選択受信] ▶ [メール選択受信設定]**

- 待受画面で✉を押し[メール設定]→[メール選択受信設定]を選択しても操作できます。

2 **[ON] ▶ [はい]**

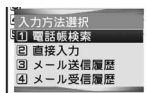
メールメンバーリストを作成する ＜メールメンバー設定＞

複数の宛先をメールメンバーに登録しておくと、簡単な操作で複数の宛先を指定できます。宛先を１件ずつ指定する同報送信の操作とは異なり、一度に複数の宛先を指定できます。

- １つのメールメンバーにつき、最大５件のメールアドレスを登録できます。
- メールメンバーは、最大10件まで登録できます。
- 通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。ただし、追加した宛先の情報量については、通信料が増えます。

■ メールメンバーにアドレスを登録する

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[メールメンバー設定]

2 登録先のメールメンバーの番号を選択▶登録先を選択

3 入力方法を選択▶メールアドレスを選択／入力して⦿

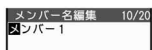
- すでに登録されている番号を選んだときは、入力方法選択画面で[直接入力]以外を選択すると、[上書きしますか？]と表示されます。[はい]を選択すると、メールアドレスを選択できます。[いいえ]を選択すると、操作３の画面に戻ります。[直接入力]を選択したときは、アドレス入力画面が表示されます。
- メールアドレスを追加して登録するときは、登録先を選択し、操作３をくり返します。

4 [i](完了)

■ メールメンバーのメンバー名を編集する

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[メールメンバー設定]▶メールメンバーを選んで📷▶[メンバー名編集]

メンバー名編集 10/20
メンバー１

- メンバー名をリセットするときは、メールメンバーを選んで📷を押して[メンバー名１件リセット]を選択します。[はい]を選択すると、メンバー名がお買い上げ時のメンバー名に戻ります。

2 メンバー名を編集して⦿

- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
- メンバー名を削除するときはCLRを１秒以上押します。

■ メールメンバーに登録されているメールアドレスを削除する

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[メールメンバー設定]▶メールメンバーを選択

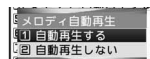
2 メールアドレスを選んで📷▶削除方法を選択

１件削除する	[１件削除]→[はい]→[i]
すべてを削除する	[メンバー内全件削除]→[はい]→[i] ● 選んだメールメンバー内のすべてのメールアドレスを削除します。

メロディを自動再生するかどうかを設定する＜メロディ自動再生＞

メッセージR／Fや受信したｉモードメールに添付または貼り付けられているメロディを、開封時に自動再生するかどうかを設定できます。

- 100Kバイトを超えるメロディは自動再生されません。

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[メロディ自動再生]▶開封時に自動再生するかどうかを選択

お知らせ

- [自動再生する]に設定した場合、マナーモード設定中は、メロディを再生するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると再生されます。
- マルチウインドウでワンセグを視聴している場合には、[自動再生する]に設定していてもメロディは自動再生されません。

クイック返信メールの本文を設定する ＜クイック返信メール設定＞

クイック返信（☞P.221）するときは、送信する本文をあらかじめ設定しておきます。

- 本文は全角250文字（半角500文字）以内で10件まで登録できます。

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[クイック返信メール設定]▶登録／編集する本文の番号を選択

2 本文を編集して⦿

メール

添付ファイルを受信するかどうかを設定する<添付ファイル受信設定>

受信する添付ファイルの種類を設定できます。受信しないように設定した添付ファイルは選択受信添付ファイルになり、メール受信時には取得されません。

● 選択受信添付ファイルの取得方法については、P.222を参照してください。

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[添付ファイル受信設定]

2 添付ファイルの種類を選択▶📷

● [☑]が選択、[□]が解除の状態です。ファイルを選択すると、選択と解除を交互に切り替えることができます。

● すべてを選択/解除する場合は、i(全選択)/i(全解除)を押します。

お知らせ

● メッセージR/Fの場合、設定にかかわらず、すべての添付ファイルを受信します。

● メール本文中に貼り付けられたMFi形式のメロディは設定にかかわらず受信します。

操作中のメール受信・自動送信の通知方法を設定する<受信・自動送信表示>

操作中にメールを受信したときや、送信予約したメールが自動送信されるときの通知方法を設定できます。

● 通話中、iアプリ実行中、カメラ起動中、GPS測位中、パターンデータ更新中、ストリーミングタイプのiモーションの取得中、microSDメモリーカード参照中、PC動画再生中、エリアメール自動表示中、ワンセグを視聴中、録画中のときは、メール受信画面と受信完了画面、メール送信画面が表示されません。

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[受信・自動送信表示]▶通知方法を選択

通知優先	メール受信時に、メール受信画面と受信した[✉]、[R]、[F]、[SMS]が表示されます。着信ランプなどが点滅し、メール着信音が鳴り、受信完了画面が表示されます。 メール自動送信時に、メール送信画面が表示されます。
操作優先	メール受信時に、受信した[✉]、[R]、[F]、[SMS]などが表示されます。メール着信音は鳴らず、着信ランプ/バイブレータも動作しません。また、メール受信画面と受信完了画面は表示されません。 メール自動送信時に、メール送信画面は表示されません。

メールの設定状況を確認する<メール設定確認>

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[メール設定確認]

● ✥でページを切り替えられます。

● 確認を終わるときは、⦿を押します。

メール設定確認	
添付ファイル受信設定	
イメージ	ON
メロディ	ON
iモーション	ON
トルカ	ON
PDF	ON
ツールデータ	ON
その他	ON

メール機能の設定をリセットする<メール設定リセット>

メールの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[メール設定リセット]

2 端末暗証番号を入力して⦿▶[はい]

お知らせ

● 内容がリセットされない設定は次のとおりです。

■ 署名の登録内容 ■ SMSセンター設定
■ クイック返信メール設定 ■ SMS有効期間設定
■ メールメンバー設定 ■ SMS本文入力設定
■ エリアメール設定の受信登録

関連操作

メールを機能別ロックする<機能別ロック>
待受画面で✉▶[メール設定]▶[機能別ロック]▶端末暗証番号を入力して⦿▶[ON]

メール

メッセージR／F

メッセージR／Fとは

メッセージサービスを提供するサイトにお申し込みいただくことにより、欲しい情報(メッセージ)が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。
メッセージにはメッセージR(リクエスト)とメッセージF(フリー)があります。

- メッセージR／Fの受信方法はP.237「メッセージR／Fを受信したときは」を参照してください。
- 圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどで受信できないときは、メッセージR／Fはｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードパスワードは４桁の数字を入力してください(☞P.142)。

メッセージR(リクエスト)

メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。

メッセージF(フリー)

パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

メッセージF(フリー)の設定方法

[ｉMenu]→[料金＆お申込・設定]→[オプション設定]→[メッセージF設定]→[受信する]を選択後、ｉモードパスワードを入力して◉を押して[決定]

メッセージR／F受信

メッセージR／Fを受信したときは

FOMA端末がｉモード圏内にあるときは、ｉモードセンターからメッセージR／Fを自動的に受信します。

- メッセージR／Fは、それぞれ最大50件までFOMA端末に保存できます。メッセージのサイズによっては、保存できる件数が変わります。
- FOMA端末が以下のようなときに送られてきたメッセージR／Fは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - セルフモード中
  - 圏外
  - テレビ電話の通話中
  - プッシュトーク通信中
  - おまかせロック中
  - 赤外線通信中
  - FirstPassセンター接続中
  - 保護や未読のメッセージR／Fがいっぱいで空き容量がないとき
  - ｉC通信中

お知らせ

- FOMA端末の受信メッセージR／Fがいっぱいのときは、未読メッセージの確認(☞P.239)、メッセージR／Fの保護解除(☞P.240)、不要なメッセージR／Fの削除(☞P.240)を行ってください。ｉモードセンターでお預かりしているメッセージがあるときは、ｉモード問い合わせ(☞P.238)を行ってください。
- メッセージR／Fを受信したときに、メモリの空き容量がない場合、保護されていない一番古い既読のメッセージR／Fから順に自動的に上書きされます。上書きされたくないメッセージR／Fを保護できます(☞P.240)。

お知らせ

- 通話中、ｉアプリ実行中、カメラ起動中、GPS測位中、パターンデータ更新中、全画面表示でワンセグを視聴中や録画中にメッセージを受信した場合、メッセージ着信音は鳴りません。

マークの意味

マーク	意　味
R／F(緑色)	未読メッセージR／Fがあります。
R／F(黄色)	FOMA端末の受信メッセージR／Fがいっぱいです。
R／F	ｉモードセンターでメッセージR／Fをお預かりしています。
R／F	ｉモードセンターでお預かりしているメッセージR／Fがいっぱいです。
R／F	未読メッセージR／Fとｉモードセンターでお預かりしているメッセージR／Fがあります。
R／F	未読メッセージR／Fがあります。また、ｉモードセンターでお預かりしているメッセージR／Fがいっぱいです。
R／F	FOMA端末の受信メッセージR／Fがいっぱいです。また、ｉモードセンターでメッセージR／Fをお預かりしています。
R／F	FOMA端末の受信メッセージR／Fと、ｉモードセンターでお預かりしているメッセージR／Fがいっぱいです。

R(緑色)R(黄色)RRRRRR：リクエスト、
F(緑色)F(黄色)FFFFFF：フリーの意味です。

- ｉモードセンターでメッセージR／Fが保存されていても、[R]／[F]、[R]／[F]、[R]／[F]、[R]／[F]、[R]／[F]、[R]／[F]が表示されない場合があります。
- [R]／[F]、[R]／[F]、[R]／[F]が表示された場合、ｉモードセンターのメッセージR／Fが上書きされることがあります。

新着メッセージR／Fを表示する

メッセージR／Fが届くと、最新の１件が自動的に表示されます。
ただし、メッセージ自動表示設定を[自動表示なし]に設定している場合、受信したメッセージR／Fは表示されません。

- 自動表示を行うメッセージの種類や、別の種類のメッセージR／Fを同時に受信したときの優先順位を設定できます。

1 メッセージR／Fが届くと自動的に受信する

- メッセージR受信中は[R](緑色)が、メッセージF受信中は[F](緑色)が点滅します。
- 受信終了後、メッセージR／Fの受信結果が表示され、メッセージ着信音が鳴ります([R](緑色)／[F](緑色)表示)。

すぐにメッセージR／Fの内容を確認する	受信完了画面で[メッセージR]／[メッセージF]→メッセージR／Fを選択
着信音を止める	CLRまたは ● 着信音が止まり、受信完了画面が消えます。を押すと、受信完了画面のまま着信音が止まります。

2 受信したメッセージR／Fを約15秒間表示し、自動的に待受画面に戻る（自動表示するように設定している場合）

- メッセージR／Fの表示を続けるときは、メッセージR／Fを表示中にを押して、スクロールなどの操作を行います。
- メッセージ表示画面で、何も操作しないで待受画面に戻ると[ ]（新着メッセージRあり）／[ ]（新着メッセージFあり）が表示されます。このときは、待受画面でを押し、[ ]（新着メッセージRあり）／[ ]（新着メッセージFあり）を選択すると、メッセージ一覧画面が表示されます。

メッセージR／Fを自動的に表示する <メッセージ自動表示設定>

自動表示を行うメッセージの種類と、優先順位を設定できます。

1 待受画面で ▶[メール設定]▶[メッセージ自動表示設定]▶表示方法を選択

メッセージR優先	未読のメッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージRを自動表示します。
メッセージF優先	未読のメッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージFを自動表示します。
メッセージRのみ	未読のメッセージRのみ自動表示します。
メッセージFのみ	未読のメッセージFのみ自動表示します。
自動表示なし	自動表示しません。

お知らせ

- 自動表示を行うように設定しているときは、次の場合に最新の未読メッセージR／Fを約15秒間表示します。
  - ■ 受信完了画面から待受画面に戻るとき
- 次の場合は、メッセージ自動表示の設定にかかわらず、自動表示されません。
  - ■ オールロック中　■ おまかせロック中
  - ■ メールの機能別ロック中

iモード問い合わせ

メッセージR／Fがあるかどうかを問い合わせる

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたメッセージR／F（☞P.237）はiモードセンターに保管されています。
iモードセンターに問い合わせて受信できます。

- iモード問い合わせを行う種類（iモードメール、メッセージR／F）を設定できます（☞P.234）。
- メール選択受信設定を[ON]に設定しているときも、iモード問い合わせをすると、iモードメールやメッセージR／Fを受信します。
- SMSの問い合わせについては、P.243を参照してください。

1 待受画面で ▶[iモード問い合わせ]

- 待受画面でを2回押すか、を押して[iモード問い合わせ]を選択しても問い合わせできます。
- iモード問い合わせ設定（☞P.234）の設定に従い、[iモードメール]→[メッセージR]→[メッセージF]の順でiモード問い合わせを行います（問い合わせをしているマーク（[ ]、[R]（緑色）、[F]（緑色））が順次表示されます）。
- 受信を中止するときは、受信中にを押します。
- 受信を中止したメッセージR／Fは、iモードセンターに保管されます（[ ]／[ ]表示）。
- 受信を中止するタイミングにより、メッセージR／Fを受信してしまう場合もあります。

2 新しく届いたメッセージR／Fがある場合は、メッセージR／F着信音が鳴る

- iモードセンターにメッセージR／Fが保管されていないときは、件数が[0]と表示されます。
- iモードメールとメッセージR／Fを同時に受信した場合は、最後に受信したメールまたはメッセージR／Fに設定されている着信音が鳴ります。
- 着信音を途中で止めるときは、CLRを押します。他のボタンでも止めることができます（☞P.219）。

3 受信完了画面で[メッセージR]／[メッセージF]

- すぐに表示しないときは、受信完了画面で、何も操作しないでそのままにしておくと、約30秒後に待受画面に戻ります。
- iモード問い合わせで受信したメッセージR／Fは、自動表示されません。

4 表示したいメッセージR／Fを選択

メッセージBOXのメッセージR／Fを表示する

1 **待受画面で[✉]▶[受信BOX]▶[メッセージR]フォルダ／[メッセージF]フォルダ**

- 待受画面で[i]を押し、[メッセージR／F]→[メッセージR]／[メッセージF]を選択しても操作できます。

2 **メッセージR／Fを選択**

メッセージ一覧画面／表示画面の見かた

メッセージ一覧画面の見かた

1 未読／既読／保護マーク

[R]／[F]	未読メッセージR／F
[R]／[F]	既読メッセージR／F
[R]／[F]	既読メッセージR／F(保護有)

2 メッセージR／F一覧画面のページ番号／総ページ数

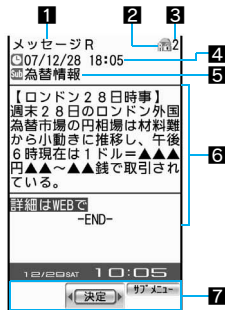
3 メロディ／画像／トルカの有無

[♪]	メロディが添付されています。
[□]	JPEG画像／GIF画像／Flash画像が添付されています。
[トルカ]	トルカが添付されています。
[複数]	複数のファイルが添付されています。

4 題名

5 受信日時

当日の場合は時間、当日以外の場合は日付が表示されます。

メッセージ表示画面の見かた

1 メッセージの種別

2 保護マーク

保護されているときに表示されます。

[R保護]	メッセージR(保護有)
[F保護]	メッセージF(保護有)

3 メッセージ番号

4 受信日時

5 題名

6 本文

文末には[-END-]が表示されます。

7 画面操作

画面を上下にスクロールする	下:[↓]	上:[↑]
1画面単位でスクロールする	下:[▽]	上:[△]
前後のメッセージ内容を表示する	次:[→]	前:[←]

- メッセージR／Fにメロディが添付されているときは、本文の上の行に[♪]とメロディのファイル名が表示されます。
- メロディ自動再生を[自動再生する]に設定しているときは、メロディが自動再生されます。
- メッセージR／Fに画像が添付されているときは、本文の上に画像と種別マーク、ファイル名が表示されます。

関連操作

メッセージR／F内の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>

メッセージ表示画面で[📷]▶[電話帳登録]

関連操作のお知らせ

- 以降の操作については、P.185「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」を参照してください。

添付ファイルを確認・保存する ＜添付ファイル確認＞

メッセージR／Fに添付されている画像やメロディなどを、確認・保存することができます。添付ファイルは、それぞれのカテゴリの選択した保存先に保存されます。

1 メッセージ一覧画面(☞P.239)で、メッセージR／Fを選択▶📷▶[添付ファイル確認]

2 添付ファイルを選んで確認する

確認する		◉
保存する	画像	≣→[はい]→フォルダを選択
	メロディ／トルカ	≣→[はい]→[本体]／[microSD]

挿入された画像を確認・保存する ＜本文中画像確認＞

メッセージR／Fの本文に挿入されているGIF画像・JPEG画像や、背景画像を確認・保存することができます。挿入ファイルは、それぞれのカテゴリの選択した保存先に保存されます。

1 メッセージ一覧画面(☞P.239)で、メッセージR／Fを選択▶📷▶[本文中画像確認]

2 画像を選んで、確認する

確認する	◉
保存する	≣→[はい]→フォルダを選択

お知らせ

- 添付された画像については、添付ファイル確認で確認・保存を行ってください。

メッセージR／Fを管理する

メッセージR／Fを上書きできないように保護したり、削除できます。

メッセージR／Fを保護する＜保護＞

受信したメッセージR／Fを保護したり、保護されているメッセージR／Fの保護を解除できます。保護すると上書きできません。

- 保存するメモリの空き容量がない場合、すでに読んだ同じ種類のメッセージのうち、古いものから順に自動的に削除されます。
- メッセージR／Fはそれぞれ25件まで保護できます。ただし、メッセージのサイズによって、保護できる件数が少なくなります。
- 未読のメッセージR／Fは保護できません。

1 メッセージ一覧画面(☞P.239)／メッセージ表示画面(☞P.239)で、メッセージR／Fを選んで📷▶[保護]

2 [ON]／[OFF]

メッセージR／Fを削除する＜削除＞

1 メッセージ一覧画面(☞P.239)で、メッセージR／Fを選んで📷▶[削除]

- メッセージ表示画面から削除するときは、メッセージ表示画面で📷を押し、[1件削除]→[はい]を選択します。

2 削除方法を選択

1件削除する	[1件削除]→[はい]
複数をまとめて削除する	[選択削除]→メッセージR／Fを選択(くり返し可)→📷→[はい] ● すべてを選択／解除する場合は、≣(全選択)／≣(全解除)を押します。
すべてを削除する	[全件削除]→端末暗証番号を入力して◉→[はい] ● 未読または保護されているメッセージR／Fは削除されません。

- メッセージ表示画面から削除する場合は、[1件削除]のみ選択できます。

メッセージR／Fを並べ替える＜ソート＞

1 メッセージ一覧画面(☞P.239)で📷▶[ソート]▶ソート方法を選択

- ソート方法については、P.229「メールを並べ替える」を参照してください。

メール

緊急速報「エリアメール」とは

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールを受信するには受信設定が必要です。エリアメール受信設定については、P.241「緊急速報「エリアメール」の設定を行う」を参照してください。
- 次の場合は、受信しても自動表示しないことがあります。
  - ■ 通話中(音声電話中、テレビ電話中)
  - ■ パケット通信中(ストリーミング再生中、データ通信中、プッシュトーク通信中)
  - ■ iアプリ実行中・iアプリ通信中
  - ■ 公共モード(ドライブモード)中
  - ■ ソフトウェア更新中
  - ■ パターンデータ更新中
  - ■ GPS測位中
  - ■ USB通信中
  - ■ ワンセグ視聴中
  - ■ カメラ起動中
  - ■ アラーム起動中
  - ■ 電池残量が少ない場合
- 次の場合は、受信できません。
  - ■ おまかせロック中
  - ■ 国際ローミング中
  - ■ セルフモード設定中
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。
- iモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。

エリアメール受信

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールが送られてきたときは自動的に受信します。

- エリアメールは最大30件まで受信BOXに保存できます。エリアメールが30件を超えたときは、受信日時の古いエリアメールから順に上書きされます。

1 エリアメールが届くと、自動的に受信する

- エリアメールを受信すると、専用警報音(ブザー音)またはエリアメール専用着信音が鳴り、着信ランプが赤色で点滅します([✉]表示)。
- エリアメールには、受信完了後に本文が自動表示されるものと、[エリアメールを受信しました]と表示されるものがあります。
- 本文が自動表示された場合は、◉、CLR、⌒を押すと受信前の画面に戻ります。
- [エリアメールを受信しました]と表示された場合は、約30秒経過すると自動的に受信前の画面に戻ります。
- 受信完了後にエリアメールの本文を自動表示するかどうかは、配信側で設定されます。

お知らせ

- 緊急地震速報の場合、専用警報音(ブザー音)とバイブレータが動作してお知らせします。
- エリアメール専用着信音の音色は変更できません。鳴動時間はメール鳴動時間設定に、音量はメール着信音量に、バイブレータはメール着信バイブレータの設定に従います。
- エリアメールは、フォルダの振分け条件が[全ての受信メール]の場合に自動的に振り分けされます。

お知らせ

- マナーモード設定中は、バイブレータ・着信ランプが動作します(オリジナルマナーモードのメール着信音を「サイレント」以外に設定した場合は、専用警報音(ブザー音)またはエリアメール専用着信音が鳴ります)。

エリアメール設定

緊急速報「エリアメール」の設定を行う

エリアメールを受信するかどうかを設定する。

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[エリアメール設定]▶[受信設定]

2 注意事項を確認する▶ⓘ(はい)／📷(いいえ)

- ⓘ(はい)を押すと、設定が[ON]になりエリアメールを受信できます。

エリアメールの受信登録を設定する <受信登録>

緊急情報のほかに受信したい情報のエリアメール名とMessage ID(サービス提供者から付与されるID)を登録します。緊急情報を受信する場合には受信登録の必要はありません。

- お買い上げ時に登録されている[緊急情報]は編集・削除できません。
- エリアメール名は、任意の名前を付けられます。
- 最大20件まで設定できます([緊急情報]を含まず)。

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[エリアメール設定]▶[受信登録]

2 端末暗証番号を入力して◉▶ⓘ(新規)

- 設定した内容を編集するときは、設定済みの受信登録を選択します。
- 設定した受信登録を削除するときは、受信登録を選んで✉(削除)を押し、[はい]を選択します。

3 エリアメール名を入力して◉

- 最大全角・半角15文字まで入力できます。

4 Message IDを入力して◉

関連操作

ブザー音を鳴らすかどうかを設定する<ブザー鳴動設定>

1. 待受画面で✉▶[メール設定]▶[エリアメール設定]▶[ブザー鳴動設定]
2. [許容]／[非許容]

ブザー音を鳴らす時間を設定する<ブザー鳴動時間>

待受画面で✉▶[メール設定]▶[エリアメール設定]▶[ブザー鳴動時間]▶ブザー音を鳴らす時間(2桁:01～30秒)を入力して◉

関連操作のお知らせ

ブザー鳴動設定について

- ブザー音が鳴るように設定した場合、バイブレータも動作します。ブザー音の音色や音量、バイブレータの種類は変更できません。

SMS作成・送信

SMSを作成して送信する

- SMSの宛先には電話番号を入力します。
- SMSの本文に入力できる文字数は、SMS本文入力設定により異なります。
- SMSの本文に半角カタカナや絵文字を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で✉ ▶ [新規SMS作成]

SMS作成<新規>
宛先
本文

2 [宛先]を選択 ▶ 入力方法を選択

電話帳から選択する	[電話帳検索]→相手を選択 ● 電話番号が20桁を超える場合、超えた部分は削除されます。
直接入力する	[直接入力]→宛先を入力して⦿ ● 電話番号(最大20桁まで)を入力します。 ● 0を1秒以上押すと[+]を入力できます。[+]を入力した場合は、合計21桁まで入力できます。 ● 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、[+](0を1秒以上押す)、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。また、「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください。
メール送信履歴から選択する	[メール送信履歴]→相手を選択→⦿ ● SMSのメール送信履歴がある場合に選択できます。
メール受信履歴から選択する	[メール受信履歴]→相手を選択→⦿ ● SMSのメール受信履歴がある場合に選択できます。
宛先を確認する	宛先を選択→[宛先確認] ● 名前やメールアドレスを確認できます。

- 電話帳に登録されている相手の場合、宛先欄に名前が表示されます。

3 [本文]を選択 ▶ 本文を入力して⦿

- SMS本文入力設定を[日本語(70文字)]に設定している場合は、最大全角・半角70文字まで入力できます。
  [英語(160文字)]に設定している場合は、半角英数字のみを最大160文字まで入力できます。
- 改行[↲]は、[日本語(70文字)]に設定している場合は1文字、[英語(160文字)]に設定している場合は2文字としてカウントされます。スペース(空白)は1文字としてカウントされます。
- [英語(160文字)]に設定している場合、[ ] ^ | { } ~ は、本文入力画面では半角1文字としてカウントされますが、送信するときに全角1文字としてカウントされるため、本文入力画面で160文字以内でも[送信できませんでした]と表示され、送信されないことがあります。

4 (送信)

- 送信が完了すると、[送信完了しました]と表示されます。
- 送達通知を設定するときは、📷を押し、[SMS送達通知設定]を選択し、[要求する]または[要求しない]を選択します。
- 有効期間を設定するときは、📷を押して[SMS有効期間設定]を選択し、有効期間を選択します。

お知らせ

- 宛先入力では、[+]は先頭でのみ有効となります。
- 電波状況などにより、送信できない場合があります。送信できなかったSMSは、未送信SMSとして保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されない場合があります。
- SMSはｉモード契約をしていなくても送信できます。
- FOMA端末では、movaサービスのｉモード端末からのショートメールをSMSとして受信できます。
- 受信SMSと送信SMSを合わせて最大20件まで、FOMAカードに保存できます。未送信SMSをFOMAカードに保存することはできません。
- 電話帳の機能別ロック中は、電話帳に登録されている相手でも名前は表示されません。
- 送信時に設定した送達通知や有効期間は、メール設定のSMS送達通知設定やSMS有効期間設定には反映されません。
- 2in1のモードを[Bモード]に設定している場合、SMSは作成できません。
- BナンバーからはSMSを送信できません。

編集中に電話がかかってくると

- 通話後、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。

「186」／「184」を付けたとき(☞P.47)

- 「184」を付けた場合は、SMSが送信されますが、発信者番号も通知されます。

SMSを保存しておき、あとで送信する <SMS保存>

SMSの作成中に操作を中断しなければならないときや、作成したSMSを保存しておきたいときは、FOMA端末(本体)に一時保存できます。また、保存したSMSを編集して送信できます。

- SMSの作成については、P.242を参照してください。
- 未送信SMSと送信SMSはｉモードメールと合わせて、それぞれ最大500件まで、FOMA端末(本体)に保存できます。

未送信SMSを保存する

1 SMSの作成中（☞P.242の操作1～3）に📷▶［保存］

● 作成中のSMSが、未送信SMSとして保存されます。

お知らせ

● SMS作成中に⌒を押すと、終了確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、SMSの作成を中止できます。ただし、作成を中止したSMSは保存されません。
● 未送信SMSはFOMAカードにコピー（保存）できません。

保存したSMSを編集・送信する

1 未送信メール一覧画面（☞P.225）でSMSを選択

2 項目を選択▶編集して i（送信）

● 新規作成時と同様に編集できます。詳しくは、P.242の操作2～3を参照してください。

送信したSMSを編集・再送する

1 送信メール一覧画面（☞P.225）でSMSを選択

2 編集・再送する

編集する	iまたは📷→［編集］→SMS編集→i ● 新規作成時と同様に編集できます。詳しくは、P.242の操作2～3を参照してください。
再送する	📷→［再送］

SMS受信

SMSを受信したときは

SMSが送られてきたときは自動的に受信します。

● 受信SMSはｉモードメールと合わせて最大1000件までFOMA端末（本体）に保存できます。受信メールのサイズによっては、保存できる件数が異なります。

1 SMSが届くと、自動的に受信する

2 受信終了後、SMSの受信完了画面が表示され、SMS着信音が鳴る（［SMS］表示）

● 受信完了画面で、何も操作しないでそのままにしておくと、約30秒後、自動的に受信前の画面に戻ります。待受画面に戻ると［✉］（新着メールあり）が表示されます。このときは、待受画面で◉を押し、［✉］（新着メールあり）を選択すると、受信BOX一覧画面が表示されます。

受信完了画面

待受画面に表示されるマークの意味

マーク	意味
SMS（赤文字）	未読SMSがあります。
✉SMS	未読ｉモードメールと未読SMSの両方があります。
✉	FOMA端末（本体）内のｉモードメールやSMSがいっぱいです。
SMS（青文字）	FOMAカード内のSMSがいっぱいです。
✉（赤色）	FOMA端末（本体）内のｉモードメールやSMS、FOMAカード内のSMSがいっぱいです。

3 ［メール］を選択

4 フォルダを選択▶SMSを選択

● 受信SMSの見かたについては、P.244「受信したSMSを見る」を参照してください。

お知らせ

● SMS着信音は変更できます（☞P.121）。
● FOMAカード内のSMSは上書きされません。
● FOMA端末（本体）に保存された受信SMSをFOMAカードにコピーできます。ただし、SMS送達通知はコピーできません。
● 送信SMSをFOMAカードにコピーすると、それに対応するSMS送達通知もFOMAカードにコピーされます。

待受中以外の状態で受信したとき

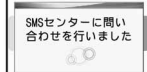
● 受信・自動送信表示を［通知優先］に設定している場合、SMS着信音が鳴り、ディスプレイにマーク（☞P.243）と受信完了画面が表示されます。

SMSがあるかどうかを問い合わせる ＜SMS問い合わせ＞

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたSMSはSMSセンターに保管されています。SMSセンターに問い合わせて受信できます。

1 待受画面で✉▶［SMS問い合わせ］

● 右の画面が表示されたあと、SMSセンターにSMSが保管されていると、自動受信が始まります。

（画面：SMSセンターに問い合わせを行いました）

お知らせ

● FOMA端末（本体）とFOMAカードの容量がいっぱいの場合は、それ以上SMSを受信できません。未読SMSを確認／削除するか、保護を解除してください（☞P.230）。読んだり、保護を解除したSMSは、受信時に古いものから上書きされます。
● 問い合わせをしたあと、自動受信がすぐに始まらない場合があります。

受信したSMSを見る<受信SMS表示>

- 受信したSMSは[受信トレイ]に保存されます。ただし、振分け条件設定(☞P.233)の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
- FOMAカードにコピーした受信SMSも[受信トレイ]に保存されます。

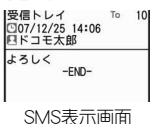
1 **待受画面で✉▶[受信BOX]**

- BOX一覧画面の見かた(☞P.225)
- 送信SMSを表示するときは、待受画面で✉を押して[送信BOX]を選択します。
- 未送信SMSを表示するときは、待受画面で✉を押して[未送信BOX]を選択します。

2 **フォルダを選択▶SMSを選択**

受信トレイ To 10
07/12/25 14:06
ドコモ太郎
よろしく
-END-

SMS表示画面

- メール一覧画面／表示画面の見かた(☞P.225)
- FOMAカード内の受信SMSを表示するときは、[受信トレイ]を選択し、SMSを選択します。[受信トレイ]には、FOMA端末(本体)内とFOMAカード内の両方の受信SMSが一覧表示されます。マークで区別してください(☞P.225)。
- FOMAカード内の送信SMSを表示するときは、[送信トレイ]を選択し、SMSを選択します。
- 表示を終わるときは、⌐を押します。

お知らせ

- 受信SMSはｉモードメールと合わせて、最大1000件までFOMA端末(本体)に保存できます。

受信したSMSに返信する<SMS返信>

1 **SMS表示画面(☞P.244「受信したSMSを見る」の操作２)で📷▶[返信／転送]▶[返信]▶SMSを作成してⓘ(送信)**

- 受信SMSの本文を引用して返信するときは、SMS表示画面で📷を押し、[返信／転送]→[引用返信]を選択し、SMSを作成します。
- 本文の文字数は、SMS本文入力設定に従います。ただし、引用返信／転送のSMSの内容によっては、送ってきた相手のSMS本文入力設定に従う場合があります。
  - ■ 本文内に日本語が入力されている場合
  - ■ 本文が70文字以上の場合
- 詳しくは、P.242の操作２～３を参照してください。

お知らせ

- SMSはクイック返信できません。
- 送信元が非通知設定、公衆電話、通知不可のSMSには返信できません。
- FOMAカード内のSMSへの返信SMSを作成中に保存した場合、未送信SMSはFOMA端末(本体)に保存されます。
- 送信元がドコモ以外の海外通信事業者の場合、宛先の先頭に[＋]が自動的に入力されます。

受信したSMSを転送する<SMS転送>

1 **SMS表示画面(☞P.244「受信したSMSを見る」の操作２)で📷▶[返信／転送]▶[転送]▶SMSを作成してⓘ(送信)**

- 詳しくは、P.242の操作２～３を参照してください。

SMS設定

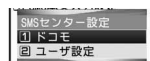
SMSの設定を行う

SMSセンターの設定をする<SMSセンター設定>

SMSセンターの接続先を変更できます。

- FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

1 **待受画面で✉▶[メール設定]▶[SMS設定]▶[SMSセンター設定]**

2 **[ユーザ設定]▶SMSセンターのアドレスを入力して◉**

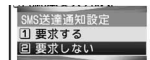
- アドレスは最大20桁まで入力できます。

3 **[International]／[Unknown]**

相手に届いたら通知を受け取る<SMS送達通知設定>

送信するSMSの送達通知を受け取るかどうかを設定できます。

- FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。

1 **待受画面で✉▶[メール設定]▶[SMS設定]▶[SMS送達通知設定]**

2 **送達通知を受け取るかどうかを選ぶ**

お知らせ

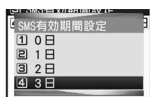
- SMS送達通知はSMSで届きます。
- SMS送達通知は、SMS作成時にも設定できます。
- SMS送達通知単独ではFOMAカードへコピー、microSDメモリーカードへコピー、赤外線送信、ｉC送信することはできません。

メール

SMSに有効期間を設定する
<SMS有効期間設定>

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保管する期間を設定します。０日～３日を選択できます。
０日を設定すると一定時間後、再送したのちにSMSセンターから削除されます。

- FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[SMS設定]▶[SMS有効期間設定]▶期間を選択

お知らせ

- 有効期間設定は、SMS作成時にも設定できます。

本文に入力できる文字を設定する
<SMS本文入力設定>

- FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[SMS設定]▶[SMS本文入力設定]

2 入力する文字の種類を選択

種類	日本語(70文字)	英語(160文字)

SMSをFOMAカードに保存する

FOMA端末(本体)に保存されているSMSを、FOMAカードにコピーできます。FOMAカードには、受信SMS、送信SMS合わせて最大20件まで保存できます。

- あらかじめFOMAカードを挿入しておいてください。

FOMA端末(本体)のSMSをFOMAカードにコピーする

例:受信SMSの場合

1 待受画面で✉▶[受信BOX]▶フォルダを選択

- 受信メール一覧画面が表示されます。
- 送信SMSのときは、待受画面で✉を押し、[送信BOX]を選択し、フォルダを選択します。
- SMS表示画面からコピーするときは、SMS表示画面で📷を押し、[移動／コピー]→[FOMAカードへコピー]→[はい]を選択すると、コピーされます。

2 FOMA端末(本体)内のSMSを選んで📷▶[移動／コピー]

- FOMA端末(本体)内のSMSを選んだ場合に、サブメニューに[FOMAカードへコピー]が表示されます。

マークの意味

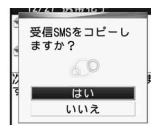
■ FOMA端末(本体)内

	未読SMS		未読SMS(保護有)
	既読SMS		既読SMS(保護有)
	送信済みSMS		送信済みSMS(保護有)

■ FOMAカード内

	未読SMS
	既読SMS
	送信済みSMS

3 [FOMAカードへコピー]▶コピー方法を選択

- 受信SMSは[受信トレイ]に、送信SMSは[送信トレイ]にコピーされます。

1件コピーする	[1件コピー]→[はい]
選択してコピーする	[選択コピー]→SMSを選択(くり返し可)→📷→[はい]

お知らせ

- 未送信SMSはFOMAカードにコピーできません。
- SMS送達通知はコピーできません。
- 上書きコピーはできません。
- 選択コピーの場合、FOMA端末(本体)のSMS件数が50件以下のときは、[i](全選択)／[i](全解除)を押して、すべてを選択／解除できます。
- FOMAカードの最大保存件数を超えると、コピーが中止されます。
- 送信SMSをFOMAカードにコピーすると、それに対応するSMS送達通知もFOMAカードにコピーされます。ただし、送信日時はコピーされません。

FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）にコピーする

例：受信SMSの場合

1 受信BOX一覧画面（☞P.225）で[受信トレイ]フォルダを選択

- 送信SMSのときは、待受画面で✉を押して[送信BOX]を選択し、[送信トレイ]フォルダを選択します。
- SMS表示画面からコピーするときは、SMS表示画面で📷を押し、[移動／コピー]→[本体へ1件コピー]→[はい]を選択すると、コピーされます。

2 FOMAカード内のSMSを選んで📷▶[移動／コピー]

マークの意味

(アイコン)	FOMAカードの未読SMS
(アイコン)	FOMAカードの既読SMS
(アイコン)	FOMAカードの送信済みSMS

3 [本体へコピー]▶コピー方法を選択

- FOMAカードのSMSを選んだ場合に、サブメニューに[本体へコピー]が表示されます。
- 受信SMSは[受信トレイ]に、送信SMSは[送信トレイ]にコピーされます。

1件コピーする	[1件コピー]→[はい]
選択してコピーする	[選択コピー]→SMSを選択（くり返し可）→📷→[はい] ● すべてを選択／解除する場合は、i（全選択）／i（全解除）を押します。

お知らせ

- 上書きコピーはできません。
- FOMA端末（本体）の最大保存件数（受信SMSはｉモードメールと合わせて最大1000件、送信SMSは最大500件）を超えると、コピーが中止されます。

SMS削除

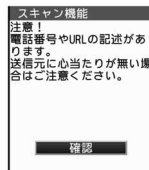
SMSを削除する

SMSは、P.231「メールを削除する」と同じ方法で削除できます。

メッセージスキャン

迷惑SMS対策

受信したSMSに電話番号やURLが含まれる場合、SMSを確認する前に確認画面を表示するように設定できます。

- moperaメールで受信したとき、または留守番電話の着信通知SMSを受信したときは、確認画面は表示されません。
- 設定方法はP.504を参照してください。
- 受信したSMSを表示するときは、右の画面で◉を押します。

メール

ｉアプリ

iアプリ

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード端末がさらに便利になります。たとえば、iモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しめたり、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるiアプリもあります。

● iアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ダウンロード

サイトからiアプリをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからiアプリのソフトをダウンロードすると、FOMA端末のディスプレイ上で実行できます。

● ソフトは最大100件まで保存できます。ただし、メール連動型iアプリのソフトは5件まで保存できます。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。

1 サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に、ソフトを選択

● iアプリダウンロード中画面が表示され、ダウンロードが開始されます。

登録データ、携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号やmicroSDメモリーカードを利用するソフトのとき	ダウンロードの確認画面で[はい] ● 登録データの一覧を確認するときは[i]（登録データ）を押します。
[ソフトを起動しますか？]が表示されたとき	[はい] ● ダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されているものもあります。このようなソフトは、ダウンロード後すぐにFOMA端末には保存されません。ソフト終了後に、保存可能なソフトについては、保存するかどうかを選択できます。
FOMA端末（本体）のメモリの空き容量が不足しているとき	[メモリが不足しているか保存可能件数を超えました。上書きしますか？]と表示→[はい]→データを選択（くり返し可）→[i]→[はい]
ダウンロードを中止するとき	[ダウンロード中]表示中に、[i]

● 別のFOMAカードを使用してダウンロード済みのときは、[異なるFOMAカード（UIM）でダウンロード済みです。ソフトを上書きしますか？]と表示されます。[はい]を選択すると、上書きされます。ただし、おサイフケータイ対応iアプリのソフトの場合は、上書きできません。

● ソフトによっては、ダウンロード完了後にiアプリ設定（待受画面、通信設定、位置情報、番組表ボタン）の画面が表示されることがあります。

お知らせ

● 電波状況などによりダウンロードが失敗した場合、途中までダウンロードしたデータを保存しておき、ソフト一覧から残りのデータをダウンロードすることができます（☞P.249）。
● ダウンロード時にメモリの空き容量が不足したため古いソフトを削除したあとで、電波状況などによりダウンロードが失敗しても、古いソフトは復活できません。
● 通信設定を[通信しない]に設定すると、情報提供できない場合がありますので、ご注意ください。
● SSL対応のページからiアプリの情報やiアプリをダウンロード中は、[SSL]が表示されます。
● iアプリのソフトによっては、ダウンロードをしたあとも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するにはあらかじめFOMA端末での設定が必要です。
● iアプリの機能別ロック中に、iアプリダウンロードを行うと、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると、機能別ロックは一時解除され、ダウンロードできます。

選択したソフトがすでにFOMA端末に保存されているとき

● ソフトのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。
[はい]を選択すると、ダウンロード（バージョンアップ）が開始されます。

おサイフケータイ対応iアプリのダウンロードができないとき

● ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応iアプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください（ダウンロードするソフトによって一部のソフトが削除対象とならない場合があります）。
またICカード内の状態によっては、表示されるソフトをすべて削除する必要があります。その場合は、表示される画面に従って全削除を行うことで、表示されたソフトを一括削除することができます。なおソフトによっては一括削除できないものがあるため、お客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行う必要があります。
● ICカードロック中は、おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードできない場合があります。

メモリエリアについて

● データBOXとiアプリのエリアを共有しています。データBOXに保存されているデータのデータ量によっては、iアプリのソフトが保存できない場合があります。

■ メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードするときは、次の点にご注意ください。

- メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合、受信BOX、送信BOX、未送信BOXにメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名となり、変更できません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダは、最大5個保存可能です。
- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、すでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダのみが残っており、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとした場合、フォルダを利用できます。フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。新規フォルダを作成しない場合は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリを残したままで、対応するメール連動型ｉアプリ用フォルダは削除できません。ソフトがない場合はフォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOXに作成されたフォルダがまとめて削除されます。
- メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作られたフォルダを同時に削除するかどうかを選択することができます。ただし、フォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダを削除できません。フォルダのみを残した場合は、受信BOX、送信BOX、未送信BOXでフォルダにカーソルを合わせて📷を押し、[ｉモードメール閲覧]を選択すると、メール本文を確認することができます。
- メールの機能別ロック中（☞P.147）は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メールの機能別ロック中、メールフォルダ名を変更するメール連動型ｉアプリは、ダウンロードしたりバージョンアップできません。
- メールの機能別ロック中、新規メールフォルダを作成するメール連動型ｉアプリはダウンロードできません。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る＜ソフト情報表示設定＞

1 待受画面で◉▶[ｉアプリ]▶[ソフト情報表示設定]▶[ON]

- ダウンロードを開始すると、ソフト情報が表示されます。

ｉアプリ実行

ｉアプリを実行する

- ソフトによっては、起動したときに自動的に通信するものがあります。あらかじめ通信設定（☞P.251）で通信しないようにしたり、起動するたびに接続するかどうかを確認するよう設定できます。

1 待受画面で[ｉ]（ｉα）を1秒以上押す

ソフト一覧画面

- おサイフケータイ対応ｉアプリのソフトのみを表示するときは、待受画面で◉を押し[おサイフケータイ]→[ＩＣカード一覧]を選択します。
- GPS対応ｉアプリのソフトのみを表示するときは、待受画面で◉を押し[LifeKit]→[GPSメニュー]→[対応ｉアプリ]を選択します。
- DCMXクレジットアプリを起動するときは、待受画面で◉を押し[おサイフケータイ]→[DCMX]を選択します。
- 選択しているソフトの設定状態によって、次のマークが表示されます。

マークの意味

マーク	意味
[icon]	ｉアプリ待受画面の機能を持ったソフト
[icon]	自動起動の機能を持ったソフト
[icon]	SSL通信でダウンロードしたソフト
[icon]	ｉアプリDXのソフト
[icon]	メール連動型ｉアプリのソフト
[icon]	ｉアプリ待受画面に設定されているソフト
[icon]	自動起動が設定されているソフト
[icon]	通信する機能を持ったソフト
[icon]	ｉアプリ使用データをmicroSDメモリーカードに保存できるソフト
[icon]	FOMAカード動作制限が設定されているソフト
[icon]	おサイフケータイ対応ｉアプリのソフト
[icon]	GPS対応ｉアプリのソフト
[icon]	途中までダウンロードしたソフト
[icon]	ｉCお引っこしサービスを利用して移し替えたあとのソフト（☞P.264）

2 実行するソフトを選択

- ｉアプリ起動中画面が表示され、ソフトが起動します。
- 途中までダウンロードしたソフトの場合、[データが不足しています。残り全てをダウンロードしますか？]と表示されます。[はい]を選択すると、ダウンロードを開始します。

- ソフトを終了するときは、ソフト実行中に[終話]を押し、[はい]を選択します。
- ｉＣお引っこしサービスを利用して移し替えたソフトをＩＣカード一覧から選んだ場合、[ソフトをダウンロードしますか？]、または[ソフトをダウンロードするためにサイト接続しますか？]と表示されます。[はい]を選択するとソフトのダウンロードを開始、またはサイトに接続します。

お知らせ

- きせかえツールが[White]／[Black]の場合は、カスタムメニュー画面からソフト一覧画面を表示したあとで[CLR]を押すと、カスタムメニュー画面に戻ります。
- ｉアプリのダウンロード時に使用したFOMAカードと同じFOMAカードを挿入していないと実行(起動)できないｉアプリがあります。
- ソフト実行中にアラーム(アラーム／スケジュールアラーム／視聴予約アラーム／録画予約アラーム)で設定した時刻になると、ソフトは中断され、アラーム画面が表示されます。アラーム画面を終了すると再開されます。ｉアプリのソフトによっては、アラームが動作したときにソフトを終了するものもあります。
- メール連動型ｉアプリは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXからも起動できます。各フォルダ一覧からメール連動型ｉアプリフォルダを選択してください。
- ｉアプリによっては、起動時にソフトのバージョンが更新されていた場合に、確認画面が表示されバージョンアップできます。
- 3Dポリゴンエンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
  3Dポリゴンは、多角形(三角形や四角形など)を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。
- ソフト実行中に通信回数が多くなると、[ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]と表示され、通信を行うかどうかを選択できます。
- ソフト実行中にビューアポジションにすると横画面で表示されます。ｉアプリのソフトによっては[縦に戻してご利用下さい]と表示され、ソフトは中断されます。通常ポジションに戻すとソフトが再開されます。
- ｉアプリのソフトによっては、ｉアプリ使用データをmicroSDメモリーカードに保存できるものがあります。保存したｉアプリ使用データは、ｉアプリ使用データ一覧で確認できます。また、ｉアプリ使用データを利用するソフトは、ｉアプリ使用データの情報表示で確認できます(☞P.261)。
- ｉアプリ使用データの保存・削除中に、microSDメモリーカードや電池パックを抜くと、ｉアプリ使用データを参照できなくなる場合があります。その場合は、microSDメモリーカードをFOMA SH905iでフォーマットしてください。フォーマットを行うと、microSDメモリーカード内のデータはすべて消去されます。
- microSDメモリーカードに保存したデータは、他の機種で利用できない場合があります。

お知らせ

- 同時に起動している他の機能がmicroSDメモリーカードを使用している場合は、ｉアプリからmicroSDメモリーカードの読み書きをすることができない場合があります。
- 2in1のモードを[Bモード]に設定している場合、メール連動型ｉアプリは利用できません。

ｉアプリDXを起動するとき

- ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するために通信設定にかかわらず通信するものがあります。通信する回数やタイミングは、ソフトにより異なります。
- 日付・時刻を正しく設定していないときは、有効性の確認は実行されずソフトは起動できません。
- ソフトが無効になった場合、有効性を確認できるまではソフトを起動できません。

関連操作

ショートカットメニューから起動する
待受画面で[上]▶ソフトを選択

音量を調節する<ｉアプリ音量設定>
待受画面で[決定]▶[ｉアプリ]▶[ｉアプリ音量設定]▶[上]／[下]▶[決定]

ソフトの情報を表示する<ソフト情報表示>
ソフト一覧画面でソフトを選んで[カメラ]▶[ソフト情報表示]

ソフト一覧画面の表示方法を変更する
ソフト一覧画面で[ｉ]

電池マークを表示するかどうかを設定する
<電池マーク表示設定>

1. 待受画面で[決定]▶[ｉアプリ]▶[電池マーク表示設定]
2. [ON]／[OFF]

関連操作のお知らせ

ショートカットメニューについて

- よく使うｉアプリのソフトなどを、あらかじめ登録しておく必要があります(☞P.410)。
- 待受画面にカレンダーが表示されているときは、[終話]を押しカレンダー表示を解除してから操作してください。

ｉアプリ音量設定について

- ｉアプリによっては音の鳴らないものもあります。

ソフト情報表示について

- 表示される情報はソフト名、バージョン、ソフト提供、ソフト保存領域、プロファイルバージョン、対応機種、自動起動の時間間隔、SSL接続などです。
- 表示されるｉアプリのソフト名は変更できません。

ソフト一覧画面の表示切替について

- [ｉ]を押すごとに、グラフィカル表示→アイコン表示→リスト表示の順に切り替わります。

電池マーク表示設定について

- 全画面表示するｉアプリの場合に有効となります。

ｉアプリの省電力を設定する
＜省電力設定＞

ｉアプリ起動中に照明・省電力設定(☞P.132)に従ってディスプレイの表示がOFFになってから設定した時間を過ぎるとｉアプリを一時中断してバッテリーの消費を抑えることができます。

- 設定した時間内に次の動作が行われた場合、設定した時間が経過してもｉアプリの省電力モードにはなりません。動作終了後に省電力設定が有効になり、設定した時間が経過するとｉアプリの省電力モードになります。
  - ■ FOMA端末の操作
  - ■ ｉアプリからのパケット通信
  - ■ ｉアプリからmicroSDメモリーカードへのアクセス

1 待受画面で◉▶[ｉアプリ]▶[省電力設定]▶[ON]▶省電力モードになるまでの時間を選択

時間	1分後	3分後	5分後
	2分後	4分後	

- 省電力時間設定の設定時間は、ディスプレイの表示がOFFになってから省電力モードになるまでの時間です。

お知らせ

- ｉアプリの省電力モード中にソフトを再開するときは、いずれかのボタンを押し、再開確認画面で[確認]を選択します。
- ｉアプリ待受画面の場合、待受画面でCLRを押してｉアプリを起動すると省電力モードの対象になります。

通信を行うかどうかを設定する
＜通信設定＞

ｉアプリ実行中に通信を行ってもよいかどうかを、ソフトごとに設定します。

- ここでの設定は通信を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は、[通信する]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.249)で、ソフトを選んで📷▶[ソフト利用設定]

2 [通信設定]を選択▶項目を選択

項目	通信する	起動ごとに確認
	通信しない	

3 ▤(完了)

お知らせ

- 通信設定を[通信しない]に設定すると、動作しない場合やタイムリーな情報提供ができない場合があります。また、起動しないソフトもありますので、ご注意ください。

お知らせ

- ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由して送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります(「ｉアプリで利用する画像」とは、起動中のソフトからカメラ機能を起動して撮影した画像、起動中のｉアプリから赤外線通信機能を利用して取得した画像、起動中のソフトからデータBOXを参照して取得した画像です)。

アイコン情報通知を許可するかどうかを設定する＜アイコン情報設定＞

ｉアプリ実行中に未読のメール・メッセージR／Fの有無、電池残量、圏内・圏外情報、マナーモードの設定状態などのアイコンの有無を、ソフトへ通知してもよいかどうかをソフトごとに設定します。

- ここでの設定はアイコン情報を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は、[利用する]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.249)で、ソフトを選んで📷▶[ソフト利用設定]

2 [アイコン情報設定]を選択▶[利用する]／[利用しない]▶▤(完了)

お知らせ

- アイコン情報が必要なソフトの場合、[利用しない]に設定すると動作しないことがあります。
- アイコン情報設定を[利用する]に設定すると、未読のメール・メッセージR／F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」と同様にインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信される場合があるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

電話帳や履歴の参照を許可するかどうかを設定する＜電話帳／履歴参照＞

ｉアプリには、電話帳、リダイヤルや着信履歴の参照を許可するかどうかを設定できるものがあります。[許可する]に設定した場合、ｉアプリから電話帳、リダイヤルや着信履歴を自動的に参照できます。

- ここでの設定は電話帳や履歴情報を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は、[許可する]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.249)で、ソフトを選んで📷▶[ソフト利用設定]

2 [ソフトからの電話帳／履歴参照を]を選択▶[許可する]／[許可しない]▶▤(完了)

お知らせ

- [許可しない]に設定すると、ソフトによっては利用できないものもありますので、ご注意ください。

着信音や画面の変更を許可するかどうかを設定する＜着信音／画像変更＞

ｉアプリには、着信音や画面の変更を許可するかどうか、また、変更時に確認画面を表示するかどうかを設定できるものがあります。[許可する]に設定した場合、ｉアプリから着信音や画面を自動的に変更できます。

- ソフトのダウンロード時は、[許可する]・[表示しない]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.249)で、ソフトを選んで▶[ソフト利用設定]

2 [ソフトからの着信音／画像／メニューアイコン変更を]を選択▶[許可する]／[許可しない]

3 [変更ごとに確認画面を]を選択▶[表示する]／[表示しない]▶(完了)

位置情報を利用するかどうかを設定する＜位置情報利用設定＞

GPS対応ｉアプリで位置情報を利用するかどうかを設定します。

- ソフトのダウンロード時は[利用する]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.249)で、ソフトを選んで▶[ソフト利用設定]

2 [位置情報利用設定]を選択▶[利用する]／[利用しない]▶(完了)

ワンセグから起動する番組表ｉアプリを設定する＜番組表ボタン設定＞

ワンセグで利用できる番組表ｉアプリを設定します。

- ソフトのダウンロード時は[設定しない]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.249)で、ソフトを選んで▶[番組表ボタン設定]

2 [設定する]

モーショントラッキング対応のｉアプリについて

FOMA端末は、カメラの認識技術を使用してｉアプリを操作(FOMA端末を傾けたり振ったり)する「モーショントラッキング」に対応しています。

- 以下のような場合はご利用になれないことがあります。
  - ■ カメラのレンズが汚れているとき
  - ■ 着用している服が背景と似通っているとき
  - ■ 移動中など、背景が一定していないとき
  - ■ 暗い場所や背景が明るすぎる場所にいるとき

警告
FOMA端末を傾けたり振ったりして操作できるアプリです。
振りすぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損などにつながる可能性があります。
操作する際は、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振りすぎず、周囲の安全を確認して操作しましょう。
モーショントラッキング対応ｉアプリはカメラを使用して動作を検知します。操作中は指でカメラを隠さないようにご注意ください。

ソフトから他のソフトを起動する

ソフトによっては、他のソフトを起動できるものがあり、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。

- 起動するソフトが指定されていないときは、画面の指示に従ってソフトを選択します。
- 起動するソフトがFOMA端末に保存されていない場合は、ダウンロードする必要があります。

お買い上げ時に登録されているソフト

お買い上げ時には、以下のソフトが登録されています。

- ■ デビル メイ クライ for SH
- ■ 直感♪プレーパーク
- ■ しゃべって翻訳 for SH
- ■ 地図アプリ
- ■ FOMA通信環境確認アプリ
- ■ iD 設定アプリ
- ■ DCMXクレジットアプリ
- ■ 楽オク出品アプリ２
- ■ ｉアプリバンキング
- ■ Ｇガイド番組表リモコン

- お買い上げ時に登録されているソフトを削除後にもう一度ご利用になる場合、ｉMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。
  [ｉMenu]→[メニューリスト]→[ケータイ電話メーカー]→[SH-MODE]

サイト接続用QRコード

■ 直感♪プレーパーク

FOMA端末を傾けたり、振ったりして楽しめるモーショントラッキング対応のゲームです。３つのミニゲームで、スコアによって金／銀／銅メダルを獲得できます。プレイヤーを上手にコントロールして、金メダルをめざしてください。

- 本アプリはモーショントラッキングに対応しています。

ソフトを起動する

1 ソフト一覧画面(☞P.249)で[直感♪プレーパーク]

- ソフトが起動しアラート画面が表示されたあと、TOP画面が表示されます。

2 TOP画面で⦿

● はじめて起動した場合は、TUTORIAL（チュートリアル）画面が表示されます。TUTORIAL（チュートリアル）が終了すると、クラブハウス画面が表示されます。次回起動時からは、直接クラブハウス画面が表示されます。

3 ゲームを選択

● 📷を押すと、オプション画面が表示されます。
● ⓘを押すと、ゲーム中の音量を変更できます。

ゲームの種類と主な操作

● フリフリ！ドラコン

ゴルフボールをショットし、アイテムやギミックをうまく利用して、ボールを遠くに飛ばします。

● FOMA端末を振るとパワーが上昇します。パワーや角度を決定するときは、⦿を押します。アイテムを獲得したときは、⦿を押して使用します。

● 狙って！クレー

制限時間内にクレーやアイテムを撃ち落とす、射撃ゲームです。

● FOMA端末を傾けて照準を合わせ、⦿または0を押して撃ち落とします。

● 傾けて！カート

カートを操作して、障害物を避けながらゴールをめざします。

● FOMA端末を左右に傾けてハンドリングし、⦿または0を押して進みます。⦿または0を押し続けるとカートのスピードが上がります。

● ステージモード

「通常モード」と「とことんモード」があります。すべてのゲームで金メダルを獲得すると、「とことんモード」が選択可能になります。

● クラブハウス画面で◯を押すと「とことんモード」を選択できます。

お知らせ

● ゲーム中のオプション画面でゲーム中の振動の有無、ボタンの操作設定などを行うことができます。

TUTORIAL（チュートリアル）について

● TUTORIAL（チュートリアル）では基本操作の練習ができます。TUTORIAL（チュートリアル）は、クラブハウスのオプション画面から何度でも利用できます。

■ デビル メイ クライ for SH

デビルハンター「ダンテ」を操作し、さまざまなミッションをクリアしていくワイド大画面対応の本格的3Dアクションゲームです。縦画面や横画面でお楽しみいただけます。

ソフトを起動する

1 ソフト一覧画面（☞P.249）で[デビルメイクライforSH]

● ソフトが起動し、タイトル画面が表示されます。

2 [NEW GAME]

● [OPTION]を選択すると、OPTION（オプション）画面が表示されます。

ミッションモード

ストーリーに沿ってミッションをクリアして行く、ゲームのメインとなるモードです。ミッションによりさまざまなクリア条件があります。

チャレンジモード

体力がなくなるまで敵を倒しながら魔塔を登っていくモードです。

● ミッションモードをいずれか1ルートをクリアすることで選択可能となります。

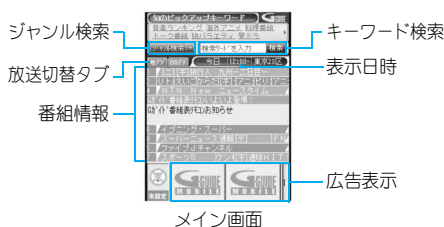
お知らせ

● オプション画面でゲームの中の画面、音、振動、ボタンの操作設定などを行うことができます。
● 横画面に設定した場合は、FOMA端末を横向きに持った状態で操作してください。ただし、ビューアポジションでは操作できません。

■ 地図アプリ

SH905iに搭載されているGPS機能を利用して、目的地を検索したり、交通手段によるルートを表示したりすることができる便利アプリです。

● 通信時には別途パケット通信料がかかります。
● 本アプリはモーショントラッキングに対応しています。
● 「地図アプリ」の操作方法については、P.275「GPS対応ｉアプリを利用する」を参照してください。

■ Gガイド番組表リモコン

メイン画面

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
知りたい時間の地上デジタル、地上アナログ、もしくはBSデジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグを起動することができます。ワンセグから番組表を起動することもできます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDハードディスクレコーダーに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です。）。

次ページへ続く▶▶

さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレーヤーのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。

※ リモコンの操作時の注意事項については、P.356「赤外線リモコン機能を利用する」を参照してください。
※ はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
※ 別途パケット通信料がかかります。
※ 海外でのご利用時は、FOMA端末の日時設定を日本時間に合わせてください。
※ Gガイド番組表リモコンはメール機能を利用するため、2in1のモードを[Bモード]に設定している場合は利用できません。
※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。
※ Gガイド番組表リモコンの詳細については『ご利用ガイドブック（i モード<FOMA>編）』をご覧ください。

視聴予約機能について

本アプリの地上デジタル番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約をすることができます。

● 視聴予約の方法

メイン画面で視聴予約したい番組を選び、メニューの[視聴予約]から[予約実行]を選択すると視聴予約画面が表示されますので、画面に従って視聴予約を行ってください。

録画予約機能について

本アプリの地上デジタル番組表で録画したい番組を選択し、ワンセグの録画予約をすることができます。

● 録画予約の方法

メイン画面で録画予約したい番組を選び、メニューの[#ワンセグ録画予約]から[予約実行]を選択すると録画予約画面が表示されますので、画面に従って録画予約を行ってください。

- メイン画面で録画予約したい番組を選び、#を押しても録画予約をすることができます。

リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDハードディスクレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

● 初期設定の方法

1 DVDハードディスクレコーダーにインターネット接続の設定をする。

- ご利用のDVDハードディスクレコーダーの取扱説明書をご確認ください。

2 メイン画面で📷（メニュー）▶[リモート録画予約]

- ガイダンスに従って初期設定を進めてください。

● 番組予約の方法

初期設定が完了したあと、お好きな番組を指定してメニューから[リモート録画予約]を選ぶと、インターネット経由で本アプリで設定したDVDハードディスクレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。

※ すでに同じ時間に予約されている場合は、番組表にメッセージが表示されます。
※ ご利用には、別途パケット通信料がかかります。

おすすめ情報をメールで受け取る

.TVメールを設定すると、キーワードに応じた番組情報をメールで受け取ることができます。メールから直接本アプリを起動したり、.TVメールサイトから番組検索結果を表示したりできます。

番組詳細情報について

放送局サイトや番組関連サイトへのリンクが表示されている場合は、リンクを選択すると、サイトやインターネットホームページが表示されます。

■ しゃべって翻訳 for SH

英語が苦手な方のためのコミュニケーションツールです。FOMA端末に向かって話した日本語や英語の音声を文字に変換し、日本語を英語に、英語を日本語に翻訳します。

- 初回利用時から60日間はおためし期間として、すべての機能を使用することができます。初回利用時から61日目以降は一部の機能を使用できません。
- 通信時には別途パケット通信料がかかります。
- 本アプリは海外でも利用することができます。海外でのパケット通信料は、日本国内でのパケット通信料と異なります。

ソフトを起動する

1 ソフト一覧画面（☞P.249）で、[しゃべって翻訳_SH]

- タイトル画面が表示されます。
- はじめて起動した場合は、本アプリの説明や利用規約、注意事項が表示されます。利用規約に同意し、注意事項を確認してください。続けてチュートリアル画面が表示されます。チュートリアルが終了すると、タイトル画面が表示されます。次回起動時からは、直接タイトル画面が表示されます。
- 📷（En／英）／📷（Jp／日）を押すと、表示される言語が英語／日本語に切り替わります。

日本語を英語に翻訳する

1 タイトル画面で[翻訳]▶[日→英　翻訳]

- 英語を日本語に翻訳する場合は、[英→日　翻訳]を選択します。

2 シーンを選択▶[次へ]

3 プロフィールを選択▶[次へ]

- はじめて利用するときや、該当するプロフィールがない場合は、[プロフィールの編集]を選択します。

4 ⦿▶画面の指示に従って、翻訳したい言葉を送話口に向かって話す▶⦿

- 翻訳中画面が表示されたあと、翻訳結果画面が表示されます。
- 発話は10秒以内で完了してください。約10秒経過すると、自動的に翻訳が開始されます。

5 [翻訳文]

- 翻訳文全文表示画面が表示され、翻訳文全文を拡大表示で確認できます。

お知らせ

- 画面の下に[＊キー:ヘルプ]と表示されているときに⊠を押すと、各画面の詳細や操作方法などが表示されます。元の画面に戻るときは▣(戻る)または⊠を押します。
- 通信設定が[通信しない]の場合は、会員認証時や音声入力時に通信設定を[通信する]にしてやり直す旨のメッセージが表示されます。[OK]を選択して本アプリを終了したあと、通信設定を[通信する]にしてご利用ください。

チュートリアルについて

- チュートリアルでは、画面の指示に従って操作することで操作の練習ができます。チュートリアルは、タイトル画面で[メニュー]→[チュートリアル]を選択すると、何度でも利用できます。

関連操作

プロフィールを編集する

1. タイトル画面で[プロフィール編集]▶✥で編集するプロフィールの項目を選ぶ
2. 名前を編集するときは、名前欄を選択▶名前を入力して⦿
   - 性別を編集するとき:性別欄を選択▶性別を選択
   - 年齢を編集するとき:年齢欄を選択▶年齢を選択
3. [プロフィールを保存]

依頼画面を表示する

タイトル画面で[メニュー]▶[依頼画面]▶⦿

■ 楽オク出品アプリ 2

「楽オク出品アプリ 2 」は、楽オクにいつでもどこでもカンタンに出品できる便利なアプリです。
ガイド表示付きで、はじめて出品する方にもわかりやすく使えます。また写真撮影・編集や履歴の保存など便利な機能もあり、サイトからの出品よりも短時間で出品することができます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 楽オクの詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録と出品者登録が必要になります。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- 楽オクに関する情報については、iモードサイトをご覧ください。

iモードサイト:[iMenu]→[オークション]

サイト接続用QRコード

■ FOMA通信環境確認アプリ

FOMA通信環境確認アプリとは、FOMA端末がFOMAハイスピードエリアを利用できるかどうかを確認するアプリです。

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用上の注意」に同意のうえ、ご利用ください。
- 通信環境確認時の通信環境(天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など)によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できない場合があります。

■ iD 設定アプリ

チャージいらずの電子マネー「iD」とは、おサイフケータイや「iD」を搭載したクレジットカードをかざすだけでショッピングができるサービスです。今までのようにサインをすることなく、簡単・便利にショッピングができます。カード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- 「iD」のご利用には、iDに対応した各カード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリと各カード発行会社提供のカードアプリにより所定の設定を完了したおサイフケータイまたは「iD」を搭載したクレジットカードが必要になります。
- おサイフケータイで「iD」をご利用の場合、iDアプリを起動して「ご利用上の注意」にご同意いただき、iDアプリ側の所定の設定を完了のうえ、カードアプリをダウンロードまたは起動し、カードアプリ側の所定の設定を行う必要があります。
- iD対応のサービスのご利用にかかる費用(年会費など)は、各カード発行会社により異なります。
- iDアプリおよびカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

次ページへ続く▶▶

●「iD」に関する情報については、「iD」のｉモードサイトをご覧ください。

ｉモードサイト：[ｉMenu]→[メニューリスト]→[「iD」]

サイト接続用QRコード

■ DCMXクレジットアプリ

「DCMX」とは、「iD」に対応した、エヌ･ティ･ティ･ドコモグループが提供するクレジットサービスです。
DCMXには、月々1万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMXの各サービスがございます。DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

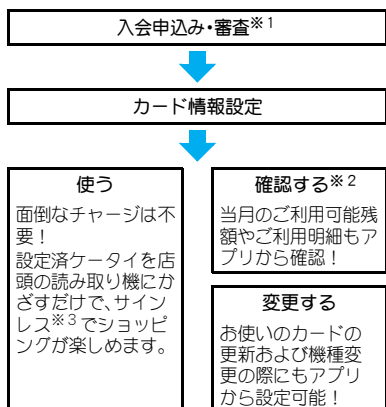
アプリの機能

入会申込み･審査※1

カード情報設定

使う
面倒なチャージは不要！
設定済ケータイを店頭の読み取り機にかざすだけで、サインレス※3でショッピングが楽しめます。

確認する※2
当月のご利用可能残額やご利用明細もアプリから確認！

変更する
お使いのカードの更新および機種変更の際にもアプリから設定可能！

※1　DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。
また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。
※2　ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。
※3　一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。

●サービス内容やお申し込み方法の詳細についてはDCMXのｉモードサイトをご覧ください。

ｉモードサイト：[ｉMenu]→[DCMX iD]

サイト接続用QRコード

●画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
●本アプリをはじめて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意のうえ、ご利用ください。
●各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

■ ｉアプリバンキング

モバイルバンキングを便利にご利用いただくためのｉアプリです。モバイルバンキングとは、携帯電話からご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込･振替などをいつでもどこでも利用できるサービスです。ｉアプリを起動する際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。

●モバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関へのモバイルバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
●ご利用には別途パケット通信料がかかります。
●画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
●ｉアプリバンキングの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
●ｉアプリバンキングに関する情報は、ｉモードサイトをご覧ください。

ｉモードサイト：[ｉMenu]→[メニューリスト]→[モバイルバンキング]→[ｉアプリバンキング]

サイト接続用QRコード

お知らせ

●お買い上げ時、内蔵ｉアプリの各機能は次のように設定されています。
●ソフト一覧のサブメニューから設定を変更できます。

設定項目	お買い上げ時の設定				
	直感♪プレーパーク	デビル メイ クライ for SH	地図アプリ	Gガイド番組表リモコン	しゃべって翻訳 for SH
待受画面設定	－	－	－	－	－
通信設定	通信しない		通信する		
ｉアプリTo設定	－	－	許可する		－
アイコン情報設定	－	－	利用する	－	－
着信音／画像変更	－	－	－	－	－
電話帳／履歴参照	－	－	許可する	－	－
位置情報利用設定	－	－	利用する	－	－

●「直感♪プレーパーク」と「デビル メイ クライ for SH」は、ソフト利用設定を変更できません。

お知らせ

設定項目	お買い上げ時の設定				
	楽オク出品アプリ2	FOMA通信環境確認アプリ	iD 設定アプリ	DCMX クレジットアプリ	i アプリバンキング
待受画面設定	−	−	−	−	−
通信設定	通信する	−	通信する		
i アプリTo設定	許可する	−	許可する		
アイコン情報設定	利用する		−	−	−
着信音／画像変更	−	−	−	−	−
電話帳／履歴参照	−	−	−	−	−
位置情報利用設定	−	−	−	−	−

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応 i アプリに関するご注意

- ＩＣカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

自動起動設定

i アプリを自動実行する

i アプリを自動起動する方法は３通りあります。

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください（☞P.46）。

i アプリDXからの設定による自動起動	有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定します。
ソフト自体の機能による自動起動	あらかじめソフトに組み込まれている自動起動の動作です。有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定して、自動起動するソフトを登録します。最大９件まで登録できます。
FOMA端末の設定による自動起動	FOMA端末に保存されている i アプリに対して、時刻・日付・曜日を指定して自動起動を設定します。有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定して、スケジュールを設定します。最大９件まで登録できます。

自動起動するかどうかを設定する ＜自動起動設定＞

1 待受画面で◉▶[i アプリ]▶[自動起動設定]▶[ON]／[OFF]

自動起動設定画面

FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する

1 自動起動設定画面で[詳細設定]▶番号を選択

- 自動起動設定ソフト一覧画面が表示されます。

新規登録する	番号を選択 ● 新規に登録するときは[-------------------]が表示されている番号を選択します。
変更する	変更する番号を選択→[変更] ● 操作３に進みます。
削除する	削除する番号を選択→[削除] ● 操作が終了します。

2 ソフトを選択

3 起動方法を選択

- [曜日設定]を選択した場合は、曜日を選択（くり返し可）したあと📷を押します（すべての曜日を選択／解除する場合は、Ⓘ（全選択）／Ⓘ（全解除）を押します）。

スケジュール設定画面

4 時刻を入力して◉

- 時刻は24時間制で入力します。
- 日付設定の場合は、日付も入力します。
- カーソルは✣で移動できます。

自動起動対応のソフトの設定を有効にする

1 スケジュール設定画面で[時間間隔設定]

- 無効にするには、自動起動の設定を削除します（「FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する」の操作１「削除する」）。
- 自動起動設定がないソフトの場合、[時間間隔設定]は選択できません。

お知らせ

- 自動起動できなかったときは、自動起動失敗履歴に記憶されます。
- 次の場合、ソフトは自動起動できません。
  - ■ 電源が入っていないとき
  - ■ 他の機能が起動している場合（卓上時計表示中を含む）
  - ■ i アプリが起動中の場合
  - ■ 通話中
  - ■ 自動起動とアラーム（アラーム／スケジュール／視聴予約／録画予約）を同じ時刻に設定している場合
  - ■ i アプリの機能別ロック中
  - ■ 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときに、メール連動型 i アプリを自動起動設定している場合
  - ■ 自動起動を設定しているアプリをダウンロードしたときと異なるFOMAカードを挿入している場合
  - ■ FOMAカードが挿入されていない場合

i アプリ

お知らせ

- 同じ時刻に設定した以下の機能は次の優先順位で動作します。

	優先順位(高→低)
機能	自動電源OFF→自動電源ON→アラーム→ｉアプリ自動起動

- 設定リセットを行うと、ｉアプリ自動起動失敗履歴は削除され、ｉアプリの自動起動設定は解除されます。
- 自動起動設定したソフトの通信設定が[起動ごとに確認]となっている場合、自動起動したときに通信するかどうかの確認画面が表示されます。そのまま操作せずに5秒間経過すると自動的に確認画面で[いいえ]を選択した設定で起動します。
- 同一ソフトの自動起動が前回の自動起動から10分未満の場合、起動できません。自動起動する間隔を10分以上に設定してください。自動起動失敗履歴には[起動エラー]と表示されます。

ｉアプリTo機能

サイトやｉモードメールからｉアプリを実行する

ｉアプリTo(ｉアプリ起動設定)が設定されている場合、サイト、インターネットホームページ、ｉモードメール、メッセージR／F、画面メモやトルカからｉアプリを起動できます。

- 下記の方法でもｉアプリを起動できます。
  - ■ 赤外線通信中にｉアプリ起動の信号を受信したとき
  - ■ バーコードリーダーでｉアプリの起動情報を読み取ったとき
  - ■ FeliCa マークを読み取り機にかざしてｉアプリの起動情報を読み取ったとき
- ｉアプリToを許可するかどうかは、ｉアプリTo設定で設定します。

ｉアプリToでの起動を設定する＜ｉアプリTo設定＞

ｉアプリToで起動させるかどうかを、ソフトごとに設定できます。

1 **ソフト一覧画面(☞P.249)で、ソフトを選んで[カメラ]▶[ソフト利用設定]**

2 **[ｉアプリTo設定]を選択▶[許可する]▶[ｉ](完了)**

お知らせ

- 起動するソフトは、サイト、インターネットホームページ、ｉモードメール、メッセージR／F、画面メモやトルカによって決まっています。指定のソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

サイトやｉモードメールからｉアプリを起動する＜ｉアプリTo機能＞

- ｉアプリTo設定が[許可しない]に設定されている場合、ｉアプリToでは起動できません。
- ｉアプリ待受画面として起動することはできません。
- フルブラウザでは起動できません。

1 **サイト、インターネットホームページ、ｉモードメール、メッセージR／F、画面メモやトルカに表示されているｉアプリを選択▶[はい]**

- 起動を中止するときは、[ｉアプリ起動中]と表示されているときに[終話]を押し、[はい]を選択します。

お知らせ

- ｉアプリを終了すると、元のサイトやインターネットホームページ、受信メール表示画面、画面メモ、トルカ詳細画面やワンセグ視聴画面に戻ります。
- ｉアプリの起動指定に該当するソフトがない場合は、[指定されたソフトがありません]と表示されます。
- サイトから起動するソフトによっては、FOMA端末に保存できないソフトもあります。
- サイトによっては、指定のソフトがFOMA端末に保存されていないときや、FOMA端末に保存されているソフトのバージョンが古いときに、ソフトをダウンロードまたはバージョンアップできる場合があります。
- ソフトによってはダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されているものもあります。このようなソフトはダウンロード後すぐにFOMA端末には保存されません。ソフト終了後に、保存可能なソフトについては保存するかどうかを選択できます。
- 実行中に通信設定(☞P.251)が必要な場合もあります。
- ｉモードメールからのｉアプリToは、IP(情報サービス提供者)からのｉモードメール配信で利用する機能です。FOMA端末どうしではご利用になれません。

ｉアプリ待受設定

ｉアプリ待受画面を設定する

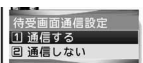
- 待受画面に設定したｉアプリは、[CLR]を押すと操作できるようになります。

ｉアプリ待受画面を設定する＜待受画面設定＞

- ｉアプリ待受設定されたソフトから通信するかどうかは、待受画面通信設定(☞P.259)で設定できます。

1 **ソフト一覧画面(☞P.249)で、ソフトを選んで[カメラ]▶[待受画面設定]▶[はい]**

- ｉアプリ待受画面に設定され、待受画面に戻ると、ソフトが起動します。

● 通信を利用するソフトのときは、右の画面が表示されます。[通信する]を選択すると通信が許可されます。
[通信しない]を選択すると通信されず、情報提供ができない場合がありますので、ご注意ください。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面に設定できるソフトは1つのみです。
- ｉアプリ待受画面に設定できないソフトもあります。
- ｉアプリ待受画面を設定している場合、待受画面にはｉアプリが表示されます。待受画面設定で設定した画像は表示されません。ｉアプリ待受画面設定を解除すると、待受画面設定で設定した画像が表示されます。
- ｉアプリ待受画面からのWeb To機能はご利用になれません。
- 通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- ｉアプリ待受画面表示中にオールロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は終了し、[待受画面1]の画像が表示されます。また、ｉアプリ待受画面表示中にｉアプリの機能別ロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は終了し、待受画面設定で設定した待受画面が表示されます。オールロックまたはｉアプリの機能別ロックを解除するとｉアプリ待受画面が再表示されます。
- ビューアポジションにすると横画面で表示されます。ｉアプリのソフトによっては[横表示できないソフトです]と表示され、ソフトは中断されます。通常ポジションに戻すとソフトが再開されます。
- ｉアプリDXをｉアプリ待受画面に設定した場合、ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するため、通信設定にかかわらず通信するものがあります。
- ｉアプリ待受画面を設定しているときは、電源を入れるとｉアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。[はい]を選択するか、約5秒そのままにしておくと、ｉアプリ待受画面が起動します。[いいえ]を選択すると、通常の待受画面になり、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。ただし、自動電源ONで電源を入れたときは確認画面が表示されず、待受画面に戻ると起動します。
- ｉアプリ待受画面を設定すると、電池の利用可能時間が短くなります。
- 2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定している場合、ｉアプリ待受画面は利用できません。

お知らせ

- 次の操作を行うと待受画面のｉアプリはいったん終了します。
  - ■ カメラ機能
  - ■ データBOX機能
  - ■ ｉモード機能
  - ■ メール機能
  - ■ テレビ電話
  - ■ 電話帳お預かりサービス
  - ■ SDオーディオ
  - ■ ｉアプリの設定の変更
  - ■ ｉモーションの再生
  - ■ トルカ機能
  - ■ ソフトウェアの更新
  - ■ ｉC送信
  - ■ 赤外線通信
  - ■ ｉアプリのソフトのダウンロード
  - ■ ｉアプリの起動
  - ■ マンガ・ブックリーダー
  - ■ ドキュメントビューア
  - ■ PDF対応ビューア
  - ■ パターンデータの更新
  - ■ ワンセグ
  - ■ 2in1の設定の変更（モード切替、2in1機能のON／OFF切替）

セキュリティエラーについて

- ｉアプリ待受画面を設定している場合、ｉアプリが不正な動作をしようとしたり、ｉアプリのソフトが許可されている機能以外の動作をしようとしたときは、ｉアプリ待受画面は解除されます。
- ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などがエラー履歴に記憶、表示されます。通常終了時には記憶されません。待受画面に[セキュリティエラー]と表示されているときは、◉を押すと、エラー履歴が表示されます。

関連操作

ｉアプリ待受画面から通信するかどうかを設定する
<待受画面通信設定>

1 ソフト一覧画面で、待受画面に設定されているソフトを選んで📷▶[待受画面通信設定]
2 [通信する]／[通信しない]

メニューからｉアプリ待受画面を設定する
<待受画面設定>

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[画面設定]▶[待受画面設定]▶[ｉアプリ]
2 ソフトを選択
   - 待受画面に設定しているｉアプリを設定し直すとき：[設定]▶ソフトを選択▶[はい]
   - 待受画面に設定しているｉアプリを終了するとき：[終了]
   - 待受画面に設定しているｉアプリを解除するとき：[解除]

ｉアプリ待受画面を解除する

ｉアプリ待受画面を解除すると、待受画面設定で設定した画像が表示されます（☞P.128）。

- ｉアプリ待受画面を終了しても、ｉアプリ待受画面設定は解除されず、待受画面に戻ったときにｉアプリ待受画面が再起動します。

1 ソフト一覧画面（☞P.249）で、待受画面に設定されているソフトを選んで📷▶[待受画面設定]▶[はい]

ｉアプリを管理する

FOMA端末に保存したｉアプリのバージョンアップを行ったり、削除やソート、実行時のエラー情報やトレース情報の表示などを行うことができます。

- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合は、そのソフトの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細表示のみが可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- このようにIP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、携帯電話は通信を行い、ｉモードアイコンが点滅します。この際通信料はかかりません。

ｉアプリをバージョンアップする <バージョンアップ>

FOMA端末に保存済みのソフトがサイト側で新しいバージョンに更新されている場合に、バージョンアップできます。
ソフトによっては、実行時に更新情報を自動確認し、自動的にバージョンアップできるものもあります。

1 ソフト一覧画面（☞P.249）で、ソフトを選んで📷▶［バージョンアップ］▶［はい］

- ソフトの情報が表示されたときは、◉を押します。

お知らせ

- FOMA端末（本体）のメモリの空き容量がない場合は、バージョンアップできません。他のソフトまたはｉアプリとメモリエリアを共有しているデータBOXのデータを削除してください。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ＩＣカードロック中、ダウンロードやバージョンアップができない場合があります。

関連操作

ソフト実行時に自動バージョンアップする
［最新ソフトにバージョンアップしますか？］の確認画面で、［はい］

関連操作のお知らせ

- メールの機能別ロック中、メールフォルダ名を変更するメール連動型ソフトはバージョンアップできません。

ｉアプリを並べ替える<ソート>

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

- ソートを実行したあと、ソフト一覧画面を終了しても、その設定は継続されます。

ダウンロード順（新→旧）	ダウンロードした日付の新しい順
ダウンロード順（旧→新）	ダウンロードした日付の古い順
使用順	最近使用されたソフトの順
ソフトサイズ順	プログラムサイズの大きいもの順

1 ソフト一覧画面（☞P.249）で📷▶［ソート］▶ソート方法を選択

エラー表示を確認する<エラー表示>

ソフト実行時のエラー情報（［自動起動失敗履歴］、［待受画面エラー履歴］、［セキュリティエラー履歴］）やトレース情報を確認できます。

1 待受画面で◉▶［ｉアプリ］▶［エラー表示］▶エラー履歴を選択

お知らせ

- ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などがエラー履歴に記憶、表示されます。通常終了時には記憶されません。

関連操作

トレース情報を表示する<トレース表示>
1 待受画面で◉▶［ｉアプリ］▶［トレース表示］
2 確認を終わるときは◉
- トレース情報を削除するとき：▮▶［はい］

関連操作のお知らせ

- トレース情報がない場合は、［トレース情報がありません］と表示されます。

ｉアプリ作成者の方へ

- 作成したｉアプリが正常な動作をしない場合は、トレース情報の内容が参考になることがあります。
- トレースを採取するように設定されているソフトがないときは、トレース情報が表示されません。

ｉアプリを機能別ロックする <機能別ロック>

1 待受画面で◉▶［ｉアプリ］▶［機能別ロック］▶端末暗証番号を入力して◉

2 ［ON］／［OFF］

ｉアプリを削除する＜削除＞

● Gガイド番組表リモコンは削除できません。

1 ソフト一覧画面（☞P.249）で、ソフトを選んで[MENU]▶［削除］▶削除方法を選択

1件削除する	［1件削除］→［はい］
複数をまとめて削除する	［選択削除］→ソフトを選択（くり返し可）→[MENU]→［はい］ ● すべてを選択／解除する場合は、[i]（全選択）／[i]（全解除）を押します。
すべてを削除する	［全件削除］→端末暗証番号を入力して●→［はい］

お知らせ

● メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作成されたメールフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。なお、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダの削除はできません。
● 削除するソフトのｉアプリ使用データがmicroSDメモリーカードに保存されている場合、ｉアプリ使用データを同時に削除するかどうかを選択できます。
● フォルダを残してメール連動型ｉアプリのソフトを削除した場合、フォルダ内のｉモードメールを確認するときは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXで[MENU]を押し、［ｉモードメール閲覧］を選択します。メール連動型ｉアプリを起動せずにフォルダ内のｉモードメールを表示できます。

おサイフケータイ対応ｉアプリのソフトを削除するとき

● ソフトによっては、お客様がソフトを起動してＩＣカード内のデータを削除しないと、ソフトを削除できないものがあります。
● おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。
● ＩＣカードロック中、おサイフケータイ対応ｉアプリのソフトは削除できない場合があります。

メール連動型ｉアプリを含むソフトを全件削除するとき

● メールフォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダの削除はできません。

ｉアプリ使用データ（コンテンツ移行対応）

microSDメモリーカード内のｉアプリ使用データを表示する

● ｉアプリ使用データフォルダを削除したり、選択したフォルダの詳細情報を表示することができます。
● 詳細情報には、利用可能ソフト／CP名、フォルダ利用可／不可、利用不可原因が表示されます。
● フォルダの利用不可原因は次のとおりです。
  ■ ソフト動作制限［あり］：保存されたデータを使用するソフトがないため利用できません。
  ■ FOMAカード動作制限［あり］：保存したときと異なるFOMAカードが挿入されているため利用できません。
  ■ 機種制限［あり］：保存したときと異なる機種のため利用できません。
  ■ シリーズ制限［あり］：FOMA端末のシリーズが、保存したときのシリーズと異なるため利用できません。

1 待受画面で●▶［ｉアプリ］▶［ｉアプリ使用データ］

フォルダを1件削除する	フォルダを選んで[MENU]→［はい］
情報を表示する	[i] ● 確認を終わるときは●を押します。

お知らせ

● 同時に起動している他の機能がmicroSDメモリーカードを使用している場合は、ｉアプリ使用データのフォルダを表示できません。他の機能を終了してから操作してください。

ｉアプリのさまざまな機能を利用する

● 利用する機能によっては、同時に起動している他の機能を終了してから利用できるものがあります。

ｉアプリからサイトを表示する

● サイト表示に対応したソフトをダウンロードする必要があります。
● URLが半角の英数字や記号で255文字を超えるサイトは表示できません。

1 ソフト実行中に、URLの項目を選択▶［はい］

● サイトやインターネットホームページを表示する方法は、ソフトによって異なります。

ｉアプリから電話をかける

実行中のソフトから、音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用することができます。

● 音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用することに対応したソフトをダウンロードする必要があります。
● ダイヤル発信制限中、セルフモード中は、電話をかけることができません。

1 ソフト実行中に、電話番号の項目を選択

● 音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用する方法は、ソフトによって異なります。
● 音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用する電話番号が表示されます。

2 電話をかける

音声電話	[発信]／●→［はい］
テレビ電話	[i]→［はい］
プッシュトーク	[メール]／[P]（[P]）→［はい］

ｉアプリからカメラ機能を利用する

- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はｉアプリの一部として保存、利用されます。

1 ソフト実行中に、カメラの起動項目を選択

- カメラモード（静止画撮影画面）になります。明るさを調整したり、セルフタイマー、ズームを利用できます。
- ソフトから［画像サイズ］や［連続撮影］、［画質］、［フレーム］などの設定ができるものもあります。設定できる項目や設定方法、カメラ起動方法はソフトによって異なります。

2 ⦿（📷）

- 撮影した画像を保存するときは、⦿を押します。

お知らせ

- ソフトによってはｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどを、自動的にインターネットを経由して送信することがあります。ｉアプリで利用する画像とは、実行中のｉアプリが、カメラ機能を起動して撮影した画像、データBOXのマイピクチャから選択した画像および赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。

ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

1 ソフト実行中に、バーコードリーダーの起動項目を選択

- カメラモード（バーコードリーダー）になります。
- バーコードリーダーの起動方法は、ソフトによって異なります。

2 バーコード（JANコード、QRコード）が表示されるようにカメラを合わせて⦿（読取）

- バーコード（JANコード、QRコード）が撮影されます。

お知らせ

- 読み込んだデータはソフトで利用される場合があります。

ｉアプリからトルカを保存する

1 ソフト実行中に、トルカの保存項目を選択

- トルカの登録方法は、ソフトによって異なります。

2 プレビュー表示／保存する

トルカをプレビュー表示する	［プレビュー］
新規保存する	［新規保存］→フォルダを選択
上書き保存する	［上書き保存］→フォルダを選択→データを選択→ⓘ

ｉアプリからアラームを登録する

- ［時刻入力］と［繰り返し設定］は、ｉアプリにより入力されています。

1 ソフト実行中に、アラーム登録項目を選択 ▶ ⦿（OK）

2 登録番号を押し、アラームを登録する

- 詳しくは、P.401の操作２～４を参照してください。

ｉアプリから位置情報を利用する

1 ソフト実行中に、位置履歴の項目を選択 ▶［はい］

2 位置履歴一覧から利用する位置情報を選択

お知らせ

- 電話帳を参照できるｉアプリの場合、登録されている位置情報を利用できます。

ｉアプリから赤外線通信機能／ｉＣ通信機能を利用する

- セルフモード中は、赤外線通信機能（☞P.352）／ｉＣ通信機能（P.356）を利用することはできません。

1 ソフト実行中に、赤外線通信／ｉＣ通信を起動する ▶［はい］

- 起動方法は、ソフトによって異なります。
- 通信を中止するときは、📷を押します。

おサイフケータイ／トルカ

■おサイフケータイ

■トルカ

おサイフケータイとは

おサイフケータイは、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで支払いができるほか、ポイントカードやクーポン券としても利用できます。さらに、通信を利用して電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できたり便利に利用できます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティも充実しています。
詳しくは、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト※1よりおサイフケータイ対応iアプリをダウンロードし、設定を行う必要があります。

※1　iモードサイト：[iMenu]→[メニューリスト]→[おサイフケータイ]

- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービスの提供者に対応方法をお問い合わせください。なお、本FOMA端末では、おまかせロック（☞P.146）、ICカードロック設定（☞P.272）を利用できます。

iCお引っこしサービスとは

iCお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括※2でお取替え先のおサイフケータイに移し替える※3ことができるサービスです。
ICカード内データを移し替えたあとは、おサイフケータイ対応iアプリをダウンロード※4するだけで、簡単におサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
詳しくは、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※1　移行元、移行先ともに、iCお引っこしサービス対応のFOMA端末である必要があります。ご利用にあたってはお近くのドコモショップなど窓口にご来店ください。
※2　おサイフケータイ対応サービスによっては、一部iCお引っこしサービス対象外のサービスがあり、移行できるのはiCお引っこしサービス対象のおサイフケータイ対応サービスのICカード内データのみになります。
※3　このサービスは、「コピー」ではなく「移行」されるため、ICカード内データは、移行元のFOMA端末に残りません。iCお引っこしサービスをご利用いただけない場合もございますので、各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスなどをご利用ください。
※4　iアプリのダウンロード、各種設定にはパケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応iアプリを起動する

おサイフケータイの利用方法

おサイフケータイのご利用手順は次のようになります。

- おサイフケータイ対応iアプリをはじめて起動する際やダウンロードする際は、[FOMAカード情報とICカードの対応付けを行います]と表示されます。
  それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないとICカード機能を利用することはできません。
  なお、別のFOMAカードに差し替えてご利用になる場合は、一度おサイフケータイ対応iアプリをすべて削除しないとICカード機能を利用することはできません。
  削除時には、対応付けされたFOMAカードが必要になる場合があります。

おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードする ☞P.248

おサイフケータイ対応iアプリを起動してICカード内のデータの読み書きを行う ☞P.265

FeliCa マークを読み取り機にかざす ☞P.265

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してＩＣカード内のデータの読み書きを行う

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して、電子マネーや乗車券にチャージ(入金)したり、残高や利用履歴を参照するなど、便利な機能をご利用いただくことができます。

1 待受画面で◉▶[おサイフケータイ]▶[ＩＣカード一覧]

2 おサイフケータイ対応ｉアプリを選択

- おサイフケータイ対応ｉアプリが起動します。

お知らせ

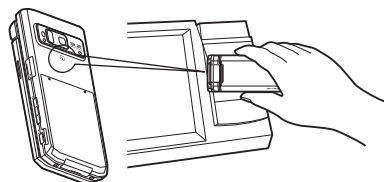
- きせかえツールが[White]／[Black]の場合は、カスタムメニュー画面からＩＣカード一覧画面を表示したあとでCLRを押すと、カスタムメニュー画面に戻ります。

FeliCa マークを読み取り機にかざす

FOMA端末の FeliCa マークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとしてご利用することなどができます。

- ソフトを起動せずご利用いただくことができますが、サービスによってはソフトの起動が必要な場合があります。
- FOMA端末を読み取り機にぶつけないようにご注意ください。
- FeliCa マーク面以外は、読み取れません。
- FeliCa マークと読み取り機は、平行にかざしてください。
- FOMA端末は、できるだけ読み取り機の中心位置にかざしてください。
- FOMA端末の FeliCa マークを読み取り機にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCa マーク面に金属物などがあると、読み取れない場合があります。

1 読み取り機にFOMA端末の FeliCa マークをかざす

- 読み取り機がFOMA端末を認識すると、FOMA端末の着信ランプが点滅するように設定できます(☞P.137)。

FeliCa
マーク

2 読み取ったことを確認する

- 読み取り機のディスプレイなどで読み取り結果を確認します。

おサイフケータイをお使いになるときのご注意

- おサイフケータイご利用時は、電池パックを装着してください。
- 電源OFF時も FeliCa マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただくことができますが、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動することはできません。また、着信ランプは動作しません。
- 電池パックを脱着した場合は、本体の電源をONにするまでＩＣカード機能を使用できません。
- ｉモード中は、FeliCa マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただくことができますが、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動することはできません。
- 読み取り機から起動情報を読み取ってｉアプリを起動したり、サイトに接続することもできます。
- 電池が切れた場合は、FeliCa マークを読み取り機にかざしても、利用できない場合があります。
- ＩＣカードロック中(☞P.272)は、FeliCa のＩＣカード機能を使用できません。
- オールロック(☞P.145)を設定しても、FeliCa のＩＣカード機能はロックされません。
- おまかせロック(☞P.146)を設定すると、FeliCa のＩＣカード機能の使用も停止できます。おまかせロックを解除すると、ＩＣカードロック設定(☞P.272)の設定に従います。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリソフトもご利用いただけます。
- 以下の場合は、ソフトからのＩＣカード内へのデータの読み書きが中断されます。通話終了後の操作は、ご利用サービスによって異なります。
  - ■ ソフト実行中に電話がかかってくるとソフトは中断され、電話を切ると再開します。
  - ■ ソフト実行中にアラーム(アラーム／スケジュールアラーム／視聴予約アラーム／録画予約アラーム)で設定した時刻になると、ソフトの実行は中断され、アラーム画面が表示されます。アラーム画面を終了すると再開します。
- 次の場合、ソフトは自動起動できません。
  - ■ 電源OFF時
  - ■ 他の機能が起動している場合
  - ■ 通話中
  - ■ ｉアプリが起動中の場合
  - ■ ｉアプリの機能別ロック中
- 端末暗証番号、手書き認証の認証用記号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分ご注意ください。

トルカ

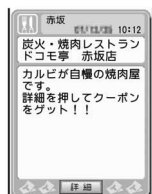
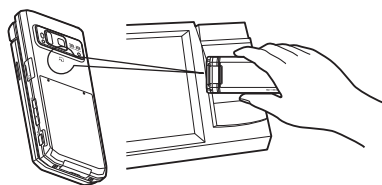
トルカとは

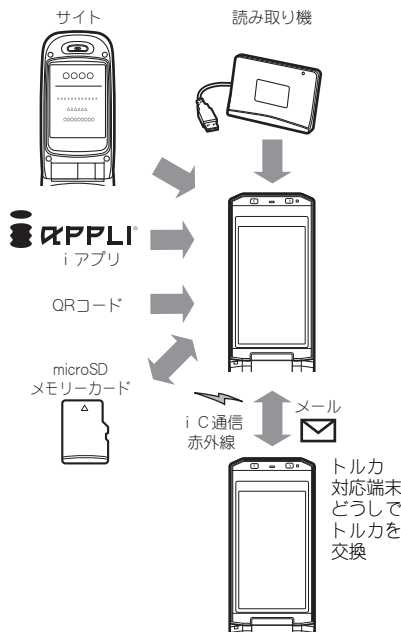
トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは読み取り機やサイト、QRコードなどから取得が可能で、メールや赤外線、ｉＣ通信、microSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。
取得したトルカは[おサイフケータイ]メニューの[トルカ]内に保存されます。

- トルカ対応機種でご利用いただけます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得。

FeliCa
マーク

取得したトルカを表示。[詳細]ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

トルカの取得手段

お知らせ

- ｉモード通信でトルカをやりとりする場合は、通常のパケット料金がかかります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては更新できなかったり、メールや赤外線通信などを利用して再配布できないトルカがあります。

トルカ取得

トルカを取得する

トルカは、ＩＣカード機能を利用して、読み取り機から取得したり、ｉモードメールやメッセージR／Fの添付ファイル、ｉアプリ、ｉモードからのダウンロード、microSDメモリーカード、ｉＣ通信、赤外線通信、QRコード、データ放送・データ放送サイトからのダウンロードのいずれかの方法で取得することができます。トルカは最大1000件まで保存できます（トルカのサイズによって、保存できる件数が変わります）。

- 読み取り機にかざすと、自動読取機能によりトルカを利用することができます。なお、利用されたトルカは[利用済みトルカ]フォルダに移動されます。
- トルカの機能別ロック中は、ＩＣカード機能を利用しての取得を除き、機能別ロックを解除する必要があります。

読み取り機から取得する

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカ／トルカ(詳細)を取得します。

- 取得／保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1Kバイト、トルカ(詳細)は1件あたり最大100Kバイトです。
- ＩＣカード機能を利用して新しいトルカを取得すると、待受画面に[◆](新着トルカあり)が表示されます。また、FOMA端末(本体)に未読トルカがあると、[◆]が表示されます。

1 トルカ／トルカ(詳細)を取得すると、取得完了音が鳴り、着信ランプが点滅し、トルカ／トルカ(詳細)が表示される

- 何も操作しないでそのままにしておくと、約15秒後、自動的に元の画面に戻ります。待受画面に戻ると[◆](新着トルカあり)が表示されます。このときは、待受画面で◉を押し、[◆](新着トルカあり)を選択すると、トルカ一覧画面が表示されます。
- 取得完了時にトルカ／トルカ(詳細)が表示されないように設定することもできます(☞P.272)。
- 詳細情報があるトルカの場合は、取得完了時に、サイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、トルカ(詳細)を取得します。

お知らせ

- ＩＣカードロック中またはＩＣカードからトルカ取得を[OFF]に設定している場合は、読み取り機を利用してトルカを取得できません。
- 待受画面以外を表示しているときに読み取り機からトルカを取得した場合、取得が完了してもトルカ／トルカ(詳細)やサイト接続確認画面は表示されません。

ｉモードメールやメッセージR／Fの添付ファイルから取得する

ｉモードメールやメッセージR／Fの添付ファイルとしてトルカを取得することができます。

1 トルカが添付されている受信メールやメッセージR／Fを表示▶保存するファイルを選択

- トルカ／トルカ(詳細)のプレビュー画面が表示されます。

2 保存方法を選択

トルカ	そのまま保存する	▮(保存)→[はい]
	トルカ(詳細)を取得して保存する	[詳細]→[はい]→◉(保存)→[はい]
トルカ(詳細)	そのまま保存する	◉(保存)→[はい]
	トルカ(詳細)を更新して保存する	▮(更新)→[はい]→◉(保存)→[はい]

- トルカ(詳細)を取得／更新する場合は、ｉモード通信を行います。通常のパケット料金がかかります。

3 [本体]／[microSD]

お知らせ

- メモリが不足している場合、トルカを保存できません。不要なトルカを選択削除し、メモリの空き容量を増やしてください(☞P.271)。

microSDメモリーカードについて

- microSDメモリーカード内のトルカからは詳細を取得することができません。
- microSDメモリーカードに保存されているトルカを、FOMA端末(本体)にコピー(☞P.271)できます。

ｉモードやｉアプリから取得したトルカについて

- トルカによっては、ｉアプリから取得できない場合があります。
- トルカによっては、メールに添付して送信したり、赤外線通信／ＩＣ通信で送信したり、microSDメモリーカードにコピーできない場合があります。

トルカビューア

トルカを表示する

取得したトルカやトルカ(詳細)を表示します。

1 待受画面で◉▶[おサイフケータイ]▶[トルカ]

- microSDメモリーカード内のトルカ情報を表示するときは、[→microSD切替]を選択します。

2 フォルダを選択

- 全フォルダのトルカ一覧を表示するときは、▮を押します。ただし、microSDメモリーカードの場合は表示されません。

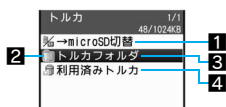
3 トルカを選択

- トルカまたはトルカ(詳細)の詳細画面からWeb To、Mail To、Phone To(AV Phone To)などを利用できます。ただし、利用済みトルカやmicroSDメモリーカード内のトルカからは利用できません。

お知らせ

- トルカの機能別ロック中にトルカのフォルダ一覧画面を表示するときは、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると、機能別ロックが一時解除され、表示できます。

トルカ一覧画面・詳細画面の見かた

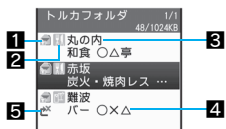
フォルダ一覧画面の見かた

1 →microSD切替
選択すると、microSDメモリーカード内のトルカのフォルダ一覧画面が表示されます（microSDメモリーカードの場合は［→本体切替］が表示されます）。

2 フォルダマーク

	未読トルカが存在するフォルダ
	未読トルカが存在しないフォルダ

3 フォルダ名
全角9文字（半角18文字）まで表示されます。

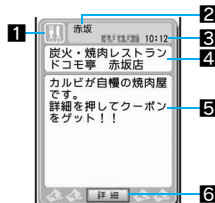
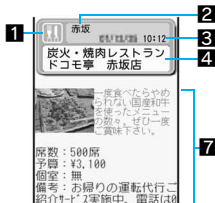
4 利用済みトルカ
利用済みのトルカが保存されます。最大20件まで保存できます。最大保存件数を超えた場合は、取得日時の古いトルカから順に削除されます。

トルカ一覧画面の見かた

1 トルカの種類

	未読トルカ※1
（グレー）	未読トルカ（有効期限切れ）※2
	既読トルカ
（グレー）	既読トルカ（有効期限切れ）※2

※1 サイトやｉモードメールから取得したトルカは未読になりません。
※2 トルカに有効期限が設定されている場合、有効期限が過ぎたトルカに表示されます。

2 カテゴリ
3 インデックス
4 タイトル
5 再配布不可トルカ

トルカ詳細画面の見かた　■トルカ（詳細）詳細画面の見かた

1 カテゴリ
2 インデックス
3 取得日時
4 タイトル
5 説明文
6 詳細ボタン
選択すると、トルカ（詳細）を取得します。
7 トルカ（詳細）詳細情報

トルカからトルカ（詳細）を取得する

1 **トルカ詳細画面（☞P.268）で［詳細］▶［はい］**
- ｉモードサイトに接続され、トルカ（詳細）が取得されます。

お知らせ
- メモリが不足している場合、トルカ（詳細）を保存できません。不要なトルカを選択削除し、メモリの空き容量を増やしてください（☞P.271）。

関連操作

トルカの電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>
1 トルカ（詳細）詳細画面またはトルカ詳細画面で電話番号やメールアドレスを選んで［MENU］▶［電話帳登録］
2 電話帳に新規登録するときは［本体新規］／［FOMAカード新規］
- 電話帳に追加／上書き登録するとき：［追加／上書］▶名前を選択

3 電話帳登録（☞P.102、P.107）

トルカ（詳細）の画像を保存する<画像保存>
1 トルカ（詳細）詳細画面で［MENU］▶［画像保存］
2 画像を選択▶［はい］

トルカのFlash画像やGIFアニメーションを再び再生する<リトライ>
トルカ（詳細）詳細画面で［MENU］▶［表示／設定］▶［リトライ］

トルカのFlash画像の効果音量を調節する<効果音設定>
1 トルカ（詳細）詳細画面またはトルカ詳細画面で［MENU］▶［表示／設定］
2 ［効果音設定］▶ ↑／↓ ▶ ●

おサイフケータイ／トルカ

関連操作

トルカを更新する
トルカ(詳細)詳細画面で[i](更新)▶[はい]

関連操作のお知らせ
- 利用済みトルカおよびmicroSDメモリーカード内のトルカは、電話帳登録や本文中画像の保存をすることができません。

Flash画像の再生については、P.182「Flash画像を表示する」を参照してください。

トルカを自動的にフォルダに振り分ける＜振分け条件設定＞

フォルダに振分け条件を設定すると、条件に合ったトルカを自動的に振り分けることができます。
- 1つのフォルダに最大10件まで振分け条件を設定できます。
- [トルカフォルダ]、[利用済みトルカ]フォルダに振分け条件を設定することはできません。
- 自動的に振り分けられるのは、読み取り機から取得したトルカのみです。

フォルダに振分け条件を設定する

1 **待受画面で⦿▶[おサイフケータイ]▶[トルカ]▶フォルダを選んで[カメラ]▶[振分け条件設定]**

2 **登録先番号を選択▶振分け条件を設定する**
- 設定済みの番号を選ぶと、振分け条件を編集できます。

カテゴリで振分ける	[カテゴリ]→カテゴリを選択 ● カテゴリ選択画面で[i]を押すと選んだカテゴリのアイコン一覧が表示されます。⦿で元の画面に戻ります。
インデックスに含まれる文字列で振分ける	[インデックス]→文字列を入力して⦿ ● 最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
タイトルに含まれる文字列で振分ける	[タイトル]→文字列を入力して⦿ ● 最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
すべてのトルカを振分ける	[全てのトルカ]→[はい] ● [全てのトルカ]が[1]に設定されます。 ● [いいえ]を選択すると、指定した番号に設定されます。

3 **複数の振分け条件を設定するときは、操作2をくり返す**

4 **[i](完了)**

設定した振分け条件を削除する

1 **待受画面で⦿▶[おサイフケータイ]▶[トルカ]▶フォルダを選んで[カメラ]▶[振分け条件設定]**

2 **登録先番号を選んで[カメラ]▶削除方法を選択**

1件削除する	[1件削除]→[はい]→[i]
全件削除する	[全件削除]→[はい]→[i]

フォルダを管理する

最大20個のフォルダを作成して、ファイルを管理できます。

フォルダを作成する＜フォルダ新規作成＞

1 **待受画面で⦿▶[おサイフケータイ]▶[トルカ]▶[カメラ]▶[フォルダ管理]**

2 **[フォルダ新規作成]▶フォルダ名を入力して⦿**
- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、フォルダ名編集画面で[CLR]を1秒以上押します。

お知らせ
- フォルダ名は最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。

フォルダ名を編集する＜フォルダ名編集＞

1 **待受画面で⦿▶[おサイフケータイ]▶[トルカ]▶フォルダを選んで[カメラ]▶[フォルダ管理]**

2 **[フォルダ名編集]▶フォルダ名を編集して⦿**
- フォルダ名を削除するときは、フォルダ名編集画面で[CLR]を1秒以上押します。

お知らせ
- 自分で作成したフォルダ以外は編集できません。

フォルダの表示順を1つ上に移動する<フォルダ移動(↑)>

1 待受画面で⊙▶[おサイフケータイ]▶[トルカ]▶フォルダを選んで📷▶[フォルダ管理]

- [トルカフォルダ]、[利用済みトルカ]フォルダ、一番上のユーザ作成フォルダおよびmicroSDメモリーカード内のフォルダは移動できません。

2 [フォルダ移動(↑)]

トルカを機能別ロックする<機能別ロック>

1 待受画面で⊙▶[おサイフケータイ]▶[トルカ]▶📷▶[機能別ロック]

2 端末暗証番号を入力して⊙▶[ON]/[OFF]

フォルダを削除する<削除>

1 待受画面で⊙▶[おサイフケータイ]▶[トルカ]▶フォルダを選んで📷▶[削除]

2 削除方法を選択

フォルダを1件削除する	[フォルダ1件削除]→端末暗証番号を入力して⊙→[はい]
複数のフォルダをまとめて削除する	[フォルダ選択削除]→フォルダを選択(くり返し可)→📷→端末暗証番号を入力して⊙→[はい] ● すべてを選択/解除する場合は、▣(全選択)/▣(全解除)を押します。
すべてのトルカを削除する(フォルダは残す)	[全件削除]→端末暗証番号を入力して⊙→[はい]
すべてのフォルダおよびトルカを削除する	[フォルダ全件削除]→端末暗証番号を入力して⊙→[はい]

お知らせ

- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。

トルカを管理する

FOMA端末(本体)内やmicroSDメモリーカード内のトルカやトルカ(詳細)の削除、移動、コピー、並べ替えを行うことができます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます(☞P.335)。

トルカを並べ替える<ソート>

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

- ソート対象はFOMA端末(本体)内のトルカのみです。
- ソートを実行したあと、トルカ画面を終了しても、その設定は継続されます。

日付順(新→旧)	保存した日付の新しい順
日付順(旧→新)	保存した日付の古い順
カテゴリ順	カテゴリアイコンのジャンル順
インデックス順	インデックスによって、(半角数字→半角英大文字→半角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→半角カタカナ)の順 ● 各文字種類内では、文字コード順
かな順	トルカに設定されているかなの順

1 待受画面で⊙▶[おサイフケータイ]▶[トルカ]▶フォルダを選択▶📷▶[ソート]

2 ソート方法を選択

トルカを移動またはコピーする<移動／コピー／microSDへコピー／本体へコピー>

1 待受画面で◉▶［おサイフケータイ］▶［トルカ］▶フォルダを選択▶トルカを選んで📷▶［移動／コピー］

2 項目を選択

項目	移動	microSDへコピー※
	コピー	

※ microSDメモリーカード内のトルカの場合は、［本体へコピー］が表示されます。

3 移動方法／コピー方法を選択

トルカを1件ずつ移動またはコピーする	［1件移動］／［1件コピー］
複数のトルカを選んで移動またはコピーする	［選択移動］／［選択コピー］→トルカを選択（くり返し可）→📷 ● すべてを選択／解除する場合は、▮（全選択）／▮（全解除）を押します。
フォルダ内のすべてのトルカを移動またはコピーする	［フォルダ内全件移動］／［フォルダ内全件コピー］→端末暗証番号を入力して◉

4 フォルダを選択

- FOMA端末（本体）とmicroSDメモリーカード間でコピーする場合は［はい］を選択します。
- ［ファイル制限のある画像を含むため、詳細を除いてコピーします］または［ファイル制限のある画像を含むトルカは詳細を除いてコピーします］と表示された場合は、［確認］を選択します。

お知らせ

- 自分で作成したフォルダがないときは、移動できません。
- ［利用済みトルカ］フォルダには移動／コピーできません。
- FOMA端末（本体）とmicroSDメモリーカード間の移動は行えません。
- FOMA端末（本体）とmicroSDメモリーカード間でコピーする場合は、フォルダの選択は不要です。

トルカを削除する<削除>

1 待受画面で◉▶［おサイフケータイ］▶［トルカ］▶フォルダを選択▶トルカを選んで📷▶［削除］

2 削除方法を選択

トルカを1件削除する	［1件削除］→［はい］
複数のトルカをまとめて削除する	［選択削除］→トルカを選択（くり返し可）→📷→［はい］ ● すべてを選択／解除する場合は、▮（全選択）／▮（全解除）を押します。
フォルダ内のすべてのトルカを削除する	［フォルダ内全件削除］→端末暗証番号を入力して◉→［はい］

トルカを検索する

トルカをカテゴリアイコンのジャンル、インデックス、タイトルで検索することができます。

- 検索対象はFOMA端末（本体）内のトルカのみです。
- ［利用済みトルカ］フォルダ内は検索できません。

1 待受画面で◉▶［おサイフケータイ］▶［トルカ］▶フォルダを選んで📷▶［検索］

- フォルダを選択し、📷を押して［検索］を選択すると、該当フォルダ内の検索になります。

2 検索範囲を選択

検索範囲	フォルダ内検索	全件検索

3 検索方法を選択▶キーワードを指定する

カテゴリアイコンのジャンルで検索する	［カテゴリ］→カテゴリを選択
インデックスで検索する	［インデックス］→インデックスの一部を入力して◉
タイトルで検索する	［タイトル］→タイトルの一部を入力して◉

- 検索結果の一覧画面が表示されます。
- インデックスやタイトルなどキーワードは最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

4 絞り込み検索するときは、検索結果画面で📷▶［絞り込み検索］

iモードメールにトルカを添付する

- 1Kバイトを超えるトルカ、100Kバイトを超えるトルカ（詳細）、再配布不可のトルカおよび利用済みトルカはメールに添付できません。

1 トルカ（詳細）詳細画面（☞P.268）やトルカ詳細画面（☞P.268）で📷▶［メール添付］

- トルカ一覧画面で✉を押しても操作できます。

2 iモードメールを作成し、送信する

- 詳しくは、P.208の操作2～4を参照してください。

お知らせ

- トルカに対応していない機種には送信できません。

次ページへ続く

お知らせ

- トルカ(詳細)をメールに添付して送信するときにファイル制限されている画像が含まれている場合は、トルカ(詳細)取得前の状態で送信されます。ただし、送信された先で再度詳細を取得することが可能です。

トルカ設定

トルカについて設定する

FOMA端末を読み取り機にかざしてトルカを利用するときの設定を行います。

- 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	設定内容
ＩＣカードからトルカ取得	読み取り機やｉＣ通信を利用してトルカを取得するかどうかを設定します。
トルカ重複チェック	トルカ取得時に、同じトルカが保存されていないかチェックし、重複して取得しないように設定できます。
トルカ自動読取チェック	読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際、利用可能なトルカを自動読取させるかどうかを設定します。[ON]に設定すると、利用可能なトルカが自動的に認識され、[利用済みトルカ]フォルダに移動されます。
トルカ自動表示	トルカ取得完了時に自動的に表示するかどうかを設定できます。
トルカ効果音設定	トルカ内のFlash画像の効果音量を調節できます。

- トルカ自動読取チェックを[OFF]に設定している場合、トルカの一部機能を利用できないことがあります。
- トルカ自動読取チェックを[OFF]に設定している状態で読み取り機にかざすと、自動読取機能を利用するかどうかの確認画面が表示される場合があります。トルカを利用する場合は、[はい]を選択して本機能を[ON]にしてください。

1 待受画面で◉▶[おサイフケータイ]▶[設定]

2 設定項目を選択

読み取り機から取得可能に設定する	[ＩＣカードからトルカ取得]→[ON]／[OFF]
重複チェックを設定する	[トルカ重複チェック]→[ON]／[OFF]
自動読取を設定する	[トルカ自動読取チェック]→[ON]→[はい] ● 解除するとき：[OFF]
自動表示を設定する	[トルカ自動表示]→[ON]／[OFF]
効果音量を調節する	[トルカ効果音設定]→◯／◯→◉

お知らせ

- 有効期限切れのトルカ、利用済みトルカ、microSDメモリーカード内のトルカは、トルカ重複チェックやトルカ自動読取チェックの対象になりません。

ＩＣカードロック設定

ＩＣカード機能をロックする

FeliCaのＩＣカード機能を利用できないように、ＩＣカードロックを設定できます。

電源を入れたときにＩＣカード機能をロックする＜電源ON時ＩＣロック設定＞

電源が入っているときにＩＣカード機能を自動的にロックするように設定できます。

1 待受画面で◉▶[おサイフケータイ]▶[ＩＣカードロック設定]▶端末暗証番号を入力して◉

2 [電源ON時ＩＣロック設定]▶[ON]／[OFF]

- 待受画面で◯を１秒以上押し、[はい]を選択してもＩＣカードロックを設定できます。また、解除するときは、待受画面で◯を１秒以上押し、端末暗証番号を入力して◉を押しても解除できます。

電源を切ったときにＩＣカード機能をロックする＜電源OFF時ＩＣロック設定＞

電源が切れているときにＩＣカード機能を自動的にロックするように設定できます。

1 待受画面で◉▶[おサイフケータイ]▶[ＩＣカードロック設定]▶端末暗証番号を入力して◉

2 [電源OFF時ＩＣロック設定]▶電源OFF時の設定項目を選択

設定項目	電源ON時設定に従う
	ON

お知らせ

- おまかせロックを設定した場合も、ＩＣカードロックが自動的に設定されます。
- ＩＣカードロック中は、読み取り機を利用したトルカの取得や、自動読取機能は利用できません。
- 電池パックを取り外すとＩＣカードロックが自動的に設定されます。再度、電池パックを取り付け、電源を入れるとＩＣカードロックは解除されます。ただし、電源ON時ＩＣロック設定を[ON]にしている場合、電池パックを取り外し再度電池パックを取り付け電源を入れたときは、ＩＣカードロックが保持されます。
- ＩＣカードロック設定またはおまかせロックでＩＣカードロックを設定しているときに電池残量がなくなり、電源が切れてもＩＣカードロックは保持されます。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ＩＣカードロック中、ダウンロードやバージョンアップができない場合があります。

GPS機能

GPS機能のご利用について

- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- GPSの機能別ロック中は現在地確認、現在地通知を利用できません。
- 以下の場合は位置提供、現在地確認、現在地通知を利用できません。
  - ■ FOMAカード未挿入時　■ セルフモード中
  - ■ ソフトウェア更新中
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  - ■ 建物の中や直下　■ 地下やトンネル、地中、水中
  - ■ かばんや箱の中　■ ビル街や住宅密集地
  - ■ 密集した樹木の中や下　■ 高圧線の近く
  - ■ 自動車、電車などの室内　■ 大雨、雪などの悪天候
  - ■ 携帯電話の周囲に障害物（人や物）がある場合
  - ■ 携帯電話の画面・操作ボタン・マイクやスピーカ周辺を手で覆い隠すように持っている場合

  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。
- FOMA端末のGPS機能は、圏外時または海外では使用できません。

現在地確認

自分のいる場所を確認する

現在地を測位して、自分がいる場所を確認します。測位した位置情報を利用して地図を表示したり、位置情報をURL化しメールに貼り付けて送信するなどの操作を行うことができます。

- 現在地確認した際の通信料は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

1　待受画面で◉▶［LifeKit］▶［GPSメニュー］▶［現在地確認］

- 待受画面でMULTIを1秒以上押しても起動します（☞P.275）。
- GPS測位中は［ ］が点滅します。

測位レベル★★★：ほぼ正確な位置情報です。誤差がおおむね50m未満
測位レベル★★☆：比較的正確な位置情報です。誤差がおおむね300m未満
測位レベル★☆☆：おおよその位置情報です。誤差がおおむね300m以上

- 測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
- 現在地確認中に表示されている測位レベルの位置情報を現在地確認結果として利用するときは、📷（利用）を押します。
- 現在地確認を中止するときは、ｉ（中断）またはCLRを押し、◉を押します。

2　位置情報の利用方法を選択

位置情報から地図を表示する※	［地図を見る］→［OK］
GPS対応ｉアプリを利用する	［対応ｉアプリを利用］→ｉアプリを選択
位置情報URLをｉモードメールに貼り付ける	［メール貼り付け］→［OK］→ｉモードメール作成・送信（☞P.208）
位置情報を電話帳に登録する	［電話帳登録］→［新規登録］／［追加登録］→電話帳登録（☞P.104）
位置情報を画像に付加する	［画像に付加］→フォルダを選択→画像を選択（くり返し可）→📷→［新規保存］／［上書き保存］

※ 位置情報から地図を表示したあと、「ｉエリア（周辺情報）」を使って周辺情報を調べることができます。「ｉエリア（周辺情報）」に関しての詳細はドコモのホームページをご覧ください。

- 位置情報の詳細を表示するときは、ｉ（位置情報）を押します。

お知らせ

- 現在地確認時の音／音量／ランプの色を変更することができます(☞P.122、P.124、P.137)。
- 送付する位置情報URLは、i モード対応端末でのみ表示されます。

現在地確認設定

現在地確認の設定を行う

GPSボタンの設定を行う<GPSボタン設定>

MULTIを1秒以上押して現在地確認したあと、自動的に連携される動作を設定できます。

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[GPSメニュー]▶[現在地確認設定]▶[GPSボタン設定]▶動作を選択

動作	地図を見る	電話帳登録
	対応 i アプリを利用	画像に付加
	メール貼り付け	測位毎に確認

2 [OK]

現在地確認の測位モードを設定する<測位モード設定>

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[GPSメニュー]▶[現在地確認設定]▶[測位モード設定]▶測位モードを選択

標準モード	測位の速度を優先します。
品質重視モード	時間をかけて測位を行います。その結果、標準モードより精度が上がる場合があります。

2 [OK]

GPS対応 i アプリを利用する

GPS機能に対応した i アプリを起動します。

- GPS対応 i アプリを利用する場合、利用するソフトの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応 i アプリでGPS機能を利用する場合、利用するソフトの位置情報利用設定を[利用する]に設定してください。

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[GPSメニュー]▶[対応 i アプリ]

- GPS対応 i アプリ一覧画面が表示されます。

2 ソフトを選択

- GPS対応 i アプリが起動します。

「地図アプリ」を利用する

お買い上げ時に登録されている「地図アプリ」では、GPS機能と地図を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地まで乗り物、徒歩、自動車向けのナビゲーションなどあらゆることができます。
音声で入力することで簡単に乗換案内を利用することもできます。

お知らせ

- ご利用には別途、パケット通信料がかかります。本ソフトはパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルのご利用をおすすめいたします。
- 本ソフトを削除した場合、元に戻したいときは、i Menu内の[i エリア-周辺情報-]からダウンロードしてください。
- 本ソフトはメール機能を利用するため、2in1のモードを[Bモード]に設定している場合は利用できません。
- 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。
- 本書で記載している画面はイメージのため、実際の画面と異なる場合があります。

■ 基本サービスと付加サービスについて

本ソフトには、基本サービスと付加サービスがあります。

- 基本サービス：ドコモが無料で提供するサービス
- 付加サービス：ゼンリンデータコムが有料で提供するサービス

はじめて本ソフトを起動した日から90日までは交通情報以外の付加サービスを無料でご利用いただけます。
91日以降に付加サービスを利用するには、ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン🏠地図＋ナビ」の会員登録(有料)が必要です。
本ソフトを利用途中に会員登録しても、ソフトを再度ダウンロードする必要はありません。本ソフトをそのままご利用いただけます。

次ページへ続く

メニュー	内　容	90日まで	91日以降
今いる場所	GPSを利用して今いる場所の地図を見たり、地図をメールで送ったりします。 今いる場所の足あとを残し、動いた軌跡を確認したり、みんなの足あとを見たりします。	無料	無料
周辺を調べる	今いる場所や指定した場所周辺のお店や施設、iDご利用店舗などの情報を調べグルメ情報からクーポンを取得します。 周辺の天気確認や駐車場の満空情報を確認します。	無料	無料
地図を見る	フリーワードやジャンル、住所、電話番号などを入力して地図を見ます。	無料	無料
	本ソフトやサーバ、電話帳に登録した場所や以前検索した場所の地図を確認します。 サーバに登録するとパソコンと登録地点を共有します。	無料	有料
ナビをする	目的地まで乗り物、徒歩、自動車を含めたトータルナビをします。 登録した自宅まで簡単にナビをします。	無料	有料
乗換案内	電車の乗換案内や時刻表を確認します。 電車ルートを地図で確認、出発前にアラーム設定をします。	無料	有料
おしゃべり検索	音声で入力することで、簡単に周辺情報を調べたり、地図を見たりします。	無料	無料
	音声で入力することで、簡単に乗換案内をします。	無料	有料
設定／直感★	FOMA端末を傾けて、3D地図や地図を動かします。	無料	無料
	地図表示、ナビ表示などの設定、使い方の確認をします。	無料	無料

■「地図アプリ」を起動する

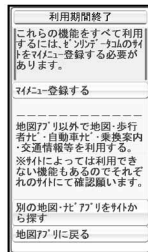
1 待受画面で[i]（ｱﾌﾟﾘ）を1秒以上押す

2 [地図アプリ]

- TOP画面に各メニューが表示されます。メニューを閉じると前回検索した地図が表示されます。
- はじめて起動したときは、利用規約やご利用の注意事項が表示されます。利用規約を確認してから同意してください。次回起動時からは、直接TOP画面が表示されます。

TOP画面

会員登録をせずに91日以降過ぎた場合

91日以降に最初に起動した際に、利用できる機能が制限されることを通知するメッセージと、会員登録の照会メッセージが表示されます。
また、付加サービスメニューを選択した場合にも、同様のメッセージが表示されます。

91日以降過ぎた場合

- 会員登録する場合は、本ソフトから「ゼンリン地図＋ナビ」のサイトで会員登録します。

■ 地図表示画面と操作について

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007

地図表示中のボタン操作

メニューを表示	[i]（メニュー） ● メニューを閉じるときは、[i]（閉じる）を押します。
クイックアクセスメニューを表示	[●]
地図を拡大／縮小	[📷]（拡縮） ● 縮尺を示すバーが表示されます。[↓]を押すと詳細表示、[↑]を押すと広域表示になります。[📷]（閉じる）を押すと縮尺を決定しバーが消えます。
地図を上下左右に移動	[✥]
メニューを閉じたり、最初の検索結果の場所へ戻る	[CLR]
地図を回転	右：[#]　左：[*]
地図を北向きにする	[0]

クイックアクセスメニュー表示中のボタン操作

表示している地図の場所を中心に周辺情報を調べる	[↑]（周辺を調べる）

GPS機能

出発地を設定して表示している地図の中心までのルートを検索	◯(ココへナビ)
表示している地図のURLをメールで送信	◯(ココを✉送信)
地図の中心の位置情報を本ソフトやサーバ、電話帳に登録	◯(ココを登録) ● サーバに登録するとパソコンでも登録地点を共有することができます。
クイックアクセスメニューを閉じる	◉(地図へ)
3D交差点やパノラマ画像が閲覧できるポイントを表示	1(3D・パノラマ) ● 3D交差点やパノラマ画像を見るときは、ポイントを選択します。
周辺に存在するビルを表示	2(ビルテナント) ● テナントを確認するときは、ビルを選択して[このビルのテナント]を選択します。

周辺情報の検索結果画面と操作について

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007

- ここでは検索結果を地図で表示した場合の画面と操作を説明しています。検索結果を一覧で表示した場合は、一覧から検索結果を選択して地図を表示してください。

周辺情報の検索結果表示中のボタン操作

検索結果の詳細情報を確認	検索結果を選んで◉ ● 検索結果にカーソルがあたっていない場合は、クイックメニューが表示されます。
地図を上下左右に移動	◯
表示している地図を中心にして再検索	5
前の検索結果を見る	4
次の検索結果を見る	6
メニューを表示	▤(メニュー)→[はい] ● 検索結果が削除され、周辺情報は終了します。
地図を拡大／縮小	📷(拡縮) ● 縮尺を示すバーが表示されます。◯を押すと詳細表示、◯を押すと広域表示になります。📷(閉じる)を押すと縮尺を決定しバーが消えます。

ルートを検索して音声と画面で目的地まで案内(ナビゲーション)する

出発地と目的地を設定してルートを検索します。徒歩、公共交通機関、自動車を利用したルートを表示します。ルートを検索後、音声と画面で目的地まで案内(ナビゲーション)します。

1 TOP画面で[ナビをする]を選んで[ナビをする]

2 [出発地]▶項目を選択▶出発地を設定する

- 選択できる項目は次のとおりです。

現在地(GPS)	現在地を測位して設定します(出発地の設定のみ)。
フリーワード検索	キーワードで検索して設定します。
地図上で指定	地図で出発地を設定します。
TEL／〒検索	電話番号・郵便番号で検索して設定します。
住所一覧から	住所を選択して設定します。
ジャンルから	ジャンルを選択して設定します。
履歴から	過去に表示した地図から設定します。
登録地点から	本ソフトやサーバ、電話帳に保存している位置情報から設定します。
自宅	自宅の位置情報を設定します。

- 設定した出発地を確認するときは、[出発地の確認]を選択します。

3 [目的地]▶項目を選択▶目的地を設定する

- 操作2と同様の操作で目的地を設定します。
- 設定した目的地を確認するときは、[目的地の確認]を選択します。

4 [時間指定]▶項目を選択

現時刻で指定	現在の時間でルートを調べます。
出発時刻指定	出発時間を指定してルートを調べます。
到着時刻指定	到着時間を指定してルートを調べます。
終電を利用	当日の最も遅い時刻の電車ルートを調べます。

5 [条件設定]▶項目を選択▶条件を設定する▶[上記で設定]

乗換条件	乗り換えの選択基準を「早い」、「安い」、「楽々」から選択します。
徒歩ルート	ルートの選択基準を「おまかせ」、「屋根多い」、「階段少ない」から選択します。
特急利用	ルートの総距離が100km以内の場合でも特急を利用するかどうかを選択します。
通常利用車種	利用する車種を選択します。

次ページへ続く▶▶

6 [🚶🚃🚗で検索]

- 自動車のみのルートを検索するときは[🚗のみで検索]を選択します。
- ルート(最大6件まで)が表示されます。異なる交通機関の乗り換えルートがある場合は、ルートの特徴をアイコンで表示します。

アイコン	特　徴
早	到着時間が早いルート
安	運賃が安いルート
楽	乗り換えが少ないルート
オススメ	上記3つの条件がそろったルート
有料	有料道路を使った自動車ルート
一般	一般道路を使った自動車ルート

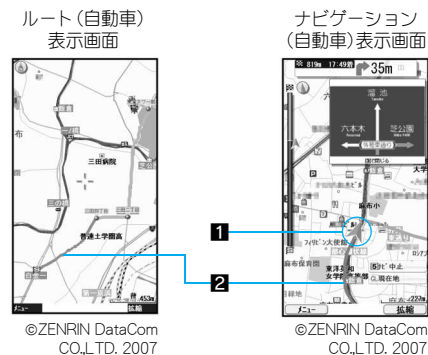
- ルートを登録するときは[ルートを登録]を選択します。

7 ルートを選択▶[ナビ・ルート確認]▶[ナビ]/[ナビ(省電力)]▶[はい]

- 目的地までのナビゲーションを開始します。
- ルートを確認するときは、ルートを選択し[ナビ・ルート確認]→[ルート確認]→[はい]を選択します。
- 時刻表を確認するときは、ルートを選択してから区間を選択し、[時刻表]を選択します。

■ ルート(自動車)/ナビゲーション(自動車)表示画面と操作について

ルート(自動車)/ナビゲーション(自動車)表示画面の見かた

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007　　©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007

1 現在地と進行方向
2 目的地までのルート

ナビゲーション利用中のボタン操作

TOPメニューを表示	メニュー→[はい] ● ナビゲーションは終了します。
クイックアクセスメニューを表示	●
地図を拡大/縮小	📷(拡縮) ● 縮尺を示すバーが表示されます。上を押すと詳細表示、下を押すと広域表示になります。📷(閉じる)を押すと縮尺を決定しバーが消えます。
地図を上下左右に移動	✥
現在地に戻る	CLR
交差点モードに切り替える	2
ナビゲーション中止/開始	5
地図を回転	右:# 左:*
地図を北向きにする	0

クイックアクセスメニュー表示中のボタン操作

ルートの検索結果を表示/ナビの設定	下(結果&設定)
目的地までのルートに経由地を3箇所まで加えてルートを検索	左(経由地を設定)
現在地から目的地までのルートを再検索	右(リルート)
表示しているルートを消去	1(ルート消去)
交差点モードに切り替える	2(モード切替)

■ おしゃべり検索を利用する

おしゃべり検索メニューでは、音声で入力することで、簡単に周辺情報を調べたり、乗換案内したり、地図を見ることができます。

例:おしゃべり検索で「この辺のコンビニ」を検索する

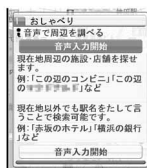
1 TOP画面で[おしゃべり検索]を選んで[周辺を調べる]

- 音声入力開始画面が表示されます。

2 [音声入力開始]▶検索したい周辺情報を送話口に向かって話す(例:「この辺のコンビニ」)▶[音声入力完了]

音声入力開始画面　　マイク画面

音声入力結果画面

GPS機能

3 音声入力結果画面で[上記で検索]

- 音声認識が正しく認識されていない場合は[音声再入力]を選択します。

■ 設定・ヘルプを利用する

1 TOP画面で[設定／直感★]を選んで[設定・ヘルプ]▶項目を選択

会員情報確認	「ゼンリン地図＋ナビ」に会員登録しているかどうかを確認できます。
基本設定	地図表示色や文字サイズの設定など、ソフト全般に関する設定をします。
ナビ設定	リルートや音声案内の音量など、ナビ全般に関する設定をします。
自宅設定	自宅の場所を登録します。
履歴系クリア	地図やナビなどを利用した履歴を削除します。
使い方の説明／よくある質問／利用規約	使い方の説明やよくある質問、利用規約を確認できます。

関連操作

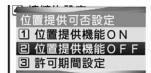
FOMA端末を傾けて地図を移動させる
TOP画面で[設定／直感★]を選んで[直感★]▶[直感★地図]▶[OK]

位置提供設定

要求に応えて現在の位置情報を提供する

相手から現在の位置情報を提供するよう要求があったときに、位置提供するかどうかを設定します。

- 位置提供機能をご利用になるには、位置提供機能に対応したサービス提供者へのお申し込みやサービス利用料が必要となる場合があります。
- 位置提供機能に対応したサービスをご利用になるには、位置提供設定を[位置提供機能ON]に設定する必要があります。また、サービス毎の利用設定(GPSサービス利用設定や、[ｉMenu]→[料金＆お申込・設定]→[オプション設定]→[位置情報利用設定]で位置情報利用設定)が必要な場合があります。
- 位置情報を送信しても、電波の状況によりサービス提供者に届いていない場合があります。
- 位置提供設定を[位置提供機能ON]に設定すると、操作しなくても位置情報が送信され、サービス提供者に通知されることがあります。[位置提供機能OFF]に設定すると、相手から位置情報の提供の要求を受けても自動的に拒否し、位置提供の履歴は残りません。
- 位置提供設定を[位置提供機能ON]に設定すると[GPS](青色)が表示されます。位置提供許可期間を設定しているときは許可期間が終了するまで、許可中は[GPS](青色)が、拒否中は[GPS](黒色)が表示されます。
- 位置情報の提供は無料です。
- 位置提供のご利用にあたっては、サービス提供者やドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[GPSメニュー]▶[位置提供設定]▶[位置提供可否設定]▶端末暗証番号を入力して◉

位置提供可否設定画面

2 位置情報を提供するかどうかを選択

お知らせ

- 初期設定(☞P.46)からも設定できます。

■ 位置情報の提供を許可する期間を設定する

1 位置提供可否設定画面で[許可期間設定]

2 [開始時刻]を選択▶開始時刻を入力して◉

- 時刻は24時間制で入力します。

3 [終了時刻]を選択▶終了時刻を入力して◉

- 時刻は24時間制で入力します。

4 [繰り返し]を選択▶くり返し方法を選択

毎日指定した時間に位置情報の提供を許可	[毎日]
指定した曜日に位置情報の提供を許可	[曜日指定]→曜日を選択(くり返し可)→📷(完了) ● すべての曜日を選択／解除する場合は、[i](全選択)／[i](全解除)を押します。
指定した期間のみ位置情報の提供を許可	[設定なし] ● 有効期間は設定できません。操作6に進みます。

5 有効期間を設定する

有効期間を設定する	[開始日]→[開始日設定]→開始日を入力して◉→[終了日設定]→終了日を入力して◉
有効期間を設定しない	[終了日]→[設定なし]

6 [i](完了)

お知らせ

- 設定を行った時間より前の時間を終了時刻に設定すると、当日は位置情報が提供されません。
- 設定を行ったときの動作について詳しくは、P.280を参照してください。
- 位置提供時の音／音量／ランプの色を変更することができます(☞P.122、P.124、P.137)。

次ページへ続く▶▶

位置提供の測位モードを設定する<測位モード設定>

1 待受画面で◉ ▶ [LifeKit] ▶ [GPSメニュー] ▶ [位置提供設定] ▶ [測位モード設定]

2 [標準モード]／[品質重視モード] ▶ [OK]

位置情報の提供を許可する期間を設定したときの動作

例:現在の日時が「2007/12/25 14:00」のとき

開始時刻:15:00 終了時刻:22:00

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	－	2007/12/25 15:00～ 2007/12/25 22:00まで
毎日	開始日2007/12/30 終了日2008/01/30	2007/12/30 15:00～ 2008/01/30 22:00まで 毎日(15:00～22:00の間)
	開始日2007/12/20 終了日2008/01/30	2007/12/25 15:00～ 2008/01/30 22:00まで 毎日(15:00～22:00の間)
	設定なし	2007/12/25 15:00 以降 毎日(15:00～22:00の間)
曜日指定	開始日2007/12/30 終了日2008/01/30	2007/12/30 15:00～ 2008/01/30 22:00まで の指定した曜日 (15:00～22:00の間)
	開始日2007/12/20 終了日2008/01/30	2007/12/25 15:00～ 2008/01/30 22:00まで の指定した曜日 (15:00～22:00の間)
	設定なし	2007/12/25 15:00 以 降の指定した曜日 (15:00～22:00の間)

開始時刻:09:00 終了時刻:22:00

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	－	2007/12/25 14:00～ 2007/12/25 22:00まで
毎日	開始日2007/12/30 終了日2008/01/30	2007/12/30 09:00～ 2008/01/30 22:00まで 毎日(09:00～22:00の間)
	開始日2007/12/20 終了日2008/01/30	2007/12/25 14:00～ 2008/01/30 22:00まで 毎日(09:00～22:00の間)
	設定なし	2007/12/25 14:00 以降 毎日(09:00～22:00の間)
曜日指定	開始日2007/12/30 終了日2008/01/30	2007/12/30 09:00～ 2008/01/30 22:00まで の指定した曜日 (09:00～22:00の間)
	開始日2007/12/20 終了日2008/01/30	2007/12/25 14:00～ 2008/01/30 22:00まで の指定した曜日 (09:00～22:00の間)

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
曜日指定	設定なし	2007/12/25 14:00 以 降の指定した曜日 (09:00～22:00の間)

開始時刻:15:00 終了時刻:10:00

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	－	2007/12/25 15:00～ 2007/12/26 10:00まで
毎日	開始日2007/12/30 終了日2008/01/30	2007/12/30 15:00～ 2008/01/31 10:00まで 毎日(15:00～翌日 10:00の間)
	開始日2007/12/20 終了日2008/01/30	2007/12/25 15:00～ 2008/01/31 10:00まで 毎日(15:00～翌日 10:00の間)
	設定なし	2007/12/25 15:00 以 降毎日(15:00～翌日 10:00の間)
曜日指定	開始日2007/12/30 終了日2008/01/30	2007/12/30 15:00～ 2008/01/31 10:00まで の指定した曜日 (15:00～翌日10:00の間)
	開始日2007/12/20 終了日2008/01/30	2007/12/25 15:00～ 2008/01/31 10:00まで の指定した曜日 (15:00～翌日10:00の間)
	設定なし	2007/12/25 15:00 以 降の指定した曜日 (15:00～翌日10:00の間)

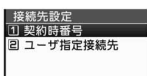
開始時刻:09:00 終了時刻:09:00

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	－	2007/12/25 14:00～ 2007/12/26 09:00まで
毎日	開始日2007/12/30 終了日2008/01/30	2007/12/30 09:00～ 2008/01/31 09:00まで 毎日(09:00～翌日 09:00の間)
	開始日2007/12/20 終了日2008/01/30	2007/12/25 14:00～ 2008/01/31 09:00まで 毎日(09:00～翌日 09:00の間)
	設定なし	2007/12/25 14:00 以 降毎日(09:00～翌日 09:00の間)
曜日指定	開始日2007/12/30 終了日2008/01/30	2007/12/30 09:00～ 2008/01/31 09:00まで の指定した曜日 (09:00～翌日09:00の間)
	開始日2007/12/20 終了日2008/01/30	2007/12/25 14:00～ 2008/01/31 09:00まで の指定した曜日 (09:00～翌日09:00の間)
	設定なし	2007/12/25 14:00 以 降の指定した曜日 (09:00～翌日09:00の間)

接続先を設定する＜接続先設定＞

GPSサービス利用設定サイトの接続先を設定します。
※ 通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[GPSメニュー]▶[位置提供設定]▶[接続先設定]▶端末暗証番号を入力して◉

接続先設定
1 契約時番号
2 ユーザ指定接続先

接続先設定画面

2 [ユーザ指定接続先]を選んで📷(確認)

- 内容確認画面が表示されます。
- お買い上げ時の接続先に戻すときは、[契約時番号]を選択します。以前に設定したユーザ指定接続先に変更するときは、[ユーザ指定接続先]を選択します。

3 [接続先名]を選択▶接続先名を入力して◉

- 半角英数字と半角記号を、最大99文字まで入力できます。

4 [接続先URL]を選択▶接続先URLを入力して◉

- 半角英数字と半角記号を、最大100文字まで入力できます。

5 i(完了)

- 接続先が変更されます。

関連操作

設定したユーザ指定接続先を削除する＜削除＞
接続先設定画面で[ユーザ指定接続先]を選んで📷(確認)▶📷(削除)▶[はい]

GPSサービス利用設定を行う＜サービス利用設定＞

GPSサービス利用設定サイトに接続して、位置提供に必要な設定を行います。

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[GPSメニュー]▶[位置提供設定]▶[サービス利用設定]

- GPSサービス利用設定サイトに接続されます。

2 設定する

- 設定方法については、GPSサービス提供者にお問い合わせください。

位置情報の提供を要求されると

位置情報提供の要求を受信すると、位置提供を開始します。

- 位置提供許可の場合(GPSサービス利用設定が[許可]のとき、もしくは[ｉMenu]→[料金＆お申込・設定]→[オプション設定]→[位置情報利用設定]で位置情報利用設定が[許可]のとき)は、要求があると自動的に位置情報を提供します。
- 位置提供毎回確認の場合(GPSサービス利用設定が[毎回確認]のとき、もしくは[ｉMenu]→[料金＆お申込・設定]→[オプション設定]→[位置情報利用設定]で位置情報利用設定が[毎回確認]のとき)は、要求があるたびに提供するかどうかを確認する画面が表示されます。[はい]を選択すると位置情報の提供を開始します。
- 位置提供を中止するときは、i(中断)またはCLRを押し、◉を押します。ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。
- 電波状況によっては、位置情報が送信されても、位置情報の要求者に届いていないことがあります。
- 位置提供の送信先IDは、画面に表示されない場合があります。

お知らせ

- 2in1利用時は、モードにかかわらずAナンバーでのみ利用できます。Bナンバーで位置情報の提供を要求された場合は、位置提供は行われず、相手には検索失敗が通知されます。

イマドコかんたんサーチを利用した相手から位置情報の提供を要求されたとき

- 要求されるたびに位置提供の確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、すぐに大まかな測位結果が相手に通知されます。
  [はい]を選択したあと、GPS測位画面が表示されGPS測位後に精度の高い測位結果が通知されます。
- 位置提供の確認画面で[はい]を選択したあとに位置提供を中止する場合、位置提供を中止しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。

公共モード(ドライブモード)設定中に位置情報の提供を要求されたとき

- サービス毎の利用設定で、位置提供を[許可]に設定している場合、位置提供の確認画面のあと、GPS測位画面が表示されてGPS測位後位置提供されますが、位置提供／許可音、位置提供／毎回確認音、バイブレータ、着信ランプは動作しません。
- サービス毎の利用設定で、位置提供を[毎回確認]に設定している場合、位置情報は提供されません。

現在地通知

現在の位置情報を通知する

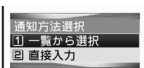
現在の位置情報を特定の相手(現在地通知機能に対応したサービス提供者)に通知できます。

- 本機能の利用にあたっては、現在地通知機能に対応したサービス提供者や、ドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。また、現在地通知機能に対応したサービス提供者へのお申し込みやサービス利用料が必要となる場合があります。

次ページへ続く

- 位置情報を送信しても、電波の状況によりサービス提供者に届いていない場合があります。
- 現在地通知機能の利用は有料です。

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[GPSメニュー]▶[現在地通知／設定]▶[現在地通知]

通知方法選択
1 一覧から選択
2 直接入力

2 通知先を選択

一覧から選ぶ	[一覧から選択]→通知先を選択
直接入力する	[直接入力]→通知先IDを入力して◉

- 選択した相手に現在の位置情報が通知されます。
- 測位を中止するときは、i(中断)またはCLRを押し、◉を押します。ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。

お知らせ

- 現在地通知時の音／音量／ランプの色を変更することができます(☞P.122、P.124、P.137)。
- 2in1利用時は、モードにかかわらずAナンバーで位置情報を通知します。

関連操作

現在地通知の測位モードを設定する<測位モード設定>

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[GPSメニュー]▶[現在地通知／設定]▶[測位モード設定]
2 [標準モード]／[品質重視モード]▶[OK]

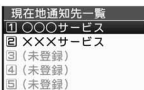
通知する相手を登録する<現在地通知先一覧>

現在地の通知先を最大５件まで登録できます。

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[GPSメニュー]▶[現在地通知／設定]▶[現在地通知先一覧]

- 通知先の登録内容を確認するときは、通知先を選択します。

現在地通知先一覧画面

2 [カメラ]▶[新規登録]

- i(新規)を押しても新規登録できます。

3 [通知先名]を選択▶通知先名を入力して◉

- 最大全角16文字(半角32文字)まで入力できます。

4 [通知先ID]を選択▶通知先IDを入力して◉

- GPSサービス提供者から指定された通知先IDを入力します。
- 数字、[＊]、[#]を最大半角12文字まで入力できます。

5 [電話番号]を選択▶電話番号を入力する

電話帳から選ぶ	[電話帳検索]→電話番号を選択
直接入力する	[直接入力]→電話番号を入力して◉

- すでに現在地通知先に登録されている電話番号は登録できません。

6 [自動通知]を選択▶自動通知するかどうかを選択

自動通知する	登録した電話番号に音声電話をかけたときに、自動的に相手に現在の位置情報を通知します。
自動通知しない	自動通知しません。
発信時に確認する	登録した電話番号に音声電話をかけたときに、現在の位置情報を通知するかどうかを選択します。

7 i(完了)

- 通知先が登録されます。

お知らせ

- ダイヤル発信制限中は、現在地通知先の登録／修正はできません。
- 現在地通知先をmicroSDメモリーカードにコピー(☞P.340)したり、microSDメモリーカード内の現在地通知先をFOMA端末(本体)にコピー(☞P.343)できます。
- FOMA端末(本体)の現在地通知先を赤外線通信やｉC通信で送受信できます。

現在地通知先の登録内容を編集する

現在地通知先一覧画面で現在地通知先を選択▶項目を選択▶編集してi

現在地通知先を電話帳に登録する<電話帳登録>

1 現在地通知先一覧画面で現在地通知先を選んで[カメラ]▶[電話帳登録]
2 電話帳に新規登録するときは[本体新規]／[FOMAカード新規]
  - 電話帳に追加／上書き登録するとき：[追加／上書]▶名前を選択
3 電話帳登録(☞P.102、P.107)

現在地通知先を削除する<削除>

1 現在地通知先一覧画面で現在地通知先を選んで[カメラ]▶[削除]
2 １件削除するときは[１件削除]
  - 現在地通知先を選んでまとめて削除するとき：[選択削除]▶通知先を選択(くり返し可)▶[カメラ]
  - すべての現在地通知先を削除するとき：[全件削除]▶端末暗証番号を入力して◉
3 [はい]

関連操作

関連操作のお知らせ

現在地通知先の編集について

- 新規登録時と同様に編集できます。P.282「通知する相手を登録する」の操作３～６を参照してください。

位置履歴

確認した位置情報の履歴を表示する

GPS機能で測位した位置情報の履歴は最大50件まで記録されます。位置履歴を利用して地図を表示するなどの操作を行うことができます。

- 位置履歴が50件を超えたときは、古い履歴から順に上書きされます。
- 位置履歴に緯度・経度が記載されていても、通知先や提供先に位置情報が届いていない場合があります。

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[GPSメニュー]▶[位置履歴]

- 位置履歴の種類と日時が、新しい順に一覧表示されます。

位置履歴一覧画面

位置履歴の種類

確認	現在地確認
通知	現在地通知
提供	位置提供

- 位置履歴に位置情報がある場合は、[▶]が表示されます。
- 位置履歴を選んで[i](地図)を押すと、地図を表示できます。

2 位置履歴を選択

位置履歴詳細画面

1 測位日時

2 履歴の種類

[現在地確認]／[現在地通知]／[位置提供]が表示されます。[現在地通知]／[位置提供]の場合は、マークと通知先または提供先情報も表示されます。

現在地通知の場合

(アイコン)	通知先名
(アイコン ID)	通知先ID

位置提供の場合

(アイコン)	位置提供送信先名	(アイコン)	位置提供要求者名
(アイコン ID)	位置提供送信先ID	(アイコン ID)	位置提供要求者ID

※ 位置提供要求者IDが電話番号またはメールアドレスの場合、Phone To(AV Phone To)機能(☞P.195)、Mail To機能(☞P.195)を利用できます。

3 位置情報

緯度：度、分、秒

経度：度、分、秒

測地系：wgs84(世界測地系)、tokyo(日本測地系)

測位レベル：測位の誤差範囲(☞P.274)

お知らせ

- 測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
- 現在地確認の測位に失敗または中断したときは、位置履歴に記録されません。
- 現在地通知／位置提供の測位に失敗または中断したときは、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。
- 2in1利用時に位置提供を行った場合、位置提供要求者名は電話帳2in1設定に従って2in1のモードごとに表示されます。
- 位置履歴に記録されている位置情報・測位レベルは、電波状態などにより位置提供先・現在地通知先に送信された位置情報・測位レベルとは異なる場合があります。

位置履歴を利用する

1 位置履歴一覧画面で位置履歴を選んで[📷]▶利用方法を選択

位置情報から地図を表示する	[地図を見る]→[OK]
GPS対応ｉアプリを利用する	[対応ｉアプリを利用]→ｉアプリを選択
位置情報URLをｉモードメールに貼り付ける	[メール貼り付け]→[OK]→ｉモードメール作成・送信(☞P.209)
位置情報を電話帳に登録する	[電話帳登録]→[新規登録]／[追加登録]→電話帳登録(☞P.104)
位置情報を画像に付加する	[画像に付加]→フォルダを選択→画像を選択(くり返し可)→[📷]→[新規保存]／[上書き保存]

GPS機能

次ページへ続く▶▶

位置履歴を削除する	1件削除する	[削除]→[1件削除]→[はい]
	選択削除する	[削除]→[選択削除]→位置履歴を選択(くり返し可)→📷→[はい] ● すべてを選択／解除する場合は、▣(全選択)／▣(全解除)を押します。
	全件削除する	[削除]→[全件削除]→端末暗証番号を入力して◉→[はい]

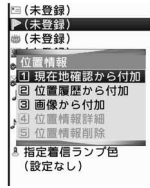
各機能から位置情報を利用する

電話帳や静止画などのデータに位置情報を付加したり、付加されている位置情報から地図を表示するなど、各機能で位置情報を利用できます。

位置情報を付加する

FOMA端末(本体)電話帳やカメラ撮影後の静止画、データBOXのマイピクチャの画像に位置情報を付加したり、iモードメールの本文に位置情報URLを貼り付けることができます。

例:電話帳の場合

1 電話帳入力画面(☞P.101)で[▶]を選択

2 付加する位置情報を選択

現在地を確認して付加する	[現在地確認から付加]→◉→[はい] ● GPS機能で現在地を測位します。
位置履歴から位置情報を選ぶ	[位置履歴から付加]→位置履歴を選んで▣→[はい]
画像に付加されている位置情報を選ぶ	[画像から付加]→フォルダを選択→画像を選んで▣
付加した位置情報を確認する	[位置情報詳細] ● 戻るときは◉を押します。
付加した位置情報を削除する	[位置情報削除]

- データBOXのマイピクチャの画像やiモードメールの場合は、電話帳に付加されている位置情報を選ぶことができます。画像に付加されている位置情報は選べません。
- データBOXのマイピクチャの場合、画像一覧画面から操作したときは、位置情報を付加する画像を複数選択できます。

付加された位置情報を利用する

■ FOMA端末(本体)電話帳やデータBOXのマイピクチャの画像の位置情報を利用する

例:電話帳の場合

1 電話帳内容表示画面で[▶]を選択

2 利用方法を選択

位置情報から地図を表示する	[地図を見る]→[OK]
GPS対応iアプリを利用する	[対応iアプリを利用]→iアプリを選択
位置情報URLをiモードメールに貼り付ける	[メール貼り付け]→[OK]→iモードメール作成・送信(☞P.209)
位置情報を画像に付加する	[画像に付加]→フォルダを選択→画像を選択(くり返し可)→📷→[新規保存]／[上書き保存]
位置情報を確認する	[位置情報詳細] ● 戻るときは◉を押します。

- データBOXのマイピクチャの場合は、画像一覧画面または画像表示画面のサブメニューから[位置情報]を選択し、利用方法を選択します。位置情報を電話帳に登録することもできます。

■ サイト、データ放送、トルカやメッセージR／Fの位置情報を利用する

サイト、データ放送、トルカやメッセージR／Fに位置情報がある場合、その位置情報を利用して、地図でその位置を確認したり、GPS対応iアプリを利用したり、メールに貼り付け送信することができます。

例:サイトの場合

1 サイトを表示中(☞P.180の操作1～3)に、位置情報を選択

2 利用方法を選択

GPS対応iアプリを利用する	[対応iアプリを利用]→[OK]→iアプリを選択
位置情報から地図を表示する	[地図を見る]→[OK]
位置情報URLをiモードメールに貼り付ける	[メール貼り付け]→[OK]→iモードメール作成・送信(☞P.209)
位置情報を確認する	[対応iアプリを利用]／[地図を見る]／[メール貼り付け]→📷 ● 戻るときは◉を押します。

ワンセグ

ワンセグとは

ワンセグとは

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像音声と共にデータ放送を受信することができます。また、ｉモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
パソコン：http://www.dpa.or.jp/
ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。
放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信はお申し込みが不要な無料サービスです。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の２種類があります。
「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。また、「ｉモードサイト」などへ接続する場合もあります。なお、サイトへ接続する場合は、別途ｉモードのご契約が必要です。
「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。

電波について

ワンセグは、放送サービスの１つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- ■ 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- ■ 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- ■ トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。
ビューアポジションでの視聴時には、ワンセグアンテナをまっすぐ引き出した状態にすると受信感度が最も良くなります。

はじめてワンセグを利用する場合の画面表示

お買い上げ後、はじめてワンセグを利用する場合、ご利用確認画面が表示されます。
内容を確認して、◉（確認）を２回押してください。
以後、同様の確認画面は表示されません。

- ただし、次の場合は、ご利用確認画面が再度表示されるようになります。
  - ■ 設定リセットをした場合
  - ■ ユーザデータ削除をした場合
  - ■ 別のFOMAカードに差し替えた場合
  - ■ ワンセグ設定リセット

放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者（放送局）の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。
保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。
放送用保存領域を消去するには、P.300を参照してください。
別のFOMAカードに差し替えた場合は、放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。[いいえ]を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■ 放送用保存領域の読み出し時の画面表示

番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、[放送用保存領域内の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります]と表示されます。[はい]を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また、[はい（以後非表示）]を選択すると、以降、番組が変わっても確認は行われません。

こんなこともできます

- ビューアポジションやマルチウインドウでの視聴
- リモコン番号によるダイレクト選局
- 主音声／副音声の切り替え
- 視聴予約、録画予約
- ビデオや静止画の録画
- 番組表ｉアプリの利用
- データ放送の表示と利用
- テレビリンクの利用

ワンセグをご利用になる前に

- 充電しながらワンセグの視聴を長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。
- マルチメディアの機能別ロック中はワンセグ視聴、予約録画履歴、テレビリンク、チャンネル設定、ワンセグ設定を利用できません。

ワンセグの視聴手順

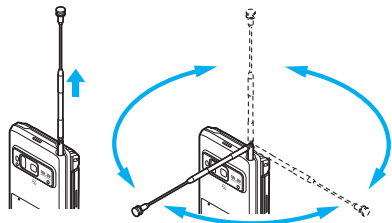
例:はじめてワンセグを視聴するとき

チャンネルを設定する P.288
ご利用になる地域に対応したチャンネルリストを登録し、利用するチャンネルリストを選択します。

↓

ワンセグを見る ☞P.289
ワンセグアンテナを伸ばし、ワンセグを起動します。

ワンセグアンテナをお使いになるときのご注意

- ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。
- ワンセグアンテナを収納するときは、先端を持って無理に収納しようとしないでください。破損の原因となります。下の方を持ってまっすぐに下ろし、先端まで完全に収納してください。

視聴中に着信などがあったときは

ワンセグ視聴中に以下の動作が発生した場合は、映像と音声は中断し、各機能が動作します。

- 終了後にワンセグを再開する機能
  - ■ 音声電話着信
  - ■ プッシュトーク着信
  - ■ アラーム、スケジュール、視聴予約、録画予約の通知
- 応答するとワンセグを終了する機能
  - ■ テレビ電話着信

お知らせ

- ビューアポジションで通話するときは、必ず別売りの平型スイッチ付イヤホンマイクをご利用ください。
- 通話を終了すると、自動的にワンセグの視聴を開始する場合があります。その際、ワンセグ用の音量で音声が鳴りますので耳元でご使用の際はご注意ください。
- FOMA端末をビューアポジションで利用している場合、映像は中断せず画面右側に表示されます。
- 着信音に着うたフル®やｉモーションを設定していても、ワンセグ視聴中に着信した場合は、お買い上げ時に設定されている着信音が鳴ります。また、プッシュトーク着信音、アラーム、スケジュール、視聴予約の通知、録画予約の通知についても同様にお買い上げ時に設定されている音が鳴ります。

ワンセグのご利用にあたって

- はじめてワンセグを起動するときは、通信ができない状態では起動できません。
- FOMAカードが挿入されていない場合、ドコモとのご契約を解約されている場合、またはFOMAサービスを利用休止されている場合はワンセグを視聴することはできません。
- ドコモとご契約中のFOMAカードを挿入していても、セルフモード中やFOMAサービスエリア外である場合など通信ができない状態でワンセグ視聴をくり返すと、ワンセグを起動できなくなる場合があります。
  その場合は、FOMAサービスエリア内に移動するなど、通信ができる状態で再度ワンセグを起動してください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって、保存内容が消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、端末内に保存した情報(ワンセグから録画した静止画、テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報など)は移し替えできませんので、万が一に備え、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。
- 海外では、放送形式や放送の周波数が異なるため利用できません(FOMA端末でビデオ録画したワンセグの番組は視聴できます)。

チャンネル設定

チャンネルを設定する

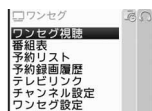
ワンセグを利用するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネルリストを選択しておく必要があります。

- 1つのチャンネルリストには放送局を62件まで登録できます。チャンネルリストはご利用地域などに応じて9つまで登録できますが、利用するチャンネルリスト1つを選択する必要があります。
- チャンネルリストの登録は、通常ポジションで行ってください。

チャンネルリストに自動で登録する＜自動チャンネル設定＞

ご利用になる都道府県／地区を選び、自動的に放送局を検索してチャンネルリストに登録します。

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で行ってください。

1 待受画面で◉▶［ワンセグ］

ワンセグメニュー画面

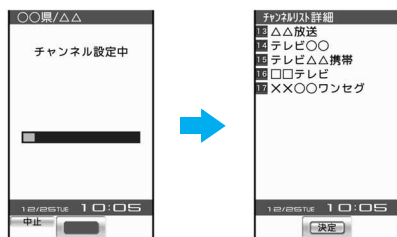
2 ［チャンネル設定］

チャンネルリスト一覧画面

3 登録先番号を選んで📷▶［自動チャンネル設定］▶［はい］

- 登録先番号を選んで✉(自動設定)を押しても操作できます。

4 地域を選択▶都道府県／地区を選択

- 放送局の検索が開始されます。検索が終了するには、約40秒かかります。終了するとチャンネルリスト詳細画面が表示されます。

5 ◉▶［はい］

- チャンネルリストに登録されます。登録したチャンネルリストを利用するには、P.288「利用するチャンネルリストを選択する」を参照してください。

用意されているチャンネルリストを登録する＜プリセットチャンネル設定＞

あらかじめFOMA端末に用意されている各地域の放送局の情報から、ご利用になる都道府県／地区を選んでチャンネルリストに登録します。

1 チャンネルリスト一覧画面で、登録先番号を選んで📷▶［プリセットチャンネル設定］

- チャンネルリスト一覧画面で、登録先番号を選んで📖(プリセット)を押しても操作できます。

2 地域を選択▶都道府県／地区を選択

3 ◉▶［はい］

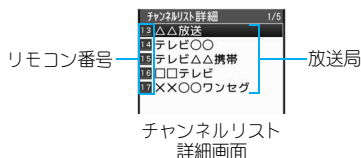
- チャンネルリストに登録されます。登録したチャンネルリストを利用するには、P.288「利用するチャンネルリストを選択する」を参照してください。

お知らせ

- プリセットチャンネル設定は、都道府県／地区によっては正しく設定できないことがあります。その場合は、自動チャンネル設定を行ってください。

利用するチャンネルリストを選択する

1 チャンネルリスト一覧画面で、チャンネルリストを選んで🅘(詳細)

チャンネルリスト詳細画面

- リモコン番号1～12に割り当てられているチャンネルは、ワンタッチ選局で簡単に選局できます（☞P.289）。
  リモコン番号は変更することができます。
- 次のページを表示するときは◐、前のページを表示するときは◑を押します。

2 ◉(設定)

- 設定したチャンネルリストには、［✔］が表示されます。
- チャンネルリスト一覧画面で、チャンネルリストを選択しても設定できます。

関連操作

チャンネルリストのタイトルを変更する

<タイトル編集>

チャンネルリスト一覧画面でチャンネルリストを選んで📷▶[タイトル編集]▶タイトルを編集して⦿

チャンネルリストを削除する<削除>

1 チャンネルリスト一覧画面でチャンネルリストを選んで📷▶[削除]

2 [1件削除]

- 複数のチャンネルリストをまとめて削除するとき:[選択削除]▶チャンネルリストを選択(くり返し可)▶📷
- すべてのチャンネルリストを削除するとき:[全件削除]▶端末暗証番号を入力して⦿

3 [はい]

チャンネルリスト内の放送局を削除する<削除>

1 チャンネルリスト一覧画面でチャンネルリストを選んで▤▶放送局を選んで📷▶[削除]

2 [はい]

リモコン番号を変更する<リモコン番号変更>

1 チャンネルリスト一覧画面でチャンネルリストを選んで▤▶📷▶[リモコン番号変更]

2 変更する放送局を選択▶変更先のリモコン番号を選択

関連操作のお知らせ

タイトル編集について

- タイトルは最大全角・半角40文字まで入力できます。

削除について

- 利用中のチャンネルリストは削除できません。全件削除を行った場合は、利用中のチャンネルリストを除いて削除されます。

放送局の削除について

- 放送局が1件しか登録されていないときは削除できません。

ワンセグ視聴

ワンセグを見る

ワンセグを視聴できます。ビューアポジションにすると、ワンセグを横画面で視聴できます。また、マルチウインドウでワンセグを見ながら他の機能を利用することもできます。

- 番組表iアプリや視聴・録画予約機能から起動したり、サイトやインターネットホームページ、メール、iチャネルに表示されている番組情報から起動することもできます(☞P.197)。

1 待受画面で⦿▶[ワンセグ]▶[ワンセグ視聴]

- 待受画面などで▯(TV)を押してもワンセグを起動できます。
- 前回視聴したチャンネルが表示されます。
- 別のFOMAカードに差し替えた場合は、[登録されていないFOMAカード(UIM)です　放送用保存領域を初期化しますか?]と表示されます。内容を確認して⦿を押してください。

ワンセグ視聴画面

2 ⊙でチャンネルを選ぶ

- リモコン番号1～62に割り当てられているチャンネルが順に表示されます。

お知らせ

- マナーモード設定中にワンセグを起動すると、[マナーモード中です。音を再生しますか?]と表示されます。[はい]を選択すると音声が鳴ります。
- ワンセグ設定のオートエリア切替を[ON]に設定している場合、ワンセグ視聴中に移動して放送エリアが変わったときに、視聴可能なチャンネルリストに変更するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、自動的にチャンネルリストを探して設定することができます。
- ワンセグ視聴時には、カラーテーマなどの色が多少変わることがあります。

■ 視聴中のボタン操作

映像モード

	通常ポジション	ビューアポジション(全画面表示)
UP/DOWN選局※1	⊙/⊙	▯/▯(Eco)
ワンタッチ選局※2	1～9、＊、0、＃	–
サーチ選局※3	⊙を1秒以上押す/⊙を1秒以上押す	▯を1秒以上押す/▯(Eco)を1秒以上押す

ワンセグ

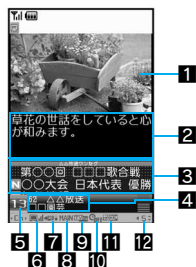
	通常ポジション	ビューアポジション（全画面表示）
音量調節（音量0～10）	○／○または▯／▯（Eco） ● ○を押し続けると、連続して音量を調節できます。	▯／▯
ミュート／解除	▯	－
字幕設定ON／OFF	▯を1秒以上押す	－
番組表 iアプリ起動	▯	－
ビデオ録画	▯を1秒以上押す ● 停止するときは▯を押します。	▯（TV）を1秒以上押す ● 停止するときは▯（TV）を押します。
静止画録画	▯	▯（TV）
サブメニュー表示	▯	－
映像モード／データ放送モードの切替	▯	－
ワンセグと、同時に起動中の機能の切替※4	▯（TV）	▯を1秒以上押す→機能を選んで▯（TV）
ワンセグ終了	▯またはCLR→［はい］	▯（P）→［はい］→▯（TV）

※1 リモコン番号1～62を順送り／逆送りで選局します。
※2 1～9、＊、0、#はそれぞれ、リモコン番号1～9、10、11、12に対応しています。
※3 受信可能な放送局を周波数順に検索して切り替えます。
※4 起動している機能の状態によっては切り替えできない場合があります。

データ放送モード

	通常ポジション
データ放送項目選択	○／○
選択したサイトに接続	●
前のページに戻る／次のページに進む	○／○
ビデオ録画	▯を1秒以上押す ● 停止するときは▯を押します。
静止画録画	▯
データ放送の操作	CLR、1～9、0、＊、# ● 操作内容はデータ放送によって異なります。

ワンセグ視聴画面の見かた

通常ポジション

ビューアポジション

1 映像

2 字幕
- 字幕設定が［ON］のときに表示されます。

3 データ放送
- ビューアポジションの場合は表示モード切替（横）が［映像＋データ放送］のとき、**2**に表示されます。字幕設定より優先されます。

4 放送局・番組名
- ビューアポジションの場合は字幕設定が［OFF］のとき、**2**に表示されます（ただし、表示モード切替（横）が［映像＋データ放送］の場合は表示されません）。

5 チャンネル番号

6 放送電波受信状態マーク

▯	強 ←→ 弱

- ［▯］が表示されているときは、放送電波の届かない場所にいます。

7 録画状態マーク

マーク	説明
▯	ビデオ録画先設定：本体
▯	ビデオ録画先設定：microSD
▯	ビデオ録画先設定：自動（本体優先）
▯	ビデオ録画先設定：自動（microSD優先）
○	録画準備中
▯	録画中：本体
▯	録画中：microSDメモリーカード

8 主／副音声設定マーク

MAIN	主音声	MAIN SUB	主音声＋副音声
SUB	副音声		

ワンセグ

9 操作モードマーク

マーク	説明
TV TA、TV	映像モード（通常ポジション、ビューアポジション）
DATA V	データ放送モード（通常ポジション）

10 オフタイマー

マーク	説明
OFF	オフタイマー設定中

11 Dolbyサウンド設定

マーク	説明	マーク	説明
AUTO DOM	ジャンル連動	DOM	バラエティ
NORMAL	ノーマル	♪DOM	ミュージック
DOM	ニュース	DOM	映画
DOM	スポーツ	ORIGINAL DOM	オリジナル
DOM	ドラマ		

12 音量マーク

マーク	説明
5	0（音量０）～10（音量10） ● ミュート状態の場合は、[ ]が表示されます。

お知らせ

● マルチウインドウのときは、ワンセグ視聴画面に表示している各種マークや放送局・番組名は表示されません。

関連操作

チャンネル設定を行う＜チャンネル設定＞

1 ワンセグ視聴画面で ▶[チャンネルリスト]▶[チャンネル設定]
2 P.288「チャンネルを設定する」を参照して設定する

視聴中の放送局をチャンネルリストに登録する＜チャンネル追加登録＞

ワンセグ視聴画面で ▶[チャンネルリスト]▶[チャンネル追加登録]

チャンネルで使用するサービスを選局する＜サービス選局＞

1 ワンセグ視聴画面で ▶[チャンネルリスト]▶[サービス選局]
2 使用するサービスを選択

ビューアポジションでの映像の表示サイズを切り替える＜表示モード切替（横）＞

1 ワンセグ視聴画面で ▶[表示設定]▶[表示モード切替（横）]
2 [映像＋データ放送]／[映像（標準）]／[映像（全画面）]

ビューアポジションで映像の全画面表示中にマークを表示するかどうかを設定する＜マーク表示設定（横）＞

1 ワンセグ視聴画面で ▶[表示設定]▶[マーク表示設定（横）]
2 [一時表示]／[常時表示]

通常ポジションで放送局・番組名を表示するかどうかを設定する＜アプリケーション領域（縦）＞

1 ワンセグ視聴画面で ▶[表示設定]▶[アプリケーション領域（縦）]
2 [一時表示]／[常時表示]

関連操作

ワンセグ視聴中に字幕の表示を設定する＜字幕設定＞

1 ワンセグ視聴画面で ▶[字幕設定]
2 [ON]／[OFF]

ワンセグを起動したときの字幕設定について設定する＜起動時設定＞

1 ワンセグ視聴画面で ▶[字幕設定]▶[起動時設定]
2 [ON]／[マナーモード連動]／[OFF]

Dolbyサウンドを設定する＜Dolbyサウンド設定＞

1 ワンセグ視聴画面で ▶[Dolbyサウンド設定]
2 [ジャンル連動]／[ノーマル]／[ニュース]／[スポーツ]／[ドラマ]／[バラエティ]／[ミュージック]／[映画]／[オリジナル]
● [オリジナル]を選択したとき：[サウンドスペース]／[ナチュラルベース]／[サウンドレベルコントローラ]／[モノラル→ステレオ]を選択▶[ON]／[OFF]▶

ワンセグを自動的に終了するまでの時間を設定する＜オフタイマー＞

1 ワンセグ視聴画面で ▶[オフタイマー]
2 [30分後]／[60分後]／[90分後]／[120分後]／[OFF]

操作ガイドを表示する＜操作ガイド＞

ワンセグ視聴画面で ▶[操作ガイド]

番組情報を記載したメールを作成する＜紹介メール作成＞

ワンセグ視聴画面で ▶[紹介メール作成]▶ｉモードメール作成・送信

視聴可能な放送局を確認する＜チャンネル情報＞

ワンセグ視聴画面で ▶[チャンネル情報]
● 確認を終わるとき：●または CLR

番組情報を表示する＜番組情報＞

ワンセグ視聴画面で ▶[番組情報]
● 確認を終わるとき：●または CLR

関連操作のお知らせ

チャンネル追加登録について

● 設定しているチャンネルリストと異なる地域の番組を視聴している場合は、視聴中の放送局をチャンネルリストに追加登録できないことがあります。

マーク表示設定（横）について

● ディスプレイ上部に表示されるマーク（時計表示や電波状態表示など）を表示するかどうかを設定できます。[一時表示]に設定すると、チャンネルや音量などを操作するたびに約２秒間表示されます。

アプリケーション領域（縦）

● 放送局・番組名やチャンネル番号をディスプレイに表示するかどうかを設定できます。[一時表示]に設定すると、チャンネルなどを操作するたびに約２秒間表示されます。

字幕設定について

● ワンセグ起動時の字幕の有無については、起動時設定に従います。
● 番組によって字幕の有無は異なります。字幕が表示される設定のときは、番組に字幕がない場合でも字幕領域が表示されます。

次ページへ続く

関連操作

関連操作のお知らせ

起動時設定について
- ［マナーモード連動］に設定している場合は、マナーモード設定中にワンセグを起動すると字幕が表示されます。

オフタイマーについて
- オフタイマーを設定しても、ワンセグを終了すると次回起動時は［OFF］に戻ります。

紹介メール作成について
- Media To機能に対応したFOMA端末に送信すると、受信側で情報を選択してワンセグを起動できます。
- 2in1のモードを［Bモード］に設定している場合、iモードメールの作成や送信はできません（☞P.208）。

ワンセグの映像や音声について設定する<ワンセグ設定>

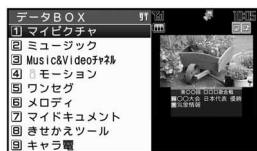
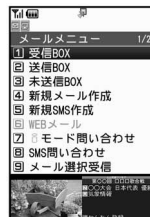
1 ワンセグ視聴画面で📷▶［ワンセグ設定］▶設定項目を選択

鮮やか画質モードを設定する	［鮮やか画質モード設定］→［ノーマル］／［ダイナミック］／［映画］
ディスプレイの明るさを調整する	［明るさ調整］→［手動］→◯／◯→◉ ● 周囲の明るさによって自動的に調整するとき：［明るさ調整］→［自動］
主／副音声を切り替える	［主／副音声切替］→［主音声］／［副音声］／［主音声＋副音声］ ● ワンセグを終了すると、［主音声］に戻ります。
第１音声／第２音声を切り替える	［音声切替］→［第１音声］／［第２音声］ ● ワンセグを終了すると、［第１音声］に戻ります。
FOMA端末を閉じたときの動作を設定する※1	［クローズ動作設定］→［継続］／［ミュート］／［終了］ ● 録画中は、［終了］に設定していてもミュート状態になり、録画が継続されます。
動画の録画先を設定する	［ビデオ録画先設定］→［本体］／［microSD］／［自動（本体優先）］／［自動（microSD優先）］
放送エリアが変わったときにチャンネルリストを自動的に変更する	［オートエリア切替］→［ON］／［OFF］ ● ［ON］に設定した場合、登録先番号［9］は上書きされることがあります。
設定を確認する※2	［設定確認］ ● 確認を終わるとき：◉またはCLR

※1 クローズ動作設定を［継続］または［ミュート］に設定してワンセグを起動しているときは、FOMA端末を閉じていてもワンセグ起動状態となるため、データ放送・データ放送サイトの情報が自動的に更新される場合があります。このとき、パケット通信料がかかる場合がありますので、ご注意ください。

※2 ワンセグ設定、Dolbyサウンド設定（☞P.291）、画像表示設定（☞P.300）、効果音鳴動設定（☞P.300）の設定内容を表示します。

ワンセグを見ながら他の機能を利用する

ビューアポジションにすると、マルチウインドウ（横）でワンセグを視聴しながら他の機能を利用できます。
- メール作成などのメール機能については、通常ポジションでもワンセグを視聴しながら呼び出すことができます。

マルチウインドウ（横）

マルチウインドウ（縦）

- マルチウインドウでのボタン操作については、P.27「ビューアポジションでのボタン操作」を参照してください。
- 同時に起動可能な機能については、P.480「ワンセグのマルチウインドウ表示について」を参照してください。
- ビューアポジションでワンセグを終了した場合、マルチウインドウ（横）のワンセグ表示位置には代替画像が表示されます。

1 ビューアポジションでワンセグ視聴中に⌃を1秒以上押す
- 通常ポジションのときはワンセグ視聴中に✉を1秒以上押すと、メールメニューがマルチウインドウ（縦）で表示されます。

2 起動する機能アイコンを選んで📺（TV）
- 選択した機能がマルチウインドウ（横）で表示されます。
- 通常ポジションでワンセグ起動中に、マルチアシスタントを使って起動中の他の機能を表示している場合も、ビューアポジションにするとマルチウインドウ（横）になります。

■ ワンセグ視聴中に電話がかかってきたとき

ワンセグが中断し、着信画面が表示されます。
- 通常ポジションのときは電話に出ることができます。音声電話の場合は、終了後にワンセグを再開します。テレビ電話の場合は、応答するとワンセグが終了します。
- ビューアポジションのときは、通常ポジションに戻してご利用ください。

お知らせ

- ワンセグ起動中に電話がかかってきた場合、着信音・着信画面に着うたフル®やiモーションを設定しているときは、お買い上げ時に設定されている着信音・着信画面で動作します。

ワンセグ

■ ワンセグ視聴中にメールを受信したとき

ワンセグ視聴中やデータ放送を表示中にメールを受信すると、画面にメールテロップが表示されます。このとき、メール着信音・メール受信画面・メール受信完了画面は動作しません。通常ポジションのときは✉を１秒以上押すと、受信BOX一覧画面が表示されます。ビューアポジションのときは、（）を１秒以上押すと、受信BOX一覧画面が表示されます。

- メールテロップ表示中に（）を押すと、テロップ表示を消すことができます。また、メールテロップに差出人や題名を表示するように設定したり、メールテロップが表示されないように設定することもできます（☞P.219）。
- マルチウインドウでワンセグを視聴しながら、受信メールを表示することができます。

お知らせ

- 次の場合は、メール着信音・メール受信画面・メール受信完了画面が動作します。ただし、メール着信音・メール受信完了画面に着うたフル®やｉモーションを設定しているときは、お買い上げ時の設定で動作します。
  - ■ 通常ポジションでワンセグを起動しているときに、マルチアシスタントを使って起動中の他の機能を表示している場合
  - ■ マルチウインドウでワンセグを視聴している場合

番組表

番組表ｉアプリを利用する

番組表ｉアプリを利用すると、テレビ番組表から番組を選択してワンセグを起動したり、視聴予約や録画予約をすることができます。

- 番組表ｉアプリは変更できます（☞P.252）。
- チャンネル設定（☞P.288）をしていない状態で番組表ｉアプリからワンセグを起動しようとすると、チャンネル設定が起動します。

1 待受画面で◉▶［ワンセグ］▶［番組表］

- ワンセグ視聴画面で（番組表）、または📷→［番組表起動］を選択しても表示できます。
- 番組表ｉアプリ画面で（TV起動）を押すと、選択している番組を視聴できます。

お知らせ

- お買い上げ時に設定されているGガイド番組表リモコンは、メール機能を利用するため、2in1のモードを［Bモード］に設定している場合は利用できません。

ワンセグを録画する

放送中の番組をビデオ録画したり、番組の一場面を静止画として録画することができます。

- ワンセグには、コピー制御信号（「録画不可（コピーネバー）」、「１回だけ録画可能（コピーワンス）」、「録画制限なし（コピーフリー）」を制御する信号）が加えられています。コピー制御信号は、個々の放送局が設定します。
- コピー制御信号が「１回だけ録画可能（コピーワンス）」、「録画制限なし（コピーフリー）」の番組は録画できます。
- 録画中にコピー制御信号が「録画不可（コピーネバー）」に変わった場合、録画を終了し、それまで録画した映像が保存されます。
- テレビ電話着信に応答するとワンセグが終了します。ビデオ録画も終了し、それまで録画した映像が保存されます。
- 保存先メモリの空き容量がなくなったときは、自動的にビデオ録画が終了し、それまで録画した映像が保存されます。
- ビデオ録画中はチャンネル変更やチャンネル設定、ビデオ録画先設定、静止画録画はできません。テレビリンクや番組表ｉアプリも利用できません。
- ビデオ録画中に放送電波が圏外になっても、録画は継続されますが、放送電波圏外中はワンセグを受信できません。
- ビデオ録画中は着信ランプが赤色で点滅します。
- ビデオ録画中にFOMA端末を閉じても録画は継続されます。
- microSDメモリーカードに録画したビデオには、自動的に［PRGxxx］（「xxx」は半角数字）というファイル名が付けられます。ビデオファイル一覧画面（☞P.327）では、ビデオファイルは番組名で表示されます。
- FOMA端末（本体）へ録画したビデオや静止画には、自動的に録画日時をもとにしたファイル名が付けられます。
  例：2007年12月25日午後１時５分に録画した場合→［200712251305xxx］（「xxx」は半角数字）
- ビデオ録画した映像は、FOMA端末（本体）のデータBOXの［ワンセグ］フォルダまたはmicroSDメモリーカードに保存されます。microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます（☞P.335）。
- 録画したビデオの保存先はワンセグ設定のビデオ録画先設定で設定できます。
- FOMA端末（本体）へ録画中に、他の機能からデータBOXに保存できない場合、データBOX内のデータを削除してメモリの空き容量を増やすと保存できる場合があります。

保存件数と録画時間の目安

- ビデオ録画した映像をFOMA端末（本体）に保存する場合は最長約30分、最大99件保存できます。
- ４Gバイトのmicro SDメモリーカードに保存する場合は、合計録画時間は最長約1280分、録画件数は最大99件保存できます。ただし、１回あたりの連続録画時間は最長約640分になります（２Gバイトまで）。
- 録画時間により保存件数は変わります。

ワンセグ

次ページへ続く▶▶

- 録画したビデオの再生については、P.327「ビデオを再生する」を参照してください。
- 静止画録画した画像は、FOMA端末（本体）のデータBOXのマイピクチャの[TVイメージ]フォルダに保存されます。最大1000件保存できます。
- 静止画録画した画像の表示については、P.312「保存した画像を表示する」を参照してください。

視聴中にビデオ録画する

1 ワンセグ視聴画面で[i]（[カメラ]／録画）を１秒以上押す

- ビューアポジションのときは、[i]（TV）を１秒以上押します。
- ワンセグ視聴画面に[○]が表示され、録画が開始されると表示が[●]／[●SD]に変わります。録画が開始されるまで、時間がかかる場合があります。
- マルチウインドウのときや放送電波が圏外のとき、放送休止中、録画禁止番組のときは、録画を開始できません。

2 録画を止めるときは[i]（停止）

- ビューアポジションのときは、[i]（TV）を押します。
- 録画を終了し、自動的に保存されます。

お知らせ

- ビデオ録画中に録画予約を設定した時刻になると、予約していた方の録画が開始されます。それまでのビデオ録画は終了し、映像が保存されます。

ビデオ録画を終了する時間を設定する ＜録画終了時間＞

- 予約録画中は設定できません。

1 ビデオ録画中に[カメラ]▶[録画終了時間]▶録画終了時間を選択

録画終了時間	15分後	60分後	120分後
	30分後	90分後	制限なし※

※ FOMA端末（本体）やmicroSDメモリーカードの空き容量がなくなるまで録画します。録画終了後、ワンセグの視聴を継続します。

2 録画終了後に、ワンセグ視聴を終了するかどうかを選択

お知らせ

- ２Gバイトを超えるmicroSDメモリーカードを利用時に[制限なし]を設定した場合、空き容量があっても保存可能容量（☞P.335）を超えると録画を終了します。

静止画を録画する

1 ワンセグ視聴画面で[i]（[カメラ]／録画）

- ビューアポジションのときは、[i]（TV）を押します。
- 静止画が録画され、自動的に保存されます。保存するまでに時間がかかる場合があります。
- マルチウインドウのときや放送電波が圏外のとき、放送休止中、録画禁止番組のときは、録画できません。

お知らせ

- 静止画録画の場合、映像部分のみ録画され、データ放送部分は録画されません。
- データ放送を全画面表示しているときは、静止画は録画できません。

予約リスト

ワンセグの視聴や録画を予約する

テレビ番組の視聴や録画を予約できます。予約した番組の開始時刻の１分前にアラームでお知らせ（開始アナウンス）します。録画予約の場合は自動的に録画を開始します。視聴予約の場合は、連携起動設定を[ON（確認なし）]に設定しておくと、アラーム画面から自動的にワンセグが起動します。

- あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください（☞P.46）。
- チャンネル設定を行っていない場合は視聴予約や録画予約を行うことはできません。
- はじめてワンセグを起動したときなど、ご利用確認画面が表示される状態では、録画予約を行っても録画はできません。
- 視聴予約と録画予約を合わせて最大50件まで登録できます。
- 番組表ｉアプリ、サイトやメールなどに表示されている番組情報から、視聴予約や録画予約を行うこともできます（☞P.197）。
- ワンセグアンテナの方向などを調整し、ワンセグが良好に受信できているかを確認してください。
- FOMA端末の電池残量が十分残っていることを確認してください。
- ビデオ録画についてはP.293「ワンセグを録画する」を参照してください。

視聴予約・録画予約を行う

番組表ｉアプリを利用して予約する ＜電子番組表＞

1 待受画面で[●]▶[ワンセグ]▶[予約リスト]

2 [i]（新規）

- [カメラ]を押して[新規作成]を選択しても操作できます。

3 [電子番組表]

日時やチャンネルを指定して予約する ＜手動入力＞

1 待受画面で[●]▶[ワンセグ]▶[予約リスト]

ワンセグ

2 [i](新規)

- [📷]を押して[新規作成]を選択しても操作できます。

3 [手動入力] ▶ 予約種別を選択

視聴予約画面

録画予約
開始日 :[----/--/--]
開始時刻 :[--:--]
終了日 :[----/--/--]
終了時刻 :[--:--]
繰り返し :[ ]
ﾁｬﾝﾈﾙ :[ ]
番組名 :[ ]
開始ｱﾅｳﾝｽ :[ON固定]

録画予約画面

視聴予約を登録する	[視聴予約]
録画予約を登録する	[録画予約]→[はい] ● 録画予約確認画面の記載内容をよくお読みください。[はい(以後非表示)]を選択すると、次回から録画予約確認画面は表示されません。

4 [開始日]・[終了日](録画予約のみ)を選択 ▶ 開始日時・終了日時(録画予約のみ)を入力する

- 日付の入力方法については、P.405「スケジュールを登録する」の操作2を参照してください。
- 時刻は24時間制で入力します。

5 くり返し方法を選択

1回のみの予約を登録する	[1回のみ]
毎日くり返す予約を登録する	[毎日 時刻※]→くり返しの回数(00～99)を入力して◉
毎週1回の予約を登録する	[毎週 曜日※]→くり返しの回数(00～99)を入力して◉

※ 登録した時刻／曜日が表示されます。

- くり返しの回数に「00」を入力したときは、くり返し回数が制限なしの予約が登録されます。

6 [チャンネル]を選択 ▶ チャンネルを選択

7 [番組名]を選択 ▶ 番組名を入力して◉

- 最大全角100文字(半角200文字)まで入力できます。

8 開始アナウンスを設定する

- 開始アナウンスの設定については、P.295「アラームを設定する」を参照してください。
- [OFF]に設定すると視聴予約は起動しません。

9 [i](完了)

■ アラームを設定する

開始アナウンスのアラーム音や音量を設定できます。

- 録画予約は[OFF]に設定できません。
- アラーム鳴動時間は15秒です。鳴動時間の変更はできません。
- アラーム機能の優先順位については、P.401を参照してください。

1 視聴予約画面／録画予約画面で[開始アナウンス]を選択

- 録画予約の場合は操作3に進みます。

2 [ON]

- [OFF]に設定すると視聴予約は起動しません。

3 [アラーム音選択] ▶ アラーム音の種類を選択

アラーム音の種類	メロディ	iモーション
	ミュージック	設定なし

4 P.120の操作2を参照してアラーム音を選択

5 [アラーム音量選択] ▶ ◌／◌で音量を調節して◉

- 録画予約の場合は操作7に進みます。

6 [連携起動設定] ▶ アラーム画面表示後の動作を選ぶ

ワンセグ起動確認画面を表示する	ON(確認あり)
ワンセグを起動する	ON(確認なし)
ワンセグを起動しない	OFF

- [ON(確認なし)]に設定した場合、[30分後]のオフタイマーが自動的に設定されます。

7 [i](完了)

お知らせ

- 視聴予約と録画予約の開始日時を同じ日時に設定した場合、録画予約が優先されます。

視聴予約について

- すでに登録されている視聴予約と新たに登録する視聴予約の開始日時が同じ場合は、確認画面が表示されます。登録する場合は[はい]を選択します。先に登録されている視聴予約(くり返し設定の予約も含む)の開始アナウンスは[OFF]に変更されます。

録画予約について

- すでに登録されている録画予約の終了日時と、新たに登録する録画予約の開始日時が同じ場合は、確認画面が表示されます。登録する場合は[はい]を選択します。先に開始される録画は、最大1分程度早く終了します。
- 複数の番組を同時に録画することはできないため、すでに登録されている録画予約と新たに登録する録画予約の日時が重複した場合は、確認画面が表示されます。登録する場合は[はい]を選択します。先に登録されている録画予約(くり返し設定の予約も含む)は削除されます。

お目覚めTVを設定する<お目覚めTV>

日時やチャンネルを設定し、ワンセグを目覚まし時計として利用することができます。ワンセグ起動確認画面は表示されず、自動的にワンセグが起動します。

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[タイマー・アラーム]▶[お目覚めTV]

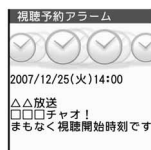
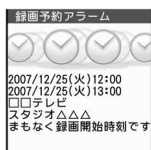
- あらかじめ連携起動設定が[ON(確認なし)]、アラーム音が[サイレント]に設定されている視聴予約画面が表示されます。
- お目覚めTVでは、[30分後]のオフタイマーが自動的に設定されています。
- 以降の操作については、P.294「日時やチャンネルを指定して予約する」の操作4～9を参照してください。

お知らせ

- 連携起動設定を[ON(確認あり)]または[OFF]に設定すると、ワンセグは自動的には起動しません。
- 開始アナウンスを[OFF]に設定すると、お目覚めTVは起動しません。
- 放送電波が圏外のときは、音声が鳴りません。
- お目覚めTVの修正や削除は、視聴予約・録画予約と同様にワンセグメニューの予約リストから行ってください。

予約開始時刻になると

開始時刻の1分前に、設定した内容でアラームが動作します。15秒経過するとアラームは止まります。
アラームを止めるときや音量調節するときは、P.402「アラーム鳴動中のボタン操作」を参照してください。

- 視聴予約の場合、連携起動設定を[ON(確認あり)]に設定しているときは、アラームが止まるとワンセグ起動確認画面が表示され、[はい]を選択するとワンセグが起動します。
  [ON(確認なし)]に設定しているときは、アラームが止まるとワンセグが起動します。
  ワンセグ起動中にアラームが動作した場合、ワンセグ起動確認画面は表示されません。予約と異なるチャンネルを視聴していた場合は、チャンネル変更確認画面が表示され、[はい]を選択すると予約したチャンネルに切り替わります。
- 録画予約の場合、アラームが止まるとワンセグがミュート状態で起動し、ワンセグ視聴画面に[○]が表示されます。録画時刻になると録画が開始され、表示が[●■]／[●SD]に変わります。
  ワンセグ起動中にアラームが動作した場合、アラームが止まるとメッセージが表示され、録画が開始されます。

視聴予約
アラーム画面

録画予約
アラーム画面

お知らせ

- 通常マナーモード、サイレントマナーモード設定中は、アラーム音が鳴りません。オリジナルマナーモードの場合はアラーム音の[ON]／[OFF]を設定できます。
- 公共モード(ドライブモード)設定中に予約開始時刻になったときは、アラーム音は鳴りません。着信ランプ／バイブレータも動作しません。
- 次の場合などは、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しますが、視聴・録画は開始されません。
  - ■ マルチアシスタントを使ってワンセグと同時に起動できない機能を利用中
  - ■ 録画予約したあとに、FOMAカードを取り外したり、別のFOMAカードに差し替えた場合
  - ■ 電池残量が不足している場合
  - ■ microSDメモリーカードが挿入されていない状態でビデオ録画先設定を[microSD]に設定しているとき
  - ■ マルチメディアの機能別ロック中
- 次の場合などは、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しません。また、視聴・録画も開始されません。
  - ■ 音声電話またはテレビ電話の発着信中および通話中
  - ■ プッシュトークの発着信中および通信中
  - ■ 赤外線通信中、赤外線リモコン送信中
  - ■ オールロック中
  - ■ 電源が切れているとき、電源ON／OFF時のウェイクアップ画面または終了画面表示中、自動電源OFF時の確認画面表示中
  - ■ 電池切れ画面の表示中
  - ■ ソフトウェア更新中
  - ■ ユーザデータ一括削除中
  - ■ USB通信中
  - ■ パケット通信中

視聴予約・録画予約を確認する

1 待受画面で◉▶[ワンセグ]▶[予約リスト]

- ✉(カレンダー)を押すとカレンダー画面が表示され、他のスケジュールと合わせて確認できます。

予約リスト画面

1 予約種別

	視聴予約		録画予約

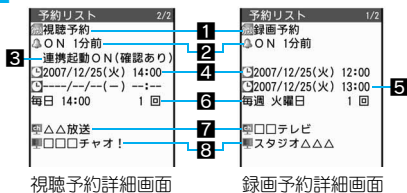
2 アラーム

3 開始日時

4 終了日時

5 チャンネル名

6 番組名

2 予約を選択

視聴予約詳細画面　　録画予約詳細画面

1 予約種別

2 開始アナウンス設定

3 連携起動設定

4 開始日時

5 終了日時

6 繰り返し設定

7 チャンネル名

8 番組名

視聴予約・録画予約を修正する<編集>

1 予約詳細画面、または予約リスト画面で予約を選んで📷▶[編集]

2 予約を修正して▮(完了)▶登録方法を選択

● 修正方法は、登録時の操作と同様です(☞P.294)。

新規に登録する	[新規登録]
上書き登録する	[上書登録]→[はい]

視聴予約・録画予約を管理する

予約を削除したり、並べ替えたりできます。

■ 予約を削除する<削除>

1 予約リスト画面で予約を選んで📷▶[削除]

● 予約詳細画面のときは、📷を押し[1件削除]→[はい]を選択すると予約を削除できます。

2 削除方法を選択

1件削除する	[1件削除]→[はい]
複数をまとめて削除する	[選択削除]→予約を選択(くり返し可)→📷→[はい] ● すべてを選択/解除する場合は、▮(全選択)/▮(全解除)を押します。
指定した日の前日までのすべての予約を削除する	[過去全件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]
すべてを削除する	[全件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]

■ 予約を並べ替える<ソート>

● ソートを実行したあと、予約リスト画面を終了しても、その設定は継続されます。

放送日時順(旧→新)	予約日時の古い順
放送日時順(新→旧)	予約日時の新しい順
視聴予約優先	視聴予約の予約日時の古い順→録画予約の予約日時の古い順
録画予約優先	録画予約の予約日時の古い順→視聴予約の予約日時の古い順

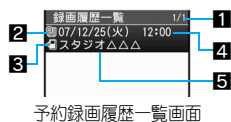
1 予約リスト画面で📷▶[ソート]

2 ソート方法を選択

予約録画履歴を表示する<予約録画履歴>

予約した録画が終了すると、予約録画履歴として最大50件まで記憶され、録画結果を確認できます。

1 待受画面で⦿▶[ワンセグ]▶[予約録画履歴]

● 待受画面に[ワンセグ録画あり]と表示されているときに⦿を押しても表示できます。

予約録画履歴一覧画面

1 件数/総件数

2 録画結果マーク

(icon)	録画成功	(icon)	録画失敗

3 動画保存先アイコン

(icon)	本体	(icon)	microSD

4 録画開始日時

5 番組名

■ 予約録画履歴の詳細を表示する

表示される情報は次のとおりです。

● 録画結果
● 保存先
● 開始時間
● 終了時間
● リモコン番号
● 放送局名
● 番組名

1 予約録画履歴一覧画面で、予約録画履歴を選択

次ページへ続く

関 連 操 作

予約録画履歴を削除する<削除>

1 予約録画履歴一覧画面／予約録画履歴詳細画面で予約録画履歴を選んで📷

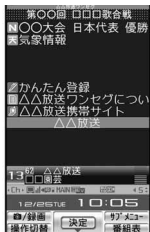
2 ［1件削除］
- 予約録画履歴一覧画面から複数の予約録画履歴をまとめて削除するとき：［選択削除］▶予約録画履歴を選択（くり返し可）▶📷
- 予約録画履歴一覧画面からすべての予約録画履歴を削除するとき：［全件削除］▶端末暗証番号を入力して⦿

3 ［はい］

データ放送を利用する

ワンセグでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。データ放送では、番組に関連したサイトに接続したり、投票などで番組に参加するなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。
また、番組によっては、Phone To機能やMail To機能、iアプリTo機能の利用や、電話帳登録やスケジュール登録などができます。
- データ放送・データ放送サイトによっては表示中に音声が鳴ることがあります。
- ビューアポジションやマルチウインドウ（縦）のときはデータ放送モードに切り替えできません（データ放送を操作できません）。

1 ワンセグ視聴画面で✉（操作切替）
- ［DATA］が表示され、データ放送モードに切り替わります。
- データ放送モード中の操作については、P.290を参照してください。
- ✉を押すたびに映像モードとデータ放送モードが切り替わります。
- ワンセグ視聴画面で、📷を押して［操作切替］を選択しても操作できます。

映像＋データ放送表示

データ放送表示

2 項目を選択
- 接続確認画面が表示された場合は、［はい］を選択すると、iモードに接続します。［はい（以後非表示）］を選択すると、次回から確認画面は表示されず、データ放送・データ放送サイトの情報は自動的に更新される場合があります。このとき、パケット通信料がかかる場合がありますので、ご注意ください。
- データ放送・データ放送サイトからiモードサイトへ接続を行った場合、サイトは全画面で表示され、ワンセグの映像は表示されません。
- サイト表示中の操作については、P.182「サイトの見かたと操作」を参照してください。

お知らせ

- 接続確認画面を再度表示するには、確認表示設定リセットを行います。
- データ放送・データ放送サイトを利用中に以下のようなメッセージが表示されることがあります。
［はい］を選択すると操作を実行します。

メッセージ	理　由
［放送用保存領域がいっぱいです。削除しますか？］	放送用保存領域の放送局個別領域がすでに8つ使用されているときに、新たな放送局が放送局個別領域に書き込みを行おうとすると表示されます。
［放送用保存領域内の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります］※	チャンネルの変更時、初回放送番組の放送時、視聴番組終了後の次番組の開始時などに表示されます。
［データ放送サイトに情報送信しますか？ iモード通信を行います］※	データ放送を表示中に、視聴中の番組からの情報送信指示が発生した場合に表示されます。
［番組から通知がありました データ放送サイト接続し、iモード通信を行いますか？］	番組からの通知によりiモードサイトに接続するときに表示されます。
［サイト接続しますか？］※	データ放送・データ放送サイトやテレビリンクから、iモードサイトに接続するときに表示されます。
［データ放送サイト接続しますか？ iモード通信を行います］※	データ放送・データ放送サイトから、iモードサイトに接続するときに表示されます。
［電話帳登録しますか？］［スケジュール登録しますか？］※［テレビリンク登録しますか？］※	データ放送より取得した各情報登録時に表示されます。

※［はい（以後非表示）］を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

データ放送の表示サイズを切り替える
<表示モード切替（縦）>

1 ワンセグ視聴画面で📷▶［表示設定］▶［表示モード切替（縦）］

2 ［映像＋データ放送］／［データ放送］

データ放送サイトを再読み込みする<再読み込み>

ワンセグ視聴画面で📷▶［データ放送］▶［再読み込み］

関連操作

証明書を表示する＜証明書表示＞

ワンセグ視聴画面で[MENU]▶[データ放送]▶[証明書表示]

データ放送サイトからデータ放送に戻る＜データ放送に戻る＞

ワンセグ視聴画面で[MENU]▶[データ放送]▶[データ放送に戻る]

関連操作のお知らせ

表示モード切替（縦）について

- 設定を変更しても、ワンセグを終了すると次回起動時は[映像＋データ放送]に戻ります。

テレビリンク

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、メモ情報や関連するサイトのURLをテレビリンクとして登録できます。テレビリンクに登録すると、テレビリンク一覧画面から簡単にメモ情報やサイトを表示できます。

- テレビリンクは100件まで登録できます。

テレビリンクに登録する

1 テレビリンク登録可能な項目を選択▶[はい]

- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。
- すでに登録されているメモ情報やサイトを選んだときは、上書き確認画面が表示されます。登録するときは、[はい]を選択します。

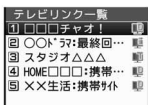
登録したテレビリンクを表示する＜テレビリンク＞

1 待受画面で●▶[ワンセグ]▶[テレビリンク]

- ワンセグ視聴画面で[MENU]を押して[テレビリンク]を選択しても表示できます。

テレビリンク一覧画面

マークの意味

マーク	意味	マーク	意味
[メモ]	メモ情報	[i]	iモードサイト
[D]	データ放送サイト		

2 テレビリンクを選んで表示する。

メモ情報を表示する	● ● 確認を終わるときは、●または[CLR]を押します。
データ放送サイトを表示する	●→[はい] ● データ放送サイトが全画面表示されます。ワンセグ視聴画面から操作した場合はワンセグが終了します。
iモードサイトを表示する	●→[はい]

- 有効期限が切れているテレビリンクを表示することはできませんが、削除することはできます。

関連操作

詳細情報を表示する＜詳細情報表示＞

テレビリンク一覧画面でテレビリンクを選んで[MENU]▶[詳細情報表示]

- 確認を終わるとき：●

テレビリンクを削除する＜削除＞

1 テレビリンク一覧画面でテレビリンクを選んで[MENU]▶[削除]

2 [1件削除]

- 複数のテレビリンクをまとめて削除するとき：[選択削除]▶テレビリンクを選択（くり返し可）▶[MENU]
- すべてのテレビリンクを削除するとき：[全件削除]▶端末暗証番号を入力して●

3 [はい]

関連操作のお知らせ

テレビリンクの削除について

- 選択削除の場合、すべてを選択／解除するときは、[i]（全選択）／[i]（全解除）を押します。

ワンセグ設定

ワンセグの設定を行う

ビデオ録画の保存先を設定する＜ビデオ録画先設定＞

録画したビデオの保存先を設定します。

- [自動（本体優先）]または[自動（microSD優先）]に設定すると、次の場合は自動的に録画先を変更して録画が開始されます。
  - ■ 優先メモリの空き容量がない場合
  - ■ 最大保存件数を超えている場合

1 待受画面で●▶[ワンセグ]▶[ワンセグ設定]▶[ビデオ録画先設定]

2 保存先を選択

保存先	本体	自動（本体優先）
	microSD	自動（microSD優先）

お知らせ

- FOMA端末（本体）に録画したビデオをmicroSDメモリーカードへコピーすることはできません。また、microSDメモリーカードに録画したビデオをFOMA端末（本体）へ移動またはコピーすることはできません。

データ放送の保存データを削除する＜放送用保存領域消去＞

データ放送の保存データ（放送用保存領域のデータ）を削除します。

1 待受画面で◉▶[ワンセグ]▶[ワンセグ設定]▶[放送用保存領域消去]

2 系列放送局を選んで📷▶削除方法を選択

1件削除する	[1件削除]
全件削除する	[全件削除]→端末暗証番号を入力して◉

- 系列内の放送事業者を確認するときは、回（詳細）を押します。確認を終わるときは◉またはCLRを押します。
- 放送事業者別に消去するときは、系列放送局を選択し、放送事業者を選んで📷を押し、削除方法を選択します。

3 [はい]

データ放送サイトの画像を表示しないようにする＜画像表示設定＞

1 待受画面で◉▶[ワンセグ]▶[ワンセグ設定]▶[画像表示設定]▶[OFF]

- ワンセグ視聴画面で📷を押し、[データ放送]→[画像表示設定]を選択しても操作できます。

データ放送の効果音を鳴らさないようにする＜効果音鳴動設定＞

1 待受画面で◉▶[ワンセグ]▶[ワンセグ設定]▶[効果音鳴動設定]▶[OFF]

- ワンセグ視聴画面で📷を押し、[データ放送]→[効果音鳴動設定]を選択しても操作できます。

設定内容を確認する＜ワンセグ設定確認＞

画像表示設定や効果音鳴動設定、ワンセグ視聴画面のワンセグ設定（☞P.292）、Dolbyサウンド設定（☞P.291）の設定内容を表示します。

1 待受画面で◉▶[ワンセグ]▶[ワンセグ設定]▶[ワンセグ設定確認]

- 確認を終わるときは、◉またはCLRを押します。

データ放送の確認画面を再表示する＜確認表示設定リセット＞

データ放送やデータ放送サイトの接続確認画面で[はい（以後非表示）]を選択すると以後同様の確認画面は表示されなくなります。確認表示設定リセットを行うと、それらの確認画面が再度表示されます。

1 待受画面で◉▶[ワンセグ]▶[ワンセグ設定]▶[確認表示設定リセット]▶端末暗証番号を入力して◉

- ワンセグ視聴画面で📷を押し、[データ放送]→[確認表示設定リセット]を選択しても操作できます。

2 [はい]

ワンセグ設定をお買い上げ時の状態に戻す＜ワンセグ設定リセット＞

ワンセグの映像や音声に関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。リセットされる設定項目は次のとおりです。

- 放送用保存領域は消去されません。
- ワンセグ設定リセットを行うと、確認表示設定リセットも同時に行われます。また、ご利用確認画面や録画予約確認画面も再度表示されるようになります。

設定項目	
ワンセグ視聴画面からのワンセグ設定（☞P.292）	鮮やか画質モード設定
	明るさ調整
	主／副音声切替
	音声切替
	クローズ動作設定
	ビデオ録画先設定
	オートエリア切替
ワンセグメニューからのワンセグ設定	画像表示設定
	効果音鳴動設定
Dolbyサウンド設定	

1 待受画面で◉▶[ワンセグ]▶[ワンセグ設定]▶[ワンセグ設定リセット]▶端末暗証番号を入力して◉

2 [はい]

フルブラウザ／PC動画

パソコン向けのホームページを表示する

フルブラウザを利用すると、iモードに対応していないインターネットホームページをパソコンと同じようにFOMA端末で表示することができます。

- 情報量の多いインターネットホームページは正しく表示されないことがあります。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと通信料金が高額になりますのでご注意ください。パケット通信料の詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 画面メモの保存はできません。
- 着信メロディ、iアプリ、トルカ、iモーション、Flash画像の再生、ダウンロードや保存はできません。

1 待受画面で[i]▶[フルブラウザ]

フルブラウザ
1 ホーム
2 Bookmark
3 ラストURL
4 Internet
5 フルブラウザ設定

フルブラウザメニュー画面

2 表示するインターネットホームページを指定する

登録済みのホームページ（ポータルサイト）を表示する	[ホーム]
ブックマークから表示する	[Bookmark]→フォルダを選択→ブックマークを選択
URLを入力して表示する	[Internet]→[URL入力]→URLを入力して⦿ ● 最大半角512文字まで入力できます（「http://」などを含む）。

- ページによっては表示に時間がかかる場合があります。

フルブラウザの利用確認画面について

- フルブラウザのアクセス設定が[OFF]に設定されている場合、フルブラウザ起動時に、フルブラウザを利用するかどうかを確認するアクセス設定画面が表示されます。[利用する]を選択すると、アクセス設定が[ON]に設定変更され、フルブラウザでインターネットホームページが表示されます。フルブラウザを終了しても、この設定は有効です。

フルブラウザ中のボタン操作

ボタン操作	動　作
1	ウィンドウリスト画面を表示し、ウィンドウを切り替える
2	画面の最上部へ移動
3	リンクを新ウィンドウで開く
4	前のページへ戻る
5	登録しているホームページを新ウィンドウで開く
6	次のページへ進む
7	登録している検索サイトでウェブ検索を行う
8	ページ内の文字列を検索する
9	ブックマーク機能を利用する
0	ログイン情報貼付
＊	表示したページの履歴一覧を表示する
＃	操作ガイド

関連操作

ホームページ（ポータルサイト）を登録する<ホーム登録>

フルブラウザで登録したいインターネットホームページを表示中（☞P.302の操作1～2）に[MENU]▶[画面操作]▶[ホーム]▶[ホーム登録]

- URLを入力してホームページ（ポータルサイト）を登録するとき：フルブラウザメニュー画面で[フルブラウザ設定]▶[ホーム設定]▶URLを入力して⦿

URL履歴を使ってページを表示する<URL履歴>

フルブラウザメニュー画面で[Internet]▶[URL履歴]▶URLを選択

最後に表示したページを表示する<ラストURL>

フルブラウザメニュー画面で[ラストURL]▶⦿

アクティブマーカーを使ってページを表示する<アクティブマーカー>

待受画面で◯▶[（フルブラウザ履歴）]▶履歴を選択

関連操作のお知らせ

- iモードのブックマークとフルブラウザのブックマークは別に管理されます。
- フルブラウザのブックマークには、[Bookmark]フォルダ、[検索]フォルダを合わせて最大20個のフォルダを登録できます。
- ブックマークはフォルダ全体で最大100件まで登録できます。
- ウェブ検索時、ブックマークの[検索]フォルダの一番上に登録されたサイトを利用します（☞P.306）。

フルブラウザの表示について

フルブラウザでの表示中の操作は、iモードのInternetメニューからのサイト表示操作と基本的な部分は共通です(☞P.187)。ここでは、異なる部分を中心に説明します。

- フルブラウザ表示中は、ポインタ([ ]や[ ]など)を動かして項目を選択することができます(☞P.32)。
- TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)パッド使用時、リンクがあるときは[ ]が表示されます。リンク先へ移動する場合はダブルタップします(☞P.183)。

フルブラウザ画面

フルブラウザ中に表示されるマーク

マーク	説明
FB	フルブラウザ起動中(通信中は が点滅)
FB	フルブラウザアクセス中 (データ受信中は[ ]が点滅)
wFB	裏ウィンドウアクセス中 (データ受信中は[ ]が点滅)
fFB	別フレームアクセス中 (データ受信中は[ ]が点滅)
SSL	SSL/TLSページ表示中
	PCモード中
	フレーム拡大表示中
	マルチウィンドウ表示 (ウィンドウ/全ウィンドウ数)
(青色)	未読iモードメール、SMS、またはメッセージR/Fがある場合
	未読エリアメールがある場合

表示モードを切り替える

- 表示モードについては、P.307を参照してください。

1 フルブラウザ画面で📷▶[表示/設定]▶[表示モード設定]▶表示モードを選択

表示モード	ケータイモード	PCモード

画面の上下スクロール

上下にスクロールするときは、Ⓒで行います。

- ケータイモードの場合は、 (▼ページ)/ (▲ページ)で1画面単位でスクロールできます。

画面の横スクロール(PCモード)

PCモードのときは、Ⓒでページの横幅の範囲内を左右にスクロールできます。

一番上に移動する(先頭へ戻る)

- 2を押すか、または📷を押し[画面操作]→[先頭へ戻る]を選択すると、表示中のページの一番上に移動できます。

前のページに戻る/次のページに進む(キャッシュについて)

FOMA端末はインターネットホームページの画面と表示してきた経路を、合計2500Kバイトまで記憶しています。これを「キャッシュ」と呼び、簡単に表示できます。

- ケータイモードの場合、Ⓒを押して前のページを表示したあとは、Ⓒを押して次のページを表示できます。
- PCモードの場合、 (戻る)を押して前のページを表示したあとは、 (進む)を押して次のページを表示できます。
- 前のページに戻るときに4、次のページに進めるときに6を使うこともできます。
- Ⓒまたは (戻る)を続けて押すと、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、途中でⒸまたは (戻る)を押して前のページを表示させ(「C」から「B」に戻る)、そのページから他のページ(「D」)を表示させたときは、「D」からⒸまたは (戻る)を2回押しても「C」は表示されません。「B」→「A」の順で前のページを表示します。
〈画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき〉(☞P.184)
- キャッシュに記憶されたページを表示するときは、以前入力した文字や設定などの情報は表示されません。
- キャッシュがいっぱいになった状態で、新たなページを表示すると、古い履歴から順に削除されます。
- 前または次のページを表示するときに、キャッシュ内にそのページが残っていない場合や、FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしている場合、また必ず最新情報を読み込むように設定(作成)されたページを表示する場合は、インターネットホームページからダウンロードして表示します。
- キャッシュに保存した画面を切り替えているとき、画面の表示に時間がかかることがあります。
- キャッシュの情報は、フルブラウザを終了するとリセットされます。

フレームページを表示する

複数のフレームで構成されたインターネットホームページを表示できます。
フレーム選択画面でフレームを選択すると、フレームごとにページを表示できます。

- フレーム選択画面でⒸを押してフレームを選択すると、フレーム詳細画面が表示されます。
- フレームごとのインターネットホームページからフレーム選択画面に戻るときは、📷を押し[画面操作]→[フレーム表示へ戻る]を選択します。

お知らせ

- インターネットホームページ表示時に、画像を読み込まないように設定できます(☞P.307)。
- インターネットホームページによっては、文字が正しく表示されなかったり、実際のインターネットホームページの画面と同じ表示ができない場合があります。文字が正しく表示されない場合は、文字コード変換を行うと正しい文字に変換して表示できることがあります。文字コード変換を4回くり返すと、元の表示に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

- インターネットホームページからダウンロードしたファイル形式により、FOMA端末の持っている最大表示色数で表示できない場合があります。
- インターネットホームページ表示中に【終話】を押すと、終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、フルブラウザを終了します。
- インターネットホームページ表示時に、通信エラーなどで画面に表示できるデータが何も取得できなかった場合、画面に[⊠]が表示されることがあります。この場合は、インターネットホームページの再読み込みを行うことで、正しく表示される場合があります。

関連操作

ケータイモードで文字サイズを変更する＜文字サイズ設定＞

1 ケータイモードのフルブラウザ画面で【i】(文字サイズ)(または、【m】▶[表示／設定]▶[文字サイズ設定])
2 [大きい文字]／[標準]／[小さい文字]／[最小]

PCモードで表示倍率を変更する＜ズーム／全体＞

1 PCモードのフルブラウザ画面で【i】(ズーム／全体)(または、【m】▶[表示／設定]▶[ズーム])
   - 60%表示にするとき：【i】を1秒以上押す
2 [250%]／[200%]／[150%]／[100%]／[75%]／[60%]

インターネットホームページを再読み込みする＜再読み込み＞

フルブラウザ画面で【m】▶[再読み込み]

表示したページの履歴を利用する＜履歴一覧＞

フルブラウザ画面で【m】▶[履歴一覧]▶履歴を選択
- URLを確認するとき：履歴を選んで【i】

IDとパスワードを登録する＜ログイン情報登録＞

1 フルブラウザ画面で【m】▶[ログイン情報登録]▶端末暗証番号を入力して◉▶登録する番号を選択
2 P.186を参照してIDとパスワードを登録する

登録したログイン情報を利用する＜ログイン情報貼付＞

フルブラウザ画面でテキストボックスを選んで【m】▶[ログイン情報貼付]▶端末暗証番号を入力して◉▶ログイン情報を選択

URLを参照する＜URL表示＞

フルブラウザ画面で【m】▶[表示／設定]▶[URL表示]

文字コードを変換する＜文字コード変換＞

フルブラウザ画面で【m】▶[表示／設定]▶[文字コード変換]

GIFアニメーションを再び再生する＜リトライ＞

フルブラウザ画面で【m】▶[表示／設定]▶[リトライ]

ブックマークに登録する＜Bookmark登録＞

1 フルブラウザ画面で【m】▶[Bookmark]
2 [Bookmark登録]▶フォルダを選択
3 登録するときは[OK]
   - タイトルを変えて登録するとき：[タイトル編集]▶タイトルを編集して◉
   - 保存するフォルダを変更して登録するとき：[フォルダ変更]▶フォルダを選択▶[OK]

画像を保存する＜画像保存＞

1 フルブラウザ画面で【m】▶[画像保存]
2 画像を選択▶フォルダを選んで【m】

インターネットホームページのURLをメール送信する＜メール作成＞

フルブラウザ画面で【m】▶[メール作成]

関連操作のお知らせ

履歴一覧について
- フルブラウザを終了すると、履歴は削除されます。

ログイン情報登録･ログイン情報貼付について
- 詳しくは、P.186を参照してください。

画像保存について
- 最大500KバイトのGIF画像、JPEG画像、BMP画像、PNG画像を保存できます。ただし、BMP画像とPNG画像の場合、microSDメモリーカードに保存できますが、FOMA端末(本体)には保存できません。

■ SSL／TLS対応のページを表示するとき

フルブラウザでは、「https://」から始まるインターネットホームページ(SSL／TLSページ)を表示できます。また、ユーザ証明書が必要な場合は、確認画面が表示されます。送信してよい場合は、[はい]を選択し、PIN2コードを入力してください。

- SSL／TLS対応のページを表示しているときは、[SSL]が表示されます。
- マルチウィンドウのとき、裏ウィンドウのみでSSL／TLSページを表示している場合、[SSL]は表示されません。
- SSL／TLS対応のページから通常のページへ移動するときは、SSL／TLSページを終了するかどうかの確認画面が表示されます。

インターネットホームページのサーバ証明書を参照する＜証明書参照＞

フルブラウザ画面で【m】▶[表示／設定]▶[証明書参照]

関連操作のお知らせ

- [このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？]などと表示されたときは、ページのSSL証明書が不正、または期限切れになっているか、FOMA端末が使用しているSSL証明書と異なる証明書を使用しているページを表示しようとしています。
  この場合、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報を安全に送信できませんので、ご注意ください。
  続けてページを表示させるときは[はい]を選択します。
  ページを表示させないときは[いいえ]を選択します。

マルチウィンドウを使う

フルブラウザのウィンドウは最大５枚開くことができます。

■ URLを入力して新しいウィンドウで表示する

フルブラウザでインターネットホームページ表示中に、新しいウィンドウで別のインターネットホームページを表示することができます。

1 フルブラウザ画面（☞P.303）で[カメラ]▶[Internet]

2 表示するインターネットホームページを指定する

URL履歴から表示する	[URL履歴]→URL履歴を選択
URLを入力して表示する	[URL入力]→URLを入力して◉ ● 最大半角512文字まで入力できます（「http://」などを含む）。

3 [新ウィンドウで開く]

● 新しいウィンドウでインターネットホームページが表示されます。

お知らせ

● 表示可能なフレーム数を超えた場合やメモリ不足により、新ウィンドウで開くことができない場合があります。

関連操作

選択しているリンクを新しいウィンドウで表示する

フルブラウザ画面でリンクを選んで3（または、[カメラ]▶[ウィンドウ]▶[新ウィンドウで開く]）

開いているウィンドウの一覧を表示する

フルブラウザ画面で1（または、[カメラ]▶[ウィンドウ]▶[ウィンドウリスト表示]）

● 手前に表示するウィンドウを切り替えるとき：ウィンドウを選択

● 選択したウィンドウを閉じるとき：ウィンドウを選んで[メール]

● 一番手前のウィンドウを残してすべてのウィンドウを閉じるとき：[メニュー]

ウィンドウを閉じる

フルブラウザ画面で[カメラ]▶[ウィンドウ]▶[ウィンドウを閉じる]▶[はい]

関連操作

ブックマークを選んで新しいウィンドウで表示する<Bookmark一覧>

1 フルブラウザ画面で[カメラ]▶[Bookmark]▶[Bookmark一覧]

2 フォルダを選択▶ブックマークを選んで[i]（新ウィンドウ）

登録しているホームページ（ポータルサイト）を新しいウィンドウで表示する<ホーム表示>

フルブラウザ画面で5（または、[カメラ]▶[画面操作]▶[ホーム]▶[ホーム表示]）

関連操作のお知らせ

ウィンドウの一覧表示について

● 最大５件のウィンドウを一覧表示できます。

ファイルをアップロードする

フォームからのファイルアップロードに対応しているインターネットホームページでは、画像をアップロードすることができます。

● アップロードできる画像のファイルの種類は、GIF画像、JPEG画像で、それぞれ80Kバイトまでです。

1 フルブラウザ画面（☞P.303）でファイル選択用の[参照]ボタンを選択

2 フォルダを選択▶画像を選択

3 インターネットホームページ上の送信用のボタンを選択

ファイルをダウンロードする

インターネットホームページから文書ファイル、PDFデータや電子書籍などをダウンロードできます。

● ダウンロードしたファイルはmicroSDメモリーカードに保存されます。

● ダウンロードできるファイルの種類（拡張子）
Microsoft Word（.doc）、Microsoft Excel（.xls）、Microsoft PowerPoint（.ppt）、PDF（.pdf）、XMDF（.zbf）、Text形式の電子書籍（.zbk）

● ダウンロードできるファイルサイズは500Kバイトまでで、分割しないでダウンロードされます。

1 フルブラウザ画面（☞P.303）でダウンロードするデータを選択

2 [はい]

● [ファイルをダウンロードしますか？]と表示されます。[はい]を選択します。

3 ダウンロードが完了したら[外部メモリに保存]

ウェブ検索を行う

検索サイトを利用してウェブ検索を行います。

1 **フルブラウザ画面(☞P.303)で[カメラキー]▶[検索]▶[ウェブ検索]**

- [7]を押しても操作できます。
- ブックマークの[検索]フォルダに登録された最上位のインターネットホームページに接続されます。[検索]フォルダに登録されていない場合は[Bookmarkの登録はありません]と表示されます。
- 検索方法については、各検索サイトの指示に従ってください。

ページ内検索を行う

表示中のページから特定の文字列を検索します。

1 **フルブラウザ画面(☞P.303)で[カメラキー]▶[検索]▶[ページ内検索]**

2 **検索キーワードを入力して◉**

- 続けて次へ検索するときは[メールキー](次検索)、前へ検索するときは[メールキー](前検索)を押します。
- 検索を終了するときは◉(終了)を押します。

操作ガイドを表示する

1 **フルブラウザ画面(☞P.303)で[カメラキー]▶[操作ガイド]**

iモードからフルブラウザに切り替える

iモードから表示したインターネットホームページが正しく表示されない場合、フルブラウザでの表示に切り替えることができます。

1 **iモードからのインターネットホームページ表示中に[カメラキー]▶[フルブラウザ切替]▶[はい]**

フルブラウザの設定をする

フルブラウザに関する各種の機能を設定します。

Cookieについて設定する

Cookieとは、インターネットホームページに接続したときに、FOMA端末にユーザ名やアクセス日時、アクセス回数などのデータを一時的に記録するしくみです。次回同じインターネットホームページに接続したときにその情報が参照されます。

- Cookieを有効にすることで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Cookieの有効/無効を設定する

Cookieの記録を有効にするかどうかを設定できます。

1 **待受画面で[iモードキー]▶[フルブラウザ]▶[フルブラウザ設定]▶[Cookie設定]**

2 **有効/無効を選択**

有効	[有効] ● [無効]から[有効]に切り替える場合は、端末暗証番号の入力が必要となる場合があります。
有効(毎回確認)	[有効(毎回確認)]→[送信時のみ]/[受信時のみ]/[送受信時] ● [無効]から[有効(毎回確認)]に切り替える場合は、端末暗証番号の入力が必要となる場合があります。
無効	[無効]

お知らせ

- Cookieを[有効]に設定したときに挿入していたFOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、Cookieが[無効]になります。
- Cookieを[無効]から[有効]または[有効(毎回確認)]に切り替えたとき、以前のCookie情報が残っていると、Cookie情報をすべて削除する確認画面が表示されることがあります。[はい]を選択してCookie情報を削除してください。

Cookieを削除する

FOMA端末に保存されているCookie情報をすべて削除します。

1 待受画面で[i]▶[フルブラウザ]▶[フルブラウザ設定]▶[Cookie削除]▶端末暗証番号を入力して◉

2 [はい]

JavaScriptの有効／無効を設定する

インターネットホームページにJavaScriptが記載されているとき、プログラムを実行させるかどうかを設定できます。

1 待受画面で[i]▶[フルブラウザ]▶[フルブラウザ設定]▶[Script設定]▶[有効]／[無効]

画像を表示しないようにする＜画像表示設定＞

フルブラウザからインターネットホームページを表示したときに画像を表示しないように設定できます。

1 待受画面で[i]▶[フルブラウザ]▶[フルブラウザ設定]▶[画像表示設定]▶[OFF]

- フルブラウザ画面で[📷]を押し[表示／設定]→[画像表示設定]を選択しても操作できます。

表示モードを設定する＜表示モード設定＞

フルブラウザでの表示モードを設定します。

ケータイモード	FOMA端末のディスプレイの横幅に合わせて縮小表示します。文字サイズを設定できます。
PCモード	パソコン用の画面サイズで表示します。表示倍率を設定できます。

1 待受画面で[i]▶[フルブラウザ]▶[フルブラウザ設定]▶[表示モード設定]

2 表示モードを選ぶ

ケータイモード	[ケータイモード]→[大きい文字]／[標準]／[小さい文字]／[最小]
PCモード	[PCモード]→[250%]／[200%]／[150%]／[100%]／[75%]／[60%]

新しいウィンドウを自動で開かないようにする＜ウィンドウオープンガード設定＞

インターネットホームページのJavaScriptに新規ウィンドウを開く操作があっても、フルブラウザがこれを実行しないように設定できます。

1 待受画面で[i]▶[フルブラウザ]▶[フルブラウザ設定]▶[ウィンドウオープンガード設定]▶[有効]

Refererについて設定する

リンクをたどりながらインターネットホームページを表示するときに、Referer（リンク元のURL情報）をリンク先のサーバに送信するかどうかを設定します。

- Refererを使用することで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

1 待受画面で[i]▶[フルブラウザ]▶[フルブラウザ設定]▶[Referer設定]

2 項目を選択

項目	送信する	送信しない	毎回確認

お知らせ

- インターネットホームページによっては、Refererを送信しないと正しく表示されない場合があります。

フルブラウザ機能を利用するかどうかを設定する＜アクセス設定＞

- [利用する]を選択すると、アクセス設定が[ON]になり、フルブラウザ起動が可能になります。[利用しない]を選択すると、アクセス設定が[OFF]になり、フルブラウザ起動時にアクセス設定画面が表示されます（☞P.302）。
- 設定を変更してフルブラウザ機能を利用する場合は、アクセス設定画面内の[注意事項の詳細]を必ずお読みください。

1 待受画面で[i]▶[フルブラウザ]▶[フルブラウザ設定]▶[アクセス設定]▶[利用する]／[利用しない]

フルブラウザの設定をお買い上げ時の状態に戻す＜フルブラウザ設定リセット＞

- フルブラウザ設定リセットを行うと、ホーム登録も解除されます。

1 待受画面で[i]▶[フルブラウザ]▶[フルブラウザ設定]▶[フルブラウザ設定リセット]▶端末暗証番号を入力して◉

2 [はい]

インターネットムービープレーヤーについて

インターネット上のポータル系サイトや動画専門サイトなどで提供されているパソコン向けの動画(PC動画)は、FOMA端末のインターネットムービープレーヤーで再生できます。

- インターネットムービープレーヤーはWindows Media Videoの再生に対応しています。
- 大容量データを受信する可能性があります。データ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- 再生できるPC動画の配信形式やファイル形式は次のとおりです。

形　式	配信方式	説　明
ストリーミング型	ライブ配信	PC動画がリアルタイムで配信されます。一時停止、早送り、早戻し、指定位置ジャンプはできません。
	オンデマンド配信	あらかじめサーバ上に用意されたPC動画が配信されます。

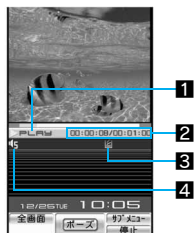
ファイル形式		Windows Mediaファイル メタファイル:WVX、WAX、ASX メディアデータ:WMV、WMA、ASF
ビデオコーデック		WMV9　MP@LL
	最大ビットレート	2Mbps
	最大フレームレート	30fps(QVGA)
	映像サイズ	48×48～352×288
オーディオコーデック		WMA Standard L3 Profile(ver.2～9)
	ビットレート	5～320kbps

- PC動画は保存できません。
- サイトによっては動作環境(ブラウザ種別、OS種別など)を確認する場合があり、FOMA端末で再生できないことがあります。

インターネットムービープレーヤー

PC動画を再生する

1 フルブラウザ画面でPC動画を選択▶[はい]▶[確認]

- データによっては、[はい]を選択するとPC動画の再生が開始される場合があります。

PC動画再生画面

1 再生状態

▶PLAY	再生中
⏸PAUSE	一時停止中
■STOP	停止中
⏩FF	早送り中
⏪REW	早戻し中

2 再生時間／総再生時間

- オンデマンド配信時のみ総再生時間が表示されます。

3 バッファリング中

(アイコン)	バッファリング中

4 音量

(アイコン)	(音量0)～(音量10)

- ビューアポジションにすると、全画面モードになります。通常ポジションに戻すと、全画面モードは解除されます。ただし、画面にサブメニューなどを表示している場合、画面モードは切り替わりません。
- 再生が完了すると、フルブラウザ画面に戻ります。

■ 再生中のボタン操作

	FOMA端末を開いているとき	ビューアポジションのとき
一時停止※1	◉(ポーズ)	▯(📷)
音量調節※2(音量0～10)	○／○ ● ボタンを押し続けると、連続して調節できます。	▯／▯
早戻し※1※2	○を1秒以上押す	▯(Eco)を1秒以上押す
早送り※1※2	○を1秒以上押す	▯を1秒以上押す
全画面表示切替	▯(全画面)	−
終了	▯(停止)→[はい]	▯(▯)→[はい]→▯(📷)

※1 ライブ配信の場合は操作できません。
※2 全画面モードで表示中は上下と左右の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持った状態で操作してください。

- ダイヤルボタン(1～9)を押すとボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプします。1を押すと再生中のPC動画の先頭に戻ります。2～8を押すとPC動画の総再生時間の約1/8ずつ先の位置にジャンプします。9を押すとPC動画の最後にジャンプします。ただし、ライブ配信の場合はジャンプしません。
- PC動画によっては、早送り、早戻し、指定位置ジャンプの操作が制限されたり、操作後の再生開始位置がずれるものがあります。

お知らせ

- 回線速度・回線状況・電波環境により、再生が途中で止まったり、画像が乱れたりする場合があります。
- 電池マークが[▮▮▮]／[▶▯]でない場合、再生開始時や再生中に、再生するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると再生されます。また、ご使用状態によっては電池マークが[▶▯]でも確認画面が表示されることがあります。
- 電波状況によって接続が中断された場合、[再び再生をしますか？]と表示されます。[途中から再生](オンデマンド配信のみ)／[最初から再生]を選択すると再生されます。
- 再生中に着信やアラームが動作したり、他の機能の操作を行ったりすると、再生が停止することがあります。通話や操作を終了すると、フルブラウザ画面に戻ります。

ライセンス(WMDRM(Windows Media digital rights management))について

- ライセンスにより保護されたPC動画を再生できます。ただし、ライセンス設定によっては、FOMA端末で再生できない場合があります。

詳細情報を表示する<情報表示>

PC動画再生画面で▯▶[情報表示]
- 確認を終わるとき：◉またはCLR

再生時の照明を設定する<バックライト点灯時間>

1. PC動画再生画面で▯▶[バックライト点灯時間]
2. [照明設定に従う]／[常にON]

全画面モードで表示する<全画面モード切替>

PC動画再生画面で▯▶[全画面モード切替]

関連操作のお知らせ

情報表示について

- 表示される項目は、オリジナルタイトル、作成者、コピーライト、著作権管理、再生時間、ファイル形式、ビデオコーデック、オーディオコーデック、表示サイズ、説明、品質です。PC動画によって、表示される項目は異なります。

データ表示／編集／管理

イメージビューア

保存した画像を表示する

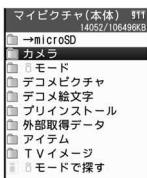
FOMA端末で撮影した静止画や、サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像、ワンセグを静止画録画した画像は、データBOXのマイピクチャに保存され、イメージビューアで再生できます。

● FOMA端末（本体）のデータBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像、GIF画像は、お預かりセンターに保存できます（☞P.321）。

1 待受画面で⦿▶［データBOX］▶［マイピクチャ］

● 静止画撮影画面（☞P.161）で📷を押して［データBOX表示］を選択しても表示できます。

● microSDメモリーカード内の静止画を確認するときは、［→microSD］を選択します。
再びFOMA端末（本体）の静止画を確認するときは、［→本体］を選択します。

マイピクチャ（本体）
14052/106496KB
→microSD
カメラ
モード
デコメピクチャ
デコメ絵文字
プリインストール
外部取得データ
アイテム
Ｔ Ｖ イメージ
モードで探す

マイピクチャの
フォルダ一覧画面

2 フォルダを選択

● 画像一覧表示を切り替えるときは、P.313「表示方法を変更する」を参照してください。

画像一覧画面

3 静止画を選択

● ✥を押すと、前後の画像を表示します。

● 静止画のサイズが「480未満×640未満」の場合、［等倍］、［拡大］、［全画面］（JPEG画像のみ）表示を切り替えることができます。

● 静止画のサイズが横サイズ「480」または縦サイズ「640」より大きい場合、［等倍］、［縮小］、［全画面］（JPEG画像のみ）表示を切り替えることができます。

画像表示画面

● 静止画のサイズが「480×640以下」または「480以下×640」の場合、表示サイズの変更はできません。

● GIFアニメーションやFlash画像、フレーム画像、スタンプ画像は、拡大表示／縮小表示の変更はできません。

● ビューアポジションにすると、全画面モードになります。

● JPEG画像の場合、▮（回転）を押すと画像を90度回転して表示できます。

● JPEG画像以外の場合、▮（全画面）を押すと画像を全画面表示できます。

お知らせ

● メモリの空き容量がなくなると、データをそれ以上保存できなくなります（☞P.352）。
撮影や静止画の編集、サイトから画像をダウンロードする前に、メモリの使用状況を確認してください。

● 画像の保存件数が多くなると、画像の表示、保存が遅くなる場合があります。

● 保存したGIFアニメーションやFlash画像は、コマ落ちなど、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。

● 現在の画像の参照先（FOMA端末（本体）またはmicroSDメモリーカード）は、イメージビューアを いったん終了しても記録され、次回イメージビューアを起動したときにも同じ参照先となります。

関連操作

全画面モードで表示する<全画面モード／ワイドモード>

1 画像表示画面で📷▶［マイピクチャ設定］

2 全画面モード（ディスプレイ内に納まるサイズ）で表示するときは［全画面モード］

● ワイドモード（余白が付かないサイズ）で表示するとき：［ワイドモード］

● 画像一覧画面でワンタッチで全画面モードにするとき：▮

● 戻るとき：CLR

ズームを利用する（JPEG画像のみ）<ズーム>

画像表示画面で📷▶［ズーム］▶📷

● 他の部分を表示するとき：✥

● 元の表示に戻すとき：⦿

● 拡大した静止画表示を縮小（ズームダウン）するとき：▮

ライトアップする<ライトアップ>

画像表示画面で📷▶［マイピクチャ設定］▶［ライトアップ］

● または#を１秒以上押す

● 消すとき：同じ操作をする、または他の画像を表示する

再生時の照明を設定する<バックライト点灯時間>

1 マイピクチャのフォルダ一覧画面で📷▶［バックライト点灯時間］

2 ［照明設定に従う］／［常にON］

位置情報を付加／利用する<位置情報>

画像一覧画面または画像表示画面で📷▶［位置情報］

● 位置情報については、P.284を参照してください。

関連操作のお知らせ

ズームについて

● ［プリインストール］フォルダ内の画像は、JPEG画像でもズームを利用できません。

照明について

● バックライト点灯時間を［照明設定に従う］に設定しているときは、照明時間設定で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。

● バックライト点灯時間を［常にON］に設定しているときは、Flash画像やGIFアニメーションの再生時、画像の表示を終了するまで照明時間設定で設定した時間が経過してもバックライトは消灯しません。

関連操作

関連操作のお知らせ

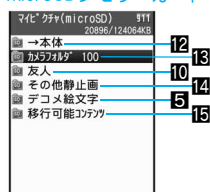
- ライトアップ時は、明るさ調整の設定にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

マイピクチャのフォルダ一覧画面／画像一覧画面の見かた

マイピクチャのフォルダ一覧画面の見かた

microSDメモリーカードを挿入しているとき、マイピクチャフォルダ一覧画面で[→microSD]を選択するか、📷を押して[本体⇔microSD切替]を選択すると、microSDメモリーカード内のフォルダが表示されます（☞P.338）。

FOMA端末（本体）

マイピクチャ（本体） 14052/106496KB
→microSD ❶
カメラ ❷
iモード ❸
デコメピクチャ ❹
デコメ絵文字 ❺
プリインストール ❻
外部取得データ ❼
アイテム ❽
TVイメージ ❾
友人 ❿
iモードで探す ⓫

microSDメモリーカード

❶ microSDメモリーカードのフォルダ一覧画面を表示
❷ FOMA端末で撮影した静止画フォルダ
❸ サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールで入手した静止画フォルダ
❹ デコメール画像用フォルダ
- あらかじめデコメール画像が内蔵されています。
- サイトやインターネットホームページ、メールから入手したデコメール画像を保存します。

❺ デコメ絵文字用フォルダ
- あらかじめデコメ絵文字が内蔵されています。
- 画像サイズが20×20ドットでファイル制限なしのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションが保存されます。

❻ あらかじめFOMA端末（本体）に内蔵されている静止画用フォルダ
❼ バーコードリーダーやmicroSDメモリーカード、赤外線通信、ｉＣ通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）、IrSS™通信を利用して入手した画像用フォルダ
❽ サイトやインターネットホームページから入手したフレームやスタンプの画像用フォルダ
❾ ワンセグを静止画録画した画像用フォルダ
❿ お客様が作成できるフォルダ（☞P.344、P.347）
⓫ ｉモードに接続
⓬ FOMA端末（本体）のフォルダ一覧画面を表示
⓭ FOMA端末で撮影した静止画や、DCF準拠のJPEG、GIFアニメーション以外のGIF画像フォルダ。静止画撮影やFOMA端末（本体）から静止画をコピーするとカメラフォルダ100が自動的に作成され、ファイル数が400件になると、カメラフォルダXXX（「XXX」は100～999の３桁の半角数字）という名前のフォルダが自動的に作成されます。
⓮ FOMA端末（本体）からコピーしたGIFアニメーションやDCFに準拠していないJPEG画像、Flash画像用フォルダ
⓯ サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されている画像用フォルダ

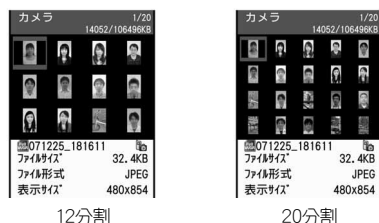
画像一覧画面の見かた

表示方法は次の４種類から選ぶことができます。

12分割

20分割

５分割／詳細

カメラ 1/20
14052/106496KB
071225_181611
071225_181418
071225_173920
071225_173539
071225_171232
071225_170923
071225_165600
071225_163741
071225_162731
071225_162323
071225_161714

リスト表示

お知らせ

- 静止画のタイトル名は、最大全角25文字（半角50文字）まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角８文字（半角16文字）です。全角８文字（半角16文字）を超える場合は、全角７文字（半角14文字）まで表示され、以降は「…」の表示となります。
- ５分割／詳細表示中は、Ⓓを押すと次のページ、Ⓤを押すと前のページが表示されます。
- リスト表示中は、Ⓡを押すと次のページ、Ⓛを押すと前のページが表示されます。

表示方法を変更する<表示切替>

1 **待受画面で◉▶[データBOX]▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶📷▶[マイピクチャ設定]**

2 **[表示切替]▶表示方法を選択**

表示方法	12分割	５分割／詳細
	20分割	リスト表示

データ表示／編集／管理

静止画の種類とマークについて

静止画の種類

JPEG					
76×76	アイコン：152×152	sQCIF：128×96	QCIF：176×144	QVGA：240×320	CIF：352×288
MENU ICON		S QCIF	QCIF	QVGA	CIF

JPEG				
VGA：480×640	待受：480×854	UXGA：1200×1600	フルHD：1080×1920	3M：1536×2048
VGA	Full WVGA	UXGA	Full HD	3M

JPEG		GIF画像 GIFアニメーション	Flash画像	ワンセグ
パノラマ：1280×320	その他			
PANO RAMA	JPG	GIF		

マークの種類

マーク	説明
	FOMAカード動作制限機能が設定された静止画
	メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されている静止画
	フレーム画像、またはスタンプ画像
	ｉモードなどでダウンロードした静止画（フレーム画像、またはスタンプ画像以外）
	バーコードリーダーやmicroSDメモリーカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）、IrSS™通信を利用して取得した静止画（フレーム画像、またはスタンプ画像以外）
	カメラ撮影した静止画
	テレビ電話中に撮影した静止画メモ
	電子書籍などで保存した静止画
	PDF対応ビューアの表示画面を切り出して保存した静止画
	位置情報が付加されている静止画
	ワンセグで静止画録画した画像
JPG GIF	画像サイズが該当しない場合

- 画像サイズは［情報表示］の表示サイズで確認することができます（☞P.349）。
- FOMA端末で撮影できる撮影サイズ、撮影枚数などについては、P.158を参照してください。

Flash画像を再生する

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたFlash画像は、データBOXのマイピクチャの［ｉモード］フォルダに保存され、再生できます。

1 待受画面で● ▶［データBOX］▶［マイピクチャ］▶ フォルダを選択 ▶ Flash画像を選択

- 画像一覧画面でFlash画像には、［ ］が表示されます。
- 再生を始めからやり直すときは、●を押して再生を停止させたあと、を押して［リトライ］を選択します。

お知らせ

- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。

再生時の照明を設定する<バックライト点灯時間>

1 Flash画像の停止（一時停止）中に ▶［バックライト点灯時間］

2 ［照明設定に従う］／［常にON］

再生時の音量を調節する<音量設定>

待受画面で● ▶［データBOX］▶［マイピクチャ］▶ フォルダを選択 ▶ ▶［マイピクチャ設定］▶［音量設定］▶ ／ ▶ ●

スライドショーを見る<スライドショー>

指定したフォルダ内の、再生可能なすべての画像を、連続表示できます。

1 待受画面で● ▶［データBOX］▶［マイピクチャ］▶ フォルダを選んで ▶［スライドショー］▶［スライドショー開始］

- 再生を中止するときは、CLR、、またはMULTIを押します。また、ビューアポジションにしてもスライドショーが中止されます。

スライドショーの再生間隔や効果を変更する

マイピクチャフォルダ内のスライドショー動作時の再生間隔（スピード）や効果を設定できます。

1 待受画面で● ▶［データBOX］▶［マイピクチャ］▶ フォルダを選んで ▶［スライドショー］

データ表示／編集／管理

2 [再生間隔]▶再生間隔を選択

もっと速く	画像を表示後、すぐに次の画像を再生します。
速く	画像を約3秒間表示してから次の画像を再生します。
普通	画像を約5秒間表示してから次の画像を再生します。
ゆっくり	画像を約10秒間表示してから次の画像を再生します。

※ 再生間隔は、画像の大きさにより表示時間が異なる場合があります。

3 [効果設定]▶効果を選択

ひし形	次の画像が中から外へ、ひし形が大きくなるようにして切り替わります。
ピンウィール	次の画像が回転しながら大きくなって切り替わります。
ホイール	次の画像が中心から回転するように広がって切り替わります。
ディゾルブ	次の画像が細かい粒子状に浮かび上がって切り替わります。
ストレッチ	次の画像が中心から縦方向に広がりながら切り替わります。
ランダム	効果の種類がランダムに選択されて切り替わります。
OFF	効果を設定しません。

静止画を添付してｉモードメールを送信する

データBOXのマイピクチャから静止画を選択し、ｉモードメールに添付して送信できます。

- 送信できる静止画のファイルサイズは、最大2Mバイトです。
- 送信できる静止画は、ｉモードメールに添付されてきた静止画、FOMA端末で撮影した静止画、サイトやインターネットホームページからダウンロードした静止画のうちメール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されていないものです。
- ファイル制限されている静止画でも、FOMA端末で撮影した静止画やmicroSDメモリーカードで取得した静止画は送信できます。

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶静止画を選んで✉(メール)

- 「QVGA:240×320」サイズはｉモード端末に送信するのに適したサイズです。

2 ｉモードメールを作成し、送信する

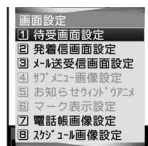
- 詳しくは、P.208の操作2～4を参照してください。

画像を待受画面などに設定する<画面設定>

データBOXのマイピクチャに保存されている静止画を、待受画面や電話発着信、メール送受信画面、マーク表示などに設定できます。

- フレームやスタンプ、ワンセグで静止画録画した画像は画面設定できません。
- Flash画像は、待受画面、発着信画面、メール送受信画面に設定できます。
- 一部のJPEG画像とGIFアニメーション、GIF画像は、お知らせウィンドウアニメに設定できません。

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶静止画を選んで📷▶[画面設定]

- 画像表示画面(☞P.312の操作3)や、Flash画像の停止中に📷を押して[画面設定]を選択しても表示できます。

2 画面設定の種類を選択

- 待受画面に設定するときは、[はい]を選択します。
- 画面の種類によっては、さらに項目を選びます。

静止画を高速赤外線通信で送信する(IrSS™機能)

データBOXのマイピクチャのJPEG画像を、高速赤外線通信を利用してIrSS™機能対応機器に送信できます。

- microSDメモリーカード内のJPEG画像も直接送信できます。
- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画は送信できません。
- IrSS™機能とは、IrSimple™1.0規格準拠の片方向通信機能(Home Appliance Profile)です。
- IrSS™機能は、片方向通信のため、受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、受信側が受け取れない場合でも送信側は正常に終了します。

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶静止画を選んで📖

2 受信側のFOMA端末を受信待ち状態にする

3 [はい]

- 通信を中止するときは、📷を押します。
- 送信が終了すると、受信側の端末に保存されなかった場合でも[送信終了しました]と表示されます。

画像編集

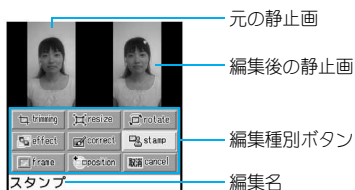
静止画を編集する(スピーディラボ)

画像編集では、編集前と編集後の静止画を見比べながら、連続して編集できます。

- 「待受:480×854」より大きいサイズの静止画は、画像切り出し・サイズ変更・画像回転以外の編集はできません。また、「64×64」より小さいサイズの静止画は、編集できません。
- サイトやインターネットホームページからのダウンロードや、microSDメモリーカードや赤外線通信、ドコモケータイdatalinkを利用して取り込んだ静止画でも編集できますが、画像や画像サイズによっては編集できない場合があります。
- 静止画にフレームやマーカースタンプを貼り付けるなどの画像編集をくり返し行う場合、保存してから再び編集を行うと、画質が劣化することがあります。
- 画像を編集することによって、データの容量が増減する場合があります。
- 編集後の画像をｉモードメールに添付して送信できます(☞P.317)。
- Flash画像やGIFアニメーションは編集できません。

編集画面を表示する<画像編集>

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶静止画を選んで📷▶[データ編集]▶[画像編集]

- 編集画面が表示されます。
- 画像表示画面(☞P.312の操作3)で📷を押し、[データ編集]→[画像編集]を選択しても表示できます。
- カメラ撮影後の静止画プレビュー画面(☞P.163の操作3)で📷を押して[画像編集]を選択しても表示できます。

編集画面

編集種別ボタンの見かた

編集種別ボタンを使うと、直接編集メニューを呼び出すことができます。

trimming	resize	rotate
画像切り出し(☞P.316)	サイズ変更(☞P.317)	画像回転(☞P.318)
effect	correct	stamp
エフェクト(☞P.318)	画像補正(☞P.318)	スタンプ(☞P.319)
frame	position	cancel
フレーム(☞P.320)	顔検出位置修正(☞P.320)	元に戻す(☞P.316)

※ 編集種別ボタンは機能や画面によって異なります。

編集画面でのボタン操作

編集種別の選択方法には、次の3通りの方法があります。

- 📷を押し、編集種別を選択する。
- ✥で編集種別ボタンを選択する。
- ダイヤルボタン(1～9)を押して選択する。
  編集種別ボタンの並びは、ダイヤルボタンの並びに対応しています。
  - ■ 画像編集後、続けて編集の種類を選択すると、同じ静止画を連続で編集できます。
  - ■ 編集名が選択できない場合は、操作できません。

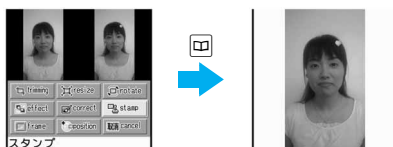
直前の操作を取り消す<元に戻す>

1 📷▶[元に戻す]▶[はい]

- 直前に編集した静止画が編集前に戻ります。
- 取り消しは1回のみ可能です。続けて取り消し操作を行うと、静止画が未編集状態に戻ります。
- 何も編集していないときは操作できません。

1画面で表示する

編集した静止画を1画面で表示できます。編集を開始する前には、元の画像を1画面で表示します。

1 📖(画像確認)

お知らせ

- 編集した静止画は圧縮して保存し直されるため、静止画を再び表示したときに、編集中の静止画と異なって見える場合があります。

静止画のサイズを修正する<画像切り出し>

アイコン画像設定用や待受画面設定用など、目的や用途に応じて静止画のサイズを修正したり、切り出したりできます。

修正前の静止画サイズ	修正可能な静止画サイズ
アイコン:152×152 sQCIF:128×96	アイコン:152×152、sQCIF:128×96
QCIF:176×144	アイコン:152×152、sQCIF:128×96、QCIF:176×144
QVGA:240×320	アイコン:152×152、sQCIF:128×96、QCIF:176×144、QVGA:240×320
CIF:352×288	アイコン:152×152、sQCIF:128×96、QCIF:176×144、QVGA:240×320、CIF:352×288
VGA:480×640 UXGA:1200×1600 フルHD:1080×1920	アイコン:152×152、sQCIF:128×96、QCIF:176×144、QVGA:240×320、CIF:352×288、VGA:480×640、待受:480×854

修正前の静止画サイズ	修正可能な静止画サイズ
3M：1536×2048 パノラマ：1280×320	アイコン：152×152、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、QVGA：240×320、CIF：352×288、VGA：480×640、待受：480×854、1.2M：1280×960
待受：480×854	アイコン：152×152、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、QVGA：240×320、CIF：352×288、VGA：480×640、待受：480×854、アイコン（9分割）

1 編集画面（☞P.316）で📷▶［画像切り出し］▶画像サイズを選択

- 元の静止画サイズによっては、修正できないサイズもあります。修正できないサイズは、選択できません。
- 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りない場合は、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。
- 「sQCIF：128×96」の画像を編集（90度回転）すると、「sQCIF：128×96」に切り出すことができません。また、「待受：480×854」の画像を編集（90度回転）すると、「アイコン（9分割）」に切り出すことができません。

2 ◯で切り出し部分を指定して◉

- 📷を押して拡大したり、iを押して縮小してから◯で切り出し部分を指定できます。「アイコン（9分割）」のときは拡大・縮小できません。

3 静止画を保存する

保存する	i→［はい］→［OK］
タイトルを変更して保存する	i→［はい］→［タイトル編集］→タイトルを編集して◉→［OK］ ● 最大全角25文字（半角50文字）まで入力できます。
フォルダを変更して保存する	i→［はい］→［フォルダ変更］→フォルダを選んで📷→［OK］
iモードメールに添付して作成する	i→［はい］→［メール作成］→iモードメール作成・送信 ● 静止画は自動的に保存されます。 ● 詳しくは、P.208の操作2～4を参照してください。
保存せずに別の編集をする	📷→編集種別を選択
保存後に続けて編集する	✉→［OK］→📷→編集種別を選択

静止画のサイズを変更する<サイズ変更>

デコメール用や待受画面設定用など、目的や用途に応じて静止画のサイズを変更できます。

- サイズ変更しても縦横比は変更されません。縦横比が異なる画像をアイコンやテレビ電話代替画像に使用する場合は画像切り出しを利用してください。

変更前の静止画サイズ	変更可能な静止画サイズ
アイコン：152×152	sQCIF：128×96、QCIF：176×144、QVGA：240×320、CIF：352×288、VGA：480×640、待受：480×854、1.2M：1280×960
sQCIF：128×96	アイコン：152×152、QCIF：176×144、QVGA：240×320、CIF：352×288、VGA：480×640、待受：480×854、1.2M：1280×960、デコメール用※
QCIF：176×144	アイコン：152×152、sQCIF：128×96、QVGA：240×320、CIF：352×288、VGA：480×640、待受：480×854、1.2M：1280×960、デコメール用※
QVGA：240×320	アイコン：152×152、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、CIF：352×288、VGA：480×640、待受：480×854、1.2M：1280×960、デコメール用※
CIF：352×288	アイコン：152×152、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、QVGA：240×320、VGA：480×640、待受：480×854、1.2M：1280×960、デコメール用※
VGA：480×640	アイコン：152×152、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、QVGA：240×320、CIF：352×288、1.2M：1280×960、デコメール用※
待受：480×854	アイコン：152×152、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、QVGA：240×320、CIF：352×288、VGA：480×640、1.2M：1280×960、デコメール用※
UXGA：1200×1600 フルHD：1080×1920 3M：1536×2048	アイコン：152×152、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、QVGA：240×320、CIF：352×288、VGA：480×640、待受：480×854、1.2M：1280×960、デコメール用※
パノラマ：1280×320	アイコン：152×152、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、QVGA：240×320、CIF：352×288、VGA：480×640、待受：480×854、デコメール用※

※ ファイルサイズは約12Kバイト（ファイルサイズ（映像部）は9Kバイト以下）に圧縮されます。また、「QVGA：240×320」サイズより大きい静止画は「QVGA：240×320」サイズ以下に縮小されます。ただし、画像サイズが、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「QVGA：240×320」で、ファイルサイズ（映像部）が9Kバイト以下の場合は、デコメール用にサイズ変更はできません。

- microSDメモリーカードに保存されている静止画を編集する場合は、この表に従わないこともあります。

データ表示／編集／管理

次ページへ続く▶▶

1 編集画面(☞P.316)で[📷]▶[サイズ変更]▶画像サイズを選択

- 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りない場合は、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。

2 静止画を保存する

- 保存については、P.317「静止画のサイズを修正する」の操作3を参照してください。

静止画を回転する<画像回転>

静止画を左右に90度ずつ回転したり、上下、左右に反転できます。

1 編集画面(☞P.316)で[📷]▶[画像回転]▶回転を選択

回転	右回転(90度)	上下反転
	左回転(90度)	左右反転

- 画像サイズが「1280×960」より大きい場合、画像が縮小されて回転します。確認画面が表示されたら[はい]を選択します。

2 静止画を保存する

- 保存については、P.317「静止画のサイズを修正する」の操作3を参照してください。

お知らせ

- 画像切り出しやサイズ変更した静止画は回転できますが、画質が劣化することがあります。
  サイズ変更した静止画によっては、撮影サイズ(☞P.157)以外のサイズに変更される場合があります。この場合、回転などの編集ができません。
- 静止画を右回転または左回転すると、「アイコン:152×152」以外は縦横比が変わります。
- 画像によっては、保存先フォルダを指定できない場合があります。

いろいろな効果をかける<画像エフェクト>

静止画の色合いやタッチを変えることができます。
- 静止画によって効果に差があります。

1 編集画面(☞P.316)で[📷]▶[エフェクト]

2 [画像エフェクト]▶エフェクトを選択

エフェクト	モノクロ	波紋
	セピア	万華鏡(大)
	きらきら	万華鏡(小)
	色えんぴつ	魚眼
	円ソフトフレーム	

3 静止画を保存する

- 保存については、P.317「静止画のサイズを修正する」の操作3を参照してください。

顔を装飾する<フェイスエフェクト>

人物の顔の静止画に喜怒哀楽の表情の効果を付けることができます。
- フェイスエフェクトを使っての画像編集、または編集後の静止画をｉモードメールで送信したり、待受画面に設定する場合は、人格権および肖像権を尊重し、他の方の中傷にならないようにご配慮ください。
- フェイスエフェクトは、顔の輪郭情報を自動抽出し、その情報をもとにエフェクトをかけます。そのため、静止画内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。特に、次の静止画の場合はご注意ください。
  ピントが合っていない、首を傾けている、暗い、目が髪で隠れている、口が開いている、メガネをかけている、ヒゲを生やしているなど。
- フェイスエフェクトには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。

1 編集画面(☞P.316)で[📷]▶[エフェクト]

2 [フェイスエフェクト]▶エフェクトを選択

エフェクト	ほっそり	シワ隠し
	ふっくら	色白
	目ぱっちり	くしゃ顔
	微笑む	左右対称顔(右)
	怒る	左右対称顔(左)
	悲しむ	

- 顔の輪郭情報が正しく自動抽出できないときは、[📷]を押し[元に戻す]→[はい]を選択すると、編集前の画像に戻ります。[📷]を押して[顔検出位置修正]を選択し、輪郭情報を手動で設定してください。詳しくは、P.320「各部の輪郭情報を手動で設定する」を参照してください。

3 静止画を保存する

- 保存については、P.317「静止画のサイズを修正する」の操作3を参照してください。

静止画を補正する<画像補正>

静止画にシャープネスやソフトなどの補正をかけることができます。
- 色の変化が少ないものなど、静止画によっては効果が現れにくいものもあります。

1 編集画面(☞P.316)で[📷]▶[画像補正]▶補正を選択

シャープネス	エッジを強調する
ソフト	エッジをぼかす
感度アップ	明るさ、およびコントラストをアップする
鮮やか	色彩度をアップする

2 静止画を保存する

- 保存については、P.317「静止画のサイズを修正する」の操作3を参照してください。

画像スタンプを貼り付ける<画像スタンプ>

静止画に星や花、キスマークなど、あらかじめ登録されている画像スタンプやダウンロードした画像スタンプを貼り付けできます。

- 画像切り出しやサイズ変更した静止画に画像スタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

1 編集画面(☞P.316)で📷 ▶[スタンプ] ▶[画像スタンプ] ▶フォルダを選択 ▶スタンプを選んで▣(決定)

- スタンプを確認するときは、画像スタンプを選択します。CLRを押すと元の画面に戻ります。
- ✥を押すと、画像スタンプの貼り付け位置を調整できます。
- 画像スタンプを選び直すときは、CLRを押します。選んでいたスタンプは削除され、編集画面に戻ります。

2 ◉

- 続けて同じ画像スタンプを貼り付けるときは、貼り付け位置を調整して◉を押します。

3 ▣(完了) ▶静止画を保存する

- 保存については、P.317「静止画のサイズを修正する」の操作3を参照してください。

顔スタンプを貼り付ける<フェイススタンプ>

顔の各部に涙やサングラス、うずまきほっぺなど、装飾用の静止画を貼り付けることができます。

- フェイススタンプを使っての画像編集、または編集後の画像をｉモードメールで送信したり、待受画面に設定する場合は、人格権および肖像権を尊重し、他の方の中傷にならないようにご配慮ください。
- フェイススタンプには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- フェイススタンプは、顔の輪郭情報を自動抽出し、その情報をもとにエフェクトをかけます。そのため、静止画内の顔の位置情報や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。特に、次の静止画の場合はご注意ください。
  ピントが合っていない、首を傾けている、暗い、目が髪で隠れている、口が開いている、メガネをかけている、ヒゲを生やしているなど。
- 画像切り出しやサイズ変更した静止画にフェイススタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

1 編集画面(☞P.316)で📷 ▶[スタンプ]

2 [フェイススタンプ] ▶スタンプを選択

スタンプ		
	怒り	サングラス
	涙	真面目メガネ
	うずまきほっぺ	モザイク(目)
	きらきら目	モザイク(顔)

- 顔の輪郭情報が正しく自動抽出できないときは、📷を押し[元に戻す]→[はい]を選択すると、編集前の画像に戻ります。📷を押して[顔検出位置修正]を選択し、輪郭情報を手動で設定してください。詳しくは、P.320「各部の輪郭情報を手動で設定する」を参照してください。

3 静止画を保存する

- 保存については、P.317「静止画のサイズを修正する」の操作3を参照してください。

文字スタンプを貼り付ける<文字スタンプ>

静止画に入力した文字や日付を貼り付けできます。

- 画像切り出しやサイズ変更した静止画に文字スタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

1 編集画面(☞P.316)で📷 ▶[スタンプ]

2 [文字スタンプ] ▶スタンプを選択

フリーワード	[フリーワード]→文字を入力して◉ ● 全角11文字(半角22文字)まで入力できます。文字が画面の幅を超える場合は、途中まで入力されます。改行はできません。
日付	[日付]

- ✥を押すと、文字の貼り付け位置を調節できます。
- 文字サイズを変更するときは、📧(▼サイズ)/📖(▲サイズ)を押します。文字サイズは、40ドット⇔48ドット⇔60ドット⇔80ドット(縦倍角)⇔24ドット⇔32ドット⇔40ドットに変更されます。

3 📷 ▶文字色を選択

文字色			
	オレンジ	レッド	グリーン
	ブラック	イエロー	ブルー
	ホワイト		

4 ◉ ▶静止画を保存する

- 保存については、P.317「静止画のサイズを修正する」の操作3を参照してください。

フレームを重ねる<フレーム>

- FOMA端末にはあらかじめ「QCIF：176×144」、「待受：480×854」、「CIF：352×288」用のフレームが登録されています。

1 **編集画面（☞P.316）で ▶［フレーム］▶フォルダを選択▶フレームを選んで（決定）**
- フレームを確認するときは、フレームを選択します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

2 **静止画を保存する**
- 保存については、P.317「静止画のサイズを修正する」の操作3を参照してください。

お知らせ
- 画像切り出しやサイズ変更した静止画にフレームを付けると、画質が劣化することがあります。

各部の輪郭情報を手動で設定する<顔検出位置修正>

フェイスエフェクトまたはフェイススタンプで利用する顔の各部の輪郭情報を、顔の輪郭、画面上の右の目の輪郭、画面上の左の目の輪郭、口の輪郭の順番に手動で設定できます。
- [+]カーソルは画像エリア内のみで移動します。
- 顔の輪郭は赤色、画面上の右の目の輪郭は青色、画面上の左の目の輪郭は緑色、口の輪郭は黄色の枠で示されます。
- 輪郭情報は、プチエステ（☞P.320）でも利用されます。

1 **編集画面（☞P.316）で ▶［顔検出位置修正］▶顔の輪郭を指定する**

1. で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせ、を押す。

2. で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせ、を押す。

2 **画面上の右の目の輪郭を指定する**
1. で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせ、を押す。
2. で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせ、を押す。

3 **画面上の左の目の輪郭を指定する**
1. で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせ、を押す。
2. で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせ、を押す。

4 **口の輪郭を指定する**
1. で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせ、を押す。
2. で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせる。

5 **（完了）▶静止画を保存する**
- 保存については、P.317「静止画のサイズを修正する」の操作3を参照してください。

お知らせ
- を押し続けると[+]カーソルを連続して移動させることができます。
- 輪郭を指定中にCLRを押すと、1つ前の操作に戻ります。
- 設定した顔の輪郭情報は、編集した画像を保存したときに、保存されます。画像を保存しないと、輪郭情報の設定は元に戻ります。次回画像編集を行うときは、この輪郭情報をもとに画像編集が行われます。

人物の顔をメークアップする<プチエステ>

人物の顔の静止画に、美白やナチュラルのメークアップ効果をかけることができます。
- 静止画によって効果に差があります。

1 **待受画面で ▶［データBOX］▶［マイピクチャ］▶フォルダを選択▶静止画を選んで ▶［データ編集］▶［プチエステ］**

2 **▶効果を選択**

美白	肌を白く美しくします。
ナチュラル	肌を自然に、健康的にします。
元に戻す	直前の操作を取り消します。

3 **静止画を保存する**
- 保存については、P.317「静止画のサイズを修正する」の操作3を参照してください。

画像をお預かりセンターに保存する <お預かりセンターに保存>

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、100Kバイト以下の画像を保存できます。
- 選択保存するときは、最大10件まで選択できます。
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 保存した画像の復元などの利用方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

1 画像一覧画面（☞P.312）で、画像を選んで📷▶［お預かりセンターに保存］

2 画像を保存する

1件保存する	［1件保存］→［はい］→端末暗証番号を入力して⦿
複数のファイルをまとめて保存する	［選択保存］→画像を選択（くり返し可）→📷→［はい］→端末暗証番号を入力して⦿

お知らせ

- FOMA端末外への出力が禁止されている画像は保存できません。
- microSDメモリーカード内の画像は直接利用できません。あらかじめFOMA端末（本体）マイピクチャの［外部取得データ］フォルダにコピーしてご利用ください。
- お預かりセンターへ保存したときの通信履歴は、通信履歴表示で確認できます。

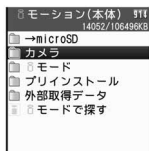
ｉモーションプレーヤー

動画／ｉモーションを再生する

FOMA端末で撮影した動画、サイトやインターネットホームページから取得したｉモーションは、データBOXのｉモーションに保存され、ｉモーションプレーヤーで再生できます。

- 動画／ｉモーションにテロップが付いていても、テロップは表示されません。ただし、動画／ｉモーションの再生時に、再生状態のマーク（☞P.322）で、テロップが付いているかどうかを確認できます。

1 待受画面で⦿▶［データBOX］▶［ｉモーション］

- 動画撮影画面（☞P.161）で📷を押して［データBOX表示］を選択しても表示できます。
- microSDメモリーカード内の動画／ｉモーションを確認するときは、［→microSD］を選択します。再びFOMA端末（本体）の動画／ｉモーションを確認するときは、［→本体］を選択します。

ｉモーションのフォルダ一覧画面

2 フォルダを選択

- 映像一覧表示を切り替えるときは、P.324「表示方法を変更する」を参照してください。

映像一覧画面

3 動画／ｉモーションを選択

動画再生画面

- ダウンロードの途中で保存したｉモーションを選んだ場合、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。［はい］選択するとダウンロードできます。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合、画面には固定のアニメーションが表示されます。
- ビューアポジションにすると、全画面モードになります。

■ 再生中のボタン操作

	FOMA端末を開いているとき	ビューアポジションのとき
一時停止	⦿（ポーズ） ● もう一度⦿を押すと、続きを再生します。	📷（📷） ● もう一度📷（📷）を押すと、続きを再生します。
停止	📖（停止）	－
音量調節（音量0～10）※1	◯／◯	◯／◯
早送り※1※2	◯を1秒以上押す	▼を1秒以上押す
早戻し※1※2	◯を1秒以上押す	🔘（Eco）を1秒以上押す
次の動画／ｉモーションを再生※1※3	◯	▼
前の動画／ｉモーションを再生※1※3	◯	🔘（Eco）
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ※2※4	1～9	－

※1 全画面モードで表示中は上下と左右の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持った状態で操作してください。

※2 データに制限がある場合は、操作ができなかったり、再生画面の総再生時間が正しく表示されないことがあります。

データ表示／編集／管理

次ページへ続く▶▶

※3　一時停止中は、◯を押すとコマ送り、◯を押すとコマ戻しになります。ただし、動画／ｉモーションによっては操作できないことがあります。
※4　1を押すと再生中の動画／ｉモーションの先頭に戻ります。2～9を押すと録画時間の約1/8ずつ先の位置にジャンプします。ただし、録画時間が短い場合は、ジャンプしないときがあります。

- 再生可能な動画／ｉモーションの種類は次のとおりです。動画／ｉモーションの種類は［情報表示］のファイル形式で確認することができます（☞P.349）。

ファイル形式		符号化方式
MP4（拡張子：「.mp4」「.3gp」「.m4a」）	映像	MPEG-4、H.263、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
ASF（拡張子：「.asf」）	映像	MPEG-4
	音声	AMR、G.726

- 再生可能な動画／ｉモーションの画像サイズは、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「QQVGA：160×120」、「hQVGA：240×176」、「QVGA：320×240」、「WQVGA：400×240」、「VGA：640×480」などの「VGA：640×480」以下の画像サイズです。
- ファイル形式がASFの動画／ｉモーションは、FOMA端末（本体）への保存、コピーはできません。
- 符号化方式がH.263の動画は、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」が再生可能です。
- 符号化方式がH.264の動画は、Baseline Profileのみ再生可能です。

再生状態のマークの見かた

再生状態	音量	0～10
	リピート再生	
	画像サイズ	sQCIF QCIF QQVGA hQVGA QVGA WQVGA VGA
	バッファリング中表示（標準タイプ・ストリーミングタイプ）	
	ダウンロード未完了	
再生種別	音声あり	
	映像あり	
	テロップあり	
	音声再生不可	
	映像再生不可	

お知らせ

- 再生中にサブメニューを選ぶと再生が一時停止されます。再生を再開する場合、再生中のデータや選択したサブメニューによっては少し戻った位置から再生を開始することがあります。再生中にアラーム動作やマルチアシスタントを使って他の機能を起動すると再生は中止され動画／ｉモーションの停止画面に戻ります。

お知らせ

- データによっては1～9を押しても指定した位置にジャンプできないデータや位置があります。また、コマ送り／コマ戻しで、一部画像を表示できない場合があります。
- 外部機器でmicroSDメモリーカードに保存した動画もFOMA端末で再生できます（☞P.481）。
- 再生中にFOMA端末を閉じても、再生は継続されます。
- 現在の動画／ｉモーションの参照先（FOMA端末（本体）またはmicroSDメモリーカード）は、ｉモーションプレーヤーをいったん終了しても記録され、次回ｉモーションプレーヤーを起動したときにも同じ参照先となります。

動画／ｉモーションを再生中に音声電話やテレビ電話がかかってくると

- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。再生は中止され、通話終了後に、動画／ｉモーションの停止画面に戻ります。FOMA端末（本体）に保存されたMP4ファイルの場合は、microSDメモリーカード側でレジューム再生を［ON］に設定しても、再生を中止したところから再生できません。

関連操作

全画面モードで表示する<全画面モード切替>
停止中（一時停止中）／再生中に📷▶［ｉモーション設定］▶［全画面モード切替］
- 再生中または映像一覧画面でワンタッチで全画面モードにするとき：i
- 戻るとき：i

起動時の画面モードを設定する<起動時画面モード設定>
1 停止中（一時停止中）／再生中に📷▶［ｉモーション設定］▶［起動時画面モード設定］
2 ［通常再生］／［全画面モード］

チャプターを選択して再生する<チャプター一覧>
1 停止中（一時停止中）／再生中に📷▶［チャプター一覧］
2 チャプターを選択

リピート再生する<リピート再生>
停止中（一時停止中）／再生中に📷▶［ｉモーション設定］▶［リピート再生］
- 通常の再生に戻すとき：同じ操作をする
- 再生を中止するとき：CLR

再生サイズを切り替える<表示サイズ切替>
1 停止中（一時停止中）／再生中に📷▶［ｉモーション設定］▶［表示サイズ切替］
2 ［標準］／［拡大］

ライトアップする<ライトアップ>
停止中（一時停止中）／再生中に#を1秒以上押す（または、📷▶［ｉモーション設定］▶［ライトアップ］）
- 消すとき：同じ操作をする

コマ送りの送り幅を設定する<送り幅指定>
1 停止中（一時停止中）／再生中に📷▶［ｉモーション設定］▶［送り幅指定］
- 映像編集画面で設定するとき：📷▶［送り幅指定］
2 ［大まか（高速）］／［細かい］

関連操作

再生時の照明を設定する<バックライト点灯時間>

1 動画／ｉモーションのフォルダ一覧画面または映像一覧画面で[MENU]▶［ｉモーション設定］▶［バックライト点灯時間］

2 ［照明設定に従う］／［常にON］

再生時の音量を調節する<音量設定>

1 動画／ｉモーションのフォルダ一覧画面または映像一覧画面で[MENU]▶［ｉモーション設定］▶［音量設定］

2 [上]／[下]▶[決定]

レジューム再生を設定する<レジューム再生設定>

1 動画／ｉモーションのフォルダ一覧画面で［→microSD］▶フォルダを選択▶映像一覧画面で[MENU]▶［ｉモーション設定］▶［レジューム再生設定］

2 ［ON］

関連操作のお知らせ

全画面モード切替について

- 全画面モードで表示中は横方向の全画面表示になり、上下と左右の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持った状態で操作してください。

起動時画面モード設定について

- 次回起動時から有効になります。

リピート再生について

- 再生回数に制限のあるデータは、リピート再生できません。
- リピート再生が開始される前の３秒間に[CLR]、[終話]以外のボタンを押すと、リピート再生は停止します。ただし、[MULTI]を１秒以上押すと再生は継続されます。また、[i]を押すと全画面モードで再生され、[メール]を押すとメール作成画面に切り替わります。
- リピート再生を終了するときは、[CLR]または[終話]を押します。

表示サイズ切替について

- 「sQCIF：128×96」、「QQVGA：160×120」、「QCIF：176×144」、「QVGA：320×240」、「WQVGA：400×240」などの「480未満×392未満」の画像サイズの場合、表示サイズを［拡大］に切り替えることができます。

照明について

- バックライト点灯時間を［照明設定に従う］に設定しているときは、照明時間設定で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
- バックライト点灯時間を［常にON］に設定しているときは、動画／ｉモーションを終了するまで照明時間設定で設定した時間が経過してもバックライトは消灯しません。
- ライトアップ時は、明るさ調整の設定にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

コマ送りの幅の設定について

- 映像のない動画は、［細かい］に設定しても無効となり、［大まか（高速）］でコマ送りされます。
- 一部、［細かい］に設定しても無効となり、［大まか（高速）］でコマ送りされる動画があります。

関連操作

関連操作のお知らせ

- 映像編集画面で、画像サイズが「hQVGA：240×176」、「WQVGA：400×240」の場合、または編集中のデータサイズが500Kバイトを超える場合、コマ送り幅は［大まか（高速）］となります。

レジューム再生について

- レジューム再生は、microSDメモリーカードに保存されている動画／ｉモーションが対象となります。ただし、［移行可能コンテンツ］フォルダ、および［マルチメディア］フォルダの動画／ｉモーションは対象となりません。
- レジューム再生を［ON］に設定すると、microSDメモリーカードに保存された動画／ｉモーションを再生中に着信などで中断した場合、再生を中止したところから再生を開始できます。
- microSDメモリーカードに、動画／ｉモーションが保存されていない場合、レジューム再生設定はできません。

ｉモーションフォルダ一覧画面／映像一覧画面の見かた

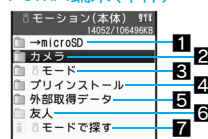
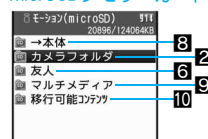
ｉモーションフォルダ一覧画面の見かた

microSDメモリーカードを挿入しているとき、ｉモーションフォルダ一覧画面で［→microSD］を選択するか、[MENU]を押して［本体⇔microSD切替］を選択すると、microSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。

FOMA端末（本体）

ｉモーション(本体) 14052/106496KB
→microSD 1
カメラ 2
ｉモード 3
プリインストール 4
外部取得データ 5
友人 6
ｉモードで探す 7

microSDメモリーカード

ｉモーション(microSD) 20896/124064KB
→本体 8
カメラフォルダ 2
友人 6
マルチメディア 9
移行可能コンテンツ 10

1 microSDメモリーカードのフォルダ一覧画面を表示
2 FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
3 サイトやインターネットホームページ、メッセージR／FやｉモードメールでGET入手した動画／ｉモーション用フォルダ
4 あらかじめFOMA端末（本体）に内蔵されている動画／ｉモーション用フォルダ
5 microSDメモリーカード、赤外線通信、ｉＣ通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で入手した動画／ｉモーション用フォルダ
6 お客様が作成できるフォルダ（☞P.344、P.347）
7 ｉモードに接続
8 FOMA端末（本体）のフォルダ一覧画面を表示

データ表示／編集／管理

次ページへ続く

9 映像・音声切替を音声のみ、保存先をmicroSDメモリーカードに設定して撮影した動画用フォルダおよびボイスレコーダーで録音した音声用フォルダ
- ■ [マルチメディア]フォルダのフォルダ名編集、フォルダ削除はできません。
- ■ [マルチメディア]フォルダには、お客様が撮影・録音したデータを最大400件まで保存できます。ファイル形式はMP4です。
- ■ [マルチメディア]フォルダには、お客様が撮影・録音したもの以外のデータも、パソコンを経由して保存することができます。ファイル形式はMP4、ASF、3GPPで、MMF0001～MMF9999までのファイル名が付きます。FOMA端末では、最大400件まで参照することができます。再生できないデータがある場合や、401件以上データが存在する場合には、データが表示されない場合があります（ファイル名を「MMFxxxx」（「xxxx」は数字）にしないと表示されません）。

10 サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されている動画／iモーションを保存することができるフォルダ（コンテンツ移行対応）
- ■ [移行可能コンテンツ]フォルダに保存する場合、データはFOMA端末（本体）からmicroSDメモリーカードに移動されます。FOMA端末（本体）にデータが必要な場合は、FOMA端末（本体）に移動してください（☞P.339）。

■ 映像一覧画面の見かた

表示方法は次の3種類から選ぶことができます。

12分割

20分割

リスト表示

- ● 12分割や20分割では、動画／iモーションの種類が次のいずれかに該当する場合は、画像の代わりに[♪]、[iм]、[?]が表示されます。
  - ■ [♪]が表示されるデータ
    - ・音声のみのデータ
    - ・画像サイズが非対応のデータ
    - ・画像ファイル形式が非対応のデータ
  - ■ [iм]が表示されるデータ
    - ・テキストのみのデータ
    - ・画像が表示できない（壊れている）可能性があるデータ
    - ・[移行可能コンテンツ]フォルダ内のFOMAカード動作制限機能が設定されているデータ
  - ■ [?]が表示されるデータ
    - ・ダウンロードの途中で保存したデータ

お知らせ

- ● 動画／iモーションのタイトル名は、最大全角18文字（半角36文字）まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角8文字（半角16文字）です。全角8文字（半角16文字）を超える場合は、全角7文字（半角14文字）まで表示され、以降は「…」の表示となります。
- ● リスト表示中は、◯を押すと次のページ、◯を押すと前のページが表示されます。

■ 表示方法を変更する<表示切替>

1 **待受画面で◉▶[データBOX]▶[iモーション]▶フォルダを選択▶📷▶[iモーション設定]**

2 **[表示切替]▶表示方法を選択**

表示方法	12分割	20分割	リスト表示

■ 動画／iモーションの種類とマークについて

動画／iモーションの種類

MP4（Mobile MP4）		ASF
再生制限なし	再生制限あり	
MP4	MP4	ASF

マークの種類

	FOMAカード動作制限機能が設定された動画／iモーション
	メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されている動画／iモーション
	iモードなどで取得した動画／iモーション
	microSDメモリーカードや赤外線通信、iC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を利用して取得した動画／iモーション
	カメラ撮影した動画／iモーション

動画を連続して再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のすべての動画／iモーションを連続して再生できます。

1 **待受画面で◉▶[データBOX]▶[iモーション]▶フォルダを選んで📷▶[連続再生]▶[連続再生開始]**

- ● 再生中に◉を押すと、一時停止します。
- ● 再生中に回を押すと、停止します。◉を押すと、停止した動画／iモーションの先頭から再生し、連続再生は継続されます。
- ● 再生回数、再生期間の制限を超えた動画／iモーションの場合、[再生できないデータをスキップしました]と表示され、次の動画／iモーションを再生します。

● ダウンロードの途中で保存した動画／ｉモーションの場合、メッセージを表示せずに次の動画／ｉモーションを再生します。残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面は表示されません。

■ 連続再生の設定をする

動画／ｉモーションを連続再生するときの設定を行います。

設　定	内　容
リピート再生設定	くり返し再生するかどうかを設定します。設定内容はすべてのフォルダに反映されます。
ダイジェスト再生設定	それぞれの動画の最長再生時間を設定します。設定内容はすべてのフォルダに反映されます。

■ リピート再生する

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［ｉモーション］▶フォルダを選んで📷▶［連続再生］▶［リピート再生設定］▶［する］

■ ダイジェスト再生する

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［ｉモーション］▶フォルダを選んで📷▶［連続再生］

2 ［ダイジェスト再生設定］▶再生時間を選択

再生時間	5秒	15秒	しない

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを送信する<ｉモーションメール>

動画／ｉモーションを、ｉモードメールに添付して送信できます。

● 送信できる動画／ｉモーションのファイルサイズは、最大2Mバイト、ファイル形式はMP4です。

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［ｉモーション］▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選んで✉（メール）

● 選択した動画／ｉモーションが添付されます。

● 500Kバイトを超える動画／ｉモーションのときは、［メール用（短）］と［メール用（長）］の選択画面が表示されます。

● ［メール用（短）］を選択すると、先頭から約500Kバイトが自動的に切り出されます。

● ［メール用（長）］を選択すると、2Mバイトを超える場合は先頭から約2Mバイトが自動的に切り出されます。500Kバイトを超え、2Mバイト以下の動画／ｉモーションはそのまま添付されます。

2 ｉモードメールを作成し、送信する

● 詳しくは、P.208の操作2～4を参照してください。

動画／ｉモーションを待受画面などに設定する<音･映像設定>

● 待受画面にGIFアニメーションやFlash画像、ｉモーションを設定しているとき、カレンダー表示に切り替えると、待受画面の画像が停止します。

● 待受画面や着信画面に設定可能な動画／ｉモーションの画像サイズについては、P.128、P.130を参照してください。

● microSDメモリーカードの［移行可能コンテンツ］フォルダ内の動画／ｉモーションは、待受画面や着信音などに設定できます。設定された動画／ｉモーションは、FOMA端末（本体）のデータBOXの［ｉモード］フォルダに移動されます。

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［ｉモーション］▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選んで📷▶［音･映像設定］

● 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）やファイル形式がASFの動画／ｉモーションは、待受画面に設定できません。

2 項目を選択

項目	待受画面	メッセージR着信音
	音声電話着信音	メッセージF着信音
	テレビ電話着信音	SMS着信音
	非通知着信音	メール受信完了画面
	メール着信音	プッシュトーク着信音

3 待受画面を選んだ場合、［はい］▶［標準］／［拡大］

● 画像サイズが「sQCIF：128×96」と「QCIF：176×144」以外のときは、拡大表示できません。

お知らせ

● ｉモーションによっては、待受画面に設定できないものがあります。

● 待受画面に設定した動画／ｉモーションの音量は、ボタン／待受ｉモーション音の音量で設定できます。

● プッシュトーク着信音に設定できる動画／ｉモーションは、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）です。

映像編集

動画を編集する（スピーディラボ）

撮影した動画を編集できます。

- FOMA SH905i以外で撮影した動画は、編集できない場合があります。
- 動画／ｉモーションにテロップが付いていても、テロップは表示されません。ただし、動画／ｉモーションの再生時に、再生状態のマーク（☞P.322）で、テロップが付いているかどうかを確認できます。

映像編集画面を表示する<映像編集>

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［ｉモーション］▶フォルダを選択▶動画を選んで📷▶［データ編集］▶［映像編集］

- 動画再生中（☞P.321の操作３）に📷を押し、［データ編集］→［映像編集］を選択しても、動画が停止して映像編集画面が表示されます。
- ◀▶を押して、コマ送り／コマ戻しできます。１秒以上押すと、早送り／早戻しします。このとき、音声は再生されません。

編集種別マーク

映像編集画面

- 1～9を押すと、指定した位置にジャンプします。動画によっては指定位置にジャンプできない場合もあります。

編集種別マークの見かた

マーク	内容
	静止画キャプチャ（☞P.327）
	映像カッター（☞P.326）
	情報表示（☞P.326）
Save	保存（☞P.326）
FINISH	終了

映像編集画面でのボタン操作

編集種別の選択方法には、次の方法があります。

- 📷を押し、編集種別を選択する。
- ◉で編集種別マークを選択する。

詳細情報を表示する<情報表示>

映像編集画面で📷▶［情報表示］

- 確認を終わるとき：◉またはCLR

動画を切り取る<映像カッター>

動画の一部を切り取り、新しい動画として保存します。

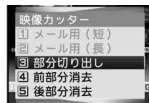
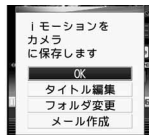
動画の始点と終点を指定して切り取る

始点と終点を指定して切り取ります。

- ３秒未満の動画は切り取りできません。

1 映像編集画面（☞P.326）で📷▶［映像カッター］▶切り取り方法を選択

- ◀▶を押してコマ送り／コマ戻しできます。１秒以上押すと、早送り／早戻しします。このとき、音声は再生されません。

- 終点を始点と同じ位置、または始点より前の位置に指定することはできません。
- 切り取る範囲を選択すると、切り出した動画のサイズ確認画面が表示されます。

始点と終点を指定して切り取る	［部分切り出し］→ⓘ（始点）→ⓘ（終点）→［確認］
始点からファイルの最後までを切り取る	［前部分消去］→ⓘ（始点）→［確認］
ファイルの最初から終点までを切り取る	［後部分消去］→ⓘ（終点）→［確認］

2 動画を保存する

編集した動画を保存する	📷→［保存］→［OK］
タイトルを変更して保存する	📷→［保存］→［タイトル編集］→タイトルを編集して◉→［OK］ ● 静止画キャプチャの場合、最大全角25文字（半角50文字）、その他の場合、最大全角18文字（半角36文字）まで入力できます。
保存するフォルダを変更して保存する	📷→［保存］→［フォルダ変更］→フォルダを選んで📷→［OK］ ● microSDメモリーカード内の動画の場合、フォルダを変更できないことがあります。
ｉモードメールに添付して送信する	📷→［保存］→［メール作成］→ｉモードメール作成・送信 ● 動画は自動的に保存されます。 ● 詳しくは、P.208の操作２～４を参照してください。
編集した動画を保存しない	📷→［終了］→［はい］
編集した動画を再生する	ⓘ

- 編集した動画のファイルサイズが500Kバイトを超えるときは、メール添付用に変換するかどうかの選択画面が表示されます。[メール用(短)]を選択すると、先頭から約500Kバイトが自動的に切り出されます。[メール用(長)]を選択すると、先頭から約2Mバイトが自動的に切り出されます。そのまま保存するときは、[何もしない]を選択します。
- 保存を実行するまでは連続して切り取りはできません。

■ 動画からメール用に切り出す

iモードメール添付用に、動画を切り出します。
- 約500Kバイト以下の動画は切り出しができません。

1 映像編集画面(☞P.326)で📷▶[映像カッター]▶切り出し方法を選択

メール用(短)	指定した位置から約500Kバイトまでを自動的に切り出します。
メール用(長)	指定した位置から約2Mバイトまでを自動的に切り出します。

- ◎を押してコマ送り/コマ戻しできます。1秒以上押すと、早送り/早戻しします。

2 切り取る始点で[i](始点)▶[確認]

3 動画を保存する
- 保存については、P.326「動画の始点と終点を指定して切り取る」の操作2を参照してください。

動画を静止画として保存する <静止画キャプチャ>

動画の一場面を、静止画として保存できます。保存した静止画はFOMA端末で撮影した静止画と同様に扱うことができます。また、iモードメールに添付して送信できます。
- 映像のないデータは、静止画キャプチャできません。

1 映像編集画面(☞P.326)で◎を押し、静止画として保存したい場面を選んで📷▶[静止画キャプチャ]

2 [OK]
- 動画の一場面が静止画として保存されます。
- 保存については、P.317「静止画のサイズを修正する」の操作3を参照してください。

ビデオプレーヤー

ビデオを再生する

FOMA端末でワンセグをビデオ録画すると、データBOXのワンセグ、またはmicroSDメモリーカードのワンセグフォルダに保存され、ビデオプレーヤーで再生できます。
- ワンセグをビデオ録画した動画は編集できません。

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[ワンセグ]
- microSDメモリーカード内のビデオファイルを確認するときは、✉(→microSD)を押します。再びFOMA端末(本体)のビデオファイルを確認するときは、✉(→本体)を押します。

ビデオファイル一覧画面

2 ビデオファイルを選択

ビデオ再生画面

- ビューアポジションにすると、全画面表示されます。
- ビデオ再生時には、再生中のビデオを録画した放送局のデータ放送が表示されます。データ放送の利用については、P.298を参照してください。
- 前回再生時に途中で終了したビデオの場合は、停止した位置から再生されます。
- ビデオ再生中は、テレビリンク一覧画面を表示できません。

お知らせ
- 他の機器などで編集(分割)されたビデオファイルを再生する場合、映像や音声が途切れることがあります。

■ 再生中のボタン操作

	通常ポジション	ビューアポジション（全画面表示）
早送り（▶▶♪※1、▶▶×1、▶▶×2、▶▶×3、▶▶×4）	● 早送りの速度を上げるとき：（くり返し） ● ［▶▶×2］で早送りするとき：を1秒以上押す	● 早送りの速度を上げるとき：（くり返し） ● ［▶▶×2］で早送りするとき：を1秒以上押す
早戻し（◀◀×1、◀◀×2、◀◀×3、◀◀×4）	● 早戻しの速度を上げるとき：（くり返し） ● ［◀◀×2］で早戻しするとき：を1秒以上押す	（Eco） ● 早戻しの速度を上げるとき：（Eco）（くり返し） ● ［◀◀×2］で早戻しするとき：（Eco）を1秒以上押す
一時停止	（ポーズ） ● もう一度を押すと、続きを再生します。	（） ● もう一度（）を押すと、続きを再生します。
停止	● 停止中に（再生）を押すと、先頭から再生します。	－
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ※2	1～9	－
音量調節（音量0～10）	／または／（Eco） ● を押し続けると、連続して音量を調節できます。	／
ミュート／解除		－
字幕設定ON／OFF	を1秒以上押す	－
サブメニュー表示		－
映像モード／データ放送モードの切替		－
ビデオプレーヤー終了	またはCLR→［はい］	（）→［はい］→（）

※1 通常再生の約1.3倍の速さで映像と音声を再生します。

※2 1を押すと再生中のビデオの先頭に戻ります。2～9を押すと録画時間の約1/9ずつ先の位置にジャンプします。ただし、録画時間が短い場合は、ジャンプしないときがあります。

お知らせ

● ビデオ一時停止中や、再生中の速度が通常もしくは［▶▶♪］のとき以外は、データ放送が表示されません。

● ビデオ再生が終了すると、データ放送も終了します。

関連操作

データ放送の表示サイズを切り替える＜表示モード切替（縦）＞

1 ビデオ再生画面で▶［表示設定］▶［表示モード切替（縦）］

2 ［映像＋データ放送］／［データ放送］

映像の表示サイズを切り替える＜表示モード切替（横）＞

1 ビデオ再生画面で▶［表示設定］▶［表示モード切替（横）］

2 ［映像＋データ放送］／［映像（標準）］／［映像（全画面）］

ビューアポジションで映像の全画面表示中にマークを表示するかどうかを設定する＜マーク表示設定（横）＞

1 ビデオ再生画面で▶［表示設定］▶［マーク表示設定（横）］

2 ［一時表示］／［常時表示］

通常ポジションで放送局・番組名を表示するかどうかを設定する＜アプリケーション領域（縦）＞

1 ビデオ再生画面で▶［表示設定］▶［アプリケーション領域（縦）］

2 ［一時表示］／［常時表示］

ビデオ再生中に字幕の表示を設定する＜字幕設定＞

1 ビデオ再生画面で▶［字幕設定］

2 ［ON］／［OFF］

ビデオプレーヤーを起動したときの字幕設定について設定する＜起動時設定＞

1 ビデオ再生画面で▶［字幕設定］▶［起動時設定］

2 ［ON］／［マナーモード連動］／［OFF］

Dolbyサウンドを設定する＜Dolbyサウンド設定＞

1 ビデオ再生画面で▶［Dolbyサウンド設定］

2 ［ジャンル連動］／［ノーマル］／［ニュース］／［スポーツ］／［ドラマ］／［バラエティ］／［ミュージック］／［映画］／［オリジナル］

● ［オリジナル］を選択したとき：［サウンドスペース］／［ナチュラルベース］／［サウンドレベルコントローラ］／［モノラル→ステレオ］を選択▶［ON］／［OFF］▶

データ放送の効果音を設定する＜効果音鳴動設定＞

ビデオ再生画面で▶［データ放送］▶［効果音鳴動設定］▶［ON］／［OFF］

接続確認画面を表示する＜確認表示設定リセット＞

ビデオ再生画面で▶［データ放送］▶［確認表示設定リセット］▶端末暗証番号を入力して▶［はい］

映像モードとデータ放送モードを切り替える＜操作切替＞

ビデオ再生画面で▶［操作切替］

操作ガイドを表示する＜操作ガイド＞

ビデオ再生画面で▶［操作ガイド］

関連操作のお知らせ

表示モード切替（縦）について

● 通常ポジションの場合に有効です。

● 設定を変更しても、ビデオプレーヤーを終了すると、［映像＋データ放送］に戻ります。

表示モード切替（横）について

● ビューアポジションの場合に有効です。

関連操作のお知らせ

マーク表示設定(横)について

- ディスプレイ上部に表示されるマーク(時計表示や電波状態表示など)を表示するかどうかを設定できます。[一時表示]に設定すると、音量などを操作するたびに約２秒間表示されます。

アプリケーション領域(縦)

- 番組名や再生時間をディスプレイに表示するかどうかを設定できます。[一時表示]に設定すると、一時停止／再生などを操作するたびに約２秒間表示されます。

字幕設定について

- ビデオプレーヤー起動時の字幕の有無については、起動時設定に従います。
- 番組によって字幕の有無は異なります。

起動時設定について

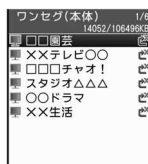
- [マナーモード連動]に設定している場合、マナーモード設定中にビデオプレーヤーを起動すると字幕が表示されます。

再生中の映像や音声について設定する ＜ワンセグ設定＞

1 ビデオ再生画面で📷▶[ワンセグ設定]▶設定項目を選択

鮮やか画質モードを設定する	[鮮やか画質モード設定]→[ノーマル]／[ダイナミック]／[映画]
ディスプレイの明るさを調整する	[明るさ調整]→[手動]→○／○→◉ ● 周囲の明るさによって自動的に調整するとき：[明るさ調整]→[自動]
主／副音声を切り替える	[主／副音声切替]→[主音声]／[副音声]／[主音声＋副音声] ● ビデオプレーヤーを終了すると、[主音声]に戻ります。
第１音声／第２音声を切り替える	[音声切替]→[第１音声]／[第２音声] ● ビデオプレーヤーを終了すると、[第１音声]に戻ります。

ビデオファイル一覧画面の見かた

表示方法は次の３種類から選ぶことができます。

12分割

20分割

リスト表示

- 12分割や20分割では、ビデオ録画時の放送電波状況などによりビデオファイルの画像が表示されない場合は、画像の代わりに[▣]が表示されます。

■ ビデオファイル一覧画面の表示方法を変更する＜表示切替＞

1 ビデオファイル一覧画面で📷▶[ワンセグデータ設定]

2 [表示切替]▶表示方法を選択

表示方法	12分割	リスト表示
	20分割	

ビデオファイルを管理する

ビデオファイルの削除や並べ替えなどができます。

■ タイトルを変更する＜タイトル編集＞

1 ビデオファイル一覧画面でビデオファイルを選んで📷▶[タイトル編集]

2 タイトルを編集して◉

- 最大全角25文字(半角50文字)まで入力できます。
- タイトルを削除するときは、タイトル編集画面でCLRを１秒以上押します。

■ ビデオを削除する＜削除＞

1 ビデオファイル一覧画面でビデオファイルを選んで📷▶[削除]

2 削除方法を選択

ビデオファイルを１件削除する	[１件削除]→[はい]
複数のビデオファイルをまとめて削除する	[選択削除]→ビデオファイルを選択(くり返し可)→📷→[はい] ● すべてを選択／解除する場合は、[i](全選択)／[i](全解除)を押します。
フォルダ内すべてのビデオファイルを削除する	[フォルダ内全件削除]→端末暗証番号を入力して◉→[はい]

詳細情報を表示する<情報表示>

● 表示される情報については、P.349を参照してください。

1 ビデオファイル一覧画面でビデオファイルを選んで[📷]▶[情報表示]

- ビデオ再生画面のときは、[📷]を押して[情報表示]を選択します。
- 確認を終わるときは、⦿または[CLR]を押します。

ビデオをmicroSDメモリーカードに移動する<microSDへ移動>

1 ビデオファイル一覧画面でビデオファイルを選んで[📷]▶[microSDへ移動]

2 移動方法を選択

1件移動する	[1件移動]
複数をまとめて移動する	[選択移動]→ビデオファイルを選択(くり返し可)→[📷] ● すべてを選択/解除する場合は、[i](全選択)/[i](全解除)を押します。
すべてを移動する	[フォルダ内全件移動]→端末暗証番号を入力して⦿

ビデオを並べ替える<ソート>

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

● ソートを実行したあと、ビデオファイル一覧画面を終了しても、その設定は継続されます。

放送日時順(新→旧)	放送した日付の新しい順
放送日時順(旧→新)	放送した日付の古い順
番組名順	番組名の50音順
チャンネル名順	チャンネル名の50音順
サイズ順(大→小)	サイズの大きい順
サイズ順(小→大)	サイズの小さい順

1 ビデオファイル一覧画面で[📷]▶[ワンセグデータ設定]▶[ソート]

2 ソート方法を選択

キャラ電プレーヤー

キャラ電とは

テレビ電話中、自分のカメラ映像の代わりにキャラクタを相手へ送信できます。さらに、キャラクタが音に反応して口を動かしたり(リップシンク対応データ)、お客様のボタン操作に従ってキャラクタの手足を上げたり、ダンスをするなど、さまざまなアクションをさせることができます。

キャラ電やアクションは、キャラ電プレーヤーでいつでも確認することが可能です。

- キャラ電はサイトやインターネットホームページからダウンロードできます(☞P.194)。
- テレビ電話やキャラ電プレーヤーでキャラクタ操作中は、ボタンを押しても音は鳴りません。

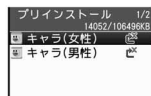
キャラ電を再生する<キャラ電プレーヤー>

データBOXのキャラ電に保存されているキャラ電を再生できます。またアクションを実行できます。

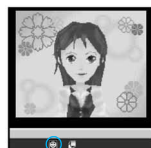
1 待受画面で⦿▶[データBOX]▶[キャラ電]

2 フォルダを選択

キャラ電一覧画面

- 次のページを表示するときは◯、前のページを表示するときは◯を押します。

3 キャラ電を選択

アクションモードマーク

- キャラ電が再生されます。
- アクションモードを切り替えるときは、[i]を押します。全体アクションモードとパーツアクションモードが交互に切り替わります。
- アクションをさせるときは、[✉]を押し、アクションを選択するか、表示されているアクションの番号([1]~[9])を押します。アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号を押してアクションをさせることもできます。
- あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについては、P.78を参照してください。

アクションモードマークの見かた

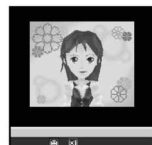
[全体]	全体アクションモード
[パーツ]	パーツアクションモード

お知らせ

キャラ電プレーヤーでキャラ電を表示中のボタン操作

[i]	[📖]	[✉]
アクションモード切替	画面サイズ切替(☞P.330)	アクション一覧(☞P.331)
[📷]	[1]~[9]	[0]
サブメニュー表示	アクション操作(☞P.331)	アクション中止(☞P.331)

画面サイズを変更する<画面サイズ切替>

キャラ電を表示する画面サイズを変更できます。

等倍

拡大

1 キャラ電再生中(☞P.330の操作3)に[📖](等倍)

- 拡大サイズに戻すときは、[📖](拡大)を押します。

関連操作

再生時の照明を設定する＜バックライト点灯時間＞

1 キャラ電再生中に📷▶［バックライト点灯時間］
- キャラ電一覧画面から設定するとき：📷▶［キャラ電表示設定］▶［バックライト点灯時間］

2 ［照明設定に従う］／［常にON］

キャラ電をテレビ電話代替画像に設定する＜テレビ電話代替画像＞

キャラ電再生中に◉▶［テレビ電話代替画像］（または、📷▶［キャラ電登録］▶［テレビ電話代替画像］）
- キャラ電一覧画面から設定するとき：キャラ電を選んで📷▶［キャラ電登録］▶［テレビ電話代替画像］

電話帳に設定する＜電話帳代替画像＞

1 キャラ電再生中に◉▶［電話帳代替画像］（または、📷▶［キャラ電登録］▶［電話帳代替画像］）
- キャラ電一覧画面から設定するとき：キャラ電を選んで📷▶［キャラ電登録］▶［電話帳代替画像］

2 ［本体新規登録］／［本体上書登録］

3 電話帳登録（☞P.102）

キャラ電を代替画像として電話をかける＜キャラ電発信＞

お好みのキャラ電を選んで代替画像としてテレビ電話をかけることができます。

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［キャラ電］▶フォルダを選択▶キャラ電を選んで📷▶［キャラ電発信］
- 再生中に発信するときは、📷を押して［キャラ電発信］を選択します。

2 入力方法を選択して、テレビ電話をかける

電話帳を利用してかける	［電話帳検索］→相手を選択→i
電話番号を直接入力してかける	［直接入力］→電話番号を入力してi

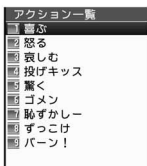
キャラ電を操作する

キャラ電にアクションをさせる

テレビ電話中やキャラ電再生中に、キャラ電にアクションをさせることができます。
- 全体アクションモードにすると、喜ぶや怒るなどの感情を選ぶことができます。
- パーツアクションモードにすると、体の一部を動かしたりできます。
- パーツアクションの中には、別のアクションと組み合わせて実行できるものもあります。
- キャラ電によっては、マイクからの音に合わせて口を動かすことができます。
- アクションの種類は、キャラ電により異なります。
- キャラ電によっては、アクションしないものがあります。

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［キャラ電］▶フォルダを選択▶キャラ電を選択

2 ✉（アクションリスト）▶アクションを選択

- アクションリストの詳細を表示するときは、iを押します。
- 表示されているアクションの番号（1～9）を押しても操作できます。アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号を押してアクションさせることもできます。
- あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについては、P.78を参照してください。
- アクションを中止するときは、0を押します。

お知らせ
- キャラ電の種類によっては、操作しなくてもアクションを行う場合があります。

フォルダを管理する

フォルダを作成する＜フォルダ新規作成＞

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［キャラ電］▶📷▶［フォルダ管理］

2 ［フォルダ新規作成］▶フォルダ名を入力して◉
- フォルダ名は最大全角９文字（半角18文字）まで入力できます。
- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを１秒以上押します。

フォルダ名を編集する＜フォルダ名編集＞

- 自分で作成したフォルダ以外は編集できません。

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［キャラ電］▶フォルダを選んで📷▶［フォルダ管理］

2 ［フォルダ名編集］▶フォルダ名を編集して◉
- フォルダ名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを１秒以上押します。

フォルダを削除する＜削除＞

- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［キャラ電］▶フォルダを選んで📷▶［削除］

2 削除方法を選択

次ページへ続く

フォルダを1件削除する	[フォルダ1件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]
複数のフォルダをまとめて削除する	[フォルダ選択削除]→フォルダを選択(くり返し可)→📷→端末暗証番号を入力して⦿→[はい] ● すべてを選択／解除する場合は、🔘(全選択)／🔘(全解除)を押します。
すべてのキャラ電を削除する(フォルダは残す)	[全件削除(フォルダ残)]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]
すべてのフォルダとキャラ電を削除する	[全件削除(フォルダ消)]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]

お知らせ

● 代替画像設定などに設定されているデータが保存されているときは、フォルダ削除できません。設定を解除して、やり直してください。

キャラ電を管理する

キャラ電のタイトル編集や削除、並べ替えなどができます。

タイトルを変更する＜タイトル編集＞

1 待受画面で⦿ ▶ [データBOX] ▶ [キャラ電] ▶ フォルダを選択

2 キャラ電を選んで📷 ▶ [タイトル編集]

3 [直接入力] ▶ タイトルを編集して⦿

● 元のタイトルに戻すときは、[オリジナルタイトルに戻す]を選択します。
● 最大全角25文字(半角50文字)まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角8文字(半角16文字)です。全角8文字(半角16文字)を超える場合は、全角7文字(半角14文字)まで表示され、以降は「…」の表示となります。
● タイトルを削除するときは、タイトル編集画面でCLRを1秒以上押します。

キャラ電を並べ替える＜ソート＞

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

● ソートを実行したあと、キャラ電一覧画面を終了しても、その設定は継続されます。

日付順(新→旧)	保存した日付の新しい順
日付順(旧→新)	保存した日付の古い順
タイトル名順	タイトルによって、(半角数字→半角英大文字→半角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→半角カタカナ)の順
ファイル取得元順	取得元によって、空白→ｉモードの順
サイズ順(大→小)	サイズの大きい順
サイズ順(小→大)	サイズの小さい順

1 待受画面で⦿ ▶ [データBOX] ▶ [キャラ電] ▶ フォルダを選択 ▶ 📷 ▶ [キャラ電表示設定]

2 [ソート] ▶ ソート方法を選択

キャラ電を別のフォルダへ移動する ＜フォルダ間移動＞

1 待受画面で⦿ ▶ [データBOX] ▶ [キャラ電] ▶ フォルダを選択

2 キャラ電を選んで📷 ▶ [フォルダ間移動]

3 移動方法を選択

キャラ電を1件移動する	[1件移動]→フォルダを選んで📷
複数のキャラ電をまとめて移動する	[選択移動]→キャラ電を選択(くり返し可)→📷→フォルダを選んで📷 ● すべてを選択／解除する場合は、🔘(全選択)／🔘(全解除)を押します。
フォルダ内のすべてのキャラ電を移動する	[フォルダ内全件移動]→端末暗証番号を入力して⦿→フォルダを選んで📷

お知らせ

● 自分で作成したフォルダからお買い上げ時のフォルダへ移動するときは、1件移動しかできません。

詳細情報を表示する＜情報表示＞

表示される情報は次のとおりです。

● 保存日時
● 表示サイズ
● ファイルサイズ
● ファイル制限[あり]
● 電話帳設定[ON／OFF]
● テレビ電話設定[ON／OFF]
● ファイル名
● オリジナルタイトル
● 取得元
● microSDへの移動[不可]

1 待受画面で⦿ ▶ [データBOX] ▶ [キャラ電] ▶ フォルダを選択

2 キャラ電を選んで📷 ▶ [情報表示]

● 確認を終わるときは、⦿またはCLRを押します。

キャラ電を削除する＜削除＞

1 待受画面で⦿ ▶ [データBOX] ▶ [キャラ電] ▶ フォルダを選択

2 キャラ電を選んで📷 ▶ [削除]

3 削除方法を選択

データ表示／編集／管理

キャラ電を１件削除する	［１件削除］→［はい］
複数のキャラ電をまとめて削除する	［選択削除］→キャラ電を選択（くり返し可）→📷→［はい］ ● すべてを選択／解除する場合は、🔳（全選択）／🔳（全解除）を押します。
フォルダ内のすべてのキャラ電を削除する	［フォルダ内全件削除］→端末暗証番号を入力して⊙→［はい］

お知らせ

- 全件削除すると、お買い上げ時に登録されているキャラ電も含めてすべて削除されます。
- 代替画像設定などに設定されているデータは、フォルダ内全件削除では削除できません。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除後にもう一度ご利用になる場合は、ｉMenu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードできます（☞P.194）。

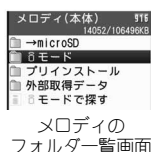
メロディプレーヤー

メロディを再生する

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディや、メッセージR／Fやｉモードメールに添付されているメロディは、データBOXのメロディに保存され、メロディプレーヤーで再生できます。

- 着信バイブレータ（☞P.125）を［メロディ連動］に設定していると、メロディ再生時にバイブレータも連動して動作します。

1 待受画面で⊙▶［データBOX］▶［メロディ］

- microSDメモリーカード内のメロディを確認するときは、［→microSD］を選択します。再びFOMA端末（本体）のメロディを確認するときは、［→本体］を選択します。

メロディのフォルダ一覧画面

2 フォルダを選択

- 次のページを表示するときは◯、前のページを表示するときは◯を押します。

3 メロディを選択

- 選んだメロディが再生されます。
- 再生中に⊙を押すと、停止し、メロディ一覧画面に戻ります。

お知らせ

- 一部再生できないメロディがありますので、ご了承ください。
- メロディを着信音に設定できます（☞P.334）。
- 現在のメロディの参照先（FOMA端末（本体）またはmicroSDメモリーカード）は、メロディプレーヤーをいったん終了しても記録され、次回メロディプレーヤーを起動したときにも同じ参照先となります。

再生効果を設定する<ステレオ効果設定>

メロディステレオ効果（☞P.124）で設定したステレオ効果を変更することができます。

1 メロディ再生中（☞P.333の操作３）に📷▶［メロディ設定］▶［ステレオ効果設定］▶再生効果を選択

- メロディ再生中に🔳（3D･ステレオ）を押しても操作できます。

ステレオ／3DサウンドON	3D情報が含まれるメロディは3Dサウンドで再生されます。3D情報が含まれていないメロディはステレオサウンドで再生されます。
サラウンド※１	サラウンドで再生されます。3D情報が含まれていてもこの設定で再生されます。
OFF	再生効果を設定しません。モノラル※２で再生されます。

※１　音に臨場感・立体感を出す再生方式
※２　立体感を出さない再生方式

関連操作

音量を調節する<音量設定>
P.333「メロディを再生する」の操作２の画面で📷▶［メロディ設定］▶［音量設定］▶◯／◯▶⊙

イコライザを設定する<イコライザ設定>
1 音楽再生中に📷▶［メロディ設定］▶［イコライザ設定］
2 ［ノーマル］／［ロック］／［ポップス］／［クラシック］

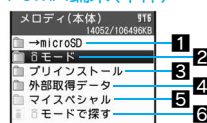
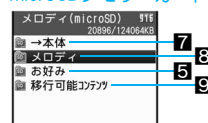
メロディフォルダ一覧画面の見かた

microSDメモリーカードを挿入しているとき、メロディフォルダ一覧画面で［→microSD］を選択するか、📷を押して［本体⇔microSD切替］を選択すると、microSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。

FOMA端末（本体）

メロディ（本体）
14052/106496KB
→microSD 1
ｉモード 2
プリインストール 3
外部取得データ 4
マイスペシャル 5
ｉモードで探す 6

microSDメモリーカード

メロディ（microSD）
20896/124064KB
→本体 7
メロディ 8
お好み 5
移行可能コンテンツ 9

1 microSDメモリーカードのフォルダ一覧画面を表示
2 サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールで入手したメロディ用フォルダ
3 あらかじめFOMA端末（本体）に内蔵されているメロディ用フォルダ
4 バーコードリーダーやmicroSDメモリーカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）を利用して入手したメロディ用フォルダ
5 お客様が作成できるメロディ用フォルダ（☞P.344、P.347）
6 ｉモードに接続
7 FOMA端末（本体）のフォルダ一覧画面を表示
8 あらかじめ用意されているメロディ用フォルダ
9 サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されているメロディ用フォルダ

■ メロディの種類とマークについて

メロディの種類

SMF	MFi（3D情報なし）	MFi（3D情報あり）
SMF	MFi	MFi 3D

マークの種類

マーク	説明
	FOMAカード動作制限機能が設定されたメロディ
	ｉモードなどでダウンロードしたメロディ
	バーコードリーダーやmicroSDメモリーカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を利用して取得したメロディ
	メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているメロディ

お知らせ

- MFi（3D情報あり）を［移行可能コンテンツ］フォルダに保存した場合は、MFi（3D情報なし）のマークが表示されますが、3D情報は保持しています。

連続再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のすべてのメロディを連続して再生できます。

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［メロディ］▶フォルダを選んで📷▶［連続再生］

途中で次のメロディにスキップする	◯
現在のメロディの先頭に戻る	◯ ● メロディの先頭でもう一度◯を押すと、1つ前のメロディに戻ります。

メロディの再生部分を指定する <開始位置選択>

メロディの指定されている部分だけを再生できます。

- 再生部分は、あらかじめ指定されている部分が決まっていて、変更できません。

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［メロディ］▶フォルダを選択▶📷▶［メロディ設定］

2 ［開始位置選択］▶再生方法を選択

再生方法	フルコーラス再生	ポイント再生

お知らせ

- ［ポイント再生］に設定しても、開始位置が指定されていないメロディの場合はフルコーラス再生されます。

メロディを添付してｉモードメールを送信する

相手の機種がFOMA SH900iより前に発売された機種の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。

データBOXのメロディからメロディ（SMF、MFi）を選択し、ｉモードメールに添付して送信できます。

- 送信できるメロディのサイズは最大2Mバイトです。これを超えるサイズは添付できません。

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［メロディ］▶フォルダを選択▶メロディを選択▶✉（メール）

- 選択したメロディファイルが添付されます。

2 ｉモードメールを作成し、送信する

- 詳しくは、P.208の操作2～4を参照してください。

お知らせ

- ファイル形式がMFiのメロディ、メールに添付されたメロディ、ｉモードでダウンロードしたメロディやｉアプリから取得したファイル制限ありのSMFのメロディは一部、ｉモードメールに添付できないものがあります。

メロディを着信音などに設定する <音設定>

FOMA端末（本体）に保存されているメロディは、着信音などに設定できます。

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［メロディ］▶フォルダを選択▶メロディを選んで📷▶［音設定］

- メロディを選んで回（音設定）を押して選択することもできます。

2 項目を選択

microSDメモリーカードについて

FOMA端末（本体）内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータをmicroSDメモリーカードに保存したり、microSDメモリーカード内のデータをFOMA端末（本体）に取り込むことができます。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカード内のデータを閲覧できます。microSDメモリーカードに保存できる静止画撮影枚数、動画撮影時間、音声録音時間の目安については、P.158を参照してください。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードおよびmicroSDメモリーカードアダプタをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
microSDメモリーカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。

- FOMA端末の電源を入れたままの状態でmicroSDメモリーカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- microSDメモリーカードは正しく挿入してください。正しく挿入していないと、使用できません。
- microSDメモリーカードを挿入したときに、［microSDが使用中です］または［microSD認識中］と表示されることがあります。この場合は、しばらくたってからご使用ください。
- FOMA SH905iでは市販の２Gバイトまでの microSDメモリーカード、４Gバイトまでの microSDHCメモリーカードに対応しています（2008年３月現在）。microSDメモリーカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。

  ■ ｉモードから［SH-MODE］
  （2008年３月現在）
  ［ｉMenu］→［メニューリスト］→［ケータイ電話メーカー］→［SH-MODE］

  ■ パソコンから
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh905i/

  サイト接続用QRコード

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末で利用できるファイルのサイズは２Gバイトまでになります。
- ワンセグを録画できるサイズは２Gバイトまでになります。
- SD-Jukeboxを利用して音楽データを保存する場合は、２Gバイトまでのmicro SDメモリーカードの対応になります。
- FOMA SH905iでは、サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、動画／ｉモーション、メロディ、着うたフル®、きせかえツールをmicroSDメモリーカードに移動できます。ただし、IP（サービス提供者）が許可していない場合は保存できません。
- microSDメモリーカードをお使いの場合は次の点にご注意ください。
  ■ FOMA端末に挿入するとFOMA端末でご使用いただくための情報を書き込みます。使用するmicroSDメモリーカードによっては、書き込み時間が長くなる場合があります（最長約30秒）。
  その間にmicroSDメモリーカードを取り外したり、電源を切らないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
  ■ パソコンなどでフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしたmicroSDメモリーカードを使用することをおすすめします。フォーマットの操作については、P.343を参照してください。フォーマットすると元のデータが消えてしまいますので、ご注意ください。
- microSDメモリーカード内のデータ編集中に、microSDメモリーカードを抜き差ししないでください。また、データ編集中にFOMA端末やmicroSDメモリーカードを挿入した機器の電源を切らないでください。データが壊れたり正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- 他のFOMA端末やパソコンなどで使用していたmicroSDメモリーカードをFOMA SH905iに挿入した場合、使用できないことがあります。不要なデータを削除してから、再度挿入してください。
- SD-Jukeboxを利用してmicroSDメモリーカードに音楽データを保存するときは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）でFOMA端末とパソコンを接続して保存するか、著作権保護機能対応のSDメモリーカードスロット付パソコンやSDメモリーカードリーダーライターを利用して保存します。
- microSDメモリーカードにバックアップした辞書データは閲覧できません。
- microSDメモリーカードに保存されたデータはバックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

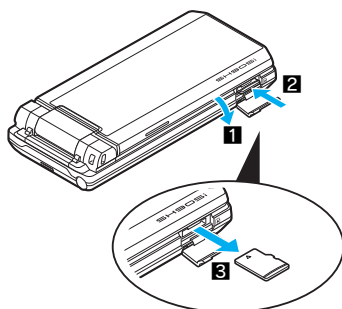
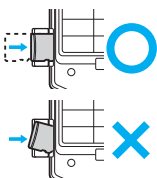
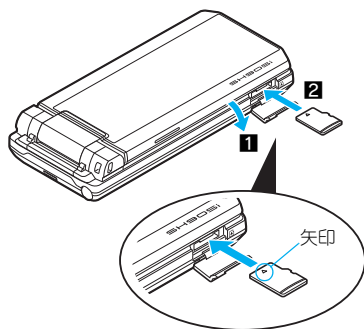
■ microSDメモリーカードを挿入する

FOMA端末の電源を切ってからmicroSDメモリーカードを取り付けてください。

1 microSDメモリーカードスロットカバーを開いて引き出す（1）

2 microSDメモリーカードの矢印（▲）を図のように向けてゆっくりと挿入する（2）

- microSDメモリーカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に押し込まないでください。microSDメモリーカードスロットが破損することがあります。

- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。

3 microSDメモリーカードスロットカバーを閉じる

■ microSDメモリーカードを取り外す

FOMA端末の電源を切ってからmicroSDメモリーカードを取り外してください。

1 microSDメモリーカードスロットカバーを開いて引き出し（1）、microSDメモリーカードを軽く押し込む（2）

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDメモリーカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、FOMA端末やmicroSDメモリーカードを破損させるおそれがあります。

2 microSDメモリーカードを取り外す（3）

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。取り外したあと、microSDメモリーカードスロットカバーを閉じます。

お知らせ

- microSDメモリーカードスロットを顔の方に向けて、挿入したり、取り外したりしないでください。急に指を離すとmicroSDメモリーカードが飛び出し危険です。
- microSDメモリーカードを取り外すときは、必ずmicroSDメモリーカードを軽く押し込み「カチッ」と鳴ったことを確認したあと、microSDメモリーカードを引き抜いてください。無理に引き抜くと、FOMA端末やmicroSDメモリーカードを破損させるおそれがあります。
- FOMA端末から取り外したときは、必ずmicroSDメモリーカードに付属の専用保護ケースに収納してください。
- 電源を入れた状態で、microSDメモリーカードを取り付けたり、取り外した場合には、警告音が鳴ります。

microSDメモリーカードの使用条件

FOMA端末（本体）のデータを、microSDメモリーカードにコピーできます。
コピーには、1件コピー、選択コピー、全件コピーの方法があります。また、機能によっては、グループやフォルダなど分類内のデータをすべてコピーする方法もあります。

■ FOMA端末（本体）からmicroSDメモリーカードにコピーできるデータ

機　能	件　数※1	1件／選択／全件コピー	グループ内全件コピー	フォルダ内全件コピー
電話帳※2	合わせて最大65535件	○	○	－
スケジュール※3※4		○	－	－
テキストメモ		○	－	－
ブックマーク※5		○	－	○
iモードメール／SMS／エリアメール※6		○	－	○
静止画※7※8	999フォルダ※9／1フォルダ最大400件（☞P.158）	○	－	○

機　能	件　数※1	1件／選択／全件コピー	グループ内全件コピー	フォルダ内全件コピー
動画※7	999フォルダ／1フォルダ最大400件（☞P.158）	○※10	－	○
メロディ※7	999フォルダ／1フォルダ最大400件	○	－	○
PDF※7※11	999フォルダ／1フォルダ最大400件	○	－	○
トルカ※7	999フォルダ／1フォルダ最大999件	○	－	○
現在地通知先	999フォルダ／1フォルダ最大999件	○※12	－	－

※1 保存するデータの大きさや、microSDメモリーカードの容量によっては、件数が少なくなる場合があります。
※2 シークレット設定、グループ番号、グループ名、メモリ番号、シークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ色、指定メール着信ランプ色、指定着信ランプパターン、指定メール着信ランプパターン、代替画像設定、電話帳2in1設定はコピーされません。電話帳で［画像転送設定］を［しない］に設定しているときは、ピクチャーコール設定もコピーされません。［画像転送設定］を［する］に設定しても、ファイル制限（FOMA端末外への出力制限）のあるデータはコピーされません。名前やフリガナ・電話番号・メールアドレスの登録場所が変わる場合があります。
※3 シークレット設定とアラーム時刻以外のアラーム情報はコピーされません。また、連絡先・画像設定の情報や視聴予約、録画予約もコピーされません。
※4 祝日設定はコピーされません。終了日時が入力されていないデータをコピーすると、終了日時に開始日時が設定されます。
※5 フォルダ情報はコピーされません。
※6 microSDメモリーカードにコピーしたメールは、返信（エリアメール不可）したり、転送できますが、保護設定はできません。また、フォルダ情報はコピーされません。
※7 ファイル制限（FOMA端末外への出力制限）のないデータのみコピーできます。
※8 フレーム画像はmicroSDメモリーカードにコピーされません。
※9 カメラフォルダ（静止画）の最大作成可能件数は900件までです。
※10 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は、選択コピー／全件コピーはできません。
※11 ダウンロードに失敗したPDFデータは、microSDメモリーカードにコピーできない場合があります。
※12 選択コピーはできません。

お知らせ

- FOMA端末で撮影した静止画または動画は、FOMA端末（本体）またはmicroSDメモリーカードに保存できます。
- microSDメモリーカードにデータをコピーすると、管理情報もmicroSDメモリーカードに書き込まれます。
- パソコンからmicroSDメモリーカードへ直接ファイルをコピーしても、FOMA端末では表示されないことがあります。その場合はドコモケータイdatalinkをご利用ください。ドコモケータイdatalinkのダウンロードについては、P.448を参照してください。
- 機能別ロック中、ロックされているデータは操作できません。端末暗証番号を入力すると、機能別ロックが一時的に解除され、操作できるようになります。

トルカについて

- microSDメモリーカード内のトルカからは詳細を取得できません。
- トルカのデータサイズによっては、microSDメモリーカードにコピーできない場合があります。

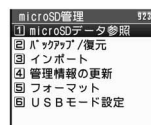
microSD管理画面について

microSD管理画面では、microSDメモリーカード内のデータを参照したり、バックアップやフォーマットを行うなど、microSDメモリーカード内のデータを管理・利用できます。また、FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）でパソコンに接続し、microSDリーダーライターとして利用できます（☞P.345）。

- microSDメモリーカード内のフォルダやファイル名などの情報は、「管理情報」と呼ばれる部分で管理されています。パソコンなどでmicroSDメモリーカードを利用（データ編集や追加、削除など）した場合は、microSDメモリーカードの管理情報を更新する必要があります（☞P.346）。
管理情報が正しくない状態では、データの編集、保存や移動、コピーなどができない場合がありますので、ご注意ください。

1 **待受画面で◉▶［LifeKit］▶［microSD管理］**

microSD管理画面

データ表示／編集／管理

microSDメモリーカードのフォルダ構成

microSDメモリーカード内のフォルダ構成と、各フォルダに格納されるデータのファイル名などは以下のとおりです。

- パソコンなどからmicroSDメモリーカードにデータを書き込む場合も、以下のフォルダ構成、ファイル名にする必要があります。
- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。
  - aaaaaa：任意の半角英数字、任意の全角文字、「_(アンダーバー)、=(イコール)、+(プラス)、-(マイナス)」以外の半角記号でフルパス225バイト以下
  - bbb：100～999の3桁の半角数字（000～099に変更しても認識されません）
  - cccc：0001～9999の4桁の半角数字
  - ddddd：00001～65535の5桁の半角数字
  - eee：001～FFFの3文字の半角英数字（16進数）
  - fff：001～999の3桁の半角数字
  - gggggg：2バイト文字を含め60バイト以下（拡張子を除く）
  - HHH：3文字以内の半角英数字（大文字）
  - jjjjjjjj：8文字以内の半角英数字
  - kkkkkk：任意の半角英数字、任意の全角文字、「_(アンダーバー)、=(イコール)、+(プラス)、-(マイナス)」の半角記号でフルパス225バイト以下
  - mmmmmm：2バイト文字を含め228文字以下（拡張子を除く）
  - nnnnnn：2バイト文字を含め60文字以下（拡張子を除く）
  - xxyyzzpp：半角数字で、xxは年、yyは月、zzは日、ppは00～99

```
BOOK
  マンガ・ブックリーダーフォルダ
  └aaaaaa.ZBF/ZBK/TXT/TEXT
DCIM
  静止画フォルダ
  ├bbbSHARP
  │  撮影静止画用フォルダ
  │  └DVC0cccc.JPG／GIF
  └bbbSH_UF
     ユーザ作成フォルダ
     └DVC0cccc.JPG／GIF
MISC
  DPOF設定ファイル用フォルダ
SD_AUDIO※1
  音楽データ用フォルダ
SD_PIM
  PIMデータ用フォルダ（電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、ブックマーク）
  └PIMddddd.VCF／VCS／VMG／VNT／VBM
SD_VIDEO
  動画フォルダ
  ├PRLeee
  │  撮影動画用フォルダ
  │  └MOLeee.MP4／ASF／3GP／SDV
  ├MGR_INFO
  │  ビデオ管理情報用フォルダ
  └PRGeee
     ビデオ用フォルダ
PRIVATE
├DOCOMO
│ ├DOCUMENT
│ │ └PUDfff
│ │    PDF対応ビューアフォルダ
│ │    └gggggg.PDF／$DF／DDF
│ ├MMFILE
│ │  ボイスメモ、iモーション（AAC形式の音楽データを含む※2）、WMAファイル用フォルダ
│ │  ├MMFcccc.MP4／ASF／3GP／SDV／M4A
│ │  └MUDfff
│ │     └MMFcccc.MP4／ASF／3GP／SDV／M4A
│ ├RINGER
│ │  メロディファイル用フォルダ
│ │  ├RINGcccc.MLD／SMF／MID
│ │  └RUDfff
│ │     └RINGcccc.MLD／SMF／MID
│ ├STILL
│ │  その他画像ファイル用フォルダ
│ │  ├STILcccc.JPG／GIF／SWF
│ │  └SUDfff
│ │     └STILcccc.JPG／GIF／SWF
│ ├TORUCA
│ │  トルカフォルダ
│ │  ├TORUCfff.TRC
│ │  └TRCfff
│ │     └TORUCfff.TRC
│ ├LCSCLIENT
│ │  現在地通知先ファイル用フォルダ
│ │  ├LSCDCfff.LSC
│ │  └LSCfff
│ │     └LSCDCfff.LSC
│ ├DECOIMG
│ │  デコメ絵文字用フォルダ
│ │  ├DIMGcccc.JPG／GIF
│ │  └DUDfff
│ │     └DIMGcccc.JPG／GIF
│ ├OTHER
│ │  その他ファイル用フォルダ
│ │  ├OTHERfff.HHH
│ │  ├jjjjjjjj.HHH
│ │  └OUDfff
│ │     ├OTHERfff.HHH
│ │     └jjjjjjjj.HHH
│ └TABLE
│    管理情報フォルダ※3
└SHARP
  ├DOCUMENT
  │  ドキュメントビューアフォルダ
  │  └kkkkkk.PPT／TXT／TEXT／DOC／XLS／JPEG／JPG／BMP／GIF
  ├IMPORT
  │  インポートフォルダ
  │  ├mmmmmm.VCF／VCS／VMG／VNT／MLD／SMF／MID／JPG／GIF／SWF／MP4／ASF／3GP／M4A
  │  └nnnnnn.PDF
  └MOBILE
     └USERDIC
        ユーザ辞書データ用フォルダ
        └xxyyzzpp.SUJ
SD_BIND
└SVC00001～SVC00004※4※5
```

※1 お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。また、パソコンなどで直接[SD_AUDIO]フォルダ下のファイルの削除、変更、追加を行わないでください。SDオーディオが正しく動作しない可能性があります。
※2 格納できるデータの種類については、P.322とP.381を参照してください。
※3 [TABLE]フォルダの下には[DCIM]、[MMFILE]、[RINGER]、[STILL]、[SD_VIDEO]、[DOCUMENT]、[TORUCA]、[LCSCLIENT]、[DECOIMG]、[OTHER]それぞれについて、付加情報を格納するフォルダがあります。
※4 移行可能コンテンツ、iアプリデータ、着うたフル®、電子コミックをmicroSDメモリーカードに保存した際、[SVC00001]から順にフォルダが作成されます。
※5 microSDメモリーカード内の[移行可能コンテンツ]フォルダ内(SD_BINDフォルダ内)に保存されているデータをパソコンで削除・移動・編集をすると、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを参照できなくなる場合があります。また、データを移動・削除・保存中にmicroSDメモリーカードを抜いたり、電池パックを抜いたりした場合にも[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを参照できなくなる場合があります。その場合は、microSDメモリーカードをFOMA SH905iでフォーマットしてください(フォーマットを行うとmicroSDメモリーカード内のデータはすべて消去されます)。

- パソコンでmicroSDメモリーカードにデータを保存しようとしたときに該当するフォルダが無い場合は、フォルダ構成に従ってフォルダを作成してからデータを保存してください。
  インポートフォルダについては、microSDメモリーカードを、FOMA端末に挿入するかFOMA端末でフォーマット(☞P.343)すると自動的に作成されます。
- GIFアニメーションファイルは[STILL]フォルダに入り、それ以外のGIFファイルは[DCIM]フォルダに入ります。ただし、デコメ絵文字の場合は[DECOIMG]フォルダに入ります。
- Flash画像は[STILL]フォルダに入ります。
- パソコンでフォルダ名の変更や削除をすると、FOMA端末でmicroSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。
- FOMA SH901iSより前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDメモリーカードの¥PRIVATE¥SHARP¥DOCUMENTフォルダにPDFデータを保存している場合は、¥PRIVATE¥DOCOMO¥DOCUMENT¥PUDfffフォルダに移動する必要があります。移動してからmicroSDメモリーカードの管理情報を更新してください。
- FOMA SH902i以前に発売された機種をご利用のお客様でmicroSDメモリーカードの¥PRIVATE¥SHARP¥VOICEフォルダにｉモーションの音のみデータ(AAC形式の音楽データを含む)を保存している場合は¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILEフォルダに移動する必要があります。そのあとFOMA端末にてmicroSDメモリーカードの管理情報を更新してください。

コンテンツ移行対応

FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードに移動する

サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているデータを、microSDメモリーカードに移動できます。また、microSDメモリーカードに移動したデータを、FOMA端末(本体)に移動できます。移動できるデータは画像、動画／ｉモーション、メロディ、着うたフル®、きせかえツールです。

- microSDメモリーカードに移動したデータは、[移行可能コンテンツ]フォルダ内に保存されます。
- microSDメモリーカードへの移動が[可]／[可(同一機種間)]に設定されているデータのみを移動できます。移動の可否はデータの[情報表示]から確認できます(☞P.349)。
- microSDメモリーカードに移動したデータをFOMA端末(本体)へ移動できるのは、以下の場合です。
  - ■ FOMA端末(本体)への移動が[可]のときに、データ取得時と同じFOMAカードを挿入している場合
  - ■ FOMA端末(本体)への移動が[可(同一機種間)]のときに、データ取得時と同じFOMAカードを同一機種に挿入している場合

FOMA端末内のデータをmicroSDメモリーカードに移動する<microSDへ移動>

例：ｉモーションの場合

1 **待受画面で◉▶[データBOX]▶[ｉモーション]▶フォルダを選択**

- すべての動画／ｉモーションを移動するときは、フォルダ一覧画面でフォルダを選んで📷を押し、[microSDへ移動]→[全件移動]を選択し、端末暗証番号を入力して◉を押します。

2 **動画／ｉモーションを選んで📷▶[移動／コピー]▶[microSDへ移動]▶移動方法を選択**

動画／ｉモーションを1件移動する	[1件移動]
複数の動画／ｉモーションをまとめて移動する	[選択移動]→動画／ｉモーションを選択(くり返し可)→📷 ● すべてを選択／解除する場合は、▮(全選択)／▮(全解除)を押します。
フォルダ内のすべての動画／ｉモーションを移動する	[フォルダ内全件移動]→端末暗証番号を入力して◉
移動先フォルダを指定する	[移動先選択]→移動先フォルダを選んで📷

microSDメモリーカード内のデータをFOMA端末に移動する<本体へ移動>

例：ｉモーションの場合

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［ｉモーション］▶［→microSD］

● microSD管理画面（☞P.337）で［microSDデータ参照］→［ｉモーション］を選択して操作することもできます。

2 ［移行可能コンテンツ］フォルダを選択▶フォルダを選択

● すべての動画／ｉモーションを移動するときは、［移行可能コンテンツ］フォルダを選んで📷を押し、［本体へ移動］→［全件移動］を選択し、端末暗証番号を入力して◉を押します。
● フォルダ内のすべての動画／ｉモーションを移動するときは、フォルダを選んで📷を押し、［本体へ移動］→［フォルダ内全件移動］を選択し、端末暗証番号を入力して◉を押します。

3 動画／ｉモーションを選んで📷▶［移動／コピー］▶［本体へ移動］▶移動方法を選択

動画／ｉモーションを１件移動する	［１件移動］
複数の動画／ｉモーションをまとめて移動する	［選択移動］→動画／ｉモーションを選択（くり返し可）→📷 ● すべてを選択／解除する場合は、Ｉ（全選択）／Ｉ（全解除）を押します。
フォルダ内のすべての動画／ｉモーションを移動する	［フォルダ内全件移動］→端末暗証番号を入力して◉

● FOMA端末（本体）へ移動する場合は［ｉモード］フォルダに保存され、移動先選択はできません。

microSDへコピー

FOMA端末からmicroSDメモリーカードにコピーする

データの一覧画面や内容表示画面から、データをmicroSDメモリーカードにコピーします。
市販のmicroSDメモリーカードが必要となります（☞P.335）。

● 機能や画面によってサブメニューの番号やメニュー名が異なる場合があります。

例：電話帳の場合

1 待受画面で📖▶名前を選んで📷▶［コピー］▶［microSDへコピー］

● 電話帳の内容を確認してからコピーするときは、内容表示画面で📷を押し、［コピー］→［microSDへ１件コピー］→［はい］を選択します。

2 コピー方法を選択

１件コピーする	［１件コピー］→［はい］
グループ内全件コピーをする	［グループ内全件コピー］→グループを選択→端末暗証番号を入力して◉→［はい］
全件コピーする	［全件コピー］→端末暗証番号を入力して◉→［はい］
選択コピーする	［選択コピー］→名前を選択（くり返し可）→📷→［はい］ ● すべてを選択／解除する場合は、Ｉ（全選択）／Ｉ（全解除）を押します。

お知らせ

● データBOXの静止画、メロディ、動画／ｉモーション、PDFデータをmicroSDメモリーカードにコピーする場合、コピー先のフォルダを選択できます。ただし、静止画の選択コピー／全件コピーの場合はコピー先のフォルダを選択できません。
● メールの場合、１件あたり最大100Kバイトを超えるメールは、添付ファイルが削除されてコピーされます。
● PDFデータは、FOMA端末（本体）とmicroSDメモリーカードの間で２Mバイトまでコピーできます。
● FOMA端末（本体）とmicroSDメモリーカードの間で静止画、動画／ｉモーションをコピーすると、元の画像より画質が劣化したり、ファイルサイズが変わる場合があります。コピー先フォルダの静止画が400件を超えると新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに画像が保存されます。
● microSDメモリーカード参照中の選択コピー、選択削除では、メール、電話帳、スケジュール、ブックマーク、テキストメモのデータは50件まで選択可能です。
● FOMA端末（本体）に保存してあるJPEG画像をmicroSDメモリーカードにコピーすると、画像のファイルサイズが変わる場合があります。FOMA端末（本体）のメモリが少ないと、元の画像を削除しても、microSDメモリーカードにコピーした画像をFOMA端末（本体）にコピーして戻せない場合があります。

お知らせ

- FOMA端末で撮影可能な画像サイズや、撮影可能なファイルサイズよりも大きい画像は、コピーできない場合があります。
- コピーした項目を再度コピーすると別のデータとして保存されます。
- microSDメモリーカードのメモリ使用状況によっては、コピーできない場合があります。

バックアップ／復元

FOMA端末（本体）のデータをバックアップする

FOMA端末（本体）の各機能（電話帳、メール、スケジュール、ブックマーク、テキストメモ）のデータと辞書データを、microSDメモリーカードにバックアップデータとして保存できます。電話帳のバックアップ／復元では所有者情報も転送できます。
市販のmicroSDメモリーカードが必要となります（☞P.335）。

- 個人データのバックアップは同一機種間またはmicroSDメモリーカード対応FOMA端末などでの情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的でご利用されることをおすすめします。
- 電池残量が少ない場合、バックアップできなかったり、正しくバックアップできないことがあります。充電しながら行うことをおすすめします。
- バックアップデータには、バックアップした日付・時刻を含む名前が付けられます。あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください（☞P.46）。
- 機能別ロック中は、ロックされている機能をバックアップできません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳をバックアップできません。
- 辞書データは、ユーザ辞書とダウンロード辞書変換した辞書を1ファイルで保存します。
- 辞書データ以外は、機能ごとに1ファイルで保存します。

■ FOMA端末→microSDメモリーカードにバックアップする

1 待受画面で◉▶［LifeKit］▶［microSD管理］▶［バックアップ／復元］▶［microSDへバックアップ］▶機能を選択

- ［メール］を選択したときは、メール内の分類が表示されます。バックアップするメールを選択します。
- ［Bookmark］を選択したときは、［ｉモード］または［フルブラウザ］を選択します。

2 端末暗証番号を入力して◉▶［はい］

- 電話帳をバックアップするときは、所有者情報の保存確認画面が表示されます。保存するときは、［はい］を選択します。2in1のモードを［Bモード］に設定していても、Aナンバーの所有者情報がバックアップされます。

お知らせ

- microSDメモリーカードのメモリ使用状況によっては、転送できない場合もあります。
- バックアップされたデータは、他のFOMA端末で読み込んでも利用できないことがあります。
- 電話帳でバックアップされないのは次の設定です。
  - ■ シークレットコード　■ 指定着信ランプ
  - ■ 指定着信音　■ 指定メール着信ランプ
  - ■ 指定メール着信音　■ 代替画像設定

  名前やフリガナ・電話番号・メールアドレスの登録場所が変わる場合があります。
- 電話帳で画像転送設定を［する］に設定している場合、ピクチャーコールに設定した画像もバックアップされます。バックアップされる画像は、自分のFOMA端末でカメラ撮影した静止画／動画およびそれらを編集したもの、取得元がカメラ以外でFOMA端末外への出力が可能な静止画／動画です。
- 電話帳をバックアップするときは、電話帳2in1設定もバックアップされます。
- スケジュールでは、アラーム時刻以外のアラーム情報はバックアップされません。また、連絡先、画像設定の情報もバックアップされません。
- 電話帳をバックアップするときにFOMA端末（本体）電話帳の登録件数が0件の場合、所有者情報の保存確認画面で［いいえ］を選択するとバックアップデータは作成されません。
- メールでは、ｉアプリTo、フォルダ情報、再配布不可の添付ファイルはバックアップされません。
- FOMAカード電話帳・SMSはバックアップされません。
- 辞書データはmicroSDメモリーカード内の辞書データを消去してからバックアップされます。

■ microSDメモリーカード→FOMA端末にバックアップデータを読み込む

microSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にバックアップデータを読み込みます。

- FOMA端末（本体）内のデータを残したまま追加する方法と、FOMA端末（本体）内のデータを消去して書き込む方法があります。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。

1 待受画面で◉▶［LifeKit］▶［microSD管理］▶［バックアップ／復元］▶［本体へ復元］▶機能を選択

- FOMA端末でバックアップしたデータ名には、バックアップした日付が付いています。

  例：2007年12月25日午後1時5分の場合→［datagr071225_1305］
- ［メール］を選択したときは、メール内の分類を選択すると、メールのバックアップリスト表示画面が表示されます。
- ［Bookmark］を選択したときは、［ｉモード］または［フルブラウザ］を選択します。
- ［ユーザ辞書］を選択したときは、端末暗証番号を入力して◉を押すと、上書きまたは追加されます。

次ページへ続く▶▶

- 該当するデータがないときは、[microSDデータがありません]と表示されたあと、操作1の画面に戻ります。
- 内容を確認するときは、データを選んで📷を押し、[データ参照]を選択します。
- 情報を確認するときは、データを選んで📷を押し、[情報表示]を選択します。タイトル、ファイル形式、ファイル名、場所、ファイル制限、保存日時が表示されます。

2 **バックアップデータを選択▶端末暗証番号を入力して⦿**

3 **[追加]**

- FOMA端末のデータに上書きするときは、[上書き]→[はい]を選択します。

お知らせ

- メールとブックマークにはフォルダの情報が保存されていないため、受信メールは[受信トレイ]に、送信メールは[送信トレイ]に、未送信メールは[未送信トレイ]に、ブックマークは[Bookmark]フォルダに保存されます。
- メールは、転送に時間がかかる場合があります。
- ユーザ辞書は上書きされ、ダウンロード辞書変換した辞書は追加されます。読み込まれた辞書のタイトルは、常に、[ユーザ辞書1]となります。
- 電話帳のバックアップデータを復元する場合、操作3のあとに所有者情報を復元するかどうかの確認画面が表示されます。
[はい]を選択すると、ご契約の電話番号を除いて上書きされます。また、電話帳のグループ名も上書きされ、上書き対象でないグループ設定は初期化されます。
所有者情報を含む電話帳の場合に[いいえ]を選択すると、所有者情報を1件の電話帳として登録します。
- 電話帳のバックアップデータを復元したときにFOMA端末の登録件数が1000件に達した場合、それ以降の電話帳は復元されません。
- 電話帳のバックアップデータを復元する場合、ピクチャーコールに設定した画像も復元されます。ただし、動画／iモーションは、復元されません。
- ブックマークのバックアップデータを本体へ復元する場合、[iモード]または[フルブラウザ]のどちらを選択しても、両方のバックアップデータが表示されますが、復元できるのは、ブックマークのバックアップで選択した方のバックアップデータだけです。

バックアップデータを削除する

1 **待受画面で⦿▶[LifeKit]▶[microSD管理]▶[バックアップ／復元]▶[本体へ復元]▶機能を選択**

- [メール]を選択したときは、メール内の分類を選択すると、メールのバックアップリスト表示画面が表示されます。
- [Bookmark]を選択したときは、[iモード]または[フルブラウザ]を選択します。どちらを選択しても、両方のバックアップデータが表示されます。

2 **データを選んで📷▶[削除]▶削除方法を選択**

データを1件削除する	[1件削除]→[はい]
複数のデータをまとめて削除する	[選択削除]→データを選択(くり返し可)→🔳→[はい]
フォルダ内のすべてのデータを削除する	[フォルダ内全件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]

microSDデータ参照

microSDメモリーカードのデータをプレビューする

microSDメモリーカードにコピーしたデータは、各機能の画面またはmicroSD管理画面から確認できます。
市販のmicroSDメモリーカードが必要となります(☞P.335)。

各機能の画面から確認する

microSDメモリーカード内のデータの確認は、各データの一覧画面から操作できます。

例:電話帳の場合

1 **待受画面で📖▶📷▶[microSDデータ参照]**

- FOMA端末(本体)のデータと同様に確認できます。
- データを選択すると、microSDメモリーカードにバックアップしたデータの内容を確認できます。
- 該当するデータがないときは、[microSDデータがありません]と表示されたあと、元の画面に戻ります。

microSD管理画面から確認する

1 **待受画面で⦿▶[LifeKit]▶[microSD管理]▶[microSDデータ参照]▶機能を選択**

- 該当するデータがないときは、その旨のメッセージが表示されたあと、元の画面に戻ります([移行可能コンテンツ]フォルダを除く)。
- フォルダ内のデータを選ぶときは、フォルダを選択します。
- [メール]を選択したときは、メール内の分類が表示されます。参照するメールを選択します。

2 **データを選択**

- データ表示中の操作については、各機能の説明ページを参照してください。

お知らせ

- microSDメモリーカード内のBookmark一覧画面では、iモードのブックマークとフルブラウザのブックマークが混在して表示されます。iモードのブックマークには[🔗]が、フルブラウザのブックマークには[🔗]が表示されます。

本体へコピー

microSDメモリーカードからFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカードに保存されている各データを、FOMA端末(本体)にコピーできます。1件コピー、選択コピー、全件コピーの方法があります。
市販のmicroSDメモリーカードが必要となります(☞P.335)。

- 機能や画面によってサブメニューの番号やメニュー名が異なる場合があります。

例:電話帳の場合

1 待受画面で📖▶📷▶[microSDデータ参照]

- microSD管理画面(☞P.337)で[microSDデータ参照]→[電話帳]を選択して操作することもできます。
- [GPS]の場合は、microSD管理画面(☞P.337)で[microSDデータ参照]→[GPS]を選択してフォルダを選択し、データを選んで📷を押して[本体へコピー]を選択します。

2 データを選んで📷▶[本体へコピー]▶コピー方法を選択

1件コピーする	[1件コピー]→[はい]
選択コピーする	[選択コピー]→名前を選択(繰り返し可)→i→[はい]
全件コピーする	[全件コピー]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]

- 電話帳を1件コピーしたときは、[プッシュトーク電話帳に登録しますか?]と表示されます。登録するときは[はい]を選択します。電話番号が複数登録されているときは、電話番号を選択します。

お知らせ

- microSDメモリーカードにバックアップしたデータをコピーするには、microSDメモリーカードからの読み込み(☞P.341)を行ってください。ただし、バックアップされたデータでも詳細画面を表示させた場合は、そのデータに限り本体へコピーすることができます。
- メロディ・Flash画像は100Kバイト、JPEG画像・GIF画像とPDFデータは2Mバイト、動画は10MバイトまでFOMA端末(本体)にコピーできます。

電話帳をコピーするとき

- 名前が未登録のデータがコピーされたときは[No Name]と表示されます。

ブックマークをコピーするとき

- [同じURLは上書きされます。よろしいですか?]と表示されます。現在のデータに上書きするときは、[はい]を選択します。
- 選択コピー/全件コピーを行った場合、FOMA端末(本体)のiモードまたはフルブラウザのブックマークのどちらかが最大件数まで保存されると、それ以降のブックマークはコピーされません。

microSDメモリーカードの管理について

データBOXのマイピクチャ・ミュージック・iモーション・メロディ・マイドキュメント・きせかえツール、トルカ、マンガ・ブックリーダー、GPS、その他は、microSDメモリーカード内のデータを管理するために、フォルダの作成や削除、フォルダ名の編集を行うことができます。データの詳細情報を表示したり、データBOXのプリント指定(DPOF)で静止画をプリント指定することもできます。
市販のmicroSDメモリーカードが必要となります(☞P.335)。

- microSDメモリーカード内には、1つのフォルダに最大400件までのファイルを保存できます(トルカ、現在地通知先、その他ファイルを除く)。フォルダやデータについては、P.336~P.339を参照してください。

microSDメモリーカードをフォーマットする<フォーマット>

フォーマット(初期化)されていないmicroSDメモリーカードを使うときは、FOMA端末でフォーマットする必要があります。

- フォーマットすると、microSDメモリーカード内のすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- パソコンなどでフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしたmicroSDメモリーカードを使用することをおすすめします。
- フォーマットを中止すると、microSDメモリーカードがFOMA端末やパソコンなどで認識されなくなりますので、ご注意ください。認識されなくなった場合は、フォーマットをやり直してください。
- 実行中は、microSDメモリーカードを抜かないでください。
- microSDメモリーカードの種類によっては、著作権保護機能に対応していないため[フォーマットできませんでした]と表示されることがあります。microSDメモリーカードを挿入し直すとご使用いただける場合もありますが、そのmicroSDメモリーカードはFOMAサポート対象となっていないため、データの保存やコピーなどの保証はいたしかねます。
- microSDメモリーカードの製造メーカや容量などについて、詳しくはP.335を参照してください。

1 待受画面で⦿▶[LifeKit]▶[microSD管理]▶[フォーマット]

2 端末暗証番号を入力して⦿▶[はい]

フォルダを管理する

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[マイピクチャ]▶[→microSD]▶📷▶[フォルダ管理]

- microSD管理画面(☞P.337)で[microSDデータ参照]→[マイピクチャ]を選択して操作することもできます。
- [GPS]/[その他]の場合は、microSD管理画面(☞P.337)で[microSDデータ参照]→[GPS]/[その他]を選択し、📷を押して[フォルダ新規作成]を選択します。

2 [フォルダ新規作成]▶作成するフォルダを選択

フォルダ	カメラフォルダ	デコメ絵文字
	その他静止画	

3 フォルダ名を入力して◉

- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- microSDメモリーカードの空き容量がない場合、microSDメモリーカード内にフォルダを新規作成することはできません。
- フォルダ名は最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。
- [移行可能コンテンツ]フォルダ内のフォルダ名は、最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。マンガ・ブックリーダーのフォルダ名は、最大全角・半角64文字まで入力できます。

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[マイピクチャ]▶[→microSD]▶フォルダを選んで📷▶[フォルダ管理]

- microSD管理画面(☞P.337)で[microSDデータ参照]→[マイピクチャ]を選択して操作することもできます。
- [GPS]/[その他]の場合は、microSD管理画面(☞P.337)で[microSDデータ参照]→[GPS]/[その他]を選択し、フォルダを選んで📷を押して[フォルダ名編集]を選択します。

2 [フォルダ名編集]▶フォルダ名を編集して◉

- フォルダ名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- 自分で作成したフォルダ以外は編集できません。ただし、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のフォルダ名は編集できます。

フォルダを削除する<削除>

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[マイピクチャ]▶[→microSD]▶フォルダを選んで📷▶[削除]

- microSD管理画面(☞P.337)で[microSDデータ参照]→[マイピクチャ]を選択して操作することもできます。
- [GPS]/[その他]の場合は、microSD管理画面(☞P.337)で[microSDデータ参照]→[GPS]/[その他]を選択し、フォルダを選んで📷を押して[削除]を選択します。フォルダの1件削除を行うことができます。

2 削除方法を選択

フォルダを1件削除する	[フォルダ1件削除]→端末暗証番号を入力して◉→[はい]
複数のフォルダをまとめて削除する	[フォルダ選択削除]→フォルダを選択(くり返し可)→📷→端末暗証番号を入力して◉→[はい] ● すべてを選択/解除する場合は、i(全選択)/i(全解除)を押します。
すべてのデータを削除する(フォルダは残す)	[全件削除(フォルダ残)]→端末暗証番号を入力して◉→[はい]
すべてのフォルダおよびデータを削除する	[全件削除(フォルダ消)]→端末暗証番号を入力して◉→[はい]

お知らせ

- [移行可能コンテンツ]フォルダ内の先頭に表示されるフォルダは、自動的に作成されるフォルダであり、フォルダ削除を行っても削除されません。
- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。

データを管理する

- 機能や画面によってサブメニューの番号やメニュー名が異なる場合があります。

データの詳細情報を表示する<情報表示>

例:電話帳の場合

1 待受画面で📖▶📷▶[microSDデータ参照]▶データを選んで📷▶[情報表示]

- microSD管理画面(☞P.337)で[microSDデータ参照]→[電話帳]を選択して操作することもできます。
- 確認を終わるときは◉を押します。

■ データを削除する<削除>

例：電話帳の場合

1 待受画面で[📖] ▶ [📷] ▶ [microSDデータ参照]

- microSD管理画面（☞P.337）で[microSDデータ参照]→[電話帳]を選択して操作することもできます。
- [GPS]／[その他]の場合は、microSD管理画面（☞P.337）で[microSDデータ参照]→[GPS]／[その他]を選択し、フォルダを選択します。

2 データを選んで[📷] ▶ [削除]

3 削除方法を選択

データを1件削除する	[1件削除]→[はい]
複数のデータをまとめて削除する	[選択削除]→名前を選択（くり返し可）→[i]→[はい]
フォルダ内のすべてのデータを削除する	[フォルダ内全件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]

■ データを別のフォルダに移動する

[GPS]／[その他]のデータを別のフォルダに移動します。

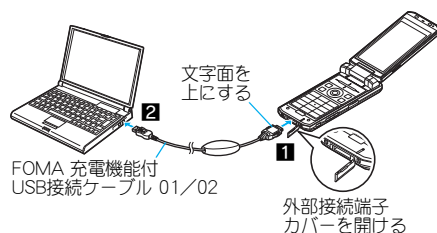
- [GPS]／[その他]以外の操作方法については、各機能の説明ページを参照してください。

1 microSD管理画面（☞P.337）で[microSDデータ参照] ▶ [GPS]／[その他]

2 フォルダを選択 ▶ データを選んで[📷] ▶ [移動] ▶ 移動先フォルダを選択

microSDリーダーライターとして使う <USBモード設定>

FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）でパソコンに接続し、パソコンからmicroSDメモリーカードのデータの読み込みや書き込みをすることができます。

通信モード	パケット通信、64Kデータ通信、データの送受信（OBEX™通信）をするときのモードです（☞P.446）。
microSDモード	microSDメモリーカードのデータを読み込み／書き込みするときのモードです。
MTPモード	Windows Media Player 10／11を利用してmicroSDメモリーカードに音楽データを転送するときのモードです。登録方法については、P.382を参照してください。

1 待受画面で⦿ ▶ [LifeKit] ▶ [microSD管理] ▶ [USBモード設定]

- 待受画面で⦿を押し、[設定]→[一般設定]→[USBモード設定]を選択しても操作できます。
- USBモード設定を行う前に操作3～4を行うと、FOMA通信設定ファイル（☞P.448）をインストール済みのパソコンの場合、待受画面に[USB]（USBモード設定）が表示されます。待受画面で⦿を押し、[USB]（USBモード設定）を選択するとUSBモード設定画面が表示されます。

2 [microSDモード] ▶ [はい]

- MTPモードにするときは、[MTPモード]→[はい]を選択します。microSDメモリーカードが挿入されていない場合や正しく認識されていない場合は、MTPモードを選択できません。

3 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02のFOMA端末側コネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む（1）

4 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02のパソコン側コネクタをパソコンのUSBコネクタに差し込む（2）

- 通信モードに戻るときは、サイドボタン以外のいずれかのボタンを押し、[はい]を選択します。または、パソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外し、何も操作しないでそのままにしておくと、約90秒後、自動的に通信モードに切り替わります。

データ表示／編集／管理

次ページへ続く

● FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外すときは、パソコンで、各OSのハードウェアの安全な取り外し方法を実行してください。

お知らせ

● FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして利用するには、次の機器が必要です。

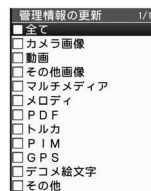
項　目	説　明
接続ケーブル	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）
パソコン	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（いずれも日本語版）

● パソコンなどでフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしてください。
● FOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
● FOMA端末の電池残量が十分残っていることを確認してください。電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。また、パソコンの電源についても確認してください。
● microSDリーダーライターとして使うときは、あらかじめmicroSDメモリーカードが挿入されていることを確認してください。
● microSDモードへの切り替え中やmicroSDモード中はmicroSDメモリーカードを抜かないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
● データの読み込み／書き込み中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
● microSDモード、MTPモード中は、TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッドは無効です。

microSDメモリーカードの管理情報を更新する<管理情報の更新>

microSDメモリーカードを他の機器で利用（データ編集や追加、削除など）した場合、microSDメモリーカードの管理情報を更新する必要があります。

● 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。
● microSDメモリーカードの空き容量がないときは、管理情報を更新できない場合があります。
● FOMA端末で管理情報を更新しないと、microSDメモリーカードが正しく動作しない場合があります。
● microSDメモリーカード内のファイル数やデータ量によっては、管理情報の更新が完了するまで時間がかかることがあります。
● 他の機器で書き込んだデータを利用するときは、管理情報の更新が必要な場合があります。
● 管理情報の更新を行うと、GIF画像、動画、［その他画像］内のデータ、［マルチメディア］内のデータのタイトル名は消去されますので、ご注意ください。ただし、オリジナルタイトルの付いたｉモーションとメロディのタイトル名は消去されません。
● 更新中はmicroSDメモリーカードを抜かないでください。

1 待受画面で◉▶［LifeKit］▶［microSD管理］▶［管理情報の更新］

2 項目を選択

● マークが［☑］に変わります。［☑］が選択、［□］が解除の状態です。項目を選択すると、選択と解除を交互に切り替えることができます。管理情報を更新する項目をすべて選択します。
● ［全て］を選択したときは、［はい］を選択すると管理情報更新が開始されます。

3 ［i］（完了）▶［はい］

お知らせ

● 更新中に音声電話やテレビ電話を受けたり、メールを受けることもできますが、次の機能はご利用になれません。
■ ｉアプリ ■ 静止画・動画撮影
■ バーコードリーダー ■ ドキュメントビューア
■ 赤外線受信 ■ SDオーディオ
■ プリント指定（DPOF）
■ microSDメモリーカードのメモリ確認
■ 電話帳、メール、スケジュール、テキストメモ、マンガ・ブックリーダー、トルカ、BookmarkおよびデータBOXのマイピクチャ・ｉモーション・メロディ・マイドキュメント・ミュージック・きせかえツールからのmicroSDデータ参照

パソコンなどで作成したデータをFOMA端末で確認する<インポート>

パソコンなどで作成したデータ（電話帳、メール、スケジュール、テキストメモ、データBOXの静止画、動画／ｉモーション、メロディ、PDF）を、microSDメモリーカードを経由して、FOMA端末で確認できます。

1 待受画面で◉▶［LifeKit］▶［microSD管理］▶［インポート］

データ表示／編集／管理

2 機能を選択

- 該当するデータがないときは、[microSDデータがありません]と表示されたあと、操作1の画面に戻ります。
- 選んだ機能のデータ(ファイル名)が表示されます。
- データを削除するときは、📷を押して[削除]を選択します。以降の操作は通常のデータの削除と同様です。
- FOMA端末(本体)へコピーするときは、📷を押して[本体へ1件コピー]を選択します。以降の操作は通常のデータのコピーと同様です。
- ファイル名に特殊な記号やカタカナが含まれている場合は、データをコピーできない場合があります。
- データ情報を確認するときは、📷を押して[情報表示]を選択します。パソコンなどで作成したデータは、タイトル情報がない場合があります。

3 データを選択

お知らせ

- メロディの場合、FOMA端末(本体)へのコピーは100Kバイト、microSDメモリーカード上の再生は200Kバイトまで可能となります。JPEG画像・GIF画像・PDFデータは2Mバイト、Flash画像は100Kバイト、動画は10MバイトまでFOMA端末(本体)にコピーできます。
- バックアップデータをインポートフォルダに入れた場合、バックアップデータ内の最初の1件のみを表示します。
- 横3840×縦3840ドットを超える静止画(JPEG/GIF)は表示できない場合があります。大きな画像は、画像一覧用の画像を表示する場合もあります。
- PDFデータの場合、インポートフォルダにある状態で表示できません。本体にコピーしてから表示してください。
- 次の場合は、添付ファイルの一部または全部が削除されます。
  - ■ 添付ファイルの合計が2Mバイトを超えるメール
  - ■ 添付ファイルが合計11件以上添付されているメール
- インポートフォルダのデータについては、次のようなファイル名の制限があります。制限を超えているデータは表示されず、インポートできませんのでご注意ください。
  - ■ PIMデータ、静止画、動画、メロディは、全角・半角を問わず228文字以内(拡張子を除く)
  - ■ PDFデータは、全角・半角を問わず60文字以内(拡張子を除く)
- ファイル名が英小文字で8文字以下の場合、インポートフォルダでは英大文字で表示・インポートされます。

データを管理する

データBOXには次のフォルダがあります。

データBOX
- マイピクチャ
  FOMA端末で撮影した静止画やダウンロードした画像が保存されます(☞P.312)。
- ミュージック
  着うたフル®が保存されます(☞P.381)。
- Music&Videoチャネル
  取得したMusic&Videoチャネルの番組が保存されます(☞P.380)。
- iモーション
  FOMA端末で撮影した動画や録音した音声、取得したiモーションが保存されます(☞P.321)。
- ワンセグ
  FOMA端末でビデオ録画したワンセグの番組が保存されます(☞P.327)。
- メロディ
  メロディが保存されます(☞P.333)。
- マイドキュメント
  PDFデータが保存されます(☞P.358)。
- きせかえツール
  きせかえツールが保存されます(☞P.134)。
- キャラ電
  キャラ電が保存されます(☞P.330)。
- プリント指定(DPOF)
  microSDメモリーカードに保存された静止画のプリント指定の枚数などが、microSDメモリーカードに保存されます(☞P.373)。

- キャラ電のデータ管理についてはP.332、ビデオファイルのデータ管理についてはP.329を参照してください。

フォルダを管理する

データBOXのマイピクチャ、ミュージック、iモーション、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、キャラ電にそれぞれ最大20個のフォルダを作成して、データを管理できます。

- キャラ電のフォルダ管理については、P.331を参照してください。

■ フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[マイピクチャ]▶📷▶[フォルダ管理]

2 [フォルダ新規作成]▶フォルダ名を入力して◉

- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- フォルダ名は最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

例：マイピクチャの場合

1 **待受画面で◉▶［データBOX］▶［マイピクチャ］▶フォルダを選んで📷▶［フォルダ管理］**

2 **［フォルダ名編集］▶フォルダ名を編集して◉**

- フォルダ名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- 自分で作成したフォルダ以外は編集できません。

フォルダを削除する<削除>

例：マイピクチャの場合

1 **待受画面で◉▶［データBOX］▶［マイピクチャ］▶フォルダを選んで📷▶［削除］**

2 **削除方法を選択**

フォルダを1件削除する	［フォルダ1件削除］→端末暗証番号を入力して◉→［はい］
複数のフォルダをまとめて削除する	［フォルダ選択削除］→フォルダを選択（くり返し可）→📷→端末暗証番号を入力して◉→［はい］ ● すべてを選択／解除する場合は、▮（全選択）／▮（全解除）を押します。
すべてのデータを削除する（フォルダは残す）	［全件削除（フォルダ残）］→端末暗証番号を入力して◉→［はい］
すべてのフォルダおよびデータを削除する	［全件削除（フォルダ消）］→端末暗証番号を入力して◉→［はい］

お知らせ

- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。
- 保存されているデータごと削除されます。
- フォルダ内に待受画面や着信音などの各種機能に設定されているデータが保存されているときは、フォルダ削除できません。設定を解除して、やり直してください。
- フォルダを全件削除した場合［デコメピクチャ］フォルダ、［デコメ絵文字］フォルダにお買い上げ時に登録されているデコメ画像もすべて削除されます。
- お買い上げ時に登録されているデコメ画像を削除後にもう一度ご利用になる場合は、i Menu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードできます（☞P.191）。

フォルダのセキュリティを設定する <フォルダセキュリティ>

マイピクチャ、iモーション、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、キャラ電の自分で作成したフォルダにフォルダセキュリティを設定できます。

- フォルダセキュリティを［ON］に設定すると、フォルダのマークが［🗀］に変わります。

例：マイピクチャの場合

1 **待受画面で◉▶［データBOX］▶［マイピクチャ］▶フォルダを選んで📷▶［フォルダ管理］▶［フォルダセキュリティ］**

2 **端末暗証番号を入力して◉**

3 **［ON］／［OFF］**

データを管理する

データの削除や並べ替えなどができます。

- 機能や画面によってサブメニューの番号やメニュー名が異なる場合があります。

タイトルを変更する<タイトル編集>

例：マイピクチャの場合

1 **待受画面で◉▶［データBOX］▶［マイピクチャ］▶フォルダを選択▶データを選んで📷▶［データ編集］**

2 **［タイトル編集］▶タイトルを編集して◉**

- タイトルを削除するときは、タイトル編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- タイトル名はデータ一覧などで表示される名前です。また、ファイル名はデータをiモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。
- 最大全角25文字（半角50文字）まで入力できます。iモーションの場合は、最大全角18文字（半角36文字）まで入力できます。
- ミュージック、iモーション、メロディ、きせかえツール、キャラ電は、［タイトル編集］を選択したあと、［直接入力］／［オリジナルタイトルに戻す］を選択します。
- 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角8文字（半角16文字）です。全角8文字（半角16文字）を超える場合は、全角7文字（半角14文字）まで表示され、以降は「…」の表示となります。

ファイル名を変更する<ファイル名編集>

例：マイピクチャの場合

1 **待受画面で◉▶［データBOX］▶［マイピクチャ］▶フォルダを選択▶データを選んで📷▶［データ編集］**

2 **［ファイル名編集］▶ファイル名を編集して◉**

- ファイル名を削除するときは、ファイル名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- ファイル名は、最大半角36文字まで入力できます。

お知らせ

- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータや、i モードメールに添付されているデータ、i アプリから保存したデータで、ファイル制限が[あり]のデータや、テレビ電話中に撮影した静止画メモ、ワンセグを静止画録画した画像、microSDメモリーカードに保存されているデータのファイル名は編集できません。

■データを並べ替える<ソート>

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

- ソートを実行したあと、表示を終了しても、その設定は継続されます。

日付順(新→旧)※1	保存した日付の新しい順
日付順(旧→新)※1	保存した日付の古い順
タイトル名順※2	タイトルによって、(半角数字→半角英大文字→半角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→半角カタカナ)の順
ファイル取得元順※3※4	取得元によって、空白→i モード→カメラ→データ交換→テレビ電話の順
サイズ順(大→小)	サイズの大きい順
サイズ順(小→大)	サイズの小さい順

※1 microSDメモリーカード内データのファイル制限を変更すると日時情報が更新され、情報表示の保存日時で表示される日時と日付順でソートした結果が一致しない場合があります。

※2 FOMA端末(本体)のマイピクチャのデータの場合は、半角数字→半角英大文字→半角英小文字→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→半角カタカナ→絵文字の順になります。

※3 データの種類により取得元は異なります。

※4 microSDメモリーカード内データの場合は選択できません。

- ワンセグのソートについては、P.330を参照してください。
- ミュージックのソートについては、P.388を参照してください。

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶📷▶[マイピクチャ設定]

2 [ソート]▶ソート方法を選択

■データを別のフォルダに移動する <フォルダ間移動>

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶データを選んで📷▶[移動/コピー]

2 [フォルダ間移動]▶移動方法を選択

データを1件移動する	[1件移動]→フォルダを選んで📷
複数のデータをまとめて移動する	[選択移動]→データを選択(くり返し可)→📷→フォルダを選んで📷 ● すべてを選択/解除する場合は、i(全選択)/i(全解除)を押します。
フォルダ内のすべてのデータを移動する	[フォルダ内全件移動]→端末暗証番号を入力して◉→フォルダを選んで📷

お知らせ

- 自分で作成したフォルダがないときは、移動できません。
- 自分で作成したフォルダからお買い上げ時のフォルダへ移動するときは、1件移動しかできません。
- microSDメモリーカードの場合、移動先フォルダ内の静止画や動画/i モーション、メロディ、PDFのデータ数が400件を超えると、超えた分のデータは移動できません。
- microSDメモリーカードの[マルチメディア]フォルダ内のデータは[カメラフォルダ]には移動できません。
- FOMA端末(本体)にて、データを別のフォルダに移動中、CLRまたは⏎を押すと[中止処理中]と表示されますが、移動処理は中止されません。

■詳細情報を表示する<情報表示>

表示される情報は、次のとおりです。

- キャラ電の情報表示については、P.332を参照してください。
- Music&Videoチャネルの情報表示については、P.380を参照してください。

項目	マイピクチャ	ミュージック	i モーション	ワンセグ	メロディ	PDF	きせかえツール
保存日時	○	○	○	○	○	○	○
保存日時(Exif)※1(カメラ撮影画像のみ)	○	–	–	–	–	–	–
作成日時	–	–	–	–	○(MFiのみ)	○	–
表示サイズ※2(Flash画像を除く)	○	–	○	–	–	–	–
ファイルサイズ	○	○	○	○	○	○	○
ファイルサイズ(映像部)(JPEG画像のみ)	○	–	–	–	–	–	–
ファイル形式(Flash画像を除く)	○	○	○	○	○	○	–
ファイル制限[あり/なし]	○	○	○	○	○	○	○
音色設定※1	–	○	○	–	○	–	–
画面設定※1	○	–	○	–	–	–	–
電話帳設定※1	○	○	○	–	○	–	–
スケジュール設定※1	○	○	○	–	○	–	–

項　目	マイピクチャ	ミュージック	iモーション	ワンセグ	メロディ	PDF	きせかえツール
テレビ電話設定※1	○	–	–	–	–	–	–
伝言メモ設定※1	○	–	–	–	–	–	–
所有者情報設定※1	○	–	–	–	–	–	–
デイリーアラーム設定※1	–	○	○	–	○	–	–
作成者	–	–	○	–	–	–	–
コピーライト	–	–	○	–	–	–	–
説明	–	–	○	–	–	–	–
タイトル	–	○	–	–	–	–	–
アーティスト	–	○	–	–	–	–	–
アルバム	–	○	–	–	–	–	–
年	–	○	–	–	–	–	–
ジャンル	–	○	–	–	–	–	–
コメント	–	○	–	–	–	–	–
トラック番号	–	○	–	–	–	–	–
作曲者	–	○	–	–	–	–	–
作詞者	–	○	–	–	–	–	–
権利者	–	○	–	–	–	–	–
販売元	–	○	–	–	–	–	–
権利情報	–	○	–	–	–	–	–
著作権管理※3	–	○	–	–	–	–	–
レーベル	–	○	–	–	–	–	–
URL情報	–	○	–	–	–	–	–
ファイル名	○	○	○	○	○	○	○
撮影日時(JPEG画像のみ)	○	–	–	–	–	–	–
オリジナルタイトル	–	○	○	–	○	–	○
再生回数制限[MobileMP4／MP4]※4	–	○	○	–	–	–	–
再生期限制限[MobileMP4／MP4]※4	–	○	○	–	–	–	–
再生期間制限[MobileMP4／MP4]※4	–	○	○	–	–	–	–
音[AAC／AMR／HE-AAC／Enhanced aacPlus／WMA／不明／ビットレート(ミュージックのみ)]※5	–	○	○	–	–	–	–
取得元	○	○	○	○	○	○	○
着信音設定[可／不可]	–	–	○	–	–	–	–
着信画面設定[可／不可]	–	–	○	–	–	–	–
まるごと着信音設定[可／不可]	–	○	–	–	–	–	–
オススメ着信音設定[可／不可]	–	○	–	–	–	–	–
保存可能ジャケット画像[あり／なし]	–	○	–	–	–	–	–
保存可能画像[あり／なし]	–	○	–	–	–	–	–
保存可能歌詞[あり／なし]	–	○	–	–	–	–	–
再生時間	–	○	–	–	–	–	–
カラーテーマ変更[あり／なし]	–	–	–	–	–	–	○
文字サイズ設定[大きめ／標準／なし]	–	–	–	–	–	–	○
microSDへの移動[可／不可／可(同一機種間)]※6※7	○	○	○	○	○	○	○
録画開始時間	–	–	–	○	–	–	–
録画終了時間	–	–	–	○	–	–	–
チャンネル名	–	–	–	○	–	–	–
番組名	–	–	–	○	–	–	–

※1 microSDメモリーカードの情報表示では、表示されません。
※2 表示サイズは数値(ドット)で表示されます。
※3 WMAファイルのとき、表示されます。
※4 再生制限がないとき、iモーションの場合は表示されません。ミュージックの場合は再生制限が[なし]と表示されます。
※5 音声のない動画／iモーションの場合は、表示されません。
※6 コピー可能なコンテンツは[可]で表示されます。
※7 microSDメモリーカード内データの場合は、[本体への移動]となります。

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択

2 データを選んで📷▶[情報表示]

- 確認を終わるときは◉またはCLRを押します。

静止画や動画のFOMA端末外への出力を制限する<ファイル制限>

静止画や動画のメール添付や、FOMA端末外への出力ができないように設定できます。

- FOMA端末で撮影したデータをファイル制限設定すると、お客様がiモードメールに添付して送信することはできますが、受け取った相手がさらに他の方に送信することはできなくなります。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータや、iモードメールに添付されているデータ、テレビ電話中に撮影した静止画メモ、iアプリから保存したデータのファイル制限設定を変更することはできません。
- FOMA SH905iで撮影、または編集して作成したデータのみ設定を変更できます。

● FOMA SH905iで撮影した動画であっても、サイトやインターネットホームページから取得したｉモーションや、ｉモーションメールの本文中に表示されているURLから取得したｉモーションのファイル制限設定を変更することはできません。

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［マイピクチャ］▶フォルダを選択

2 データを選んで📷▶［データ編集］▶［ファイル制限］▶［あり］

■ データを削除する＜削除＞

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で◉▶［データBOX］▶［マイピクチャ］▶フォルダを選択

2 データを選んで📷▶［削除］

● microSDメモリーカード内のデータを削除するときは、フォルダ一覧画面で［→microSD］を選択してフォルダを選択し、データを選んで📷を押し、［削除］を選択します。

3 削除方法を選択

データを１件削除する	［１件削除］→［はい］
複数のデータをまとめて削除する	［選択削除］→データを選択（くり返し可）→📷→［はい］ ● すべてを選択／解除する場合は、📱（全選択）／📱（全解除）を押します。
フォルダ内すべてのデータを削除する	［フォルダ内全件削除］→端末暗証番号を入力して◉→［はい］

お知らせ

● 待受画面や着信音などの各種機能に設定されているデータは、フォルダ内全件削除では削除できません。
● マイピクチャの［プリインストール］フォルダ内のデータと、メロディの［プリインストール］フォルダ内のデータは削除できません。

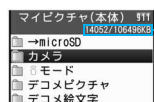
メモリの使用状況を確認する

■ FOMA端末（本体）のメモリ使用状況を確認する

データBOXのフォルダ一覧画面やデータ一覧画面で、画面右上にFOMA端末（本体）のメモリ使用状況を示す数値が表示されます。

● ミュージックのデータ種別選択画面（☞P.386）では表示されません。

マイピクチャ（本体）
14052/106496KB
→microSD
カメラ
ｉモード
デコメピクチャ
デコメ絵文字

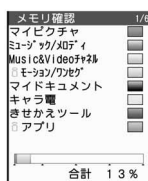
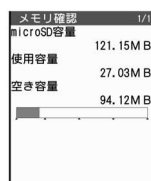
メモリ使用量／メモリ全体

マイピクチャのフォルダ一覧画面の場合

■ 各項目ごとのメモリ使用状況を確認する ＜メモリ確認＞

確認できる内容は次のとおりです。

項　目	内　容
電話帳	登録件数・シークレット件数
スケジュール	残り件数・登録件数・シークレット件数
ブックマーク、テキストメモ	残り件数・登録件数
受信BOX、送信BOX、未送信BOX、メッセージR／F、画面メモ、デコメールテンプレート、トルカ	使用率（%）
マイピクチャ、ミュージック／メロディ、Music&Videoチャネル、ｉモーション／ワンセグ、マイドキュメント、キャラ電、きせかえツール、ｉアプリ	合計の使用率（%）
microSDメモリーカード	容量・使用容量・空き容量
FOMAカード	電話帳残り件数・登録件数・SMS使用率（%）

● シークレットデータの件数は、シークレットモードを［ON］に設定しているときのみ表示されます（☞P.149）。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［一般設定］▶［確認］▶［メモリ確認］

FOMA端末（本体）

microSDメモリーカード

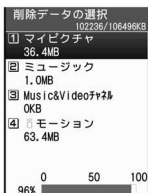
FOMAカード

● microSDメモリーカードやFOMAカードのメモリ使用状況を確認するときは、📱（→microSD）を押すと、microSDメモリーカード使用状況が表示されます。もう一度📱（FOMAカード）を押すと、FOMAカードの使用状況が表示されます。
● 現在のメモリの使用状況が表示されます。
● 各画面のインジケータ、および目盛は目安です。
● FOMA端末（本体）のメモリ確認中に、他の機能のメモリ使用状況を表示するときは、◈を押します。
● 確認を終わるときは、◉、CLRまたは⌐を押します。
● 電話帳やスケジュールの登録件数はシークレットデータを含んで表示されます。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

メモリが足りなくなったり、保存件数をオーバーしたときは、データやファイルを保存できません。microSDメモリーカードなどに保存したり、不要なファイルの削除をおすすめします。

- 保存件数を超えたときは、メモリに空きがあっても保存できません。不要なデータを削除してから保存してください。
- 画像や着うたフル®、iモーション、メロディ、キャラ電、iアプリのソフト、PDFデータ、きせかえツールを保存するときにメモリが足りなくなったときは、[メモリが不足しているか保存可能件数を超えました。上書きしますか？]と表示され、不要なデータやファイルを削除して保存できます。
- サイトやインターネットホームページから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているデータを、microSDメモリーカードに保存するときにメモリが足りなくなったときは、上書き確認画面が表示され、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを削除して保存することができます。

1 上書き確認画面で[はい]

2 データの種類を選択 ▶ フォルダを選択

3 データを選択

- [☑]が選択、[☐]が解除の状態です。データを選択すると、選択と解除を交互に切り替えることができます。
- メモリの確保状態が100%になるまでデータを選択します。

4 i(完了) ▶ [はい]

赤外線通信

赤外線通信について

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、電話帳やスケジュール、メール、静止画などのデータを送受信したり、iアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能を搭載した機器と連動したりできます。

- FOMA端末の赤外線通信機能は、IrMC™1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC™1.1規格に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- FOMA SH905iから他のFOMA端末へデータBOX内のデータ(マイピクチャ、iモーション、メロディなど)を赤外線通信で送信できない場合があります。
- 赤外線通信中は圏外と同じ状態になります。そのため、着信、通話、iモード、iモードメール送受信、SMS送受信、エリアメール受信、メッセージR／F受信などはできません。
- 通話中は、赤外線通信できません。
- FOMA端末の赤外線受信機能、および赤外線送信可能なデータの1件送信はIrSimple™1.0規格に対応しています。
- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像やメールに添付されたJPEG画像は、高速赤外線通信で送信することができます(IrSS™機能※)(☞P.223、P.315)。
  ※ IrSS™機能とは、IrSimple™1.0規格準拠の片方向通信機能(Home Appliance Profile)です。

各種ロック中の動作について

- オールロック中やセルフモード中は、赤外線通信できません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳や所有者情報の送受信ができません。
- 機能別ロック中は、ロックされている機能のデータの受信ができません。たとえば、電話帳の機能別ロック中、電話帳を受信できません。ただし、機能別ロックを一時解除することで送信することができます。

赤外線通信を行うと

赤外線通信機能では、次のデータを送受信できます。

FOMA端末から送信できるデータ

機能	1件	全件	備考
電話帳	○	○	1件送信ではグループ情報、プッシュトーク電話番号、プッシュトークグループ情報は送信されません。シークレット登録した電話帳はシークレットモードを[ON]に設定しないと1件送信できません。シークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ色、指定メール着信ランプ色、指定着信ランプパターン、指定メール着信ランプパターン、代替画像設定は送信できません。電話帳全件送信は、所有者情報(Aナンバーのみ)も送信されます。また、シークレット登録した電話帳も送信されます。
スケジュール	○	○	シークレット登録したスケジュールはシークレットモードを[ON]に設定しないと1件送信できません。なお、全件送信の場合、シークレットで登録されたデータも送信されます。アラーム時刻以外のアラーム情報(鳴動時間、アラーム音選択、アラーム音量選択)および連絡先、画像設定の情報は送信されません。また、終了日時が設定されていないデータは、終了日時に開始日時を設定して送信されます。視聴予約や録画予約は送信されません。
テキストメモ	○	○	－

機　能	1件	全件	備　考
iモードメール、SMS、エリアメール	○	○	貼り付けられたデータ、添付ファイル、保護メールも送信されます。添付不可のデータは送信できません。 フォルダ情報は送信できません。 100Kバイトを超えるメール（添付ファイルを含む）を赤外線通信で送信した場合、相手に正しく送信できないことがあります。
ブックマーク	○	○	iモードブックマーク、フルブラウザブックマークどちらも送信できます。フォルダ情報は送信できません。
データBOXの静止画、動画／iモーション、メロディ、PDF	○	×	サイトやインターネットホームページからダウンロードしたり、受信したiモードメールに添付されたデータで、ファイル制限ありのデータは送信できません。 FOMA端末にあらかじめ内蔵されているデータは送信できません。送信できるデータはJPEG画像・GIF画像2Mバイト、Flash画像100Kバイト、動画2Mバイト、メロディ100Kバイト、PDF 2Mバイトまでです。
所有者情報	○	※	受信側では電話帳として保存されます。 ※ 電話帳の備考覧参照
トルカ	○	○	1Kバイトを超えるトルカ、100Kバイトを超えるトルカ（詳細）、再配布不可のトルカおよび利用済みトルカは送信できません。フォルダ情報は送信できません。
現在地通知先	○	○	－

FOMA端末で受信できるデータ

機　能	1件	全件	格納場所	格納順
電話帳	○	○	電話帳	1件受信時メモリ番号は[010]以降で一番小さい空き番号が自動的に付加されます。電話帳全件受信は、ご契約の電話番号以外の所有者情報は上書きされます。名前が未登録のデータが送信されたときは[No Name]と表示されます。
スケジュール	○	○	スケジュール	開始日時順に登録されます。
テキストメモ	○	○	テキストメモ	最終修正日時順に登録されます。
iモードメール、SMS、エリアメール	○	○	iモードメール、SMS	受信日時／送信日時／保存日時順に登録されます。
ブックマーク	○	○	ブックマーク	1件受信時は一番上に登録されます。全件受信時は利用された古い順に登録されます。
データBOXの静止画、動画／iモーション、メロディ、PDF	○	×	データBOXのマイピクチャ、iモーション、メロディ、マイドキュメント	該当フォルダ内の[外部取得データ]フォルダの一番上に登録されます。
所有者情報	○	※	電話帳	1件受信時メモリ番号[010]以降で一番小さい空き番号に保存されます。 ※ 電話帳の格納順覧参照
トルカ	○	○	トルカ	－
現在地通知先	○	○	現在地通知先一覧	－

お知らせ

- microSDメモリーカード内のデータは送受信できません。ただし、microSDメモリーカード内のJPEG画像は、赤外線通信や高速赤外線通信（IrSS™機能）を利用して送信できます。
- 全件受信時に上書きを選択すると、該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- FOMAカード電話帳は送受信できません。
- ブックマーク、iモードメール、SMS、トルカを送受信した場合、フォルダ分けの設定は反映されません。

電話帳の1件送受信について
- 受信した電話帳のデータは、メモリ番号[010]以降で一番小さい空き番号が自動的に付加されます。ただし、[010]以降に空きがないときは、[000]以降の空き番号に付加されます。
- グループ番号はすべて[グループなし]になります。

電話帳の全件受信について
- 全件受信時は、メモリ番号、シークレット設定、グループ名、グループ番号、プッシュトーク電話番号、プッシュトークグループ名、プッシュトークグループ番号、電話帳2in1設定も登録されます。

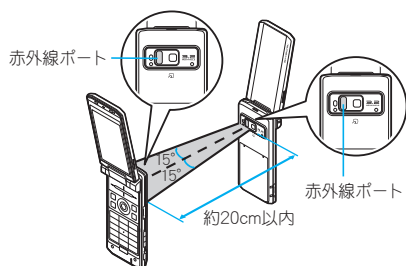
メールの送受信について
- iアプリToが貼り付けられたiモードメールの貼り付け情報は、削除され、送受信されません。
- 受信側の機種によっては、題名が途中までしか受信できないことがあります。

絵文字の送受信について
- 絵文字が登録できる機能については、絵文字を送受信できます。ただし、iモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。iモード端末でも相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。

所有者情報の1件送信について
- 2in1利用時は、2in1のモードによって表示される所有者情報が送信されます。

トルカについて
- トルカによっては、メールに添付して送信したり、赤外線通信で送信したり、microSDメモリーカードにコピーすることができない場合があります。

現在地通知先の受信について
- すでに同じ現在地通知先が登録されている場合、重複して登録されません。

■ 赤外線通信機能をお使いになるときのご注意

- 上の図のように受信側と送信側のFOMA端末の赤外線ポートが約20cm以内に向き合うようにしてください。
- 次のときは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
  - ■ データを受信すると受信側に［○○○保存しますか？］と表示され、［はい］または［いいえ］を選択するまで。
  - ■ データの送受信が終わるまで。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。

お知らせ

- 赤外線通信が正常にできなかったときは、次のメッセージが表示されます。
  ［認証に失敗しました。続けますか？］
  ［接続相手が見つかりません。続けますか？］
  このような場合は、［はい］を選択すると、もう一度通信をやり直すことができます。
- 正常に通信できなかったときは、FOMA端末を近づけてもう一度通信してください。
- 赤外線通信で画像を送信すると元の画像より画質が劣化したりファイルサイズが変わる場合があります。
- IrSS™機能は、片方向通信のため、受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、受信側が受け取れない場合でも送信側は正常に終了します。

認証パスワードについて

全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。

- 端末暗証番号には、FOMA端末に設定されている現在の端末暗証番号を入力します。
- 認証パスワードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。赤外線通信するたびに変更してもかまいません。

データを1件ずつ送受信する

赤外線通信を利用して、FOMA端末のデータを1件ずつ送受信できます。

- 送受信できるデータについては、P.352を参照してください。

データを1件送信する<赤外線送信>

送信したいデータのリスト画面や内容表示画面から操作します。

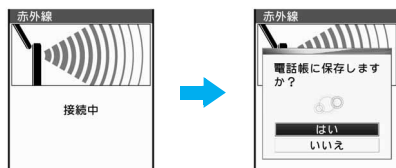
例：電話帳の場合

1 **電話帳リスト画面（☞P.111）や内容表示画面（☞P.111）でデータを選んで📷▶［データ送信］▶［赤外線送信］**

2 **受信側のFOMA端末を1件受信待ち状態にする**

3 **［送信］▶［はい］**

データを1件受信する<赤外線受信>

1 **待受画面で◉▶［LifeKit］▶［赤外線受信］▶［受信］▶［はい］**

電話帳を受信した場合

- データ送信側のFOMA端末で、事前に1件送信状態にしておきます。
- 受信待ち状態になります。30秒以内に送信側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に受信します。

2 **［はい］**

- 電話帳を受信したときは、［プッシュトーク電話帳に登録しますか？］と表示されます。登録するときは［はい］を選択します。電話番号が複数登録されているときは、電話番号を選択します。

- 同じ内容のブックマークが存在するときは、[同一Bookmarkが存在します。保存しますか？]と表示されます。現在のデータに上書きするときは、[はい]を選択します。

お知らせ

- 電話帳を1件受信したときに、2in1のモードを[Bモード]に設定している場合、プッシュトーク電話帳への登録確認画面は表示されません。

データを全件送受信する

赤外線通信機能を利用して、FOMA端末のデータを全件送受信できます。

- 送受信できるデータについては、P.352を参照してください。

データを全件送信する<赤外線全件送信>

送信したいデータのリスト画面から操作します。

例：電話帳の場合

1 電話帳リスト画面（☞P.111）で📷▶[データ送信]▶[赤外線送信]

2 [全件送信]

3 受信側のFOMA端末を全件受信待ち状態にする

4 端末暗証番号を入力して⦿

5 認証パスワード（4桁の数字）を入力して⦿▶[はい]

- 受信側で入力した認証パスワードと一致すると、送信が開始されます。

お知らせ

- ブックマークを全件送信すると、受信側のBookmark一覧画面では利用された古い順に表示されます。
- スケジュールを全件送信するときは、カレンダー画面またはスケジュール全件表示にしてから操作してください。

データを全件受信する<赤外線全件受信>

- 全件受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要です。
- 全件受信すると、受信したデータにより上書きされ、登録していたデータはすべて削除されますので、ご注意ください。

1 待受画面で⦿▶[LifeKit]▶[赤外線受信]▶[全件受信]▶[はい]

2 端末暗証番号を入力して⦿

3 送信側のFOMA端末を全件送信状態にする

- 送信側で入力した認証パスワードを覚えておいてください。

4 送信側と同じ認証パスワード（4桁の数字）を入力して⦿

- 30秒以内に相手側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

5 [はい]

- データの受信中に全件受信を中止するときは、📷（中止）を押します。

ｉアプリと連携して赤外線通信を行う

実行中のソフトから、赤外線通信機能（☞P.352）を利用できます。また、赤外線通信からｉアプリを起動できます。

- セルフモード中は、赤外線通信機能を利用できません。
- ｉアプリの機能別ロック中はｉアプリを起動できません。

ｉアプリから赤外線通信を起動する

1 ソフト実行中に、赤外線通信を起動する▶[はい]

- 赤外線通信の起動方法は、ソフトによって異なります。
- 赤外線通信を開始します。
- 赤外線通信を中止するときは、📷を押します。

赤外線通信からｉアプリを起動する

ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からの赤外線通信中に、ｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトを起動できます。

- ｉアプリTo設定を[許可しない]に設定しているときは、赤外線通信からｉアプリを起動できません。
- ｉアプリ待受画面として起動することはできません。

1 待受画面で⦿▶[LifeKit]▶[赤外線受信]▶[受信]▶[はい]

- 受信待ち状態になります。詳しくは、P.354「データを1件受信する」の操作1を参照してください。

2 送信側からｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトが起動する

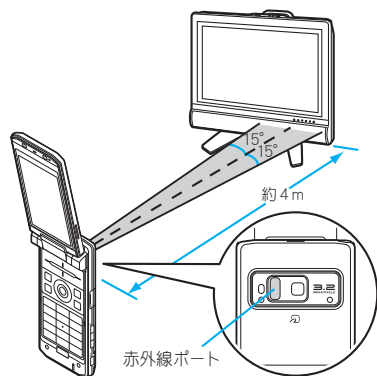
赤外線リモコン

赤外線リモコン機能を利用する

ｉアプリのソフトからFOMA端末の赤外線ポートを利用して、テレビやビデオなど赤外線リモコンに対応した機器を操作できます。

- 赤外線リモコン機能を利用する場合は、赤外線リモコン機能に対応したｉアプリのソフトをダウンロードする必要があります。お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」(☞P.253)は、赤外線リモコン機能に対応しています。
- セルフモード中は、赤外線リモコン機能を使用できません。

リモコン操作を行う

赤外線リモコン機能に対応したｉアプリを起動し、FOMA端末の赤外線ポートをテレビやビデオなどのリモコン受光部の正面に向けて、リモコン操作を行います。

- 実際の操作方法はｉアプリのソフトによって異なります。
- 操作できる距離は、約４mです(相手側の機器や周囲の明るさなどによって、変わります)。
- 赤外線リモコンの送信中は、[ ]が表示されます。

お知らせ

- 相手側の機器によっては、正常に操作できない場合があります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くなどでは、正常に操作できない場合があります。

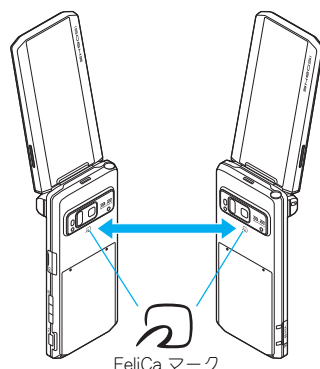
ｉC通信

ｉC通信について

ｉC通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、電話帳やスケジュール、メール、静止画などのデータをｉC通信で送受信できます。

- ｉC通信中は圏外と同じ状態になります。そのため、着信、通話、ｉモード、ｉモードメール送受信、SMS送受信、エリアメール受信、メッセージR／F受信などはできません。
- 通話中は、ｉC通信できません。
- ＩCカードロック中は、ｉC通信できません。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、FeliCa マーク( )どうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- 送受信できるデータや各種ロック中の動作については赤外線通信と同様です。P.352を参照してください。
- 赤外線通信と同様に、実行中のｉアプリのソフトからｉC通信機能を利用できます(☞P.355)。

ｉC通信機能をお使いになるときのご注意

- 受信側と送信側のFOMA端末の FeliCa マーク( )を重ね合わせてご利用ください。データの送受信が終わるまでFOMA端末を動かさないでください。
- ｉC通信中にFOMA端末の着信ランプが点滅します(☞P.137)。

データを１件ずつ送受信する

ｉC通信機能を利用して、FOMA端末のデータを１件ずつ送受信できます。

データを１件送信する<送信>

送信したいデータのリスト画面や内容表示画面から操作します。

例：電話帳の場合

1 電話帳リスト画面(☞P.111)や内容表示画面(☞P.111)でデータを選んで ▶[データ送信]▶[ｉC送信]

2 [送信]▶[はい]

3 相手のFOMA端末と FeliCa マーク（ ）を重ね合わせる

- 送信が完了すると、[通信終了しました]と表示され、元の画面に戻ります。

データを1件受信する<受信>

1 待受画面で相手のFOMA端末と FeliCa マーク（ ）を重ね合わせる

2 [はい]

- 電話帳を受信したときは、[プッシュトーク電話帳に登録しますか？]と表示されます。登録するときは[はい]を選択します。電話番号が複数登録されているときは、電話番号を選択します。
- 受信が完了すると、[通信終了しました]と表示され、待受画面に戻ります。

お知らせ

- 電話帳を1件受信したときに、2in1のモードを[Bモード]に設定している場合、プッシュトーク電話帳への登録確認画面は表示されません。

データを全件送受信する

ｉＣ通信機能を利用して、FOMA端末のデータを全件送受信できます。

- あらかじめ通信相手と認証パスワードを決めておく必要があります。

データを全件送信する<全件送信>

送信したいデータのリスト画面から操作します。

例：電話帳の場合

1 電話帳リスト画面（☞P.111）で📷▶[データ送信]▶[ｉＣ送信]

2 [全件送信]

3 端末暗証番号を入力して⦿

4 認証パスワード（4桁の数字）を入力して⦿▶[はい]

5 相手のFOMA端末と FeliCa マーク（ ）を重ね合わせる

- 送信が完了すると、[通信終了しました]と表示され、元の画面に戻ります。

データを全件受信する<全件受信>

1 待受画面で相手のFOMA端末と FeliCa マーク（ ）を重ね合わせる

2 [はい]

3 端末暗証番号を入力して⦿

4 認証パスワード（4桁の数字）を入力して⦿

5 [はい]

- 受信が完了すると、[通信終了しました]と表示され、待受画面に戻ります。
- データ受信中に全件受信を中止するときは、📷（中止）を押します。

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーとして使う

FOMA端末をボイスレコーダーとして利用できます。ボイスレコーダーは、動画撮影機能を利用したもので、[音声のみ]（映像なし）の動画データとして、microSDメモリーカードの[マルチメディア]フォルダに保存されます。
市販のmicroSDメモリーカードが必要となります（☞P.335）。

- microSDメモリーカードが挿入されていない場合、ボイスレコーダーは選択できません。
- 64MバイトのmicroSDメモリーカードに保存する場合は、最長約10時間です。
- 録音データは、最大400件まで保存できます（録音時間により保存件数は変わります）。
  1件あたり最長6時間まで録音できます。400件を超えて録音しようとした場合、[録音処理に失敗しました]とメッセージが表示されボイスレコーダーが終了します。余分なデータを削除して録音し直してください。
- 録音した音声は、ｉモーションプレーヤー（☞P.321）で再生できます。
- 録音したデータは、ファイル制限なしのファイルとして保存されます。
- 録音距離は、約1.5m以内をおすすめします。
- 録音中にFOMA端末を閉じても録音は継続されます。

録音する

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[ボイスレコーダー]▶◉(録音)または📷(📷)

- 録音を開始すると、シャッター音が鳴り、撮影ランプが自動的に点滅します。録音を終了すると自動的に消灯します。録音中に消灯させることはできません。
- 録音を一時停止するときは[i](一時停止)を押します。録音を再開するときは[i](再開)を押します。

2 録音を止めるときは◉(停止)または📷(📷)

- 残時間表示が00:00:00になったとき(録音中にファイルサイズ制限に達したときや、microSDメモリーカードの空き容量がなくなったとき)は、自動的に録音が停止します。

3 [保存]

- 録音した音声を再生するときは、[再生]を選択します。再生を一時停止するときは◉(ポーズ)、停止するときは📖(停止)を押します。CLRを押すと、元の画面に戻ります。
- 保存しないときは、[取消]→[はい]を選択します。

お知らせ

- 録音中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、録音が自動的に停止し、電話に出ることができます。通話終了後、保存確認画面が表示されます。
- 録音した音声は、iモーションプレーヤーで再生できます。microSDメモリーカードのiモーションのフォルダ一覧画面で[マルチメディア]を選択します(☞P.323)。

ボイスレコーダーの設定を変える

ボイスレコーダーでは次の設定ができます。詳しくは、動画撮影を参照してください(☞P.165)。

データBOXを表示する<データBOX表示>

指定されている保存先フォルダのファイルを表示します。

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[ボイスレコーダー]▶📷▶[データBOX表示]

ノイズキャンセラを設定する<ノイズキャンセラ>

音声のノイズを少なくしたいときに設定します。

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[ボイスレコーダー]▶📷▶[ノイズキャンセラ]▶[ON]

セルフタイマーを設定する<セルフタイマー>

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[ボイスレコーダー]▶📷▶[セルフタイマー]

2 設定時間を選択

設定時間	OFF	ON(5秒)
	ON(2秒)	ON(10秒)

ボイスレコーダーの設定を保持する<レコーダー設定保持>

ボイスレコーダーの設定を記憶しておくことができます。

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[ボイスレコーダー]▶📷▶[レコーダー設定保持]▶[ON]

PDF対応ビューア

PDFデータを表示する

FOMA端末(本体)やmicroSDメモリーカード内のPDFデータを表示することができます。また、サイトやインターネットホームページからPDFデータをダウンロードして表示・保存することもできます(☞P.192)。

- 表示するファイルはあらかじめデータBOXのマイドキュメント、またはmicroSDメモリーカードの¥PRIVATE¥DOCOMO¥DOCUMENT¥PUDxxxフォルダに置いてください。microSDメモリーカードに保存する場合は、保存してからmicroSDメモリーカードの管理情報を更新してください(☞P.337、P.346)。
- microSDメモリーカード内のPDFデータを表示するときは、あらかじめmicroSDメモリーカードを挿入しておいてください。

※ パソコンでは、ファイルの種類を識別するために、ファイル名の末尾に「.pdf」などの拡張子と呼ばれる英数字を付けています(パソコンの設定によっては、表示されない場合があります)。詳しくは、ご使用のパソコンやソフトウェアに付属の取扱説明書などをご覧ください。

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[PDF対応ビューア]

- 待受画面で◉を押し、[データBOX]→[マイドキュメント]を選択しても操作できます。
- microSDメモリーカード内のPDFデータを表示するときは、[→microSD]を選択するか、📷を押して[本体⇔microSD切替]を選択します。

2 フォルダを選択

- 次のページを表示するときは◯、前のページを表示するときは◯を押します。

データ表示／編集／管理

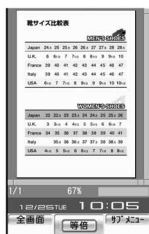
PDFマークの見かた

PDF	すべてのページをダウンロードしたPDFデータ
Data	ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータ
Data	通信が途中で切断された場合など、ダウンロードに失敗したPDFデータ
DL	iモードなどでダウンロードしたPDFデータ
EX	microSDメモリーカード、赤外線通信、iC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02(別売)を利用して取得したPDFデータ
	ファイル制限ありのPDFデータ
	FOMAカード動作制限機能が設定されたPDFデータ

3 ファイルを選択

- 表示倍率などの表示方法が設定されているPDFデータは、設定に従って表示されます。
- ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータの場合、[続きのページをダウンロードしますか？]と表示されることがあります。[はい]を選択すると、続きのページのダウンロードが開始されます。

内容表示画面

- ダウンロードに失敗したPDFデータを選択した場合、[データが不足しています。残り全てをダウンロードしますか？]と表示されます。[はい]を選択すると、ダウンロードが開始されます。

画面スクロールする	上下	上： 下：
	左右	左： 右：
ページ全体を表示する		⦿(フィット)
等倍で表示する ([フィット]表示のとき)		⦿(等倍)
全画面表示する		 ● 全画面表示を終了するときはCLRを押します。
次のページを表示する		(▼ページ)
前のページを表示する		(▲ページ)
終了する		 ● 保存されていないファイルがある場合は、保存確認画面が表示されます。

お知らせ

- マルチメディアの機能別ロック中にファイルを表示するときは、端末暗証番号の入力が必要です。
- 現在のPDFデータの参照先(FOMA端末(本体)またはmicroSDメモリーカード)は、PDF対応ビューアをいったん終了しても記録され、次回PDF対応ビューアを起動したときにも同じ参照先となります。
- PDFデータによってはパスワードの入力が必要な場合があります。パスワード(最大32桁)を入力して⦿を押してください。

お知らせ

- PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントの場合、正しく表示されないことがあります。
- 作成したソフトによっては、表示できない場合があります。
- ファイルによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できない場合もあります。
- ファイル名に、～、‖、－、¢、£、¬が含まれるPDFデータは、非対応となっています。

全画面表示での操作

上下左右に移動する	
拡大／縮小する	3／1
左に90度回転する	2
表示イメージを静止画として保存する	8
前のページを表示する	
次のページを表示する	

内容表示画面の操作方法

- PDF対応ビューアの内容表示画面では次の機能を利用できます。

ズーム(拡大)			画面を倍率10%ずつ拡大表示します。1000%まで拡大表示できます。
ズーム(縮小)			画面を倍率10%ずつ縮小表示します。8％まで縮小表示できます。
表示を回転			画面表示を右または左に90度回転して表示します。
画面設定	ページレイアウト	単一ページ	1ページ単位で表示します。
		連続ページ	複数のページがある場合に、縦に連続して表示します。
		見開きページ	複数のページがある場合に、2ページ単位で左右に並べて表示します。
	表示	全体表示	ページ全体を表示します。
		実際の大きさ	PDFデータのサイズに合わせて表示します。
		幅にあわせる	PDFデータの横幅をディスプレイの横幅に合わせて表示します。
	スクロールバー表示		スクロールバーを表示するかどうかを設定できます。
	ページ番号表示		ページ番号を表示するかどうかを設定できます。
	拡大率表示		拡大率を表示するかどうかを設定できます。
ページ移動	最初のページ		複数のページがある場合に、最初のページに移動します。
	最後のページ		複数のページがある場合に、最後のページに移動します。
	指定のページ		複数のページがある場合に、文書中のページを指定して表示します。

次ページへ続く

しおり・マーク	しおり表示	しおり	あらかじめPDFデータに登録されているしおりのタイトルを最大50件まで表示し、選択したしおりにジャンプします。
		iモードしおり	追加したしおりを表示し、選択されたしおりにジャンプします。しおりの削除やタイトルの変更、詳細情報を表示することもできます。
	iモードしおりの追加		しおりを追加します。拡大率や、回転した状態を保持したまま追加することもできます。最大10件まで登録できます。
	マーク表示		マークの一覧を表示します。マークを削除することができます。
	マークの追加		表示されている画面の中央にマークを追加します。最大10件まで登録できます。
検索			最大全角8文字(半角16文字)までの文字列を検索し、検索結果を反転して表示します。
検索条件設定			検索条件を設定できます。
リンク表示/ビューア表示			リンク表示とビューア表示を切り替えます。リンク表示にすると、ファイル内へのリンクや、Web To、Mail To、Phone To(AV Phone To)などを利用できます。
画面切り出し			画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存することができます。
保存			PDFデータをFOMA端末(本体)やmicroSDメモリーカードに保存します。 ● microSDメモリーカードには、すべてのページをダウンロードしたファイル制限のないPDFデータが保存できます。
情報表示			PDFデータの情報を表示します。表示される情報は保存日時、作成日時、ファイルサイズ、ファイル形式、ファイル制限、ファイル名、取得元、microSDへの移動/本体への移動の可否です。
文書のプロパティ			PDFデータのプロパティを表示します。表示される情報はタイトル、作成者、サブタイトル、キーワード、作成日時、更新日時、アプリケーション、PDF変換です。
ライトアップ			最大の明るさで表示します。
残り全てを取得			ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータや、ダウンロードに失敗したPDFデータの、ダウンロードしていない部分をすべてダウンロードできます。

操作ガイド	操作ガイドブックを呼び出して、操作方法を調べることができます。

画面を拡大/縮小する<ズームイン/ズームアウト>

1 内容表示画面で📷▶[ズーム]

2 ◎でズームの中心位置を画面の中央にスクロール▶📷(拡大)/i(縮小)
- 終了するとき:◉またはCLR

表示を回転する<表示を回転>

内容表示画面で📷▶[表示を回転]▶[右に90°回転]/[左に90°回転]

ページのレイアウトを設定する<ページレイアウト>

内容表示画面で📷▶[画面設定]▶[ページレイアウト]▶ページレイアウトの種類を選択

画面表示方法を設定する<表示>

内容表示画面で📷▶[画面設定]▶[表示]▶表示の種類を選択

スクロールバー、ページ番号、拡大率を表示する<スクロールバー表示、ページ番号表示、拡大率表示>

1 内容表示画面で📷▶[画面設定]

2 [スクロールバー表示]/[ページ番号表示]/[拡大率表示]

3 [ON]

指定したページを表示する<ページ移動>

内容表示画面で📷▶[ページ移動]▶[指定のページ]▶ページ番号を入力して◉
- 最初/最後のページを表示するとき:[ページ移動]▶[最初のページ]/[最後のページ]

しおりを追加する<iモードしおりの追加>

1 内容表示画面で📷▶[しおり・マーク]▶[iモードしおりの追加]

2 [OK]
- しおりのタイトルを編集してから追加するとき:[タイトル編集]▶タイトルを編集して◉
- すでにしおりが10件登録されているとき:[OK]▶[はい]▶上書きするしおりを選択

しおりの一覧を表示する<しおり表示>

1 内容表示画面で📷▶[しおり・マーク]▶[しおり表示]

2 [しおり]/[iモードしおり]

3 しおりにジャンプするときは、しおりを選択
- iモードしおりのタイトルを編集するとき:📷▶[タイトル編集]▶タイトルを編集して◉
- iモードしおりの詳細情報を表示するとき:📷▶[詳細情報]▶確認を終わるときは◉またはCLR

iモードしおりを削除する<削除>

1 内容表示画面で📷▶[しおり・マーク]▶[しおり表示]▶[iモードしおり]▶iモードしおりを選んで📷▶[削除]

2 1件削除するときは[1件削除]
- 複数のiモードしおりをまとめて削除するとき:[選択削除]▶iモードしおりを選択(くり返し可)▶📷
- すべてのしおりを削除するとき:[全件削除]▶端末暗証番号を入力して◉

3 [はい]

マークを追加する<マークの追加>

1 内容表示画面で📷▶[しおり・マーク]▶[マークの追加]

2 [はい]

- すでにマークが10件登録されているとき：[はい]▶上書きするマークを選択

マークの一覧を表示する<マーク表示>

内容表示画面で📷▶[しおり・マーク]▶[マーク表示]

マークを削除する<削除>

1 内容表示画面で📷▶[しおり・マーク]▶[マーク表示]▶マークを選んで📷▶[削除]

2 1件削除するときは[1件削除]

- 複数のマークをまとめて削除するとき：[選択削除]▶マークを選択（くり返し可）▶📷
- すべてのマークを削除するとき：[全件削除]▶端末暗証番号を入力して⦿

3 [はい]

文字列を検索する<検索>

1 内容表示画面で📷▶[検索]▶文字列を入力して⦿

2 続けて次へ検索するときは▣（または、📷▶[次へ検索]）

- 続けて前へ検索するとき：▣（または、📷▶[前へ検索]）
- 新規検索するとき：📷▶[新規検索]▶文字列を入力して⦿
- 検索条件を設定するとき：📷▶[検索条件設定]▶[大文字小文字を区別]／[単語に完全一致]▶[ON]／[OFF]▶📷
- 検索を中止するとき：検索中画面で⦿またはCLR

3 検索モードを終了するときは▮またはCLR

検索条件を設定する<検索条件設定>

1 内容表示画面で📷▶[検索条件設定]

2 [大文字小文字を区別]／[単語に完全一致]

3 [ON]／[OFF]▶📷

リンク表示モードにする<リンク表示>

内容表示画面で📷▶[リンク表示]

- 元の表示に戻すとき：CLR（または、📷▶[ビューア表示]）

表示イメージを静止画として保存する<画面切り出し>

内容表示画面で📷▶[画面切り出し]▶[はい]

ファイルを保存する<保存>

内容表示画面で📷▶[保存]▶フォルダを選択

文書のプロパティを表示する<文書のプロパティ>

内容表示画面で📷▶[文書のプロパティ]

- 確認を終わるとき：⦿またはCLR

ライトアップする<ライトアップ>

内容表示画面で📷▶[ライトアップ]

PDFデータをすべて取得する<残り全てを取得>

内容表示画面で📷▶[残り全てを取得]▶[はい]

操作ガイドを表示する

内容表示画面で📷▶[操作ガイド]

お知らせ

ズームイン／ズームアウトについて

- 操作2をくり返して、ズームの中心位置や倍率を調整できます。

表示を回転について

- 操作するたびに、さらに左（[右90°回転]のときは右）に90度回転して表示します。

ページレイアウトについて

- サイトやインターネットホームページから起動した場合は[単一ページ]で表示されます。

しおり、マークの追加について

- 追加したしおりはしおり一覧、追加したマークはマーク一覧の最後に追加されます。
- microSDメモリーカードや赤外線通信でパソコンなどにPDFデータを移動した場合、追加したしおりが消去される場合があります。
- すでにしおりが10件登録されているときは、タイトルを編集して追加する場合でも、上書き登録されます。

しおり、マークの削除について

- 選択削除の場合、すべてを選択／解除するときは、▮（全選択）／▮（全解除）を押します。

検索について

- 検索文字列入力画面には、前回検索した文字列が表示されます。
- 最後のページまで検索した場合は、先頭から検索するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、先頭から検索します。
- P.361「文字列を検索する」の操作2で新規検索したときは、先頭から検索します。前回の検索結果は消去されます。

リンク表示について

- リンク表示モードにしたときは、画面をスクロールできません。
- Web To、Mail To、Phone To（AV Phone To）については、P.195を参照してください。

画面切り出しについて

- PDFデータのセキュリティ設定によっては、切り出しできない場合があります。
- 画面切り出し表示されている文書のイメージを「待受：480×854」のサイズで切り出して、静止画（JPEG画像）としてFOMA端末（本体）に保存できます。
- FOMA端末外への出力や画面コピーが禁止されているPDFデータから切り出した画像は、FOMA端末外への出力が禁止されますが、microSDメモリーカードに移動できます（コンテンツ移行対応）。

文書のプロパティについて

- PDFデータに設定されていない項目は表示されません。

ショートカットキーについて

- 内容表示画面でよく使う操作は以下のボタンに割り当てられ、ワンタッチで操作可能です。

ボタン	操　作	ページ
✉	前ページ表示	P.359
📖	次ページ表示	P.359
1	ズームアウト※1	P.359
2	左90度回転	P.359
3	ズームイン※2	P.359
4	指定ページへ移動	P.359
5	しおり・マーク	P.359
6	検索	P.359
7	リンク表示	P.359
8	画面切り出し	P.359
9	画面設定	P.359
0	保存	P.359
i	全画面表示	P.359
#を１秒以上押す	ライトアップ	P.359
#	操作ガイド	P.359

※１ ボタンを押すたびに小さくなります。ボタンを押し続けて離すと、押した分だけ小さくなります。
※２ ボタンを押すたびに大きくなります。ボタンを押し続けて離すと、押した分だけ大きくなります。

PDFデータを添付してｉモードメールを送信する

- 送信できるPDFデータのファイルサイズは、最大２Mバイトです。
- FOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているPDFデータは送信できません。

1 **待受画面で◉▶[メディアツール]▶[PDF対応ビューア]▶フォルダを選択▶PDFデータを選んで✉(メール)**

2 **ｉモードメールを作成し、送信する**

- 詳しくは、P.208の操作２～４を参照してください。

PDFデータを管理する

PDFデータをフォルダに分けて管理したり、タイトル編集や削除、ソートすることができます。

- ファイル制限されていないPDFデータは、microSDメモリーカードにコピー(☞P.340)したり、赤外線機能を利用して他のFOMA端末などに送信することもできます(☞P.352)。

フォルダを管理する

最大20個のフォルダを作成して、ファイルを管理できます。

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

1 **待受画面で◉▶[メディアツール]▶[PDF対応ビューア]▶📷▶[フォルダ管理]**

2 **[フォルダ新規作成]▶フォルダ名を入力して◉**

- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを１秒以上押します。

お知らせ

- フォルダ名は最大全角９文字(半角18文字)まで入力できます。

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

1 **待受画面で◉▶[メディアツール]▶[PDF対応ビューア]▶フォルダを選んで📷▶[フォルダ管理]**

2 **[フォルダ名編集]▶フォルダ名を編集して◉**

- フォルダ名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを１秒以上押します。

お知らせ

- 自分で作成したフォルダ以外は編集できません。

フォルダを削除する<削除>

1 **待受画面で◉▶[メディアツール]▶[PDF対応ビューア]▶フォルダを選んで📷▶[削除]**

2 **削除方法を選択**

フォルダを１件削除する	[フォルダ１件削除]→端末暗証番号を入力して◉→[はい]
複数のフォルダをまとめて削除する	[フォルダ選択削除]→フォルダを選択(くり返し可)→📷→端末暗証番号を入力して◉→[はい] ● すべてを選択／解除する場合は、i(全選択)／i(全解除)を押します。
すべてのデータを削除する(フォルダは残す)	[全件削除(フォルダ残)]→端末暗証番号を入力して◉→[はい]
すべてのフォルダおよびデータを削除する	[全件削除(フォルダ消)]→端末暗証番号を入力して◉→[はい]

お知らせ

- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。
- 保存されているデータごと削除されます。

PDFデータを管理する

PDFデータを削除したり並べ替えることができます。

■ タイトルを変更する<タイトル編集>

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[PDF対応ビューア]▶フォルダを選択

2 ファイルを選んで📷▶[タイトル編集]

3 タイトルを編集して◉

- タイトルを削除するときは、タイトル編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- 最大全角25文字（半角50文字）まで入力できます。
- 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角8文字（半角16文字）です。全角8文字（半角16文字）を超える場合は、全角7文字（半角14文字）まで表示され、以降は「…」の表示となります。

■ データを並べ替える<ソート>

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

- PDF対応ビューアを終了しても、表示順番は変更されたままです。

日付順（新→旧）	保存した日付の新しい順
日付順（旧→新）	保存した日付の古い順
タイトル名順	タイトルによって、（半角数字→半角英大文字→半角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→半角カタカナ）の順
ファイル取得元順※	取得元によって、空白→ｉモード→データ交換の順
サイズ順（大→小）	サイズの大きい順
サイズ順（小→大）	サイズの小さい順

※ ファイルの種類により取得元は異なります。

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[PDF対応ビューア]▶フォルダを選択▶📷▶[マイドキュメント設定]

2 [ソート]▶ソート方法を選択

■ データを別のフォルダに移動する<フォルダ間移動>

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[PDF対応ビューア]▶フォルダを選択

2 ファイルを選んで📷▶[移動／コピー]

3 [フォルダ間移動]▶移動方法を選択

ファイルを1件移動する	[1件移動]→フォルダを選んで📷
複数のファイルをまとめて移動する	[選択移動]→ファイルを選択（くり返し可）→📷→フォルダを選んで📷 ● すべてを選択／解除する場合は、ｉ（全選択）／ｉ（全解除）を押します。
フォルダ内のすべてのファイルを移動する	[フォルダ内全件移動]→端末暗証番号を入力して◉→フォルダを選んで📷

お知らせ

- 自分で作成したフォルダからお買い上げ時のフォルダへ移動するときは、1件移動しかできません。

■ 詳細情報を表示する<情報表示>

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[PDF対応ビューア]▶フォルダを選択

2 ファイルを選んで📷▶[情報表示]

- 内容表示画面のときは、📷を押して[情報表示]を選択します。
- 確認を終わるときは、◉またはCLRを押します。

お知らせ

- 表示される情報は保存日時、作成日時、ファイルサイズ、ファイル形式、ファイル制限、ファイル名、取得元、microSDへの移動／本体への移動の可否です。

■ データを削除する<削除>

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[PDF対応ビューア]▶フォルダを選択▶ファイルを選んで📷▶[削除]

- microSDメモリーカード内のファイルを削除するときはフォルダ一覧画面で📷を押し、[本体⇔microSD切替]を選択してフォルダを選択し、ファイルを選んで📷を押して[削除]を選択します。

2 削除方法を選択

ファイルを1件削除する	[1件削除]→[はい]
複数のファイルをまとめて削除する	[選択削除]→ファイルを選択（くり返し可）→📷→[はい] ● すべてを選択／解除する場合は、ｉ（全選択）／ｉ（全解除）を押します。
フォルダ内のすべてのファイルを削除する	[フォルダ内全件削除]→端末暗証番号を入力して◉→[はい]

ドキュメントビューア

Word、Excelファイルなどを表示する

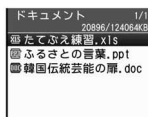
microSDメモリーカード内のMicrosoft Wordファイル、Microsoft Excelファイルや画像ファイルなどを、FOMA端末のディスプレイに表示することができます。
市販のmicroSDメモリーカードが必要となります(☞P.335)。

- 表示できるファイルの種類(拡張子※)
  Microsoft Word(.doc)、Microsoft Excel(.xls)、Microsoft PowerPoint(.ppt)、Plain Text(.txt)、JPEG(.jpg、.jpeg)、GIF(.gif)、PNG(.png)、BMP(.bmp)
- 閲覧するファイルはあらかじめmicroSDメモリーカードの¥PRIVATE¥SHARP¥DOCUMENTフォルダに置いてください(☞P.338)。
- 操作の前にFOMA端末のmicroSDメモリーカードスロットにmicroSDメモリーカードを挿入しておいてください。
- SH506iC、SH900i、SH901iCをご利用のお客様で、microSDメモリーカードの¥PRIVATE¥SHARP¥DOCUMENTフォルダにPDFデータを保存している場合は、¥PRIVATE¥DOCOMO¥DOCUMENT¥PUDxxxフォルダに移動する必要があります。

※ パソコンでは、ファイルの種類を識別するために、ファイル名の末尾に「.doc」や「.xls」など拡張子と呼ばれる英数字を付けています(パソコンの設定によっては、表示されない場合があります)。詳しくは、ご使用のパソコンやソフトウェアに付属の取扱説明書などをご覧ください。

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[ドキュメントビューア]

2 フォルダを選択

- 次のページを表示するときは◯、前のページを表示するときは◯を押します。

3 ファイルを選択

内容表示画面

上下左右にスクロールする	上:◯ 下:◯ 左:◯ 右:◯
ディスプレイ中央にページ全体を表示する	◉
全画面表示する	[i] ● 全画面表示を終了するときは[i]または[CLR]を押します。
次のページを表示する	[📖](▼ページ)
前のページを表示する	[✉](▲ページ)

お知らせ

全画面表示での操作

上下左右に移動する	◯
拡大/縮小する	[3]/[1]
左に90度回転する⇔回転なし	[2]
表示イメージを静止画として保存する	[6][1]
表示イメージを静止画としてメールに添付する	[6][2]
サブメニューを表示する	[📷]
前のページを表示する	[✉]
次のページを表示する	[📖]
全体を表示する	◉
ライトアップする	[7]

- マルチメディアの機能別ロック中にドキュメントビューアを起動するときは、端末暗証番号の入力が必要です。

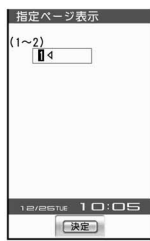
ドキュメントビューア利用時のご注意

- ファイル内容によっては、パソコンなどの機器で表示した内容と一部異なる場合があります。
  - ■ ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。また、すべてを表示できない場合もあります。
  - ■ ドキュメントビューアが対応しているフォントの種類はパソコンなどと異なっておりますので、フォントの種類によって正しく表示されない場合があります。
  - ■ ファイル名が拡張子を含めて231文字以上のファイルは表示されません。
  - ■ Microsoft Excelのワークシートの1つのセルに表示される数値の桁数は、パソコンなどと異なって表示される場合があります。また、ご使用のMicrosoft Excelのバージョンによっては元号は表示されません。
- ファイル一覧画面に表示できるのは、1フォルダ400ファイルまでです。
- ドキュメントビューアで表示されるファイルの詳細については、http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh905i/をご覧ください。
- ドキュメントビューア起動中にテレビ電話の発着信、パケット通信を行うとドキュメントビューアは終了します。

内容表示画面の操作方法

- ドキュメントビューアの内容表示画面では次の機能を利用できます。

画面縮小		画面を縮小表示します。
表示を回転		画像表示を左90度回転と回転なしを切り替えて表示します。
画面拡大		画面を拡大表示します。
ルーペ		文字を判別するときなどに、カーソル([🔍])を合わせた部分を画面下部に拡大して表示できます。カーソルの移動に合わせて画面下部の表示も変わります。ルーペ表示部分を拡大／縮小することもできます。
移動	画面内移動	表示中のページ(文書)の左上、右上、左下、右下や中央を、倍率を変えずに表示できます。
	指定ページ表示	複数のページがある場合は、文書中のページを指定して表示できます。
画面切り出し	画像保存	表示されている文書のイメージを表示されているサイズで切り出して、静止画(JPEG)としてmicroSDメモリーカードに保存できます。
	メール作成	切り出した静止画をｉモードメールに添付して送信できます。
ライトアップ		最大の明るさで表示します。
操作ガイド		操作ガイドブックを呼び出して、操作方法を調べることができます。

左に90度回転画面

指定ページ表示画面

ルーペ拡大画面

画面内移動画面
(左上を選んだ場合)

画面拡大／画面縮小する<画面拡大／画面縮小>

内容表示画面で📷▶[画面拡大]／[画面縮小]
- 全体を表示するとき：◉

表示を左に90度回転する<表示を回転>

内容表示画面で📷▶[表示を回転]
- 元の表示に戻すとき：同じ操作をする

ルーペで拡大／縮小して表示する<ルーペ>

内容表示画面で📷▶[ルーペ]▶[🔍]カーソルを移動
- ルーペ表示部分を拡大／縮小するとき：📷▶[画面拡大]／[画面縮小]
- ルーペを終了するとき：◉

ページの端や中央を表示する<画面内移動>

内容表示画面で📷▶[移動]▶[画面内移動]▶移動方向を選択

指定したページを表示する<指定ページ表示>

内容表示画面で📷▶[移動]▶[指定ページ表示]▶ページ番号を入力して◉

表示イメージを静止画として保存する<画像保存>

内容表示画面で📷▶[画面切り出し]▶[画像保存]
- ｉモードメールに添付して送るとき：📷▶[画面切り出し]▶[メール作成]

ライトアップする<ライトアップ>

内容表示画面で📷▶[ライトアップ]

操作ガイドを表示する<操作ガイド>

内容表示画面で📷▶[操作ガイド]

表示中の照明を設定する<バックライト点灯時間>

1 ファイル一覧画面で📷▶[バックライト点灯時間]
2 [照明設定に従う]／[常にON]

お知らせ

画面縮小について
- 画面内にちょうど納まるように表示されたサイズ([フィット]表示)より縮小することはできません。ただし、JPEG画像、GIF画像、PNG画像、BMP画像は実際の画像サイズまで縮小できます。

画像保存について
- microSDメモリーカードの空き容量がないときは、画面切り出しできません。

ショートカットキーについて

内容表示画面でよく使う操作は以下のボタンに割り当てられ、ワンタッチで操作可能です。

ボタン	操　作	ページ
✥	上下左右スクロール※1	P.364
✉	前ページ表示	P.364
📖	次ページ表示	P.364
◉(フィット)	ページ全体表示	P.364
ｉ	全画面表示	P.364
1	画面縮小※2	P.365
2	左に90度回転⇔回転なし	P.365
3	画面拡大※3	P.365
4	ルーペ	P.365
5	移動	P.365
6	画面切り出し	P.365
7	ライトアップ	P.365
8	操作ガイド	P.365

※1 ボタンを押し続けると、連続してスクロールします。
※2 ボタンを押すたびに小さくなります。ボタンを押し続けると、徐々に小さくなります。
※3 ボタンを押すたびに大きくなります。ボタンを押し続けると、徐々に大きくなります。

ドキュメントを管理する

ドキュメントビューアでmicroSDメモリーカードの[ドキュメント]フォルダにおさめられているファイルの削除、詳細情報表示、ファイルの並べ替えを行うことができます。
[ドキュメント]フォルダ以外のフォルダにおさめられているファイルは操作できません。マイピクチャから操作してください(☞P.348)。
市販のmicroSDメモリーカードが必要となります(☞P.335)。

ファイルを並べ替える<ソート>

[ドキュメント]フォルダ内の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

- ドキュメントビューアを終了しても、表示順番は変更されたままです。

タイトル名順	タイトルによって、(半角数字→半角英文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字→全角数字→全角英文字→半角カタカナ)の順 ● Unicode順でソートされますが英文字は大文字/小文字の違いを無視してソートします。
日付順(新→旧)	保存した日付の新しい順
日付順(旧→新)	保存した日付の古い順
サイズ順(大→小)	サイズの大きい順
サイズ順(小→大)	サイズの小さい順

1 **待受画面で◉▶[メディアツール]▶[ドキュメントビューア]▶フォルダを選択▶📷▶[ソート]**

2 **ソート方法を選択**

詳細情報を表示する<情報表示>

1 **待受画面で◉▶[メディアツール]▶[ドキュメントビューア]▶フォルダを選択**

2 **ファイルを選んで📷▶[情報表示]**

- 確認を終わるときは、◉を押します。

お知らせ

- 表示される情報は保存日時、ファイルサイズ、ファイル形式、ファイル名です。

フォルダ名/ファイル名について

- 対応していない文字コードを持つ名前のフォルダやファイルをパソコンなどで作成した場合、フォルダ名、ファイル名が空白文字で表示されます。

ファイルを削除する<削除>

[ドキュメント]フォルダ内のファイルを削除できます。

1 **待受画面で◉▶[メディアツール]▶[ドキュメントビューア]▶フォルダを選択▶ファイルを選んで📷▶[削除]**

2 **削除方法を選択**

ファイルを1件削除する	[1件削除]→[はい]
複数のファイルをまとめて削除する	[選択削除]→ファイルを選択(くり返し可)→📷→[はい] ● すべてを選択/解除する場合は、🅘(全選択)/🅘(全解除)を押します。
フォルダ内のすべてのファイルを削除する	[フォルダ内全件削除]→端末暗証番号を入力して◉→[はい]

マンガ・ブックリーダー

電子書籍/電子辞書/電子コミックを表示する

microSDメモリーカードに保存されている電子書籍など(電子書籍/電子辞書/電子コミック)を、FOMA端末で表示できます。
市販のmicroSDメモリーカードが必要となります(☞P.335)。

- 表示できる電子書籍などの拡張子は次のとおりです。

電子書籍	「.zbf」「.zbk」「.txt」「.text」
電子辞書、電子コミック	「.zbf」

- 閲覧するファイルはあらかじめmicroSDメモリーカードの¥BOOKフォルダに置いてください(☞P.338)。ご利用の際は、FOMA端末のmicroSDメモリーカードスロットにmicroSDメモリーカードを挿入しておいてください。
- 電子書籍、電子コミックなどは、サイトやインターネットホームページからダウンロードできます(☞P.194)。
- お買い上げ時は、FOMA端末(本体)にサポートブック、ONE PIECE(電子コミック)が内蔵されています(「ONE PIECE」 ©尾田栄一郎著/集英社)。[プリインストール]フォルダ内のファイルをご利用になる場合、microSDメモリーカードを挿入する必要はありません。
- 電子書籍などに埋め込まれている音声や画像によっては、ご利用になれない場合があります。

1 **待受画面で◉▶[メディアツール]▶[マンガ・ブックリーダー]▶フォルダを選択**

- 電子書籍/電子辞書/電子コミック一覧画面が表示されます。

2 電子書籍などを選択

- 前回の閲覧時にCLRを押して終了した電子書籍などを選んだ場合、終了時に表示されていたページが表示されます。
- 全画面表示可能な電子書籍などを選択した場合、ビューアポジションにすると全画面モードで表示されます。

内容表示画面（横書き画面）

内容表示画面（縦書き画面）

行を移動する	行を進める	◯／◯
	行を戻る	◯／◯
ページ表示画面で上下左右にスクロールする（電子コミックのみ）		◯
コマ表示画面でコマを上下左右に移動する（電子コミックのみ）	コマを進める	◯／◯
	コマを戻る	◯／◯
次のページを表示する		◯（▼ページ）
前のページを表示する		◯（▲ページ）
先頭のページを表示する		◯→［移動］→［先頭へ］
電子書籍／電子辞書／電子コミック一覧画面に戻る		CLRまたは◯→［移動］→［リストへ］

お知らせ

- 内容表示画面は、綿矢りさ著「蹴りたい背中」©ザウルスセレクト文庫／河出書房新社提供のものを使用しています。
- マルチメディアの機能別ロック中にマンガ・ブックリーダーを起動するときは、端末暗証番号の入力が必要です。
- ◯を押してマンガ・ブックリーダーを終了したあと、次回マンガ・ブックリーダーを起動すると、自動的に終了時のページが表示されます。ただし、挿入し直したmicroSDメモリーカードに、終了時に閲覧していたファイルが入っていないときや、文字読み取りから起動したときは表示されません。また、待受画面からサポートブックを起動したときも表示されません。
- 電子書籍などによってはパスワードの入力が必要な場合があります。パスワード（最大16桁）を入力して◉を押してください。
- 電子書籍／電子辞書／電子コミック一覧に表示できるのは最大400件までです。

マルチアシスタントを使う

- メール作成中などにMULTIを押すと、マンガ・ブックリーダーを利用できます。

■ 履歴を表示する

コンテンツ内の他のページに移動する情報が埋め込まれている場合は、情報が埋め込まれている文字列や画像を選択すると、指定されているページに移動します。
◯を押すと移動前に表示したページを順に戻ることができます。

- 履歴がないときは、先頭のページが表示されます。

関連操作

フォルダを切り替える<表示フォルダ切替>

待受画面で◉▶［メディアツール］▶［マンガ・ブックリーダー］▶◯▶［表示フォルダ切替］▶フォルダを選択

関連操作のお知らせ

表示フォルダ切替について

- 携帯情報端末など、FOMA端末以外でXMDF形式の電子書籍を利用していた場合、その電子書籍の入ったフォルダを表示できます。
- 利用されていた携帯情報端末によっては、フォルダを表示できない場合もあります。

■ 閲覧制限のある電子書籍など

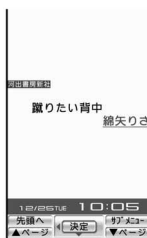
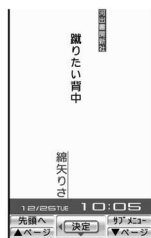
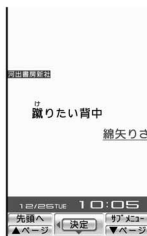
電子書籍などには、閲覧回数／閲覧期限／閲覧期間の閲覧制限が設定されているものがあります。これらの電子書籍などを表示しようとすると、確認メッセージが表示されます。閲覧回数が設定されている場合は、表示するかどうかを選択できます。

- 閲覧制限を超えた場合の動作は、次のとおりです。

閲覧回数		表示しようとすると、［閲覧可能回数が終了しました。削除しますか？］と表示されます。［はい］を選択すると削除されます。
閲覧期限		表示しようとすると、［閲覧可能期限が切れました。削除しますか？］と表示されます。［はい］を選択すると削除されます。
閲覧期間	閲覧期間前	表示しようとすると、［閲覧可能日前です。閲覧できません］と表示されます。
	閲覧期間後	表示しようとすると、［閲覧可能期限が切れました。削除しますか？］と表示されます。［はい］を選択すると削除されます。

■ 内容表示画面の操作方法

電子書籍などの内容表示画面では次の機能を利用できます。

しおり設定	しおりをはさむ	表示中のページにしおりを設定します。1冊につき最大2個(最大10冊)のしおりを設定できます。
	しおりへ移動	以前に設定したしおりのページを表示します。
情報表示		電子書籍などの詳細情報を表示します(☞P.372)。
現在位置確認		現在のページが全体のおよそ何%にあるかを表示します。電子コミックの場合は、コマ位置も表示されます。
移動	目次	目次に対応した電子書籍などの場合は、目次からページを表示できます。
	先頭へ	先頭のページを表示します。
	最後へ	最後のページを表示します。
	リストへ	電子書籍／電子辞書／電子コミック一覧画面を表示します。
	%指定移動	文書全体のページ数に対するおよその位置を%で指定して表示します。
文字列コピー		文書内の文字列をコピーします。他の画面などに貼り付けできます。一度にコピーできる文字数は最大全角20文字(半角20文字)です。
文字読み取り		電子辞書を表示中に、単語を撮影して検索できます(☞P.371)。
表示設定	文字サイズ設定	文字サイズを[大きい文字]、[標準]、[小さい文字]に設定できます。
	縦横設定	画面の縦横表示を設定できます。
	ルビ表示	ルビ(ふりがな)を表示するかどうかを設定できます。
	画像サイズ	画像サイズを[等倍表示]、[2倍表示]に設定できます。
マンガ表示設定	縮小	ページ表示画面で、画面を縮小表示します。
	コマ／ページ切替	コマ表示画面(1コマ単位で表示)とページ表示画面(ページ単位で表示)を切り替えます。
	拡大	ページ表示画面で、画面を拡大表示します。
音量設定		電子書籍などを表示中の音量を[大]、[中]、[小]、[切]に設定できます。
バイブレータ設定		バイブレータが動作するように作成されているコマを表示したときにバイブレータを動作させるかどうかを設定できます。
バックライト点灯時間		電子書籍などを表示中のバックライト点灯時間を[照明設定に従う]または[常にON]に設定できます。

横書き画面

縦書き画面

ルビ表示[ON]

しおりをはさむ<しおりをはさむ>

1 内容表示画面で▣▶[しおり設定]
2 [しおりをはさむ]▶[しおり1]／[しおり2]

しおりへ移動する<しおりへ移動>

内容表示画面で▣▶[しおり設定]▶[しおりへ移動]▶しおりを選択

現在の表示位置を確認する<現在位置確認>

内容表示画面で▣▶[現在位置確認]
- 確認を終わるとき：⦿

目次からページを表示する<目次>

内容表示画面で▣▶[移動]▶[目次]▶項目を選択

最後のページを表示する<最後へ>

内容表示画面で▣▶[移動]▶[最後へ]

%指定でページを移動する<%指定移動>

内容表示画面で▣▶[移動]▶[%指定移動]▶移動先(2桁：00～99%)を入力して⦿

文字をコピーする<文字列コピー>

内容表示画面で▣▶[文字列コピー]▶最初の文字を選択▶最後の文字を選択

文字サイズを設定する<文字サイズ設定>

内容表示画面で▣▶[表示設定]▶[文字サイズ設定]▶文字サイズを選択

縦書き／横書きを切り替える<縦横設定>

1 内容表示画面で▣▶[表示設定]▶[縦横設定]
2 [縦書き]／[横書き]

ルビ(ふりがな)を表示する<ルビ表示>

1 内容表示画面で▣▶[表示設定]
2 [ルビ表示]▶[ON]

画像サイズを切り替える<画像サイズ>

1 内容表示画面で▣▶[表示設定]▶[画像サイズ]
2 [等倍表示]／[2倍表示]

電子コミックのページ表示画面で画面を拡大／縮小する<拡大／縮小>

1 内容表示画面で▣▶[マンガ表示設定]
2 [拡大]／[縮小]

電子コミックのコマ表示画面とページ表示画面を切り替える<コマ/ページ切替>

内容表示画面で📷▶[マンガ表示設定]▶[コマ/ページ切替]

音量を調節する<音量設定>

内容表示画面で📷▶[音量設定]▶音量を選択

電子コミックのバイブレータを設定する<バイブレータ設定>

1 内容表示画面で📷▶[バイブレータ設定]
2 [ON]

表示中の照明を設定する<バックライト点灯時間>

1 内容表示画面で📷▶[バックライト点灯時間]
2 [照明設定に従う]/[常にON]

お知らせ

しおりについて

- 電子コミックのページ表示画面の場合、[しおりへ移動]、[移動]は選択できません。
- 11冊目のしおりを設定するか自動しおりが設定されると、一番古いしおりまたは自動しおりが削除されます。
- マンガ・ブックリーダーを終了すると、最後に表示していたページに[自動しおり 1]が設定されます。次に同じ電子書籍などを表示し、終了した場合は、最後に表示していたページが[自動しおり 1]に設定され、前回の[自動しおり 1]は[自動しおり 2]に設定されます。自動しおりは、1冊につき最大2個(最大10冊)まで設定され、古いものから自動的に消去されます。
- 電池パックを取り外したときは、[自動しおり]は設定されません。
- 待受画面でMULTIを押してサポートブックを起動したときは、[自動しおり]を参照せずに常に先頭ページから表示されます。また、マルチアシスタントからサポートブックを起動したときは、[自動しおり]を参照せずに起動元の機能に対応したページまたは先頭ページが表示されます。
- パスワードが設定されているコンテンツは、自動しおりが表示できません。

文字列コピーについて

- 電源を切ると、読み取った文字は破棄されます。
- コピーできない文字もあります。
- マスクが設定されている文字やルビ文字、外字などはコピーできません。
- 電子コミックによっては、文字列コピーができない場合があります。

表示設定について

- データによっては、表示を切り替えることができないものや、表示の設定が指定されている電子書籍などもあります。
- 電子コミックの吹き出しの中の文字は画像です。文字サイズ設定や縦横設定、ルビ表示は反映されません。
- サポートブックは縦書き/横書きの切り替えに対応していません。
- ルビが設定されていない電子書籍などでは、ルビが表示されません。

マンガ表示設定について

- 電子書籍や電子辞書の場合は、マンガ表示設定を選択できません。

お知らせ

- 電子コミックのコマ表示画面の場合、画面を拡大/縮小することはできません。
- 電子コミックによっては、コマ表示/ページ表示を切り替えられない場合があります。

バイブレータ設定について

- 電子書籍・電子辞書でも設定できますが、バイブレータが動作するよう作成された電子コミックのみ機能が動作します。

電子コミック表示中のショートカットキーについて

マンガ表示設定(☞P.368)は以下のボタンに割り当てられ、電子コミックでページ表示画面を表示中にワンタッチで操作可能です。

ボタン	操　作
1	縮小
2	コマ/ページ切替 ● コマ表示画面表示中も操作できます。
3	拡大

- コマ表示/ページ表示に設定中でも、操作できない場合があります。

サポートブックを利用する

1 待受画面でMULTI

- サポートブックから対応する機能を起動できます(☞P.36)。

電子辞書で調べる

電子辞書で、入力した用語を検索して調べることができます。電子辞書の検索例を説明します。

- 文字読み取りで読み取った文字を電子辞書で調べることもできます(☞P.178)。
- microSDメモリーカードに保存した電子辞書が必要です。

※ 電子辞書は下記のシャープオリジナルサイト「Sharp Space Town」でご購入いただけます。
http://www.spacetown.ne.jp/

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[マンガ・ブックリーダー]▶フォルダを選択▶電子辞書を選択

- 文字読み取りで文字を読み取るときは、📷を押して[文字読み取り]を選択します(☞P.371)。

2 入力欄を選んで◉▶用語を入力して◉

- 255文字まで入力できます。
- 文字読み取りから電子辞書を表示した場合は、読み取った文字が入力されています。

3 用語を選択

電子書籍／電子辞書／電子コミック内の情報を利用する

電子書籍など(電子書籍／電子辞書／電子コミック)から他のページへ移動したり、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用したり、動画／音声の再生、静止画の保存、文字列のマスクなどの機能を利用することができます(対応ページのみ)。

- microSDメモリーカードに保存した電子書籍などが必要です。

Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用する

電子書籍などで反転表示された文字情報(電話番号、メールアドレス、URLなど)やPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能が埋め込まれた画像を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、サイトやインターネットホームページを表示できます(☞P.195)。

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[マンガ・ブックリーダー]▶フォルダを選択▶電子書籍などを選択

2 電話番号やメールアドレス、URLなどを選択

- 画像に設定されているときは、◉を押して[リンクへ移動]を選択します。

3 [はい]

- Phone To(AV Phone To)機能が設定されているときは、テレビ電話の場合は、表示されている電話番号を確認し、▣を押します。音声電話の場合は、表示されている電話番号を確認し、◻を押します。
- Mail To機能が設定されているときは、メールアドレスが入力されたメール作成画面が表示されます。
- Web To機能が設定されているときは、iモード／フルブラウザを選択すると接続が開始され、サイトやホームページが表示されます。

お知らせ

- 電話番号やメールアドレス、URLが表示されていても、電話をかけたり、メッセージを送信したり、画面を表示できない場合もあります。

■リンク先のページを表示する

文字列や画像に別のページのリンク情報が設定されているときは、そのページを表示できます。

1 P.370「Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用する」の操作1の内容表示画面で、リンク情報が設定されている文字列や画像を選択

■動画を再生する

画像に動画／音声の情報が設定されているときは、動画／音声を再生できます。

1 P.370「Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用する」の操作1の内容表示画面で、画像を選択▶[動画／音声の再生]

関連操作

文字列や画像をマスク(目隠し)する<マスク>

「Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用する」の操作1の内容表示画面で文字列／画像を選択

- マスクされた文字列を表示するとき:文字列を選択
- マスクされた画像を表示するとき:画像を選択▶[マスクの切替]

電子書籍／電子辞書／電子コミック内の画像を保存する

電子書籍などに表示された静止画をマイピクチャ(☞P.313)に保存すると、待受画面などに設定できます(☞P.128)。

- PNG形式など、保存できない画像もあります。
- 保存した画像は、マイピクチャ内の[カメラ]フォルダに保存されます(☞P.313)。
- 画像の保存件数は、最大1000件です。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。
- すべて著作権のある画像として保存されます。microSDメモリーカードへの保存や、メールへの添付はできません。

1 P.370「Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用する」の操作1の内容表示画面で、静止画を選択▶[マイピクチャ登録]

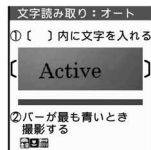
文字読み取り

カメラで文字を読み取って検索する

電子辞書を表示中に、英単語をFOMA端末で撮影し、検索できます。

- microSDメモリーカードに保存した電子辞書が必要です。
- 文字読み取りについて詳しくは、P.176を参照してください。

例：英和辞書の場合

1 **P.369「電子辞書で調べる」の操作1の内容表示画面で📷 ▶［文字読み取り］**

2 **読み取る文字をディスプレイの中央に表示する（☞P.176）▶ ◉（📷）**

- 複数の行を撮影したときは、◌で読み取る行を指定します。文字の読み取りは一行単位で行います。

3 **◉（読取）**

- 文字の読み取りが開始されます。読み取りが完了すると、完了音が鳴り、文字読み取りの候補選択画面になります。読み取った文字の内容が表示されます。

4 **読み取った文字を確認して◉ ▶ 単語を選択**

電子書籍／電子辞書／電子コミックを管理する

電子書籍など（電子書籍／電子辞書／電子コミック）を、フォルダを作成して管理したり、削除、移動することができます。ファイル名を編集したり、詳細情報を表示できます。

- ［プリインストール］フォルダ内のファイルは、ファイル名編集／移動／削除はできません。

フォルダを管理する

最大397個のフォルダを作成して、ファイルを管理できます。

- ［マンガ］フォルダの場合、フォルダ内にさらに最大400個のフォルダを作成することができます。

■ フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

1 **待受画面で◉ ▶［メディアツール］▶［マンガ・ブックリーダー］▶ 📷 ▶［フォルダ管理］**

2 **［フォルダ新規作成］▶ フォルダ名を入力して◉**

- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- ［マンガ］フォルダ内のフォルダ名は、最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。その他のフォルダ名は、最大全角・半角64文字まで入力できます。

■ フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

1 **待受画面で◉ ▶［メディアツール］▶［マンガ・ブックリーダー］▶ フォルダを選んで📷 ▶［フォルダ管理］**

2 **［フォルダ名編集］▶ フォルダ名を編集して◉**

- フォルダ名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- 自分で作成したフォルダ以外は編集できません。

フォルダ名／ファイル名について

- 対応していない文字コードを持つ名前のフォルダやファイルをパソコンなどで作成した場合、フォルダ名、ファイル名が空白文字で表示されます。

■ フォルダを削除する<削除>

1 **待受画面で◉ ▶［メディアツール］▶［マンガ・ブックリーダー］▶ フォルダを選んで📷 ▶［削除］**

2 **削除方法を選択**

フォルダを1件削除する	［フォルダ1件削除］→端末暗証番号を入力して◉→［はい］
複数のフォルダをまとめて削除する	［フォルダ選択削除］→端末暗証番号を入力して◉→フォルダを選択（くり返し可）→📷→［はい］ ● すべてを選択／解除する場合は、▮（全選択）／▮（全解除）を押します。
すべてのフォルダおよびファイルを削除する	［全件削除］→端末暗証番号を入力して◉→［はい］

お知らせ

- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。
- フォルダに保存されているすべてのファイルごと削除されます。

電子書籍／電子辞書／電子コミックを管理する

電子書籍などを削除したり、移動したりできます。

ファイル名を編集する<ファイル名編集>

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[マンガ・ブックリーダー]▶フォルダを選択

2 電子書籍などを選んで📷

電子書籍／電子辞書の場合	[ファイル名編集]
電子コミックの場合	[タイトル編集]→[タイトル編集] ● タイトルを元に戻すときは、[タイトル編集]→[オリジナルタイトルに戻す]を選択します。

3 ファイル名を編集して◉

● ファイル名を削除するときは、ファイル名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- 電子コミックの場合は、タイトル名の編集になります。
- [マンガ]フォルダ内のタイトル名は、最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。その他のファイル名は、全角・半角64文字まで入力できます。
- 半角8文字以内のファイルの名前および拡張子の英字は、半角小文字が半角大文字に変わる場合があります。

ファイルを別のフォルダに移動する<移動>

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[マンガ・ブックリーダー]▶フォルダを選択

2 電子書籍などを選んで📷▶[移動]

3 移動方法を選択

ファイルを1件移動する	[1件移動]→フォルダを選択
複数のファイルをまとめて移動する	[選択移動]→ファイルを選択（くり返し可）→📷→フォルダを選択 ● すべてを選択／解除する場合は、▮（全選択）／▮（全解除）を押します。
フォルダ内のすべてのファイルを移動する	[フォルダ内全件移動]→端末暗証番号を入力して◉→フォルダを選択

詳細情報を表示する<情報表示>

XMDF形式（.zbf）の電子書籍などの詳細情報を表示できます。

● 表示される情報は次のとおりです。ただし、これらの項目でも電子書籍などに記録されていない情報は表示されません。

電子書籍など一覧画面	オリジナルタイトル、ファイル名、著者、出版社、ファイルサイズ、閲覧制限情報
内容表示画面	シリーズ、タイトル、サブタイトル、ファイル名、著者、出版社、出版人、要約、配布日時、ファイルサイズ、配布時の刻印情報、閲覧制限情報

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[マンガ・ブックリーダー]▶フォルダを選択

2 電子書籍などを選択▶📷▶[情報表示]

● 電子書籍／電子辞書／電子コミック一覧画面から表示するときは、📷を押して[情報表示]を選択します。

● 確認を終わるときは、◉を押します。

お知らせ

- サポートブックの情報は表示できません。
- ファイル名は、拡張子もあわせて表示されます。
- 電子コミックをページ表示画面で表示中は、情報表示できません。

電子書籍／電子辞書／電子コミックを削除する<削除>

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[マンガ・ブックリーダー]▶フォルダを選択

2 ファイル選んで📷▶[削除]

3 削除方法を選択

ファイルを1件削除する	[1件削除]→[はい]
複数のファイルをまとめて削除する	[選択削除]→ファイルを選択（くり返し可）→📷→[はい] ● すべてを選択／解除する場合は、▮（全選択）／▮（全解除）を押します。
フォルダ内のすべてのファイルを削除する	[フォルダ内全件削除]→端末暗証番号を入力して◉→[はい]

■ 電子コミックを並べ替える<ソート>

[マンガ]フォルダ内の表示順番を変更できます。

1 待受画面で◉▶[メディアツール]▶[マンガ・ブックリーダー]▶[マンガ]フォルダを選択▶📷▶[ソート]

2 ソート方法を選択

ソート方法	日付順(新→旧)	タイトル名順
	日付順(旧→新)	

プリント指定(DPOF)

保存した画像を印刷する

DPOF(ディーポフ:「Digital Print Order Format」の略称)とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。FOMA端末で撮影したmicroSDメモリーカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントできます。

- サイトやインターネットホームページからダウンロードした静止画はプリントできません。ただし、microSDメモリーカードにコピーできるJPEG画像の場合は、プリントできます。
- プリント時の操作など、詳しくは、プリントする機器の取扱説明書を参照してください。
- DPOF対象となるフォルダ
  - ■ 撮影静止画用フォルダ/ユーザ作成フォルダ(☞P.338)
  - ■ 他の機器で作成したDCF準拠フォルダ(☞P.172)
- DPOF対象となるファイル
  - ■ 上記フォルダに保存されている静止画(DCF準拠JPEG)
- FOMA端末(本体)の静止画は指定できません。

microSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する<プリント指定(DPOF)>

- 他の機器でmicroSDメモリーカードに保存したDCF準拠以外の静止画は、印刷指定できない場合があります。
- PDF対応ビューアで切り出したファイル制限ありのファイルはプリントできません。

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[プリント指定(DPOF)]

- すでに他の機器で設定したDPOFがあるときは、確認画面が表示されます。クリアするときは、[はい]を選択します。クリアしないと、新たにDPOFを設定できません。

2 プリント内容を設定する

静止画を選んでプリント枚数を設定する	フォルダを選択→静止画を選んで☑→枚数(00～99)を入力して◉ ● 静止画を選んで、0～9でプリント枚数を入力できます。 ● 続けて他の静止画を指定できます。
すべての静止画を同じ枚数ずつプリントする	📷→[枚数一括指定]→[全ての画像]→枚数(00～99)を入力して◉
[640×480以上]の静止画を同じ枚数ずつプリントする	📷→[枚数一括指定]→[640×480以上]→枚数(00～99)を入力して◉
[1024×768以上]の静止画を同じ枚数ずつプリントする	📷→[枚数一括指定]→[1024×768以上]→枚数(00～99)を入力して◉
指定をすべて取り消す	📷→[一括リセット]→[はい]
日付を付ける	📷→[日付付加指定]→[ON] ● 静止画のプロパティの日付が付けられます。
インデックスプリントを指定する	プリント枚数を設定→📷→[インデックスプリント指定]→[ON] ● インデックスプリントとは、はがきやA4用紙などに縮小画像をファイル名付きで印刷する機能です。
プリント指定状況を確認する	📷→[指定状況確認] ● 枚数一括指定をしている場合、枚数は概算が表示されます。 ● 確認を終わるときは◉を押します。

3 (完了)▶[はい]

- プリント指定をやり直すときは、[いいえ]を選択します。

4 [確認]

関連操作

静止画を並べ替える<ソート>

待受画面で◉▶[データBOX]▶[プリント指定(DPOF)]▶フォルダを選択▶📷▶[ソート]▶ソート方法を選択

関連操作のお知らせ

- ソートを実行したあと、表示を終了しても、その設定は継続されます。

データ表示/編集/管理

Music&Videoチャネル／音楽再生

■Music&Videoチャネル

■音楽再生

音楽データの取り扱いについて

- 本書ではミュージックプレーヤーで再生する着うたフル®とWMA(Windows Media Audio)ファイル、SDオーディオで再生するSD-Audioデータを合わせて「音楽データ」と記載しています。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件(許諾、禁止行為など)をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、機種変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合、変更前に保存したWMAファイルは再生できなくなることがあります。
- CCCD(コピーコントロールCD)の取り扱いや、音楽データをWMAファイルとして保存できない場合については、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末(本体)やmicroSDメモリーカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末(本体)やmicroSDメモリーカード内に保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体に複製または移動しないでください。

Music&Videoチャネルとは

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約およびパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル契約が必要です）。
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいたあと、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料が発生しますのでご注意ください。
- 海外では、Music&Videoチャネルの番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。詳細は、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
  ※ 国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

■バックグラウンド再生について

- 音声番組の場合、再生しながらメールやｉモードサイトの表示などを行うことができます。同時に使用可能な機能の組み合わせについては、P.479「マルチアシスタント（マルチタスク）の組み合わせについて」を参照してください。
- 動画番組の場合や、時刻連動が設定されている番組の場合は、バックグラウンド再生できません。

Music&Videoチャネルを起動する

1 待受画面で◉▶［MUSIC］▶［Music&Videoチャネル］

Music&Videoチャネルメニュー

1 番組画像

2 番組タイトル
番組タイトル表示：番組取得済み
番組なし：番組設定なし
番組設定中：番組設定あり、番組取得前
ダウンロード中：番組取得中

3 次回更新予定日

4 番組種別マーク

（黄色）	取得に成功した番組
✖	取得に失敗した番組
（青色）	未再生の番組
	時刻連動が設定されている番組
	再生制限のある番組

5 サービスメニュー
番組設定：番組の設定・解除ができます。
番組リスト：番組の一覧サイトに接続します。
サービスのご案内：Music&Videoチャネルの説明サイトに接続します。

番組設定
番組を設定する

利用したい番組を設定しておくと、夜間に番組データを自動的に取得します。2番組まで設定できます。

番組を設定／解除する

1 Music&Videoチャネルメニュー（☞P.376）で[番組設定]

2 画面の指示に従って番組を設定／解除する

- 同様な操作で、設定している番組を確認できます。

お知らせ

- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 番組を設定するときは、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要です。
- 番組の設定を解除してもマイメニュー登録は削除されません。

番組を設定すると

番組配信の12時間前になると、待受画面に[▦]が表示されます。
番組の取得は夜間に自動的に行われます。取得に成功すると、待受画面に[▦]（ダウンロード成功）が表示されます。取得に失敗した場合は、[✖]（ダウンロード失敗）が表示されます。この場合は、手動で取得してください。

- 番組取得中に通信が途切れた場合、3分間隔で5回まで、自動的に再取得を行います。
- 番組取得開始時に、圏外、セルフモード中、電源が入っていない、電池残量が少ないなどの理由により番組の取得ができなかった場合、翌日の夜間に再取得を行います。
- 番組取得を開始／完了しても着信音、バイブレータ、着信ランプは動作しません。
- 番組取得には時間がかかる場合があります。また、電池マークが[▮▮▮]でない場合は取得できません。十分に充電して、電波状態の良い環境でご使用ください。
- 次の場合、番組を自動で取得できません。Music&Videoチャネルメニューから、再度番組を設定してください。
  - ■ 番組設定したときと異なるFOMAカードを差し替えた場合
  - ■ 番組設定したあとでFOMAカードを別のMusic&Videoチャネル対応のFOMA端末に差し替えた場合
  - ■ データ一括削除を行った場合
- 番組取得が中断された場合、途中まで取得した番組が保存されます。残りのデータは手動で取得することができます。
- ｉモードまたはMusic&Videoチャネルの解約やマイメニュー登録の削除を行った場合、配信番組フォルダ内の番組データが削除される場合があります。

番組を手動で取得する

1 Music&Videoチャネルメニュー（☞P.376）で番組を選択▶[はい]

お知らせ

- ご利用になる時間帯によっては、[ダウンロードできない時間帯です]と表示され、手動で取得できない場合があります。配信時間を確認するときは、[配信時間について]を選択してください。
- 再生制限が切れた番組は再取得できません。また、次回配信日まで更新できません。

番組の再生／操作

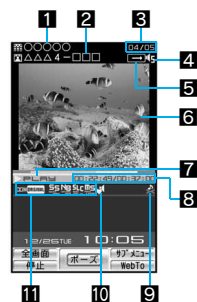
番組を再生する

1 Music&Videoチャネルメニュー（☞P.376）で番組を選択

- 待受画面に[▦]（ダウンロード成功）が表示されている場合は、待受画面で⦿を押し、[▦]（ダウンロード成功）を選択しても、Music&Videoチャネルメニューが表示されます。
- 前回再生していたチャプターがある場合、停止したチャプターから再生されます。
- 取得に失敗した番組を選んだ場合、再度ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択するとダウンロードできます。更新に失敗しても、元の番組が再生可能な場合は、[そのまま再生]を選択すると再生されます。
- 途中まで取得した番組を選んだ場合、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択するとダウンロードできます。[途中まで再生]を選択すると、取得している部分が再生されます。ただし、時刻連動が設定されている番組の場合、[途中まで再生]は選択できません。
- 番組によっては、再生回数／再生期限／再生期間の再生制限が設定されている場合があります。制限を超えると番組は再生できなくなります。
- 動画番組の場合、ビューアポジションにすると全画面モードになります。通常ポジションに戻すと、全画面モードは解除されます。ただし、画面にサブメニューなどを表示している場合、画面モードは切り替わりません。

お知らせ

- 電池マークが[▮▮▮]／[➡□]でない場合、再生開始時や再生中に、再生するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると再生されます。また、ご使用状態によっては電池マークが[➡□]でも確認画面が表示されることがあります。

Music&Videoチャネルプレーヤー画面の見かた

1 番組タイトル名

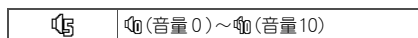
2 チャプタータイトル名／アーティスト名

3 チャプター番号

4 音量

音量アイコン	(音量0)～(音量10)

5 リピート

ALL	リピートON	→	リピートOFF

6 番組画像／チャプター画像(音声番組)／映像(動画番組)

7 再生状態

▶PLAY	再生中	▶▶FF	早送り中
ⅡPAUSE	一時停止中	◀◀REW	早戻し中
■STOP	停止中		

8 再生時間／総再生時間

9 映像／音声再生可否

映像アイコン	映像再生不可	音声アイコン	音声再生不可

10 マナー再生設定

マナーアイコン	ON

11 Dolbyサウンド設定

NORMAL	ノーマル	CLASSIC	クラシック
ROCK	ロック	JAZZ	ジャズ
POPS	ポップス	ORIGINAL	オリジナル

オリジナルを選んだ場合

SS	サウンドスペース
NB	ナチュラルベース
SLC	サウンドレベルコントローラ
MS	モノラル→ステレオ

再生中のボタン操作

	FOMA端末を開いているとき	ビューアポジションのとき	FOMA端末を閉じているとき
一時停止	●(ポーズ)	(📷)	(📷)
停止	✉	－	－
音量調節(音量0～10)※1	◯／◯ ● ボタンを押し続けると、連続して調節できます。	◯／◯	▼／▲(Eco)
前のチャプターに戻す／頭出し※1※2	◯	▲(Eco)	▲(Eco)を1秒以上押す
早戻し※1	◯を1秒以上押す	▲(Eco)を1秒以上押す	－
次のチャプターを再生※1	◯	▼	▼を1秒以上押す
早送り※1	◯を1秒以上押す	▼を1秒以上押す	－
全画面表示切替(動画番組のみ)	▮(全画面)	－	－
サイト接続	▭(WebTo) ● 番組にURL情報がある場合、サイトに接続できます。	－	－
Music&Videoチャネルプレーヤー終了	CLRまたは⌒→[はい]	(P)(または、(📷)を1秒以上押す)→[はい]→(📷)	(📷)を1秒以上押す
サブメニュー表示	📷	－	－

※1 動画番組の場合、全画面モードで表示中は上下と左右の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持った状態で操作してください。

※2 再生経過時間が約2秒未満の場合は前のチャプターに戻ります。約2秒以上の場合は頭出しになります。

- ダイヤルボタン(1～9)を押すとボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプします。1を押すと再生中のチャプターの先頭に戻ります。2～8を押すとチャプターの総再生時間の約1/8ずつ先の位置にジャンプします。9を押すとチャプターの最後にジャンプします。ただし、チャプターによってはジャンプしないものがあります。
- マナー再生設定を[ON]に設定すると、音量6以上に調節していた場合は、音量5に変更されます(音量は、音量0～5で変更できます)。
- 番組によっては、チャプターの移動、早送り、早戻し、指定位置ジャンプの操作が制限されているものがあります。

平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続した場合

再生／一時停止	スイッチを押す ● スイッチを押すごとに切り替わります。

時刻連動が設定されている番組の場合

時刻連動が設定されている番組は再生できる時間が決まっています。時間帯によっては再生できません。自動時刻時差補正による時刻に従い動作します（自動時刻時差補正を［OFF］に設定して手動で時刻を変更しても、再生されません）。

- 再生中に、一時停止やチャプターの移動、早送り、早戻し、指定位置へのジャンプはできません。
- チャプター一覧からチャプターを選択できません。
- 再生設定のリピートは設定できません。

Music&Videoチャネル再生時の設定をする＜再生設定＞

1 Music&Videoチャネルプレーヤー画面（☞P.378）で📷▶［再生設定］▶設定項目を選択

リピートを設定する	［リピート］→［ON］／［OFF］
マナー再生を設定する	［マナー再生設定］→［ON］／［OFF］
バックライト点灯時間を設定する※	［バックライト点灯時間］→［照明設定に従う］／［常にON］
全画面モードで表示する※	［全画面モード切替］

※ 動画番組の場合のみ設定できます。

お知らせ

マナー再生について

- マナー再生設定を［ON］に設定すると、再生音量を音量 6 以上に調節することができなくなります。

Dolbyサウンドを設定する ＜Dolbyサウンド設定＞

1 Music&Videoチャネルプレーヤー画面（☞P.378）で📷▶［Dolbyサウンド設定］▶設定項目を選択

項目	ノーマル	クラシック
	ロック	ジャズ
	ポップス	オリジナル

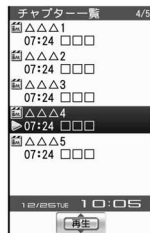
- オリジナルを選んだ場合、それぞれ項目を設定して📱（完了）を押します。

サウンドスペース	［サウンドスペース］を選択→［ON］／［OFF］
ナチュラルベース	［ナチュラルベース］を選択→［ON］／［OFF］
サウンドレベルコントローラ	［サウンドレベルコントローラ］を選択→［ON］／［OFF］
モノラル→ステレオ	［モノラル→ステレオ］を選択→［ON］／［OFF］

番組のチャプター一覧を確認する ＜チャプター一覧＞

番組のチャプター一覧を表示し、各チャプターのタイトルやアーティスト名、再生時間を確認できます。

1 Music&Videoチャネルメニュー（☞P.376）／番組一覧画面（☞P.380）で番組を選んで📷▶［チャプター一覧］

- Music&Videoチャネルプレーヤー画面のときは、📷を押して［チャプター一覧］を選択します。

チャプター一覧画面

マークの意味

🎬	動画番組のチャプター
🎵	音声番組のチャプター
⬚	取得に失敗したチャプター
▷	再生中のチャプター

- チャプターを選択すると、選んだチャプターから再生されます。
- 番組によっては、チャプター一覧の表示やチャプターの選択ができないことがあります。

チャプターの詳細情報を表示する ＜チャプター情報＞

表示される情報は次のとおりです。

動画番組	タイトル、作成者、説明、再生時間、コピーライト、ファイルサイズ
音声番組	タイトル、アーティスト、コメント、作曲者、作詞者、権利者、販売元、権利情報、レーベル、再生時間、ファイルサイズ

1 チャプター一覧画面（☞P.379）でチャプターを選んで📷▶［チャプター情報］

- Music&Videoチャネルプレーヤー画面のときは、📷を押して［チャプター情報］を選択します。
- 番組によっては、チャプター情報を表示できないことがあります。

番組情報を確認する<番組情報>

表示される情報は次のとおりです。

- 表示名
- ファイル種別
- 時刻連動[あり/なし]
- ファイル制限[あり/なし]
- 番組移動制限[あり/なし]
- 再生回数制限
- 再生期間制限
- 再生期限制限
- 早送り制限[あり/なし]
- 巻戻し制限[あり/なし]
- チャプター送り制限[あり/なし]
- チャプター戻し制限[あり/なし]
- 番組画像[あり/なし]
- URL
- タイトル
- 作成者
- 権利情報
- 配信元
- コメント
- 再生時間
- ファイルサイズ
- 番組設定サイズ
- 取得元
- 保存日時

1 Music&Videoチャネルメニュー(☞P.376)/番組一覧画面(☞P.380)で番組を選んで📷▶[番組情報]

- Music&Videoチャネルプレーヤー画面のときは、📷を押して[番組情報]を選択します。
- URL情報がある場合、番組情報画面で🅼(WebTo)を押し、[はい]を選択するとサイトに接続できます。

番組を保存する<番組移動>

取得された番組は、データBOXのMusic&Videoチャネルの[配信番組]フォルダに保存されます。番組が更新されると、保存されている番組は上書きされ、再生できなくなります。上書きされたくない番組は、あらかじめ[保存番組]フォルダに移動しておいてください。

- 番組は、[配信番組]フォルダには2件、[保存番組]フォルダには20件まで保存できます。

1 Music&Videoチャネルメニュー(☞P.376)で番組を選んで📷▶[番組移動]

お知らせ

- 取得した番組はコピーしたり、microSDメモリーカードに保存することはできません。
- 次の場合は移動できません。
  - 取得に失敗した番組
  - 時刻連動が設定されている番組
  - 番組移動制限が設定されている番組
  - 再生制限を超えた番組
  - FOMAカード動作制限機能が設定された番組
  - 番組設定中

番組を削除する<番組削除>

1 Music&Videoチャネルメニュー(☞P.376)で番組を選んで📷▶[番組削除]▶[はい]

お知らせ

- 番組を削除しても、番組設定は解除されません。

サイトに接続する<サイト接続>

番組にURL情報がある場合はサイトに接続できます。

1 Music&Videoチャネルメニュー(☞P.376)で番組を選んで📷▶[サイト接続]▶[はい]

データBOXからMusic&Videoチャネルを操作する

データBOXのMusic&Videoチャネルの[配信番組]フォルダに現在配信されている番組や、[保存番組]フォルダに移動して保存した番組を再生できます。

- 番組の管理についてはP.348を参照してください。

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[Music&Videoチャネル]

- Music&Videoチャネルフォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダを選択

- 番組一覧画面が表示されます。

3 番組を選択

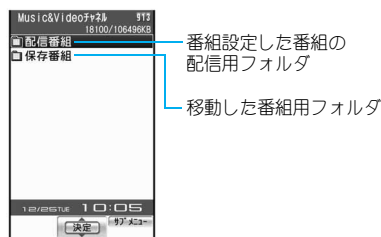
- 番組が再生されます。

画面の見かた

Music&Videoチャネルフォルダ一覧画面の見かた

番組一覧画面の見かた

番組一覧画面

Music&Video チャネル/音楽再生

■ 番組の種類とマークについて

番組の種類

マーク	説明
(黄色)	取得に成功した番組
	取得に失敗した番組
	FOMAカード動作制限機能が設定された番組
(青色)	未再生の番組
	時刻連動が設定されている番組
	再生制限のある番組

マークの種類

マーク	説明
	iモードでダウンロードした番組
	メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されている番組

関連操作

番組一覧画面の表示方法を変更する<表示切替>
1 番組一覧画面で ▶[表示切替]
2 [12分割]/[20分割]/[リスト表示]

番組タイトルを変更する<タイトル編集>

1 番組一覧画面(☞P.380)で番組を選んで ▶[タイトル編集]▶[直接入力]

- 元のタイトルに戻すときは、 を押し[タイトル編集]→[オリジナルタイトルに戻す]を選択します。

2 タイトルを編集して⦿

- タイトルを削除するときは、タイトル編集画面でCLRを1秒以上押します。
- 最大全角126文字(半角253文字)まで入力できます。

音楽の再生方法について

FOMA端末では、音楽データによって、次の方法で音楽を再生できます。

- 音楽を聴きながらメールやiモードサイトの表示などを利用することができます(バックグラウンド再生)。同時に使用可能な機能の組み合わせについては、P.479「マルチアシスタント(マルチタスク)の組み合わせについて」を参照してください。

■ ミュージックプレーヤー(☞P.381)

サイトやインターネットホームページからダウンロードした着うたフル®やmicroSDメモリーカードに保存したWMA(Windows Media Audio)ファイル、音声のみのiモーション(AAC形式の音楽データを含む)を再生できます。

- iモーションはiモーションプレーヤーでも再生できます(☞P.321)。

■ SDオーディオ(☞P.392)

SD-Jukeboxとパソコンなどを利用してmicroSDメモリーカードに保存した音楽データを再生できます。

ミュージックプレーヤーについて

- 再生できる音楽データは次のとおりです。

音楽データの種別	ファイル形式	Audioコーデック
着うたフル®	MP4	MPEG4-AAC、MPEG4-HEAAC(aacPlus)、Enhanced aacPlus
WMAファイル	WMA	WMA9
[マルチメディア]内データ	MP4	AMR、MPEG4-AAC、MPEG4-HEAAC(aacPlus)、Enhanced aacPlus

- 保存できる音楽データと再生時間は次のとおりです。

音楽データの種別	FOMA端末(本体)	microSDメモリーカード	最大再生時間
着うたフル®	約104Mバイト※1	1フォルダ最大400件※2	約1000分
WMAファイル	−	最大400件※2	約1000分
[マルチメディア]内データ	−	1フォルダ最大400件※2	約840分

※1 静止画、動画、ミュージック、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、キャラ電、iアプリを保存している場合には、着うたフル®の保存容量は少なくなります。
※2 音楽データのサイズやmicroSDメモリーカードの容量によって保存できる件数が変わります。

- FOMA端末(本体)やmicroSDメモリーカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末(本体)やmicroSDメモリーカード内に保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体に複製または移動しないでください。

音楽データを保存する

着うたフル®をダウンロードする

サイトやインターネットホームページから着うたフル®をダウンロードして保存できます。

- 最大５Mバイトの着うたフル®をダウンロードできます。
- 著作権のある音楽データをダウンロードした場合、違うFOMAカードを使用しての再生はできません。

1 サイト（☞P.180）やインターネットホームページ（☞P.187）を表示中に、着うたフル®を選択

- うた・ホーダイの場合は、再生期限情報が取得され、続けてうた・ホーダイのダウンロードが開始されます。

2 保存する

着うたフル®を保存する	[保存]→フォルダを選んで📷 ● microSDメモリーカードに保存するときは、[→microSD]→[移行可能コンテンツ]を選んで📷を押します。
着うたフル®を再生する	[再生] ● 元の画面に戻るときはCLRを押します。
詳細情報を表示する	[情報表示] ● 元の画面に戻るときは⦿またはCLRを押します。
保存しない	[戻る]→[いいえ]

- 保存が完了すると、再生確認画面が表示されます。[はい]を選択すると再生されます。
- データの読み込み／書き込み／中止などの処理を実行中は、microSDメモリーカードを抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

WMAファイルを保存する

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）でFOMA端末とパソコンを接続し、Windows Media Player 10／11を利用して音楽データをmicroSDメモリーカードに保存します。

- WMAファイルは最大400件まで保存できます。
- パソコンからプレイリストを転送することもできます。
- 著作権のある音楽データでは、パソコンからの転送時に使用したFOMA端末以外では再生できません。
- 著作権の無い音楽データでも、FOMA SH905i以外で保存したWMAファイルは再生できません。
- WMAファイルを保存したmicroSDメモリーカードを挿入した場合、SH905i以外で保存したWMAファイルは表示されない場合があります。
- FOMA SH905i以外でWMAファイルを保存したmicroSDメモリーカードを使用すると、MTPモードに設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、WMAファイルの全削除（☞P.391）を行うか、microSDメモリーカードをフォーマット（☞P.343）してください。なお、microSDメモリーカードをフォーマットすると、音楽データを含むすべてのデータが消去されますのでご注意ください。
- あらかじめ、Windows Media Player 10／11をパソコンにインストールしておいてください。

Windows Media Player 10／11について

- Windows XPでWindows Media Player 10／11をご利用になる場合は、Windows XP Service Pack 2以降をお使いください。
  Windows VistaではWindows Media Player 11をご利用ください。
  また、操作方法についてはWindows Media Player 10／11のヘルプをご覧ください。
- Windows Media Player 10をご利用時、パソコンをスタンバイや休止状態から復帰させた場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02をパソコンに接続し直してください。

1 Windows Media Player 10／11を利用してWMAファイルをパソコンに保存する

2 FOMA端末にmicroSDメモリーカードを挿入し、[MTPモード]に設定する（☞P.345）

3 FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02でパソコンに接続する

4 Windows Media Player 10／11を起動し、保存する音楽データを選ぶ▶microSDメモリーカードに転送する

5 転送が終わったら、FOMA端末からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外す

6 サイドボタン以外のいずれかのボタンを押す▶[はい]

- 通信モードに切り替わります。

ナップスター®アプリについて

ナップスター®アプリを利用して音楽データを保存することもできます。

- ナップスター®アプリは下記のホームページよりダウンロードできます。
  http://www.napster.jp/（2008年３月現在）
- ナップスター®アプリについてご不明な点がございましたら下記のホームページをご覧ください。
  http://www.napster.jp/support/（2008年３月現在）

お知らせ

WMAファイルの転送プレイリストについて

- プレイリスト名は、FOMA端末では最大全角・半角59文字まで表示されます。
- 59文字目まで同じ名前のプレイリストを転送した場合、プレイリストが上書きされます。

パソコンで作成したｉモーション（AAC形式の音楽データを含む）をFOMA端末に保存する

お客様が購入したCDの音楽などを、パソコンなどを利用してmicroSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生することができます。
ここでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）でFOMA端末とパソコンを接続してデータBOXのｉモーションの［マルチメディア］フォルダに保存し、再生する方法を説明します。

1 お客様が購入したCDの音楽などを、MP4形式に変換できる市販のソフトを利用して変換し、パソコンに保存する

- ソフトウェアの使用方法など詳細については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

2 FOMA端末にmicroSDメモリーカードを挿入し、［microSDモード］に設定する（☞P.345）

3 FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02でパソコンに接続する

4 音楽データをコピーする

- コピー方法は次のとおりです。
  1. 操作１で作成したファイルの名前を「MMFxxxx.3gp」／「MMFxxxx.mp4」に変更する。
     - ファイル名を変更する際は、パソコン上の設定で拡張子を表示してから行ってください。
     - 変更後のファイル名は、拡張子を除いて半角で「MMF0001」～「MMF9999」の範囲で変更してください。
  2. microSDメモリーカード内の¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILEフォルダにコピーする。
     - microSDメモリーカードのフォルダ構成については、P.338を参照してください。

5 音楽データのコピーが終わったら、FOMA端末からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外す

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外すときは、パソコンで、各OSのハードウェアの安全な取り外し方法を実行してください。

6 サイドボタン以外のいずれかのボタンを押す ▶［はい］

- 通信モードに切り替わります。

7 microSDメモリーカードの管理情報の更新を行う

- 詳しくは、P.346を参照してください。

ｉモーションプレーヤーで再生するとき

1 待受画面で◉ ▶［データBOX］▶［ｉモーション］▶ 📷 ▶［本体⇔microSD切替］

2 ［マルチメディア］フォルダから音楽データを選んで再生する

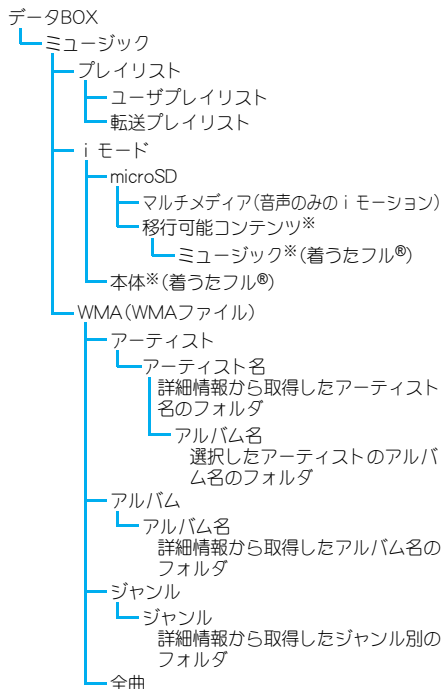
- ｉモーションの再生についてはP.321、リピート再生についてはP.322、連続再生についてはP.324を参照してください。
- ミュージックプレーヤーで再生する方法についてはP.386を参照してください。
- ［マルチメディア］フォルダ内のデータは、最大400件まで表示されます。フォルダ内に再生できないデータがある場合や、401件以上のデータが存在する場合には、データが表示されないことがあります。

お知らせ

- 再生中に着信やアラーム動作があった場合、再生は中止されます。
- ご使用になる市販のソフトウェアなどによっては、音楽データをFOMA端末でうまく再生できない場合があります。

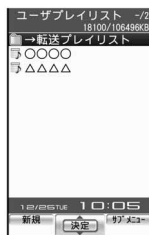
ミュージックプレーヤーのフォルダと画面の見かた

ミュージックプレーヤーのフォルダ構成

- データBOX
  - ミュージック
    - プレイリスト
      - ユーザプレイリスト
      - 転送プレイリスト
    - i モード
      - microSD
        - マルチメディア(音声のみのｉモーション)
        - 移行可能コンテンツ※
          - ミュージック※(着うたフル®)
      - 本体※(着うたフル®)
    - WMA(WMAファイル)
      - アーティスト
        - アーティスト名
          詳細情報から取得したアーティスト名のフォルダ
          - アルバム名
            選択したアーティストのアルバム名のフォルダ
      - アルバム
        - アルバム名
          詳細情報から取得したアルバム名のフォルダ
      - ジャンル
        - ジャンル
          詳細情報から取得したジャンル別のフォルダ
      - 全曲

※ フォルダ内に自分でフォルダを作成できます（☞P.344、P.347）。

- このフォルダ構成はミュージックプレーヤーのみで使用されます。microSDメモリーカード内の実際のフォルダ構成とは一致しません。
- [WMA]フォルダの場合、WMAファイルの詳細情報に応じて、同じファイルが複数のフォルダに表示されます。

画面の見かた

■ プレイリスト一覧画面／音楽データ一覧画面の見かた

プレイリスト一覧画面

着うたフル®の
音楽データ一覧画面

WMAファイルの
音楽データ一覧画面

[マルチメディア]内データ
の音楽データ一覧画面

■ 音楽データの種類とマークについて

音楽データの種類

ユーザプレイリスト	転送プレイリスト	着うたフル®		再生制限のある着うたフル®	
		本体	microSD	本体	microSD

うた・ホーダイ		再生期限が切れたうた・ホーダイ※		WMAファイル
本体	microSD	本体	microSD	

[マルチメディア]内データ	ダウンロードの途中で保存した音楽データ
MP4(Mobile MP4)	

※ IP(情報サービス提供者)により、サービスの都合上一部のうた・ホーダイが再生禁止となる場合があります。この場合も、再生期限切れのマークが表示されます。

マークの種類

(icon)	FOMAカード動作制限機能が設定された音楽データ
(icon)	メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されている音楽データ
(icon)	i モードなどでダウンロードした音楽データ
(icon)	microSDメモリーカードやFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02(別売)を利用して取得した音楽データ

お知らせ

● ASFファイルはミュージックプレーヤーで再生できません。

関 連 操 作

着うたフル®／[マルチメディア]内データの音楽データ一覧画面の表示方法を変更する<表示切替>

1 着うたフル®／[マルチメディア]内データの音楽データ一覧画面で📷▶[表示設定]

2 [表示切替]▶[12分割]／[20分割]／[リスト表示]

再生対象の音楽データ一覧を表示する<再生曲一覧>

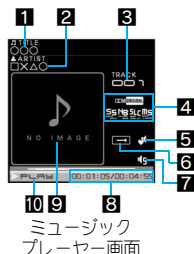
ミュージックプレーヤー画面で📖(または、📷▶[再生曲一覧])

関連操作のお知らせ

再生曲一覧について

● 再生曲一覧を表示した場合、[データ未取得]と表示されることがあります。

■ ミュージックプレーヤー画面の見かた

ミュージックプレーヤー画面

1 タイトル名※

2 アーティスト名※

3 トラック番号

4 Dolbyサウンド設定

NORMAL	ノーマル	CLASSIC	クラシック
ROCK	ロック	JAZZ	ジャズ
POPS	ポップス	ORIGINAL	オリジナル

オリジナルを選んだ場合

SS	サウンドスペース
NB	ナチュラルベース
SLC	サウンドレベルコントローラ
MS	モノラル→ステレオ

5 マナー再生設定

(icon)	ON

6 再生モード

(icon)	通常再生	SHUFFLE	シャッフル
(icon)	1曲リピート	SHUFFLE (repeat)	シャッフルリピート
ALL	全曲リピート		

7 音量

(icon)	(音量0)～(音量10)

8 再生時間／総再生時間

9 ジャケット画像

10 再生状態

▶PLAY	再生中	▶▶FF	早送り
❚❚PAUSE	一時停止中	◀◀REW	早戻し
■STOP	停止中		

※ FOMA端末(本体)内の着うたフル®のタイトル名とアーティスト名は最大全角126文字(半角253文字)まで、microSDメモリーカード内の着うたフル®のタイトル名は最大全角31文字(半角63文字)、アーティスト名は最大全角126文字(半角253文字)まで表示されます。WMAファイルのタイトル名とアーティスト名は最大全角・半角63文字まで表示されます。

ミュージック

ミュージックプレーヤーで音楽データを再生する

フォルダ内の音楽データを連続再生する

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[ミュージック]

- 待受画面で◉を押し、[MUSIC]→[ミュージックプレーヤー]を選択して操作することもできます。
- 再生期限が切れたうた・ホーダイがある場合は、再生期限更新確認画面が表示されます(☞P.388)。

ミュージック
プレイリスト
モード
WMA
続きから再生
モードで探す

データ種別選択画面

2 データ種別を選択

着うたフル®	[iモード] ● 着うたフル®とフォルダが混在して表示されます。フォルダ内の着うたフル®を選ぶときは、フォルダを選択します。 ● microSDメモリーカード内の着うたフル®を選ぶときは、✉(→microSD)→[移行可能コンテンツ]→フォルダを選択します。
WMAファイル	[WMA]→フォルダ種別を選択→フォルダを選択 ● フォルダ種別に[アーティスト]/[アルバム]/[ジャンル]を選択した場合、アーティスト名/アルバム名/ジャンルのフォルダ一覧画面が表示されます。[全曲]を選択した場合、すべてのWMAファイルの音楽データ一覧画面が表示されます。 ● アーティスト名のフォルダを選択した場合、アーティストのアルバム名のフォルダ一覧画面が表示されます。▮(全曲)を押すと、アーティストのすべてのWMAファイルの音楽データ一覧画面が表示されます。
[マルチメディア]内データ	[iモード]→✉(→microSD)→[マルチメディア]
プレイリスト	[プレイリスト]→プレイリストを選択 ● 詳しくは、「プレイリストを再生する」を参照してください。

- 音楽データ一覧画面が表示されます。
- 前回再生していた音楽データがある場合、[続きから再生]を選択すると、停止した位置から再生されます。

3 音楽データを選択

- ダウンロードの途中で保存した着うたフル®を選んだ場合、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択するとダウンロードできます。

プレイリストを再生する

1 待受画面で◉▶[データBOX]▶[ミュージック]▶[プレイリスト]

- プレイリスト一覧画面が表示されます(☞P.384)。
- 転送プレイリストを表示するときは、[→転送プレイリスト]を選択します。

2 プレイリストを選んで✉(再生)

- プレイリスト内の音楽データを選んで再生するときは、◉を押して音楽データを選択します。

ビューアポジションまたはFOMA端末を閉じた状態でミュージックプレーヤーを起動する

- 音楽起動設定については、P.125を参照してください。
- マルチメディアの機能別ロック中やマナーモード設定中、電池マークが[▮▮▮]/[➡▭]でない場合や再生期限が切れたうた・ホーダイがある場合は、確認画面が表示されるため再生されません。また、ご使用状態によっては電池マークが[➡▭]でも確認画面が表示されることがあります。

1 ビューアポジションまたはFOMA端末を閉じた状態で待受画面を表示中に、▯(Eco)を1秒以上押す

- 前回再生していた音楽データがある場合は、停止した位置から再生されます。前回再生していた音楽データ/プレイリストがない場合は、再生対象の音楽データの次の曲または先頭のユーザプレイリスト/転送プレイリストが再生されます。電源を入れてから一度も曲を再生せず、ユーザプレイリスト/転送プレイリストもない状態では、▯(Eco)を1秒以上押しても再生されません。プレイリストの作成については、P.389を参照してください。

再生中のボタン操作

	FOMA端末を開いているとき	ビューアポジションのとき	FOMA端末を閉じているとき
一時停止	◉(ポーズ)	▯(📷)	▯(📷)
停止	✉(停止)	−	−
音量調節(音量0～10)	◌/◌ ● ボタンを押し続けると、連続して調節できます。	▯/▯	▯/▯(Eco)
前の曲に戻す/頭出し※1	◌	▯(Eco)	▯(Eco)を1秒以上押す
早戻し	◌を1秒以上押す	▯(Eco)を1秒以上押す	−
次の曲を再生	◌	▯	▯を1秒以上押す
早送り	◌を1秒以上押す	▯を1秒以上押す	−

	FOMA端末を開いているとき	ビューアポジションのとき	FOMA端末を閉じているとき
ジャケット画像を表示※2	＃ ● 画像がない場合は表示されません。	－	－
歌詞画像を表示※2	＊ ● 歌詞がない場合は表示されません。	－	－
ミュージックプレーヤー終了	CLRまたは終話→[はい]	( )(または、( )を1秒以上押す)→[はい]→( )	( )を1秒以上押す
サブメニュー表示	( )	－	－

※1 再生経過時間が約2秒未満の場合は前の曲に戻ります。約2秒以上の場合は頭出しになります。

※2 ジャケット画像、歌詞画像を表示しているときのボタン操作については、P.391を参照してください。

- ダイヤルボタン(1～9)を押すとボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプします。1を押すと再生中の曲の先頭に戻ります。2～8を押すと曲の総再生時間の約1/8ずつ先の位置にジャンプします。9を押すと曲の最後にジャンプします。ただし、音楽データによってはジャンプしないときがあります。
- マナー再生設定を[ON]に設定すると、音量6以上に調節していた場合は、音量5に変更されます(音量は、音量0～5で変更できます)。

平型ステレオイヤホンセット(別売)などを接続した場合

- 平型ステレオイヤホンセット(別売)や平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチで下記の操作ができます。

再生／一時停止	スイッチを押す ● スイッチを押すごとに切り替わります。

お知らせ

- 電池マークが[( )]／[( )]でない場合、再生開始時や再生中に、再生するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると再生されます。また、ご使用状態によっては電池マークが[( )]でも確認画面が表示されることがあります。
- 再生中に電話がかかってくると、再生が中止し着信画面が表示され、電話に出ることができます。通話終了後にミュージックプレーヤー画面が表示されると、着信前に停止した位置から再生が再開されます。
- 音楽再生中に他の機能の操作を行ったりすると、音楽が途切れることがあります。

再生制限が設定されている音楽データについて

音楽データには、再生回数／再生期限／再生期間の再生制限が設定されているものがあります。再生制限を超えた場合の動作は、以下のように音楽データの種類により異なります。

着うたフル®の場合

再生回数		再生しようとすると、[再生可能回数が終了しました。削除しますか？]と表示されます。[はい]を選択すると削除されます。
再生期限		再生しようとすると、[再生可能期限が切れました。削除しますか？]と表示されます。[はい]を選択すると削除されます。
再生期間	再生期間前	再生しようとすると、[再生可能日前です。再生できません]と表示されます。
	再生期間後	再生しようとすると、[再生可能期限が切れました。削除しますか？]と表示されます。[はい]を選択すると削除されます。

うた・ホーダイの場合

再生期限が切れたうた・ホーダイがある場合、データBOXのミュージックまたはMUSICメニューのミュージックプレーヤーを選択したり、再生期限が切れたうた・ホーダイを再生しようとしたときに再生期限更新確認画面が表示され、( )(はい)を押すと再生期限を更新することができます。

※ 再生期限の更新には、別途パケット通信料がかかります。

- うた・ホーダイが1件も保存されていない場合でも、再生期限更新確認画面が表示される場合があり、再生期限の更新は行えますが、新たにうた・ホーダイを保存するまでは、再生することはできません。
- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎたあとでも数日間の再生猶予期間が設定されている場合があります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても再生ができます。再生猶予期間を過ぎると、ファイルの再生ができません。また、再生期限の更新をしていない状態で楽曲ダウンロードを行うと、保存前の再生ができません。
- うた・ホーダイをダウンロードした際に使用していたFOMAカードと異なる電話番号のFOMAカードを挿入した場合、再生期限の更新をしても、うた・ホーダイは再生できません。
  また、FOMA端末(本体)に保存しているうた・ホーダイの再生期限情報は、完全には削除されません。そのため、再生期限更新確認画面が表示される場合があります。うた・ホーダイの再生期限情報をすべて削除するには、ユーザデータ削除(☞P.417)を行ってください。
- 日本以外の国で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料はパケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルの適用対象外です。

- データBOXのミュージックまたはMUSICメニューのミュージックプレーヤーを選択したときに再生期限の更新をした場合、再生期限が切れたうた・ホーダイが複数あるときは、再生期限が切れたデータすべての更新が実行されます。更新が完了すると、データ種別選択画面が表示されます。
- 着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイが再生不可能になった場合は、着信時／アラーム鳴動時には、お買い上げ時に設定されている音が鳴ります。

再生期限更新確認画面

再生期限の更新が必要なデータがあります。
携帯電話／
FOMAカード（UIM）の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？
・XXXXXXX1
・XXXXXXX2
・XXXXXXX3
・XXXXXXX4
・XXXXXXX5

データBOXのミュージックまたはMUSICメニューのミュージックプレーヤー選択時

再生するには再生期限の更新が必要です。
携帯電話／
FOMAカード（UIM）の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？
XXXXXXX2

再生期限が切れたうた・ホーダイ選択時

WMAファイルの場合

再生制限を超えた場合は、[再生できません。更新が可能なデータは本体をPCに接続し、転送元ソフトを起動して更新してください]と表示されます。更新可能なWMAファイルがある場合は、FOMA端末をパソコンに接続して更新してください（☞P.382）。

フォルダ・プレイリスト・音楽データを管理する

フォルダを管理する

データBOXのミュージックの[ｉモード]フォルダ内に、最大20個のフォルダを作成して着うたフル®を管理できます。各フォルダ内に、さらに20個のフォルダを作成できます。

- フォルダの作成・削除およびフォルダ名の編集については、P.344またはP.347を参照してください。

音楽データを管理する

- microSDメモリーカードの[マルチメディア]内のデータの管理については、P.344を参照してください。

タイトルを変更する<タイトル編集>

1 **着うたフル®の音楽データ一覧画面（☞P.384）で着うたフル®を選んで[カメラ]▶[タイトル編集]**

2 **[直接入力]▶タイトルを編集して[決定]**

- 元のタイトルに戻すときは、[オリジナルタイトルに戻す]を選択します。
- タイトルを削除するときは、タイトル編集画面で[CLR]を1秒以上押します。
- 最大全角25文字（半角50文字）まで入力できます。

音楽データを並べ替える<ソート>

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

- ソートを実行したあと、音楽データ一覧画面を終了しても、その設定は継続されます。
- 着うたフル®、[マルチメディア]内データのソート方法は次のとおりです。

日付順（新→旧）	保存した日付の新しい順
日付順（旧→新）	保存した日付の古い順
タイトル－アーティスト順	音楽データ一覧画面に表示されるタイトルの50音順
タイトル順※	ミュージックプレーヤー画面に表示されるタイトルの50音順
アーティスト順※	アーティスト名の文字コード順
アルバム順※	アルバム名の50音順
ジャンル順※	ジャンルの50音順
ファイル取得元順※	取得元によって、空白→ｉモードの順
年順（新→旧）※	作曲された年の新しい順
年順（旧→新）※	作曲された年の古い順
サイズ順（大→小）	サイズの大きい順
サイズ順（小→大）	サイズの小さい順
トラック番号順（大→小）※	トラック番号の大きい順
トラック番号順（小→大）※	トラック番号の小さい順

※ [マルチメディア]内データの場合は選択できません。

- WMAファイルは、フォルダ種別が[全曲]の場合にソートできます。ソート方法は次のとおりです。

タイトル	ミュージックプレーヤー画面に表示されるタイトルの50音順
年	作曲された年の古い順
トラック番号	トラック番号の小さい順

1 **音楽データ一覧画面（☞P.384）で音楽データを選んで[カメラ]▶[表示設定]**

2 **[ソート]▶ソート方法を選択**

着うたフル®を別のフォルダに移動する<フォルダ間移動>

1 **着うたフル®の音楽データ一覧画面(☞P.384)で着うたフル®を選んで[📷]▶[移動]**

2 **[フォルダ間移動]▶移動方法を選択**

着うたフル®を1件移動する	[1件移動]→フォルダを選んで[📷]
複数の着うたフル®をまとめて移動する	[選択移動]→データを選択(くり返し可)→[📷]→フォルダを選んで[📷] ● すべてを選択/解除する場合は、[i](全選択)/[i](全解除)を押します。

お知らせ

- 自分で作成したフォルダがないときは、移動できません。

着うたフル®をmicroSDメモリーカードに移動する<microSDへ移動>

FOMA端末(本体)とmicroSDメモリーカードの間で着うたフル®を移動することができます。

1 **着うたフル®の音楽データ一覧画面(☞P.384)で着うたフル®を選んで[📷]▶[移動]**

- microSDメモリーカード内のすべての着うたフル®を移動するときは、[移行可能コンテンツ]フォルダを選んで[📷]を押し、[本体へ移動]→[全件移動]を選択し、端末暗証番号を入力して⦿を押します。

2 **[microSDへ移動]▶移動方法を選択**

- microSDメモリーカードからFOMA端末(本体)へ移動するときは、[本体へ移動]→移動方法を選択します。

着うたフル®を1件移動する	[1件移動]→[はい]
複数の着うたフル®をまとめて移動する	[選択移動]→データを選択(くり返し可)→[📷]→[はい] ● すべてを選択/解除する場合は、[i](全選択)/[i](全解除)を押します。
フォルダ内のすべての着うたフル®を移動する	[フォルダ内全件移動]→[はい]→端末暗証番号を入力して⦿
移動先フォルダを指定する	[移動先選択]→移動先フォルダを選んで[📷]

お知らせ

- プレイリストに登録している着うたフル®を移動した場合、プレイリストからも再生できなくなります。

着うたフル®を削除する<削除>

1 **着うたフル®の音楽データ一覧画面(☞P.384)で着うたフル®を選んで[📷]▶[削除]**

2 **削除方法を選択**

複数のフォルダをまとめて削除する	[フォルダ選択削除]→フォルダを選択(くり返し可)→[📷]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい] ● すべてを選択/解除する場合は、[i](全選択)/[i](全解除)を押します。
すべての着うたフル®を削除する(フォルダは残す)	[全件削除(フォルダ残)]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]
すべてのフォルダおよび着うたフル®を削除する	[全件削除(フォルダ消)]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]
着うたフル®を1件削除する	[1件削除]→[はい]
複数の着うたフル®をまとめて削除する	[選択削除]→データを選択(くり返し可)→[📷]→[はい] ● すべてを選択/解除する場合は、[i](全選択)/[i](全解除)を押します。
フォルダ内すべての着うたフル®を削除する	[フォルダ内全件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]

お知らせ

- プレイリストに登録している着うたフル®を削除した場合、プレイリストからも再生できなくなります。

プレイリストを作成する

FOMA端末で再生できるプレイリストには、FOMA端末で作成したユーザプレイリストと、パソコンなどで作成した転送プレイリストがあります。

- ユーザプレイリストは最大10件まで作成できます。1件につき99曲の音楽データを登録できます。
- 転送プレイリストは最大100件まで表示できます。1件につき400曲の音楽データを表示できます。FOMA端末では作成/移動/編集することはできません。転送プレイリストの転送方法については、P.382「WMAファイルを保存する」を参照してください。

1 **音楽データ一覧画面(☞P.384)で音楽データを選んで[📷]▶[プレイリストに登録]**

- 着うたフル®/WMAファイルの音楽データ一覧画面で、音楽データを選んで[i](登録)を押しても操作できます。操作3に進みます。
- ミュージックプレーヤー画面で、音楽停止中に[📷]を押して[プレイリストに登録]を選択しても操作できます。操作3に進みます。

次ページへ続く

2 登録方法を選択

1件登録する	[1件登録]
複数をまとめて登録する	[選択登録]→音楽データを選択(くり返し可)→📷 ● すべてを選択/解除する場合は、i(全選択)/i(全解除)を押します。
全件登録する	[全件登録]→[はい]

3 登録する

新規作成して登録する	i(新規)→プレイリスト名を入力して⦿ ● プレイリスト名は最大全角・半角50文字まで入力できます。
音楽データを追加する	プレイリストを選択
音楽データを上書きする	プレイリストを選んで✉(上書)→[はい]

関連操作

プレイリストを新規作成する<プレイリスト新規作成>

1 ユーザプレイリスト一覧画面でi(または、📷▶[プレイリスト管理]▶[プレイリスト新規作成])
2 プレイリスト名を入力して⦿

プレイリストに音楽データを追加する<曲追加>

1 ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選択
2 i(または、📷▶[曲追加])
3 着うたフル®を選ぶときは[iモード]
● WMAファイルを追加するとき:[WMA]▶フォルダを選択
4 音楽データを選んでi

プレイリストの表示順を1つ上に移動する<プレイリスト移動(↑)>

ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選んで📺(または、📷▶[プレイリスト移動(↑)])

プレイリスト内の音楽データを削除する<削除>

1 ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選択▶音楽データを選んで📷▶[削除]
2 1件削除するときは[1件削除]
● 複数の音楽データをまとめて削除するとき:[選択削除]▶音楽データを選択(くり返し可)▶📷
● すべての音楽データを削除するとき:[全件削除]
3 [はい]

プレイリストを削除する<削除>

1 ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選んで📷▶[削除]
2 1件削除するときは[1件削除]
● 複数のプレイリストをまとめて削除するとき:[選択削除]▶プレイリストを選択(くり返し可)▶📷▶端末暗証番号を入力して⦿
● すべてのプレイリストを削除するとき:[全件削除]▶端末暗証番号を入力して⦿
3 [はい]

関連操作

プレイリスト名を編集する<プレイリスト名編集>

1 ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選んで📷▶[プレイリスト管理]
2 [プレイリスト名編集]▶プレイリスト名を編集して⦿

プレイリストをコピーする<複製>

ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選んで📷▶[複製]▶プレイリスト名を入力して⦿

プレイリスト内の曲順を並べ替える<並べ替え>

1 ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選択▶📷▶[並べ替え]
2 移動する音楽データを選択・移動先を選択(くり返し可)▶i

プレイリストを更新する<プレイリスト更新>

ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選択▶📷▶[プレイリスト更新]▶[はい]

関連操作のお知らせ

プレイリスト内の音楽データ削除について
● プレイリスト内から削除しても、元の音楽データは削除されません。

プレイリスト更新について
● 次の場合は、プレイリスト更新を行うとプレイリストから削除されます。
■ 元の音楽データを削除した場合
■ 元の音楽データを、FOMA端末(本体)とmicroSDメモリーカードの間で移動した場合
■ microSDメモリーカード内の音楽データで、プレイリストに登録したときのmicroSDメモリーカードが挿入されていない場合
● 再生回数/再生期限/再生期間が終了した音楽データは、プレイリスト更新を行ってもプレイリストから削除されません。

着うたフル®を着信音に設定する<着信音設定>

1 着うたフル®の音楽データ一覧画面(☞P.384)で着うたフル®を選んで📷▶[着信音設定]

2 着信音の項目を選択

項目	音声電話着信音	メッセージR着信音
	テレビ電話着信音	メッセージF着信音
	非通知着信音	SMS着信音
	メール着信音	プッシュトーク着信音

3 設定範囲を選択

1曲全部を設定する	[まるごと設定]
着うたフル®の一部を設定する	[オススメ設定]→範囲を選んで[i] ● 選択できる範囲は、あらかじめ決められています。

- microSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内の着うたフル®を選んだときは、FOMA端末(本体)への移動確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、データBOXのミュージックの[iモード]フォルダに移動され、着信音に設定されます。
- 着うたフル®によっては、[まるごと設定]のみ設定できるもの、[オススメ設定]のみ設定できるものがあります。

お知らせ

- 着うたフル®によっては着信音に設定できない場合があります(☞P.121)。

音楽データの詳細情報を表示する<情報表示>

- 表示される詳細情報については、P.349を参照してください。

1 音楽データ一覧画面(☞P.384)で音楽データを選んで[MENU]▶[情報表示]

- 確認を終わるときは⦿または[CLR]を押します。
- 音楽データにURL情報がある場合は、情報表示中に[m](WebTo)を押し、[はい]を選択すると、サイトやインターネットホームページに接続できます。

着うたフル®の情報を編集する<情報編集>

着うたフル®のタイトルやアーティスト名、アルバム名、ジャンル、年、コメント、トラック番号、総トラック数の情報を編集することができます。

1 着うたフル®の音楽データ一覧画面(☞P.384)で着うたフル®を選んで[MENU]▶[情報編集]

2 編集する項目を選択▶編集して⦿

- 元に戻すときは、[オリジナルに戻す]→[はい]を選択します。

お知らせ

- 情報編集で変更したタイトルは、ミュージックプレーヤー画面で表示されるタイトル名に反映されます。音楽データ一覧画面に表示されるタイトル名を変更したい場合は、タイトル編集で変更してください。
- 着うたフル®によっては情報編集ができない場合があります。

音楽データに含まれた画像や歌詞を表示する

- 着うたフル®の場合、画像は3枚、歌詞は7枚まで表示できます。
- WMAファイルの場合、画像を1枚表示できます。

1 ミュージックプレーヤー画面(☞P.385)で[#]

- [MENU]を押し、[画像表示]を選択しても表示できます。
- 歌詞を表示するときは、[MENU]を押して[歌詞表示]を選択する、または[✕]を押します。

画像や歌詞を表示中のボタン操作

	FOMA端末を開いているとき	ビューアポジションのとき
次の画像/歌詞を表示	[→]	[▼]
前の画像/歌詞を表示	[←]	[▲](Eco)
画像/歌詞を非表示	[CLR]	[P]([P])
画像/歌詞を保存※	[i]	−

※ 音楽再生中は保存できません。

- 上記以外のボタンの操作については、P.386を参照してください。

お知らせ

- 画像や歌詞によっては、保存できない場合があります。
- WMAファイルの場合、画像を保存できません。

WMAファイルを一括して削除する<全削除>

microSDメモリーカードに保存されているWMAファイルおよび、転送プレイリストを一括して削除できます。

1 データ種別選択画面(☞P.386)で[WMA]▶[m](全削除)

2 端末暗証番号を入力して⦿▶[はい]

お知らせ

- WMAファイルの全削除を中断すると、WMAファイルの音楽データ一覧画面が表示できなくなります。もう一度全削除を行ってください。

再生設定

ミュージックプレーヤーの設定をする

1 ミュージックプレーヤー画面(☞P.385)で[📷]▶[再生設定]▶設定項目を選択

再生モードを設定する	[再生モード設定]→[通常再生]/[1曲リピート]/[全曲リピート]/[シャッフル]/[シャッフルリピート]
マナー再生を設定する	[マナー再生設定]→[ON]/[OFF]

お知らせ

マナー再生について

- マナー再生設定を[ON]に設定すると、再生音量を音量6以上に調節することができなくなります。

Dolbyサウンドを設定する ＜Dolbyサウンド設定＞

1 ミュージックプレーヤー画面(☞P.385)で[📷]▶[Dolbyサウンド設定]▶設定項目を選択

項目		
	ノーマル	クラシック
	ロック	ジャズ
	ポップス	オリジナル

- オリジナルを選んだ場合、それぞれ項目を設定して[i](完了)を押します。

サウンドスペース	[サウンドスペース]を選択→[ON]/[OFF]
ナチュラルベース	[ナチュラルベース]を選択→[ON]/[OFF]
サウンドレベルコントローラ	[サウンドレベルコントローラ]を選択→[ON]/[OFF]
モノラル→ステレオ	[モノラル→ステレオ]を選択→[ON]/[OFF]

SDオーディオ

SDオーディオを利用する

お客様が購入した音楽CDの音楽などを、SD-Jukeboxとパソコンなどを利用してmicroSDメモリーカードに保存すると、FOMA端末で再生できます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます(☞P.335)。

- SDオーディオで再生できる音楽データは次のとおりです。

種　類	ソフト	形　式
SD-Audioデータ	SD-Jukebox	SD-Audio対応AAC

- microSDメモリーカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。microSDメモリーカード内に保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体に複製または移動をしないでください。

SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは次のホームページより購入できます。
http://club.panasonic.co.jp/mall/sense/open/
SD-Jukeboxの対応OSは、Windows 2000、Windows XP、Windows Vistaです。動作環境詳細は次のホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

microSDメモリーカードに音楽データを保存する

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)でFOMA端末とパソコンを接続し、microSDメモリーカードに音楽データを保存します。

- SDメモリーカードリーダーライターなどを用いることもできます。ただし、SDメモリーカードリーダーライターは著作権保護機能に対応している必要があります。
- あらかじめ、SD-Jukeboxをパソコンにインストールしておいてください。

1 FOMA端末にmicroSDメモリーカードを挿入し、FOMA端末を[microSDモード]に設定する(☞P.345)

2 FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02でパソコンに接続する

3 SD-Jukeboxを起動し、パソコンに音楽CDをセットする

4 保存する音楽を選ぶ▶microSDメモリーカードに音楽データをコピーする

- SD-Jukeboxの操作方法については、SD-Jukeboxのヘルプをご覧ください。

5 音楽データのコピーが終わったら、FOMA端末からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を取り外す

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を取り外すときは、パソコンで、各OSのハードウェアの安全な取り外し方法を実行してください。

6 サイドボタン以外のいずれかのボタンを押す▶[はい]

- 通信モードに切り替わります。

SDオーディオで音楽を再生する

microSDメモリーカードの[SD_AUDIO]フォルダに保存されたAAC形式の音楽データを再生します。

1 **待受画面で◉▶[MUSIC]▶[SDオーディオ]**

2 **◉(再生)**

- 前回再生していた音楽データがある場合、停止した位置から再生されます。

ビューアポジションまたはFOMA端末を閉じた状態でSDオーディオを起動する

- 音楽起動設定については、P.125を参照してください。

1 **ビューアポジションまたはFOMA端末を閉じた状態で待受画面を表示中に、(Eco)を1秒以上押す▶(📷)**

再生中のボタン操作

	FOMA端末を開いているとき	ビューアポジションのとき	FOMA端末を閉じているとき
一時停止	◉(ポーズ)	(📷)	(📷)
音量調節(音量0～10)	／ ● ボタンを押し続けると、連続して調節できます。	／	／(Eco)
前の曲に戻す／頭出し※		(Eco)	(Eco)を1秒以上押す
早戻し	を1秒以上押す	(Eco)を1秒以上押す	—
次の曲を再生			を1秒以上押す
早送り	を1秒以上押す	を1秒以上押す	—
SDオーディオ終了	CLRまたは→[はい]	()(または、(📷)を1秒以上押す)→[はい]→(📷)	(📷)を1秒以上押す
サブメニュー表示		—	—

※ 再生経過時間が約2秒未満の場合は前の曲に戻ります。約2秒以上の場合は頭出しになります。

- ダイヤルボタン(1～9)を押すとボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプします。1を押すと再生中の曲の先頭に戻ります。2～8を押すと曲の総再生時間の約1/8ずつ先の位置にジャンプします。9を押すと曲の最後にジャンプします。ただし、音楽データによってはジャンプしないときがあります。
- マナー再生設定を[ON]に設定すると、音量6以上に調節していた場合は、音量5に変更されます(音量は、音量0～5で変更できます)。

平型ステレオイヤホンセット(別売)などを接続した場合

- 平型ステレオイヤホンセット(別売)や平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチで下記の操作ができます。

再生／一時停止	スイッチを押す ● スイッチを押すごとに切り替わります。

お知らせ

- 電池マークが[]／[]でない場合、再生開始時や再生中に、再生するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると再生されます。また、ご使用状態によっては電池マークが[]でも確認画面が表示されることがあります。
- 音楽再生中に着信やアラームが動作したり、他の機能の操作を行ったりすると、再生が停止することがあります。
- 音楽再生中に他の機能の操作を行ったりすると、音楽が途切れることがあります。
- SDオーディオ起動中、最後に表示した曲の履歴情報(曲番号と再生時間)をmicroSDメモリーカード内に保持します。次回再生時は、この履歴情報により、最終再生位置から再生を再開します。ただし、プレイリストを切り替えて、そのままSDオーディオを終了した場合は、次回再生時は、切り替えをしたプレイリストの1曲目から再生されます。また、FOMA端末やパソコンでmicroSDメモリーカード内の曲を削除したり、曲の追加などを行ったりした場合は、履歴情報がクリアされたり、異なるデータに履歴情報が適用されることがあります。
- SDオーディオ再生時に電池パックを取り外したり、microSDメモリーカードを抜いた場合、最後に再生した曲の履歴情報は保持されません。また、曲を削除したり、並べ替えをした場合は、履歴情報はクリアされます。
- 曲は2秒単位で構成されているため、再生を中断させた場合、停止位置と再生の再開位置がずれることがあります。
- マルチメディアの機能別ロック中は、端末暗証番号を入力するとSDオーディオを起動できます。
- SDオーディオ起動中に、他の機能からmicroSDメモリーカードを使用することはできません。
- 他の機能でmicroSDメモリーカードを使用しているときは、SDオーディオを起動できません。

関連操作

リピート再生／シャッフル再生を設定する <再生モード設定>

1 音楽一時停止中／音楽再生中に▶[再生設定]
2 [再生モード設定]▶[通常再生]／[1曲リピート]／[全曲リピート]／[シャッフル]／[シャッフルリピート]

マナー再生モードにする <マナー再生設定>

音楽一時停止中／音楽再生中に▶[再生設定]▶[マナー再生設定]▶[ON]

次ページへ続く

関連操作

Dolbyサウンドを設定する<Dolbyサウンド設定>

1 音楽一時停止中／音楽再生中に📷▶[Dolbyサウンド設定]

2 [ノーマル]／[ロック]／[ポップス]／[クラシック]／[ジャズ]／[オリジナル]
- [オリジナル]を選択したとき：[サウンドスペース]／[ナチュラルベース]／[サウンドレベルコントローラ]／[モノラル→ステレオ]を選択▶[ON]／[OFF]▶i

再生中の画面を設定する<再生中画面設定>

1 音楽一時停止中に📷▶[再生中画面設定]

2 [パターン1]／[パターン2]／[パターン3]

タイトルやアーティスト名を編集する<トラック情報編集>

1 音楽一時停止中に📷▶[トラック情報編集]
- プレイリスト画面から編集するとき：プレイリスト一覧で[全曲リスト]▶曲を選んで📷▶[トラック情報編集]

2 [タイトル]／[アーティスト]▶タイトル名／アーティスト名を編集して⦿

関連操作のお知らせ

情報編集について
- 音楽CDからmicroSDメモリーカードに音楽データを保存すると、タイトル(全角)、タイトル(半角)、アーティスト(全角)、アーティスト(半角)、アルバム(全角)、アルバム(半角)、ジャンルの情報が設定されます。
- タイトル(全角)とアーティスト(全角)は編集することができます。タイトル・アーティストをあわせた文字数の合計は、最大125文字までです。また、タイトル(半角)、アーティスト(半角)、アルバム(全角)、アルバム(半角)、ジャンルについては、FOMA端末で確認することはできません。
- FOMA端末で確認することができない項目にあらかじめ情報が含まれていた場合、編集できる文字数は少なくなります。

プレイリストを利用する<プレイリスト一覧>

登録されているプレイリストを使って再生します。
- 全曲リストと、お客様がSD-Jukeboxで作成したユーザプレイリストを表示できます。
- ユーザプレイリストは最大99件まで作成できます。1件につき99曲の音楽データを登録できます。

1 音楽一時停止中に📷▶[再生中プレイリスト表示]
- 再生中のプレイリストから曲を選ぶ場合は、操作4に進みます。音楽再生中でも操作できます。

2 📷▶[プレイリスト一覧]
- iを押しても、プレイリスト一覧が表示されます。

3 プレイリストを選択
- プレイリストを選んでiを押すと詳細情報が表示されます。

4 再生する曲を選択

関連操作

音楽データを削除する<トラック削除>

1 プレイリスト一覧で[全曲リスト]▶曲を選んで📷▶[トラック削除]

2 1件削除するときは[1件削除]
- 複数の曲をまとめて削除するとき：[選択削除]▶端末暗証番号を入力して⦿▶曲を選択(くり返し可)▶i
- すべての曲を削除するとき：[全件削除]▶端末暗証番号を入力して⦿

3 [はい]

プレイリストの曲を並べ替える<並べ替え>

1 プレイリスト一覧で[全曲リスト]▶📷▶[並べ替え]

2 移動する音楽データを選択・移動先を選択(くり返し可)▶i

詳細情報を表示する<情報表示>

プレイリスト画面で曲を選んで📷▶[情報表示]
- 確認を終わるとき：⦿またはCLR

関連操作のお知らせ

トラック削除／並べ替えについて
- ユーザプレイリスト表示中は操作できません。

プレイリストの曲を検索する<トラック検索>

1 音楽一時停止中に、プレイリスト画面で📷▶[トラック検索]▶検索方法を選択

タイトルで検索する	[タイトル検索]→タイトルを入力して⦿
アーティストで検索する	[アーティスト検索]→アーティスト名を入力して⦿
検索履歴から検索する	[検索履歴]→検索履歴を選択 ● 最近検索した履歴が5件まで表示されます。

- 検索結果リストから曲を削除するとき：📷を押して[検索結果内トラック削除]を選択し、削除方法を選択
  検索結果リストから削除しても、元の音楽データは削除されません。
- 検索をやり直すとき：📷を押して[プレイリスト内トラック検索]を選択
- プレイリスト画面に戻るとき：📷を押して[プレイリストに戻る]、またはCLR
- SDオーディオを終了すると、検索履歴はクリアされます。

2 再生する曲を選択
- 再生中に📷を押して[検索結果表示]を選択すると、検索結果リストに戻ります。

その他の便利な機能

設定状況確認

設定状況を確認する

各種機能の設定状況を確認できます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[確認]▶[設定状況確認]▶端末暗証番号を入力して◉

2 確認する機能を選択

機能	音・バイブ・マナー	フルブラウザ
	表示・ランプ・省電力	メール・メッセージ
	一般設定	ｉアプリ
	通話・通信機能設定	GPSメニュー
	セキュリティ	トルカ
	ｉモード	おサイフケータイ

- 設定状況が表示され、内容を確認できます。✥でページを切り替えられます。
- ◉を押すと、元の画面に戻ります。

音・バイブ・マナー 1/19
着信音量選択
音声電話着信音 音量5
テレビ電話着信音 音量5
公衆電話着信音 音量5
非通知設定着信音 音量5

[音・バイブ・マナー]を選択した場合

マルチアクセス

マルチアクセスについて

FOMA端末では音声電話と一部のパケット通信（ｉモードメールの受信およびパソコンをつないだデータ通信）の複数の通信を同時にご利用いただけます。これをマルチアクセスと呼びます。

- マルチアクセスとは別に、音声電話などの通信中にSMSを受信できます。
- 音声電話中、上記以外のパケット通信（ｉモードおよびｉモードメール送信）もご利用になれます。
- テレビ電話中はｉモードメールを受信できません。ｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。

マルチアクセスの主な組み合わせ

FOMA端末で同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは、P.478「マルチアクセスの組み合わせについて」を参照してください。

通話中にｉモードメールやSMSを受信する

1 音声電話の通話中にｉモードメールやSMSを受信する

- ディスプレイに[✉]、[✉]、[SMS]とメールテロップ（☞P.219）が表示されます。
- このまま通話を続けて、通話終了後にｉモードメールやSMSを見ることもできます。

2 メールテロップ表示中に✉を1秒以上押す

- ビューアポジションのときは、P（P）を1秒以上押します。
- 受信BOX一覧画面が表示されます。
- テロップ表示を消すときは、P（P）を押します。

3 メールを選択

- 通話中画面に戻るときは、MULTIを押して[音声電話]を選択します。

ｉモード中に電話をかける

ｉモード中に通信を継続したまま、Phone To（AV Phone To）機能により音声電話をかけることができます。

- テレビ電話やプッシュトークを発信した場合は、ｉモード通信が終了します。

1 サイトやインターネットホームページで表示されている電話番号を選択

2 ✆／◉（発信）▶[はい]

- ｉモードに接続したまま、ダイヤルされます。

3 通話が終わったら✆

- サイトやインターネットホームページの画面に戻ります。

マルチアシスタント（マルチタスク）

マルチアシスタント（マルチタスク）について

マルチアシスタント（マルチタスク）とは音声電話中やワンセグ視聴中にメールを作成するなど、複数の機能を同時に使用できる機能です。

- 音声電話の着信やデータ通信の着信などで、4つ以上の機能が同時に動くこともあります。
- ディスプレイ上部に、起動中の機能のマーク（マルチタスク表示）が表示されます（☞P.30）。

新しい機能を呼び出す

音声電話中や機能の操作中に別の機能を起動することができます。

- 待受画面表示中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中、カメラ起動中、ボイスレコーダー起動中、赤外線通信中、ｉC通信中、アラーム設定時、タイマー利用中、microSD管理画面、各種設定画面、ショートカットメニューなどは、マルチアシスタントで他の機能を起動できません。

1 音声電話の通話中や機能の操作中にMULTI

アプリアイコン選択画面

- アプリアイコン選択画面が表示されないときは、i(切替)を何回か押します。
- アプリリスト選択画面が表示されたときは、iで切り替えるか、そこから起動する機能を選ぶこともできます。

アプリリスト選択画面

- マルチアシスタントを利用できないときはMULTIを押してもマルチアシスタントの画面は表示されません。
- 音声電話の通話中や機能の操作中に(TV)を押すと、ワンセグを起動できます。

2 起動する機能アイコンを選択

［電話帳］を選択した場合

- でカーソルを移動します。
- 選択できない機能は起動できません。
- 起動する機能が一覧表示されたときは、機能を選択します。機能の操作については、各機能の説明ページを参照してください。
- 音声電話をかけるときは、マルチアシスタントの画面でを押し、電話番号を入力してを押します。
- アプリアイコン選択画面の機能アイコンの位置を入れ替えるときは、機能アイコンを選んでを押し、移動先を選択します。元に戻すときは、(リセット)を押します。

画面を切り替える

マルチアシスタントで複数の機能を起動しているときは、表示する画面を切り替えることができます。

1 複数の機能の動作中にMULTI

アプリアイコン切替画面

- 現在動作している複数の機能が、アプリアイコン切替画面にアイコンとして表示されます。4つ以上の機能が動作しているときは、アプリリスト切替画面が表示されます。

2 表示する機能を選択

- 4つ以上の機能が動作しているときは、現在動作している機能のリストが表示されます。リストから機能を選択します。

機能を終了する

■ 表示中の機能を終了する

1 複数の機能が動作しているときに

- 表示されていた機能が終了し、別の動作中の画面が表示されます。

■ 機能を選んで終了する

1 複数の機能が動作しているときにMULTI

2 で機能を選んで(終了)

- 4つ以上の機能が動作しているときは、で機能を選んでを押します。
- すべての機能を終了するときは、(全終了)を押し、［はい］を選択します。［いいえ］を選択すると操作1で動作中の機能に戻ります。
- 操作ガイダンスに［終了］が表示されていないときは、を押しても終了できません。

アクティブマーカー

最近利用した機能やファイルを呼び出す

最近利用した機能、最近表示したページや画像などは待受画面から簡単に呼び出すことができます。当日のスケジュールの詳細を表示できます。

アイコン	機能	内容
	iモード履歴	iモードメニューから接続したiモードサイトのURLとタイトルを最新5件分記憶しています。履歴一覧から選択するだけで、同じサイトにすぐに接続できます(同じサイトは重複せず1件として記憶されます)。
	フルブラウザ履歴	フルブラウザメニューから接続したインターネットサイトのURLとタイトルを最新5件分記憶しています。履歴一覧から選択するだけで、同じサイトにすぐに接続できます(同じサイトは重複せず1件として記憶されます)。
	ミュージック履歴	ミュージックプレーヤーとSDオーディオで再生した音楽データの最新の1件を記憶しています。［ミュージックを再生］または［SDオーディオを再生］を選択するだけですぐに再生できます。
12	スケジュール表示	当日のスケジュールのうち開始時間が早いものが5件まで表示されます。一覧から選択すると、詳細画面が表示されます。
	マイピクチャ履歴	イメージビューアで再生した画像を最新5件分記憶しています。履歴一覧から選択して再生できます(Flash画像、GIFアニメーションは記憶されません)。

アイコン	機　能	内　容
(icon)	ｉモーション履歴	ｉモーションプレーヤーで再生したｉモーションを最新５件分記憶しています。履歴一覧から選択して再生できます。
(icon)	ｉアプリ履歴	保存されているｉアプリのうち最近起動したものを５件分記憶しています。履歴一覧から選択して起動できます（待受ｉアプリを実行した場合は履歴に記憶されません）。

1 待受画面で◯

- 待受画面にカレンダーを表示しているときは◯を押し、カレンダー表示を解除したあと、◯を押してください。

デスクトップアイコン選択画面

2 デスクトップアイコンを選択▶履歴を選択

- 履歴のないデスクトップアイコンでは、履歴は表示されません。
- 選択した履歴の機能が起動します。
- 選択した機能の機能別ロック中や、フォルダセキュリティを設定している場合は端末暗証番号の入力が必要です。
- 選択した履歴のファイルを削除または移動した場合は、［起動できません。削除／移動されている可能性があります］と表示され、起動できません。また、マイピクチャ履歴やｉモーション履歴を選択したときは、カレンダー／日付表示エリアの選択画像表示は代替画像に切り替わります。選択した履歴のｉアプリを削除した場合は、［指定されたソフトがありません］と表示されます。
- マイピクチャ履歴、ｉモーション履歴は、FOMA端末（本体）にデータがある場合は、フォルダを移動しても表示され、起動できます。

カレンダー／日付表示エリア

- ［スケジュール表示］の履歴を表示中は、常にカレンダーが表示されます。［マイピクチャ履歴］、［ｉモーション履歴］の場合は選択した画像が表示されます。それ以外の場合は、［カレンダー／日付表示］の設定に従います。

アクティブマーカーを設定する

カレンダー／日付の表示を設定する ＜カレンダー／日付表示＞

- ［スケジュール表示］の履歴を表示中は、この設定にかかわらず常にカレンダーが表示されます。［マイピクチャ履歴］、［ｉモーション履歴］の場合は選択した画像が表示されます。

1 デスクトップアイコン選択画面で◯▶［カレンダー／日付表示］▶表示する内容を選択

内容	カレンダー表示	OFF
	日付表示	

履歴を削除する＜履歴削除＞

- ミュージック履歴、スケジュール表示は削除できません。

1 デスクトップアイコン選択画面で、デスクトップアイコンを選択▶履歴を選んで◯▶［履歴削除］▶削除方法を選択

１件削除する	［１件削除］
カテゴリ内を全削除する	［カテゴリ内全削除］
全削除する	［全削除］→端末暗証番号を入力して◉

デスクトップアイコンを表示するかどうかを設定する＜表示カテゴリ設定＞

機能ごとにデスクトップアイコンを表示するかどうかを設定できます。

1 デスクトップアイコン選択画面で◯▶［表示カテゴリ設定］▶端末暗証番号を入力して◉

2 表示／非表示にする項目を選択▶◯（完了）

- ［☑］は表示、［□］は非表示の状態です。
- 項目を選択すると、表示と非表示を交互に切り替えることができます。
- すべてを選択／解除する場合は、◯（全選択）／◯（全解除）を押します。

その他の便利な機能

自動電源ON

自動的に電源をONにする

指定した時刻になったら自動的にFOMA端末の電源を入れます。

- 自動電源ONを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くや、航空機内、病院など使用を禁止された区域に入る場合は、あらかじめ自動電源ONを解除してから、FOMA端末の電源を切ってください。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[自動電源ON／OFF]▶[自動電源ON]

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください(☞P.46)。

2 [自動電源ON設定]を選択▶[ON]

3 [時刻]を選択▶動作時刻(4桁)を入力して◉

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは、◎で移動できます。

4 [アラーム設定]を選択▶[ON]

- アラームを鳴らさないときは、[OFF]を選択して操作7へ進みます。

5 [アラーム音]を選択▶フォルダを選択▶アラーム音を選んで[i](決定)

- アラーム音を確認するときは、アラーム音を選択します。停止するときは[i]を押します。

6 [アラーム音量]を選択▶◎／◎で音量を調節して◉

7 [i](完了)

- アラーム設定を[ON]に設定したときは、[PIN1コード入力がONのときにはPIN1コードが入力されるまでアラームは鳴動しません]と表示されます。[確認]を選択すると、自動電源ON機能が設定されます。

■ 指定した時刻になると

自動的に電源が入り、[自動電源ON時刻が過ぎました]と表示されます。

- 指定した時刻に電源が入っていたときも、同様に動作します。
- PIN1コード入力設定(☞P.144)を[ON]に設定しているときは、PIN1コード入力画面になり、PIN1コード入力後[自動電源ON時刻が過ぎました]と表示されます。
- アラームが鳴るように設定しているときは、約15秒間アラームが鳴ります。アラームを止めるときは、P.402「アラーム鳴動中のボタン操作」を参照してください。
- 通話中や着信時の場合は、通話終了後にアラームが鳴ります。

お知らせ

- 自動電源ONとアラーム(アラーム／スケジュールアラーム／視聴予約アラーム／録画予約アラーム)を同じ時刻に設定すると、自動電源ONが優先します。自動電源ON通知画面でしばらく(約15秒)お待ちいただくか、またはボタンを押して自動電源ON通知画面を消すとアラームが動作します。
- 自動電源ONと自動電源OFFの時間を同時刻に設定した場合、FOMA端末の電源が切れているときは電源が入り、電源が入っているときは電源が切れます。ただし、電源が入っているときは、電源が切れたあとすぐに電源が入る場合があります。
- 電池パックを取り外して電源を切った場合には、自動電源ONが動作しないことがあります。

アラーム設定時刻に自動で電源を入れてアラームを鳴らす<アラーム連動電源ON>

- 自動電源ONとアラーム連動電源ONを同じ時刻に設定すると、自動電源ONが優先します。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[自動電源ON／OFF]▶[アラーム連動電源ON]▶[ON]

2 [確認]

自動電源OFF

自動的に電源をOFFにする

指定した時刻になったら自動的にFOMA端末の電源を切ります。

- 自動電源OFFを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[自動電源ON／OFF]▶[自動電源OFF]

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください(☞P.46)。

2 [自動電源OFF設定]を選択▶[ON]

3 [時刻]を選択▶動作時刻(4桁)を入力して◉

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは、◎で移動できます。

4 [i](完了)

- 自動電源OFF機能が設定されます。

■ 指定した時刻になると

確認画面

指定した時刻に何かの操作をしていると（待受画面以外を表示しているとき：メール／アラーム（鳴動時）／電卓／スケジュール／タイマー／メロディプレーヤー／ワンセグ／ｉモード／データBOXの連続再生・スライドショー・全画面表示など）、確認画面が表示されます。［はい］を選択するか、何も操作しないでそのままにしておくと、約１分後に電源は切れます。
［いいえ］を選択すると、操作を続けることができます。

- 通話中の場合は、通話を終了し、通話前の画面に戻ると確認画面が表示されます。
- ソフトウェア更新中（☞P.498）は、ソフトウェア更新終了後、待受画面に戻ると確認画面が表示されます。
- 確認画面表示中は、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しません。また、視聴・録画も開始されません。

お知らせ

- 自動電源OFFとアラーム（アラーム／スケジュールアラーム／視聴予約アラーム／録画予約アラーム）を同じ時刻に設定すると、自動電源OFFにより電源が切れ、アラームは動作しません（ただし、同時刻内に手動で電源を入れた場合や確認画面が表示されたときに、［いいえ］を選択した場合は、アラームが動作します）。
- ｉアプリ起動中は、自動電源OFFで設定した時刻になっても、電源は切れません。ｉアプリを終了すると自動電源OFF確認画面が表示され、何も操作しないでそのままにしておくと電源が切れます。
- 赤外線通信機能起動中は、自動電源OFFで設定した時刻になっても、電源は切れません。赤外線通信が終了すると自動電源OFF確認画面が表示され、何も操作しないでそのままにしておくと電源が切れます。
- 自動電源ONと自動電源OFFの時間を同時刻に設定した場合、FOMA端末の電源が切れているときは電源が入り、電源が入っているときは電源が切れます。ただし、電源が入っているときは、電源が切れたあとすぐに電源が入る場合があります。

タイマー

一定の時間が経過するとアラームで知らせる

設定した時間が経過したときに、タイマー音や着信ランプでお知らせできます。

- タイマー音が鳴っている間に通常ポジションまたはビューアポジションでいずれかのボタンを押すと止まります。
- タイマー音の音色や鳴動時間は変更できます（☞P.122）。
- 着信バイブレータ（☞P.125）を設定していると、アラーム動作時にバイブレータも連動して動作します。

1 待受画面で◉▶［LifeKit］▶［タイマー・アラーム］▶［タイマー］

2 時間を入力して◉（開始）

９分58秒
➡［09：58］

- 左の２桁に分を、右の２桁に秒を入力します。
- １秒～99分59秒の間で設定できます。
- タイマー動作中に電源を切った場合、タイマーは終了します。

停止する	◉ ● 再開するときは◉（開始）を押します。 ● ▯（リセット）を押すと、設定時間が３分に戻ります。
解除する	▭

お知らせ

- お知らせする着信ランプの動作を設定することもできます（☞P.137）。
- タイマーを利用中に電話がかかってきたりメールを受信しても、タイマーは継続します。ただし、通話中、メール受信中など、タイマーが表示されていないときに設定した時間が経過した場合、タイマー音は鳴りません。

待受画面からタイマーを使う<タイマー>
待受画面で、時間（１～99分）を入力して◉▶［タイマー］

指定した時刻にアラームで知らせる

指定した時刻・曜日に、メロディ、着うたフル®や動画／ｉモーションでお知らせします。

- 着信バイブレータ（☞P.125）を設定していると、アラーム動作時にバイブレータも連動して動作します。

アラームを登録する

ここでは、アラームが動作する時刻と曜日を設定する手順を例に、基本的なアラームの登録方法を説明します。

- アラーム音量や音色を変えたり、メッセージや電話番号を表示するなど、アラーム動作時の状態を設定できます（☞P.401）。また、メロディステレオ効果（☞P.124）や着信ランプ（☞P.137）を変えることもできます。

メッセージ	アラーム動作時にメッセージを表示できます。最大全角30文字（半角60文字）まで入力できます。
連絡先	アラーム動作時に電話番号を表示できます。アラーム動作時に簡単に電話をかけられます。
アラーム音選択	アラーム音を変更できます。メロディ、着うたフル®や動画／ｉモーションも設定できます。
アラーム音量選択	アラーム音量を変えることができます。
スヌーズ設定	アラームが鳴る回数と間隔を設定できます。
鳴動時間	アラーム動作時にアラームが鳴っている時間を変更できます。

1 待受画面で⦿▶［LifeKit］▶［タイマー・アラーム］▶［アラーム］▶アラーム登録番号を選択

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください（☞P.46）。
- アラームは９件まで登録でき、毎日、または曜日指定の繰り返し設定を行っている場合は、解除するまでお知らせします。

アラーム１
1 時刻入力
2 繰り返し設定 0:00
3 メッセージ
4 連絡先
5 アラーム音選択
6 アラーム音量選択
7 スヌーズ設定
8 鳴動時間

アラーム登録画面

2 ［時刻入力］▶動作時刻（４桁）を入力して⦿

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは、◯で移動できます。

3 ［繰り返し設定］▶くり返し方法を選択

１回だけ動作する	［１回だけ］ ● アラーム動作後、設定が自動的に解除されます。
指定曜日に動作する	［曜日指定］→曜日を選択（くり返し可）→📷 ● ［休日設定日を除く］にチェックを入れたときは、休日設定・祝日設定された日にはアラームが動作しません。 ● 曜日指定を解除する場合は、曜日を選択します。 ● すべてを選択／解除する場合は、▮（全選択）／▮（全解除）を押します。
毎日動作する	［毎日］

4 ▮（完了）

- 登録を終わるときは⏎を押します（待受画面に［🔔］表示）。

設定内容の見かた

1 アラーム設定されているときに表示
2 設定時刻
3 くり返し設定の内容を表示

①	１回だけ
Ⓦ	曜日指定
Ⓓ	毎日

4 アラーム音が動作している時間
5 スヌーズ設定されているときに表示
6 未登録

お知らせ

- 複数のアラーム機能を同じ時刻に設定した場合、次の優先順位で動作します。

	優先順位（高→低）
アラーム機能	録画予約→視聴予約→アラーム→スケジュール

■ 視聴予約と録画予約を同じ時刻に設定した場合は、視聴予約アラームは動作しません。

- 当日（時刻が過ぎている場合は翌日）、１回のみのアラームを簡単に設定できます（クイックアラーム）。

関連操作

待受画面からアラームを設定する<クイックアラーム>
待受画面で時刻（例 午後２時５分：「1405」）入力して⦿▶［クイックアラーム］

メッセージを表示する<メッセージ>
アラーム登録画面で［メッセージ］▶メッセージを入力して⦿

その他の便利な機能

次ページへ続く

関連操作

連絡先を表示する＜連絡先＞

1 アラーム登録画面で［連絡先］
2 ［電話帳検索］▶名前を選択
- 直接入力するとき：［直接入力］▶電話番号を入力して●

アラーム音を変更する＜アラーム音選択＞

1 アラーム登録画面で［アラーム音選択］
2 ［メロディ］／［ミュージック］／［ｉモーション］
- 設定しないとき：［設定なし］

3 P.120の操作2を参照してアラーム音を選ぶ

アラーム音量を変更する＜アラーム音量選択＞

1 アラーム登録画面で［アラーム音量選択］
2 ○／○▶●
- アラーム音を鳴らさないとき：［サイレント］

アラームの回数と間隔を設定する＜スヌーズ設定＞

1 アラーム登録画面で［スヌーズ設定］
2 ［ON］
3 間隔（2桁：02～15分）を入力して●▶回数（2～6）を入力して●

鳴動時間を変更する＜鳴動時間＞

アラーム登録画面で［鳴動時間］▶鳴動時間（2桁：02～99秒）を入力して●

関連操作のお知らせ

待受画面からのアラーム設定について（クイックアラーム）
- 日時は当日（時刻が過ぎている場合は翌日）、分類は［分類なし］、内容は［クイックアラーム］としてスケジュールに登録されます。

連絡先の表示について
- ダイヤル発信制限中は、連絡先を入力できません。
- 電話帳の機能別ロック中は、電話帳利用時に端末暗証番号の入力が必要です。

アラーム音設定について
- マルチメディアの機能別ロック中、［メロディ］、［ミュージック］、［ｉモーション］を設定するときは、端末暗証番号の入力が必要です。

スヌーズ間隔について
- スヌーズ中に音声電話着信があった場合、通話中にスヌーズ設定された時刻になった場合には、通話終了後に直ちに鳴動します。スヌーズ設定された時刻になっていない場合は、通話終了後にスヌーズ中となり、スヌーズ設定された時刻になると鳴動します。

アラーム設定時刻になると

1 アラーム音が鳴る

- アラームのオプションで設定した、アラーム音の種類、音量、鳴動時間などに従って動作します。また、登録しているメッセージ、連絡先の電話帳に登録されている画像も表示されます。
- アラーム／タイマーランプ（☞P.137）を設定したときは、着信ランプも点滅します。
- 着信バイブレータ（☞P.125）を設定しているときは、アラーム音と同時にバイブレータも動作します。

■ アラーム鳴動中のボタン操作

	FOMA端末を開いているとき	ビューアポジションのとき	FOMA端末を閉じているとき
アラーム停止（スヌーズは動作）	[1]～[9]、[0]、[＊]、[＃]、[●]、[○]、[i]、[📷]、[✉]、[📖]、[📞]、[CLR]、[MULTI]	[Eco]（Eco）、[▼]、[📷]（📷）、[P]（P）、[∨]、[∧]	[Eco]（Eco）、[▼]、[📷]（📷）、[P]（P）
アラーム停止（スヌーズ解除）	[終話]	－	－
音量調節（音量0～10）※	○／○	－	－

※ アラーム音量をステップトーンに設定しているときは調節できません。また、自動電源ONの場合は、アラームを停止します。

- 表示されている画面を消したいときは、[終話]を押します。
- スヌーズを設定しているときは、[終話]以外のボタンでアラーム音を止めると、あらかじめ指定した間隔で複数回アラームが鳴ります。[終話]でアラーム音を止めたときは、以降その時刻に対するスヌーズは動作しません。スヌーズ中に[終話]を押すとスヌーズを解除できます。ビューアポジションのときは、[📷]（📷）を押します。
- 連絡先を登録しているときは、●を押して登録した連絡先に電話をかけることもできます。

お知らせ

- アラームの連絡先に設定した電話帳にピクチャーコールが設定されていた場合、アラーム時にその画像が表示されます。
- アラームの連絡先に設定した電話帳に、ピクチャーコールとグループピクチャーコールの両方が設定されている場合、電話帳に登録されているピクチャーコールが優先されます。
- 映像と音を含んだｉモーションをアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールに関係なくｉモーションの映像が表示されます。

お知らせ

- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）をアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールが表示されます。ピクチャーコールにｉモーションが登録されている場合は通常のアラーム画面が表示されます。
- メモ／スケジュール／アラームの機能別ロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- 赤外線通信中、データ送受信中、赤外線リモコン操作中にアラーム／スケジュールアラームで設定した時刻になったときは、通信が終了し、待受画面に戻ると動作しますが、ソフトウェア更新操作中にアラーム／スケジュールアラームで設定した時刻になったときは、ソフトウェア更新操作終了後でも動作しない場合があります。
- スヌーズ中またはスヌーズが設定されたアラームが鳴動中は、別のアラーム／スケジュールアラームは設定した時刻になっても動作しません。

何も操作しないで、アラーム鳴動時間が経過すると

- アラーム音が止まり、アラーム時間が過ぎたことを、ディスプレイの表示でお知らせします（アラームの設定時間が表示されます）。

通話中にアラーム時刻になったとき

- 通話を終了し、通話前の画面に戻るとアラームが動作します。

メール受信中にアラーム時刻になったとき

- メール着信音が止まってから、アラーム音が鳴ります。

マナーモード設定中にアラーム時刻になったとき

- 通常マナーモードの場合、アラーム音は鳴りませんが、バイブレータは動作します。サイレントマナーモードの場合、アラーム音はならず、バイブレータも動作しません。オリジナルマナーモードの場合は、アラーム音やバイブレータの［ON］／［OFF］の設定に従います。
  通常マナーモードや、オリジナルマナーモードでバイブレータを［ON］にしている場合、バイブレータ設定を［OFF］に設定していても、バイブレータは［パターン１］で振動します。

公共モード（ドライブモード）設定中にアラーム時刻になったとき

- アラーム音は鳴りません。また、着信ランプ／バイブレータの動作もしません。

ワンセグ視聴中にアラーム時刻になったとき

- 通常ポジションの場合は、ワンセグが中断しアラームが動作します。ビューアポジションの場合は、マルチウインドウ（横）に切り替わり、アラームが動作します。アラームが停止すると、どちらの場合もワンセグ視聴画面に戻ります。

アラームを解除／削除／再設定する

アラームは、１件ごとに設定（再設定）／解除／削除できます。削除すると登録内容が消えますが、解除しても登録内容は消えません。再設定を行うことで、再び同じ内容でアラームを動作させることができます。

1 待受画面で◉▶［LifeKit］▶［タイマー・アラーム］▶［アラーム］▶登録番号を選んで、解除／削除／再設定する

解除した場合

解除する	● 解除するときは［⏲］が表示されている番号を選びます。解除すると［⏲］が消えます。
再設定する	● 再設定するときは［⏲］が表示されていない番号を選びます。設定すると［⏲］が表示され、待受画面に［🔔］が表示されます。
削除する	📷→［はい］ ● 設定されていた内容が削除され、アラーム一覧画面に［-------------------］が表示されます。

スケジュール

スケジュールを管理する

予定の開始日時、終了日時、内容、連絡先（電話番号）などを登録して管理できます。開始時刻前にアラームでお知らせしたり、メッセージや電話番号、静止画を表示できます。また、連絡先でスケジュールを検索したり、電話帳を表示して電話をかけたり、メールを作成できます。アイコン表示のカレンダーでは、簡単な操作で分類アイコンだけをスケジュールに登録できます。あとから内容を追加することもできます（☞P.404）。

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください（☞P.46）。
- スケジュールは最大300件まで登録できます。
- 2000年１月１日～2099年12月31日まで登録できます。

カレンダーを表示する<カレンダー>

カレンダーを表示できます（☞P.129）。スケジュール機能で登録した予定を確認できます。

- 視聴予約や録画予約した内容も、カレンダーで確認できます（☞P.294）。
- お買い上げ時は、カレンダーには「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号）」に基づいた祝日が登録されています（2008年３月現在）。春分の日、秋分の日の日付は前年の２月１日の官報で発表されるため異なる場合があります。祝日は赤色で表示されます。
- 自分の休日など、新たな休日や祝日を登録し、カレンダーに表示できます。

1 待受画面で⦿▶［LifeKit］▶［スケジュール］

- 今月のカレンダーが表示されます。
- カレンダーを消すときは を押します。

カレンダー画面

前月を表示する	
次月を表示する	

指定した日付のカレンダーを表示する<日付指定表示>

1 カレンダー画面で ▶［表示］▶［日付指定表示］

2 日付を入力して⦿

関連操作

待受画面から日付を入力してカレンダーを表示する
待受画面で日付入力して⦿▶［スケジュール］

関連操作のお知らせ

- 日付入力と表示されるカレンダーの対応は次のとおりです。
  01～31　今月のカレンダー（１日～31日）
  0101～1231　指定月日のカレンダー（１月１日～12月31日）
  20000101～20991231　指定年月日のカレンダー（2000年１月１日～2099年12月31日）

カレンダー表示を切り替える<表示切替>

- カレンダーの表示をアイコン表示に切り替えても、待受画面のカレンダー表示設定には反映されません（設定したスケジュールや休日は反映されます）。待受画面のカレンダー表示設定については、P.129を参照してください。

1 カレンダー画面で ▶［表示］▶［表示切替］▶表示形式を選択

- 予定の内容を表示するときは、予定を選択します（☞P.407）。

カレンダー画面の見かた

アイコン表示　通常表示

1 本日（反転表示）
2 選択している日（黒線枠で表示）
3 選択している日（緑色で表示）
4 休日設定されている日（赤色で表示）
5 登録されている予定（分類別にアイコンで表示）
- 視聴予約には［ ］、録画予約には［ ］が表示されます。

6 予定が登録されている日（アンダーライン表示）
- ２日以上の予定が登録されている日（アンダーライン表示）

スケジュールを登録する

ここでは、予定の日時と内容、分類、連絡先を登録する手順を例に、基本的な予定の登録方法を説明します。

- 開始日時と内容は必ず設定してください。

1 待受画面で⦿▶［LifeKit］▶［スケジュール］▶日を選んで ▶［新規作成］

- 通常表示の場合は、 （新規）を押しても操作できます。
- 予定の開始時刻前にアラームを鳴らしたり（☞P.406）、予定をシークレット登録する（☞P.406）こともできます。

予定登録画面

2 [日時]を選択▶予定の開始日を入力する

- カレンダーから日付を選ぶときは、📷(切替)を押し、開始日を選択します。

選択している日
🔘で日にちを選択します。

カレンダーでの
日付選択画面

3 時間を入力して◉▶くり返し方法を選択

方法	1回のみ※	毎週	毎年
	毎日	毎月	

※［1回のみ］を選択した場合は、操作5へ進んでください。

- 時刻は24時間制で入力します。
- 終了日時を入力すると、［1回のみ］以外は選択できません。
- 終了日時をリセットするときは、🔲を押します。

4 くり返しの回数(00～99)を入力して◉

- くり返しの回数に「00」を入力したときは、くり返し回数が制限なしの予定が登録されます。

5 [要約]を選択▶要約を入力して◉

- 最大全角20文字(半角40文字)まで入力できます。

6 [分類]を選択▶分類のアイコンを選択

分類の種類

アイコン	分　類	アイコン	分　類
	分類なし		誕生日
	プライベート		趣味
	休日		デート
	旅行		カラオケ
	仕事		飲み会
	会議		買い物
	食事		習い事
	ドライブ		出張
	スポーツ		鑑賞
	記念日		病院

- 選択された分類名が表示されます。
- 分類が決定されると、次回分類を選ぶときに、前回選択した分類が一番上に表示されます。

7 [画像]を選択▶静止画を選択

設定する	［マイピクチャ］→フォルダを選択→静止画を選んで🔲 ● 静止画を確認するときは、静止画を選んで◉(確認)を押します。戻るときは、CLRを押します。
設定しない	［設定なし］

- 動画／iモーションを選択することはできません。
- 選択された静止画のタイトル名が表示されます。
- 設定した画像は、予定リスト画面やスケジュール詳細画面で表示されます。

8 [連絡先]を選択▶入力方法を選んで連絡先を設定する

- 連絡先を設定すると、スケジュール詳細画面やアラーム画面に表示され、簡単に電話をかけることができます。
- ダイヤル発信制限中は連絡先を設定することはできません。

電話帳から選択する	［電話帳検索］→電話番号を選択 ● 電話番号が登録されていない電話帳は、連絡先として選択できません。
直接入力する	［直接入力］→電話番号を入力して◉

9 [内容]を選択▶内容を入力して◉

- 最大全角100文字(半角200文字)まで入力できます。

10 🔲(完了)

お知らせ

- microSDメモリーカードへのコピーについては、P.340を参照してください。
- 赤外線通信については、P.352を参照してください。
- iC通信については、P.356を参照してください。
- スケジュールをiモードメールに添付したり、赤外線送信やiC送信を行ったり、microSDメモリーカードにコピーした場合、スケジュールに登録された画像は削除されます。

アイコン表示カレンダーから分類アイコンのみを登録する

カレンダー画面で📷▶［表示］▶［表示切替］▶［アイコン表示］▶日を選んで🔲▶分類アイコンを選択

その他の便利な機能

次ページへ続く▶▶

関連操作

関連操作のお知らせ

スケジュールに登録される内容

日時	カーソル日+操作した時間
要約	–
分類	選択したアイコンの分類
アラーム	OFF
画像	–
連絡先	–
シークレット	OFF
内容	[未入力]と入力されます。

アラームを設定する

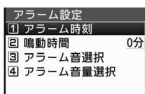
予定の開始時刻前にアラームでお知らせするように設定できます。アラーム動作時の状態を設定できます。

- 着信バイブレータ(☞P.125)を設定していると、アラーム動作時にもバイブレータが連動して動作します。
- 同じ時刻に複数のスケジュールアラームを設定した場合、設定した回数、アラームが鳴ります。

アラーム時刻	予定の開始時刻の何分前にアラームを鳴らすか設定します。
鳴動時間	アラームが鳴っている時間を変更できます。
アラーム音選択	アラーム音を変更できます。
アラーム音量選択	アラーム音量を変更できます。

- 上記の設定は、予定登録画面(☞P.404)から行います。

アラームを設定する

1 スケジュールの予定登録画面(☞P.404)で、[アラーム]を選択▶[ON]

アラーム設定画面

2 [アラーム時刻]▶アラームを鳴らす時刻(予定開始時刻の何分前:00〜99)を入力して⦿

3 i(完了)

- 予定登録画面に戻ります。

関連操作

アラームが鳴っている時間を変更する<鳴動時間>

アラーム設定画面で[鳴動時間]▶鳴動時間(2桁:02〜99秒)を入力して⦿

関連操作

アラーム音を変更する<アラーム音選択>

1 アラーム設定画面で[アラーム音選択]

2 [メロディ]/[ミュージック]/[iモーション]

- 設定しないとき:[設定なし]

3 P.120の操作2を参照してアラーム音を選ぶ

アラーム音量を変更する<アラーム音量選択>

アラーム設定画面で[アラーム音量選択]▶⦿/⦿▶⦿

- アラーム音を鳴らさないとき:[サイレント]

シークレット登録する

予定をシークレット登録すると、端末暗証番号を入力してFOMA端末のシークレットモードを[ON]に設定しない限り、読み出すことができなくなります。他の人に見られたくない予定を守ることができます。

- シークレットモードの設定方法については、P.149を参照してください。
- シークレット登録を解除するときは、あらかじめシークレットモードを[ON]に設定(☞P.149)してから操作してください。

1 スケジュールの予定登録画面(☞P.404)で[シークレット]を選択▶[ON]

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。連絡先が登録されているときは、アラームを止めると連絡先が表示されます(☞P.405)。

- アラームを止めるときや音量調節するときは、P.402「アラーム鳴動中のボタン操作」を参照してください。
- スケジュールに画像が設定されていたり、アラーム音に映像を含んだiモーションを設定していたり、連絡先として登録した電話帳にピクチャーコール設定(画像)されている場合は、その画像や映像が次の優先順位で表示されます。

	優先順位(高→低)
画像	アラーム音に設定したiモーション→スケジュールの画像→電話帳のピクチャーコール設定→グループピクチャーコール設定→通常のアラーム画像

通常のスケジュール

シークレットデータ

- シークレット登録している予定の場合、アラームは動作しますが、電話番号やメッセージ、登録画像は表示されません。シークレットモードを[ON]に設定(☞P.149)しているときは、表示されます。
- メモ/スケジュール/アラームの機能別ロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。

● 通常マナーモード、サイレントマナーモード設定中は、アラーム音が鳴りません。オリジナルマナーモードの場合はアラーム音の[ON]／[OFF]を設定できます。
● 公共モード（ドライブモード）設定中に設定した時刻になったときは、アラーム音は鳴りません。また、着信ランプ／バイブレータの動作もしません。

休日を登録する<休日設定>

特定の日を休日に設定したり、毎週決まった曜日を休日に設定できます。休日は最大100件まで設定できます。また、自分で設定した休日をすべて解除したり、過去の休日のみすべて（曜日指定で設定した休日を除く）解除できます。
● 全解除を行うと、曜日指定で設定した休日はお買い上げ時の設定に戻ります。

1 カレンダー画面（☞P.404）で休日に設定する日（休日を解除する日）を選んで📷▶[設定]

● 毎週同じ曜日を休日に設定したり、休日をすべて解除するときは、日を選ぶ必要はありません。

2 [休日設定]▶休日の設定方法を選択

選択した日を休日に設定／解除する	[当日設定／解除] ● 休日に設定されている日を選んだときは、設定が解除されます。
毎週決まった曜日を休日に設定する	[曜日指定設定]→曜日を選択（くり返し可）→📷 ● すべてを選択／解除する場合は、[i]（全選択）／[i]（全解除）を押します。

● 設定した休日は、赤色で表示されます。

関連操作

設定した休日をまとめて解除する
<全解除／過去全解除>
カレンダー画面で📷▶[設定]▶[休日設定]▶[全解除]／[過去全解除]▶[はい]

祝日を登録する<祝日設定>

● あらかじめ登録されている国民の祝日のほかに、最大20件まで設定できます。

1 カレンダー画面（☞P.404）で祝日に設定する日を選んで📷▶[設定]▶[祝日設定]

2 [新規登録]

● 設定した祝日をすべて解除するときは、[初期設定に戻す]→[はい]を選択します。

3 祝日の設定方法を選択

「毎年○月○日」として設定する	[毎年○月○日]
「毎年○月第○○曜日」として設定する	[毎年○月第○○曜日]

4 祝日名を入力して⦿

● 最大全角20文字（半角40文字）まで入力できます。
● 設定した祝日内容を変更するときは、スケジュール詳細画面で📷を押して[編集]を選択します。変更する日を入力して⦿を押し、操作3へ進みます。
● 設定した祝日は、赤色で表示されます。

スケジュールを確認する

登録されているスケジュールの内容を確認します。視聴予約や録画予約の内容も確認できます。分類別、連絡先別に表示できます。電話番号やメールアドレスが登録されているときは、電話をかけたりｉモードメールを送信できます。スケジュールをコピーできます。

1 待受画面で⦿▶[LifeKit]▶[スケジュール]▶日を選択

● 指定した日の予定がリストで5件まで表示されます（予定リスト画面）。
● ✉（前日）を押すと、前の日の予定一覧が表示されます。
● 📖（翌日）を押すと、次の日の予定一覧が表示されます。
● シークレット登録した予定を確認するときは、シークレットモードを[ON]に設定（☞P.149）してください。
● microSDメモリーカード内の予定を確認するときは、カレンダー画面で📷を押して[microSDデータ参照]を選択します。

予定リスト画面

1 日付
2 当日に登録されている件数
3 タイムバー
スケジュールの開始時刻～終了時刻までの目安が、30分単位で表示されます。
4 アラームの有無
5 予定時刻
6 要約または内容※
7 分類アイコン
8 画像（マイピクチャに保存されている画像または電話帳に登録されている画像）
※ 要約が登録されているときは、要約の先頭全角8文字分（半角16文字分）が表示されます。
要約が登録されていないときは、内容の先頭全角8文字分（半角16文字分）が表示されます。

その他の便利な機能

2 予定を選択

スケジュール詳細画面

- 画像が登録されているとき、[i]を押すと、画像を確認できます。
- 連絡先が登録されていると、電話番号が表示され、電話をかけることができます。電話帳に登録されているときは名前が表示されます。◉を押すと電話帳内容表示画面(☞P.111)になり、電話をかけたりメールを送信できます。
- [✉](前日)を押すと1つ前に登録されている日の予定を確認できます。[回](翌日)を押すと次に登録されている日の予定の詳細を確認できます。複数の予定が登録されている日は◎で切り替えて確認できます。
- 確認を終わるときは[⌒]を押します。

お知らせ

- 音声電話の通話中やメール作成中などに[MULTI]を押すと、スケジュールを呼び出して予定を確認できます(☞P.396)。

関連操作

分類別に表示する<分類別表示>
待受画面で◉▶[LifeKit]▶[スケジュール]▶[📷]▶[表示]▶[分類別表示]▶分類を選択

連絡先別に表示する<連絡先別表示>
待受画面で◉▶[LifeKit]▶[スケジュール]▶[📷]▶[表示]▶[連絡先別表示]▶連絡先を選択

すべてのスケジュールを確認する<スケジュール全件表示>
待受画面で◉▶[LifeKit]▶[スケジュール]▶[📷]▶[表示]▶[スケジュール全件表示]
- 予定を確認するとき:予定を選択
- microSDメモリーカード内の予定を確認するとき:カレンダー画面で[📷]▶[microSDデータ参照]

スケジュールから電話をかける
1 スケジュール詳細画面で◉(電話)
2 音声電話をかけるときは◉
- テレビ電話をかけるとき:[i]
- プッシュトーク発信するとき:[✉]

スケジュールからｉモードメールを作成する
スケジュール詳細画面で◉(電話)▶アドレスを選択▶ｉモードメール作成

スケジュールをｉモードメールに添付する<メール添付>
スケジュール詳細画面で[📷]▶[メール添付]▶ｉモードメール作成

スケジュールをコピーする<コピー>
スケジュール詳細画面で[📷]▶[コピー]▶[コピー]
- コピーしたスケジュールは、メール本文や電話帳などの文字入力画面で、貼り付けたりすることができます。

関連操作

スケジュールの機能別ロックを設定する<機能別ロック>
待受画面で◉▶[LifeKit]▶[スケジュール]▶[📷]▶[機能別ロック]▶端末暗証番号を入力して◉▶[ON]

関連操作のお知らせ

ｉモードメールの作成について
- 予定からｉモードメールを作成できるのは、電話帳にメールアドレスも登録されているときのみです。

メール添付について
- 視聴予約や録画予約のスケジュールは添付できません。

スケジュールを修正する<編集>

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[スケジュール]▶日を選択▶予定を選んで[📷]▶[編集]

- シークレット登録している予定を選ぶときは、シークレットモードを[ON]に設定(☞P.149)してください。

2 予定を修正して[i](完了)▶登録方法を選択

- 修正方法は、登録時の操作と同様です(☞P.404)。

新しい予定として登録する	[新規登録]
予定を上書き登録する	[上書登録]→[はい]

■ 着信履歴、リダイヤルの連絡先を登録する

着信履歴やリダイヤルの電話番号をスケジュールの連絡先として登録できます。

1 着信履歴(☞P.56の操作1)／リダイヤル(☞P.55の操作1)を選んで[📷]▶[スケジュール作成]

スケジュールに登録される内容

	着信履歴	リダイヤル
日時	着信日時	発信日時
要約	−	
分類	分類なし	
アラーム	OFF	
画像	−	
連絡先	電話番号	
シークレット	OFF	
内容	[未入力]と入力されます。	

2 スケジュールの内容を追加登録する(☞P.405の操作2～10)

■ ｉモードメールの本文を登録する

受信／送信メールの本文をスケジュールの内容として登録できます。

● ｉモードメールに添付されたファイルは、スケジュールの内容として登録できません。

1 受信／送信メールを表示（☞P.224の操作１～２）して📷▶［登録／保存］▶［スケジュール作成］

スケジュールに登録される内容

	受信メール	送信メール
日時	受信日時	送信日時
要約	－	
分類	分類なし	
アラーム	OFF	
画像	－	
連絡先	差出人の登録されている電話帳の１つ目の電話番号（電話帳に登録されていない場合、連絡先は登録されません）	宛先の登録されている電話帳の１つ目の電話番号（電話帳に登録されていない場合、連絡先は登録されません）
シークレット	OFF	
内容	メールの題名と本文（全角100文字（半角200文字）まで）	

2 スケジュールの内容を追加登録する（☞P.405の操作２～10）

■ テキストメモの本文を登録する

テキストメモの本文をスケジュールの内容として登録できます。

1 待受画面で◉▶［LifeKit］▶［テキストメモ］▶テキストメモを選んで📷▶［作成］▶［スケジュール作成］

スケジュールに登録される内容

項目	内容
日時	----/--/--
要約	－
分類	テキストメモに登録されている分類
アラーム	OFF
画像	－
連絡先	－
シークレット	OFF
内容	テキストメモに登録されている本文

2 スケジュールの内容を追加登録する（☞P.405の操作２～10）

■ マイピクチャの静止画を登録する

データBOXのマイピクチャの静止画を、スケジュールの静止画として登録できます。

● データBOXの動画／ｉモーションは、スケジュールの内容として登録できません。

1 静止画を選んで（☞P.312の操作１～３）📷▶［画面設定］▶［スケジュール画像設定］

スケジュールに登録される内容

項目	内容
日時	静止画の保存日時
要約	－
分類	分類なし
アラーム	OFF
画像	静止画のタイトル名
連絡先	－
シークレット	OFF
内容	［未入力］と入力されます。

2 スケジュールの内容を追加登録する（☞P.405の操作２～10）

お知らせ

● カメラ撮影後のプレビュー画面で📷を押し、［画面設定］→［スケジュール］を選択すると、撮影した静止画をすぐに登録できます。なお、保存先をmicroSDメモリーカードに設定しているときは、スケジュールに登録できません。保存先をFOMA端末（本体）に設定してから撮影してください。

● microSDメモリーカード内の静止画は、直接スケジュールに登録できません。FOMA端末（本体）にコピーしてから登録してください。

スケジュールを削除する<削除>

予定は、次のいずれかの方法で削除できます。

方法	説明
１件削除する	予定を１件ずつ削除します。
過去全件削除する	指定した日の前日までのすべての予定を削除します。
全件削除する	すべての予定を削除します。
選択削除する	複数の予定をまとめて削除します。

1 待受画面で◉▶［LifeKit］▶［スケジュール］▶📷▶［表示］

2 ［スケジュール全件表示］▶予定を選んで📷▶［削除］

● １件削除や選択削除でシークレット登録している予定を選ぶときは、シークレットモードを［ON］に設定（☞P.149）してください。

● 選択削除の場合は、操作３で予定を選択します。

● 過去全件削除の場合は、選択した予定の前日までの予定を削除します。

次ページへ続く

3 削除方法を選択

1件削除する	[1件削除]→[はい]
過去のすべてを削除する	[過去全件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]
すべてを削除する	[全件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]
複数をまとめて削除する	[選択削除]→予定を選択(くり返し可)→📷→[はい] ● すべてを選択／解除する場合は、i(全選択)／i(全解除)を押します。

関連操作

カレンダー画面から削除する
1 カレンダー画面で📷▶[削除]
2 [過去全件削除]／[全件削除]
3 端末暗証番号を入力して⦿▶[はい]

ショートカットメニュー
よく使う機能を手早く実行する

よく使う機能をあらかじめショートカットに登録しておくと、簡単な操作でその機能を表示できます。

ショートカットメニューを登録する

登録できるショートカットは、最大10件です。FOMA端末には、あらかじめショートカットが登録されていますが、よく使う機能やｉアプリのソフト、ブックマークを上書き登録できます。

1 登録したい機能(⬈が表示されている)の画面でMULTIを1秒以上押す

● ショートカットに登録したｉアプリのソフトそのものや、ブックマークのURLを削除すると、ショートカットメニューからも自動的に削除されます。

2 登録先を選択

3 上書き登録のときは[はい]

お知らせ

● 設定リセットを行うと、お買い上げ時のショートカットに戻ります。

ショートカットメニューを実行する

1 待受画面で◯▶ショートカットアイコンを選択

● 登録している機能が実行されます。
● ショートカットメニューの1～3に登録したメニューは、1～3に割り当てられ、待受画面で各ボタンを1秒以上押すことで実行できます。
● 待受画面にカレンダーを表示しているときは⌐を押し、カレンダー表示を解除したあと、◯を押してください。
● ショートカットメニューの登録方法を調べるときは、ショートカットメニューで📷を押し、[登録方法]を選択します。

お知らせ

● お買い上げ時にショートカットメニューの1～3に登録されているメニューは、次のとおりです。

メニュー	割り当てボタン
1バーコードリーダー	1
2赤外線受信	2
3名刺リーダー	3

ショートカットメニューから削除する

1 ショートカットメニューで、ショートカットアイコンを選んで📷▶[削除]

2 削除方法を選択

1件削除する	[1件削除]→[はい]
すべてを削除する	[全件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]

● 選択したショートカットが削除され、ショートカットメニューに表示されなくなります。

ショートカットメニューのアイコンを移動する<アイコン移動>

1 ショートカットメニューで、ショートカットアイコンを選んで📷▶[アイコン移動]

2 移動先を選択

● 最初に選んだショートカットと入れ替わります。

ショートカットメニューをリセットする<ショートカット　リセット>

ショートカットメニューをお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 ショートカットメニューで📷▶[ショートカット　リセット]▶端末暗証番号を入力して⦿▶[はい]

所有者情報登録

自分の名前や画像を登録する

お客様の所有者情報として、名前、自宅などの電話番号やメールアドレス、住所、誕生日などを登録できます。電話番号はご契約の電話番号のほかに２件、メールアドレスは３件まで登録できます。

登録できる項目

- お買い上げ時は、取り付けたFOMAカードの電話番号のみが表示され、メールアドレスは未登録です。取得したメールアドレスを追加登録してください。

アイコン	登録項目
(人物)	名前（最大全角16文字／半角32文字）
ｶﾅ	フリガナ（最大半角32文字）
(自局番号)	ご契約の電話番号（編集不可）
(電話)	電話番号（２件、１件あたり最大26桁）
(メール)	メールアドレス（３件、１件あたり最大半角50文字）
(会社)	会社・学校（全角14文字／半角29文字）
(所属)	所属（全角10文字／半角20文字）
(役職)	役職（全角10文字／半角20文字）
〒	郵便番号（半角数字、最大７桁）
(住所)	住所（最大全角50文字／半角100文字）
(ケーキ)	誕生日（半角数字、1900年１月１日～2099年12月31日まで）
(メモ)	メモ（最大全角100文字／半角200文字）
(画像)	所有者画像

1 待受画面で⦿0▶⦿（詳細）

- 2in1のモードを［デュアルモード］に設定している場合、待受画面で⦿0を押すとAナンバーの所有者情報が表示されます。i（Bナンバー）を押すとBナンバーの所有者情報に切り替えることができます。

2 端末暗証番号を入力して⦿▶📷▶［編集］

- 2in1のBナンバーを登録するときは、Bナンバーの所有者情報詳細画面で📷を押し、［2in1契約問合せ］→［はい］を選択します。

3 項目を選択▶それぞれの内容を登録する

- 登録方法は、電話帳と同様です。詳しくは、P.102～P.106を参照してください。
- １つの項目の登録が終わると、操作２の画面に戻ります。続けて他の項目を登録できます。
- 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、会社・学校、所属、役職、郵便番号、住所、誕生日、メモを削除するときは、各入力画面でCLRを押して削除します。所有者画像を削除するときは［設定なし］を選択します。

4 必要な項目の登録が終わったらi（完了）

- ⦿で各項目のアイコンを選ぶと、登録した内容が表示されます。

お知らせ

- メールアドレスは、お好みで変更できます。詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- メールアドレスを変更しても、電話番号表示に表示されるメールアドレスは、自動的には変更されません。メールアドレスは登録し直してください。
- microSDメモリーカード内の電話帳の内容を所有者情報にコピーすることもできます（☞P.110）。

関連操作

自分のメールアドレスを確認する（ｉモードご契約者のみ）
待受画面でi▶［ｉMenu］▶［料金＆お申込・設定］を選択▶［オプション設定］を選択▶［メール設定］を選択▶［アドレス確認］を選択

所有者情報の詳細を表示する

- 所有者情報の各項目の文字情報をコピーして、他の画面に貼り付けできます。

1 待受画面で⦿0▶⦿（詳細）

2 端末暗証番号を入力して⦿

- ⦿を押すと、登録した内容を順に表示できます。
- 所有者情報の項目をコピーするときは、⦿でコピーする項目を選んで📷を押し、［コピー］→［項目コピー］を選択します。コピーできる項目は、名前、ご契約の電話番号、電話番号、メールアドレス、会社・学校／所属／役職、住所、メモです。

お知らせ

- 赤外線通信機能を利用して、所有者情報を他のFOMA端末などに送信できます（☞P.354）。
- ｉC通信については、P.356を参照してください。

関連操作

ｉモードメールやSMS作成中にコピーする
1 待受画面で✉▶［新規メール作成］／［新規SMS作成］▶［本文］を選択▶📷▶［引用］▶［所有者情報引用］
2 ⦿▶端末暗証番号を入力して⦿▶項目を選択

その他の便利な機能

次ページへ続く▶▶

関連操作

所有者情報をmicroSDメモリーカードにコピーする<microSDへコピー>

所有者情報詳細画面で📷▶[コピー]▶[microSDへコピー]▶[はい]

所有者画像を赤外線通信やｉＣ通信で転送したり、microSDメモリーカードにコピーしたりできないように設定する<画像転送設定>

所有者情報詳細画面で📷▶[画像転送設定]▶[しない]

通話中音声メモ／待受中音声メモ

通話中の相手の声や待受中の自分の声を録音する

音声電話の通話中に相手の声（通話中音声メモ）を録音したり、待受中に自分の声（待受中音声メモ）を録音できます。

- 録音した待受中音声メモを応答保留音（☞P.70）や保留音（☞P.71）、応答メッセージ（☞P.76）に設定できます。
- 録音時間は１件につき約15秒で、音声電話伝言メモの用件（☞P.74）と合わせて３件（１件あたり約15秒）まで録音できます。
- テレビ電話伝言メモは２件（１件あたり約15秒）まで録画できます。

通話中に相手の声を録音する <通話中音声メモ>

1 音声電話の通話中に📷▶[通話中音声メモ]

- 音声電話の通話中に7を１秒以上押しても操作できます。
- 録音時の注意点は、待受中に自分の声を録音するときと同様です（☞P.412）。
- 録音を止めるときは📷を押します（中止前までの内容は録音されています）。

待受中に自分の声を録音する <待受中音声メモ>

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[音声／伝言メモ]▶[録音]

メモ録音

録音中

インジケータ

- 待受画面で7を１秒以上押しても操作できます。
- 録音が始まります。
- 送話口から約10cm以内でお話しください。
- 録音は約15秒で自動的に終わります。
- インジケータは目安です。
- 録音を止めるときは、◉（停止）を押します（中止前までの内容は録音されています）。

お知らせ

- 通話中音声メモ、待受中音声メモの再生／削除については、P.77を参照してください。
- 音声メモが３秒以下の場合、録音されないことがあります。
- 通話中音声メモでは、自分の声は録音されません。ただし、回線の状態などによっては、自分の声が録音される場合もあります。
- 圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。
- 待受中音声メモ録音中、ボタン／待受ｉモーション音は鳴りません。

待受中音声メモ録音中に電話がかかってくると

- 録音は中止されます。📞を押すと電話に出ることができます（中止前までの内容は録音されています）。

録音した内容は、別にメモを取り保管してくださるようお願いします。

- FOMA端末の録音内容は、使用誤りや静電気・電気的ノイズを受けたとき、また、故障・修理・FOMA端末の変更やその他取り扱いによって、録音内容が変化・消失してしまう場合もあります。万が一、録音した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

通話時間／料金確認

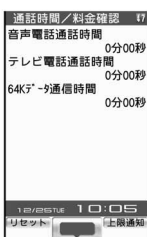
通話時間／料金を表示する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間として音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、[０円]もしくは[******円]が表示されます。
- テレビ電話と音声電話を切り替えて使用した場合の料金表示は、[音声電話通話料金○○円]、[テレビ電話通話料金○○円]と表示されます。複数回切り替えた場合は、音声電話、テレビ電話ごとに、それぞれが合算されて表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が表示されます。
  ※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示することはできません（FOMAカードには蓄積されています）。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- PIN1コード・PIN2コードは４～８桁の数字を入力してください（☞P.142）。

通話明細を表示する

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［NWサービス］▶［通話時間／料金確認］

- FOMAカード読み込み中のときは、［FOMAカード(UIM)読み込み中です］と表示されます。
- 一度もリセットしていない場合には、リセット日時は［----/--/--(--)--:--］と表示されます。
- 積算通話料金をリセットすると、リセット日時にリセット時の積算通話料金が記録されます。
- 確認を終わるときは⌒を押します。

お知らせ

- プッシュトーク、iモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（iモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
- 前回の通話時間が9時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 積算の通話時間が999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 電源を切ると、前回通話料金は［******円］になります。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 2in1をご契約いただいている場合、積算通話料金には、AナンバーとBナンバーの合計の金額が表示されます。

通話時間と通話料金をリセットする

前回の通話時間および積算の通話時間・通話料金の記憶を「0」に戻すことができます。

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［NWサービス］▶［通話時間／料金確認］▶ⓘ（リセット）

2 リセットする項目を選択

積算料金をリセットする	［積算料金リセット］→PIN2コードを入力して⦿→［はい］
積算通話時間をリセットする	［積算通話時間リセット］→端末暗証番号を入力して⦿→［はい］

- ［リセット日時］に、リセットした年月日が登録されます。

通話料金の上限を設定して知らせる ＜料金上限通知設定＞

設定した通話料金の上限を超えた通話が終了したあと、待受画面に戻ったときにストックアイコンを表示したり、アラームで知らせるように設定できます。また、毎月1日に通話料金をリセットできます。

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［NWサービス］▶［通話時間／料金確認］▶📷（上限通知）

2 ［料金上限通知設定］▶端末暗証番号を入力して⦿

3 ［料金上限通知設定］を選択▶［有効］

4 ［料金上限額設定］を選択▶上限の料金を入力して⦿

- 10～100,000円の間、10円単位で入力できます。

5 ［通知方法選択］を選択▶［待受け］

- アラームでも知らせるようにするときは、［アラーム＋待受け］を選択し、アラーム音（☞P.402）／アラーム音量（☞P.402）／鳴動時間（☞P.402）を設定し、ⓘ（完了）を押す。

6 ［自動リセット］を選択▶自動リセットするかどうかを選択

- 自動リセットを［ON］にすると、毎月1日午前0時を通過したとき、または日時設定（☞P.46）で翌月以降に日時を変更したときに、通話料金がリセットされます。

7 ⓘ（完了）▶PIN2コードを入力して⦿

お知らせ

- 待受画面に［¥］（積算料金　上限超過）が表示されている場合、待受画面で⦿を押し、［¥］（積算料金　上限超過）を選択し、端末暗証番号を入力すると［¥］（積算料金　上限超過）が削除されます。また、料金上限通知を再設定したときも［¥］（積算料金　上限超過）が削除されます。

関連操作

待受画面に表示された料金上限通知メッセージを削除する＜通知あり表示削除＞

待受画面で⦿▶［MENU］（カスタムメニュー）を選択▶［設定］▶［NWサービス］▶［通話時間／料金確認］▶📷▶［通知あり表示削除］▶端末暗証番号を入力して⦿

関連操作のお知らせ

- 料金上限通知メッセージを削除すると、積算通話料金をリセットするか、料金上限通知を再設定するまで、料金上限通知メッセージは表示されなくなります。

その他の便利な機能

電卓

電卓として使う

電卓用の画面で加算、減算、乗算、除算、パーセント計算、税計算などができます。

● 電卓計算例については、P.477を参照してください。

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[電卓]

● 待受画面で計算用の数字を入力し、◉を押して[電卓]を選択しても操作できます。

2 計算用の数字を入力する

● 次のボタンを押して、入力します。

0～9	0～9の数字
＊	小数点
＃	＋／－の切り替え※

※ 先に数値を入力してから＃を押すことにより、＋／－の切り替えができます。

● CLRを押すと、入力した数字がすべて消えます（数字が0のとき、CLRを押すと電卓が終了します）。

3 演算方法を選ぶ

● 加減乗除は、マルチガイドボタンで指定します。

◀	＋ 加算	▶	－ 減算
▲	× 乗算	▼	÷ 除算

電卓画面

● 次の演算も指定できます。

✉	CM クリア メモリ	📖	RM メモリ 呼出し	i	% パーセント 計算
✎	TAX 税計算	📷	M+ メモリ加算		

4 計算用の数字を入力して◉（＝）

● 電卓を終了するときは、⌐を押します。待受画面に戻ります。

お知らせ

● 電卓表示中にアラーム、スケジュールアラームが動作しても待受画面には戻りません。アラーム動作終了後、電卓の画面に戻ります。

● メモリ計算をご利用の場合、電卓を終了しても計算結果は保存されています。

関連操作

税率を変更する

電卓画面で✎を1秒以上押す▶税率（01～99の数字）を入力して◉

関連操作

税額を計算する

計算結果を表示して✎（TAX）（税）

● 税抜額を計算するとき：計算結果を表示して✎（TAX）✎（TAX）（税抜）

計算内容をコピーする

計算中に＊を1秒以上押す

関連操作のお知らせ

税計算について

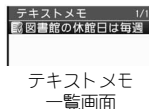
● 税額は小数点以下切り捨てで計算されます。
例：120✎（TAX）と押すと、[5税]と表示されます。

テキストメモ

メモを入力する

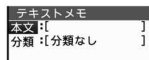
よく利用する文章を登録しておき、メールやスケジュールを作成するときに利用できます。

1 待受画面で◉▶[LifeKit]▶[テキストメモ]

● テキストメモは、最大10件まで登録できます。また、20種類に分類できます。

テキストメモ一覧画面

2 📷▶[作成]▶[新規作成]

● i（新規）を押しても操作できます。

● 登録したメモを確認するときは、メモを選択します。

3 [本文]を選択▶本文を入力して◉

● 本文は最大全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

4 [分類]を選択▶分類のアイコンを選択

● 20種類の分類設定から選択できます。分類の種類については、P.405を参照してください。

● 分類が決定されると、次回分類を選ぶときに、前回選択した分類が一番上に表示されます。

5 i（完了）

お知らせ

● microSDメモリーカードへのコピーについては、P.340を参照してください。

● FOMA端末（本体）のテキストメモを赤外線通信やｉC通信で送受信できます。

メモを利用する

テキストメモに登録されているメモを、メールやスケジュールを作成するときに利用できます。

その他の便利な機能

1 テキストメモ一覧画面(☞P.414)でメモを選択

テキストメモ 1/1	
2007/12/25(火) 10:30	作成日時
2007/12/25(火) 11:00	最終修正日時
休日	分類
図書館の休館日は毎週月曜日	内容

2 [カメラ]▶[作成]▶メモを利用する機能を選択

メール作成	メール作成画面が表示されます。[本文]にメモの文章が入力されます。
スケジュール作成	予定登録画面が表示されます。[内容]にメモの文章が、[分類]にメモの分類が入力されます。

お知らせ

- 音声電話の通話中やメール作成中などに[MULTI]を押すと、テキストメモを呼び出して起動できます(☞P.396)。

登録したメモを修正する<編集>

1 テキストメモ一覧画面(☞P.414)でメモを選んで[カメラ]▶[編集]▶メモを編集する

- 編集方法は、登録時の操作と同様です(☞P.414)。

2 修正が終わったら[メニュー](完了)▶登録方法を選択

新規登録する	[新規登録]
上書き登録する	[上書登録]→[はい]

メモを削除する<削除>

1 テキストメモ一覧画面(☞P.414)でメモを選んで[カメラ]▶[削除]▶削除方法を選択

1件削除する	[1件削除]→[はい]
複数を削除する	[選択削除]→メモを選択(くり返し可)→[カメラ]→[はい] ● すべてを選択/解除する場合は、[メニュー](全選択)/[メニュー](全解除)を押します。
すべてを削除する	[全件削除]→端末暗証番号を入力して⦿→[はい]

関連操作

テキストメモの機能別ロックを設定する
<機能別ロック>
待受画面で⦿▶[LifeKit]▶[テキストメモ]▶[カメラ]▶[機能別ロック]▶端末暗証番号を入力して⦿▶[ON]

関連操作のお知らせ

- テキストメモで機能別ロック設定を行うと、スケジュール、アラームも同時に機能別ロックが設定され、アラームとして設定した時刻になってもアラームは動作しません。

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続すると、スイッチを押すだけでメモリ番号に登録した相手に音声電話をかけたり、かかってきた音声電話やテレビ電話、プッシュトークを受けることができます。

- イヤホンマイクは、次の単品あるいは組み合わせでご使用になれます。
  - ■ 平型スイッチ付イヤホンマイク
  - ■ スイッチ付イヤホンマイク + イヤホンジャック変換アダプタ P001
  - ■ ステレオイヤホンセット P001 + イヤホンジャック変換アダプタ P001
  - ■ イヤホンターミナル P001 + イヤホンジャック変換アダプタ P001
    この組み合わせには、これらとは別にステレオイヤホンが必要です。
- テレビ電話やプッシュトークの発信を行うときはFOMA端末のボタンを操作してください。
- イヤホンマイク端子カバーは無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。

スイッチ付イヤホンマイクの動作を設定する<イヤホンスイッチ発信設定>

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチのみで音声電話をかけるように設定できます。あらかじめ相手の電話番号をFOMA端末(本体)電話帳に登録し、そのメモリ番号を指定します。

- FOMA端末(本体)電話帳のメモリ番号000～999から1件のみ登録することができます。
- スイッチの操作でテレビ電話をかけることはできません。

1 待受画面で⦿▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[イヤホンスイッチ発信設定]▶[音声発信]

2 メモリ番号(3桁:000～999)を入力して⦿

スイッチを使って音声電話をかける

1 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続する

- イヤホンマイク端子に、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 待受画面でスイッチを2秒以上押す

- ディスプレイの表示が消えているときは、いずれかのボタンを押すかスイッチを1回押し、ディスプレイを表示させてから操作してください。
- イヤホンスイッチ発信設定で設定したメモリ番号に登録されている電話番号に自動的に発信します。

次ページへ続く

- イヤホンスイッチ発信設定で設定したメモリ番号に電話番号が複数登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号に発信します。1件目に電話番号が登録されていないときは2件目に、2件目にも登録されていないときは3件目の電話番号に発信します。

3 通話が終わったら、スイッチを2秒以上押す

- FOMA端末の[終話]を押しても、電話を切ることができます。

お知らせ

- イヤホンスイッチ発信設定で設定したメモリ番号がシークレット登録されている場合は、シークレットモードを[ON]に設定してから、スイッチ操作で電話をかけてください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続したまま、かばんなどに入れると、スイッチが押されて電話がかかってしまうことがあります。使用しないときは、外してください。
- 電話帳の機能別ロック中は、電話をかけることができません。
- スイッチのないイヤホンマイクを接続してすぐに外すと、自動的に電話をかけてしまうおそれがありますので、ご注意ください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、ボタン／待受ｉモーション音は、イヤホンから聞こえます。
- イヤホンからの受話音量は受話音量調節(☞P.69)で設定されている音量で聞こえます。

スイッチを使って電話を受ける

1 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続する

- イヤホンマイク端子に、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 電話がかかってくると、着信音が鳴る

- 着信音は、イヤホン切替設定(☞P.126)で設定したところから流れます。

3 スイッチを2秒以上押す

- FOMA端末の[通話]を押しても、電話がつながります。

4 通話が終わったら、スイッチを2秒以上押す

- FOMA端末の[終話]を押しても、電話を切ることができます。

お知らせ

- 着信音が鳴ってから接続する場合、スイッチを押していないのに、接続した瞬間に電話を受けてしまうことがありますので、ご注意ください。使用しないときは、外してください。
- スイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話をかけたり、受けたりすることがあります。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。内蔵アンテナが正しくはたらかないことがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードを内蔵アンテナに近づけると、ノイズが入ることがありますので、ご注意ください。
- プラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全で途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。
- 通話中にプラグの差し込みが不完全な場合は「プー」という音がしますが故障ではありません。
- 電源を入れた瞬間に、「パチッ」という音がすることがありますが故障ではありません。

オート着信設定

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話、プッシュトークを自動的に受けるように設定できます。

- 音声電話やテレビ電話のときは、自動的に電話を受けるまでの時間(着信時間)を設定できます。
- オート着信設定を[オート着信あり]に設定していても、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときは、自動的に電話を受けることはできません(プッシュトークを除く)。

1 待受画面で● ▶ [設定] ▶ [通話･通信機能設定] ▶ [着信時設定] ▶ [オート着信設定]

2 項目を選択 ▶ オート着信を設定する

音声電話、テレビ電話を設定する	[電話／テレビ電話]→[オート着信あり]→着信時間(3桁:000～120秒)を入力して● ● 電話を受けるまでの時間を入力せずに●を押した場合、電話がかかってくると約2秒後に自動的に電話を受けます。 ● 着信時間を[000秒]に設定すると、着信音やバイブレータが動作せずに電話を受けますので、ご注意ください。
プッシュトークを設定する	[プッシュトーク]→[オート着信あり]

お知らせ

- 電話帳指定着信拒否･許可などの機能を利用して電話を受けないようにしている相手から電話がかかってきた場合、自動的に電話を受けることはできません。
- オート着信設定と伝言メモ応答時間設定は、同じ時間に設定できません。

お知らせ

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスをオート着信設定と同時に設定しているときに、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を同じ時間に設定した場合、留守番電話サービスや転送でんわサービスが優先される場合があります。
  オート着信設定を優先させるためには、伝言メモや留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間よりもオート着信設定の着信時間を短く設定してください。

設定リセット

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

お客様が設定できる内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時の状態については、P.458～P.471「カスタムメニュー／基本メニュー一覧」を参照してください。
- きせかえツールが設定できる項目は、本体色にかかわらず、[プリインストール]フォルダ内のきせかえツール[White](本体色White用)の設定となります。きせかえツールが設定できる項目については、P.134「きせかえツールを利用する」を参照してください。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[設定リセット]▶端末暗証番号を入力して◉

- 2in1利用中は、2in1機能をOFFにする旨のメッセージが表示されます。[確認]を選択します。

2 [はい]▶[確認]

お知らせ

設定リセットを行うと

- 次のものはリセット(削除・変更)されません。リセットするときは、それぞれのページを参照してください。

端末暗証番号(☞P.143)	アラーム(☞P.403)
所有者情報(☞P.411)	署名の登録内容(☞P.234)
電話帳指定着信許可リスト(☞P.150)	ネットワークサービスの設定(☞P.430～P.444)
電話帳指定着信拒否リスト(☞P.151)	電話帳の登録内容(☞P.115)
伝言メモなどの録音内容(☞P.77)	microSDメモリーカード内のデータ(☞P.345)
データBOXのデータ(☞P.348、P.351)	テキストメモ(☞P.415)
カメラで撮影した画像(☞P.348、P.351)	ユーザ辞書(☞P.426)
Bilingual(☞P.139)	ダウンロード辞書(☞P.427)
送受信／未送信メール(☞P.231)	スケジュール(☞P.409)
画面メモ(☞P.191)	

お知らせ

- iモードの設定のリセットについては、P.198を参照してください。
- メールの設定のリセットについては、P.236を参照してください。
- ワンセグ設定リセットについては、P.300を参照してください。
- 設定リセットを行うと、iチャネルテロップは表示されなくなります。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、iチャネルテロップが自動的に表示されます。
- 設定リセットを行うと、2in1機能OFFになります。また、モード切替、モード別待受画面設定、発着信番号表示設定、Bナンバー着信設定はリセットされます。

ユーザデータ削除

登録データを一括して削除する

お客様が登録されたデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時に登録されているiアプリ、キャラ電、iモーション、デコメール用画像(デコメピクチャ、デコメ絵文字、テンプレート)、きせかえツール、PDFデータは削除されます。データBOXのメロディの[プリインストール]フォルダ内のメロディ、マイピクチャの[プリインストール]フォルダ内の静止画、GIFアニメーション、Flash画像は削除されません。
- 端末暗証番号はお買い上げ時の番号[0000]に戻ります。
- FOMA端末の保護されているデータも削除されます。
- データ一括削除中は、他の機能を使用できません。また、音声電話／テレビ電話の着信やメールの受信、アラーム、ワンセグ予約録画などは動作しません。
- データ一括削除は、電池残量が[▮▮▮]の状態で行ってください。電池残量が不十分の場合は、一括削除できないことがあります。
- データ一括削除を行っているときは、電源を切らないでください。
- お買い上げ時の状態については、P.458～P.471「カスタムメニュー／基本メニュー一覧」を参照してください。

削除されるデータ	電話帳（電話帳2in1設定含む）、プッシュトーク電話帳、データBOX内の静止画・動画・ワンセグ・メロディ・キャラ電・着うたフル®・PDFデータ・きせかえツール、ｉアプリ、メール、メッセージR／F、ブックマーク、画面メモ、ダウンロード辞書、音声メモ、テキストメモ、アラーム設定、着信履歴、リダイヤル、送信メッセージ履歴、メール送信履歴、メール受信履歴、URL履歴、署名、ユーザ辞書、マンガ・ブックリーダーのしおり、フォルダ※、SMS、ｉアプリメールのデータ、メールテンプレート、伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）、バーコードリーダーで読み取ったデータ、スケジュール（登録・変更した祝日を含む）、トルカ、ラストURL、電話帳お預かりサービスの通信履歴、着もじメッセージ、位置履歴、現在地通知先、ソフトウェア更新関連情報（予約情報、更新お知らせアイコン、書換え予告アイコン、ダウンロード済みの更新ファイル）、予約録画履歴、手書き認証の登録データ、うた・ホーダイの再生期限情報
削除されないデータ（お買い上げ時の状態に戻るデータ）	各種設定リセット（☞P.417）の対象となる機能と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。 ● 画面設定、着信メロディ設定、伝言メモ応答メッセージ、定型文、学習機能、各種設定、端末暗証番号、GPS設定、日時設定、カスタムメニュー、基本メニュー、ショートカットメニュー、通話時間、テーマ・各種画面設定、応答メッセージ登録、USSD登録、所有者情報（ご契約の電話番号以外）、プッシュトークグループ、プッシュトーク設定、メールメンバー、URL入力、プレフィックス設定、データBOXのマイピクチャ・ｉモーション・メロディ・マイドキュメントの各種動作設定、メール設定、ｉモード設定、ｉアプリ設定、オペレータ名表示設定、ネットワークサーチ設定、放送用保存領域のデータ、テレビリンク、チャンネルリスト

※ お買い上げ時に登録されているフォルダは削除されません。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［セキュリティ］▶［データ一括削除］▶［ユーザデータ削除］

2 ［確認］▶端末暗証番号を入力して◉

- 2in1利用中は、2in1機能をOFFにする旨のメッセージが表示されます。［確認］を選択します。
- ［20分程度かかる事がありますがよろしいですか？］と表示されます。

3 ［はい］

- ［削除後再起動しますがよろしいですか？］と表示されます。

4 ［はい］

- データ削除完了後にFOMA端末が再起動します。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリ、キャラ電、ｉモーション、デコメール用画像、きせかえツールは、ｉMenu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードできます。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります（☞P.191、P.193、P.194、P.202、P.248）。
- FOMAカードやmicroSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
- 他の機能が動作中は、一括削除できません。
- 削除するデータが多い場合は、データ一括削除に時間がかかる場合があります。
- データ一括削除中は、表示が乱れることがありますのでFOMA端末を閉じないでください。
- ユーザデータ削除を行うと、ｉチャネルテロップは表示されなくなります。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、ｉチャネルテロップが自動的に表示されます。
- ｉアプリのGガイド番組表リモコン、iD 設定アプリ、DCMXクレジットアプリは削除されません。

シークレットデータをまとめて削除する <シークレットデータ削除>

電話帳、スケジュールにシークレット登録したデータを、一括して削除できます。

- シークレットモードを［ON］／［OFF］どちらに設定していても、削除できます。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［セキュリティ］▶［データ一括削除］▶［シークレットデータ削除］

2 端末暗証番号を入力して◉▶［はい］

文字入力

「区点コード一覧」について、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。

文字入力

文字入力について

FOMA端末には、電話帳やメールなど文字入力が必要な機能がいくつかあります。
実際にお使いになる前に、文字入力のしくみを覚えておいてください。

文字入力変換方式について

かな方式	1つのダイヤルボタンに複数の文字が割り当てられ、ボタンを数回押すことにより目的の文字を入力する方式です。各ボタンの文字の割り当てについては、P.472～P.473を参照してください。表示を逆戻りさせるときは[✓]を押します。
2タッチ方式	2つの数字を組み合わせて文字を入力する方式です。数字の組み合わせと入力できる文字（変換方法）については、P.474を参照してください。

- 文字入力変換方式の選択方法については、P.428を参照してください。
- それぞれの入力方式には、文字の種類に合わせた入力モードがあります（☞P.422、P.428）。

入力できる文字の種類

全角文字	漢字、ひらがな、カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号、絵文字
半角文字	カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号

- 全角文字の数字は、全角英数字入力モードで入力できます。
- 詳しくは、P.472～P.474を参照してください。

近似予測変換と連携予測変換について

近似予測変換	ひらがなを1～5文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力・変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

- 変換機能は、個別に利用を停止できます（☞P.428）。
- 学習された変換候補をすべてリセットできます（☞P.427）。

お知らせ

- 文字入力画面のデザインは、機能により異なります。

かな方式

かな方式で文字を入力する

漢字・ひらがな・カタカナを入力する

漢字モードで、ひらがなを入力して漢字・ひらがな・カタカナや記号などに変換します。

1 文字入力画面でダイヤルボタンを押してひらがなを入力する

- 押す回数で文字が変わります。
- ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、[→]を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを1秒以上押します。

例:「あい」 [1]→[→]→[1][1]または[1]→[1]を1秒以上押す→[1]

- カタカナや英数字を入力するときは、文字入力画面で[四]（文字）を押し、入力モードを選択します。

2 [↕]で変換候補欄にカーソルを移動し、文字を選択

- 変換候補のリスト番号に対応した[1]～[9]、[0]、[＊]、[#]を押しても入力できます。
- 選択をやめるときは、[CLR]を押します。文字入力画面にカーソルが戻り、入力を続けることができます。

変換候補欄

次のリスト画面を表示する	[四]（▼ページ）
前のリスト画面を表示する	[✉]（▲ページ）
目的の漢字に変換されないとき	● 文字入力画面にカーソルがあるときは[↔]で変換の対象になる文字（反転している文字）の区切りを変えて変換し直します。 ● 通常変換の場合、変換候補欄にカーソルがあるときは[▮]（⇐文節）または[📷]（文節⇒）で文字の区切りを変えます。 ● ワンタッチ変換するときは[●]を押します（☞P.421）。

文字入力

お知らせ

文字入力を中止するとき

- 文字入力を中止し1つ前の画面に戻るには、CLRを押します。すでに文字を入力しているときは、CLRを押してすべての文字を削除（☞P.422）したあと、CLRを押します。
  文字の途中にカーソルがあるときは、CLRを1秒以上押す操作を2回くり返し、CLRを押します。

関連操作

濁点（゛）を付ける
　文字を入力して＊

半濁点（゜）を付ける
　文字を入力して＊＊

小文字に変換する
　文字を入力して☒（大／小）

文末にスペースを入力する
　文末で◯

入力を取り消し、元に戻す＜UNDO機能＞
　文字を入力して、操作（削除、切り取り）確定したあと✓

操作ガイドを表示する＜操作ガイド＞
　文字入力画面で📷▶［操作ガイド一覧］

関連操作のお知らせ

濁点、半濁点について

- 半角カタカナの場合、＊を1回押すと濁点（゛）、2回押すと半濁点（゜）、3回押すと長音（ー）、4回押すと改行（↲）が追加されます。5回押すと再び濁点（゛）に戻ります。追加された文字は1文字として数えられます。
- 全角かなの場合、＊を1回押すと濁点（゛）、2回押すと半濁点（゜）、3回押すと元の文字に戻ります。

小文字について

- 英字の場合は、小文字に変換され、入力モードも小文字になります。

スペース入力について

- 入力モードに関係なく半角スペースが入力されます。半角スペースは1文字として数えられます。

入力の取り消し（UNDO機能）について

- ✓を11回以上押すと、［UNDOこれ以上元にもどせません］と表示され、10回前の画面に戻ります。メール本文入力中は1回のみ取り消しできます。
- 文字編集が終了すると、記憶されている操作はクリアされます。
- 入力画面によってはUNDO機能を利用できない場合があります。

1文字学習変換について＜1文字学習変換＞

変換によって入力した漢字や文字列を再度入力するときに、先頭の1文字を入力するだけで変換候補に表示するかどうかを設定できます。

1 **文字入力画面で📷▶［文字入力／辞書設定］▶［予測変換設定］**

2 **［1文字学習変換］▶［ON］／［OFF］**

入力したい漢字が見つからないとき ＜単漢字変換＞

漢字の音読みや訓読みを入力して1文字ずつ漢字を入力できます。

1 **文字入力画面でひらがなを入力して≣（単漢字）**

2 **漢字を選択**

お知らせ

- 変換できる漢字は、JIS第一水準漢字・第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、一部変形もしくは省いています。

漢字変換用の文字を簡単に指定する ＜ワンタッチ変換＞

ワンタッチ変換を使うと、押したボタンに割り当てられているすべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換を行うことができます。目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

例：「おはよう」と入力する場合

1 **文字入力画面で1 6 8 1**

- ワンタッチ変換は、主に名詞に対応しています。
- 濁点・半濁点付きの文字を指定するときは、元の文字が割り当てられているボタンを1回押したあと、濁点・半濁点を入力します。
  例：「勉強」
  6→＊→0→2→8→1

2 **◯**

- ワンタッチ変換状態のとき、≣（⇐文節）または📷（文節⇒）を押すと、変換の対象となる文字の区切りを変えることもできます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。
- ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。
- ワンタッチ変換の変換候補が表示されているときにCLRを押すと、変換前のひらがなに戻り、通常変換の変換候補が表示されます。
- 電話帳登録のとき、ワンタッチ変換で名前を入力してもフリガナは自動的に入力されません。

3 **文字を選択**

推測頭出し変換について

1文字だけ入力してワンタッチ変換を行うと、入力した文字の行の文字(「あ」を入力した場合「あ」「い」「う」「え」「お」)で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

- 表示される言葉は、あらかじめ登録されています。
- 表示される言葉は、5:00〜10:59、11:00〜16:59、17:00〜22:59、23:00〜4:59の時間帯で変わります。

ワンタッチ1文字学習について

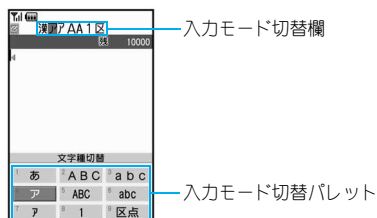
以前にワンタッチ変換を行った文字列の先頭の1文字(「あたあさわ」と入力してワンタッチ変換で「お父さん」を採用していた場合は「あ」)を入力してワンタッチ変換を行うと、以前の変換結果(「お父さん」)が表示されます。

かな方式の入力モードの種類と切り替え方法

かな方式では、入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。

入力モードの種類

■ 漢字・ひらがな　■ 全角カタカナ　■ 半角カタカナ
■ 全角英数字　■ 半角英数字　■ 半角数字
■ 区点コード

1 文字入力画面で[文](文字)

2 入力モード切替パレットから入力モードを選択

- 入力モード切替パレットは、ダイヤルボタンの並びに対応しています。ダイヤルボタン(1〜9)を押して選択することもできます。
- [文](文字)を押して入力モードを切り替え、●を押して選択することもできます。[文](文字)を押すたびに、入力モード切替欄で[ア](全角カタカナ)→[ｱ](半角カタカナ)→[A](全角英数字)→[A](半角英数字)→[1](半角数字)→[区](区点コード)→[漢](漢字・ひらがな)の順に切り替わります。

お知らせ

- 文字入力画面で[絵・記号]と表示されているときは、[絵](絵・記号)を押すと、絵文字入力モードに切り替わります(☞P.424)。

文字を修正する

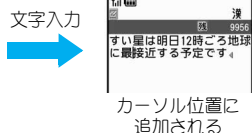
文字を追加する

1 追加したい文字の位置にカーソルを移動し、追加する文字を入力する

例:「接近」の前に「最」を追加する場合

追加したい位置にカーソルを移動

文字入力

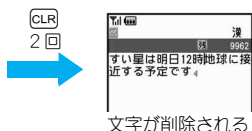
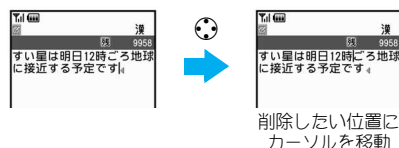
カーソル位置に追加される

文字を削除する

1 削除したい文字の左側にカーソルを移動して[CLR]

- カーソル右側の文字が消えます。
- 文字にカーソルがあたっているときは、カーソル位置の文字が消えます。

例:「ごろ」を削除する場合

削除したい位置にカーソルを移動

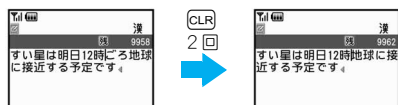
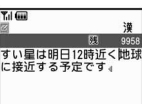
[CLR]
2回

文字が削除される

- [CLR]を1秒以上押すと、カーソル位置の文字を含めてカーソル以降の文字がすべて削除されます。カーソル位置が文末にあるときは、すべての文字が削除されます。

文字入力

文字を変更する

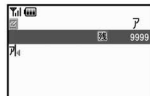
1 変更したい文字を削除し、文字を入力する

例:「ごろ」を「近く」に変更する場合

変更したい位置にカーソルを移動　　文字が削除される

カーソル位置に追加される

カタカナ(半角)を入力する

1 文字入力画面で[文字キー](文字)▶入力モード切替パレットから[ｱ]を選択

2 ダイヤルボタンを押して半角カタカナを入力する

- 次の文字を入力するか、[ボタン]または[ボタン]を押すと確定されます。
- iモードメールの本文入力時は、[ボタン]で確定されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、[ボタン]を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを1秒以上押します。
  例:「アイ」 1→[ボタン]→1 1または1→1を1秒以上押す→1

関連操作

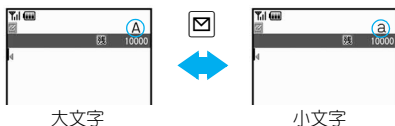
かなをカタカナ(全角/半角)に変換する
<カナ英数字変換>
ひらがなを入力して[カメラキー]▶全角カタカナ/半角カタカナを選択

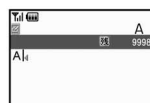
英数字を入力する

英字を入力する

1 文字入力画面で[文字キー](文字)▶入力モード切替パレットから[ＡＢＣ]/[ABC]/[ａｂｃ]/[abc]を選択

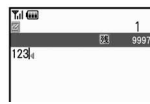
- [ＡＢＣ]/[ａｂｃ]を選択したときは全角英数字、[ABC]/[abc]を選択したときは半角英数字が入力できます。
- 入力モード切替パレットから選択後に[メールキー]を押しても、大文字と小文字が切り替わります。文字を入力後に[メールキー]を押して、直前に入力した文字を変換できます。

大文字　　小文字

2 ダイヤルボタンを押して英字を入力する

- 全角英数字モードの場合、次の文字を入力するか、[ボタン]または[ボタン]を押すと確定されます。iモードメールの本文入力時は、[ボタン]で確定されます。
- アドレス入力画面などで半角英字モードの場合、インターネットで使用される変換候補が表示されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、[ボタン]を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを1秒以上押します。
  例:「AB」「ab」 2→[ボタン]→2 2または2→2を1秒以上押す→2
- 漢字モードで英単語の固有名詞(例「はうす」など)を入力し、変換候補から半角英字(例「House」、「house」など)を選んで入力できます。
- 漢字モードでひらがな(例「ひとみ」)を入力し、変換候補から半角ローマ字(例「hitomi」など)を選んで入力できます。

数字を入力する

1 文字入力画面で[文字キー](文字)▶入力モード切替パレットから[1]を選択

2 ダイヤルボタンを押して数字を入力する

- すぐに確定されます。
- 全角数字は、全角英数字モード(大文字/小文字)で、入力したい数字のダイヤルボタンをくり返し押すと入力できます。
  例:「1」を入力するとき→1を5回押す
  「2」を入力するとき→2を7回押す(大文字の場合)/2を4回押す(小文字の場合)
- 漢字モードでひらがなを入力し、カナ英数字変換候補から数字を選んで入力できます。

関連操作

かなを英字/数字に変換する<カナ英数字変換>
ひらがなを入力して[カメラキー]▶英字/数字を選択

関連操作

関連操作のお知らせ

- 変換候補には、ボタンに割り当てられている数字や英字、予測される日付や時間が表示されます。
  例：「いき」（①→①→②→②）と入力して📷（カナ英数）を押すと、「イキ（全角カタカナ）」、「ｲｷ（半角カタカナ）」、「１１２２（全角数字）」、「1122（半角数字）」、「／Ｂ（全角英字の大文字）」、「/B（半角英字の大文字」、「／ｂ（全角英字の小文字）」、「/b（半角英字の小文字）」、「１１月２２日」、「11/22」、「１１時２２分」、「11:22」が表示されます。

バーコードリーダーを利用して入力する

ｉモード中に、JANコードやQRコードを読み取って文字入力画面で入力できます（☞P.183「サイトやインターネットホームページ内の項目選択や文字入力」）。

1 サイトやインターネットホームページの文字入力画面で📷▶［引用］▶［バーコードリーダー］

2 データを読み取る

- バーコードリーダーの利用方法については、P.173を参照してください。

定型文を利用する<定型文挿入>

あらかじめ登録されている固定定型文（☞P.476）や、自分で登録した自作定型文（☞P.425）、メールアドレスなどを簡単に入力できます。

1 文字入力画面で📷▶［定型文挿入］

- 文字入力画面で📖を１秒以上押しても表示できます。
- すべての定型文を表示するときは、ⓘを押します。定型文選択（全表示）画面が表示されます。

定型文挿入画面

2 定型文の分類を選択

3 定型文を選択▶定型文を確認して⦿

お知らせ

- 定型文選択（全表示）画面を表示したとき、定型文は最後に使用されたものから、使用された順番に表示されます。

絵文字／記号を入力する

絵文字や記号を入力できます。メールの本文と署名にはデコメ絵文字を入力することもできます。

- マルチメディアの機能別ロック中は、デコメ絵文字を入力できません。端末暗証番号を入力して機能別ロックを一時解除してください。

1 文字入力画面でⓘ（絵･記号）▶絵文字／記号を入力する

絵文字を入力する	絵文字を選択 ● メール本文／署名作成の場合は、ⓘを押すたびに、絵文字と絵文字D（デコメ絵文字）が切り替わります。
記号を入力する	📷（記号）→記号を選択 ● 📷を押すたびに全角記号と半角記号が切り替わります。
次のリスト画面を表示する	📖（▼ページ）→📖（▼ページ） ● リストの最後の絵文字または記号にカーソルがあるときは📖（▼ページ）を１回押します。
前のリスト画面を表示する	✉（▲ページ）→✉（▲ページ） ● リストの最初の絵文字または記号にカーソルがあるときは✉（▲ページ）を１回押します。

- 連続して入力できます。
- 元の入力モードに戻るときは、CLRを押します。

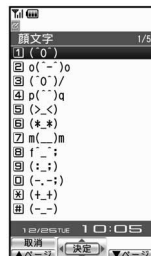
お知らせ

- メール作成中にデコメ絵文字を入力すると、デコメールになります。
- 絵文字の「見出し（ヨミ）」を入力して絵文字に変換できます。P.475「絵文字一覧」を参照してください。
- 絵文字Ｄ（デコメ絵文字）は、データBOXのマイピクチャの［デコメ絵文字］フォルダに保存したデコメ絵文字のみ、変換候補欄に表示されます。
- 入力できる記号・特殊文字については、P.474「記号・特殊文字一覧」を参照してください。
- 一覧の１行目には、最近使用された10個の絵文字または記号が表示されます。
- ２タッチ方式でも同様に操作できます。

顔文字を入力する<顔文字>

顔文字一覧表（☞P.476）

1 文字入力画面で📷▶［顔文字］

- 文字入力画面で✉を１秒以上押しても表示できます。

次のリスト画面を表示する	🄿(▼ページ)→🄿(▼ページ) ● リストの最後の行にカーソルがあるときは🄿(▼ページ)を1回押します。
前のリスト画面を表示する	✉(▲ページ)→✉(▲ページ) ● リストの最初の行にカーソルがあるときは✉(▲ページ)を1回押します。

2 顔文字を選択

● 顔文字一覧のリスト番号に対応した1～9、0、＊、#を押しても入力できます。

お知らせ

● ひらがなで「かお」と入力すると、漢字の変換候補と共に顔文字も表示されます。変換候補に表示される内容は、顔文字一覧の内容と異なります。

定型文登録

定型文を修正／登録する

よく使う言葉を自作定型文として登録したり、あらかじめ登録されている定型文を修正できます。

● あらかじめ登録されている定型文については、P.476を参照してください。

● 定型文は全角64文字(半角128文字)まで入力できます。

● 定型文をお買い上げ時の状態に戻すこともできます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[定型文編集]▶[自作定型文]

● 登録されている定型文を修正するときは、修正する分類を選択します。

2 登録する番号を選んで🅘(編集)

3 自作定型文を入力して◉

■ 定型文をお買い上げ時の状態に戻す ＜リセット＞

定型文のリセットを行うと、修正／登録した定型文を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
リセットできる種類は次のとおりです。

1件リセットする	指定した定型文を1件ずつリセットします。
フォルダ内をリセットする	指定した分類内の定型文をすべてリセットします。
全件リセットする	すべての定型文をリセットします。

関連操作

1件リセット／フォルダ内リセットを行う

＜1件リセット／フォルダ内リセット＞

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[定型文編集]▶分類を選択▶定型文を選んで📷

● 編集していない定型文のフォルダにはサブメニューが表示されません。

2 [1件リセット]／[フォルダ内リセット]

3 [はい]

すべての定型文をリセットする＜全件リセット＞

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[定型文編集]▶📷

2 [はい]

文字コピー

文字の切り取り・コピーと貼り付け

連続した文字列をコピー／切り取りして、他の場所に貼り付けることができます。

● 同じ画面へも、他の文字入力画面へも貼り付けできます。ただし、サブメニューが表示されていない画面へは貼り付けできません。

● 切り取りした場合、指定した文字列は元の位置から削除されます。

● 他の画面へ一度に切り取り・コピーできる文字数は、最大全角5000文字(半角10000文字)までです。

● コピー／切り取りして文字を記憶できるのは1件のみです。新たにコピー／切り取りを行うと、前に記憶していた文字に上書きされます。

文字をコピーする／切り取る

例：テキストメモの文字をコピーまたは切り取る場合

1 文字入力画面で、コピー／切り取る最初の文字にカーソルを移動する

2 コピー／切り取りを選択

コピーする	📷→[コピー]→◉
切り取る	#を1秒以上押す ● メニューで操作するときは、📷を押して[切り取り]を選択し、◉を押します。

3 最後の文字にカーソルを移動して◉

● 文字列が選択され、反転表示されます。反転表示されている文字列が、コピーまたは切り取りの対象になります。

● ◌を1秒以上押すと、操作1で指定した開始位置以降のすべての文字を選択できます。

● ◌を1秒以上押すと、操作1で指定した開始位置以前のすべての文字を選択できます。

メールの本文などをコピーする

1 受信／送信メール表示画面(☞P.226)で📷▶[移動／コピー]▶[コピー]

- 未送信メールのときは、メール作成画面で[本文]を選択し、📷を押して[コピー]を選択します。操作3に進みます。

2 コピーする項目を選択

項目	アドレス※	題名	本文

※ アドレスがコピーされ、操作が終了します。

3 コピーする最初の文字にカーソルを移動して◉(開始)

4 コピーする最後の文字にカーソルを移動して◉(コピー)

文字を貼り付ける

例:新規メールの本文に文字を貼り付ける場合

1 貼り付け先の文字入力画面を表示し、貼り付ける位置にカーソルを移動して、✳を1秒以上押す

- メニューで操作するときは、📷を押して[貼り付け]を選択し、貼り付ける位置にカーソルを移動して◉を押します。
- 記憶されている文字列が、カーソルの位置に挿入されます。

お知らせ

- 電話帳の「フリガナ」入力欄など、半角文字のみ入力できる部分に貼り付けした場合、記憶されている文字列内の半角文字のみ入力されます。また、貼り付け先に応じて入力可能な文字数分のみ貼り付けされます。
- コピー／切り取りした文字列は、新たにコピー／切り取りするか、電源を切るまで記憶しています。

区点コード入力

区点コードで入力する

4桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

- 区点コードとは、漢字などの文字ひとつひとつに付与されている固有の番号です。
- 「区点コード一覧」について、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

1 文字入力画面で📖▶入力モード切替パレットから[区点]を選択

2 4桁の区点コードを入力する

- 4桁目を押すと、コード入力した文字が表示されます。
- 区点コードを押し間違えたときは、4桁目を押す前にCLRを押すと、数字が消えます。正しい数字を入力し直してください。

単語登録(ユーザ辞書)

よく使う単語を登録する

よく使う単語に見出し語(全角ひらがな最大8文字)を付けて、最大250語まで登録できます。登録した単語は、見出し語を入力して漢字変換すると、変換候補に表示され、簡単に入力できます。

- 同じ見出し語は5件まで登録できます。

単語を新規登録する

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ユーザ辞書]

- ユーザ辞書一覧画面が表示されます。
- 単語と見出し語のリストを切り替えるときは、iを押します。

2 [新規登録]

3 単語を入力して◉

- 最大全角15文字(半角30文字)まで入力できます。
- 改行は入力できません。

4 見出し語を入力して◉

- ひらがなで入力します(最大全角8文字)。

登録した単語を修正する

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ユーザ辞書]▶単語を選択

2 単語を修正して◉

3 見出し語を修正して◉▶登録方法を選択

登録方法	新規登録※	上書登録

※ 同じ見出し語がすでに5件登録されている場合は、新規登録できません。

- 修正しないときは、そのまま◉を押して登録方法を選びます。

登録した単語を削除する<削除>

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ユーザ辞書]▶単語を選んで📷▶[削除]

2 [はい]

変換学習クリア

学習された変換候補をリセットする

近似予測変換や連携予測機能などで学習された変換候補を、すべてリセットできます。
- 絵文字や記号の変換候補もリセットされます。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[変換学習クリア]▶端末暗証番号を入力して◉**

2 **[はい]**

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

FOMA端末には、サイトやインターネットホームページから日本語変換用の辞書をダウンロードして、最大10件まで登録できます。このうち5件の辞書を、漢字変換用の辞書として使用できます。専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登録されている用語が変換候補に表示されるようになります。
- ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換できます。
- 辞書のダウンロード方法については、P.193を参照してください。

使用辞書を設定／解除する

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ダウンロード辞書]**
- 登録されている辞書が表示されます。現在使用中の辞書には、[ ]が表示されます。

2 **辞書を選んで、使用辞書を設定／解除する**

使用辞書を設定／解除する	📷→[使用辞書設定]／[使用辞書解除] ● すでに5件使用を設定されているときは、[使用辞書登録は最大5つまでです]と表示されます。現在使用中の辞書を解除してから、やり直してください。 ● すでに設定されている使用辞書を選んだときは、解除されます。
辞書の情報を確認する	📷→[情報表示] ● 辞書の情報（タイトル、作者、バージョン、ダウンロード日時など）が表示されます。CLRまたは 🔲（戻る）を押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ
- 文字入力画面で📷を押し、[文字入力／辞書設定]→[ダウンロード辞書切替]を選択しても、設定／解除の操作ができます。

辞書の内容を確認する

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ダウンロード辞書]▶辞書を選択**
- 単語の詳細情報を表示するときは、◉（詳細）を押します。
- 確認を終わるときは、CLRを押します。
- 見出し語の一覧を確認するときは、🔲（切替）を押します。🔲を押すたびに、「単語の一覧」と「見出し語の一覧」が切り替わります。

辞書を削除する<削除>

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ダウンロード辞書]▶辞書を選んで📷▶[削除]**

2 **削除方法を選択**

辞書を1件削除する	[1件削除]→[はい]
すべての辞書を削除する	[全件削除]→[はい]

お知らせ
- ダウンロードしたときに挿入していたFOMAカードとは別のFOMAカードが挿入されている場合、そのダウンロード辞書の横にFOMAカード動作制限マークが表示されます。その場合、辞書の内容を確認することはできませんが、削除することはできます。

ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換する<ダウンロード辞書変換>

単語登録したユーザ辞書を、ダウンロード辞書に変換できます。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ユーザ辞書]▶📷▶[ダウンロード辞書変換]**

2 **保存先を選択**
- 登録されている辞書に上書きするときは、[はい]を選択します。
- 使用辞書登録確認画面が表示されたときは、[はい]を選択すると使用辞書に設定されます。すでに5件使用辞書に設定されているときは表示されません。

お知らせ
- ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換するとユーザ辞書は削除されます。

関連操作

ダウンロード辞書変換した辞書のタイトルを編集する＜タイトル編集＞

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ダウンロード辞書]
2 辞書を選んで📷▶[タイトル編集]▶タイトルを編集して◉

ダウンロード辞書変換した辞書の内容を編集する＜編集＞

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ダウンロード辞書]▶辞書を選んで📷▶[編集]
2 単語を選択
- 新規登録するとき：[新規登録]
3 単語を編集して◉▶見出し語を編集して◉▶📷

予測変換設定

使用する変換方法を選ぶ

近似予測変換および連携予測変換（☞P.420）を使用するかどうかを設定できます。

1 文字入力画面で📷▶[文字入力／辞書設定]▶[予測変換設定]
- 近似予測変換使用時は、変換候補欄にカーソルがあるときに📷（通常変換）を押すと、一時的に近似予測変換の使用をやめることができます。

2 [近似予測変換]▶[ON]／[OFF]
- 連携予測変換を設定するときは、[連携予測変換]→[ON]／[OFF]を選択します。

変換候補の優先度を設定する＜優先候補ジャンル＞

芸能人名、駅名、スポット名、ブランド名、顔文字については、変換候補として表示されるときの優先順位を高くすることができます。

1 文字入力画面で📷▶[文字入力／辞書設定]▶[予測変換設定]
- 文字入力画面でひらがなを入力して回（優先候補）を押しても操作できます。

2 [優先候補ジャンル]▶項目を選択
- [☑]は高い、[□]は低い設定の状態です。

3 ▤（完了）

顔文字を変換候補に表示する＜顔文字連携予測＞

文字入力時に心情を表す形容詞（うれしい）などを確定したとき、確定した文字に続くと思われる変換候補に、顔文字・絵文字を表示するかどうかを設定できます。

1 文字入力画面で📷▶[文字入力／辞書設定]▶[予測変換設定]

2 [顔文字連携予測]▶[ON]／[OFF]

文字入力時の変換候補にリスト番号を表示する＜ダイレクト変換＞

文字入力時の変換候補にリスト番号を表示するかどうかを設定できます。

1 文字入力画面で📷▶[文字入力／辞書設定]

2 [ダイレクト変換]▶[ON]／[OFF]

２タッチ方式

２タッチ方式で文字を入力する

２タッチ方式に設定する＜変換方式＞

ボタン２つでひらがなが入力できる、２タッチ方式に切り替えられます。２タッチでの文字指定に慣れた方におすすめです。

1 文字入力画面で📷▶[文字入力／辞書設定]▶[変換方式]▶[２タッチ方式]
- ２タッチ方式は、通常の入力方式[かな方式]にするまで継続します。
- ２タッチ方式でも、かな方式と同様に定型文挿入を利用できます。
- ２タッチ方式では、カナ英数字変換はできません。
- かな方式に戻すときは、文字入力画面で📷を押し、[文字入力／辞書設定]→[変換方式]→[かな方式]を選択します。

入力モードを切り替える

1 文字入力画面で回（文字）
- 回を押すたびに、[半]（半角大文字）→[区]（区点コード）→[全]（全角大文字）に切り替わります。

お知らせ

- 大文字モード／小文字モードの切り替えは、全角モード／半角モードの状態で行うことができます。また、文字を入力後回（大／小）を押すと、１文字ずつ変換できます（☞P.421）。
- 文字入力画面で回（文字）を押したあと、◯を押しても同様に切り替えられます。◯を押すと、逆の方向に切り替わります。

文字を入力する

２タッチ方式で、２桁の数字を押し、１文字ずつ指定します。

1 文字入力画面で２桁の数字を入力する

例：「き」➡②②
- 文字の割り当てについては、P.474を参照してください。

文字入力

ネットワークサービス

接続できるネットワーク

- FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	サービス名称	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	要	有料	番号通知お願いサービス	不要	無料
キャッチホン	要	有料	デュアルネットワークサービス	要	有料
転送でんわサービス	要	無料	英語ガイダンス	不要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	マルチナンバー	要	有料
発信者番号通知サービス	不要	無料	2in1	要	有料
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	OFFICEED	要	有料
公共モード（電源OFF）	不要	無料	メロディコール	要	有料

- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 「OFFICEED」は申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。
- ネットワークサービスは、ネットワークサービスセンターに接続して操作するサービスのため、圏外のときは操作できません（公共モード（ドライブモード）は圏外でも設定できます）。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録することができます（☞P.444）。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

留守番電話サービス

留守番電話サービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモ（☞P.74）を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、待受画面に［☎］（着信あり）が表示されます。

お知らせ

- 伝言メッセージの録音／録画時間は１件あたり最長３分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件で、最長72時間保存されます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音が設定された呼出秒数の間（呼出時間は変更できます：☞P.430）鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しない場合は、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。この着信は、待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼出時間を［０秒］に設定した場合は、着信履歴に記憶されません。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときにテレビ電話がかかってきた場合、設定した呼出時間が経過すると、留守番電話サービスに接続し、メッセージ録画が開始されます。また、設定した呼出時間内に応答すると、留守番電話サービスに接続せずに、そのまま通話できます。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。
- キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。サブメニューよりDTMF送信モードを［ON］に切り替えてください（☞P.51）。
- 2in1のモードを［デュアルモード］に設定している場合、留守番電話サービスの開始や停止、留守番メッセージ再生、留守番サービス設定を行うときは、［Aナンバー］または［Bナンバー］を選択してから実行します。

留守番電話サービスの基本的な流れ

STEP 1　留守番電話サービスを開始する。
STEP 2　お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる。
STEP 3　音声電話／テレビ電話に出られないときは留守番電話サービスセンターに接続される。
STEP 4　相手が用件を伝言メッセージに録音／録画する。
STEP 5　伝言メッセージを再生する。

留守番電話サービスを開始／停止する
＜留守番電話サービス開始／留守番サービス停止＞

留守番電話サービスを開始する

1 待受画面で◉▶［設定］▶［NWサービス］▶［留守番電話］▶［留守番電話サービス開始］

2 開始方法を選択

サービスを開始する	［留守番電話サービス開始］→［はい］
呼出時間を設定してからサービスを開始する	［呼出秒数決定＋開始］→呼出秒数（000～120秒）を入力して◉→［はい］

- 留守番呼出時間は、待受画面で◉を押し［設定］→［NWサービス］→［留守番電話］→［留守番呼出時間設定］を選択しても設定できます。

お知らせ

- 2in1利用時、Bナンバーでは［呼出秒数決定＋開始］を設定できません。呼出時間を設定するときは、待受画面で◉を押し［設定］→［NWサービス］→［留守番電話］→［留守番呼出時間設定］を選択して設定してください。

留守番電話サービスを停止する

1 待受画面で◉▶［設定］▶［NWサービス］▶［留守番電話］▶［留守番サービス停止］▶［はい］

伝言メッセージを聞く<留守番メッセージ再生>

1 **待受画面で◉ ▶ [設定] ▶ [NWサービス] ▶ [留守番電話] ▶ [留守番メッセージ再生] ▶ [はい]**

2 **音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージを再生する**

お知らせ

- 待受画面に[ ](留守録音あり)が表示されているときに◉を押し、[ ](留守録音あり)を選択すると、[留守番メッセージ再生しますか?]と表示されます。[はい]を選択するとメッセージを再生できます。
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- テレビ電話の伝言メッセージの場合は、「1417」へテレビ電話でかけてメッセージを再生することができます。

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する<留守番サービス設定>

1 **待受画面で◉ ▶ [設定] ▶ [NWサービス] ▶ [留守番電話] ▶ [留守番サービス設定] ▶ [はい]**

2 **音声ガイダンスの指示に従って9を押し、設定する**

不在案内を変更する	1
応答メッセージまたは名前のアナウンスの確認・変更をする	2
発信者番号案内の確認・変更をする	3

新しい伝言メッセージがあるか確認する<メッセージ問合せ>

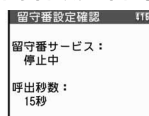
1 **待受画面で◉ ▶ [設定] ▶ [NWサービス] ▶ [留守番電話] ▶ [メッセージ問合せ]**

- 音声電話の伝言メッセージが入っていると、待受画面に[ ](留守録音あり)が表示されます。
- テレビ電話の伝言メッセージが入ったときは、伝言メッセージがあることをお知らせするSMSを受信します。

留守番電話サービスの設定を確認して変更する<留守番設定確認>

1 **待受画面で◉ ▶ [設定] ▶ [NWサービス] ▶ [留守番電話] ▶ [留守番設定確認]**

- 現在の設定内容が表示されます。

留守番設定確認
留守番サービス：
停止中
呼出秒数：
15秒

停止中の場合

2 **[ ] ▶ 機能を選択**

サービスを開始する	[開始]→[留守番電話サービス開始]→[はい]
呼出時間を設定してからサービスを開始する	[開始]→[呼出秒数決定+開始]→呼出秒数(000〜120秒)を入力して◉→[はい]
サービスを停止する	[停止]→[はい]
呼出時間を変更する	[時間変更]→呼出秒数(000〜120秒)を入力して◉

お知らせ

- 2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定している場合は、[Aナンバー]または[Bナンバー]のどちらの設定を確認するか選択できます。

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るようにする<件数増加鳴動設定>

1 **待受画面で◉ ▶ [設定] ▶ [NWサービス] ▶ [留守番電話] ▶ [件数お知らせ設定] ▶ [件数増加鳴動設定] ▶ [ON]**

- 件数増加鳴動が設定されます。

伝言メッセージマークを消去する<表示消去>

伝言メッセージが届いたことを示す[ ](留守録音あり)を消去できます。

1 **待受画面で◉ ▶ [MENU](カスタムメニュー)を選択 ▶ [設定] ▶ [NWサービス] ▶ [留守番電話] ▶ [件数お知らせ設定] ▶ [表示消去] ▶ [はい]**

- [ ](留守録音あり)が消去されます。
- 待受画面に[ ](留守録音あり)が表示されているときに◉を押し、[ ](留守録音あり)を選んでCLRを1秒以上押しても消去できます。

お知らせ

- 伝言メッセージが留守番電話サービスセンターに残っているとき、[ ](留守録音あり)を消去しても、伝言メッセージは消去されません。メッセージ問い合わせを行ったり、新しい伝言メッセージが録音されると、再び表示されます。

着信通知機能を利用する <着信通知開始／着信通知停止>

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内になったときに着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。

- SMS一括拒否を設定していても、履歴は通知されます。

着信通知を開始する

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[留守番電話]▶[着信通知]▶[着信通知開始]**

2 **発信者番号非通知の着信を通知するかどうかを選択▶[はい]**

- 着信通知の開始画面で[はい]を選択すると、着信通知が開始されます。

着信通知を停止する

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[留守番電話]▶[着信通知]▶[着信通知停止]▶[はい]**

着信通知の設定を確認する

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[留守番電話]▶[着信通知]▶[着信通知開始設定確認]**

- 現在の設定内容が表示されます。

キャッチホン

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。
また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中着信動作選択」(☞P.438)を[通常着信]に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声電話通話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。
- 圏外のときは、キャッチホンの設定はできません。

お知らせ

- 通話中のテレビ電話を保留にして、音声電話やテレビ電話に出る、またはかけることはできません。
- 通話中の音声電話を保留にして、かかってきたテレビ電話に出る、またはかけることはできません。

キャッチホンを開始／停止する<キャッチホンサービス開始／キャッチホンサービス停止>

キャッチホンを開始する

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[キャッチホン]▶[キャッチホンサービス開始]▶[はい]**

キャッチホンを停止する

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[キャッチホン]▶[キャッチホンサービス停止]▶[はい]**

お知らせ

- 通話保留中も発信者の方の料金は加算されます。
- キャッチホンを停止しても、通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかけることはできます。

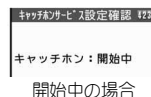
キャッチホンの設定を確認する

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[キャッチホン]▶[キャッチホンサービス設定確認]**

- 現在の設定内容が表示されます。

キャッチホンサービス設定確認
キャッチホン：開始中

開始中の場合

ネットワークサービス

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら

- 最初の方との通話は自動的に保留になり、新しくかかってきた音声電話を受けることができます。
- を押すたびに通話の相手を切り替えることもできます。

《マルチ接続中》
0:02

2 新しくかかってきた方との通話が終わったら

- を押すと、最初の方と通話できます。

保留中の音声電話を終わらせるとき

- を押して[保留呼切断]を選択します。

お知らせ

- 音声電話通話中にテレビ電話がかかってきても、テレビ電話中に音声電話やテレビ電話がかかってきても、通話中に「ププ…ププ…」と聞こえず、電話に出ることもできません。音声電話やテレビ電話終了後、待受画面に戻ると[☎](着信あり)が表示されます。

通話中の音声電話を終わらせて、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら

- 新しくかかってきた電話の着信音が鳴ります。

2

- 新しくかかってきた電話の方と通話できます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤルする

- 電話帳、着信履歴、リダイヤルから選ぶこともできます。

2

- 新しくかけた相手と通話できます。
- 最初の方との通話は自動的に保留されます。
- 保留中の相手がいるとき、を押して通話する相手を切り替えることができます。

3 新しくかけた相手との通話が終わったら

- 新しくかけた相手との通話が終了します。
- を押すと、最初の方と通話できます。

転送でんわサービス

転送でんわサービスを利用する

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ(☞P.74)を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、待受画面に[☎](着信あり)が表示されます。

お知らせ

- テレビ電話をかけた側には、転送中のガイダンスは流れず、転送中のメッセージが画面に表示されます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、着信音が設定された呼出秒数の間(呼出時間は変更できます：☞P.434)鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しない場合は、あらかじめ登録されている転送先に転送します。この着信は、待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼出時間を[0秒]に設定した場合は、着信履歴に記憶されません。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときは、コレクトコール(料金着信払通話)での着信はできません。
- 通話中に別の音声電話がかかってきたときは、自動的に転送させることもできます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定すると、転送でんわサービスは、自動的に停止します。
- 圏外のときは、FOMA端末から転送でんわサービスの設定はできません。このような場合は、プッシュ式の一般電話、公衆電話などからネットワーク暗証番号を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ、遠隔操作設定で遠隔操作ができるように設定しておく必要があります。
- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定している場合、転送サービスの開始や停止を行うときは、[Aナンバー]または[Bナンバー]を選択してから実行します。

転送でんわサービスの基本的な流れ

STEP 1　転送先の電話番号を登録する。
STEP 2　転送でんわサービスを開始する。
STEP 3　お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる。
STEP 4　音声電話／テレビ電話に出られないときはあらかじめ登録した転送先に自動的に転送される。

転送でんわサービスを開始／停止する
＜転送サービス開始／転送サービス停止＞

転送でんわサービスを開始する

1 待受画面で◉▶［設定］▶［NWサービス］▶［転送でんわ］▶［転送サービス開始］

2 ［転送先電話番号入力］▶入力方法を選択

直接入力する	［直接入力］→電話番号を入力して◉
電話帳から入力する	［電話帳から］→名前を選択→◉

3 ［呼出秒数設定］▶呼出秒数（3桁：000～120秒）を入力して◉

4 ［転送サービス開始］▶［はい］

お知らせ

- 圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。
- 着信音が鳴っている間に応答すると、転送されずに通話できます。
- 2in1利用時、Bナンバーでは転送先電話番号入力や呼出秒数設定はできません。

転送でんわサービスを停止する

1 待受画面で◉▶［設定］▶［NWサービス］▶［転送でんわ］▶［転送サービス停止］▶［はい］

音声電話通話中にかかってきた音声電話を転送先へ転送する

1 通話中着信音が鳴っている間に📷▶［着信転送］

- かかってきた電話を登録されている転送先へ転送します。

着信音が鳴っているときに電話を転送先へ転送する

1 着信音が鳴っている間に📷▶［着信転送］

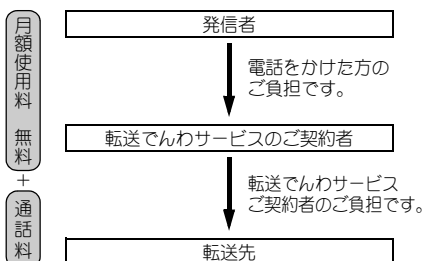
- かかってきた電話を登録されている転送先へ転送します。

転送ガイダンス有･無を設定する場合

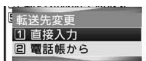
1 待受画面で1429▶📞

- 音声ガイダンスに従って設定してください。

転送でんわサービスの料金

■ 通話料金

※ 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止などの操作の通話料は無料です。

転送先を変更する<転送先変更>

1 待受画面で◉▶［設定］▶［NWサービス］▶［転送でんわ］▶［転送先変更］▶入力方法を選択

直接入力する	［直接入力］→電話番号を入力して◉
電話帳から入力する	［電話帳から］→名前を選択→◉

2 項目を選択する

項目	転送先変更のみ	転送先変更＋開始

お知らせ

- 2in1利用時、Bナンバーでは［転送先変更+開始］を選択できません。

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで応対する<転送先通話中時設定>

- 留守番電話をご利用になるには、留守番電話サービス（月額使用料：有料）のお申し込みが必要です。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［NWサービス］▶［転送でんわ］▶［転送先通話中時設定］▶［はい］

転送サービス設定を確認する<転送サービス設定確認>

1 待受画面で◉▶［設定］▶［NWサービス］▶［転送でんわ］▶［転送サービス設定確認］

- 現在の設定内容が表示されます。

お知らせ

- 2in1のモードを［デュアルモード］または［Bモード］に設定している場合は、［Aナンバー］または［Bナンバー］のどちらの設定を確認するか選択できます。

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記憶されません。

お知らせ

- 相手が発信者番号を通知してこない電話でも拒否登録できます。
- 国際電話を拒否登録できない場合があります。

最後に着信応答した電話番号を迷惑電話ストップサービスに登録する<迷惑電話着信拒否登録>

1 待受画面で◉▶［設定］▶［NWサービス］▶［迷惑電話ストップ］▶［迷惑電話着信拒否登録］▶［はい］

電話番号を選択して着信拒否登録する<電話番号指定拒否登録>

1 待受画面で◉▶［設定］▶［NWサービス］▶［迷惑電話ストップ］▶［電話番号指定拒否登録］▶登録方法を選択

登録方法	着信履歴	電話帳
	リダイヤル	直接入力

2 電話番号を選択▶［はい］

- 直接入力の場合は、電話番号を入力して［はい］を選択します。
- すでに30件登録されているときは、［限度数を超えました。最も古い登録を削除し、迷惑電話を登録しますが、よろしいですか？］と表示されます。［はい］を選択すると、上書き登録されます。

登録した電話番号をすべて削除する
<迷惑電話全登録削除>

1 待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[迷惑電話ストップ]▶[迷惑電話全登録削除]▶[はい]

■ 最後に登録した電話番号1件のみを削除する

1 待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[迷惑電話ストップ]▶[迷惑電話1登録削除]▶[はい]

- 最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作をくり返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

拒否登録した電話番号の件数を確認する
<拒否登録件数確認>

1 待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[迷惑電話ストップ]▶[拒否登録件数確認]

- 現在の拒否登録件数が表示されます。

お知らせ

- 迷惑電話番号を削除する方法は、すべて削除、または最後に登録した1件の削除のいずれかです。特定の番号のみの削除はできません。

■ 各サービス利用時の応答

次の各サービスの開始中に迷惑電話着信拒否登録した方から着信があった場合、次のようになります。

- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否登録した電話番号からプッシュトーク着信があった場合、相手に音声ガイダンスは流れず、切断されます。

サービス名	迷惑電話着信拒否登録した方への応答
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービスを利用する

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、[☎](着信あり)も表示されません。
- 発信者番号が通知されないプッシュトークの着信があった場合、ガイダンスは流れず、切断します。

■ 各サービス利用時の応答中の着信とサービスとの関係

番号通知お願いサービスを「開始」に設定している場合、次の各サービスの開始中に、発信者番号を通知しない着信があった場合、次のようになります。

サービス名	発信者番号を通知しない方への応答
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話着信拒否登録した電話番号から着信すると、着信拒否ガイダンスが流れます。

番号通知お願いサービスを開始する
<番号通知サービス開始>

1 待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[番号通知お願いサービス]▶[番号通知サービス開始]▶[はい]

番号通知お願いサービスを停止する
<番号通知サービス停止>

1 待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[番号通知お願いサービス]▶[番号通知サービス停止]▶[はい]

設定内容を確認する<サービス設定確認>

1 待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[番号通知お願いサービス]▶[サービス設定確認]

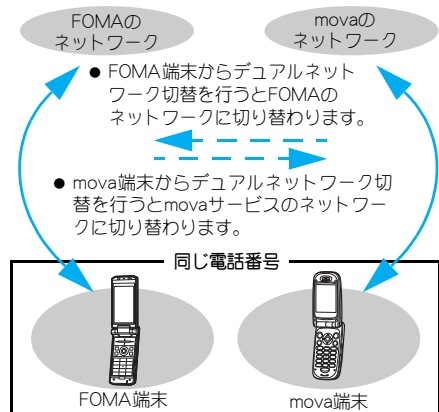
- 現在の設定内容が表示されます。

デュアルネットワークサービス

デュアルネットワークサービスを利用する

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- ネットワーク暗証番号は4桁の数字を入力してください（☞P.142）。

■ デュアルネットワークサービスの切り替え

- 一部のサービスはご利用になれません。
- FOMAとmovaを同時にご利用いただくことはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

FOMA端末を使えるようにする <デュアルネットワーク切替>

FOMAのネットワークに切り替えます。

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［デュアルネットワーク］▶［デュアルネットワーク切替］

- ネットワーク暗証番号入力画面が表示されます。

2 ネットワーク暗証番号を入力して⦿▶［はい］

- ネットワーク切替が終了します。

お知らせ

- ネットワーク切替を行うときは、アンテナ表示でサービスエリアであることを確認してください。FOMA端末、mova端末の画面の［Yıl］は、電波状態を示しているもので、ネットワーク利用可能、不可能の状態を示しているものではありません。

設定内容を確認する <デュアルネットワーク状態確認>

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［デュアルネットワーク］▶［デュアルネットワーク状態確認］

- 現在の設定内容が表示されます。

英語ガイダンス

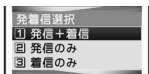
ガイダンスを日本語と英語で切り替える

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

- 圏外のときは、英語ガイダンスの設定はできません。
- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

■ 利用できるガイダンスの種類

	メニュー項目	ガイダンスの内容
発信時（ネットワークサービス設定時に流れるガイダンス）	日本語	すべて日本語ガイダンスで流れます。
	英語	すべて英語ガイダンスで流れます。
着信時（相手がかけてきたときに流れるガイダンス）	日本語	すべて日本語ガイダンスで流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、そのあとに英語ガイダンスが流れます。
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、そのあとに日本語ガイダンスが流れます。

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［英語ガイダンス］▶［ガイダンス設定］▶ガイダンスの種類を選択

2 言語の種類を選択

設定内容を確認する<ガイダンス設定確認>

1 待受画面で◉▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［英語ガイダンス］▶［ガイダンス設定確認］

● 現在の設定内容が表示されます。

ガイダンス設定確認 532

発信時の言語は「日本語」着信時の言語は「日本語」に設定されています

サービスダイヤル

サービスダイヤルを利用する

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

● お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［サービスダイヤル］▶項目を選択

ドコモ故障問合せ	故障問い合わせ先へ電話をかけることができます。
ドコモ総合案内・受付	総合案内・受付へ電話をかけることができます。

2 ［はい］

お知らせ

● 故障問い合わせをする前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」(☞P.482～P.484)を参照してお調べください。

● お客様がご使用のFOMAカードによっては、「ドコモ故障問合せ」や「ドコモ総合案内・受付」などが表示されない場合があります。
表示されない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」や「故障お問い合わせ先」などを電話帳に登録しておくと便利です。

● 2in1のモードを［デュアルモード］に設定している場合は、発信番号選択画面で［Aナンバー］／［Bナンバー］を選択してから発信します。

通話中着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」、「キャッチホン」をご契約されているお客様の音声電話通話中にかかってきた音声電話にどのように対応するかを設定できます。

● 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」、「キャッチホン」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。

● 通話中着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。

選択できる着信動作

留守番電話	通話中にかかってきた電話を留守番電話サービスに自動で接続します。留守番電話サービスの「開始」／「停止」に関係なく、伝言メッセージをお預かりします。
転送でんわ	通話中にかかってきた電話を転送でんわサービスに自動で接続します。転送でんわサービスの「開始」／「停止」に関係なく、登録してある電話番号に転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた電話の着信を自動で拒否します。
通常着信	キャッチホンが「開始」に設定されている場合、キャッチホンの動作となります。 キャッチホンが「停止」に設定されている場合、次のいずれかの動作が可能です。 ● 通話中の電話を終了し、かかってきた電話に出ることができます。 ● 通話中にかかってきた電話を手動で留守番電話サービスや転送でんわサービスへ接続、または着信拒否できます。 ● 留守番電話サービスや転送でんわサービスが「開始」に設定されているときは、その設定に従います。

● キャッチホンを使用するときは、［通常着信］に設定してください。

● 通話中着信動作選択がいずれの設定の場合でも、通話中に着信があったことを着信履歴でお知らせします。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［NWサービス］▶［通話中着信］▶［通話中着信動作選択］▶着信動作を選択

通話中着信設定

通話中着信設定を開始／停止する

通話中着信設定を「開始」に設定すると、音声電話通話中に別の音声電話を受けたときに、通話中着信動作選択（☞P.438）に従い着信させることができます。

● 圏外のときは、通話中着信設定はできません。

通話中着信設定を開始する＜通話中着信設定開始＞

1 **待受画面で◉▶［設定］▶［NWサービス］▶［通話中着信］▶［通話中着信設定］▶［通話中着信設定開始］▶［はい］**

通話中着信設定を停止する＜通話中着信設定停止＞

1 **待受画面で◉▶［設定］▶［NWサービス］▶［通話中着信］▶［通話中着信設定］▶［通話中着信設定停止］▶［はい］**

設定内容を確認する＜通話中着信設定確認＞

1 **待受画面で◉▶［設定］▶［NWサービス］▶［通話中着信］▶［通話中着信設定］▶［通話中着信設定確認］**

● 現在の設定内容が表示されます。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

● FOMAのサービスエリア外でも操作できます。
● 遠隔操作を行う前に、遠隔操作設定を「開始」に設定してください。
● 圏外のときは、遠隔操作設定はできません。
● 海外でネットワークサービスを利用する場合は、遠隔操作設定を「開始」に設定してください。

遠隔操作を開始する＜遠隔操作開始＞

1 **待受画面で◉▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［遠隔操作設定］▶［遠隔操作開始］▶［はい］**

遠隔操作を停止する＜遠隔操作停止＞

1 **待受画面で◉▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［遠隔操作設定］▶［遠隔操作停止］▶［はい］**

設定内容を確認する＜遠隔操作設定確認＞

1 **待受画面で◉▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［遠隔操作設定］▶［遠隔操作設定確認］**

● 現在の設定内容が表示されます。

■ 公衆電話などからネットワークサービスの操作をする

● 公衆電話などからネットワークサービスを操作する詳しい方法は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

マルチナンバー

マルチナンバーを利用する

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号１と付加番号２の最大２つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

● それぞれの番号に、名称と着信音（☞P.120）を設定できます。
● FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
● 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号１／付加番号２）に対応した名称が表示されます。
● リダイヤルや着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

マルチナンバーを登録する＜電話番号設定＞

● 「基本契約番号」は電話番号の削除はできません。
● 登録した名称は、発信時のマルチナンバー選択画面や着信画面で表示されます。

1 **待受画面で◉▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［マルチナンバー］▶［電話番号設定］▶登録する番号を選択**

2 **名称を入力して◉**

● 最大全角７文字（半角14文字）まで入力できます。

3 **電話番号を入力して◉**

● 電話番号は26桁まで入力できます。「P」は入力できません。

4 **着信音を選んで▤（決定）**

● 着信音の設定について詳しくは、P.120を参照してください。

電話をかけるときに発信番号を選ぶ

1 待受画面で電話番号を入力する

- 電話帳から電話をかけるときは、待受画面で📖を押し、名前を選択します。

2 📷▶［マルチナンバー選択］

- マルチナンバーを選択後は、ダイヤル入力はできません。

3 使用する電話番号を選択

4 📞

- 選択した電話番号から発信します。

お知らせ

- 着信履歴またはリダイヤルから登録した電話番号を選んで電話をかけるときは、相手を選択して詳細画面を表示してから操作2～4を行います。
- 2in1利用時、マルチナンバー選択はできません。
- 電話番号のあとに「¥590#」、「¥591#」、「¥592#」を入力してマルチナンバー発信することもできます。「¥590#」を入力した場合は「基本契約番号」、「¥591#」を入力して発信した場合は「付加番号1」、「¥592#」を入力して発信した場合は「付加番号2」を発信元番号として発信します。その場合、サブメニューから［マルチナンバー選択］でマルチナンバー発信元を選択すると、選択したマルチナンバー発信元情報が優先され発信されます。

使用する発信番号を設定する ＜通常発信番号設定＞

- すべての発信先に、設定した電話番号で電話をかけることができます。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［マルチナンバー］▶［通常発信番号設定］

2 使用する電話番号を選択▶［はい］

- 設定した電話番号で発信するようになります。

マルチナンバーの設定内容を確認する ＜通常発信番号設定確認＞

1 待受画面で◉▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［マルチナンバー］▶［通常発信番号設定確認］

- 現在の設定内容が表示されます。

マルチナンバーを修正する

1 待受画面で◉▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［マルチナンバー］▶［電話番号設定］

2 番号を選択▶［修正］

- 修正方法は登録時の操作と同じです。

マルチナンバーを削除する

1 待受画面で◉▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［マルチナンバー］▶［電話番号設定］

2 番号を選択▶［削除］▶［はい］

2in1

2in1を利用する

1つの携帯電話で、2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

Aモード	お客様電話番号（Aナンバー）での発信とｉモードメール（Aアドレス）での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。
Bモード	2in1電話番号（Bナンバー）での発信とWEBメール（Bアドレス）が利用できるサイトへのアクセス、およびその関連データの閲覧ができます。
デュアルモード	A・Bモードの両方の機能を備えたモードです。

- BアドレスはB専用のWEBメールサイトでメールの送受信を行います。
- ｉモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。
- モードごとの機能利用については、P.443を参照してください。
- 外部機器から64Kデータ通信で発信を行った場合、2in1のモードが［Aモード］／［デュアルモード］のときはAナンバーで発信します。［Bモード］のときはBナンバーで発信します。
- 2in1の詳細については、『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

ネットワークサービス

2in1を利用する<2in1設定>

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]▶端末暗証番号を入力して◉**

- すでに2in1を利用している場合は、2in1設定メニュー画面が表示されます。

2 **[はい]**

■ 電話をかけるときに発信番号を選ぶ

モード切替を[デュアルモード]に設定しているときに利用できる機能です。

1 **待受画面で電話番号を入力して📷▶[2in1選択]**

- 電話帳から電話をかけるときは、待受画面で📖を押して名前を選択し、📷を押して[2in1選択]を選択します。

2 **[Aナンバー]／[Bナンバー]▶📞**

- 選択した電話番号から発信します。

お知らせ

- 着信履歴／リダイヤルから電話をかけるときは、着信／発信した電話番号で発信します。発信する電話番号を選ぶ場合は、相手を選択して詳細画面を表示してから📷を押し、[2in1選択]を選択して操作２を行います。
- 海外でご利用の場合、Bナンバーからは発信できません。

モードを切り替える<モード切替>

2in1の利用時、モードを切り替えることができます。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]▶端末暗証番号を入力して◉▶[モード切替]**

- 待受画面で8を１秒以上押し、端末暗証番号を入力して◉を押しても操作できます。

2 **モードを選択**

モード	Aモード	デュアルモード
	Bモード	

- 利用中のモードは選択できません。

電話帳に登録するモードを設定する<電話帳2in1設定>

2in1利用時、2in1のモードによって表示される電話帳も自動的に切り替わります。電話帳登録時の2in1のモードによって、電話帳2in1設定が登録されるほか（☞P.101）、以下の操作で変更できます。

- 表示される電話帳については、P.443を参照してください。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]▶端末暗証番号を入力して◉**

2 **[電話帳2in1設定]▶設定方法を選択**

複数をまとめて設定する	[選択設定]→名前を選択（くり返し可）→📷 ● すべてを選択／解除する場合は、i（全選択）／i（全解除）を押します。
選んだグループ内のすべてを設定する	[グループ一括設定]→グループを選択
すべてを設定する	[全件設定]

3 **登録する電話帳2in1設定を選択**

電話帳2in1設定	A	B	共通

- [B]に設定する場合、プッシュトーク電話帳に登録されている電話番号があるときは、プッシュトーク発信ができなくなる旨のメッセージが表示されます。[はい]を選択すると、電話帳2in1設定が[B]に設定されます。

モードごとの待受画面を設定する<モード別待受画面設定>

[デュアルモード]と[Bモード]の待受画面を設定できます。

- データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像を利用できます。動画／iモーションやiアプリは設定できません。
- [Aモード]の待受画面は、待受画面設定（☞P.128）で設定した画像が表示されます。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]▶端末暗証番号を入力して◉**

2 **[モード別待受画面設定]▶項目を選択**

項目	デュアルモード待受画面
	Bモード待受画面

3 **[設定]▶フォルダを選択▶画像を選んでi▶[はい]**

- 画像の設定について詳しくは、P.128を参照してください。
- 待受画面を解除するときは、[解除]→[はい]を選択します。お買い上げ時の設定に戻ります。

お知らせ

- 2in1のモードを[Bモード]または[デュアルモード]に設定しているときにｉアプリ待受画面を設定しても、[Bモード]または[デュアルモード]の待受画面には設定されません。[Aモード]の待受画面に設定されます。

Bナンバーでの発着信画面の配色を設定する<発着信番号表示設定>

Bナンバーでの発着信を識別するために、カラーテーマ設定にかかわらず、発着信画面および通話中画面の電話番号／電話帳登録名／非通知理由をグレーで表示することができます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]▶端末暗証番号を入力して◉

2 [発着信番号設定]▶[発着信番号表示設定]▶[識別表示あり]

Bナンバーの着信音を変更する<Bナンバー着信設定>

Bナンバーに電話がかかってきたときや、Bアドレスにメールが届いたときの着信音を設定できます。

- データBOXのメロディ、動画／ｉモーション、着うたフル®を利用できます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]▶端末暗証番号を入力して◉

2 [発着信番号設定]▶[Bナンバー着信設定]▶設定する項目を選択

項目		
	音声電話着信音	メール着信音
	テレビ電話着信音	SMS着信音

3 [設定]▶P.120の操作2を参照して着信音を選ぶ

- 設定を解除するときは、[解除]→[はい]を選択します。

お知らせ

- 非通知着信の場合は、Bナンバー着信設定にかかわらず通常の着信音選択に従います。

2in1の利用を停止する<2in1機能OFF>

1 待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]▶端末暗証番号を入力して◉

2 [2in1機能OFF]▶[はい]

お知らせ

- 2in1利用中に「2in1のBナンバーの変更」や「FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1契約者）」を行った場合、正しいBナンバーを取得するために、2in1機能OFFにしてから、再度2in1設定をONにしてください。また、「FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1未契約者）」を行った場合も、正しい所有者情報に更新するために、2in1機能OFFにしてください。

着信を制限する<着信回避設定>

Ａナンバー、Ｂナンバーの着信を制限できます。2in1のモードに連動して、AモードのときはAナンバー、BモードのときはBナンバーの着信のみを許可し、デュアルモードのときは両方の着信を許可するように設定することもできます。また、海外からも着信回避を設定できます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]▶端末暗証番号を入力して◉

2 [着信回避設定]▶着信回避を設定する

Ａナンバー、Ｂナンバーの着信を制限する	[着信回避設定変更]→[Aナンバー着信回避]／[Bナンバー着信回避]を選択→[着信しない]／[着信する]／[変更しない]→[i](完了)→[確認]
設定を確認する	[着信回避設定確認]→[はい]→[確認]
モード切替連動を開始／停止する	[モード切替連動設定]→[はい]→[確認]
海外から着信回避を設定する	[着信回避設定(海外)]→[はい]→音声ガイダンスに従って操作

ネットワークサービス

モードごとの機能利用について

モードごとに動作が異なる項目のみ記載しています（Aモードと共通の動作をするものは除いています）。

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
音声／テレビ電話	発信	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択可※1
	着信	すべて（着信回避設定で制限可能）※2※3※4		
電話帳※5	表示	[A]・[共通]	[B]・[共通]	すべて
	名前変換※6	[A]・[共通]	[B]・[共通]	すべて
	新規登録時の電話帳2in1設定	[A]	[B]	[A]
	赤外線通信／ｉＣ通信からの全件受信	送信元の電話帳2in1設定をコピー※7		
	赤外線通信／ｉＣ通信からの１件受信	[A]	[B]	[A]
	microSDメモリーカードへコピー	全件／１件／選択／グループ内コピー：電話帳2in1設定はすべて[共通]		
	FOMA端末（本体）からFOMAカードへコピー	電話帳2in1設定はすべて[共通]		
	FOMAカードからFOMA端末（本体）へコピー	[A]	[B]	[A]
リダイヤル	表示	Aナンバー発信	Bナンバー発信	すべての発信
着信履歴	表示	Aナンバー着信	Bナンバー着信	すべての着信
メール／SMS	表示	●Aアドレスで送受信したメール ●Aナンバーで送受信したSMS	FOMA端末 ●FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メール（WEBメールサイト上での[端末に保存]操作をしたメール）や新着通知メール・アラーム通知メール ●Bナンバーで受信したSMS WEBメールサイト ●Bアドレスで送受信したメール	FOMA端末 ●Aアドレスで送受信したメール、FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール ●Aナンバーで送受信したSMS ●Bナンバーで受信したSMS WEBメールサイト ●Bアドレスで送受信したメール
	送信	FOMA端末 ●Aアドレスからのメール ●AナンバーからのSMS	FOMA端末 ●メール／SMS送信不可 WEBメールサイト ●Bアドレスからのメール	FOMA端末 ●Aアドレスからのメール※8 ●AナンバーからのSMS WEBメールサイト ●Bアドレスからのメール
	受信	●Aアドレス宛のメール／Aナンバー宛のSMS（鳴動あり） ●FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メール、新着通知メール・アラーム通知メール／Bナンバー宛のSMS（鳴動なし）	●Aアドレス宛のメール／Aナンバー宛のSMS（鳴動なし） ●FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メール、新着通知メール・アラーム通知メール／Bナンバー宛のSMS（鳴動あり）	●Aアドレス宛のメール／Aナンバー宛のSMS（鳴動あり） ●FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メール、新着通知メール・アラーム通知メール／Bナンバー宛のSMS（鳴動あり）
	赤外線通信／ｉＣ通信からの全件受信	送信元の状態をコピー※9		
	赤外線通信／ｉＣ通信からの１件受信	A		
	microSDメモリーカードへコピー	全件／１件／選択／フォルダ内全件コピー：すべてA		
	FOMAカード（SMSのみ）	●FOMA端末（本体）からFOMAカードへコピー：すべてA ●FOMAカードからFOMA端末（本体）へコピー：すべてA		
プッシュトーク	発信	Aナンバー	利用不可	Aナンバー
	着信	Aナンバーで着信可		
	プッシュトーク電話帳	表示	表示不可	表示
ｉアプリ		すべて利用可能	利用可能※10	利用可能※11
電話番号表示		Aナンバー・Aアドレス	Bナンバー・Bアドレス	Aナンバー・Aアドレス／Bナンバー・Bアドレス

※１　電話帳2in1設定が、[A]・[共通]の電話帳の場合はAナンバー発信、[B]の電話帳の場合はBナンバー発信が初期状態になります。
※２　電話帳指定着信許可の設定は、利用しているモードで表示される電話帳の番号を着信します（他のモードで登録していても、表示されない電話帳は着信を拒否します）。
※３　電話帳指定着信拒否の設定は、利用しているモードで表示される電話帳の番号を拒否します（他のモードで登録していても、表示されない電話帳は着信します）。
※４　電話帳登録外着信拒否の設定は、利用しているモードで表示される電話帳以外の番号を拒否します（他のモードで登録していても、表示されない電話帳は着信を拒否します）。
※５　電話帳2in1設定にかかわらず、シークレット登録することができます。
※６　発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳データとの照合により、各番号・各アドレスが登録されている電話帳データの名称に変換して表示する機能になります。
※７　送信元が2in1非対応機種の場合、電話帳2in1設定はすべて[A]になります。
※８　デュアルモード時にメールの新規作成をすると、電話帳2in1設定が[B]となっている電話帳からも宛先アドレスの選択ができますが、Aアドレスからのメール送信となります。
※９　送信元が2in1非対応機種の場合、すべてAになります。
※10　メッセージアプリ・メールアプリ・待受画面に設定したアプリは除きます。
※11　待受画面に設定したアプリは除きます。

OFFICEED

OFFICEEDを利用する

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には、別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

追加サービス（USSD）

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

- 圏外のときは、追加サービスの設定はできません。
- FOMA端末には、新しく追加提供されたサービスの特番またはサービスコードを登録できます。
- サービスコードが提供される場合、FOMA端末には「USSD」として登録されます。

サービスを登録する＜USSD登録＞

- 新しいネットワークサービスは最大10件登録できます。

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［追加サービス］▶［USSD登録］

2 登録する番号を選んで📷▶［編集］▶サービス名を入力して⦿

- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

3 追加するサービスの特番／サービスコードを入力して⦿

登録したサービスを利用する

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［追加サービス］▶［USSD登録］

2 サービスを選択

登録したサービスを削除する

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［追加サービス］▶［USSD登録］

2 サービスを選んで📷▶削除方法を選択

1件削除する	［一件削除］→［はい］
すべてを削除する	［全件削除］→端末暗証番号を入力して⦿→［はい］

登録したサービスの受信表示を編集する＜応答メッセージ登録＞

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［追加サービス］▶［応答メッセージ登録］

2 受信表示を選んで📷▶編集する

編集する	［編集］→受信表示名を入力して⦿→特番／サービスコードを入力して⦿ ● 受信表示名は最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
1件削除する	［一件削除］→［はい］
すべてを削除する	［全件削除］→端末暗証番号を入力して⦿→［はい］

パソコン接続

データ通信について、詳細は付属のCD-ROM※内のPDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。
ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照願います。

※ 付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、TOP画面が表示されます。[取扱説明書]→[パソコン接続マニュアル（PDFファイル）]をクリックします。
何らかの理由によりTOP画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]→[FOMA_SH905i]を選んで右クリックし、[エクスプローラ]をクリックし、[manual]をダブルクリックし、[SH905i_J_Manual.pdf]をダブルクリックします。

データ通信について

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の３つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をmusea、sigmarionⅡ、sigmarionⅢと接続してデータ通信を行うことができます。ただし、送受信ともに最大384kbpsとなります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。
  musea、sigmarionⅡを使用する場合は、アップデートしてご利用ください。
  アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページを参照してください。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- 海外では64Kデータ通信を利用できません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたができます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、送信最大384kbps、受信最大3.6Mbpsの速度でデータ通信できます（通信環境や、電波などが混み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です）。
パケット通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。
データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。
FOMA端末では、パソコンなどによるパケット通信と音声電話を同時に利用できます（☞P.396）。

- FOMAハイスピードエリア外では送受信ともに最大384kbpsとなります。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。
64Kデータ通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。データBOXコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
長時間通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

データ転送（OBEX™通信）

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）や赤外線を使ってデータを転送、交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳、送受信メール、ブックマークなどのデータを送受信できます。
FOMA端末と他のFOMA端末や携帯電話を接続する場合は、赤外線通信を使います。パソコンなどを接続する場合は、赤外線通信とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を使う方法があります。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料ですが、通信速度は送受信ともに最大384kbpsまでとなります。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは、FOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。

ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダ、または接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でデータ通信（パケット通信／64Kデータ通信）を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02に対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、前述の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況などにより通信ができないことがあります。

お知らせ

- パケット接続を行う場合は、FOMA端末と接続する機器がJATE(財団法人電気通信端末機器審査協会)の認定品である必要があります。

ご使用になる前に

動作環境の確認

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	必要環境	
	FOMA通信設定ファイル FOMA PC設定ソフト	FirstPass PCソフト
パソコン本体	PC/AT互換機 USBポート(USB仕様1.1/2.0に準拠)が必要	PC/AT互換機
OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista(各日本語版)	
必要メモリ※	Windows 2000:64MB以上 Windows XP:128MB以上 Windows Vista:512MB以上	Windows 2000:32MB以上 Windows XP:128MB以上 Windows Vista:512MB以上
ハードディスク容量※	5MB以上の空き容量	10MB以上の空き容量
ブラウザ	−	Windows 2000、Windows XP:Internet Explorer 6.0以上 Windows Vista:Internet Explorer 7.0

※ 必要メモリ・ハードディスク容量は、「FOMA PC設定ソフト」と「FirstPass PCソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

- OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)、またはFOMA USB接続ケーブル(別売)
- CD-ROM「FOMA SH905i用CD-ROM」(付属)

お知らせ

- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02」、または「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ データ通信用語集

APN(Access Point Name)
インターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。ドコモのインターネット接続サービスmopera Uは「mopera.net」、moperaは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

cid(Context Identifier)
FOMA端末にAPNを登録するときに割り当てる登録番号。FOMA端末では1番から10番まで使えます。

DNS(Domain Name System)
ドメインネーム(例:nttdocomo.co.jp)を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

HSDPA
HSDPA(High Speed Downlink Packet Access)は第3世代(3G)携帯電話方式「W-CDMA」のデータ通信を高速化した規格です。

QoS(Quality of Service)
サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。

W-CDMA
世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム(IMT-2000)の1つ。FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

通信設定最適化
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に活かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

パソコンの管理者権限を持ったユーザー
OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

FOMA通信設定ファイルをインストールする

↓

パソコンとFOMA端末を接続する

↓

インストール後の確認をする

↓

FOMA PC設定ソフトをインストールする

↓

かんたん設定でパケット通信の設定をする	かんたん設定で64Kデータ通信の設定をする
● mopera Uまたは mopera※ ● その他のプロバイダ	● mopera Uまたは mopera※ ● その他のプロバイダ

↓

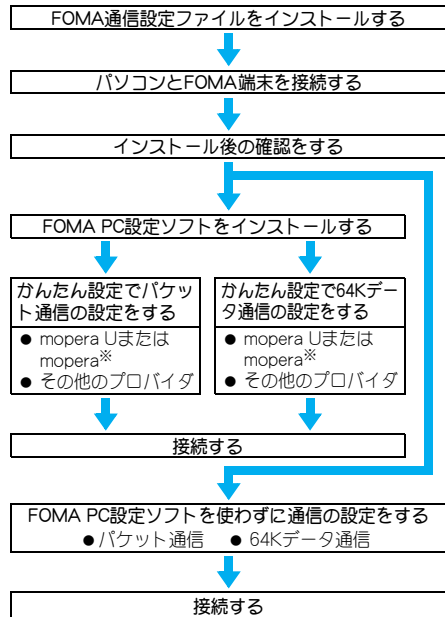
接続する

（または、インストール後の確認の後）

↓

FOMA PC設定ソフトを使わずに通信の設定をする
● パケット通信　● 64Kデータ通信

↓

接続する

※ FOMAでインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。

FOMA通信設定ファイルについて

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、付属のCD-ROMからFOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信や、64Kデータ通信に必要なさまざまな設定を、簡単に行うことができます。
また、FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末より取得したユーザ証明書を利用してパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにしたものです。
詳しくは付属のCD-ROM内のFirstPassManualをご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。

ATコマンドについて

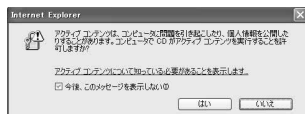
ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。
ATコマンドの詳細は付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

CD-ROMについて

取扱説明書付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書（PDF）が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

■ 収録ソフト／PDF

- FOMA通信設定ファイル
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ
- ドコモケータイdatalinkのご案内
- FirstPass PCソフト
- mopera Uのご案内（mopera Uかんたんスタート／U かんたん接続設定ソフト／U オリジナルデータ取得ソフト／FOMAバイトカウンタ）
- ナップスター®のご案内
- PDF版「パソコン接続マニュアル」／「Manual for PC connection setting」
- PDF版「区点コード一覧」／「Kuten Code List」
- Adobe® Reader®

CD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告はInternet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
［はい］をクリックしてください。
※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境によって異なる場合があります。

ドコモケータイdatalinkの紹介

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属されているCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。
また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル（別売）が必要になります。

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、FOMAをご利用の皆様が海外の通信事業者のネットワークを利用して通話やｉモードなどをご利用いただけるサービスです。
日本国内で使用している携帯電話番号、メールアドレスのまま、海外滞在時も音声電話、テレビ電話、ｉモード、SMSを利用できます。留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスを利用することもできます。

- ３GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。エリア詳細については、ドコモの「国際サービスホームページ」を参照してください。
- お買い上げ時は、自動的にネットワークの切り替えが行われるように設定されています(☞P.453)。

主要国の国番号について

国際電話を利用(☞P.61)するときや、国際ダイヤルアシスト設定(☞P.62)を行うときなどに入力する「国番号」は、以下の番号を使用してください。

- この他の国番号および詳細については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

(2008年３月現在)

ご利用地域	番　号	ご利用地域	番　号
アメリカ合衆国	1	中国	86
イギリス	44	ドイツ	49
イタリア	39	トルコ	90
インド	91	日本	81
インドネシア	62	ニューカレドニア	687
エジプト	20	ニュージーランド	64
オーストラリア	61	ノルウェー	47
オーストリア	43	ハンガリー	36
オランダ	31	フィジー	679
カナダ	1	フィリピン	63
韓国	82	フィンランド	358
ギリシャ	30	フランス	33
シンガポール	65	ブラジル	55
スイス	41	ベトナム	84
スウェーデン	46	ペルー	51
スペイン	34	ベルギー	32
タイ	66	香港	852
台湾	886	マカオ	853
タヒチ(仏領ポリネシア)	689	マレーシア	60
		モルディヴ	960
チェコ	420	ロシア	7

海外で利用できるサービスについて

海外で利用できる通信サービスは次のとおりです。

通信サービス	説　明	３G	GSM	GPRS
音声電話	海外でも同じ携帯電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本やその他の国への国際電話発信ができます。	○	○	○
テレビ電話	海外の特定３G通信事業者ユーザや、日本のFOMAユーザと国際テレビ電話を利用できます。	○	×	×
ｉモードメール	海外でも同じアドレスのまま、ｉモードメールの送受信ができます。	○	×	○
ｉモード	海外でもｉモードを利用できます。	○	×	○
ｉチャネル	海外でもｉチャネルを利用できます。	○	×	○
SMS	海外でも同じ携帯電話番号のまま、SMSの送受信ができます。	○	○	○
データ通信(パケット通信)	海外でもパケット通信を利用できます。	○	×	○

- 利用するネットワーク／通信事業者によっては、利用できない通信サービスがあります。詳しくは、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 海外では、ｉチャネルの受信ごとに通信料がかかります(国内の無料通信適用外)。また、「ベーシックチャネル」の自動更新についても通信料がかかります。
- 海外では64Kデータ通信を利用できません。
- しゃべって翻訳 for SHは海外でも利用できます(☞P.254)。
- 海外ではGPS機能を利用できません。また、海外でGPSサービス利用設定のサイトにアクセスすると、エラー画面が表示され、パケット通信料がかかります。
- 2in1利用時、海外ではBナンバーから発信できません。
- マルチナンバー利用時、海外では付加番号から発信できません。

海外でご利用になる前の確認

出発前、滞在先、帰国後に必要な確認事項について説明します。

出発前の準備について

海外でFOMA端末を利用する場合、海外へ行く前に次の準備を行ってください。

ご契約について

- 2005年９月１日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年８月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。また、一部ご利用いただけない料金プランがございます。
- WORLD WINGに対応しているFOMAカード（青色以外）をFOMA端末へ取り付けておいてください（☞P.37）。

充電について

- ACアダプタの取り扱い上のご注意☞P.19
- ACアダプタの充電方法☞P.41、P.42

ｉモードサイトを閲覧するには

海外でｉモードサイトを閲覧する場合は、あらかじめｉMenuから海外利用設定を設定しておく必要があります。

ｉモードサイト：[ｉMenu]→[料金＆お申込・設定]→[オプション設定]→[海外利用設定]→[ｉモード利用設定]

- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』および『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ネットワークサービスの設定

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外でも留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを利用できます。

- 海外の通信事業者によっては、ネットワークサービスの設定や確認ができない場合があります。また、日本国内でのみ設定や確認が可能なネットワークサービスもありますので、ご出発前に『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』および『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 海外でネットワークサービスを利用する場合は、遠隔操作設定（☞P.439、P.456）を「開始」に設定してください。

海外からのお問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障に関しては、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

- 各お問い合わせ先電話番号の前に、滞在先の「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号」のダイヤルが必要です。
- 国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用の国際電話識別番号の最新情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

主要国の国際電話アクセス番号（表１）

主要国の国際電話アクセス番号は以下のとおりです（2008年３月現在）。

- 日本向け通話料がかかります。

ご利用地域	番　号	ご利用地域	番　号
アイルランド	00	ドイツ	00
アメリカ合衆国	011	トルコ	00
アラブ首長国連邦	00	ニュージーランド	00
イギリス	00	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
インド	00	フィリピン	00
インドネシア	001	フィンランド	00
オーストラリア	0011	フランス	00
オランダ	00	ブラジル	0021／0014
カナダ	011		
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810
デンマーク	00		

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表２）

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は以下のとおりです（2008年３月現在）。

- 滞在国内通話料などがかかる場合があります。
- 携帯電話からの場合、滞在国内通話料がかかります。

ご利用地域	番　号	ご利用地域	番　号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フランス	00
オーストリア	00	ブラジル	0021
オランダ	00	ベルギー	00
カナダ	011	香港	001
韓国	001	マレーシア	00
コロンビア	009	ルクセンブルク	00
シンガポール	001	ハンガリー	00
スイス	00	フィンランド	990
スウェーデン	00	ブルガリア	00
スペイン	00	ペルー	00
タイ	001	ポルトガル	00
台湾	00	南アフリカ	09

- 一部ご利用になれない場合があります。
- ユニバーサルナンバーは携帯電話や公衆電話、ホテルなどからご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。
- ユニバーサルナンバーは、上記表に記載のある国のみご利用可能です。

次ページへ続く

- ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客様の負担となります）。ホテル側にご確認されてからご利用ください。

滞在先でのご利用について

3Gネットワークおよび GSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。
海外でFOMA端末の電源を入れたときに自動的にネットワークを検索して滞在先の通信事業者に接続するように設定されます。

- 自動時刻時差補正（☞P.46）を［ON］に設定している場合、接続している通信事業者が切り替わると、時差補正が行われた旨のお知らせ画面が表示されることがあります。
- オペレータ名表示設定（☞P.454）を［表示あり］に設定している場合、接続している通信事業者名が待受画面に表示されます。
- 待受時計表示設定を［ON（大）］に設定している場合、現地時間の上に日本時間が表示されます（日本時間と同じ標準時の地域を除く）。
- 滞在国のネットワークの状況などにより、通話、待受時間が通常の半分程度になることがあります。

帰国後の設定について

帰国後にFOMA端末の電源を入れたとき、ネットワークサーチ設定がお買い上げ時の状態の場合は、自動的にネットトーワークを検索してFOMAネットワークに接続するように設定されています。ネットワークサーチ設定でFOMAネットワーク（DoCoMo）に設定し直してください。

- ネットワークサーチ設定を［マニュアル］に設定している場合は、手動でFOMAネットワーク（DoCoMo）に設定し直すか、［オート］に変更してください。
- 3G／GSM切替を［自動］または［3G］に設定してください。

滞在先で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から電話をかけることができます。

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

滞在国から日本または他の国へ電話をかけます。

1 待受画面で［＋］（0を1秒以上押す）、国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号を入力して、（音声電話）／（テレビ電話）

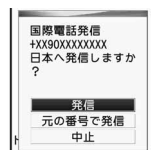
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください（ただし、イタリアの一般電話などにかける場合は、「0」が必要です）。

自動国番号変換を利用して滞在国外に電話をかける

自動国番号変換設定（☞P.62）を［ON］に設定し、よくかける国の国番号を設定しておくと、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- 電話番号の先頭の「0」が、自動国番号変換設定で設定している国番号に自動的に変換されます。

例：電話帳から発信する場合

1 待受画面で ▶ 相手を選んで、（音声電話）／（テレビ電話）

2 ［発信］

- 電話帳に登録されている電話番号のまま発信する場合は、［元の番号で発信］を選択します。

国番号設定に登録している国にかける

国番号設定（☞P.63）で国番号を登録しておくと、発信時に国番号を選択して国際電話をかけることができます。

- この操作は、海外でのみ有効です。

1 待受画面で電話番号を入力して ▶［番号付加設定］

2 ［国際電話発信］▶ 国番号を選択 ▶（音声電話）／（テレビ電話）

滞在国内で電話をかける

滞在国で国内電話をかける場合は、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。

1 待受画面で電話番号を入力して、（音声電話）／（テレビ電話）

- 同一市内でも、必ず地域番号（市外局番）から入力してください。
- 電話帳を利用して滞在国内に電話をかける場合は、「自動国番号変換を利用して滞在国外に電話をかける」の操作2で、［元の番号で発信］を選択します。

お知らせ

- 接続可能な国や国番号、および通信事業者などについて詳しくは、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- ネットワークサービスの発信者番号通知設定を「通知」に設定している場合でも、通信事業者によっては［通知不可能］や［非通知］など正しく番号表示されないことがあります。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

海外で「WORLD WING」利用中の相手に電話をかける場合は、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として電話をかけます。

1 待受画面で［＋］（0を１秒以上押す）、日本の国番号「81」、「０（ゼロ）」を除いた相手先携帯電話番号を入力して、（音声電話）／（テレビ電話）

電話を受ける

海外でも、日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

1 電話がかかってきたら

- 相手と通話できます。

お知らせ

- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用している通信事業者によっては発信者番号が通知されない場合があります。
- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信側には国際転送料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本から滞在先に電話をかけてもらう

海外で日本からの電話を受ける場合は、日本国内にいるときと同様にお客様の電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

090-XXXX-XXXX または、080-XXXX-XXXX

- 着信履歴からの発信では、先頭に国際ローミング事業者の番号が付加されていますので、そのままではかからない場合があります。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう

滞在先にかかわらず日本への国際電話として、国際アクセス番号と日本の国番号「81」を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「０」を除いた電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

発信国の国際アクセス番号-81-90-XXXX-XXXX

または

発信国の国際アクセス番号-81-80-XXXX-XXXX

３G／GSM切替

ネットワーク通信方式を設定する

ご利用になる地域や通信事業者に対応した通信方式を設定します。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［その他の設定］▶［国際ローミング設定］▶［３G／GSM切替］▶通信方式を選択

自動	接続できるすべてのネットワークを検索します。
３G	３Gに対応したネットワークのみを検索します。
GSM／GPRS	GSMまたはGPRSに対応したネットワークを検索します。

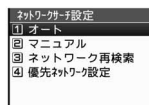
ネットワークサーチ設定

通信事業者の検索方法を設定する

- 手動で通信事業者を選択するように設定できます。
- 帰国後、圏外表示の場合はネットワークサーチ設定が［オート］になっていることをご確認ください。

接続する通信事業者を手動で切り替える

1 待受画面で◉▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［その他の設定］▶［国際ローミング設定］▶［ネットワークサーチ設定］

ﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾁ設定
1 オート
2 マニュアル
3 ネットワーク再検索
4 優先ﾈｯﾄﾜｰｸ設定

2 ［マニュアル］▶通信事業者を選択

- 接続する通信事業者が切り替わります。
- 通信事業者を自動的に切り替えるときは、［オート］→［はい］を選択します。

接続先のネットワークを再検索する ＜ネットワーク再検索＞

ネットワークを再検索して、他の通信事業者に切り替えることができます。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［その他の設定］▶［国際ローミング設定］▶［ネットワークサーチ設定］▶［ネットワーク再検索］

- ネットワークサーチ設定を［オート］に設定している場合は、自動的に接続先が切り替わります。［マニュアル］に設定している場合は、通信事業者を選択します。

利用できる通信サービスを確認する <在圏状態表示>

通話、データ通信、パケット通信が利用できる状態にあるかどうかを確認します。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[在圏状態表示]

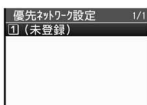
- 確認を終わるときは、◉またはCLRを押します。

優先ネットワーク設定

優先的に接続する通信事業者を設定する

ネットワークサーチ設定を[オート]に設定している場合、接続する通信事業者の優先順位を設定できます。最大20件まで登録できます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[ネットワークサーチ設定]▶[優先ネットワーク設定]

- 登録した通信事業者の詳細情報を確認するときは、通信事業者を選択します。確認を終わるときは、◉またはCLRを押します。

2 優先順位の番号を選んで📷▶登録方法を選択

国番号とネットワークコードを入力する		[マニュアル登録]→国番号(MCC)を入力して◉→ネットワークコード(MNC)を入力して◉→[3G]/[GSM]/[3G及びGSM]→[はい]
通信事業者リストから選ぶ		[リストから登録]→通信事業者を選択→[3G]/[GSM]/[3G及びGSM]→[はい] ● 国名から通信事業者を検索するとき:[リストから登録]→📷(検索)→国名を選択
現在接続中の通信事業者を登録する		[在圏ネットワーク登録]→[はい]
優先順位を変更する		[優先順位変更]→移動先を選択→[はい]
削除する	1件削除する	[削除]→[1件削除]→[はい]
	全件削除する	[削除]→[全件削除]→端末暗証番号を入力して◉→[はい]

オペレータ名表示設定

ローミング中の通信事業者名を表示する

国際ローミング中に、接続中の通信事業者名を待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[オペレータ名表示設定]

2 [表示あり]▶[はい]

通信事業者名を表示した場合

お知らせ

- オペレータ名表示設定は、国際ローミング中のみ有効です。

ローミングガイダンス設定

ローミングガイダンスを開始する

国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、海外へローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。

- 日本国内で設定してください。

ローミングガイダンスを開始する <ローミングガイダンス開始>

1 待受画面で◉▶[設定]▶[その他のNWサービス]▶[ローミングガイダンス設定]▶[ローミングガイダンス開始]▶[はい]

ローミングガイダンスを停止する <ローミングガイダンス停止>

1 待受画面で◉▶[設定]▶[その他のNWサービス]▶[ローミングガイダンス設定]▶[ローミングガイダンス停止]▶[はい]

設定内容を確認する ＜ローミングガイダンス確認＞

1 待受画面で◉▶[設定]▶[その他のNWサービス]▶[ローミングガイダンス設定]▶[ローミングガイダンス確認]▶[はい]

- 現在の設定内容が表示されます。

ローミング時着信規制

ローミング中は着信を受け付けないようにする

ローミング中は着信を受けないように設定できます。すべての着信を規制するか、テレビ電話と64Kデータ通信の着信のみ規制するかを選択できます。

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。
- 海外では64Kデータ通信を利用できません。

ローミング時着信規制を開始する ＜ローミング時着信規制開始＞

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[ローミング時着信規制]▶[ローミング時着信規制開始]

2 規制方法を選択▶ネットワーク暗証番号を入力して◉

規制方法	全着信規制
	TV／64Kデータ着信規制

ローミング時着信規制を停止する ＜ローミング時着信規制停止＞

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[ローミング時着信規制]▶[ローミング時着信規制停止]▶ネットワーク暗証番号を入力して◉

設定内容を確認する ＜ローミング時着信規制確認＞

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[ローミング時着信規制]▶[ローミング時着信規制確認]

- 現在の設定内容が表示されます。

海外用サービス

ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスを利用できます。

- 留守番電話（海外）や転送でんわ（海外）をご利用になるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのご契約が必要です。
- 海外でネットワークサービスを利用する場合は、遠隔操作設定を「開始」に設定してください。
- 海外から操作した場合は、ご利用いただいた国の国際通話料がかかります。

滞在先で留守番電話サービスの操作をする＜留守番電話（海外）＞

留守番電話サービスの開始／停止や伝言メッセージの再生、設定内容の変更の操作ができます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[留守番電話（海外）]

2 項目を選択▶[はい]▶音声ガイダンスに従って操作

項目	留守番サービス開始	留守番サービス設定
	留守番サービス停止	留守番呼出時間設定
	留守番メッセージ再生	

滞在先で転送でんわサービスの操作をする＜転送でんわ（海外）＞

転送でんわサービスの開始／停止や設定内容の変更の操作ができます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[転送でんわ（海外）]

2 項目を選択▶[はい]▶音声ガイダンスに従って操作

項目	転送サービス開始	転送サービス設定
	転送サービス停止	

滞在先でローミングガイダンスの操作をする＜ローミングガイダンス（海外）＞

ローミングガイダンスの開始／停止の操作ができます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[ローミングガイダンス（海外）]▶[はい]▶音声ガイダンスに従って操作

滞在先で遠隔操作を設定する<遠隔操作設定(海外)>

遠隔操作の開始／停止の操作ができます。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[遠隔操作設定(海外)]▶[はい]▶音声ガイダンスに従って操作**

滞在先で番号通知お願いサービスの操作をする<番号通知お願い(海外)>

番号通知お願いサービスの開始／停止の操作ができます。

- 番号通知お願いサービスをご利用の場合でも[通知不可能]と表示され着信することがあります。

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[番号通知お願い(海外)]▶[はい]▶音声ガイダンスに従って操作**

付録／外部機器連携／困ったときには

メニュー一覧

カスタムメニュー／基本メニュー一覧

- 機能メニューの頭に付いた機能番号を入力して、すばやく目的の機能を呼び出すことができます。
  - ■ 次のメニュー画面では、機能番号を入力して各機能を呼び出せます。
    - ・ｉモードメニュー　・ｉアプリメニュー　・メールメニュー　・カメラメニュー

    例）ブックマークの場合

    　ｉモードメニュー画面で2を押す
  - ■ 基本メニューでは、機能番号を上位から順番に入力して次の各機能を呼び出せます。
    Lifekitなど基本メニュー最上位の機能番号は画面に表示されないため、以下の表で確認してください。

    例）設定メニューの「着信音量選択」の場合

    　基本メニューで111を押す

    例）Lifekitメニューの「バーコードリーダー」の場合

    　基本メニューで921を押す
- カスタムメニューでは、表示される機能メニューが異なる場合や機能番号が表示されない場合があります。
- お買い上げ時に設定されているカスタムメニューの機能名は本体色によって異なります（本体色「White」、「Black」／本体色「Pink」、「Blue」の順で記載しています）。
- お買い上げ時欄に［☆］が付いているものは、設定リセット（☞P.417）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

ｉモードメニュー

機能メニュー			お買い上げ時	ページ
ｉモード／i-mode	1 i Menu		－	P.180
	2 Bookmark		［Bookmark］フォルダ	P.188
	3 画面メモ		－	P.190
	4 ラストURL		－	P.182
	5 Internet	1 URL履歴	－	P.187
		2 URL入力	http://	P.187
	6 ｉチャネル	1 ｉチャネル一覧起動	－	P.204
		2 ｉチャネルテロップ設定	ON（テロップ文字サイズ設定：大（標準）、テロップ色設定：パターン1（文字色：緑、背景色：黒）、テロップ速度設定：標準）☆	P.205
		3 ｉチャネル初期化	－	P.205
	7 メッセージR/F	1 メッセージR	－	P.239
		2 メッセージF	－	P.239
	8 ｉモード問い合わせ		－	P.220 P.238
	9 ｉモード設定	1 接続先選択	ｉモード（FOMAカード）☆	P.197
		2 ログイン情報登録	－	P.186
		3 画像表示設定	ON☆	P.198
		4 文字サイズ設定	標準☆	P.182
		5 証明書設定	すべて有効☆	P.199
		6 ｉモーション自動再生設定	する☆	P.203
		7 セキュア通信サービス設定	ユーザ証明書操作：－ センター接続先設定：ドコモ☆	P.199 P.201
		8 端末情報データ利用設定	利用する☆	P.198
		9 効果音設定	音量5☆	P.182
		0 ｉモード通信中着信設定	プッシュトーク着信優先☆	P.198
		* ｉモード設定リセット	－	P.198
		# 機能別ロック	OFF☆	P.181
	0 フルブラウザ	1 ホーム	－	P.302
		2 Bookmark	［Bookmark］フォルダ、［検索］フォルダ	P.302
		3 ラストURL	－	P.302

機能メニュー				お買い上げ時	ページ
i モード/i-mode	0フルブラウザ	4Internet	1URL履歴	–	P.302
			2URL入力	http://	P.302
		5フルブラウザ設定	1ホーム設定	http://www.google.co.jp	P.302
			2Cookie設定	有効☆	P.306
			3Cookie削除	–	P.307
			4Script設定	有効☆	P.307
			5表示モード設定	PCモード、100%☆	P.307
			6画像表示設定	ON☆	P.307
			7ウィンドウオープンガード設定	無効☆	P.307
			8Referer設定	送信する☆	P.307
			9アクセス設定	OFF☆	P.307
			0フルブラウザ設定リセット	–	P.307

i アプリメニュー

機能メニュー		お買い上げ時	ページ
i アプリ/i-αppli	1ソフト一覧	ソート:使用順☆	P.249
	2 i アプリ音量設定	音量５☆	P.250
	3ソフト情報表示設定	OFF☆	P.249
	4自動起動設定	OFF☆	P.257
	5 i アプリ使用データ	–	P.261
	6エラー表示	–	P.260
	7トレース表示	–	P.260
	8電池マーク表示設定	OFF☆	P.250
	9省電力設定	OFF☆	P.251
	0機能別ロック	OFF☆	P.260

メールメニュー

機能メニュー			お買い上げ時	ページ
メール/Mail	1受信BOX		フォルダ一覧画面 フォルダ管理(フォルダセキュリティ:OFF) メール一覧画面 表示設定(プレビュー表示:ON、一覧表示:２行表示、ソート:日付順(新→旧)☆)	P.225～P.230
	2送信BOX			
	3未送信BOX			
	4新規メール作成		–	P.208
	5新規SMS作成		–	P.242
	6WEBメール		–	P.208
	7 i モード問い合わせ		–	P.220 P.238
	8SMS問い合わせ		–	P.243
	9メール選択受信	1メール選択受信	–	P.220
		2メール選択受信設定	OFF☆	P.234
	0テンプレート		–	P.214
	✕メール設定	1クイック返信メール設定	また後でかけ直します、OKです、NGです、ありがとうございます、ごめんなさい、よろしくお願い致します、キャンセルです、今忙しい、了解しました、ちょっと待ってください	P.235
		2添付ファイル受信設定	すべて受信する☆	P.236
		3メロディ自動再生	自動再生する☆	P.235
		4文字サイズ設定	表示画面・文字入力画面:標準☆	P.233
		5受信・自動送信表示	通知優先☆	P.236
		6 i モード問い合わせ設定	i モードメール・メッセージR・メッセージF:ON☆	P.234
		7メッセージ自動表示設定	メッセージR優先☆	P.238

次ページへ続く

機能メニュー				お買い上げ時	ページ
メール／Mail	*メール設定	8メール選択受信設定		OFF☆	P.234
		9メールメンバー設定		メンバー1～メンバー10	P.235
		0署名登録		ON☆	P.234
		*メールテロップ設定		お知らせのみ☆	P.219
		#SMS設定	1SMSセンター設定	ドコモ	P.244
			2SMS送達通知設定	要求しない☆	P.244
			3SMS有効期間設定	3日	P.245
			4SMS本文入力設定	日本語（70文字）	P.245
		○1エリアメール設定	1受信設定	OFF☆	P.241
			2受信登録	－	P.241
			3ブザー鳴動設定	許容☆	P.241
			4ブザー鳴動時間	10秒☆	P.241
		○2メール設定確認		－	P.236
		○3メール設定リセット		－	P.236
		○4機能別ロック		OFF☆	P.236

設定メニュー

- お買い上げ時の設定内容は、本体色によって、きせかえツールで設定できる項目（☞P.134）が、[White]、[Black]、[Pink]、[Blue]と表示されます。きせかえツールの設定を変更したときも、きせかえツールのタイトル名が表示されます。

機能メニュー				お買い上げ時	ページ
設定／Settings	1音・バイブ・マナー	1音量選択	1着信音量選択	音声電話着信音・テレビ電話着信音・公衆電話着信音・非通知設定着信音・通知不可能着信音：音量5☆	P.122
			2メール着信音量選択	メール着信音・メッセージR着信音・メッセージF着信音・SMS着信音：音量5☆	P.123
			3プッシュトーク着信音量選択	音量5☆	P.123
			4ボタン／待受iモーション音	音量5☆	P.123
			5充電開始音	音量5☆	P.123
			6充電完了音	音量5☆	P.123
			7タイマー音	音量5☆	P.123
			8GPS音量選択	現在地確認音・現在地通知音・位置提供／許可音・位置提供／毎回確認音：音量5☆	P.124
		2音選択	1着信音選択	音声電話着信音：着信音1☆ テレビ電話着信音・公衆電話着信音・非通知設定着信音・通知不可能着信音：音声電話着信音に従う☆	P.120
			2メール着信音選択	メール着信音：着信音2☆ メッセージR着信音・メッセージF着信音・SMS着信音：メール着信音に従う☆	P.121
			3プッシュトーク着信音選択	着信音1☆	P.121
			4シャッター音	標準音☆	P.172
			5タイマー音	TI（標準音）／鳴動時間：15秒☆	P.122
			6GPS音選択	現在地確認音：OFF☆ 現在地通知音：着信音4☆ 位置提供／許可音：着信音5☆ 位置提供／毎回確認音：着信音6☆	P.122
		3バイブレータ設定	1着信バイブレータ	OFF☆	P.125
			2メール着信バイブレータ	OFF☆	P.125
			3GPSバイブレータ	現在地確認・現在地通知・位置提供／許可・位置提供／毎回確認：OFF☆	P.125
		4マナーモード設定	1通常マナーモード	－	P.127
			2サイレントマナーモード	－	P.127

機能メニュー					お買い上げ時	ページ
設定／Settings	1音・バイブ・マナー	4マナーモード設定	3オリジナルマナーモード		伝言メモ・バイブレータ・マイク感度アップ:ON☆ アラーム音・ボタン／待受ｉモーション音・電池残量警告音:OFF☆ 着信音・メール着信音:サイレント☆	P.128
		5イヤホン切替設定			イヤホン＋スピーカー☆	P.126
		6着信鳴動時間設定	1メール鳴動時間設定		ON／3秒☆	P.126
			2プッシュトーク鳴動時間設定		30秒☆	P.126
			3GPS鳴動時間設定		現在地確認音・現在地通知音・位置提供／許可音・位置提供／毎回確認音:ON／5秒☆	P.126
		7呼出動作開始時間設定			OFF☆	P.152
		8保留・応答保留音	1応答保留音		応答保留音1☆	P.70
			2保留音		保留メロディ1☆	P.71
		9音再生設定	1メロディステレオ効果		ステレオ／3DサウンドON☆	P.124
			2メロディイコライザ設定		ノーマル☆	P.124
			3音楽起動設定		ミュージックプレーヤー☆	P.125
	2表示・ランプ・省電力	1画面設定	1待受画面設定		待受画面1（本体色White）、待受画面2（本体色Black）、待受画面3（本体色Pink）、待受画面4（本体色Blue）※1	P.128
			2待受時計表示設定		時計表示:ON（大）☆ 時計グラフィック設定:待受時計1☆ 表示位置設定:下☆	P.129
			3カレンダー表示設定		OFF☆	P.129
			4卓上時計設定		2時間☆	P.130
		2文字表示設定	1フォント（書体）設定		LCゴシック☆	P.139
			2文字サイズ設定	1一括設定	標準☆	P.139
				2個別設定	ｉモード・フルブラウザ・メール／メッセージ・文字入力:標準☆	P.139
		3テーマ・各種画面設定	1きせかえツール		－	P.134
			2発着信画面設定		ピクチャーコール設定:ON☆ 電話発信画面:電話発信1（本体色White）、電話発信2（本体色Black）、電話発信3（本体色Pink）、電話発信4（本体色Blue）※1 音声電話着信画面・テレビ電話着信画面・公衆電話着信画面・非通知設定着信画面・通知不可能着信画面:電話着信1（本体色White）、電話着信2（本体色Black）、電話着信3（本体色Pink）、電話着信4（本体色Blue）※1	P.130
			3メール送受信画面設定		メール送信画面設定:メール送信1（本体色White）、メール送信2（本体色Black）、メール送信3（本体色Pink）、メール送信4（本体色Blue）※1 メール受信画面設定:メール受信1（本体色White）、メール受信2（本体色Black）、メール受信3（本体色Pink）、メール受信4（本体色Blue）※1 メール受信完了画面:メール受信結果1（本体色White）、メール受信結果2（本体色Black）、メール受信結果3（本体色Pink）、メール受信結果4（本体色Blue）※1	P.131
			4サブメニュー画像設定		メニュー枠1（上）／メニュー枠1（下）	P.135
			5ダイヤル画像設定		ダイヤル画像1	P.136
			6お知らせウィンドウアニメ		お知らせアニメ1（本体色White）、お知らせアニメ2（本体色Black）、お知らせアニメ3（本体色Pink）、お知らせアニメ4（本体色Blue）※1	P.136

※1 データ一括削除または設定リセットを行った場合は、本体色White用の設定になります。

次ページへ続く

機能メニュー					お買い上げ時	ページ
設定／Settings	2表示・ランプ・省電力	3テーマ・各種画面設定	7電波／電池／小時計マーク		電波マーク：電波マーク1（本体色White）、電波マーク2（本体色Black）、電波マーク3（本体色Pink）、電波マーク4（本体色Blue）※1 電池マーク：電池残量1（本体色White）、電池残量2（本体色Black）、電池残量3（本体色Pink）、電池残量4（本体色Blue）※1 小時計マーク：時計表示1☆	P.136
			8カラーテーマ設定		GentleWhite（本体色White）、UrbanBlack（本体色Black）、JewelryPink（本体色Pink）、CobaltBlue（本体色Blue）※1	P.136
		4ランプ設定	1着信ランプ	1音声電話	ランプ色設定：アクア☆ ランプパターン設定：流星☆	P.137
				2テレビ電話	ランプ色設定：アクア☆ ランプパターン設定：流星☆	P.137
				3プッシュトーク	ランプ色設定：サンセット☆ ランプパターン設定：流星☆	P.137
			2メールランプ	1メール受信ランプ	ランプ色設定：リーフ☆ ランプパターン設定：星空☆	P.137
				2メール送受信中ランプ	ON（ランプ色設定：スカイ ランプパターン設定：星空）☆	P.137
			3通話中ランプ		OFF☆	P.137
			4アラーム／タイマーランプ		ON（ランプ色設定：レインボー ランプパターン設定：ネオン）☆	P.137
			5ＩＣカードランプ		ON☆	P.137
			6開閉連動ランプ		ON（ランプ色設定：アクア ランプパターン設定：蛍）☆	P.137
			7お知らせランプ		不在着信お知らせ・新未読メールお知らせ：ON☆	P.138
			8GPSランプ	1現在地確認	ランプ色設定：スカイ☆	P.137
				2現在地通知	ランプ色設定：スカイ☆	P.137
				3位置提供／許可	ランプ色設定：スカイ☆	P.137
				4位置提供／毎回確認	ランプ色設定：スカイ☆	P.137
		5表示画質設定	1鮮やか画質モード設定		待受・カメラ・ワンセグ／データBOX（ワンセグ）・データBOX（マイピクチャ）・データBOX（Music&V ch）・データBOX（ｉモーション）・インターネットムービープレーヤー：ダイナミック☆	P.138
			2シーン別制御		ON☆	P.138
		6照明・省電力設定※2	1通常モード（明るさ自動）		−	P.132
			2通常モード（明るさ固定）		−	P.132
			3Ecoモード（省電力）		−	P.132
			4オリジナルEcoモード	1照明時間設定	通常時：10秒☆ 充電時・インターネット時：通常時と同じ☆ テレビ電話時：常にON☆ ｉアプリ時：ソフトに従う☆	P.132
				2画面表示時間設定	1分☆	P.133
				3明るさ調整	自動☆	P.134
				4ボタン照明設定	点灯☆	P.133
		7プライベートフィルタ設定	1マナーモード連動		OFF☆	P.140
			2フィルタ濃度設定		標準☆	P.140
		8メニュー優先設定			カスタムメニュー☆	P.34

※1 データ一括削除または設定リセットを行った場合は、本体色White用の設定になります。
※2 お買い上げ時は、［通常モード（明るさ自動）］に設定されています。

機能メニュー				お買い上げ時	ページ
設定／Settings	3一般設定	1確認	1所有者情報	－	P.411
			2メモリ確認	－	P.351
			3電池残量確認	－	P.44
			4設定状況確認	－	P.396
		2文字入力設定	1ユーザ辞書	－	P.426
			2ダウンロード辞書	辞書登録なし	P.427
			3定型文編集	－	P.425
			4変換学習クリア	－	P.427
		3自動電源ON／OFF	1自動電源ON	OFF☆	P.399
			2自動電源OFF	OFF☆	P.399
			3アラーム連動電源ON	OFF☆	P.399
		4日時設定		自動時刻時差補正：ON☆	P.46
		5Bilingual		日本語	P.139
		6TOUCH CRUISER設定	1利用設定	ON☆	P.33
			2ポインタ速度設定	普通☆	P.33
			3スクロール速度設定	普通☆	P.33
			4ダブルタップ速度設定	普通☆	P.33
		7USBモード設定		通信モード☆	P.345
		8スキャン機能	1パターンデータ更新	－	P.504
			2自動更新設定	－	P.505
			3スキャン機能設定	スキャン機能・メッセージスキャン：有効☆	P.504
			4バージョン表示	－	P.506
		9ソフトウェア更新		自動更新設定：自動で更新（曜日：指定なし、時刻：3:00）	P.498
		0設定リセット		－	P.417
	4NWサービス	1留守番電話	1メッセージ問合せ	－	P.431
			2留守番メッセージ再生	－	P.431
			3留守番電話サービス開始	－	P.430
			4留守番呼出時間設定	－	P.430
			5留守番サービス停止	－	P.430
			6留守番設定確認	－	P.431
			7留守番サービス設定	－	P.431
			8件数お知らせ設定	件数増加鳴動設定：ON☆	P.431
			9着信通知	－	P.432
		2キャッチホン	1キャッチホンサービス開始	－	P.432
			2キャッチホンサービス停止	－	P.432
			3キャッチホンサービス設定確認	－	P.432
		3転送でんわ	1転送サービス開始	－	P.434
			2転送サービス停止	－	P.434
			3転送先変更	－	P.435
			4転送先通話中時設定	－	P.435
			5転送サービス設定確認	－	P.435
		4迷惑電話ストップ	1迷惑電話着信拒否登録	－	P.435
			2電話番号指定拒否登録	－	P.435
			3迷惑電話全登録削除	－	P.436
			4迷惑電話１登録削除	－	P.436
			5拒否登録件数確認	－	P.436
		5発信者番号通知	1設定確認	－	P.47
			2発信者番号通知設定	－	P.47
		6番号通知お願いサービス	1番号通知サービス開始	－	P.436
			2番号通知サービス停止	－	P.436
			3サービス設定確認	－	P.436
		7通話時間／料金確認		料金上限通知設定：無効☆（有効にした場合、通知方法選択：アラーム+待受け、自動リセット：OFF）	P.413

次ページへ続く

機能メニュー					お買い上げ時	ページ
設定／Settings	4NWサービス	82in1設定	1モード切替		デュアルモード	P.441
			2電話帳2in1設定		－	P.441
			3モード別待受画面設定	1デュアルモード待受画面	待受画面6	P.441
				2Bモード待受画面	待受画面7	P.441
			4発着信番号設定	1発着信番号表示設定	識別表示あり	P.442
				2Bナンバー着信設定	音声電話着信音:着信音3 テレビ電話着信音:音声電話着信音に従う メール着信音:着信音4 SMS着信音:メール着信音に従う	P.442
			52in1機能OFF		－	P.442
			6着信回避設定	1着信回避設定変更	Aナンバー着信回避・Bナンバー着信回避:変更しない☆	P.442
				2着信回避設定確認	－	P.442
				3モード切替連動設定	OFF☆	P.442
				4着信回避設定（海外）	－	P.442
		9通話中着信	1通話中着信設定	1通話中着信設定開始	－	P.439
				2通話中着信設定停止	－	P.439
				3通話中着信設定確認	－	P.439
			2通話中着信動作選択		通常着信☆	P.438
	5その他のNWサービス	1遠隔操作設定	1遠隔操作開始		－	P.439
			2遠隔操作停止		－	P.439
			3遠隔操作設定確認		－	P.439
		2デュアルネットワーク	1デュアルネットワーク切替		－	P.437
			2デュアルネットワーク状態確認		－	P.437
		3英語ガイダンス	1ガイダンス設定		－	P.437
			2ガイダンス設定確認		－	P.438
		4サービスダイヤル	1ドコモ故障問合せ		－	P.438
			2ドコモ総合案内・受付		－	P.438
		5追加サービス	1USSD登録		－	P.444
			2応答メッセージ登録		－	P.444
		6マルチナンバー	1通常発信番号設定		－	P.440
			2通常発信番号設定確認		－	P.440
			3電話番号設定		－	P.439
		7着もじ	1メッセージ作成		－	P.58
			2メッセージ表示設定		番号通知ありのみ☆	P.59
		8ローミングガイダンス設定	1ローミングガイダンス開始		－	P.454
			2ローミングガイダンス停止		－	P.454
			3ローミングガイダンス確認		－	P.455
	6通話・通信機能設定	1通話中設定	1ノイズキャンセラ		ON☆	P.65
			2再接続機能		アラームあり（高音）☆	P.65
			3通話品質アラーム		アラームあり（高音）☆	P.126
		2イヤホンスイッチ発信設定			OFF☆	P.415

機能メニュー					お買い上げ時	ページ
設定／Settings	6通話・通信機能設定	3着信時設定	1エニーキーアンサー		ON☆	P.68
			2オート着信設定		電話／テレビ電話・プッシュトーク：オート着信なし☆	P.416
			3メロディコール設定		−	P.125
		4テレビ電話設定	1音声自動再発信		OFF☆	P.84
			2送信画像設定		代替画像設定：キャラ（女性）※3☆ 応答保留画像設定：テレビ電話代替☆ 保留画像設定：テレビ電話代替☆	P.81
			3テレビ電話画面設定		相手大・自分小☆	P.83
			4子画面表示位置		左上☆	P.83
			5送信画質設定		標準☆	P.82
			6テレビ電話切替機能通知		−	P.84
			7テレビ電話ハンズフリー設定		ON☆	P.82
			8パケット通信中着信設定		テレビ電話優先☆	P.85
		5伝言メモ設定	1伝言メモ設定		OFF☆	P.74
			2伝言応答時間		13秒☆	P.76
			3応答メッセージ		応答メッセージ1☆	P.76
			4テレビ電話時応答画像		テレビ電話代替☆	P.76
		6プッシュトーク設定	1PT通信中着信設定		通常着信☆	P.97
			2PTハンズフリー設定		ON☆	P.97
		7クローズ動作設定	1電話／テレビ電話		終話☆	P.69
			2プッシュトーク		スピーカ通話☆	P.69
		8セルフモード			OFF☆	P.146
		9その他の設定	1プレフィックス設定		1件目：009130-010☆	P.64
			2サブアドレス設定		ON☆	P.64
			3国際ダイヤルアシスト設定	1自動変換機能設定	自動国際プレフィックス変換：ON☆ 自動国番号変換設定：ON☆ 国名（番号）：日本（+81）☆	P.62
				2国際プレフィックス設定	WORLD CALL 009130-010☆	P.63
				3国番号設定	22ヶ国の国番号登録あり	P.63
			4国際ローミング設定	1ネットワークサーチ設定	オート	P.453
				2オペレータ名表示設定	表示あり☆	P.454
				3留守番電話（海外）	−	P.455
				4転送でんわ（海外）	−	P.455
				5遠隔操作設定（海外）	−	P.456
				6番号通知お願い（海外）	−	P.456
				7ローミングガイダンス（海外）	−	P.455
				8ローミング時着信規制	−	P.455
				9 3G／GSM切替	自動☆	P.453
			5在圏状態表示		−	P.454
	7セキュリティ	1シークレットモード			OFF☆	P.149
		2FOMAカード（UIM）設定	1PIN1コード入力設定		OFF	P.144
			2PIN1コード変更		0000	P.144
			3PIN2コード変更		0000	P.144

※3 キャラ電の［キャラ（女性）］を削除したあとで、設定リセット（☞P.417）を行った場合は［テレビ電話代替］に設定されます。

次ページへ続く▶▶

<table>
<tr><th colspan="4">機能メニュー</th><th>お買い上げ時</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="23">設定／Settings</td><td rowspan="22">7セキュリティ</td><td rowspan="6">3着信拒否／許可設定</td><td>1電話帳指定着信許可</td><td>OFF☆</td><td>P.151</td></tr>
<tr><td>2電話帳指定着信拒否</td><td>OFF☆</td><td>P.152</td></tr>
<tr><td>3電話帳登録外</td><td>許可☆</td><td>P.153</td></tr>
<tr><td>4非通知設定</td><td>許可☆</td><td>P.152</td></tr>
<tr><td>5公衆電話</td><td>許可☆</td><td>P.152</td></tr>
<tr><td>6通知不可能</td><td>許可☆</td><td>P.152</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4発着信履歴表示</td><td>1着信履歴表示</td><td>ON☆</td><td>P.149</td></tr>
<tr><td>2リダイヤル表示</td><td>ON☆</td><td>P.149</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5メール履歴表示</td><td>1メール送信履歴表示</td><td>ON☆</td><td>P.149</td></tr>
<tr><td>2メール受信履歴表示</td><td>ON☆</td><td>P.149</td></tr>
<tr><td rowspan="6">6ロック設定</td><td>1オールロック</td><td>解除</td><td>P.145</td></tr>
<tr><td>2ダイヤル発信制限</td><td>OFF☆</td><td>P.148</td></tr>
<tr><td>3機能別ロック</td><td>OFF☆</td><td>P.147</td></tr>
<tr><td>4ＩＣカードロック設定</td><td>電源ON時ＩＣロック設定：OFF☆
電源OFF時ＩＣロック設定：電源ON時設定に従う☆</td><td>P.272</td></tr>
<tr><td>5まとめて簡単ロック設定</td><td>すべてロック☆</td><td>P.148</td></tr>
<tr><td>6まとめて自動ロック</td><td>OFF☆</td><td>P.149</td></tr>
<tr><td colspan="2">7端末暗証番号変更</td><td>0000</td><td>P.143</td></tr>
<tr><td colspan="2">8手書き認証設定</td><td>OFF☆</td><td>P.143</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9データ一括削除</td><td>1ユーザデータ削除</td><td>－</td><td>P.417</td></tr>
<tr><td>2シークレットデータ削除</td><td>－</td><td>P.418</td></tr>
<tr><td colspan="3">8初期設定</td><td>－</td><td>P.46</td></tr>
</table>

LifeKitメニュー

<table>
<tr><th colspan="3">機能メニュー</th><th>お買い上げ時</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="20">92
LifeKit／LifeKit</td><td colspan="2">1バーコードリーダー</td><td>－</td><td>P.173</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2赤外線受信</td><td>1受信</td><td>－</td><td>P.354</td></tr>
<tr><td>2全件受信</td><td>－</td><td>P.355</td></tr>
<tr><td rowspan="6">3microSD管理</td><td>1microSDデータ参照</td><td>－</td><td>P.342</td></tr>
<tr><td>2バックアップ／復元</td><td>－</td><td>P.341</td></tr>
<tr><td>3インポート</td><td>－</td><td>P.346</td></tr>
<tr><td>4管理情報の更新</td><td>－</td><td>P.346</td></tr>
<tr><td>5フォーマット</td><td>－</td><td>P.343</td></tr>
<tr><td>6USBモード設定</td><td>通信モード☆</td><td>P.345</td></tr>
<tr><td rowspan="6">4GPSメニュー</td><td>1現在地確認</td><td>－</td><td>P.274</td></tr>
<tr><td>2対応ｉアプリ</td><td>－</td><td>P.275</td></tr>
<tr><td>3位置履歴</td><td>－</td><td>P.283</td></tr>
<tr><td>4現在地確認設定</td><td>GPSボタン設定：地図を見る☆
測位モード設定：標準モード☆</td><td>P.275</td></tr>
<tr><td>5現在地通知／設定</td><td>測位モード設定：標準モード☆</td><td>P.281</td></tr>
<tr><td>6位置提供設定</td><td>位置提供可否設定：位置提供機能OFF☆
測位モード設定：標準モード☆
接続先設定：契約時番号☆</td><td>P.279</td></tr>
<tr><td colspan="2">5名刺リーダー</td><td>AFモード：接写</td><td>P.178</td></tr>
<tr><td colspan="2">6スケジュール</td><td>表示（表示切替：通常表示）
設定（休日設定：土曜日と日曜日）
新規作成（アラームをONにした場合、アラーム時刻：０分、鳴動時間：15秒、アラーム音選択：着信音１、アラーム音量選択：音量５）</td><td>P.403</td></tr>
<tr><td colspan="2">7電卓</td><td>税率：５％</td><td>P.414</td></tr>
<tr><td colspan="2">8テキストメモ</td><td>－</td><td>P.414</td></tr>
</table>

機能メニュー			お買い上げ時	ページ
92 LifeKit／ LifeKit	9タイマー･アラーム	1タイマー	−	P.400
		2アラーム	繰り返し設定：1回だけ アラーム音選択：着信音1 アラーム音量選択：音量5 スヌーズ設定：OFF 鳴動時間：15秒	P.401
		3お目覚めTV	−	P.296
	0音声／伝言メモ		−	P.412
	*文字読み取り		−	P.176
	#電話帳お預かりサービス		電話帳内画像送信：OFF☆	P.117 P.153

ワンセグメニュー

機能メニュー			お買い上げ時	ページ
96 ワンセグ／ 1Seg	1ワンセグ視聴		表示設定（表示モード切替（縦）：映像＋データ放送、表示モード切替（横）：映像（全画面）、マーク表示設定（横）：常時表示、アプリケーション領域（縦）：常時表示） 字幕設定：OFF（起動時設定：マナーモード連動） Dolbyサウンド設定：ジャンル連動 録画終了時間（録画時のみ）：制限なし データ放送（画像表示設定：ON、効果音鳴動設定：ON） 番組表起動：Gガイド番組表リモコン ワンセグ設定（鮮やか画質モード設定：ダイナミック、明るさ調整：自動、主／副音声切替：主音声、音声切替：第1音声、クローズ動作設定：継続、ビデオ録画先設定：自動（microSD優先）、オートエリア切替：ON）	P.289 P.292
	2番組表		Gガイド番組表リモコン	P.293
	3予約リスト		予約画面 開始アナウンス（視聴予約）：ON（アラーム音選択：着信音1、アラーム音量選択：音量5、連携起動設定：ON（確認あり）） 開始アナウンス（録画予約）：ON固定（アラーム音選択：着信音1、アラーム音量選択：音量5） 予約リスト画面 ソート：放送日時順（旧→新）	P.294
	4予約録画履歴		−	P.297
	5テレビリンク		−	P.299
	6チャンネル設定		−	P.288
	7ワンセグ設定	1ビデオ録画先設定	自動（microSD優先）☆	P.299
		2放送用保存領域消去	−	P.300
		3画像表示設定	ON☆	P.300
		4効果音鳴動設定	ON☆	P.300
		5ワンセグ設定確認	−	P.300
		6確認表示設定リセット	−	P.300
		7ワンセグ設定リセット	−	P.300

おサイフケータイメニュー

機能メニュー			お買い上げ時	ページ
95 おサイフケータイ／Osaifu-keitai	1ＩＣカード一覧		－	P.265
	2DCMX		－	P.256
	3トルカ		トルカ一覧画面 ソート：日付順（新→旧）☆	P.267
	4ＩＣカードロック設定	1電源ON時ＩＣロック設定	OFF☆	P.272
		2電源OFF時ＩＣロック設定	電源ON時設定に従う☆	P.272
	5設定	1ＩＣカードからトルカ取得	ON☆	P.272
		2トルカ重複チェック	ON☆	P.272
		3トルカ自動読取チェック	ON☆	P.272
		4トルカ自動表示	ON☆	P.272
		5トルカ効果音設定	音量５☆	P.272
	6ｉモードで探す		－	P.194

カメラメニュー

機能メニュー		お買い上げ時	ページ
カメラ／Camera	1静止画撮影	撮影メニュー（AFモード：標準、画質：NORMAL、明るさ調整：明るさ０、連続撮影：OFF、シーン別撮影：オート、エフェクト撮影：OFF、フレーム撮影：OFF、ホワイトバランス：オート、セルフタイマー：OFF）☆ サイズ選択：「待受：480×854」☆ カメラ設定（手ぶれ補正：ON、自動保存モード：OFF、カメラ設定保持：ON）☆	P.162
	2動画撮影	撮影メニュー（AFモード：標準、画質：SUPER FINE、共通再生モード：OFF、明るさ調整：明るさ０、ファイルサイズ制限：メール用（長）、映像・音声切替：映像＋音声、エフェクト撮影：OFF、シーン別撮影：オート、ホワイトバランス：オート、セルフタイマー：OFF） サイズ選択：「QVGA：320×240」 カメラ設定（手ぶれ補正：ON、ノイズキャンセラ：ON、バックライト点灯時間：照明設定に従う、カメラ設定保持：ON）	P.165
	3文字読み取り	読み取り対象選択：オート AFモード切替：接写 反転モード切替：自動	P.176
	4バーコードリーダー	AFモード切替：接写	P.173
	5名刺リーダー	AFモード：接写	P.178

電話帳メニュー

機能メニュー	お買い上げ時	ページ
電話帳／Phonebook	検索方法選択：フリガナ検索 表示切替：名刺表示 グループ設定：グループなし・グループ１～グループ19（FOMA端末（本体）電話帳）、グループなし・グループ１～グループ10（FOMAカード電話帳） 画像転送設定：する	P.109

データBOXメニュー

機能メニュー		お買い上げ時	ページ
9 1 データBOX／Data box	1マイピクチャ	フォルダ一覧画面 スライドショー（再生間隔：普通、効果設定：ランダム） バックライト点灯時間：照明設定に従う フォルダ管理（フォルダセキュリティ：OFF） 画像一覧画面 データ編集（ファイル制限：なし） スライドショー（再生間隔：普通、効果設定：ランダム） マイピクチャ設定（表示切替：５分割／詳細、ソート：日付順（新→旧）、バックライト点灯時間：照明設定に従う、音量設定：音量５） ＜イメージビューア（Flash画像以外の画像）＞ データ編集（ファイル制限：なし） マイピクチャ設定（バックライト点灯時間：照明設定に従う、音量設定：音量５） ＜イメージビューア（Flash画像）＞ バックライト点灯時間：照明設定に従う	P.312
	2ミュージック	着うたフル®／[マルチメディア]内データの音楽データ一覧画面 表示設定（表示切替：12分割、ソート：日付順（新→旧）） ＜ミュージックプレーヤー＞ 再生設定（再生モード設定：通常再生、マナー再生設定：OFF） Dolbyサウンド設定：ノーマル	P.386
	3Music&Videoチャネル	番組一覧画面 表示切替：12分割 ソート：日付順（新→旧） ＜Music&Videoチャネルプレーヤー（音声番組）＞ 再生設定（リピート：OFF、マナー再生設定：OFF） Dolbyサウンド設定：ノーマル ＜Music&Videoチャネルプレーヤー（動画番組）＞ 再生設定（リピート：OFF、マナー再生設定：OFF、バックライト点灯時間：照明設定に従う） Dolbyサウンド設定：ノーマル	P.380
	4ｉモーション	フォルダ一覧画面 フォルダ管理（フォルダセキュリティ：OFF） 連続再生（リピート再生設定：しない、ダイジェスト再生設定：しない） ｉモーション設定（バックライト点灯時間：照明設定に従う、音量設定：音量５） 映像一覧画面 データ編集（ファイル制限：なし） 連続再生（リピート再生設定：しない、ダイジェスト再生設定：しない） ｉモーション設定（表示切替：12分割、ソート：日付順（新→旧）、バックライト点灯時間：照明設定に従う、音量設定：音量５、レジューム再生設定：ON） ＜ｉモーションプレーヤー＞ データ編集（ファイル制限：なし） ｉモーション設定（表示サイズ切替：拡大、バックライト点灯時間：照明設定に従う、レジューム再生設定：ON、送り幅指定：大まか（高速）、起動時画面モード設定：通常再生）	P.321
	5ワンセグ	ビデオファイル一覧画面 ワンセグデータ設定（表示切替：12分割、ソート：放送日時順（新→旧）） ＜ビデオプレーヤー＞ 表示設定（表示モード切替（縦）：映像＋データ放送、表示モード切替（横）：映像（全画面）、マーク表示設定（横）：常時表示、アプリケーション領域（縦）：常時表示） 字幕設定：OFF（起動時設定：マナーモード連動） Dolbyサウンド設定：ジャンル連動 データ放送（画像表示設定：ON、効果音鳴動設定：ON） ワンセグ設定（鮮やか画質モード設定：ダイナミック、明るさ調整：自動、主／副音声切替：主音声、音声切替：第１音声）	P.327

次ページへ続く

機能メニュー		お買い上げ時	ページ
91 データBOX／Data box	6メロディ	フォルダ一覧画面 　フォルダ管理（フォルダセキュリティ：OFF） 　音量設定：音量５ メロディ一覧画面 　メロディ設定（開始位置選択：フルコーラス再生、ソート：日付順（新→旧）、音量設定：音量５） ＜メロディプレーヤー＞ 　メロディ設定（イコライザ設定：ノーマル、ステレオ効果設定：ステレオ／3DサウンドON）	P.333
	7マイドキュメント	フォルダ一覧画面 　フォルダ管理（フォルダセキュリティ：OFF） マイドキュメント一覧画面 　マイドキュメント設定（ソート：日付順（新→旧））	P.358
	8きせかえツール	フォルダ一覧画面 　フォルダ管理（フォルダセキュリティ：OFF） きせかえツール一覧画面 　きせかえツール設定（表示切替：12分割、ソート：日付順（新→旧）） きせかえツール内データ一覧画面 　音量設定：音量５	P.134
	9キャラ電	フォルダ一覧画面 　フォルダ管理（フォルダセキュリティ：OFF） 　バックライト点灯時間：照明設定に従う キャラ電一覧画面 　キャラ電表示設定（ソート：日付順（新→旧）、バックライト点灯時間：照明設定に従う） ＜キャラ電プレーヤー＞ 　バックライト点灯時間：照明設定に従う 　画面サイズ切替：拡大	P.330
	0プリント指定（DPOF）	データ一覧画面 　個別枚数設定：00枚 　ソート：日付順（新→旧）	P.373

メディアツールメニュー

機能メニュー		お買い上げ時	ページ
93 メディアツール／Media tool	1ボイスレコーダー	ノイズキャンセラ：ON セルフタイマー：OFF レコーダー設定保持：ON	P.357
	2マンガ・ブックリーダー	ファイル一覧画面 　ソート（電子コミックのみ）：日付順（新→旧） 　バックライト点灯時間：照明設定に従う 内容表示画面 　表示設定（文字サイズ設定：標準、縦横設定：縦書き、ルビ表示：OFF、画像サイズ：２倍表示） 　マンガ表示設定：コマ／ページ切替 　音量設定：中 　バイブレータ設定：ON 　バックライト点灯時間：照明設定に従う	P.366
	3ドキュメントビューア	ソート：タイトル名順 バックライト点灯時間：照明設定に従う	P.364
	4PDF対応ビューア	画面設定（ページレイアウト：単一ページ、表示：全体表示、スクロールバー表示：ON、ページ番号表示：ON、拡大率表示：ON）	P.358

MUSICメニュー

機能メニュー		お買い上げ時	ページ
9 4 MUSIC／MUSIC	1 ミュージックプレーヤー	データBOXのミュージック参照	P.386
	2 Music&Videoチャネル	データBOXのMusic&Videoチャネル参照	P.376
	3 SDオーディオ	再生設定（再生モード設定：通常再生、マナー再生設定：OFF） Dolbyサウンド設定：ノーマル 再生中画面設定：パターン１	P.392

その他の機能

機能メニュー		お買い上げ時	ページ
受話音量		音量５	P.69 P.123
テレビ電話		送信画像切替：キャラ電 明るさ調整（カメラ映像送信時）：±０ テレビ電話設定（テレビ電話画面設定：相手大／自分小、子画面表示設定：左上、送信画質設定：標準、テレビ電話中照明：常にON） DTMF送信モード：OFF	P.78 P.83
プッシュトーク		グループ名編集：グループ１～グループ９ プッシュトーク設定（オート着信設定：オート着信なし、PT通信中着信設定：通常着信、着信鳴動時間設定：30秒、クローズ動作設定：スピーカ通話、PTハンズフリー設定：ON）	P.97
マナーモード		OFF（ONにした場合、通常マナーモード）	P.127
おまかせロック		解除	P.146
ボタン操作無効		解除	P.149
アクティブマーカー		カレンダー／日付表示：カレンダー表示 表示カテゴリ設定：すべて表示	P.397
ショートカットメニュー		バーコードリーダー、赤外線受信、名刺リーダー、タイマー、接続先選択、電卓、地図アプリ、スケジュール、アラーム、Bookmark	P.410
文字入力	文字入力／辞書設定	変換方式：かな方式、ダイレクト変換：ON 予測変換設定（近似予測変換：ON、連携予測変換：ON、１文字学習変換：ON、顔文字連携予測：ON、優先候補ジャンル：芸能人名）	P.420

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（かな方式）

文字入力は、ダイヤルボタンで行います。1つのボタンには、次の表のように複数の文字が割り当てられています。

- ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。
- 例：全角カタカナモードで1（ア）が表示➡1（イ）が表示➡1（ウ）が表示…になります。
- 表示を逆戻りさせるときは✆を押します。

全角文字の割り当て

ボタン	漢 漢字（ひらがな）入力モード	ア 全角カタカナ入力モード	全角英数字入力モード A 大小文字	全角英数字入力モード a 小文字	区 区点コードモード
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	．／＿＠1 □（スペース）	．／＿＠1 □（スペース）	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣａｂｃ2	ａｂｃ2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦｄｅｆ3	ｄｅｆ3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	ＧＨＩｇｈｉ4	ｇｈｉ4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬｊｋｌ5	ｊｋｌ5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯｍｎｏ6	ｍｎｏ6	6
7	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ7	ｐｑｒｓ7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ＴＵＶｔｕｖ8	ｔｕｖ8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ9	ｗｘｙｚ9	9
0	わをんゎ □（スペース）	ワヲンヮ □（スペース）	0 □（スペース）	0 □（スペース）	0
0～9 1秒以上押す	※1				0～9
＊	゛ ゜ ↲※2		↲※2		↲
＃	全角記号変換（ー ～ 、 。 ！ ？ ・）				なし
▲	ワンタッチ変換（前候補）	カーソル上移動			
▼	通常変換（次候補）／↲※2	カーソル下移動／↲※2			
◀	文節左移動	カーソル左移動			
▶	文節右移動	カーソル右移動			
📖	文字入力モードの切り替え				
📖 1秒以上押す	定型文挿入				
✉	小文字変換（小文字変換可能な文字の場合）		大小文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	大文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	なし
✉ 1秒以上押す	顔文字挿入				
CLR※3	1文字削除、変換中止	1文字削除			入力済みコードまたは1文字削除
CLR 1秒以上押す	カーソル以後の文字全削除※4				
●	採用、決定	決定			
✆	逆順表示またはやり直し				やり直し

※1 同じ行の文字を続けて入力したい場合に、1秒以上押すと入力することができます。

※2 文字確定後に押すと［↲］（改行）されます。［↲］は半角で表示されますが、全角1文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や修正できます。メール本文入力時、スケジュール、テキストメモの内容入力時などに有効です。

※3 何も入力されていない状態でCLRを押すと、1つ前の画面に戻ります。

※4 カーソル位置が文末にあるときは、すべての文字が削除されます。

- 濁点の付いたひらがなやカタカナは、一部を省略しているものがあります。

半角文字の割り当て

ボタン	ア 半角カタカナモード	半角英数字モード		1 半角数字モード
		A 大小文字	a 小文字	
1	アイウエオｧｨｩｪｫ	./_@1 (スペース)	./_@1 (スペース)	1
2	カキクケコ	ABCabc2	abc2	2
3	サシスセソ	DEFdef3	def3	3
4	タチツテトｯ	GHIghi4	ghi4	4
5	ナニヌネノ	JKLjkl5	jkl5	5
6	ハヒフヘホ	MNOmno6	mno6	6
7	マミムメモ	PQRSpqrs7	pqrs7	7
8	ヤユヨｬｭｮ	TUVtuv8	tuv8	8
9	ラリルレロ	WXYZwxyz9	wxyz9	9
0	ワヲン (スペース)	0 (スペース)	0 (スペース)	0
0～9 1秒以上押す	※1			※2
*	゛ ゜ - ↲	↲※3		*
#	半角記号変換 (-~、。!?･()'",:;¥&) ※4			#
上	カーソル上移動			P(電話番号入力時)／カーソル上移動
下	カーソル下移動／↲※3			
左	カーソル左移動			
右	カーソル右移動			
電話帳	文字入力モードの切り替え			
電話帳 1秒以上押す	定型文挿入			
メール	小文字変換(小文字変換可能な文字の場合)	大小文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	大文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	なし
メール 1秒以上押す	顔文字挿入			
CLR	1文字削除			
CLR 1秒以上押す	カーソル以後の文字全削除※5			
決定	決定			
発信	逆順表示またはやり直し			やり直し

※1 同じ行の文字を続けて入力したい場合に、1秒以上押すと入力することができます。
※2 0を1秒以上押した場合は、「+」が入力されます。
※3 [↲](改行)されます。[↲]は半角で表示されますが、全角1文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や修正できます。メール本文入力時、スケジュール、テキストメモの内容入力時などに有効です。
※4 半角英数入力限定時(メールアドレス、URL入力時)は、「、」、「。」、「･」を入力することはできません。
※5 カーソル位置が文末にあるときは、すべての文字が削除されます。

■ 文字の数え方

全角1文字は、半角2文字分として数えられます。
半角文字では、濁点･半濁点も1文字分として数えられます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（2タッチ方式）

■ 全角文字

全角大文字モード

1桁目（最初に押すボタン）＼2桁目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	？	！	ー	／
7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃		♥	※
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

■ 半角文字

半角大文字モード

1桁目（最初に押すボタン）＼2桁目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	ｰ	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#		♥	※
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

※ [8]→[0]を押すと、大文字モードと小文字モードが切り替わります。□部分は、切り替えた文字モードにより大文字または小文字で入力できます。

- 全角小文字モードで[0]→[4]を押すと「、」、[0]→[5]を押すと「。」が入力できます。
- 半角小文字モードで[0]→[4]を押すと「，」、[0]→[5]を押すと「．」が入力できます。
- 半角大文字モードで[☎]、[♥]は半角2文字分となります。

お知らせ

- 空欄はスペースを示します。
- □部分は、文字入力後、[CLR]を押すたびに、大文字⇔小文字と切り替わります。

記号・特殊文字一覧

文字入力画面で[i]を押すと絵文字入力モードになります。絵文字入力モードで[📷]を押すと、記号入力モードになります。絵文字入力モードで[i]を押すと、絵文字と絵文字D（デコメ絵文字）（メール本文／署名作成の場合）が切り替わります。記号入力モードで[📷]を押すと、全角記号と半角記号が切り替わります。

■ 全角記号・特殊文字

、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛
゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ
ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”
（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉
《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－
±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞
∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢
£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○
●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽	▼
※	〒	→	←	↑	↓	〓	∈	∋	⊆
⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒	⇔
∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪
≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰	♯
♭	♪	†	‡	¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ	ヮ
ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ	Ε
Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α
β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ
μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ

χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё
Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П
Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ
Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г
д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м
н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц
ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	─
│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼
━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻
╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
╂	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑
㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞
㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№	㏍	℡
㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽
㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟
⊿	∵	∩	∪						

特殊記号（①～∪の枠内）

※ 特殊記号は、iモードメール対応機以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

■ 半角記号

!	"	#	$	%	&	'	(	)	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	[	¥	]	^	_	`	{	|
}	~	｡	｢	｣	､	･	ｰ	ﾞ	ﾟ

絵文字・顔文字一覧

絵文字一覧

読みを入力して絵文字に変換できます。

見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字
はーと、はあと		はれ		おーけー	OK	れすとらん		はた		ししざ		まるあーる、しょうひょう	®
はーと、はあと		くもり		えぬじー	NG	きっさてん		すのぼ		おとめざ		きけん、けいこく	
しつれん、はーと、はあと		あめ、かさ		め		ばー		ぽけっとべる、ぽけべる		てんびんざ		きんし	禁
はーと、はあと		ゆき		みみ		びーる、さけ		たばこ、きつえん		さそりざ		あき、くうしつ、くうせき、くうしゃ	空
かお、にこ		かみなり		ぐー		とっくり、さけ		きんえん		いてざ		ごうかく	合
かお、むか		うずまき、たいふう		ちょき、ぶい		わいん、さけ		かめら		やぎざ		まんしつ、まんせき、まんしゃ	満
かお、かなしい		きり		ぱー		はんばーがー		かばん		みずがめざ		いち	1
かお、かなしい		こさめ		おーけー、ぐっど、ないす		くろーばー		ほん		うおざ		に	2
かお、ふらふら		いぬ		あし		さくらんぼ、ちぇりー		りぼん		しんげつ、つき		さん	3
かお		ねこ		はしる、ひと		ちゅーりっぷ、はな		ぷれぜんと		つき		よん、し	4
かお、にこ		かたつむり		じてんしゃ		ばなな		ばーすでー		はんげつ、つき		ご	5
かお、あせ		ひよこ		でんしゃ		りんご		てれび		みかづき、つき		ろく	6
かお、あせ		ぺんぎん		ちかてつ	M	め		げーむ		まんげつ、つき		なな、しち	7
かお、むか		さかな		しんかんせん		もみじ		しーでぃー		あいもーど		はち	8
かお、ぼけ		うま		くるま		さくら		べる、ちゃぺる		あいもーど		きゅー、く	9
はーと		ぶた		くるま		おにぎり、おむすび		どあ		あいあぷり		ぜろ	0
かお、べー		おんぷ		ばす		けーき		おかね、どるぶくろ		あいあぷり		はーと、はあと	
かお、ういんく		おんぷ		ふね		らーめん、どんぶり		ぱそこん		どこも		すぺーど	
かお、にこ、うれしい		おんせん		ひこうき		ぱん、しょくぱん		れんち、こうぐ		どこも		だいや	
かお、がまん、かなしい		かわいい		よっと、りぞーと		ぶてぃっく		えんぴつ		ゆうりょう	¥	くろーばー、くらぶ	
ねこ		きす		くりすます		はさみ、びよういん		おうかん		ふりー、むりょう	FREE	やじるし、みぎうえ	
かお、かなしい		ぴかぴか、きらきら		いえ		からおけ		ゆびわ		あいでぃー	ID	やじるし、みぎした	
かお、なみだ、かなしい		ひらめき		びる		えいが		すなどけい、とけい		かぎ、しーくれっと、ぱすわーど		やじるし、ひだりうえ	
かお、うまい		むか、いかり		ゆうびんきょく		ゆうえんち		おちゃ、ゆのみ		りたーん		やじるし、ひだりした	
かお		ぱんち		びょういん		おんがく		うでどけい、とけい		くりあ	CL	やじるし、さゆう	
かお、げっそり、さけび		ばくだん		ぎんこう	BK	あーと		くつ		むしめがね、るーぺ、さーち		やじるし、じょうげ	
やじるし、ぐっど		ねる、ねむい	zzz	ぎんこう、えーてぃーえむ	ATM	えんげき		てぃーしゃつ、しゃつ		にゅー	NEW	かちんこ	
やじるし、ばっど		びっくり	!	ほてる		いべんと		さいふ		はた		ふくろ	
でんわ		びっくり	!?	こんびに	CVS	ちけっと		くちべに、けしょう		ふりーだいやる		ぺん	
でんわ、けいたい		びっくり	!!	がそりん、すたんど	GS	すぽーつ		じーんず、じーぱん、ずぼん		しゃーぷだいやる	#	ひとかげ	
めーる		しょうげき、いらいら		ちゅうしゃじょう	P	やきゅう		めがね		もばきゅー		いす	
らぶれたー		あせ		がっこう		ごるふ		くるまいす		くりっぷ		よる、つき	
めも		あせ		なみ		てにす		おひつじざ		こぴーらいと	©	すーん	SOON
でんわ		だっしゅ		ふじさん、やま		さっかー		おうしざ		てぃーえむ、とれーどまーく、しょうひょう	TM	おん	ON!
めーる		ー		しんごう		すきー		ふたござ		まるひ	秘	えんど	end
ふぁっくす	FAX	ー		といれ		ばすけっと、ばすけ		かにざ		りさいくる		とけい	

- 本絵文字を送信した場合、相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。また、i モード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。SMSでは[♥]、[♥]、[☎]以外はスペースになります。

顔文字一覧

(^0^)	(+_+)	(^^ゞ	φ(..)	(^^)Y☆Y(^^)
o(^-^)o	(-_-)	(☆_☆)	(^人^)	o(^-^o)(o^-^)o
(^0^)/	(v_v)	(ノ><)ノ	<(__)>	(ノ°0°)ノ
p(^^)q	(T_T)	(－_－#)	(´Д`)	(° o°)＼(-_-)
(>_<)	(￥_￥)	(¨ ;)	＼(^^;;)	(∪o∪)。。。
(X_X)	(@_@)	(－_－メ)	(#^.^#)	(^ ^)＼(° °)
m(__)m	(?_?)	(° ∇°)	(^0)=3	＼^o^／
f^_^;	(;_;)	!(^ ^)!	(; ´・`)	(┬┬_┬┬)
(:_;)	(0_0)	o(><)o	(´～`;)	??(° Q。)??
(-.-;)	(^_^)	(。。;)	(￣∇￣;)	(^_-)-☆

定型文一覧

インターネット	1	.ne.jp	プライベート	1	遊びに行こう
	2	.co.jp		2	飲みに行きませんか？
	3	.ac.jp		3	遅れます
	4	.or.jp		4	変更します
	5	.go.jp		5	中止です
	6	.com		6	先に行きます
	7	@docomo.ne.jp		7	先に帰ります
	8	http://		8	時間です
	9	www.		9	何してるの？
あいさつ	1	おはようございます	応答	1	OKです
	2	おやすみなさい		2	NGです
	3	昨日は､どうもありがとうございました		3	ありがとう
	4	行ってきます		4	ごめんなさい
	5	いってらっしゃい		5	待ってて
	6	お疲れ様でした		6	今忙しい
	7	お世話になっております		7	後で連絡入れます
	8	こんにちは		8	保留です
	9	こんばんは		9	キャンセルです
ビジネス	1	直行します	自作定型文	1	--------------------
	2	直帰します		2	--------------------
	3	休暇をとります		3	--------------------
	4	半休します		4	--------------------
	5	電車遅延のため、遅れます		5	--------------------
	6	本日の会議は中止となりました		6	--------------------
	7	出欠をご連絡ください		7	--------------------
	8	次の指示を待ってください		8	--------------------
	9	携帯の電源を切ります		9	--------------------

● お買い上げ時は､自作定型文は登録されていません。

電卓計算例

計算例

計算例		操作	表示結果
加減乗除	14×3＋5＝	14[×]3[＋]5[＝]	47
	(−24)÷4−2＝	[−]24[÷]4[−]2[＝]	−8
定数計算	34＋57＝ 45＋57＝	34[＋]57[＝] 45 [＝] （加数が定数となります）	91 102
	48−23＝ 14−23＝	48[−]23[＝] 14 [＝] （減数が定数となります）	25 −9
	68×25＝ 68×40＝	68[×]25[＝] 40 [＝] （被乗数が定数となります）	1,700 2,720
	35÷14＝ 98÷14＝	35[÷]14[＝] 98 [＝] （除数が定数となります）	2.5 7
パーセント計算	200の10％は？	200[×]10[％]	20
	9は36の何％？	9[÷]36[％]	25
消費税計算	消費税込み3000円の消費税額は？	3000[TAX]	142税
	消費税込み3000円の税抜き額は？	3000[TAX][TAX]	2,858税抜
割増割引計算	200の10％増しは？	200[＋]10[％]（または200[×]10[％][＋][＝]）	220
	500の20％引きは？	500[−]20[％]（または500[×]20[％][−][＝]）	400
べき乗	$(4^3)^2$＝	4[×][＝][＝][×][＝]	4,096
逆数計算	1／8＝	8[÷][＝]	0.125
メモリ計算 累計	27×5＝ ＋)87÷3＝ ＋)68＋15＝ （計）＝	[CM]27[×]5[M＋] 87[÷]3[M＋] 68[＋]15[M＋] [RM] （[M＋]は[＝]の働きをかねています。）	M 135 M 29 M 83 M 247
メモリ計算 一時記憶	(13＋3×4)×(50−45)＝	[CM]13[M＋]3[×]4[M＋]50[−]45[×][RM][＝]	M 125
メモリ計算 定数記憶	135×(12＋14)＝ (12＋14)÷5＝	[CM]12[＋]14[M＋] 135[×][RM][＝] [RM][÷]5[＝]	M 26 M 3,510 M 5.2

● メモリに「0」以外の数値が入ると、[M]が表示されます。

お知らせ

● メモリ計算では⊡(CM)を押して、メモリ内容を消去してから始めてください。
● 税計算は小数点以下は省略されます。
例：120[TAX]と押すと、[5税]と表示されます。

[E]が表示されたとき

● 計算の結果、[E]が表示されると、それ以降の計算ができません。CLR(C･CE)を押してください。
① 除数が0の計算をしたとき(例：5[÷]0[＝])
② メモリの数値の整数部が12桁を超えたとき(例：[CM]999999999999[M＋]1[M＋])
③ 計算結果の整数部が12桁以上になったとき(例：1000000000[÷]0.01[％])

マルチアクセスの組み合わせについて

マルチアクセスで同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは次のとおりです。

実行する通信／現在の通信状態	音声電話		テレビ電話		iモード接続	iモードメール		SMS		データ通信（パケット）		データ通信（64K）		プッシュトーク		プッシュトークプラス	位置測位	ワンセグ
	発信	着信	発信	着信		送信	受信	送信	受信	送信	受信	送信	受信	発信	着信	ネットワーク接続		
音声電話中	△※1	△※1	×	×※4	○	○	○	○	○	○	○	×	×※4	×	×※4	×	○	○
テレビ電話中	×	×※4	×	×※4	×	×	×	×	○	×	×	×	×※4	×	×	×	×	×
iモード中	○	○	△※6	△※2	×	○	○	○	○	×	×	×	×※4	△※3	△※7	×	○	○
iアプリ通信中	△※3	△※3	△※3	△※2	×	△※3	○	△※3	○	×	×	×	×※4	△※3	△※7	×	△※3	×
データ通信中（パケット）	○	○	×	×※4	×	×	×	×	○	×	×	×	×※4	×	×	×	×	○
データ通信中（64K）	×	×※4	×	×※4	×	×	×	×	○	×	×	×	×※4	×	×	×	×	×
プッシュトーク通信中	×	△※5	×	×※4	×	×	×	×	○	×	×	×	×※4	×※8	×※4	×	×	×
プッシュトークプラス（ネットワーク接続中）	○	○	×	×※4	×	×	×	×	○	×	×	×	×※4	○	○	×	×	×
ワンセグ視聴中	○	○	×	△※9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

○：現在の通信状態を継続したまま、実行する通信を処理できます。
×：現在の通信状態を継続します（実行する通信を処理することはできません）。
△：条件により処理できます。

※１　キャッチホンをご契約の場合は、処理できます（☞P.432）。
※２　テレビ電話を着信するか、パケット通信を継続するかを選択できます（☞P.85）。
※３　ｉモード、ｉアプリからの通信は切断され、実行する通信を処理できます。
※４　着信履歴には記憶されます（プッシュトーク再参加着信を除く）。
※５　［PT通信中着信設定］が［着信拒否］（お買い上げ時：［通常着信］）の場合、現在の通信状態を継続します。音声電話着信を処理するためには、［PT通信中着信設定］を［着信拒否］以外に変更してください（☞P.97）。また、着信があった状態で、音声電話に応答するとプッシュトークは切断されます。音声電話を拒否した場合は、プッシュトークは切断されません。
※６　ｉモード接続を切断してからテレビ電話発信を行います。
※７　［ｉモード通信中着信設定］が［プッシュトーク着信優先］（お買い上げ時）の場合、ｉモード、ｉアプリからの通信は切断され、実行する通信を処理できます（☞P.198）。
※８　自分が発信者の場合のみ、メンバー追加のための発信は可能です（リダイヤルには記憶されません）。
※９　着信に応答すると、ワンセグは終了します。

マルチアシスタント（マルチタスク）の組み合わせについて

マルチアシスタント（マルチタスク）で同時に使用可能な機能の主な組み合わせは次のとおりです。

現在の操作中機能＼呼び出し可能な機能	マルチアシスタント画面／履歴から電話する	メール／メールを読む	ダイヤル入力／音声電話発信	プッシュトーク発信	テレビ電話発信	スケジュール／スケジュールを見る	電卓	テキストメモ	電話帳を開く	電話帳	マナーモード設定／照明・省電力設定	SDオーディオ	サポートブック	GPS	トルカ	フルブラウザ／インターネットで検索／フルブラウザのBookmark／iモードのBookmark	iモード	ドキュメントビューア	データBOX（リスト画面）	ワンセグメニュー	iアプリ／ICカード一覧／DCMX	ミュージックプレーヤー	iチャネル	マンガ・ブックリーダー	Music&Videoチャネル
カスタムメニュー、基本メニュー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉアプリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
PDF対応ビューア、マイドキュメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×
SDオーディオ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
ワンセグ視聴	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×
電話帳、プッシュトーク電話帳	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テキストメモ	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スケジュール	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
データBOX（リスト画面）、マイピクチャ、ｉモーション※、メロディ※、キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×
ビデオプレーヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×
ミュージックプレーヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×
音声電話	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○
マンガ・ブックリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
トルカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
フルブラウザ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○
メール・メール作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
GPS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Music&Videoチャネル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×
データ通信（パケット）	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
ＩＣカード一覧、DCMX	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
ドキュメントビューア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○
ｉモード、ｉチャネル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	×	○	○

○：呼び出し可能な機能です。
×：呼び出し不可能な機能です。グレー表示されます。
※ ｉモーションプレーヤー、メロディプレーヤーでバックグラウンド再生はできません。

- 表中の「現在の操作中機能」以外の機能を利用している場合は、マルチアシスタントを使用できないことがあります。
- アプリケーションの状態によってはこの表に従わない場合もあります。
- メモリの不足している場合など、この表の組み合わせでもマルチアシスタントを使用できない場合があります。
- ドキュメントビューアはｉモード／フルブラウザ／インターネットで、検索と同時に使用できないことがあります。
- 「ダイヤル入力」はマルチアシスタント画面で[発信キー]を押して呼び出します。
- SDオーディオ起動と他の機能からのmicroSDメモリーカード使用は、同時に行うことはできません。

ワンセグのマルチウインドウ表示について

マルチウインドウ(横)で、ワンセグを視聴しながら起動できる機能は次のとおりです。

- ■ ｉモード※1
- ■ メール※2※3
- ■ GPS※4
- ■ テキストメモ
- ■ フルブラウザ
- ■ 電話帳
- ■ スケジュール
- ■ マンガ・ブックリーダー
- ■ ｉチャネル
- ■ トルカ
- ■ 電卓
- ■ ドキュメントビューア
- ■ サポートブック
- ■ データBOXのフォルダ一覧画面とファイル一覧画面※5
- ■ ミュージックプレーヤーのプレイリスト一覧画面と音楽データ一覧画面

※1 [ｉモード設定リセット]は利用できません。
※2 マルチウインドウ(縦)でも利用できます。
※3 [メール設定]は選択できません。
※4 [対応ｉアプリ]は利用できません。
※5 [Music&Videoチャネル]は利用できません。

お知らせ

● マルチウインドウ(横)では、文字の入力はできません。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス(有料:案内料+通話料) ※ 電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	(局番なし)104
電報の発信(有料:電報料)	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171
コレクトコール(有料:案内料+通話料)	(局番なし)106

お知らせ

● コレクトコール(106)をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円(税込94.5円)がかかります(2008年3月現在)。
● 番号案内(104)をご利用の際には、案内料100円(税込105円)に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは、一般電話から116番(NTT営業窓口)までお問い合わせください(2008年3月現在)。
● 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話/携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
● 116番(NTT営業窓口)、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用になれませんので、ご注意ください(一般電話または公衆電話から、FOMA端末へかける際の自動クレジット通話はご利用になれます)。
● 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
● FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
● かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合はお近くの公衆電話または一般電話からかけてください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ01／02※1
- 電池パック SH14
- 卓上ホルダ SH16
- リアカバー SH17
- FOMA DCアダプタ01／02
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイク P001※2／P002※2
- ステレオイヤホンセット P001※2
- イヤホンターミナル P001※2
- 骨伝導レシーバマイク 01
- FOMA室内用補助アンテナ※3
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02※4
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- FOMA海外兼用ACアダプタ01※1
- 車載ハンズフリーキット01※5
- FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01
- 車内ホルダ01※6
- FOMA乾電池アダプタ 01
- キャリングケースL 01
- FOMA USB接続ケーブル※4
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※3
- FOMA 補助充電アダプタ 01

※1 ACアダプタの充電方法については、P.41、P.42をご覧ください。
※2 スイッチ付イヤホンマイク、ステレオイヤホンセット、イヤホンターミナルは、イヤホンジャック変換アダプタを接続しないとご利用になれません。
※3 日本国内でご利用ください。
※4 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※5 FOMA SH905iをUSB接続／充電するためには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01が必要です。
※6 車内ホルダ01をご利用になるときは、サイドボタンのボタン操作無効を設定してください。

外部機器との連携

対応する外部機器を利用してmicroSDメモリーカードに保存した動画を、FOMA端末で再生できます。※
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます（☞P.335）。
対応機器などについては、http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh905i/をご覧ください。または下記にお問い合わせください。

- 外部機器で作成したｉモーション（AAC形式の音楽データを含む）をFOMA端末で再生する（☞P.383）。

※ 保存した動画や外部機器の形式によっては、再生できない場合があります。

シャープ　データ通信サポートセンター
TEL 03-5396-2351
受付時間:平日10:00～12:00／13:00～17:00
（土・日・祝日および所定の休日を除く）

- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。
QuickTime™ Playerは、以下のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法などについては、アップルコンピュータ（株）のホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェア更新をしてください（ソフトウェア更新☞P.498）。

症　状	説　明	ページ
動作しない	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● 電池パックが正しく取り付けられていますか？	P.45 P.45 P.40
電源が入らない	● を２秒以上押していますか？ ● 電池切れになっていませんか？ 警告音が鳴ったあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。 ● 電池パックが正しく取り付けられていますか？	P.45 P.45 P.40
電源が切れる	● FOMAカードのIC部が汚れていませんか？ ● 電池パックの接続端子面やFOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が汚れていませんか？	P.37 P.40
充電ができない	● 電池パックが正しく取り付けられていますか？ ● FOMA端末、電池温度が高くなっていませんか？ ● 充電端子は汚れていませんか？ 端子部を綿棒などで清掃してください。 ● ACアダプタのコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか？ ● 卓上ホルダにFOMA端末が正しくセットされていますか？	P.40 P.41 － P.42 P.43 P.43
充電しても、すぐに使えなくなる	● 卓上ホルダにFOMA端末が正しくセットされていますか？ ● 電池の寿命がきていませんか？ ● 充電端子は汚れていませんか？ 端子部を綿棒などで清掃してください。 ● FOMA端末の扱いかたによって電池の持ち時間は変化します。	P.43 P.41 － P.41
ボタン操作ができない	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● オールロックやボタン操作無効が設定されていませんか？	P.45 P.145 P.149
TOUCH CRUISER（タッチクルーザー）パッドがうまく動かない	● 指先を少し立てると操作しやすくなります。 ● FOMA端末の電源を一度切り、もう一度電源を入れてください。	P.33 P.45
［圏外］が表示されて電話がかけられない	● サービスエリア外か電波の弱い場所にいませんか？	P.28
［self］が表示されて電話がかけられない	● セルフモードが設定されていませんか？	P.146
電話帳ダイヤルで電話がかけられない	● 電話帳の機能別ロックが設定されていませんか？ ● オールロックが設定されていませんか？	P.147 P.145
ダイヤルボタンで電話がかけられない	● ダイヤル発信制限が設定されていませんか？ ● オールロックが設定されていませんか？	P.148 P.145
ダイヤルしても話中音（ツーツー…）が聞こえる	● 「090」、「080」や「070」、または市外局番を忘れていませんか？ ● ［圏外］が表示されていませんか？ ● 相手が携帯電話の場合、相手の電波状況が悪いと電話がかからないことがあります。	P.51 P.28 －
通話がとぎれたり、切れる	● 電波の届きにくい場所にいませんか？ ● 電池切れになっていませんか？	P.28 P.45
通話中、相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	● 受話音量が大きくなっていませんか？	P.69
通話中に「プチッ」と音が入る	● 電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	－
宛先登録時、［メール送信履歴］、［メール受信履歴］が選択できない	● メール送信履歴表示、メール受信履歴表示が［OFF］に設定されていませんか？	P.149

症　状	説　明	ページ
メールを受信したとき設定した着信音が鳴らない	● 受信・自動送信表示を[操作優先]に設定していませんか？	P.236
着信音が鳴らない	● 着信音量が[サイレント]に設定されていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 通話中ではありませんか？ ● 保留のままになっていませんか？ ● 呼出動作開始時間設定を設定していませんか？ ● 電話帳指定着信許可を設定していませんか？ ● 電話帳指定着信拒否を設定していませんか？ ● 非通知理由別着信拒否を設定していませんか？ ● 電話帳登録外着信拒否を設定していませんか？ ● 留守番電話サービスを使用し、呼出時間を[0秒]に設定していませんか？ ● 公共モード（ドライブモード）に設定していませんか？ ● マナーモードに設定していませんか？	P.122 P.45 P.45 P.66 P.70 P.152 P.151 P.152 P.152 P.153 P.430 P.71 P.127
メールを受信したとき設定した着信音以外の着信音が鳴る	● 電話帳に指定メール着信音を設定した相手からのメールを受信したときは、指定メール着信音が鳴ります。 ● 電話帳のグループにメール着信音を設定した相手からのメールを受信したときは、そのグループのメール着信音が鳴ります。 ● 指定メール着信音とグループ指定メール着信音の両方を設定した相手からのメールを受信したときは、指定メール着信音が鳴ります。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールアドレスに設定した指定メール着信音が鳴ります。 ● 相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳のメールアドレスには電話番号のみを登録し、指定メール着信音を設定してください。 ● メール送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、指定メール着信音を設定していますか？ ● SMSを受信したときは、電話帳に設定した指定メール着信音が有効となります。 ● 電話番号が正しく登録されていますか？	P.104 P.109 P.121 － P.104 P.104 P.104 P.102
着信またはメールの受信をしたとき設定した着信ランプ以外の着信ランプが点滅する	● 電話帳指定着信ランプ／電話帳指定メール着信ランプを設定した相手から着信またはメールを受信したときは、指定したランプ設定で点滅します。 ● グループ指定着信ランプ／グループ指定メール着信ランプを設定した相手からの着信またはメールを受信したときは、そのグループに設定したランプ設定で点滅します。 ● 電話帳指定着信ランプ／電話帳指定メール着信ランプとグループ指定着信ランプ／グループ指定メール着信ランプを両方設定した相手からの着信またはメールを受信したときは、電話帳指定着信ランプ／電話帳指定メール着信ランプで設定したランプ設定で点滅します。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールアドレスに設定したランプ設定で点滅します。 ● 相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳のメールアドレスには電話番号のみを登録し、ランプ設定を設定してください。 ● メール送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、ランプ設定を設定していますか？ ● SMSを受信したときは、電話帳に設定したランプ設定が有効となります。 ● 電話番号が正しく登録されていますか？	P.104 P.109 P.138 － P.104 P.104 P.104 P.102
[サービス未契約です]と表示される	● ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 ● ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	－ －
日付の順序が逆に表示される	● Bilingualで[English]に設定していませんか？	P.139
[しばらくお待ちください]が表示されて消えない	● 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。	－

次ページへ続く

症　状	説　明	ページ
電話の発着信、メールの送受信、i モードの機能が使えない	● 電池切れになっていませんか？ ● [圏外]が表示されていませんか？ ● セルフモードが[ON]に設定されていませんか？	P.45 P.28 P.146
文字が入力できない	● 文字数の制限をオーバーしていませんか？	－
画面表示が消えた	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● 省電力モードが起動していませんか？ ● 自動電源OFFを設定していませんか？	P.45 P.45 P.133 P.399
ドコモホームページやi Menuの[お知らせ]にソフトウェア更新が必要との案内がある	● ソフトウェアの更新が必要です。 ソフトウェアを更新してください。	P.498
ＩＣカード（FeliCa 機能）が使えない	● ＩＣカードロック、おまかせロックが設定されていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？	P.146 P.272 P.45
画面が白っぽく見える	● プライベートフィルタが設定されていませんか？(⊘)を押すとプライベートフィルタを解除できます。	P.140
ディスプレイの表示が暗い場合やボタンのバックライトが点灯しないことがある	● 照明・省電力設定の明るさ調整を[自動]に設定していませんか？周りの明るさによってディスプレイの照明やボタンのバックライトの照明を調整しています。	P.134
明るさセンサー機能がうまくはたらかない	● 明るさセンサー部分にシールなどの遮蔽物を貼っていませんか？	P.24
カメラ使用中に音が聞こえたり、振動が伝わる	● カメラはリニアモーターによりレンズを動かすため、レンズ移動時に音が聞こえたり、振動が伝わることがあります。	P.168
積算通話料金が増えない	● FOMAカードの積算通話料金の上限値（約1677万円）に達していると増えません。リセットすることにより、0円に戻ります。	P.413
現在地が確認できない	● ご利用になるには i モードのお申し込みが必要です。	－
現在地通知／位置提供が利用できない	● 現在地通知先が正しく設定されていますか？ ● 位置提供可否設定を[位置提供機能OFF]に設定していませんか？ ● サービス利用設定で位置提供に必要な設定をしていますか？	P.282 P.279 P.281
データ転送が行われない	● USB HUBを使用していませんか？USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	－
ワンセグ視聴できない	● 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか？ ● FOMAカードが正しく差し込まれていますか？ ● チャンネル設定をしていますか？	P.286 P.37 P.288

こんな表示が出たら

● メッセージと共に、3桁の数字が表示される場合があります。一部の数字は、端末で表示させているドコモ独自のコードとなります。

表　示	説　明	ページ
[2in1設定がBの電話帳データでは利用できません]	● 2in1のモードを[デュアルモード]に設定しているときに、電話帳から電話帳2in1設定が[B]に設定された相手にプッシュトーク発信しようとしたときに表示されます。	P.111
[Bナンバー発着信履歴ではプッシュトークは利用できません]	● 2in1のモードを[デュアルモード]に設定しているときに、Bナンバーのリダイヤルや着信履歴からプッシュトーク発信しようとしたときに表示されます。	P.55 P.56
[Bモードではプッシュトークは利用できません]	● 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときに、プッシュトーク発信やプッシュトーク電話帳を呼び出そうとしたときに表示されます。	P.89 P.94
[FOMAカード(UIM)を挿入してください]	● FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	P.37
[PIN1コードがロックされています]	● PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。しばらくするとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、正しいPINロック解除コードを入力してロックを解除してください。	P.145
[PINロック解除コードがロックされています]	● PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	P.143
[一部コピーできない項目がありますが、コピーしますか？]	● FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末(本体)に登録された2件目以降の電話番号／メールアドレスをFOMAカードにコピーすると表示されます。また、使える文字や文字数も異なるため、コピーできないデータがあるときに表示されます。[はい]を選択すると、1件目の電話番号／メールアドレスがコピーされます。	－
[一部登録できないデータがあります。登録しますか？]	● 文字読み取りで読み取った文字を電話帳に登録する場合、登録できないデータがあるときに表示されます。[はい]を選択すると、登録されます。	－
[おまかせロック中です]	● おまかせロックが設定されているときに表示されます。	P.146
[音声伝言メモがすでに3件録音されています]	● 音声電話伝言メモ3件、テレビ電話伝言メモ2件未満、録音済みです。不要な伝言メモを削除してからやり直してください。	P.77
[海外でご利用の場合、Bナンバー発信はできません。Aナンバーで発信します。]	● 海外で2in1利用時に、Bナンバーから発信しようとしたときに表示されます。[発信]を選択するとAナンバーで発信します。[非通知発信]を選択すると発信者番号非通知で発信します。	P.440
[外部機器接続中のため使用できません]	● 外部機器接続中のため、iモードを終了する以外のiモードの操作はできません。	P.481
[画像に誤りがあり、正しく動作しません]	● Flash画像に誤りがあります。	－
[機能別ロック中です]	● 電話帳の機能別ロックが設定されています。解除してからやり直してください。	P.147
[圏外です]	● サービスエリア外や電波が届かないところで、テレビ電話発信やネットワークサービスの操作をしようとしたときに表示されます。[圏外アイコン]が表示されるところまで移動して操作をしてください。	P.28
[このカードは認識できません]	● 本端末で使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。 ● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	－ P.37
[この機能は利用できません]	● 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときに、電話帳からiモードメールを作成しようとしたときに表示されます。	P.111
[これ以上録音できません]	● 音声電話伝言メモ3件、テレビ電話伝言メモ2件録音済みです。不要な伝言メモを削除してからやり直してください。	P.77
[シークレットデータが登録されています]	● シークレットモードでないときに、シークレットデータをツータッチダイヤルで発信しようとしたときに表示されます。	P.116 P.149

次ページへ続く

表　示	説　明	ページ
[指定されたソフトが起動できませんでした]	● 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときに、メール連動型ｉアプリのソフトを起動しようとすると表示されます。	P.250
[しばらくお待ちください]	● 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。ダイヤルボタンを押すとメッセージが消えます。 ● 110番、119番、118番には電話をかけることができます。 ただし、状況によりつながらない場合があります。	― ―
[しばらくお待ちください(パケット)]	● パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。	―
[セルフモード設定中です]	● セルフモード設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.146
[ダイヤル発信制限設定中です]	● 電話帳(microSDメモリーカード内の電話帳を除く)、リダイヤル以外で電話をかけるときは、ダイヤル発信制限を解除してください。	P.148
[端末暗証番号を入力してください]	● 機能別ロック中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。 正しい端末暗証番号を入力すると、機能別ロックが一時解除され、操作できます。	P.147
[端末暗証番号が違います][4～8桁で入力してください]	● 端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。 端末暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。	P.142
[データベースの更新を行います]	● データBOXのデータベースの復旧処理を行います。 復旧処理を行っても、データBOX内の下記情報などは復旧できない可能性があります。 ■ 破損されたデータ ■ お客様が作成した、ユーザ作成フォルダ ただし、フォルダ内のデータは消えずに、移動元のフォルダに残っています。 ■ 再生制限のあるｉモーション、ミュージックのデータ ■ プリインストール以外のPDFデータ ■ データBOXに保存されるｉアプリが使用する一部のデータ	―
[テレビ電話伝言メモがすでに2件録画されています]	● 音声電話伝言メモ3件未満、テレビ電話伝言メモ2件録音済みです。 不要な伝言メモを削除してからやり直してください。	P.77
[電話帳指定許可を解除してください]	● 電話帳指定着信許可が設定されています。 解除してからやり直してください。	P.151
[同時に通話できる人数4人を超えています]	● プッシュトーク電話帳から5人以上のメンバーにプッシュトーク発信を行った場合に表示されます。発信メンバーを4人以下に設定してください。	P.94
[登録できるサービスがいっぱいです。上書きされたサービスの楽曲は再生できなくなります。上書きしますか？]	● 登録できるミュージック(会員制)サービスの上限値(50件)を超えている場合に表示されます。[はい]を選択すると、再生期限が最も古いミュージック(会員制)サービスから上書きされます。また、上書きされたミュージック(会員制)サービスからダウンロードしたうた・ホーダイは再生できなくなります。	―
[認証できませんでした。エラーが続く場合は認証用記号登録を再度行ってください]	● 手書き認証に失敗した場合に表示されます。エラーが続く場合は、認証用記号登録を再度行ってください。	P.143
[ネットワーク暗証番号が誤ってます]	● ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。 ネットワーク暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。	P.142
[Music&Videoチャネル未契約です] [Music&Videoチャネル未契約です　番組を削除しました]	● Music&Videoチャネルのサービスをご契約されておりません。 Music&Videoチャネルをご利用になるにはお申し込みが必要です。	―

表　示	説　明	ページ
[メモリの空きがありません]	● すでにFOMA端末(本体)の電話帳が1000件登録されているときに、メモリ番号を入力せずに、新たに電話帳を登録しようとした場合に表示されます。	P.100
[メモリ番号:×××は書換えできません]	● シークレットモードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。 ● 電話帳指定着信許可または電話帳指定着信拒否を設定中に、リスト登録している電話帳のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。	P.116 P.150 P.151
[録音処理に失敗しました]	● 登録可能件数を超えて録音しようとしたときに表示され、ボイスレコーダーが終了します。余分なデータを削除して録音し直してください。	P.357
[録画処理に失敗しました]	● microSDメモリーカードに空き容量がない場合、保存先をmicroSDメモリーカードに設定して撮影を開始すると表示され、カメラモードは終了し待受画面に戻ります。	−

ｉモード関連

● ｉモード関連のエラーメッセージ中の(　)で囲まれた数字は、ｉモードセンターから送信されるもので、エラーの内容を区別するためのコードです。

表　示	説　明	ページ
[FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません]	● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR/Fを選んで実行しようとしたときに表示されます。 ● ソフト一覧からｉアプリを起動しようとした場合に表示されます。 ● サイトやインターネットホームページ、ｉモードメールから、ｉアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。	P.38 − P.38
[FOMAカード情報が一致しないため[ダウンロード/バージョンアップ/起動/保存]できません]	● 挿入しているFOMAカードと FeliCa に対応付けされているFOMAカード情報が異なる場合に表示されます。	−
[ＩＣカード内データがいっぱいのため、ダウンロードできません。いずれかのサービスを削除しますか？]	● おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする際、ＩＣカード内データの容量が足りない場合に表示されます。[はい]を選択すると、すでに登録しているおサイフケータイ対応ｉアプリの一覧と、ＩＣカード内の容量(バイト数)が表示されますので、不足エリアサイズを確認したあと、削除するサービスを選択し、ｉアプリを起動して削除してください。ただし、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては[はい]を選択したあとに、おサイフケータイ対応ｉアプリの一覧のみが表示されることがあります。この場合は、一覧からｉアプリを選択して削除してください。	−
[ｉアプリToが設定されていません]	● サイトやインターネットホームページ、メッセージR/Fやｉモードメールからソフトを起動しようとしたときに、指定したソフトが連携許可されていないため、起動できません。	P.258
[ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]	● ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。 ● 通信を行ってｉアプリを継続するときは[はい]を選択します。通信を行わずにｉアプリを継続するときは[いいえ]を選択します。ｉアプリを終了するときは[終了]を選択します。	P.250 −
[ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？]	● [ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]と表示されたときに[いいえ]を選択してｉアプリを継続している場合、再度ｉアプリが通信を行おうとしたときに表示されます。 ● 通信を行ってｉアプリを継続するときは[はい]を選択します。通信を行わずにｉアプリを継続するときは[いいえ]を選択します。ｉアプリを終了するときは[終了]を選択します。	P.250 −
[ｉモーション再生サイズを超えています]	● 標準タイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが500Kバイトを超えているため取得ができない場合に表示されます。	P.201
[ｉモーション再生サイズを超えました]	● 標準タイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが500Kバイトを超えているため取得が完了しなかった場合に表示されます。	P.201
[ｉモーション最大サイズを超えています]	● 標準タイプで分割して取得可能なｉモーションまたはストリーミングタイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが10Mバイトを超えているため取得ができない場合に表示されます。	P.201
[ｉモーション最大サイズを超えました]	● 標準タイプで分割して取得可能なｉモーションまたはストリーミングタイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが10Mバイトを超えているため取得が完了しなかった場合に表示されます。	P.201

次ページへ続く

表　示	説　明	ページ
[SMSがいっぱいです。これ以上コピーできません]	● FOMA端末(本体)またはFOMAカード内のSMSが最大件数まで保存されていてコピーできなかったときに表示されます。	P.245
[SSL通信が切断されました]	● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかったときに表示されます。再び接続し直してください。	P.181
[SSL通信が無効です]	● SSL通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。	P.181
[SSL通信が無効に設定されています]	● 証明書設定で無効に設定した証明書を受信したときに表示されます。無効に設定した理由を確認し、証明書の安全性に問題がない場合は、証明書を有効に設定してから再び接続し直してください。	P.199
[URLが長すぎて登録できません]	● URLが登録可能文字数を超えるため、ブックマークへ登録できません。	P.188
[以下の宛先にはメール送信できませんでした(561) Mails could not be sent to following address. ○○@△△△.ne.jp] ※ メールアドレスは送信先により表示が異なります。	● 表示された宛先にメールが正しく送信できなかった場合に表示されます。	−
[エリアメールを受信しました]	● エリアメールを受信するように設定し、エリアメールを受信した場合に表示されることがあります。しばらくすると自動的に受信前の画面にもどります。	P.241
[応答がありませんでした(408)]	● サイトやインターネットホームページからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続をお試しください。	P.180
[同じサービスを利用するソフトがあるため[ダウンロード/バージョンアップ/起動]できません。該当するサービスを削除しますか？]	● 同様のサービスをすでにダウンロード済みの場合、すでに登録されている該当サービスを削除しないと、新しいサービスを[ダウンロード/バージョンアップ/起動]できません。[はい]を選択すると削除対象となるサービスが表示されますので、登録済みのサービスを削除してください。	−
[画面メモがいっぱいです。上書きしますか？]	● 画面メモを登録するメモリの空き容量がないときに表示されます。[はい]を選択して上書きする画面メモを選択すると、保存確認の画面に進みます。[いいえ]を選択すると、サイトやインターネットホームページの表示画面に戻ります。	−
[携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を送信します]	● サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。[はい]を選択すると、「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」が送信されます。送信せずに元の画面に戻るには、[戻る]を選択するか、CLRを押します。 ● 送信される「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。 ● 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。	P.181 − −
[圏外です]	● サービスエリア外や電波が届かないところで、iモードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。[Yıll]が表示されるところまで移動してiモードのサービスをご利用ください。	−
[このサイトとのSSL通信は無効です]	● 書換えられたSSL証明書を受信したときに表示されます。このサイトやインターネットホームページとはSSL通信できません。	P.181
[このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？]	● FOMA端末では検証できないサーバ証明書を受信したときに表示されます。安全性を確認できないことを承知の上で接続するときは、[はい]を選択します。接続しないときには、[いいえ]を選択します。	P.181
[このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？]	● 期限切れまたは有効期間前のSSLサーバ証明書を受信したときに表示されます。安全性を確認できないことを承知の上で接続するときは、[はい]を選択します。接続しないときには、[いいえ]を選択します。	P.181

表　示	説　明	ページ
[この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？]	● 署名の有効期限が切れたサーバ証明書を受信したときに表示されます。安全性を確認できないことを承知の上で接続するときは、[はい]を選択します。接続しないときには、[いいえ]を選択します。 日時設定を行ってください。	P.181
[この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？]	● 正しくない情報をもったSSLサーバ証明書を受信したときに表示されます。安全性を確認できないことを承知の上で接続するときは、[はい]を選択します。接続しないときには、[いいえ]を選択します。	P.181
[このデータは再生できない可能性があります。取得しますか？]	● MP4(Mobile MP4)形式以外のｉモーションを取得したときに表示されます。	P.324
[これ以上保護できません]	● メッセージR/Fで保護できる最大件数を超えています。保護を解除してください。	P.240
[これ以上ウィンドウを開けません]	● 表示可能なフレーム数を超えた場合やメモリ不足などにより、新ウィンドウで開くことができないときに表示されます。	－
[サービス未契約です]	● ｉモードをご契約されておりません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 ● ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから再度電源を入れ直してください。	P.180 －
[最後まで取得できないデータの可能性があります。取得しますか？]	● 標準タイプのｉモーションを取得するときに、ファイルサイズが不明な場合に表示されます。	P.201
[最大サイズを超えたので中断しました]	● サイトやインターネットホームページで受信したデータが1ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、ダウンロードしたところまでのデータを表示します。 ● メロディやダウンロード辞書をダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。	P.187 －
[最大サイズを超えているため、一部のデータが失われる可能性があります。編集終了しますか？]	● 本文のみのサイズが10000バイトを超えているときに表示されます。[はい]を選択すると、メール作成画面が表示されますが、超過しているデータは削除され、[⊠]が表示されます。メールの内容(文字、画像など)によっては、削除されない場合もあります。編集し直すときは、[いいえ]を選択すると本文入力画面に戻ります。10000バイト以内になるように編集してください。	－
[サイトが移動しました(301)]	● サイトやインターネットホームページが移動したためURLが変更されています。古いURLをブックマークに登録している場合は新しいURLに更新されます。	P.188
[サイトに接続できませんでした(403)]	● 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。	P.180
[削除される添付ファイルがあります]	● 転送または引用返信するｉモードメールに、ｉモードメールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。メッセージが表示されたあと、ファイルが削除された状態でｉモードメール編集画面が表示されます。	P.215
[指定サイトがみつかりません(404)]	● サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。サイトやインターネットホームページが存在しない可能性があります。	－
[指定サイトに表示データがありません(204)]	● 接続したサイトやインターネットホームページに表示するデータがない場合に表示されます。	－
[指定されたソフトがありません]	● ｉモードメール、赤外線通信機能からのｉアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。	P.258
[指定されたソフトが起動できませんでした]	● サイトやインターネットホームページ、メッセージR/Fやｉモードメール、赤外線通信機能からソフトを起動しようとした場合、指定したソフトが起動できなかったときに表示されます。	P.258
[指定したサイトへは接続できませんでした(504)]	● 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。	P.180
[重複したアドレスを削除しました]	● ｉモードメール作成時、同じメールアドレスを宛先や同報として複数設定したときに、重複するアドレスを削除します。	P.210
[正常に接続できませんでした(400)]	● サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URLが正しいかどうか確認してください。	P.184 P.304

表　示	説　明	ページ
[セキュリティエラーのため終了しました]	● ｉアプリが不正な動作をしようとしました。 ● ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとする場合に表示されます。セキュリティエラーによりソフトが終了した場合、エラー履歴が保存されます。	P.259 P.259
[接続が中断されました]	● 電波が弱いため、ｉモードが中断されました。 電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。 ● 電波が強く[Yıll]マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトやインターネットホームページが非常に混み合っています。しばらくたってから接続してください。	P.28 –
[接続できません]	● 接続先の設定が正しくないときに表示されます。 ｉモード設定の[接続先選択]で接続先を正しく設定し直してください。 ● 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。	P.197 P.180
[設定時間内に接続できませんでした]	● ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってからサイトやインターネットホームページへの接続やｉモードメール送信などを行ってください。	–
(ｉＣ通信中に)[送信相手が見つかりません]	● 通信相手が認識できなかったときに表示されます。	–
[送信できませんでした]	● ｉモードメールやSMSを正常に送信できなかった場合に表示されますので、電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。[宛先を確認してください]があわせて表示されるときは、宛先の修正を行ってから送信してください。 [ｉモードセンターが混みあっています]があわせて表示されるときは、しばらくたってから送信し直してください。また、[送信先のメールがいっぱいです]があわせて表示されるときは、送信先でメールを受け取ることができないためメールを送信できません。	–
[そのソフトは最新です]	● ｉアプリが更新されていないためバージョンアップされません。	P.260
[ソフトに誤りがあります]	● ｉアプリのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。	–
[ソフトに誤りがあるためダウンロードできません]	● ｉアプリのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。	–
[対応機種ではありません]	● ダウンロードしようとしたｉアプリがFOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。	–
[ダウンロード済みです]	● 同じバージョンのソフトがすでにダウンロードされています。	P.260
[ダウンロードを中止しました]	● ダウンロード中に、ダウンロード中止操作を行ったときに表示されます。	–
[ダウンロードできませんでした] [コンテンツ不正のためダウンロードできません]	● ダウンロードするデータがない場合や、データが正しくない場合に表示されます。ダウンロードすることはできません。 ● 正しくない、または未対応の形式であるためダウンロードできません。	– –
[ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい]	● ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。	P.180
(赤外線通信中に) [中断しました] [接続相手が見つかりません。続けますか？] [認証に失敗しました。続けますか？]	● 赤外線通信を中止する操作をしたときに表示されます。 ● 通信相手が認識できなかったときに表示されます。[はい]を選択すると、もう一度やり直すことができます。 ● 赤外線通信が正確に行えなかったときに表示されます。[はい]を選択すると、もう一度やり直すことができます。	P.354 P.354 P.354
[添付可能サイズを超えるため添付できません]	● サイズを超えているため添付できません。 本文を削除するかファイルを添付せずに送信してください。	P.215
[入力データまたはURLが長すぎます]	● テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信できません。 文字数を減らしてから送信し直してください。	–

表　示	説　明	ページ
[入力データをご確認ください(205)]	● サイトやインターネットホームページで入力を行い送信したあとに、サーバがこの内容をリセットしたいときに表示されます。 画面上の入力した文字や設定が消去されます(直前に送信した内容はすでに送信されています)。	−
[認証タイプに未対応です(401)]	● 認証できないときに表示されます。 元のページに戻ります。	−
[認証を中止しました]	● 認証画面で[キャンセル]を選択したとき、またはCLRを押したときに表示されます。	−
[パスワードをご確認ください(401)]	● 認証画面で認証できないときに表示されます。	−
[保存中止しました]	● ｉアプリのダウンロード時に保存できなかった場合に表示されます。	−
[本体内の容量がいっぱいです。空きがないため、これ以上受信できません]または[FOMAカード(UIM)の容量がいっぱいです。空きがないため、これ以上受信できません]	● FOMA端末(本体)とFOMAカードの容量がいっぱいのときに表示されます。新規にSMS受信できません。FOMA端末(本体)とFOMAカード内の未読ｉモードメール／SMSの確認(☞P.218、P.244)、保護解除(☞P.230)、不要なｉモードメール／SMSの削除(☞P.231、P.246)を行ってください。	−
[未送信BOXがいっぱいのため、起動できません]	● 未送信メールの空きエリアがないために新規メールを作成できません。 未送信メールを送信または削除してから作成し直してください。	P.217 P.231
[無効なデータを受信しました(301)] [無効なデータを受信しました(302)]	● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。 受信したデータは破棄されます。	−
[メッセージがいっぱいです]	● 保存先メモリの空き容量がなく、保護されていない既読メールが1件もないときにｉモードメールを受信した場合、[メッセージがいっぱいです]と表示されます。受信完了画面には件数[0]と表示されます。	−
[メモリ不足です]	● メモリが不足したため、ソフトを実行できません。 ● メモリ不足が発生したため、処理を中断します。 頻繁に表示される場合には、一度電源を入れ直してください。	− −
[メモリ不足です。フルブラウザメニューに戻ります]	● フルブラウザでインターネットホームページを表示中にメモリが不足したときに表示されます。この場合は、[確認]を選択してください。開いていたすべてのウィンドウが終了します。	P.305
[容量が不十分です。他の画面メモを上書きしますか？]	● 登録する画面メモの容量が指定した画面メモよりも大きいときに表示されます。[はい]を選択して上書きする画面メモを選択します。選択した時点で、その画面メモは削除されます。[いいえ]を選択すると、サイトやインターネットホームページの表示画面に戻ります。	−
[読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか？]	● トルカ自動読取チェックを[OFF]に設定しているときに読み取り機で自動読取機能を利用しようとした場合に表示されます。[はい]を選択するとトルカ自動読取チェックが[ON]に設定され、自動読取機能が利用可能になります。	P.272
[“○△□.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信することができません(555)　Unable to send. “○△□.ne.jp”is not available temporarily.] ※ドメイン名は送信先により表示が異なります。	● 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくたってから送信し直してください。	−

PDF対応ビューア／ドキュメントビューア関連

表　示	説　明	ページ
[エラー発生ドキュメントビューアを終了します]	● ドキュメントビューアが起動され、次ページなどの読み込み時、解析に失敗したときに表示されます。ファイルの途中に壊れた情報が入っているときなどに発生します。	−
[実行できませんでした]	● ドキュメントビューアとしての表示はされますが、さらにルーペや指定位置拡大などの機能を実行するにはメモリが不足しているときに表示されます。	−
[正しく表示出来ません]	● ファイルサイズが大きく、ドキュメントビューアでファイルが表示できないときに表示されます。 ● ファイル内に、ドキュメントビューアがサポートしていない機能があるときに表示されます。 ● メモリ不足などにより、ドキュメントビューアの起動に失敗したときに表示されます。 ● ドキュメントビューア起動時、タイムアウトが発生し、起動に失敗したときに表示されます。解析に多くの時間がかかるファイルのときに発生します。 ● ファイルの詳細情報を表示しようとしたとき、情報取得に失敗したときに表示されます。	P.364 P.364 − − P.366
[メモリが不足しているため上書きできませんでした]	● メモリが不足しデータの上書きができない場合に表示されます。	−
[メモリが不足しているため情報の更新ができませんでした]	● メモリが不足しデータの更新ができない場合に表示されます。	−

データBOX関連

表　示	説　明	ページ
[一部コピーできませんでした]	● microSDメモリーカード内に、FOMA SH905i以外の端末やパソコンで作成したファイルやフォルダが存在する場合に表示されることがあります。	P.337
[このデータは再生できません]	● microSDメモリーカード内のうた・ホーダイを再生しようとしたときに、対応するミュージック（会員制）サービスのライセンスがない場合に表示されます。	−
[このデータは再生できません。削除しますか？] [このデータは閲覧できません。削除しますか？]	● 日時設定がリセットされたあとで、再生制限／閲覧制限のあるｉモーションや着うたフル®、電子コミックを再生／表示しようとしたときに表示されます。 ● FOMA端末（本体）のうた・ホーダイを再生しようとしたときに、対応するミュージック（会員制）サービスのライセンスがない場合に表示されます。	−
[このデータを再生するためには日時設定をしてください] [このデータを閲覧するためには日時設定をしてください]	● [移行可能コンテンツ]フォルダ内の再生制限のあるｉモーション、閲覧制限のある電子コミックを再生／表示しようとしたときに、日付・時刻が正しく設定されていない場合に表示されます。	P.203 P.367
[このデータを再生するためには自動時刻時差補正をONにし時刻情報を取得してください]	● [移行可能コンテンツ]フォルダ内の再生制限のある着うたフル®や、再生制限のあるWMAファイル、Music&Videoチャネルの番組を再生／表示しようとしたときに、日付・時刻が正しく設定されていない場合に表示されます。	P.377 P.388
[再生可能回数が終了しました　再生できません] [再生可能回数が終了しました。削除しますか？] [閲覧可能回数が終了しました。削除しますか？]	● 再生／閲覧可能回数が終了したｉモーションや着うたフル®、電子コミック、Music&Videoチャネルの番組を再生／表示しようとしたときに表示されます。	P.203 P.367 P.377 P.387
[再生可能期限が切れました　再生できません] [再生可能期限が切れました。削除しますか？] [閲覧可能期限が切れました。削除しますか？]	● 再生／閲覧期間または再生／閲覧期限が終了したｉモーションや着うたフル®、電子コミック、Music&Videoチャネルの番組を再生／表示しようとしたときに表示されます。	P.203 P.367 P.377 P.387

表　示	説　明	ページ
[再生可能日前です。再生できません] [閲覧可能日前です。閲覧できません]	● 再生／閲覧期間が設定されているｉモーションや着うたフル®、電子コミック、Music&Videoチャネルの番組を、再生／閲覧可能期間前に再生／表示しようとしたときに表示されます。	P.203 P.367 P.377 P.387
[再生できません　microSDのメモリがいっぱいです]	● WMAファイルを再生しようとしたときに、microSDメモリーカードの空き容量が64Kバイト以下の場合に表示されます。	P.382
[(IP(情報サービス提供者)名)再生期限の更新ができませんでした]	● 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新に失敗したときに表示されます。	P.387
[サイトが移動しました。移動先に接続しますか？]	● 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新時に、サイトが移動したためURLが変更されているときに表示されます。[はい]を選択すると移動先に接続されます。	P.387
[(IP(情報サービス提供者)名)サイトが移動していたため再生期限を更新できませんでした]	● 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新時に、サイトが移動したため接続できず、再生期限の更新に失敗したときに表示されます。	P.387
[(IP(情報サービス提供者)名)サイトに接続できなかったため再生期限の更新ができませんでした]	● 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新時に、何らかの原因でサイトに接続できず、再生期限の更新に失敗したときに表示されます。もう一度接続をお試しください。	P.387
[(IP(情報サービス提供者)名)サービス未登録です。再生するにはサービス登録が必要です。サイトに接続しますか？]	● 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新時に、IP(情報サービス提供者)と未契約の場合に表示されます。[はい]を選択するとIP(情報サービス提供者)のサイトに接続されます。	P.387
[次回再生時に再生期限の更新あるいはサービス登録をしてください]	● 再生期限の更新有効期間中のうた・ホーダイを再生しようとした場合、表示されます。	P.387
[電池残量が足りません]	● 電池残量が不足しています。カメラモードを起動できません。充電してからお使いください。	P.41
[未対応画像です。画像編集できません]	● 画像データが正しくないため編集ができません。	−
[メモリがいっぱいです。これ以上登録できません]	● データのコピー中に転送先の最大登録(保存)件数を超えたときに表示されます。すでに登録(保存)されているデータの中で、不要なものを削除したあと、コピーされなかったデータのコピーをやり直してください。	−
[メモリが少なくなっています]	● FOMA端末(本体)の空きメモリが少なくなっているときに、静止画モード／動画モードを起動したときに表示されます。 ● FOMA端末(本体)の空きメモリが少なくなっているため、現在の設定のままで撮影した画像を保存するには、すでに保存されている別のファイルを削除して空きエリアを増やす必要があります。	− −
[リンク設定データがあるため一部削除できませんでした]	● フォルダの全件削除時に、待受画面や着信音などの各種機能に設定されているため削除されないデータがあった場合に表示されます。 ● xxxSHARP/xxxSH_UF/PRLxxxなどのフォルダ内にフォルダが存在する場合に表示されます。パソコンなどで該当フォルダを削除するか、microSDメモリーカードをフォーマットしてください。	P.348 P.343
[著作権管理情報が正しくありません。WMAフォルダから全削除を行ってください]	● WMAファイルを利用していたmicroSDメモリーカードを別のFOMA端末に入れ、WMAファイルの再生を行おうとしたときに表示されます。 ● WMAファイルのデータベースが破損しているときに表示されます。	P.382 −

マルチアシスタント(マルチタスク)関連

表　示	説　明	ページ
[これ以上起動できません] [これ以上起動できません。MULTIボタンを押して機能を終了させてください]	● 起動できる最大数の機能が起動しています。 使っていない機能を終了させてから再度操作してください。	−
[既に起動中です。実行中の機能を終了し新規起動しますか?]	● すでに起動している機能を選択したときに表示されます。すでに起動中の機能を終了させて新規に起動するか、起動中の画面に切り替えるかを選択できます。	−
[電池がありません。保存していないデータは失われます。動作中の機能は終了します]	● 電源が切れそうになると表示されます。充電してください。	P.41 P.45
[同時に利用できない機能を使用中です。起動できません。MULTIボタンを押して機能を終了させてください]	● 同時使用ができない機能を起動しています。 使用中の機能を終了させてから再度操作してください。	−

ワンセグ関連

表　示	説　明	ページ
[microSD未挿入のため録画できませんでした]	● ビデオ録画先設定を[microSD]に設定している場合、ビデオ録画開始時にmicroSDメモリーカードが挿入されていないときに表示されます。	P.336
[microSDが利用中のため録画できませんでした]	● ビデオ録画先設定を[microSD]に設定している場合、ビデオ録画開始時にmicroSDメモリーカードを利用していたときに表示されます。	−
[映像がないため保存できません]	● データ放送の全画面表示中に静止画録画しようとしたときに表示されます。	P.294
[このチャンネルは受信できません]	● 放送電波圏外のため受信できません。[ ]が表示されるところまで移動してご利用ください。	P.290
[このチャンネルは放送休止中です]	● 放送休止中のため受信できません。 ● 放送電波の受信状況によっては、放送中であっても放送休止中と表示されることがあります。	− −
[この番組は録画禁止です]	● コピー制御信号が録画不可のときに表示されます。	P.293
[指定の番組を選局できません]	● 指定したチャンネルが検出できなかったときや、放送電波圏外のため受信できないときに表示されます。	−
[電池残量が少ないためこれ以上録画できません]	● 録画中に電池残量が少なくなったときに表示されます。	−
[放送圏外のため録画できません]	● 放送電波圏外のため録画できません。[ ]が表示されるところまで移動してご利用ください。	P.290
[メモリ容量不足のため録画終了します]	● 録画中にFOMA端末(本体)やmicroSDメモリーカードの空き容量がなくなったときに表示されます。	−
[メモリ容量不足のため録画できませんでした]	● FOMA端末(本体)のメモリの空き容量がないため、静止画録画を保存できないときに表示されます。 ● FOMA端末(本体)やmicroSDメモリーカードの空き容量がないため、ビデオ録画できないときに表示されます。	− −
[有効期限が切れています]	● 有効期限が切れているテレビリンクを選択すると表示されます。	P.299
[録画禁止の番組が開始されました　録画終了します]	● 録画中にコピー制御信号が録画不可の番組が開始されたときに表示されます。	−

その他の表示

表　示	説　明	ページ
[SSL通信が無効に設定されています]	● ソフトウェアの更新時、SSL証明書が有効に設定されていないときに表示されます。[証明書設定]で証明書1～11のすべてを有効にしてください。	P.199
[SSL通信を切断しました]	● ソフトウェアの更新時、FOMA端末の日付(年月日)が正しく設定されていないときに表示されます。FOMA端末の日時設定を行ってください。	P.46
[カメラを終了します。しばらくしてからお使いください]	● カメラを長時間連続で使用して、FOMA端末やカメラ周辺部の温度が高くなった場合に表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。	P.162
[他機能実行中のため起動できませんでした]	● 他の機能が実行されているため、予約時刻にソフトウェア更新を実行できませんでした。即時更新を行うか、別の日時を予約し直してください。	P.498
[ただいまカメラを利用できません]	● 高温下にて保管されていた場合など、カメラの周辺の温度が高くなっているときにカメラを起動しようとした場合に表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。 ● 電池残量が少ないときに、テレビ電話でカメラを使用した場合に表示されます。充電してからご利用ください。 ● カメラの撮影画面が表示されているときに着信が発生すると、機能制限により表示されることがあります。この場合、着信終了後あるいは通話終了後に再度カメラを起動すると使用できます。 ● 電話帳やメールなどからカメラを起動した直後にFOMA端末を閉じると、FOMA端末を開いたときに表示される場合があります。再度カメラを起動してください。	－ P.50 － －
[通信エラーが発生しました]	● 現在地確認、現在地通知、位置提供の測位時に、システムに異常が発生した場合や、サービス未契約の場合に表示されます。	－
[通信に失敗しました]	● ソフトウェアの更新ができなかった場合に表示されます。 再度ソフトウェア更新を実施してください。	P.498
[電池不足です。フル充電してください]	● ソフトウェアの更新時、電池残量が[ ]、[ ]のときに表示されます。 [ ]になるように充電してください。	P.41
[ファイルの内容が正しくないため表示できません]	● microSDメモリーカードの管理情報ファイルが正しくありません。 microSDメモリーカードの空き容量がなく、管理情報が正しく更新されなかった可能性がありますので、不要なファイルを削除してmicroSDメモリーカードの空き容量を作り、「管理情報の更新」を行ってください。	P.346
[フォーマットできませんでした]	● microSDメモリーカードの種類によっては、著作権保護機能に対応していないため表示されることがあります。microSDメモリーカードを挿入し直すとご使用いただける場合もありますが、そのmicroSDメモリーカードはFOMAサポート対象となっていないため、データの保存やコピーなどの保証はいたしかねます。	P.343
[プッシュトークグループに一部受信できませんでした]	● お預かりセンターとFOMA端末(本体)電話帳の更新時、お預かりセンターからのデータのプッシュトークグループが19件を超えている、または同じ電話番号がすでに登録されているため登録できなかったときに表示されます。	－
[無効なデータが含まれています。一部送信できませんでした]	● お預かりセンターとFOMA端末(本体)電話帳の更新時やメールの選択保存時に、FOMAカード動作制限が設定された画像を削除して送信したときに表示されます。	－
[メモリ不足のためピクチャーコール画像を受信できませんでした]	● お預かりセンターとFOMA端末(本体)電話帳の更新時、FOMA端末(本体)の空きメモリが少ないため画像が保存できなかったときに表示されます。	－

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。
  必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。
  無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

※ 本FOMA端末は、電話帳などのデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。

※ 本FOMA端末は、iモーション、iアプリの利用するデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。

※ 本FOMA端末は、電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。

※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（☞P.448）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

● 調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

● お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

● お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ■ 火災・けが・故障の原因となります。
  - ■ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ■ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  - ■ 銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

技術基準適合認証品

- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。
  - ■ お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  - ■ 使用箇所:スピーカ、受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

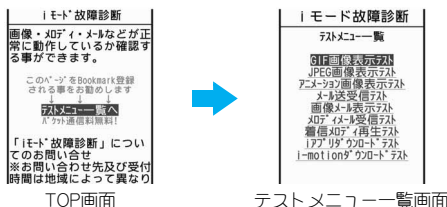
メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います(一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります。)。

※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

ｉモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面　　テストメニュー一覧画面

「ｉモード故障診断サイト」への接続方法

サイト接続用QRコード

ｉモードサイト:[ｉMenu]→[お知らせ]→[サービス・機能]→[ｉモード]→[ｉモード故障診断]

- ｉモード故障診断のパケット通信料は無料となります。
  ※ 海外からのアクセスの場合は有料となります。

付録/外部機器連携/困ったときには

次ページへ続く

● FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
● 各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
● ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
● ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新について

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内させていただきます。

ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の３つの方法があります。

自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。
予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

お知らせ

● ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
● ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ご利用にあたって

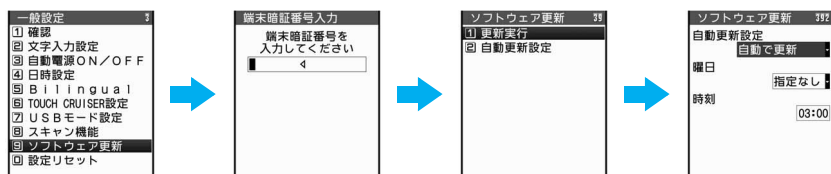
● ｉモード設定の接続先選択をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
● ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
● 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  ■ 日付・時刻を正しく設定していないとき
  ■ 通話中・圏外にいるとき
  ■ ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  ■ セルフモード中
  ■ 外部機器と接続中
  ■ おまかせロック中
● ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
● ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。
● ソフトウェアの更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。SSL証明書を有効にしておく必要があります（お買い上げ時は［有効］に設定されています☞P.199）。
● ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
● すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に［更新は必要ありません。このままご利用ください］と表示されます。
● ソフトウェア更新中に送信されてきた、ｉモードメールやメッセージR／FはｉモードセンターにSMSはSMSセンターに保管されます。
● ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR／Fが保管されると［ ］／［ ］／［ ］が表示されますが、ソフトウェア更新の再起動時に消えます。また、メール選択受信を［ON］に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。ｉモードセンターには保管されています。

● ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
● ソフトウェア更新に失敗した場合、［書換え失敗しました］と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
● 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。
● ソフトウェア更新中は、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しません。また、視聴・録画も開始されません。

ソフトウェア更新を自動で行う＜自動更新設定＞

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
書換え可能な状態になると書換え予告アイコン［ ］（ソフトウェア更新必要あり）が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えをするかを選択できます。

自動更新の日時を設定する

1 待受画面で● ▶［設定］▶［一般設定］▶［ソフトウェア更新］▶ 端末暗証番号を入力して● ▶［自動更新設定］

2 ［自動更新設定］を選択 ▶［自動で更新］

● 自動更新しない場合は、［設定しない］を選択して（完了）を押し、［はい］を選択します。
● 自動更新せずに、ソフトウェア更新が必要なときに更新お知らせアイコンで通知する場合は、［更新の通知のみ］を選択して（完了）を押します。

3 ［曜日］を選択 ▶ 曜日を選択 ▶［時刻］を選択 ▶ 時刻を入力して● ▶ （完了）

お知らせ

● 自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかった場合、待受画面に［ ］（ソフトウェア更新必要あり）が表示されます。

書換え予告アイコンが表示されたときは

1 ソフトウェアが自動でダウンロードされると、待受画面に［ ］（ソフトウェア更新必要あり）が表示される

2 待受画面で● ▶［ ］（ソフトウェア更新必要あり）を選択

3 書換え時刻の確認、書換え時刻の変更、今すぐ書換えを選ぶ

● 書換え予告アイコンは、一度確認すると消えます。

［OK］を選択した場合

● 待受画面に戻ります。設定時刻になると書換えを開始します。

［時刻変更］を選択した場合

● 「自動更新の日時を設定する」の操作３と同様に、曜日と時刻を設定します。

［今すぐ書換え］を選択した場合

● 書換えを開始します。完了すると待受画面に［ ］（ソフトウェア更新完了）が表示されます（設定時刻に書換えを行った場合は表示されません）。

ソフトウェア更新を起動する

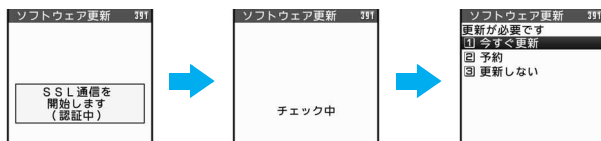
ソフトウェア更新を起動するには更新お知らせアイコンを押下して行う方法とメニュー画面から行う方法があります。

● 更新お知らせアイコンは、次の場合に表示されます。
■ 自動更新設定を[更新の通知のみ]に設定しているときに、ドコモから通知があった場合
■ 予約更新に失敗したり、取り消した場合
■ ソフトウェア更新の中断後、更新が必要な場合

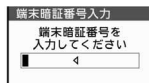
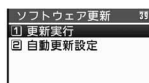
更新お知らせアイコンを押下してソフトウェア更新を起動する

1 待受画面に[ ](ソフトウェア更新確認必要)が表示されているときに◉▶[ ](ソフトウェア更新確認必要)を選択▶[はい]

● [いいえ]を選択すると、[ソフトウェア更新のお知らせアイコンを消去しますか?]と表示されます。[はい]を選択すると消去されます。

2 端末暗証番号を入力して◉

● 入力した端末暗証番号は、[*]で表示されます。お買い上げ時は、[0000]に設定されています。
● 手書き認証設定を[ON]に設定していても、端末暗証番号入力画面が表示されます。
● ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報(機種や製造番号など)が、自動的にサーバ(当社が管理するソフトウェア更新用サーバ)に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
● ソフトウェア更新の必要がないときは、[更新は必要ありません。このままご利用ください]と表示されます。◉を押して、そのままご利用ください。
● 更新が必要な場合には[更新が必要です]と表示されます。このとき、[今すぐ更新]するか[予約]するかを選択することができます。
● 送信を中止するときは、 を押します。

メニューからソフトウェア更新を起動する

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[ソフトウェア更新]

2 端末暗証番号を入力して◉

● 入力した端末暗証番号は、[*]で表示されます。お買い上げ時は、[0000]に設定されています。
● 手書き認証設定を[ON]に設定していても、端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 [更新実行]

● 以降の操作については、P.500「更新お知らせアイコンを押下してソフトウェア更新を起動する」の操作2を参照してください。

すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>

1 「メニューからソフトウェア更新を起動する」の操作を行い、[今すぐ更新]

- ソフトウェアのダウンロードが開始されます。以降は、メニューなどを選択しなくても、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- 更新しないときは、[更新しない]を選択します。

ソフトウェア更新
ダウンロードします
音声着信以外は
ご利用になれません
確認

約5秒経過
または
◉(確認)

ソフトウェア更新
通信中
中止

予約更新のときは[SSL通信を開始します(認証中)]と表示されたあとで表示されます。

ソフトウェア更新
ダウンロード中
約 50%完了
中止

ソフトウェア更新
書換え開始します
確認

約5秒経過
または
◉(確認)

(注1)
書換え準備中
しばらく
お待ちください

自動的に電源が切れたあと、すぐに電源が入ります。

(注1)
ソフトウェア
更新
Software Update

(注1)
ソフトウェア
更新
Software Update
書換え中
Rewriting
50%

(注1)
ソフトウェア
更新
Software Update
書換え完了しました
Rewriting is complete.
再起動します
Ready to reload?

約5秒後に自動的に電源が切れたあと、すぐに電源が入ります。

ソフトウェア更新
ソフトウェア更新完了しました
確認

(注1)すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。

- ⌒を押すと操作を終了するかどうかの問い合わせ画面が表示されます。ダウンロード中に終了した場合、それまでダウンロードされたデータは削除されます(ソフト書換え中は操作できません)。

- [通信中]と表示されたあと、[サーバーが混みあっています]と表示されたときは、[予約]を選択します。以降の操作については、P.502「日時を予約してソフトウェアを更新する」の操作2～4を参照してください。予約しないときは[更新しない]を選択します。操作を終了するかどうかの問い合わせ画面が表示されます。操作を終了するときは、[はい]を選択します。

2 ◉(確認)

お知らせ

- 操作1～2を行っているときに[書換え準備中　しばらくお待ちください]、[ソフトウェア更新]、[ソフトウェア更新　書換え中]、[書換え完了しました　再起動します]と表示されているときは、圏外と同じ状態になり着信できません。これ以外の画面が表示されているときは着信できます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。
- 操作1～2を行っているときに送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新終了後、待受画面に[ ](ソフトウェア更新完了)または[ ](ソフトウェア更新説明あり)が表示されたら、◉を押してください。正常に完了しなかった場合は、端末暗証番号を入力すると、その旨のメッセージが表示されます。◉を押して、更新をし直してください。

日時を予約してソフトウェアを更新する<予約更新>

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合には、ソフトウェア更新を行う日時をあらかじめ設定しておくことができます。

1 「メニューからソフトウェア更新を起動する」の操作を行い、[予約]

ソフトウェア更新 1/2
希望日時を選んでください
12月25日(火) 10:30
12月25日(火) 13:57
12月25日(火) 14:37
12月25日(火) 15:58
12月25日(火) 16:01
12月25日(火) 17:44
12月25日(火) 18:25
12月25日(火) 19:20
12月25日(火) 20:15
12月25日(火) 21:11
12月25日(火) 22:01

- 予約候補選択画面が表示されます。
- 日時は、サーバの時刻に合わせて表示されます。
- 操作を中止するときは、操作1～4で⊡を押し、[はい]を選択します。

2 希望日時を選択

- 確認画面が表示されます。
- [その他の日時]を選んだときは、サーバと通信したあと、ご希望の日、時間帯を選ぶことができます。まず希望日を選択し、次に希望時間帯を選択します。
  時間帯を選択する画面には、各時間帯の予約空き状況が[○:空あり]、[△:空わずか]のように表示されます。希望する時間帯を1つ選択すると、再びサーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。ご希望の予約候補を選択します。

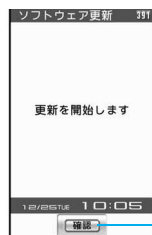
3 [はい]

- 希望日時が予約されます。

4 ◉(確認)

お知らせ

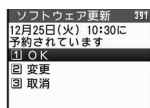
- 操作中に電話がかかってきた場合は電話を受けることができます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。

予約した日時になると

予約した日時に待受画面が表示されていると左の画面が表示され、自動的にソフトウェア更新を開始します。予約した日時に電源が入っていないときは、ソフトウェアは更新されません。
以降は「すぐにソフトウェアを更新する」の操作1と同じ動作になります。

約5秒経過するか⦿(確認)を押すと、自動的にソフトウェア更新が開始されます。

- ソフトウェア更新の予約日時には電波の十分届くところで待受画面を表示させておいてください。また、予約した日時にソフトウェア更新に必要な電池残量がない場合は、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した日時に待受画面以外の状態、通話中(着信中および発信中を含む)、メール送信中、メール受信中、i モード中、i アプリ起動中、メニュー表示中などの操作を行っていた場合、ソフトウェアは更新されません。操作終了後に待受画面に戻ると、ソフトウェアが更新されます。
- 予約した日時に外部機器接続中、セルフモード中、おまかせロック中の場合、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した日時と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合はアラームなどを優先し、ソフトウェアは更新されません。アラーム動作終了後に待受画面に戻るとソフトウェアが更新されます。
- ソフトウェア更新の予約日時になったときFOMA端末の電源が切れている場合や、予約起動後すぐにFOMA端末の電源を切った場合は、予約は無効となります。
- 予約が完了したあとに「データ一括削除(ユーザデータ削除)」(☞P.417)を行うと、予約は取り消されます。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

予約した日時を確認・変更・取り消す

1 待受画面で⦿▶[設定]▶[一般設定]▶[ソフトウェア更新]▶端末暗証番号を入力して⦿

- 画面に予約されている日時が表示されます。

予約を確認したとき	[OK]
予約を変更する	[変更]を選択すると、希望日選択画面が表示されます。 ● 以降の操作については、P.502「日時を予約してソフトウェアを更新する」の操作2～4を参照してください。
予約を取り消す	[取消]→[はい]→[予約を取消しました]と表示されたら⦿

お知らせ

- 操作中に電話がかかってきた場合は電話を受けることができます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。送信されてきたｉモードメールやメッセージR／FはｉモードセンターにSMSはSMSセンターに保管されます。

スキャン機能

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど、外部からFOMA端末に取得したデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。そのため当社の都合により端末発売開始後３年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する<スキャン機能設定>

スキャン機能設定を［有効］に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。SMSにスキャン機能を実行するかどうかを設定することもできます。

- メッセージスキャンの設定は、スキャン機能が［有効］に設定されている場合に設定できます。
- スキャン機能が［無効］の場合、メッセージスキャンは現在の設定にかかわらず［無効］となります。

1 待受画面で◉▶［設定］▶［一般設定］▶［スキャン機能］▶［スキャン機能設定］▶［スキャン機能］

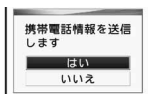
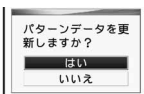
2 ［有効］▶［はい］

3 ［メッセージスキャン］

4 ［有効］▶［はい］

- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に５段階の警告レベルで表示されます（☞P.506）。

パターンデータを更新する<パターンデータ更新>

1 待受画面で◉▶［設定］▶［一般設定］▶［スキャン機能］▶［パターンデータ更新］▶［はい］

- 携帯電話情報を送信しないときは、［いいえ］を選択します。

2 ［はい］

- ダウンロードが開始されます。
- ダウンロードを中止するときは、[i]（中止）または[終話]を押し、［はい］を選択します。
- パターンデータ更新の必要がないときは、［パターンデータは最新です］と表示されます。◉を押して、そのままご利用ください。

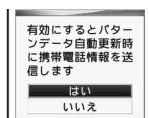
3 パターンデータ更新が完了したら◉

お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 電波の状態により、ダウンロードが中断される場合があります。

パターンデータを自動的に更新するように設定する<自動更新設定>

自動更新設定を[有効]に設定すると、パターンデータがバージョンアップされたときに、自動的に更新されます。
自動更新が成功した場合、待受画面に自動更新を行った旨のメッセージが表示されます。また、FOMA端末の状態によっては自動更新が行われないことがあります。その場合は、パターンデータのバージョンアップがあった旨のメッセージが表示されます。

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[スキャン機能]▶[自動更新設定]▶[有効]

2 [はい]

3 [はい]

4 [確認]

お知らせ

- 自動更新設定の有効／無効の情報はネットワークで保持しています。そのため、設定の際、FOMA端末では常に[有効]が選択された状態になっています。
- 自動更新設定の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 電波の状態により、自動更新設定が中断される場合があります。

スキャン結果の表示について

障害を引き起こす可能性を含むデータがあった場合は、警告画面が表示されます。

スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
スキャン機能 正常に動作できない場合があります 確認 問題要素名一覧	スキャン機能 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 問題要素名一覧	スキャン機能 正常に動作できない場合があるため終了します 確認 問題要素名一覧	スキャン機能 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ はい いいえ 問題要素名一覧	スキャン機能 正常に動作できないためデータを削除します 確認 問題要素名一覧
表示／起動／発信できます。以前に問題があったが、現在は問題が起こらない場合に表示されます。[確認]を選択すると表示／起動／発信できます。	[いいえ]を選択すると表示／起動／発信できます。[はい]を選択すると動作を中止します。	表示／起動／発信できません。[確認]を選択すると終了します。	表示／起動／発信できません。[はい]を選択し、削除確認画面で[はい]を選択するとデータが削除されます。[いいえ]を選択するとデータを削除しないで終了します。	表示／起動／発信できません。[確認]を選択するとデータが削除されます。

※ パターンデータの内容によっては、上記以外の警告画面が表示されることがあります。

スキャンされた問題要素の表示について

- 警告画面で[問題要素名一覧]を選択すると、問題要素名が表示されます。パターンデータの内容によって問題要素名がない場合、[問題要素名一覧]は表示されません。
- 問題要素名は最大5個まで表示されます。6個以上検出した場合は、5個目の問題要素名の下に[等の問題があります]と表示されます。また、同じ問題要素を複数検出した場合は、1個のみ表示されます。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

1 **待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[スキャン機能]▶[バージョン表示]**

主な仕様

項目			仕様
品名			FOMA SH905i
サイズ			高さ112mm×幅48mm×厚さ16.9mm（折りたたみ時）
質量			約125g（電池パック装着時）
連続待受時間※1※3	FOMA／3G	3G／GSM切替：3G	移動時：約370時間※5
		3G／GSM切替：自動	移動時：約345時間※5
			静止時：約540時間※4
	GSM	3G／GSM切替：自動	静止時：約290時間※4
連続通話時間※2※3	FOMA／3G		音声電話時：約200分
			テレビ電話時：約100分
	GSM		音声電話時：約190分
ワンセグ視聴時間			約230分
充電時間			ACアダプタ：約120分
			DCアダプタ：約120分
液晶部	方式		NEWモバイルASV液晶　16,777,216色
	サイズ		約3.0inch
	画素数		409,920画素（480×854ドット）
撮像素子	種類		CMOS※6
	サイズ		1/3.2inch
カメラ部	有効画素数		約320万画素
	記録画素数（最大時）		約320万画素
	ズーム（デジタル）		最大約24.0倍
記録部	静止画記録枚数		約1000枚（本体保存時）※7
	静止画連続撮影		25枚／9枚／6枚／4枚
	静止画ファイル形式		JPEG
	動画録画時間		1件あたり約434秒（本体保存時）※8
			1件あたり約60分（microSDメモリーカード（64Mバイト）保存時）※9
	動画ファイル形式		MP4
音楽再生	連続再生時間		iモーション（バックグラウンド再生対応※10）：約840分※11
			着うたフル®（バックグラウンド再生対応）：約1000分※11
			SD-Audioデータ（バックグラウンド再生対応）：約1000分※11
			WMAファイル（バックグラウンド再生対応）：約1000分※12
			Music&Videoチャネル（音声）（バックグラウンド再生対応※10）：約840分
			Music&Videoチャネル（動画）：約300分
保存容量	着うた®		約104Mバイト※13
	着うたフル®		

※1 連続待受時間とは、FOMA SH905iを折りたたみ、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合）などにより、通話・待受時間は半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくても、ワンセグの視聴、iモードメールの作成、ダウンロードしたiアプリ、iアプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。

※2 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※3 データ通信やマルチアクセス実行時およびカメラ起動時も、前述の通話時間や待受時間より短くなります。

※4 FOMA SH905iを折りたたみ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※5 FOMA SH905iを折りたたみ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」、「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※6 CMOS（complementary metal-oxide semiconductor：相補型金属酸化膜半導体）とは、銀塩カメラのフィルムに当たる部分を構成する撮像素子です。

※7 画像サイズ：sQCIF（128×96ドット）／画質：NORMAL／ファイルサイズ：10Kバイト

※8 画像サイズ：sQCIF（128×96ドット）／画質：NORMAL／ファイルサイズ制限：メール用（長）／種別：映像＋音声

※9 画像サイズ：sQCIF（128×96ドット）／画質：NORMAL／ファイルサイズ制限：なし／種別：映像＋音声

※10 ミュージックプレーヤーで再生した場合

※11 ファイル形式：AAC形式

※12 ファイル形式：WMA形式

※13 静止画、動画、ミュージック、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、キャラ電、iアプリを保存している場合には、着うた®／着うたフル®の保存容量は少なくなります。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種　別			保存・登録可能件数	保護可能件数	ページ
電話帳			1000※1	－	P.100
ワンセグ	テレビリンク		100	－	P.299
	視聴予約／録画予約		50※2	－	P.294
スケジュール	スケジュール		300	－	P.403
	休日		100	－	P.407
	祝日		20※3	－	P.407
テキストメモ			10	－	P.414
メール（SMSとｉモードメールの合計）	受信メール		1000※4※5	1000	P.224
		ユーザ作成フォルダ	20	－	P.227
	送信メール		500※4※5	500	P.224
		ユーザ作成フォルダ	20	－	P.227
	未送信メール		500※5	500	P.224
		ユーザ作成フォルダ	20	－	P.227
デコメールのテンプレート			10～100※6	－	P.213
メッセージ	メッセージR		50※5	25	P.237
	メッセージF		50※5	25	
ブックマーク			100	－	P.188
	ブックマークフォルダ		20	－	P.189
画面メモ			400※5	400※5	P.190
ｉアプリ			100※5	－	P.248
	メール連動型ｉアプリ		5	－	P.248
静止画			1000※5	－	P.191
	ユーザ作成フォルダ		20	－	P.347
動画／ｉモーション			100※5	－	P.201
	ユーザ作成フォルダ		20	－	P.347
きせかえツール			50※5	－	P.193
	ユーザ作成フォルダ		20	－	P.347
キャラ電			50※5	－	P.194
	ユーザ作成フォルダ		20	－	P.347
メロディ			500※5	－	P.192
	ユーザ作成フォルダ		20	－	P.347
PDFデータ			50※5	－	P.192
	ユーザ作成フォルダ		20	－	P.347
トルカ			1000※5	－	P.266
	ユーザ作成フォルダ		20	－	P.269

※１ 50件までFOMAカードに保存できます。
※２ 視聴予約と録画予約を合わせて最大50件まで登録できます。
※３ あらかじめ登録されている国民の祝日とは別に登録できます。
※４ SMSの場合はさらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます（☞P.245）。
※５ データ量によっては実際にできる件数が少なくなる場合があります。
※６ お買い上げ時に登録されているデータも含みます。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種FOMA SH905iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、これが2 W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA SH905iのSARの値は0.298W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページを参照してください。

総務省のホームページ	http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ	http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ	http://www.nttdocomo.co.jp/product/
シャープ株式会社のホームページ	http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html

※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.146 W/kg※.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

CE 0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this FOMA SH905i is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

次ページへ続く

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.577 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.307 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID APYHRO00061.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.phonefacts.net.

日本輸出管理規制／米国再輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の引きかた

本索引は「50音」、「英数字」の順に機能名や用語、キーワードを収録しています。機能名を思い出せない場合は、キーワードからも検索することができます。

＜例：「おまかせロック」を探したいとき＞

機能名から探すとき

オプション・関連機器......481
おまかせロック...........146
主な仕様.................507
オリジナルマナーモード
.....................128
音楽起動設定.............125

キーワードから探すとき

ロック機能...............145
オールロック..........145
おまかせロック........146
機能別ロック..........147
セルフモード..........146
ダイヤル発信制限......148
ボタン操作無効........149

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルは切り取り線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。
クイックマニュアル「海外利用編」は、海外で国際ローミング（WORLD WING）をご利用いただく際に携帯してください。

折りたたみかた

ご注意

● 切り離しの際、けがなどをしないように十分にご注意ください。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。

NTT DoCoMo **FOMA SH905i**

クイックマニュアル

お申し込み・お問い合わせ

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
ドコモの携帯電話からの場合
ｉ(局番なしの)151(無料)
※ 一般電話などからはご利用できません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

調子が悪いときは

ドコモの携帯電話からの場合
ｉ(局番なしの)113(無料)
※ 一般電話などからはご利用できません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。
● なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

電話帳登録

1 待受画面で✉を1秒以上押す▶[本体新規]／[FOMAカード(UIM)新規]
2 名前を入力▶◉▶[☎]／[]※▶◉▶電話番号を入力▶◉▶電話種別(FOMAカードのときは省略)▶◉▶[]／[]※▶◉▶メールアドレスを入力▶◉▶メールアドレス種別(FOMAカードのときは省略)▶◉
※ FOMAカードの場合
3 ｉ(完了)▶メモリ番号を入力(FOMAカードのときは省略)
4 プッシュトーク電話帳登録を選択する(FOMAカードのときは省略)

リダイヤル／着信履歴から電話帳に登録する

1 待受画面で◯(着信)▶電話番号▶📷▶[電話帳登録]
リダイヤルから登録するとき:待受画面で◯(発信)▶電話番号▶📷▶[電話帳登録]
2 [本体新規]▶電話帳を登録する
FOMAカード電話帳に登録するとき:[FOMAカード新規]
追加／上書き登録するとき:[追加／上書]
プッシュトーク電話帳に登録するとき:[プッシュトーク電話帳]
プッシュトークグループに登録するとき:[プッシュトークグループ登録]

登録できる項目

アイコン	項　目
	名前
ｶﾅ	フリガナ
	グループ
☎、	電話番号
	電話種別※
	メールアドレス
	メールアドレス種別※
	会社・学校※
	所属※
	役職※
〒	郵便番号※
	住所※
	位置情報※
	誕生日※

アイコン	項　目
	メモ※
	シークレット登録※
	シークレットコード※
♪	指定着信音選択※
	指定メール着信音選択※
	指定着信ランプ色※
	指定着信ランプパターン※
	指定メール着信ランプ色※
	指定メール着信ランプパターン※
	ピクチャーコール設定※
	代替画像設定※

※ FOMAカードのときは登録できません。

電話帳編集

1 待受画面で✉▶名前▶📷▶[データ編集]▶[修正]▶項目▶◉▶編集

電話帳を呼び出して電話をかける

1 待受画面で✉
検索方法を切り替えるとき:電話帳リスト画面で📷▶[検索方法選択]▶検索方法▶◉
2 名前▶◉▶☎または◉

文字入力

入力モードを切り替える

1 文字入力画面で✉▶入力モード▶◉

小文字を入力する

1 文字入力画面で✉▶[ａｂｃ]／[abc]
文字入力後の小文字変換:✉

ワンタッチ変換する

1 文字入力後に◯

文字を削除する

1 カーソルを合わせてCLR
すべての文字を削除するとき:文末でCLRを1秒以上押す

定型文を利用する

1 文字入力画面で✉を1秒以上押す▶定型文の分類▶◉▶定型文▶◉▶◉

絵文字・記号・デコメ絵文字を入力する

1 文字入力画面でｉ(絵・記号)
絵文字モードになります。
デコメ絵文字を入力するとき:絵文字モードでｉ
● 絵文字と絵文字D(デコメ絵文字)が切り替わります。
記号を入力するとき:絵文字モードで📷
● 記号モードで📷を押すと、全角記号と半角記号が切り替わります。

顔文字を入力する

1 文字入力画面で✉を1秒以上押す▶顔文字▶◉

文字を切り取る／コピーして貼りつける

1 文字入力画面で、切り取る最初の文字にカーソルを合わせる▶#を1秒以上押す
コピーするとき:文字入力画面で📷▶[コピー]▶コピーする最初の文字にカーソルを合わせる▶◉
2 最後の文字にカーソルを移動する▶◉
3 貼り付ける位置にカーソルを移動する▶＊を1秒以上押す

文字入力例

例)「今日のテニス3時🎾」

1 文字入力画面で2 2回▶◯▶[今日]▶◉

● ダイヤルボタンでひらがなを入力します。押す回数で文字が変わります。
● ひらがなを1文字入力するたびに、変換する候補が表示され、選択できます。
● ✉で小文字変換されます。
● 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、◯を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを1秒以上押します。

2 ◯▶[の]▶◉
3 4 5 3▶◯▶[テニス]▶◉
● ◯でワンタッチ変換されます。
4 ✉5回▶◉▶3
● ✉5回で半角数字モードになります。
5 ✉2回▶◉▶3 2回▶＊▶◯▶[時]▶◉
● ＊で濁点が付きます。

6 ｉ(絵・記号)▶[🎾]▶◉

文字の設定(フォント)を変える

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[文字表示設定]▶[フォント(書体)設定]▶フォント
LCゴシックにするとき:[LCゴシック]
SH平成明朝にするとき:[SH平成明朝]
SHクリスタルタッチにするとき:[SHクリスタルタッチ]

文字のサイズを変える

1 待受画面で◉▶[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[文字表示設定]▶[文字サイズ設定]▶[個別設定]▶[文字入力]▶◉▶文字の大きさ▶◉▶[はい]
一括設定のとき:待受画面で5を1秒以上押す

<切り取り線>

カメラ

静止画撮影

1 待受画面で📷▶⦿(📷)▶⦿(保存)

■ パノラマ撮影

1 静止画撮影画面で✉(パノラマ)▶⦿(📷)▶FOMA端末を左右どちらかに動かす▶⦿(終了)▶⦿(保存)

動画撮影

1 静止画撮影画面で📷▶[カメラモード切替]▶[動画]▶⦿(録画)▶(録画)▶⦿(停止)▶[保存]

静止画を表示する

1 待受画面で⦿▶[データBOX]▶[マイピクチャ]▶フォルダ▶⦿▶静止画▶⦿

動画を再生する

1 待受画面で⦿▶[データBOX]▶[ｉモーション]▶フォルダ▶⦿▶動画▶⦿

ワンセグを見る

自動チャンネル設定をする

1 待受画面で⦿▶[ワンセグ]▶[チャンネル設定]
2 登録先番号▶📷▶[自動チャンネル設定]▶[はい]
3 地域▶⦿▶都道府県／地区▶⦿
4 ⦿▶[はい]

チャンネルリストを選択する

1 待受画面で⦿▶[ワンセグ]▶[チャンネル設定]▶チャンネルリスト▶⦿(設定)

ワンセグを見る

1 待受画面で◌(TV)
ビデオ録画するとき:ワンセグ視聴中にⓘを1秒以上押す▶(録画)▶ⓘ(停止)
静止画録画するとき:ワンセグ視聴中にⓘ

ビデオを見る

1 待受画面で⦿▶[データBOX]▶[ワンセグ]▶ビデオファイル▶⦿

音楽再生

ミュージックプレーヤーで再生する

1 待受画面で⦿▶[データBOX]▶[ミュージック]▶データ種別

着うたフル®	[ｉモード]▶音楽データ▶⦿
WMAファイル	[WMA]▶フォルダ種別▶⦿▶フォルダ▶⦿▶音楽データ▶⦿
[マルチメディア]内データ	[ｉモード]▶✉(→microSD)▶[マルチメディア]▶音楽データ▶⦿
プレイリスト	[プレイリスト]▶プレイリスト▶✉(再生)

再生中のボタン操作

一時停止	⦿
停止	✉
音量調節	○／○
前の曲に戻す／頭出し	○
次の曲を再生	○
ミュージックプレーヤー終了	CLR／◌▶[はい]

メール

ｉモードメールの作成・送信

メール作成＜新規＞
宛先
題名
（添付なし）
本文 0.0KB

1 待受画面で✉を1秒以上押す▶[宛先]▶⦿
2 [直接入力]▶宛先を入力▶⦿
電話帳から選択するとき:[電話帳検索]▶相手▶⦿
メール送信／メール受信履歴から選択するとき:[メール送信履歴]／[メール受信履歴]▶相手▶⦿▶⦿
メールメンバーから選択するとき:[メールメンバー]▶メンバー▶⦿
3 [題名]▶⦿▶題名を入力▶⦿▶[本文]▶⦿▶本文を入力▶⦿▶ⓘ(送信)

■ 本文に現在地情報のURLを貼り付ける

1 本文入力画面で📷▶[位置情報]▶[現在地確認から付加]▶⦿▶[はい]

デコメールを送る

1 本文入力画面で✉(デコレーション)▶装飾の種類▶装飾を指定▶文字を入力▶📷▶[プレビュー]▶⦿(確認)▶⦿▶ⓘ(送信)

ファイルを添付する

1 待受画面で✉を1秒以上押す▶添付ファイル欄▶⦿▶添付するファイル

[イメージ]▶フォルダ▶⦿▶画像▶ⓘ
[メロディ]▶フォルダ▶⦿▶メロディ▶ⓘ
[ｉモーション]▶フォルダ▶⦿▶動画／ｉモーション▶ⓘ
[トルカ]▶フォルダ▶⦿▶トルカ▶ⓘ
[PDF]▶フォルダ▶⦿▶PDFデータ▶ⓘ
[電話帳]▶[本体]▶名前▶⦿
[スケジュール]▶[本体]▶日▶ⓘ▶スケジュール▶⦿
[Bookmark]▶[ｉモード]／[フルブラウザ]▶フォルダ▶⦿▶ブックマーク▶⦿
[ドキュメント]▶ファイル▶ⓘ
[その他]▶フォルダ▶⦿▶ファイル▶⦿

SMS作成・送信

1 待受画面で✉▶[新規SMS作成]▶[宛先]▶⦿▶[直接入力]▶宛先を入力▶⦿▶[本文]▶⦿▶本文を入力▶⦿▶ⓘ(送信)

メール自動受信

1 メールが届くと自動的に受信する
2 [メール]▶⦿▶フォルダ▶⦿▶メール▶⦿
● 受信したメールが表示されます。

メール選択受信設定

1 待受画面で✉▶[メール選択受信]▶[メール選択受信設定]▶[ON]▶[はい]

ｉモード問い合わせ

1 待受画面で✉▶[ｉモード問い合わせ]
SMSのとき:✉▶[SMS問い合わせ]

ｉモードメールに返信する

1 ｉモードメールを表示▶📷▶[返信／転送]
2 [返信]
受信メールの本文を引用して返信するとき:[引用返信]
3 メールを作成・送信

ｉモードメールを転送する

1 ｉモードメールを表示▶📷▶[返信／転送]▶[転送]
2 メールを作成・送信

メニュー一覧

カスタムメニューから選ぶ

1 待受画面で⦿▶カスタムメニューからメニュー▶⦿▶機能▶⦿

カスタムメニュー／基本メニューの切替

1 カスタムメニュー画面で✉(基本呼出)
基本メニューのとき:✉(カスタム呼出)

機能番号で呼び出す

1 待受画面で⦿▶基本メニューで機能番号

音

1 音・バイブ・マナー	1 音量選択	着信音量選択、メール着信音量選択、プッシュトーク着信音量選択、ボタン／待受ｉモーション音、充電開始音、充電完了音、タイマー音、GPS音量選択
	2 音選択	着信音選択、メール着信音選択、プッシュトーク着信音選択、シャッター音、タイマー音、GPS音選択
	3 バイブレータ設定	着信バイブレータ、メール着信バイブレータ、GPSバイブレータ
	4 マナーモード設定	ON(通常マナーモード、サイレントマナーモード、オリジナルマナーモード)、OFF
	5 イヤホン切替設定	
	6 着信鳴動時間設定	メール鳴動時間設定、プッシュトーク鳴動時間設定、GPS鳴動時間設定
	7 呼出動作開始時間設定	
	8 保留・応答保留音	応答保留音、保留音

<切り取り線>

1 音・バイブ・マナー	9音再生設定	メロディステレオ効果、メロディイコライザ設定、音楽起動設定

表示

2 表示・ランプ・省電力	1画面設定	待受画面設定、待受時計表示設定、カレンダー表示設定、卓上時計設定
	2文字表示設定	フォント（書体）設定、文字サイズ設定
	3テーマ・各種画面設定	きせかえツール、発着信画面設定、メール送受信画面設定、サブメニュー画像設定、ダイヤル画像設定、お知らせウィンドウアニメ、電波／電池／小時計マーク、カラーテーマ設定
	4ランプ設定	着信ランプ、メールランプ、通話中ランプ、アラーム／タイマーランプ、ＩＣカードランプ、開閉連動ランプ、お知らせランプ、GPSランプ
	5表示画質設定	鮮やか画質モード設定、シーン別制御

2 表示・ランプ・省電力	6照明・省電力設定	通常モード（明るさ自動）、通常モード（明るさ固定）、Ecoモード（省電力）、オリジナルEcoモード
	7プライベートフィルタ設定	マナーモード連動、フィルタ濃度設定
	8メニュー優先設定	

一般設定

3 一般設定	1確認	所有者情報、メモリ確認、電池残量確認、設定状況確認
	2文字入力設定	ユーザ辞書、ダウンロード辞書、定型文編集、変換学習クリア
	3自動電源ON／OFF	自動電源ON、自動電源OFF、アラーム連動電源ON
	4日時設定	
	5Bilingual	
	6TOUCH CRUISER設定	利用設定、ポインタ速度設定、スクロール速度設定、ダブルタップ速度設定
	7USBモード設定	
	8スキャン機能	パターンデータ更新、自動更新設定、スキャン機能設定、バージョン表示

3 一般設定	9ソフトウェア更新
	0設定リセット

NWサービス

4 NWサービス	1留守番電話	メッセージ問合せ、留守番メッセージ再生、留守番電話サービス開始、留守番呼出時間設定、留守番サービス停止、留守番設定確認、留守番サービス設定、件数お知らせ設定、着信通知
	2キャッチホン	キャッチホンサービス開始、キャッチホンサービス停止、キャッチホンサービス設定確認
	3転送でんわ	転送サービス開始、転送サービス停止、転送先変更、転送先通話中時設定、転送サービス設定確認
	4迷惑電話ストップ	迷惑電話着信拒否登録、電話番号指定拒否登録、迷惑電話全登録削除、迷惑電話１登録削除、拒否登録件数確認
	5発信者番号通知	設定確認、発信者番号通知設定

4 NWサービス	6番号通知お願いサービス	番号通知サービス開始、番号通知サービス停止、サービス設定確認
	7通話時間／料金確認	
	82in1設定	モード切替、電話帳2in1設定、モード別待受画面設定、発着信番号設定、2in1機能OFF、着信回避設定
	9通話中着信	通話中着信設定、通話中着信動作選択

その他のNWサービス

5 その他のNWサービス	1遠隔操作設定	遠隔操作開始、遠隔操作停止、遠隔操作設定確認
	2デュアルネットワーク	デュアルネットワーク切替、デュアルネットワーク状態確認
	3英語ガイダンス	ガイダンス設定、ガイダンス設定確認
	4サービスダイヤル	ドコモ故障問合せ、ドコモ総合案内・受付
	5追加サービス	USSD登録、応答メッセージ登録
	6マルチナンバー	通常発信番号設定、通常発信番号設定確認、電話番号設定

5 その他のNWサービス	7着もじ	メッセージ作成、メッセージ表示設定
	8ローミングガイダンス設定	ローミングガイダンス開始、ローミングガイダンス停止、ローミングガイダンス確認

通話・通信機能設定

6 通話・通信機能設定	1通話中設定	ノイズキャンセラ、再接続機能、通話品質アラーム
	2イヤホンスイッチ発信設定	
	3着信時設定	エニーキーアンサー、オート着信設定、メロディコール設定
	4テレビ電話設定	音声自動再発信、送信画像設定、テレビ電話画面設定、子画面表示位置、送信画質設定、テレビ電話切替機能通知、テレビ電話ハンズフリー設定、パケット通信中着信設定
	5伝言メモ設定	伝言メモ設定、伝言応答時間、応答メッセージ、テレビ電話時応答画像
	6プッシュトーク設定	PT通信中着信設定、PTハンズフリー設定

6 通話・通信機能設定	7クローズ動作設定	電話／テレビ電話、プッシュトーク
	8セルフモード	
	9その他の設定	プレフィックス設定、サブアドレス設定、国際ダイヤルアシスト設定、国際ローミング設定、在圏状態表示

セキュリティ

7 セキュリティ	1シークレットモード	
	2FOMAカード（UIM）設定	PIN1コード入力設定、PIN1コード変更、PIN2コード変更
	3着信拒否／許可設定	電話帳指定着信許可、電話帳指定着信拒否、電話帳登録外、非通知設定、公衆電話、通知不可能
	4発着信履歴表示	着信履歴表示、リダイヤル表示
	5メール履歴表示	メール送信履歴表示、メール受信履歴表示

7 セキュリティ	6ロック設定	オールロック、ダイヤル発信制限、機能別ロック、ＩＣカードロック設定、まとめて簡単ロック設定、まとめて自動ロック
	7端末暗証番号変更	
	8手書き認証設定	
	9データ一括削除	ユーザデータ削除、シークレットデータ削除

その他の設定

8初期設定
0電話番号表示

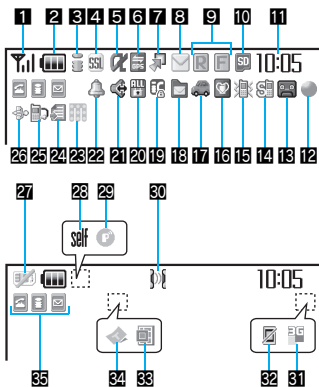
アプリケーション

91 データBOX	1マイピクチャ
	2ミュージック
	3Music&Videoチャネル
	4iモーション
	5ワンセグ
	6メロディ
	7マイドキュメント
	8きせかえツール
	9キャラ電
	0プリント指定（DPOF）

92 LifeKit	1バーコードリーダー	
	2赤外線受信	
	3microSD管理	microSDデータ参照、バックアップ／復元、インポート、管理情報の更新、フォーマット、USBモード設定
	4GPSメニュー	現在地確認、対応ｉアプリ、位置履歴、現在地確認設定、現在地通知／設定、位置提供設定
	5名刺リーダー	
	6スケジュール	
	7電卓	
	8テキストメモ	
	9タイマー・アラーム	タイマー、アラーム、お目覚めTV
	0音声／伝言メモ	
	*文字読み取り	
	#電話帳お預かりサービス	
93 メディアツール	1ボイスレコーダー	
	2マンガ・ブックリーダー	
	3ドキュメントビューア	
	4PDF対応ビューア	
94MUSICメニュー		
95おサイフケータイメニュー		
96ワンセグメニュー		

＜切り取り線＞

その他の機能

マナーモード　設定／解除	#を１秒以上押す
公共モード（ドライブモード）設定／解除	＊を１秒以上押す
まとめて簡単ロック　設定／解除	⦿を１秒以上押す
リダイヤルの表示	
着信履歴の表示	
ｉチャネル情報表示	[CLR]（ch）／[CLR]（ch）を１秒以上押す
アクティブマーカー	
ｉモードメニューの表示	
ｉアプリソフト一覧画面の表示	（iα）を１秒以上押す
伝言メモ／音声メモの起動	⑦を１秒以上押す
文字サイズ設定　一括拡大／一括標準	⑤を１秒以上押す
メールメニューの表示	
電話帳の表示	
カメラ（静止画モード）起動	
カメラ（動画モード）起動	静止画撮影画面で ▶［カメラモード切替］▶［動画］
データBOXメニューの表示	を１秒以上押す
サポートブック	待受画面で[MULTI]

マルチアシスタント（マルチタスク）の起動	アプリ実行中に[MULTI]
ショートカットメニューの表示	
ショートカットメニューの登録	［ ］が表示されている画面で[MULTI]を１秒以上押す
受話音量変更	通話中に／
ボタン操作無効／解除	（P）を１秒以上押す
プライベートフィルタ設定　設定／解除	（ ）を１秒以上押す
ミュージックプレーヤーの起動	ビューアポジション／FOMA端末を閉じた状態で（Eco）を１秒以上押す

ネットワークサービス

※ 確認画面が表示されたときは、［はい］を選んで⦿を押してください。

留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション（月額使用料：有料）サービスです。

1 待受画面で⦿ ▶［設定］▶［NWサービス］▶［留守番電話］
2 ［留守番電話サービス開始］▶［留守番電話サービス開始］
サービスを停止するとき：［留守番サービス停止］
メッセージを再生するとき：［留守番メッセージ再生］
メッセージを確認するとき：［メッセージ問合せ］

キャッチホン

お申し込みが必要なオプション（月額使用料：有料）サービスです。

1 待受画面で⦿ ▶［設定］▶［NWサービス］▶［キャッチホン］
2 ［キャッチホンサービス開始］
サービスを停止するとき：［キャッチホンサービス停止］
設定を確認するとき：［キャッチホンサービス設定確認］

■ 通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」▶ ▶ 通話 ▶ ▶ ▶ 通話

転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション（月額使用料：無料）サービスです。

1 待受画面で⦿ ▶［設定］▶［NWサービス］▶［転送でんわ］
2 ［転送サービス開始］
サービスを停止するとき：［転送サービス停止］
設定を確認するとき：［転送サービス設定確認］
3 ［転送先電話番号入力］▶［直接入力］▶ 転送先電話番号を入力 ▶ ⦿ ▶［呼出秒数設定］▶ 呼出秒数を入力 ▶ ⦿ ▶［転送サービス開始］

番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます（月額使用料：無料）。

1 待受画面で⦿ ▶［設定］▶［NWサービス］▶［番号通知お願いサービス］
2 ［番号通知サービス開始］
サービスを停止するとき：［番号通知サービス停止］
設定を確認するとき：［サービス設定確認］

マーク一覧

ディスプレイ上部

10:05

1		電波状態表示
2	／	電池残量／充電中表示
3		ｉモード／フルブラウザ表示
4		SSL表示
5		ｉアプリ表示
6		GPS表示
7		ショートカットメニュー表示
8		ｉモードメール／SMS／エリアメール受信表示
9		メッセージR／Fアイコン表示
10		microSDメモリーカード表示
11	時計表示	
12		ワンセグ録画中表示
13		伝言メモ表示
14		サイレント表示
15		バイブレータ表示
16		マナーモード表示
17		公共モード（ドライブモード）表示

18		ｉモードメールセンター保管状態表示
19		ＩＣカードロック表示
20		制限表示
21	／	ハンズフリー表示／ミュート通話中
22		アラーム表示
23		Music&Videoチャネル番組予約表示
24		ｉモードメール送信予約表示
25		イヤホンマイク接続表示
26		USBモード表示
27	／	FOMAカードエラー表示
28		セルフモード表示
29		プッシュトーク表示
30		赤外線通信／外部機器通信中表示
31		３G／GSM表示
32		プライベートフィルタ表示
33		マンガ表示設定状態表示
34		トルカ表示
35	マルチタスク表示	

※ 表示されるマークの詳しい説明は、取扱説明書のP.28～P.30を参照してください。

<紛失時などの緊急連絡先>

おまかせロック

※おまかせロックは有料サービスです。
ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合、無料になります。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360
24時間受付

その他緊急連絡先

<連絡先：　　　　>

<連絡先：　　　　>

<連絡先：　　　　>

※ ダイヤル番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

<切り取り線>

NTT DoCoMo **FOMA SH905i**

クイックマニュアル「海外利用編」

海外での紛失、盗難、精算などについて <DoCoMo インフォメーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表1)	**-81-3-5366-3114*(無料)**

＊ 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ SH905iから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します)。

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)	**-800-0120-0151***

＊ 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号(表1)/ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、P.13、P.14をご覧ください。

海外での故障に関して <ネットワークテクニカルオペレーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表1)	**-81-3-6718-1414*(無料)**

＊ 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ SH905iから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します)。

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)	**-800-5931-8600***

＊ 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号(表1)/ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、P.13、P.14をご覧ください。

海外で利用するための準備

iモードの設定

■ **日本で設定する**

1 待受画面で▤▶[iMenu]▶[料金&お申込・設定]▶[オプション設定]▶[海外利用設定]▶[iモード利用設定]▶[利用する]▶iモードパスワードを入力▶◉▶[決定]

■ **海外で設定する**

1 待受画面で▤▶[iMenu]▶[海外利用設定]▶[iモード利用設定]▶[利用する]▶iモードパスワードを入力▶◉▶[決定]

遠隔操作の設定

■ **日本で設定する**

1 待受画面で◉▶[設定]▶[その他のNWサービス]▶[遠隔操作設定]▶[遠隔操作開始]▶[はい]

■ **海外で設定する**

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[遠隔操作設定(海外)]▶[はい]▶音声ガイダンスに従って操作

自動的に時差補正する

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[日時設定]▶[自動時刻時差補正]▶[ON]▶▤

タイムゾーンを手動で設定する

1 待受画面で◉▶[設定]▶[一般設定]▶[日時設定]▶[自動時刻時差補正]▶[OFF]

2 📷(都市設定)▶タイムゾーン▶◉▶都市▶◉▶▤

利用できるネットワーク

3Gネットワーク	利用可
GSMネットワーク	利用可
GPRSネットワーク	利用可

ネットワーク通信方式を設定する

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[3G/GSM切替]▶[自動]/[3G]/[GSM/GPRS]

海外で利用できるサービス

通信サービス	説　明
音声電話	海外でも同じ携帯電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本やその他の国への国際電話発信ができます。
テレビ電話	海外の特定3G通信事業者ユーザや、日本のFOMAユーザと国際テレビ電話を利用できます。
iモードメール	海外でも同じアドレスのまま、iモードメールの送受信ができます。
iモード	海外でもiモードを利用できます。
iチャネル	海外でもiチャネルを利用できます。
SMS	海外でも同じ携帯電話番号のまま、SMSの送受信ができます。
データ通信(パケット通信)	海外でもパケット通信を利用できます。

通信事業者の検索方法の設定

ネットワークサーチ設定

お買い上げ時の設定:オート(通信事業者を自動で切替)

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[ネットワークサーチ設定]

2 [オート]▶[はい]

通信事業者を手動で切替:[マニュアル]▶通信事業者▶◉

■ **接続先のネットワークを再検索する**

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[ネットワークサーチ設定]▶[ネットワーク再検索]

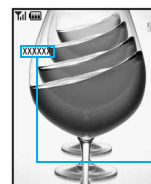
- ネットワークサーチ設定が[オート]の場合、自動的に接続先が切り替わります。
- ネットワークサーチ設定が[マニュアル]の場合、通信事業者の一覧が表示されます。通信事業者を選択します。

優先的に接続する通信事業者の設定

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[ネットワークサーチ設定]▶[優先ネットワーク設定]▶優先順位の番号▶📷

2 [マニュアル登録]▶国番号(MCC)を入力▶◉▶ネットワークコード(MNC)を入力▶◉▶[3G]/[GSM]/[3G及びGSM]▶[はい]

通信事業者リストから登録するとき:[リストから登録]▶通信事業者▶◉▶[3G]/[GSM]/[3G及びGSM]▶[はい]
現在接続中の通信事業者を登録するとき:[在圏ネットワーク登録]▶[はい]
優先順位を変更するとき:[優先順位変更]▶移動先▶◉▶[はい]

通信事業者名を待受画面に表示

通信事業者名

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[オペレータ名表示設定]▶[表示あり]▶[はい]

帰国後の設定

ネットワークサーチ設定を[オート]に設定している場合は、帰国後にFOMA端末の電源を入れると自動的にFOMAネットワーク(DoCoMo)に設定されます。

■ **手動でFOMAネットワーク(DoCoMo)に設定する**

1 待受画面で◉▶[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[ネットワークサーチ設定]

2 [マニュアル]▶[DoCoMo]

<切り取り線>

電話をかける

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

■「+」を利用して国際電話をかける

1 待受画面で0を1秒以上押す▶国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号を入力▶（音声電話）／（テレビ電話）▶［はい］

日本に国際電話をかける場合は、国番号に「81」を入力してください。

地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにかける場合は、「0」が必要です。

■ 自動国番号変換を利用して滞在国外に国際電話をかける

電話番号の先頭の「0」が、自動国番号変換設定で設定している国番号に自動的に変換されます。

例：電話帳から発信する場合

1 待受画面で▶相手を選ぶ▶（音声電話）／（テレビ電話）▶［発信］

■ 国際電話発信

国番号設定で国番号を登録しておくと、発信時に国番号を選択して国際電話をかけることができます。

次の操作は、海外でのみ有効です。

1 待受画面で電話番号を入力▶▶［番号付加設定］▶［国際電話発信］▶国番号を選ぶ▶⦿▶（音声電話）／（テレビ電話）

滞在国内に電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力▶（音声電話）／（テレビ電話）

■ 電話帳を利用して滞在国内に電話をかける

1 待受画面で▶相手を選ぶ▶（音声電話）／（テレビ電話）▶［元の番号で発信］▶⦿

■ 海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

滞在国内であっても、相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、日本への国際電話として電話をかけてください。

1 待受画面で0を1秒以上押す▶81▶先頭の「0」を除いた相手先電話番号を入力▶（音声電話）／（テレビ電話）▶［はい］

電話を受ける

1 電話がかかってきたら

■ 日本から滞在先に電話をかけてもらう

日本国内にいるときと同様にお客様の電話番号を入力して発信

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう

発信国の国際アクセス番号-81-先頭の「0」を除いたお客様の電話番号を入力して発信

ローミングガイダンス設定

日本国内で設定してください。

※ 確認画面が表示されたときは、［はい］を選んで⦿を押してください。

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［その他のNWサービス］▶［ローミングガイダンス設定］

2 ［ローミングガイダンス開始］

ガイダンスを停止するとき：［ローミングガイダンス停止］
設定を確認するとき：［ローミングガイダンス確認］

ローミング時着信規制

● 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［その他の設定］▶［国際ローミング設定］▶［ローミング時着信規制］

2 ［ローミング時着信規制開始］▶［全着信規制］／［TV／64Kデータ着信規制］▶ネットワーク暗証番号を入力▶⦿

着信規制を停止するとき：［ローミング時着信規制停止］▶ネットワーク暗証番号を入力▶⦿
設定を確認するとき：［ローミング時着信規制確認］

ネットワークサービスの利用

● 海外でネットワークサービスを利用する場合は、遠隔操作設定を「開始」に設定してください。

※ 確認画面が表示されたときは、［はい］を選んで⦿を押してください。

留守番電話（海外）

● 音声ガイダンスに従って操作してください。

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［その他の設定］▶［国際ローミング設定］▶［留守番電話（海外）］

2 ［留守番サービス開始］

サービスを停止するとき：［留守番サービス停止］
メッセージを再生するとき：［留守番メッセージ再生］
サービスを設定するとき：［留守番サービス設定］

転送でんわ（海外）

● 音声ガイダンスに従って操作してください。

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［その他の設定］▶［国際ローミング設定］▶［転送でんわ（海外）］

2 ［転送サービス開始］

サービスを停止するとき：［転送サービス停止］
サービスを設定するとき：［転送サービス設定］

ローミングガイダンス（海外）

1 待受画面で⦿▶［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［その他の設定］▶［国際ローミング設定］▶［ローミングガイダンス（海外）］▶音声ガイダンスに従って操作

主要国の国番号

国際電話を利用するときや、国際ダイヤルアシスト設定を行うときなどに入力する「国番号」は、以下の番号を使用してください。

（2008年3月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	中国	86
イギリス	44	ドイツ	49
イタリア	39	トルコ	90
インド	91	日本	81
インドネシア	62	ニューカレドニア	687
エジプト	20	ニュージーランド	64
オーストラリア	61	ノルウェー	47
オーストリア	43	ハンガリー	36
オランダ	31	フィジー	679
カナダ	1	フィリピン	63
韓国	82	フィンランド	358
ギリシャ	30	フランス	33
シンガポール	65	ブラジル	55
スイス	41	ベトナム	84
スウェーデン	46	ペルー	51
スペイン	34	ベルギー	32
タイ	66	香港	852
台湾	886	マカオ	853
タヒチ（仏領ポリネシア）	689	マレーシア	60
		モルディヴ	960
チェコ	420	ロシア	7

※ この他の国番号および詳細については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

主要国の国際電話アクセス番号（表1）

主要国の国際電話アクセス番号は以下のとおりです。

（2008年3月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	ドイツ	00
アメリカ合衆国	011	トルコ	00
アラブ首長国連邦	00	ニュージーランド	00
イギリス	00	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
インド	00	フィリピン	00
インドネシア	001	フィンランド	00
オーストラリア	0011	フランス	00
オランダ	00	ブラジル	0021／0014
カナダ	011		
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810
デンマーク	00		

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は以下のとおりです。

（2008年3月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フランス	00
オーストリア	00	ブラジル	0021
オランダ	00	ベルギー	00
カナダ	011	香港	001
韓国	001	マレーシア	00
コロンビア	009	ルクセンブルク	00
シンガポール	001	ハンガリー	00
スイス	00	フィンランド	990
スウェーデン	00	ブルガリア	00
スペイン	00	ペルー	00
タイ	001	ポルトガル	00
台湾	00	南アフリカ	09

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル「海外利用編」表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP.1「海外での故障に関して」までお問い合わせください。

● 各お問い合わせ先電話番号の前に、滞在先の「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号」のダイヤルが必要になります。

<切り取り線>

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

★航空機内　★病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

※やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気を付けましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード（☞P.127）／オリジナルマナーモード（☞P.128）

ボタン／待受ｉモーション音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消し、伝言メモが機能します（マナーモード）。マナーモード設定時に、自動的に設定される機能（伝言メモ、バイブレータ、マイク感度アップ、着信音、メール着信音、アラーム音、ボタン／待受ｉモーション音、電池残量警告音）のON（設定）／OFF（解除）を設定することもできます（オリジナルマナーモード）。

●公共モード（ドライブモード）（☞P.71）

電話をかけてきた相手の方に、運転中のため電話に出られないことをお知らせするガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので、安全に運転できます。

●着信バイブレータ（☞P.125）

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

●伝言メモ（☞P.74）

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス（☞P.430）、転送でんわサービス（☞P.433）などのオプションサービスが利用できます。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

i モードから	i Menu ▶ 料金&お申込・設定 ▶ 各種手続き（ドコモeサイト）	パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種手続き（ドコモeサイト）	

※ i モードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ i モードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※ 「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先 <DoCoMo インフォメーションセンター>

■ ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151（無料）

※ 一般電話などからはご利用できません。

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113（無料）

※ 一般電話などからはご利用できません。

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて <DoCoMo インフォメーションセンター>（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） -81-3-5366-3114*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SH905iから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） -800-0120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P.451をご覧ください。

海外での故障に関して <ネットワークテクニカルオペレーションセンター>（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） -81-3-6718-1414*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SH905iから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） -800-5931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P.451をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元　シャープ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

再生紙を使用しています

'08.4（7版）
TINSJA346AFZE
08D 37.4 DS SM532⑦

FOMA® SH905i パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA SH905iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

'07.11(1版)

データ通信について

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の３つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をmusea、sigmarionⅡ、sigmarionⅢと接続してデータ通信を行うことができます。ただし、送受信ともに最大384kbpsとなります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。musea、sigmarionⅡを使用する場合は、アップデートしてご利用ください。
アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページを参照してください。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- 海外では64Kデータ通信を利用できません。

■ パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたができます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、送信最大384kbps、受信最大3.6Mbpsの速度でデータ通信できます（通信環境や、電波などが混み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です）。
パケット通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。
データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。
FOMA端末では、パソコンなどによるパケット通信と音声電話を同時に利用できます。

- FOMAハイスピードエリア外では送受信ともに最大384kbpsとなります。

■ 64Kデータ通信

接続している時間に応じて課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。
64Kデータ通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。データBOXコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
長時間通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

■ データ転送

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）や赤外線を使ってデータを転送、交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳、送受信メール、ブックマークなどのデータを送受信できます。
FOMA端末と他のFOMA端末や携帯電話を接続する場合は、赤外線通信を使います。パソコンなどを接続する場合は、赤外線通信とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を使う方法があります。

ご利用にあたっての留意点

■ インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料ですが、通信速度は送受信ともに最大384kbpsまでとなります。

■ 接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは、FOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

■ ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダ、または接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でデータ通信（パケット通信／64Kデータ通信）を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01に対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、前述の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況などにより通信ができないことがあります。

お知らせ

- パケット接続を行う場合は、FOMA端末と接続する機器がJATE（財団法人電気通信端末機器審査協会）の認定品である必要があります。

ご使用になる前に

動作環境の確認

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	必要環境	
	FOMA通信設定ファイル FOMA PC設定ソフト	FirstPass PCソフト
パソコン本体	PC/AT互換機 USBポート（USB仕様1.1/2.0に準拠）が必要	PC/AT互換機
OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版）	
必要メモリ※	Windows 2000：64MB以上 Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上	Windows 2000：32MB以上 Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量※	5 MB以上の空き容量	10MB以上の空き容量
ブラウザ	－	Windows 2000、Windows XP：Internet Explorer 6.0以上 Windows Vista：Internet Explorer 7.0

※ 必要メモリ・ハードディスク容量は、「FOMA PC設定ソフト」と「FirstPass PCソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer 6.0以上です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は、次の手順で操作してください。

  Windows XP、Windows 2000の場合

  Windowsの［スタート］メニューで［ファイル名を指定して実行］をクリックし、［<CD-ROMドライブ名>：index.html］と指定して［OK］をクリックします。

  Windows Vistaの場合

  Windowsの［スタート］メニューで［検索の開始］欄に［<CD-ROMドライブ名>：index.html］と指定し、検索結果欄に表示された［index.html］をクリックします。
- OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

CD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告はInternet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
［はい］をクリックしてください。

※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境によって異なる場合があります。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）、またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- CD-ROM「FOMA SH905i用CD-ROM」（付属）

お知らせ

- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01」、または「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- 本書では、「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01」の場合で説明しています。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ データ通信用語集

APN(Access Point Name)
インターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。ドコモのインターネット接続サービスmopera Uは「mopera.net」、moperaは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

cid(Context Identifier)
FOMA端末にAPNを登録するときに割り当てる登録番号。FOMA端末では1番から10番まで使えます。

DNS(Domain Name System)
ドメインネーム(例:nttdocomo.co.jp)を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

HSDPA
HSDPA(High Speed Downlink Packet Access)は第3世代(3G)携帯電話方式「W-CDMA」のデータ通信を高速化した規格です。

IrDA(Infrared Data Association)
赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。

IrMC(Ir Mobile Communications)
携帯電話どうしやPDA(携帯情報端末)間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMCに準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしやPDAとの間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。

OBEX(Object Exchange)
データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データを送受信できます。

QoS(Quality of Service)
サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます(☞P.32、P.38、P.39)。

W-CDMA
世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム(IMT-2000)の1つ。FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

通信設定最適化
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

パソコンの管理者権限を持ったユーザー
OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

接続する(☞P.26)

※ FOMAでインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」(お申し込み必要)が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。

FOMA通信設定ファイルについて

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、付属のCD-ROMからFOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります（☞P.4～P.7）。

お知らせ

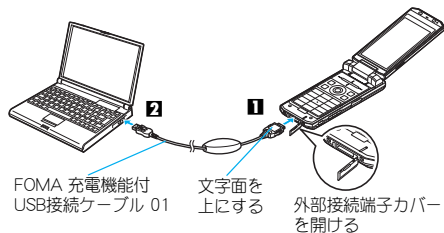
- インストールに失敗してP.5「インストールしたFOMA通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」の操作3の各画面で[FOMA SH905i]のデバイス名が表示されていない場合は、FOMA通信設定ファイルをアンインストールし（☞P.6）、もう一度インストールしてください。
- 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、FOMA通信設定ファイルをアンインストールし（☞P.6）、もう一度インストールしてください。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信や、64Kデータ通信に必要なさまざまな設定を、簡単に行うことができます（☞P.7）。
また、FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末より取得したユーザ証明書を利用してパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにしたものです。
詳しくは付属のCD-ROM内のFirstPassManualをご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。

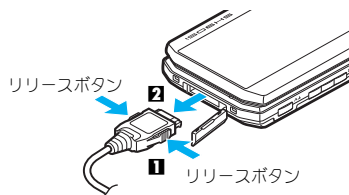
パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。FOMA通信設定ファイルがインストールされている場合には、FOMA端末の画面に[ ]が表示されます。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01で接続する

1 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01（別売）のFOMA端末側コネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む（1）。

2 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01のパソコン側コネクタをパソコンのUSBコネクタに差し込む（2）。

取り外しかた

1. FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01のFOMA端末側のリリースボタンを押した状態（1）で、FOMA端末からコネクタを水平に引き抜く（2）。無理に引っ張ると故障の原因となります。

2. パソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01のコネクタを抜く。

お知らせ

- FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら接続することもできます。
- データ通信中にFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を外さないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

FOMA通信設定ファイルをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、FOMA通信設定ファイルが必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、インストールしておきます。

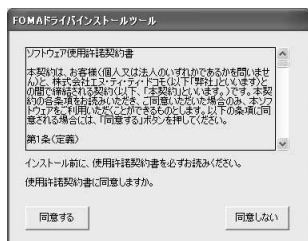
FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

- パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。
- FOMA端末は操作1～3を行ったあとにパソコンに接続してください。

1 付属のCD-ROMをパソコンにセットする。

- TOP画面が表示されます。

2 [データリンクソフト・各種設定ソフト]→[FOMA通信設定ファイル(USBドライバ)]欄の[インストール]を順にクリックし、[FOMAinst.exe]をダブルクリックする。

3 内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は[同意する]をクリックする。

- FOMAドライバインストールツールの使用許諾契約書です。[同意しない]をクリックすると、インストールは中止されます。

4 [FOMAをパソコンに接続してください。]が表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続する。

- インストール中の画面が表示され、インストールが自動的に開始します。
- FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。

5 [FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールが完了しました。]が表示されます。

- FOMA通信設定ファイルのインストールが終了します。

6 引き続き、FOMAバイトカウンタをインストールする場合は、[インストールする(推奨)]をクリックする。

- セットアップ画面が表示されますので、画面の指示に従ってインストールしてください。

7 [InstallShield Wizardの完了]の画面で[完了]をクリックする。

- FOMAバイトカウンタソフトが起動します。

お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- パソコンを再起動する旨の画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。
- FOMA通信設定ファイルをインストールする前にパソコンにFOMA端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされてしまう場合があります。その場合、操作2でアンインストールする必要がある旨の画面が表示されます。画面の指示に従ってアンインストールを行ったあと、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

インストールしたFOMA通信設定ファイル(ドライバ)を確認する

FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

<例>　Windows XPで確認するとき

- Windows Vista、Windows 2000をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 [スタート]メニュー→[コントロールパネル]をクリックし、[パフォーマンスとメンテナンス]アイコン→[システム]アイコンを順にクリックする。

- システムのプロパティ画面が表示されます。

Windows Vistaの場合

- [スタート]メニュー→[コントロールパネル]をクリックし、[システムとメンテナンス]→[システム]アイコンを順にクリックします。

Windows 2000の場合

- [スタート]メニュー→[設定]→[コントロールパネル]の順に選んで[システム]アイコンをダブルクリックします。

2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックする。

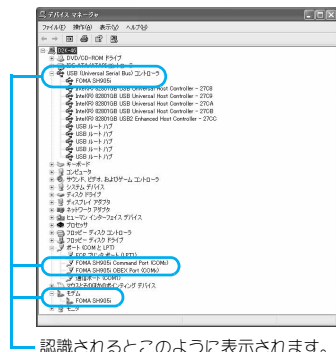
- デバイスマネージャ画面が表示されます。

Windows Vistaの場合

- [タスク]の[デバイスマネージャ]をクリックします。

3 各デバイスをクリックしてインストールされたデバイス名を確認する。

[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]、[ポート(COMとLPT)]、[モデム]の箇所に、インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。

認識されるとこのように表示されます。

● FOMA通信設定ファイルをインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイスの種類	デバイス名
USB(Universal Serial Bus)コントローラ Windows Vistaの場合 ユニバーサル シリアル バス コントローラ	● FOMA SH905i
ポート(COMとLPT)	● FOMA SH905i Command Port(COMx)※ ● FOMA SH905i OBEX Port(COMx)※
モデム	● FOMA SH905i

※「COMx」の「x」は数値です。お使いのパソコンによって異なります。

関連操作

インストールに失敗したとき、または操作3の画面に[FOMA SH905i]が表示されていないとき

● アンインストールしてから再度インストールしてください。アンインストールの操作については「FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をアンインストールする」を参照してください。

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をアンインストールする

FOMA通信設定ファイルのアンインストール手順を説明します。

● FOMA通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。
パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。

付属のCD-ROMからアンインストールする

<例> Windows XPでアンインストールするとき

● Windows Vista、Windows 2000をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 付属のCD-ROMをパソコンにセットする。

● TOP画面(☞P.5)が表示された場合は、画面を終了してください(閉じてください)。TOP画面はCD-ROMをパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。

2 [スタート]メニュー→[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

● [ファイル名を指定して実行]画面が表示されます。

Windows Vistaの場合

● [スタート]メニュー→[検索の開始]欄をクリックします。

3 [<CD-ROMドライブ名>:¥SH905i_USB_Driver¥Drivers¥SH905i¥Win2k_XP¥SH905ic.exe]と入力し、[OK]をクリックする。

Windows Vistaの場合

● [<CD-ROMドライブ名>:¥SH905i_USB_Driver¥Drivers¥SH905i¥WinVista32¥]と入力し、検索結果欄に表示された[sh905ic.exe]をクリックします。

4 [FOMA SH905i ドライバーのアンインストールを行います。]が表示されたら、[はい]をクリックする。

● FOMA通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

5 [アンインストールは完了しました。PCを再起動してください。]が表示されたら、[OK]をクリックし、パソコンを再起動する。

● FOMA通信設定ファイルのアンインストールが終了します。

コントロールパネルからアンインストールする

<例> Windows XPでアンインストールするとき

1 [スタート]メニュー→[コントロールパネル]をクリックし、[プログラムの追加と削除]アイコンをクリックする。

- [プログラムの追加と削除]画面が表示されます。

Windows Vistaの場合

- [スタート]メニュー→[コントロールパネル]の順にクリックし、[プログラム]→[プログラムと機能]アイコンを順にクリックします。
[プログラムのアンインストールまたは変更]画面が表示されます。

Windows 2000の場合

- [スタート]メニュー→[設定]→[コントロールパネル]の順に選んで、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。
[アプリケーションの追加と削除]画面が表示されます。

2 [FOMA SH905i USB]を選んで、[変更と削除]をクリックする。

Windows Vistaの場合

- [FOMA SH905i USB]をダブルクリックします。

3 [FOMA SH905i ドライバーのアンインストールを行います。]が表示されたら、[はい]をクリックする。

- FOMA通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

4 [アンインストールは完了しました。PCを再起動してください。]が表示されたら、[OK]をクリックし、パソコンを再起動する。

- FOMA通信設定ファイルのアンインストールが終了します。

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定

- 以降の操作は、Windows XPでの設定を中心に説明しています。Windows Vista、Windows 2000をご使用のときは、画面の表示が異なります。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。

かんたん設定

メニューに従って操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」や「通信設定最適化」などを簡単に行います。

通信設定最適化

[FOMAパケット通信]を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、通信設定最適化が必要となります。

接続先(APN)の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先(APN)の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN(Access Point Name)と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号(cid)を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時、cidの1番にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、cidの3番にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。

cid[Context Identifier]…
FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先(APN)を管理する番号のこと。FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

お知らせ

- FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます(☞P.18)。
- FOMA PC設定ソフトバージョン4.0.0以前の古いバージョン(以後、旧[FOMA PC設定ソフト])がインストールされている場合には、あらかじめ旧[FOMA PC設定ソフト]をアンインストールしてください。

■ FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

FOMA PC設定ソフトの動作環境をご確認ください(☞P.2)。

STEP 1　「FOMA PC設定ソフト」をインストールする
旧「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフト」(バージョン4.0.0)のインストールを行う前にアンインストールをしてください。
旧「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフト」(バージョン4.0.0)のインストールは行えません。
旧「W-TCP設定ソフト」および旧「APN設定ソフト」がインストールされているという画面が表示された場合は、P.10を参照してください。

STEP 2　設定前の準備
設定を行う前に以下のことを確認してください。
- FOMA端末とパソコンの接続(☞P.4)
- FOMA端末がパソコンに認識されているか(☞P.5)

FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行うことができません。その場合はFOMA通信設定ファイルのインストールを行ってください(☞P.4)。

STEP 3　かんたん設定で通信の設定を行う
- mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信(☞P.11)
- その他のプロバイダを利用したパケット通信(☞P.13)
- mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信(☞P.14)
- その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信(☞P.15)

その他の設定は、P.18以降を参照してください。

STEP 4　接続する(☞P.16)
インターネットに接続します。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトをインストールする

- FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトのインストールを行うときは、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。
  パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。
- インストールを始める前に、FOMA通信設定ファイル(ドライバ)がパソコンに正しく設定されていることを確認してください(☞P.5)。また、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがある場合は、FOMA PC設定ソフトの[キャンセル]をクリックし、使用中のプログラムを保存終了させたあと、インストールを再開してください。

1 付属のCD-ROMをパソコンにセットする。

- TOP画面が表示されます(☞P.5)。

2 [データリンクソフト・各種設定ソフト]→[FOMA PC設定ソフト]欄の[インストール]を順にクリックする。

- [インストール]をクリックすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告はInternet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
  - ■「ファイルのダウンロード - セキュリティの警告」画面が表示された場合
    [実行]をクリックしてください。

  - ■「Internet Explorer - セキュリティの警告」画面が表示された場合
    [実行する]をクリックしてください。

FirstPass PCソフトをインストールする場合

- TOP画面で[データリンクソフト・各種設定ソフト]→[FirstPass PCソフト]欄の[インストール]を順にクリックします。
- Internet Explorerのセキュリティの設定によっては「FOMA PC設定ソフト」をインストールするときと同様の警告画面が表示される場合がありますが、使用には問題ありません。
- CD-ROM内のFirstPassPCSoftフォルダ内の[FirstPassManual]の手順に従ってインストールしてください。

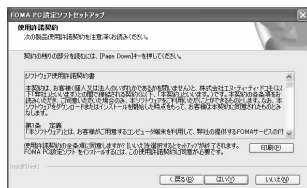
Windows 2000の場合

- TOP画面で[データリンクソフト・各種設定ソフト]→[FOMA PC設定ソフト]／[FirstPass PCソフト]欄の[インストール]→[開く]を順にクリックします。

3 [次へ]をクリックする。

- 旧[W-TCP設定ソフト]および旧[FOMAデータ通信設定ソフト]がインストールされているという画面や、すでに旧[FOMA PC設定ソフト]がインストールされているという画面が表示された場合は、P.9「FOMA PC設定ソフト インストール時の注意」を参照してください。

次ページへ続く ▶▶

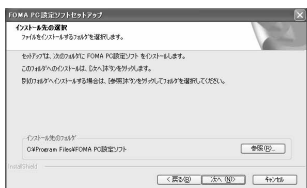
4 内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は[はい]をクリックする。

- FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約書です。[いいえ]をクリックすると、インストールは中止されます。

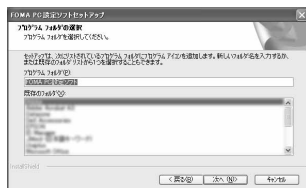
Windows Vistaの場合

- 操作5の設定はありません。操作6に進みます。

5 [タスクトレイに常駐する]を☑にし、[次へ]をクリックする。

- セットアップ後、タスクトレイに通信設定最適化が常駐します(☞P.16)。
  インストール後でもFOMA PC設定ソフトの起動画面で[メニュー]→[通信設定最適化をタスクトレイに常駐させる]を選ぶと、常駐の設定は変更できます。

6 インストール先を確認し、[次へ]をクリックする。

- 変更する場合は[参照]をクリックし、任意のインストール先を指定して[次へ]をクリックしてください。

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックする。

- 変更する場合はフォルダ名を入力して[次へ]をクリックしてください。

8 [InstallShield Wizardの完了]の画面で[完了]をクリックする。

- FOMA PC設定ソフトが起動します。
  このまま各種設定を始められます(☞P.11)。

FOMA PC設定ソフト インストール時の注意

● 旧「W-TCP設定ソフト」、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または旧「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合

旧「W-TCP設定ソフト」、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または旧「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合、警告画面が表示されます。[OK]をクリックし、[プログラム(アプリケーション)の追加と削除]より、これらのソフトをアンインストールしてから、「FOMA PC設定ソフト」(バージョン4.0.0)をインストールしてください。

● インストール途中で[キャンセル]をクリックした場合

セットアップ途中で[キャンセル]や[いいえ]をクリックし、インストールを中断した場合、セットアップの中止画面が表示されます。インストールを継続する場合は[いいえ]を、意図的に中止する場合は、[はい]をクリックしてください。

FOMA PC設定ソフトのバージョン情報の確認

FOMA PC設定ソフトの起動画面で、[メニュー]→[バージョン情報]を選ぶと、バージョン情報が表示されます。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトをアンインストールする

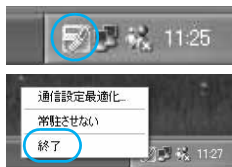
■ アンインストールを実行する前に

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする前に、FOMA用に変更された通信設定を元に戻す必要があります。

● FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトのアンインストールを行うときは、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。
パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。

1 タスクトレイの[ ]を右クリックし、[終了]をクリックする。

右クリック

クリック

2 起動中のプログラムを終了させる。

■ アンインストールする

1 [スタート]メニュー→[コントロールパネル]をクリックし、[プログラムの追加と削除]アイコンをクリックする。

● [プログラムの追加と削除]画面が表示されます。

Windows Vistaの場合

● [スタート]メニュー→[コントロールパネル]の順にクリックし、[プログラム]→[プログラムと機能]アイコンを順にクリックします。
[プログラムのアンインストールまたは変更]画面が表示されます。

Windows 2000の場合

● [スタート]メニュー→[設定]→[コントロールパネル]の順に選んで[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。
[アプリケーションの追加と削除]画面が表示されます。

2 [NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト]を選んで[削除]をクリックする。

[NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト]を選ぶ

ここをクリック

Windows Vistaの場合

● [NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト]をダブルクリックします。

Windows 2000の場合

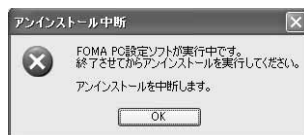
● [NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト]を選んで[変更と削除]をクリックします。

FirstPass PCソフトをアンインストールする場合

● [FirstPass PCソフト]を選んで[変更と削除]をクリックします。

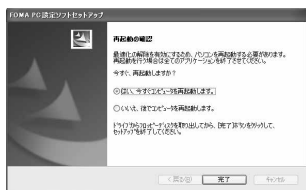
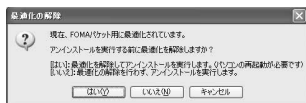
3 削除するプログラム名を確認し、[はい]をクリックする。

● FOMA PC設定ソフトのアンインストールが開始されます。
● FOMA PC設定ソフトや通信設定最適化ソフトが起動中にアンインストールを実行しようとすると、下のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

次ページへ続く

4 [完了]をクリックする。

- FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。

通信設定最適化の解除(Windows XP、Windows 2000の場合のみ)

- 通信設定最適化されている場合は次の画面が表示されます。
- 最適化の解除をする場合は、[はい]をクリックしてください。
  通信設定最適化の解除は、再起動後に行われます。

各種設定前の準備

FOMA PC設定ソフトでは、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

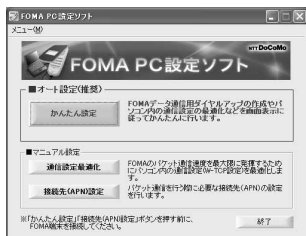
- 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください(☞P.4)。

FOMA PC設定ソフトを起動する。

Windows XP、Windows Vistaの場合

- [スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[FOMA PC設定ソフト]→[FOMA PC設定ソフト]の順に選びます。

Windows 2000の場合

- [スタート]メニュー→[プログラム]→[FOMA PC設定ソフト]→[FOMA PC設定ソフト]の順に選びます。

各種設定の方法

通信設定のしかた

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[メニュー]→[通信設定]をクリックする。

2 通信ポート指定を選んで[OK]をクリックする。

- 通常は[自動設定(推奨)]を選んでください。自動的に接続されているFOMA端末を指定します。
- COMポートを指定したい場合、[COMポート指定]を選んで、ご利用のFOMA端末が接続されているCOMポート番号(COM 1～99)を指定してください。

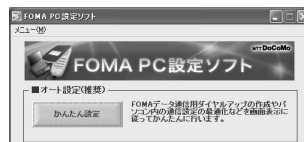
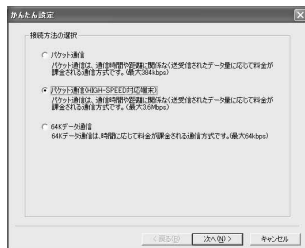
お知らせ

- COMポートの確認方法は、P.5「インストールしたFOMA通信設定ファイル(ドライバ)を確認する」を参照してください。

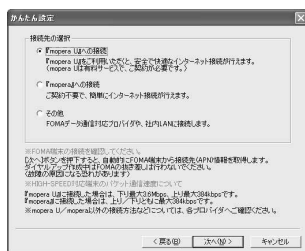
かんたん設定からパケット通信を選択する場合(mopera Uまたはmoperaを利用)

最大3.6Mbpsの高速パケット通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します(moperaをご利用いただく場合、通信速度は送受信ともに最大384kbpsまでとなります)。

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする。

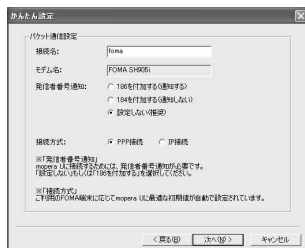
次ページへ続く

2 [パケット通信(HIGH-SPEED対応端末)]を選んで[次へ]をクリックする。

Windows Vistaの場合

- [パケット通信]を選んで[次へ]をクリックします。

3 [『mopera U』への接続]または[『mopera』への接続]を選んで[次へ]をクリックする。

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。mopera Uを選択すると、ご契約の確認メッセージが表示されます。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダをご利用の場合(☞P.13)

4 [FOMA端末設定取得]の画面で[OK]をクリックする。

- パソコンに接続されたFOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。
  しばらくお待ちください。

5 接続名を入力して[次へ]をクリックする。

- [接続名]欄に任意の接続名を入力します。
- 次の記号(半角文字)は入力できません。
  ¥/:＊?!<>|"

- mopera Uおよびmoperaに接続する場合は、発信者番号通知を行う必要があります。[設定しない]もしくは[186を付加する]を選んでください。
- 海外で利用する場合、発信者番号通知は[設定しない]を選んでください。
- 接続方式を選んでください。mopera UはPPP接続、IP接続ともに対応しています。moperaはPPP接続のみに対応しています。
- 海外で利用する場合、接続方式は[IP接続]を選んでください。

6 [次へ]をクリックする。

- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザID]と[パスワード]については空欄でも接続できます。
- Windows XP、Windows 2000の場合は使用可能なユーザーを選びます。

Windows Vistaの場合

- 操作7～8の設定はありません。操作9に進みます。

7 [最適化を行う]が☑であることを確認し、[次へ]をクリックする。

- FOMAパケット通信を利用するため、パソコン内の通信設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。操作9に進みます。

次ページへ続く

8 [はい]をクリックする。

9 設定情報を確認し、[完了]をクリックする。

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  [デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

10 [完了]の画面で[OK]をクリックする。

- 設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は、[はい]を選びます。
- 通信を行うには(☞P.16)

■ かんたん設定からパケット通信を選択する場合(その他のプロバイダを利用)

最大3.6Mbpsの高速パケット通信の設定を行います。

1 P.11「かんたん設定からパケット通信を選択する場合(mopera Uまたはmoperaを利用)」の操作1～4を行う。

- 操作3の接続先は[その他]を選びます。

2 接続名を入力して[接続先(APN)設定]をクリックする。

- [接続名]欄に任意の接続名を入力します。
- 次の記号(半角文字)は入力できません。
  ¥/:＊?!<>|”
- ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うか選択してください。発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。
- 海外で利用する場合、発信者番号通知は[設定しない]を選んでください。

高度な設定(TCP/IPの設定)

- [詳細情報の設定]をクリックするとIPアドレス・ネームサーバーの設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

3 接続先(APN)を設定する。

- お買い上げ時、cidの1番にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」、cidの3番にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。

  1 [追加]をクリックする。
  [接続先(APN)の追加]画面が表示されます。

  2 [接続先(APN)]にご利用のプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名(APN)を正しく入力して[OK]をクリックする。
  [接続先(APN)設定]画面に戻ります。

- [接続先(APN)]には半角文字で、英数字、ハイフン(-)、ピリオド(.)のみ入力できます。
- 海外で利用する場合、接続方式は[IP接続]を選んでください。

※ cidは10まで登録可能です。

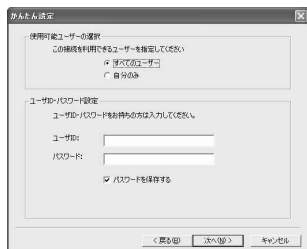
4 [接続先(APN)設定]の画面で[OK]をクリックする。

- 操作2の画面に戻ります。[接続先(APN)の選択]には、操作3で設定した接続先(APN)が表示されます。

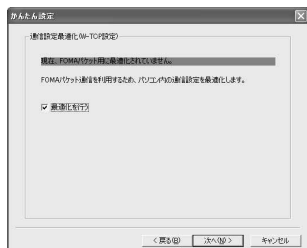
5 [接続先(APN)の選択]で接続先名(APN)を確認し、[次へ]をクリックする。

次ページへ続く ▶▶

6 ユーザID･パスワードを設定し、[次へ]をクリックする。

- ユーザID･パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正確に入力してください。
- Windows XP、Windows 2000の場合は使用可能なユーザーを選びます。

Windows Vistaの場合

- 操作７～８の設定はありません。操作９に進みます。

7 [最適化を行う]が☑であることを確認し、[次へ]をクリックする。

- FOMAパケット通信を利用するため、パソコン内の通信設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。操作９に進みます。

8 [はい]をクリックする。

9 設定情報を確認し、[完了]をクリックする。

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
[デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

10 [完了]の画面で[OK]をクリックする。

- 設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は[はい]を選びます。
- 通信を行うには（☞P.16）

■ かんたん設定から64Kデータ通信を選択する場合（mopera Uまたはmoperaを利用）

64Kデータ通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。

1 P.11「かんたん設定からパケット通信を選択する場合（mopera Uまたはmoperaを利用）」の操作１～３を行う。

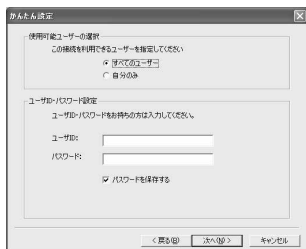
- 操作２の接続方法は[64Kデータ通信]を選びます。

2 接続名の入力とモデムを選んで[次へ]をクリックする。

- [接続名]欄に任意の接続名を入力します。
- 次の記号（半角文字）は入力できません。
￥/：＊？!<>|”
- [モデムの選択]が[FOMA SH905i]に設定されていることを確認してください。
- mopera Uおよびmoperaに接続する場合は、発信者番号通知を行う必要があります。[設定しない]もしくは[186を付加する]を選んでください。

次ページへ続く ▶▶

3 [次へ]をクリックする。

- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザID]と[パスワード]については空欄でも接続できます。
- Windows XP、Windows 2000の場合は使用可能なユーザーを選びます。

4 設定情報を確認し、[完了]をクリックする。

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  [デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

5 [完了]の画面で[OK]をクリックする。

- 通信を行うには(☞P.16)

■ かんたん設定から64Kデータ通信を選択する場合(その他のプロバイダを利用)

64Kデータ通信の設定を行います。

1 P.11「かんたん設定からパケット通信を選択する場合(mopera Uまたはmoperaを利用)」の操作 1 ～ 3 を行う。

- 操作２の接続方法は[64Kデータ通信]、操作３の接続先は[その他]を選びます。

2 各項目を設定し、[次へ]をクリックする。

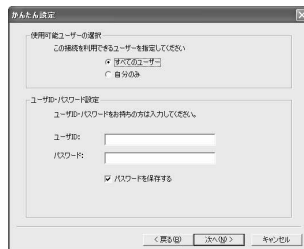
- ISDN同期64Kアクセスポイントを持つプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に以下の項目をそれぞれ登録します。
  - ■ 接続名:任意
  - ■ モデムの選択:FOMA SH905i
  - ■ 電話番号:
    プロバイダ情報を元に正しく入力してください。
- 接続名に次の記号(半角文字)は入力できません。
  ¥ / : ＊ ? ! < > | ”
- 電話番号に入力できる文字は次のとおりです。
  0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D P T W a b c d p t w ! @ $ - . ( ) + ＊ # , &および半角スペース
- ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うか選択してください。発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。

高度な設定(TCP/IPの設定)

- [詳細情報の設定]をクリックするとIPアドレス・ネームサーバー設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

3 ユーザID・パスワードを設定し、[次へ]をクリックする。

- ユーザID・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正確に入力してください。
- Windows XP、Windows 2000の場合は使用可能なユーザーを選びます。

次ページへ続く ▶▶

4 設定情報を確認し、[完了]をクリックする。

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  [デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

5 [完了]の画面で[OK]をクリックする。

設定した通信を実行する

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする。

- 接続画面が表示されます。
- 接続アイコン名には、設定を行ったときに入力した接続名が表示されます。

2 [ダイヤル]をクリックする。

- 接続が開始されます。

- mopera Uまたはmoperaを選んだ場合は[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。
- P.15の操作3で[ユーザー名]と[パスワード]を入力した場合は、その情報が入力されています。
- その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]を入力して[ダイヤル]をクリックします。
- ユーザー名とパスワードを保存する項目を☑にすると、次回からは入力の必要がなくなります。

お知らせ

- デスクトップに接続アイコンがないとき
  (Windows XP)
  [スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワーク接続]をクリックする。
  (Windows Vista)
  [スタート]メニュー→[接続先]をクリックする。
  (Windows 2000)
  [スタート]メニュー→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックする。
- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中の画面、64Kデータ通信を実行すると呼出中の画面がそれぞれ表示されます。
- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

■ 切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作をしてください。

1 タスクトレイの[ ]をクリックし、[切断]をクリックする。

- 接続が切断されます。

Windows Vistaの場合

- タスクトレイの[ ]→[接続または切断...]をクリックし、切断先のアイコンをダブルクリックします。

通信設定最適化(Windows XP、Windows 2000のみ)

■ 通信設定最適化の役割

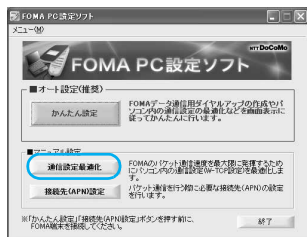
通信設定最適化ソフトはFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するためのTCPパラメータ設定ツールです。
FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

- 海外でパソコン接続を行う場合には、通信設定最適化を解除してからご利用ください。

■ 最適化の設定と解除

- Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

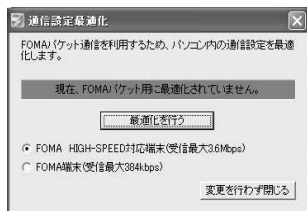
次ページへ続く ▶▶

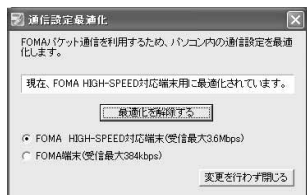
1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[通信設定最適化]をクリックする。

タスクトレイから通信設定最適化を操作する場合

● タスクトレイの[ ]をクリックし、通信設定最適化を起動してください。

2 次の操作を行う。

システム設定が最適化されていない場合

● 次の画面が表示されます。
[3.6Mbps]を選んで[最適化を行う]をクリックしてください。
HIGH-SPEED対応端末の確認画面が表示されます。[はい]をクリックすると、システム設定の最適化が実行されます。最適化が終了すると、設定終了画面が表示されます。[OK]をクリックします。
画面表示に従ってパソコンを再起動したあと、最適化が有効になります。

システム設定が最適化されている場合

● 次の画面が表示されます。
FOMA端末以外での通信などの理由から設定を解除する場合は、[最適化を解除する]→[OK]を順にクリックしてください。再起動を確認する画面が表示されます。現在開いているすべてのプログラムを終了し、最適化解除を有効にするために、再起動を実行してください。

接続先(APN)の設定

FOMA端末からの接続先(APN)情報の読み込み

[接続先(APN)設定]をクリックし、FOMA端末設定取得画面で[OK]をクリックすると、接続されたFOMA端末に自動的にアクセスし、登録されている接続先(APN)情報を読み込みます(FOMA端末が接続されていない場合は起動しません)。また、設定情報はツールバーから[ファイル]→[FOMA端末から設定を取得]を順に選んでも読み込むことができます。

接続先(APN)の追加・編集・削除

● 接続先(APN)を追加する場合

接続先(APN)設定画面で、[追加]をクリックします。

● 登録済みの接続先(APN)を編集または修正する場合

接続先(APN)設定画面で、対象の接続先(APN)を一覧から選んで[編集]をクリックします。

● 登録済みの接続先(APN)を削除するには

接続先(APN)設定画面で、対象の接続先(APN)を一覧から選んで[削除]をクリックします。

● 番号(cid)の1と3に登録されている接続先(APN)は削除できません(番号(cid)の3を選択して、「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります)。

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先(APN)設定のバックアップや編集中の接続先(APN)設定を保存したい場合は、ツールバーの[ファイル]からの操作で、接続先(APN)設定の保存ができます。

ファイルからの読み込み

保存された接続先(APN)設定を再編集したり、FOMA端末に書き込みたい場合には、ツールバーの[ファイル]からの操作で、パソコンに保存されている接続先(APN)設定を読み込むことができます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

接続先（APN）設定画面で、[FOMA端末へ設定を書き込む]をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込むことができます。

ダイヤルアップ作成機能

接続先（APN）設定画面で追加・編集された接続先（APN）を選んで[ダイヤルアップ作成]をクリックします。FOMA端末への書き込み確認画面が表示されますので、[はい]をクリックしてください。接続先（APN）への書き込み終了後、[パケット通信用ダイヤルアップの作成]画面が表示されます。
任意の接続名を入力して[ユーザID・パスワードの設定]をクリックします（mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、空欄でも接続できます）。

● Windows XP、Windows 2000の場合

[ユーザID]と[パスワード]を入力して使用可能ユーザーを選んで[OK]をクリックしてください。

● Windows Vistaの場合

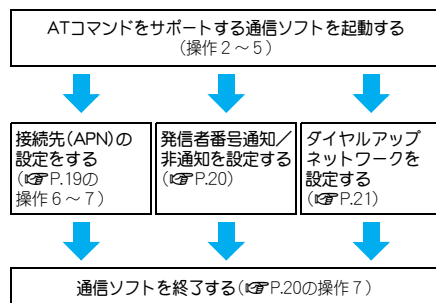
[ユーザID]と[パスワード]を入力して[OK]をクリックしてください。

ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、パケット通信用ダイヤルアップの作成画面で[詳細情報の設定]をクリックし、必要な情報を登録後、[OK]をクリックしてください。
設定を入力後、[OK]→[OK]→[FOMA端末へ設定を書き込む]を順にクリックして、上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定

パケット通信と64Kデータ通信の設定手順

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信を設定する方法について説明します。
設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。

- ATコマンドで設定する操作は、以下のような流れになります。
- 64Kデータ通信の場合、接続先（APN）の設定はありません。
- Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの使用方法に従ってください）。

お知らせ

- パケット通信／64Kデータ通信の設定をする前にFOMA通信設定ファイルをインストールしてください（☞P.4）。
- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合、お買い上げ時に設定されているため、接続先（APN）の設定は不要です。
- 発信者番号通知の設定は必要に応じて設定してください（mopera Uまたはmoperaをご利用の場合、[通知]に設定する必要があります）。お買い上げ時は、[設定なし]に設定されています。
- その他の設定は必要に応じて設定してください。お買い上げ時のままでも利用できます。

接続先(APN)の設定

パケット通信を行う場合の接続先(APN)を設定します。最大10件まで登録できます。接続先は1～10のcid(☞P.19)という番号で管理されます。お買い上げ時、cidの1番にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」、cidの3番にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されていますので、cid2、4～10に接続先(APN)を登録してください。

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
- mopera Uまたはmopera以外の接続先(APN)については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

<例> Windows XPの場合

- Windows 2000をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 **FOMA端末をパソコンに接続する。**

2 **[スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]の順に選ぶ。**

- ハイパーターミナルが起動します。

Windows 2000の場合

- [スタート]メニュー→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]の順に選びます。

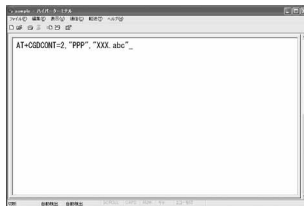
3 **[名前]に接続先名など任意の名前を入力して[OK]をクリックする。**

- 電話番号の詳細設定画面が表示されます。

4 **[接続方法]から[FOMA SH905i]を選んで[電話番号]に実在しない電話番号([0]など)を仮入力して、[OK]をクリックする。**

- 市外局番には、Windowsに設定されている値[03]などが表示されますが、接続先(APN)の設定とは関係ありませんので、任意の値を設定してください。

5 **接続画面が表示されたら、[キャンセル]をクリックする。**

6 **接続先(APN)を入力して⏎を押す。**

- 「AT+CGDCONT=<cid>, "<PDP_type>","APN"」の形式で入力します(☞P.32)。
  <cid>　：2、4～10までのうち任意の番号を入力します。
  "<PDP_type>"："PPP"または"IP"と入力します。
  "APN"　：接続先(APN)の名称を" "で囲んで入力します。
- [OK]と表示されると、APNの設定は完了です。
- 現在の接続先(APN)設定を確認したい場合は「AT+CGDCONT?⏎」と入力すると、接続先(APN)設定が一覧画面で表示されます。

次ページへ続く ▶▶

ATコマンドを入力しても画面に何も表示されない場合

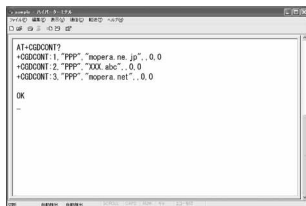
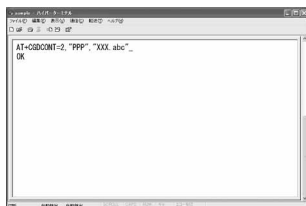
- ATE1↵
  詳しくは、P.35を参照してください。

ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットする場合

- AT+CGDCONT=↵：　すべてのcidをリセットします
- AT+CGDCONT=<cid>↵：特定のcidのみリセットします

リセットした場合、<cid>=1は「mopera.ne.jp」（初期値）、<cid>=3は「mopera.net」（初期値）に戻り、<cid>=2、4～10の設定は未登録になります。

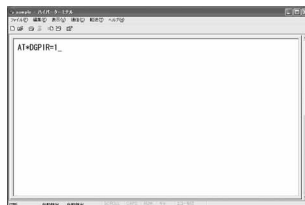
ATコマンドで接続先（APN）設定を確認する場合

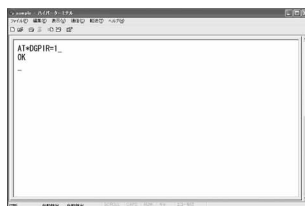
- AT+CGDCONT?↵
  詳しくは、P.32を参照してください。

7 **[OK]が表示されていることを確認し、[ファイル]メニューから[ハイパーターミナルの終了]を選ぶ。**

- ハイパーターミナルが終了します。
- [セッション×××を保存しますか？]と表示されますが、保存する必要はありません。

発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

1 **P.19「接続先（APN）の設定」の操作1～5を行う。**

2 **パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する。**

- 「AT*DGPIR=<n>」の形式で入力します（☞P.31）。
  AT*DGPIR=1↵：
  　パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。
  AT*DGPIR=2↵：
  　パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

3 **[OK]が表示されたことを確認する。**

■ ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。
*DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合は、次のようになります。

次ページへ続く

ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=1の場合）	*DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
*99***1#	設定なし（初期値）	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184*99***1#	設定なし（初期値）	非通知（ダイヤルアップネットワークの「184」が優先される）
	非通知	
	通知	
186*99***1#	設定なし（初期値）	通知（ダイヤルアップネットワークの「186」が優先される）
	非通知	
	通知	

- 「186」（通知）／「184」（非通知）を［設定なし］（初期値）に戻すには、「AT*DGPIR=0」と入力してください。
- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を［通知］に設定する必要があります。

ダイヤルアップネットワークを設定する

接続先およびTCP/IPプロトコルを設定します。設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ 接続先について

パケット通信では、あらかじめ接続先（APN）設定をしておきます。接続先（APN）設定で1～10の管理番号（cid）に接続先（APN）を登録しておけば、その管理番号を指定してパケット通信ができます。接続先（APN）設定とはパソコンでパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、通常の電話帳と比較すると次のようになります。

電話帳の登録	パケット通信の設定
登録番号（メモリ番号）	1～10の管理番号（cid）
相手の名前	接続先の名前（接続先（APN））
相手の電話番号	*99***<cid>#

たとえば、moperaの接続先（APN）、「mopera.ne.jp」をcid1に登録している場合、「*99***1#」という接続先番号を指定すると、moperaに接続できます。他のcidに登録した場合も同様です。

*99***1#：　cid1に登録した接続先（APN）に接続します。*99#でも接続できます。
*99***2#：　cid2に登録した接続先（APN）に接続します。
　≀
*99***10#：　cid10に登録した接続先（APN）に接続します。

お買い上げ時、cid1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。moperaまたはmopera Uの接続先（APN）以外のインターネットサービスプロバイダや企業LANに接続する場合は、cid2、4～10に接続先（APN）を登録してください（☞P.19）。

64Kデータ通信では、接続先にはインターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者から指定されたアクセスポイントの電話番号を入力します。

- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 64Kデータ通信をご利用の場合のアクセスポイントの電話番号は、mopera Uをご利用の場合「*8701」、moperaをご利用の場合「*9601」です。
- パケット通信をご利用の場合の接続先番号は、mopera Uをご利用の場合「*99***3#」、moperaをご利用の場合「*99***1#」です（お買い上げ時）。

■ Windows XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows XPでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先（APN）とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

＜例＞　<cid>=3を使いドコモのインターネット接続サービスmopera Uへ接続する場合

- mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

1 **［スタート］メニュー→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［ネットワーク接続］をクリックする。**
- ネットワーク接続画面が表示されます。

2 **［ネットワークタスク］の［新しい接続を作成する］をクリックする。**
- 新しい接続ウィザード画面が表示されます。

3 **［次へ］をクリックする。**
- ネットワーク接続の種類を選ぶ画面が表示されます。

4 **［インターネットに接続する］を選んで［次へ］をクリックする。**
- 準備画面が表示されます。

5 **［接続を手動でセットアップする］を選んで［次へ］をクリックする。**
- インターネット接続画面が表示されます。

6 **［ダイヤルアップモデムを使用して接続する］を選んで［次へ］をクリックする。**
- デバイスの選択画面が表示されます。

次ページへ続く ▶▶

7 [モデム－FOMA SH905i(COMx)]を選んで[次へ]をクリックする。

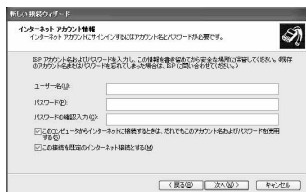
- 「x」には数字が入ります。
- 接続名画面が表示されます。
- [FOMA SH905i]以外のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

8 [ISP名]に任意の接続名を入力して[次へ]をクリックする。

- ダイヤルする電話番号画面が表示されます。
- [ISP名]とは、インターネットサービスプロバイダの名称です。

9 [電話番号]に接続先の番号を入力して[次へ]をクリックする。

- インターネットアカウント情報画面が表示されます。
- ここでは<cid>=3(mopera U)への接続のため、「*99***3#」を入力します。

10 各項目を画面例のように設定し、[次へ]をクリックする。

- 新しい接続ウィザードの完了画面が表示されます。
- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合の[ユーザー名]と[パスワード]は、プロバイダご使用のユーザー名とパスワードを入力してください。

11 [新しい接続ウィザードの完了]が表示されたら、[完了]をクリックする。

- 新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

12 設定内容を確認し、[キャンセル]をクリックする。

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認のみを行います。

13 作成した接続先アイコンを選んで[ファイル]メニューの[プロパティ]を選ぶ。

- 接続先のプロパティ画面が表示されます。

14 [全般]タブの各項目の設定を確認する。

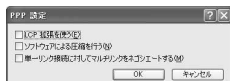
- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、[接続の方法]の[FOMA SH905i]が☑になっているか確認します。☐の場合は、☑にします。また、[FOMA SH905i]以外のモデムの☑を☐にします。
- [ダイヤル情報を使う]が☐になっていることを確認します。☑の場合は、☐にします。

15 [ネットワーク]タブをクリックし、各項目の設定を確認し、[設定]をクリックする。

- [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]は[PPP:Windows95/98/NT4/2000, Internet]に設定します。

次ページへ続く

- [この接続は次の項目を使用します]の欄は、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみを☑にします。[QoSパケットスケジューラ]は設定変更できませんので、そのままにしておいてください。
- PPP設定画面が表示されます。
- ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

16 すべての項目を□にし、[OK]をクリックする。

- 接続先のプロパティ画面に戻ります。

17 [プロパティ]の画面で[OK]をクリックする。

- 接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。
- ダイヤルアップ接続するにはP.26を参照してください。

■ Windows Vistaでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows Vistaでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先(APN)を設定します。

＜例＞ <cid>=3を使いドコモのインターネット接続サービスmopera Uへ接続する場合

- mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。

1 [スタート]メニュー→[接続先]をクリックする。

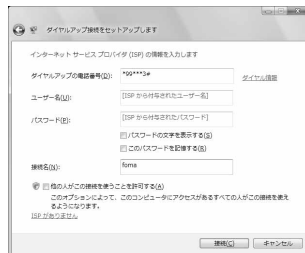
- ネットワークに接続画面が表示されます。

2 [接続またはネットワークをセットアップします]をクリックする。

- ネットワークに接続画面が表示されます。

3 [ダイヤルアップ接続をセットアップします]→[次へ]をクリックします。

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、[どのモデムを使いますか？]という画面が表示されますので、[FOMA SH905i]を選んでください。
- ダイヤルアップ接続をセットアップします画面が表示されます。

4 [ダイヤルアップの電話番号]に接続先の番号、[接続名]に任意の接続名を入力して[接続]をクリックする。

- [ダイヤルアップの電話番号]は、ここでは<cid>=3(mopera U)への接続のため、「*99***3#」を入力します。
- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合の[ユーザー名]と[パスワード]は、プロバイダご使用のユーザー名とパスワードを入力してください。

5 [(接続名)に接続中]と表示されたら、[スキップ]をクリックする。

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認のみを行います。
- [スキップ]をクリックしなかった場合、インターネットに接続されます。

6 [接続をセットアップします]をクリックし、[閉じる]をクリックする。

7 [スタート]メニュー→[ネットワーク]をクリックし、[ネットワークと共有センター]→[ネットワーク接続の管理]を順にクリックする。

- ネットワーク接続画面が表示されます。

8 作成した接続先アイコンを選んで、右クリックで[プロパティ]を選ぶ。

- プロパティ画面が表示されます。

次ページへ続く ▶▶

9 [全般]タブの各項目の設定を確認する。

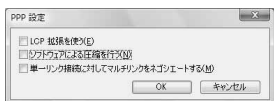
- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、[接続の方法]の[FOMA SH905i]が☑になっているか確認します。□の場合は、☑にします。また、[FOMA SH905i]以外のモデムの☑を□にします。
- [ダイヤル情報を使う]が□になっていることを確認します。☑の場合は、□にします。

10 [ネットワーク]タブをクリックし、各項目の設定を確認する。

- [この接続は次の項目を使用します]の欄は、[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]のみを☑にします。[QoSパケットスケジューラ]は、ご使用のプロバイダの指示に従って設定してください。

11 [オプション]タブをクリックし、[PPP設定]をクリックする。

- PPPの設定画面が表示されます。

12 すべての項目を□にし、[OK]をクリックする。

- オプション設定画面に戻ります。

13 [OK]をクリックする。

- 接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。
- ダイヤルアップ接続するにはP.26を参照してください。

■ Windows 2000でダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows 2000では「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

＜例＞ <cid>=3を使いドコモのインターネット接続サービスmopera Uへ接続する場合

- mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。

1 [スタート]メニュー→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックする。

- ネットワークとダイヤルアップ接続画面が表示されます。

2 [新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックする。

- 所在地情報画面が表示されます。
- この画面は[新しい接続の作成]をはじめてダブルクリックしたときに表示されます。
  2回目以降の場合は、操作5へ進みます。

3 [市外局番]を入力して[OK]をクリックする。

- 電話とモデムのオプション画面が表示されます。

4 [OK]をクリックする。

- ネットワークの接続ウィザード画面が表示されます。

5 [次へ]をクリックする。

- ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

6 [インターネットにダイヤルアップ接続する]を選んで[次へ]をクリックする。

- ウィザードの開始画面が表示されます。

7 [インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します]を選んで[次へ]をクリックする。

- インターネットの選択画面が表示されます。

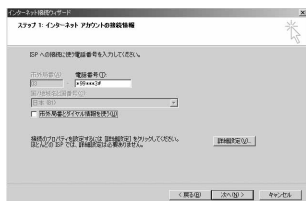
8 [電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します]を選んで[次へ]をクリックする。

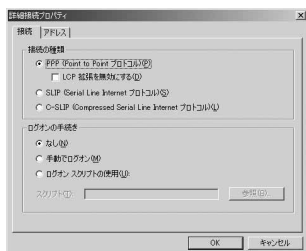
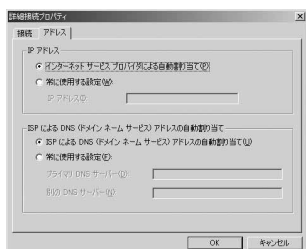
- モデムの選択画面が表示されます。

次ページへ続く ▶▶

9 [インターネットへの接続に使うモデムを選択する]が[FOMA SH905i]に設定されていることを確認し、[次へ]をクリックする。

- インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。
- [FOMA SH905i]に設定されていない場合は、[FOMA SH905i]に設定してください。
- [FOMA SH905i]以外のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

10 [電話番号]に接続先の番号を入力して[詳細設定]をクリックする。

- 詳細設定プロパティの接続画面が表示されます。
- [市外局番とダイヤル情報を使う]が☐になっていることを確認します。☑の場合は☐にします。

11 [接続]タブの各項目を画面例のように設定する。

12 [アドレス]タブをクリックし、各項目を画面例のように設定する。

- ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

13 [OK]をクリックする。

- インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

14 [次へ]をクリックする。

- インターネットアカウントのログイン情報画面が表示されます。

15 各項目の設定を確認し、[次へ]をクリックする。

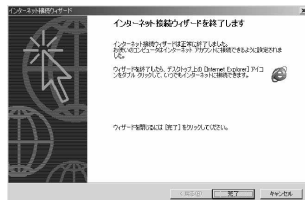
- コンピュータの設定画面が表示されます。
- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。空欄のまま[次へ]をクリックすると[ユーザー名]と[パスワード]それぞれに確認の画面が表示されますので[はい]をクリックしてください。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合の[ユーザー名]と[パスワード]は、プロバイダご使用のユーザー名とパスワードを入力してください。

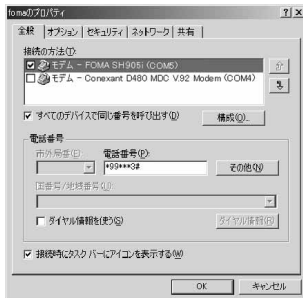
16 [接続名]に任意の接続名を入力して[次へ]をクリックする。

- e-mailアカウントの設定画面が表示されます。

17 [いいえ]を選んで[次へ]をクリックする。

- インターネット接続ウィザードの終了画面が表示されます。

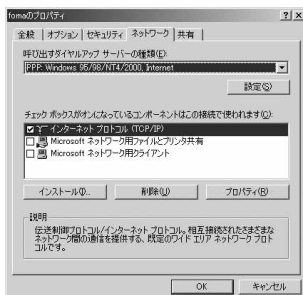
18 [完了]をクリックする。

- ネットワークとダイヤルアップ接続画面に戻ります。

19 作成した接続先アイコンを選んで[ファイル]メニューの[プロパティ]を選ぶ。

- 接続先のプロパティ画面が表示されます。

次ページへ続く ▶▶

20 [全般]タブの各項目の設定を確認する。

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、[接続の方法]の[FOMA SH905i]が☑になっているか確認します。☐の場合は、☑にします。また、[FOMA SH905i]以外のモデムの☑を☐にします。
- [ダイヤル情報を使う]が☐になっていることを確認します。☑の場合は☐にします。

21 [ネットワーク]タブをクリックし、各項目の設定を確認する。

- [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]は[PPP:Windows95/98/NT4/2000, Internet]に設定します。
- コンポーネントは[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみを☑にします。

22 [設定]をクリックする。

- PPPの設定画面が表示されます。

23 すべての項目を☐にし、[OK]をクリックする。

- 接続先のプロパティ画面に戻ります。

24 [OK]をクリックする。

- 接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。
- ダイヤルアップ接続するにはP.26を参照してください。

ダイヤルアップ接続する

<例> Windows XPでダイヤルアップ接続する場合

- Windows Vista、Windows 2000をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 FOMA端末をパソコンに接続する。

2 [スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワーク接続]をクリックする。

- ダイヤルアップネットワーク画面が表示されます。

Windows Vistaの場合

- [スタート]メニュー→[接続先]をクリックします。

3 接続先のアイコンをダブルクリックする。

- 接続画面が表示されます。
- 接続先のアイコンを選んで[ファイル]メニューの[接続]を選んでも、接続画面が表示されます。

4 各項目を確認し、[ダイヤル]をクリックする。

- 接続先へ接続されます。
- [ダイヤル]には「ダイヤルアップネットワークを設定する」(☞P.21)で設定した電話番号が表示されます。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。

■ 切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作をしてください。

1 タスクトレイの[ ]をクリックし、[切断]をクリックする。

- 接続が切断されます。

Windows Vistaの場合

- タスクトレイの[ ]→[接続または切断…]をクリックし、切断先のアイコンをダブルクリックします。

データの送受信(OBEX)について

FOMA端末内のデータをパソコンと送受信する

- FOMA端末は、データ通信用のプロトコルとして、OBEXを持っています。本データ通信(OBEXによるデータの送受信)を使ってパソコンとの間で電話帳、電話番号表示の所有者情報、スケジュール、送信メール(SMS含む)、受信メール(SMS含む)、未送信メール(SMS含む)、エリアメール、テキストメモ、メロディ、マイピクチャ、iモーション、マイドキュメント、ブックマーク、トルカ、現在地通知先のデータを送受信できます。また、FOMA SH905iには赤外線通信機能が搭載されています。赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末やパソコンなどと電話帳や受信メールなどのデータを送信したり、受信したりできます。また、microSDメモリーカード経由でもデータを転送できます。
- FOMA端末では、次の3通りのデータ送信が可能です。
  - ■ パソコンからFOMA端末にデータを1件ずつ送信する(1件書き込み)
  - ■ パソコンからFOMA端末にデータを一括して送信する(全件書き込み)
  - ■ FOMA端末からパソコンにデータを一括して送信する(全件読み出し)
- データの送受信中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、iモードやiモードメール、パケット通信、プッシュトークなどはできません。
- データの送受信終了後、しばらく[圏外]と表示される場合があります。

お知らせ

- FOMA端末とパソコンが正しく接続されているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池残量が十分残っていることを確認してください。電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら操作することをおすすめします。

お知らせ

- パソコンの電源についても確認してください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- 待受画面の状態でデータ通信を行ってください。待受画面に動画/iモーションを設定している場合は、動画/iモーションの再生を停止してからデータ通信を行ってください。
- 通信中(音声通話やテレビ電話、データ通信、プッシュトーク)にデータの送受信はできません。また、データの送受信中には他の通信もできません。ただし、データの送受信開始直後などは着信を受ける場合があります。その場合、データの送受信が中止されます。
- FOMAカード内の電話帳は送信できません。
- 赤外線通信時、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディ、静止画、iモーションやPDFデータはパソコンに送信できません。ただし、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画は、ファイル制限が[あり]に設定されていても送信されます。
- iアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信されます。
- 本文と合わせて100Kバイトを超えるメールの添付データは削除して送信されます。
- オールロックが設定されている場合、電話帳などのデータの送受信はできません。機能別ロックが設定されている場合、ロックされている機能のデータの受信はできません。
- ダイヤル発信制限が設定されている場合、電話帳のデータは送受信できません。
- データの大きさによっては、送受信に時間がかかる場合があります。また、データの大きさによってはFOMA端末で受信できない場合があります。
- 電話帳のデータを受信する場合、1件受信のときは、メモリ番号[010]から、全件受信のときは、メモリ番号の情報に従って登録します。
- 電話帳を全件受信すると、電話番号表示に登録されている所有者情報(1件目の電話番号を除く)も上書きされます。
- 電話帳はメモリ番号順に送信されます。
- 全件送信を行うと電話番号表示の所有者情報は電話帳と一緒に送信されます。
- 2Mバイトを超えるPDFは送信できません。

■ データの送受信(OBEX)に必要な機器

- データの送受信を行うには、OBEXに準拠したデータ転送用のソフトをインターネットからダウンロードし、パソコンにインストールする必要があります。データ転送用のソフトの動作環境、インストール方法については、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。また、あらかじめFOMA通信設定ファイルのインストール(☞P.4～P.6)が必要です。
- FOMA端末とパソコンの接続には、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01が必要です。

お知らせ

- FOMA端末のデータの送受信(OBEX)機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手機器がIrMC1.1に準拠していてもアプリケーションによっては送受信できないデータがあります。

データを1件送信する(1件書き込み)

- パソコンからFOMA端末へデータを1件ずつ送信します。
- FOMA端末からパソコンへ1件ずつ送信することはできません。
- データ送信の操作方法は、データ転送用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

1 パソコンからデータ転送用のソフトを使ってデータ送信(1件書き込み)の操作を行う。

- データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 電話帳のデータを1件ずつ受信するとき(パソコンからFOMA端末(本体)へ送信するとき)は電話帳のメモリ番号[010]～[999]の空いているメモリ番号の中で最も若いメモリ番号に登録されます。[010]～[999]がすべて登録されているときは、[000]～[009]の空いているメモリ番号の中で最も若いメモリ番号に登録されます。
- 電話帳のデータを受信した場合、すでに名前や電話番号またはメールアドレスが1000件登録されているときや1000件を超えるときは、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。

データを全件送信する(全件書き込み／全件読み出し)

- パソコンとFOMA端末の間で一括書き込みと一括読み出しができます。
- 「全件書き込み」あるいは「全件読み出し」の操作では、データ転送用のソフトとFOMA端末の両方で認証パスワードを入力する必要があります。
- データ送信の操作方法は、データ転送用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

1 パソコンからデータ転送用のソフトを使ってデータ送信(全件転送)の操作を行う。

- データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。
- パソコン側でも認証パスワードの入力が必要です。
- 認証パスワードは4桁の数字を入力してください。

2 FOMA端末で、端末暗証番号(4～8桁の数字)と認証パスワード(4桁の数字)を入力する。

3 データ送信を開始する。

お知らせ

- パソコンからFOMA端末への全件書き込みを行うとFOMA端末のデータはすべて書換えられます。元のFOMA端末のデータは消去されますので、ご注意ください。シークレット登録した電話帳、スケジュール、保護されたメールを含みます。
- パソコンからFOMA端末への全件書き込みの途中で送信エラーが起こると、送信中のFOMA端末のすべてのデータが消去されることがあります。全件書き込みの前にケーブルの接続、FOMA端末の電池残量、パソコンの電源の状態を確認してください。FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら操作することをおすすめします。
- 相手の機器によっては、通信状況(バー表示)が表示されないことがあります。

ATコマンド一覧

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド(命令)です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ずATを付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。以下に入力例を示します。

ATD*99***1#↵

- リターンマーク:Enterキーを押します。コマンドの区切りになります。
- パラメータ:コマンドの内容です。
- コマンド:コマンド名です。

ATコマンドはコマンドに続くパラメータ(数字や記号)を含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、160文字(AT含む)まで入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作するには、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作を行います。
- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、特別な操作をすると、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態になります。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

お知らせ

- 外部機器から64Kデータ通信で発信を行った場合、2in1のモードが[Aモード]/[デュアルモード]のときはAナンバーで発信します。[Bモード]のときはBナンバーで発信します。
- ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末(ターミナル)のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- AT&D1に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、ATO↵と入力します。

※ USBインターフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

ATコマンド一覧

[M]:FOMA SH905i Modem Portで使用できるATコマンドです。

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT [M]	—	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付加することでFOMA端末のモデム機能を制御することができます。 ※ATのみ入力した場合でもOKが応答されます。	AT⏎ OK
AT%V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	—	AT%V⏎ Ver1.00 OK
AT&C<n> [M]	DTEへの回路CD(DCD)信号の動作条件を設定します。※1	n=0 ：回路CDを常にON n=1 ：回路CD信号は回線接続状態に従って変化(お買い上げ時) &C1に設定する場合は、接続完了時のCONNECTを送出する直前にCD信号を「ON」にします。回路が切断され、“NO CARRIER”を送出する直前にCD信号を「OFF」にします。	AT&C1⏎ OK
AT&D<n> [M]	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER(DTR)信号が「ON」から「OFF」に変わったときの動作を設定します。※1	n=0 ：状態を無視(常にONとみなす) n=1 ：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモード状態になる n=2 ：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモード状態になる(お買い上げ時)	AT&D1⏎ OK
AT&E<n> [M]	接続時の速度表示仕様を選択します。※1	n=0 ：無線区間通信速度を表示 n=1 ：DTEシリアル通信速度を表示(お買い上げ時)	AT&E0⏎ OK
AT&F<n> [M]	FOMA端末のATコマンド設定値をお買い上げ時の状態にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。※2	n=0のみ指定可能(省略可)	AT&F⏎ OK
AT&S<n> [M]	DTEへ出力するデータセットレディ(DR)信号の制御のしかたを設定します。※1	n=0 ：常時ON(お買い上げ時) n=1 ：回線接続時にDR信号ON	AT&S0⏎ OK
AT&W<n> [M]	現在の設定値をFOMA端末に記憶します。※2、※5	n=0のみ指定可能(省略可)	AT&W⏎ OK
AT*DANTE [M]	FOMA端末の電波の受信状態を表示します。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 *DANTE:<m> <m> 0 ：FOMA端末にて圏外と表示される状態 1 ：FOMA端末にてアンテナ本数0本もしくは1本の状態 2 ：FOMA端末にてアンテナ本数2本の状態 3 ：FOMA端末にてアンテナ本数3本の状態	AT*DANTE⏎ *DANTE:3 OK
AT*DGANSM=<n> [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドの設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼のみ有効です。※2	n=0 ：着信拒否設定および着信許可設定を[OFF]に設定(お買い上げ時) n=1 ：着信拒否設定を[ON]に設定 n=2 ：着信許可設定を[ON]に設定	AT*DGANSM=0⏎ OK AT*DGANSM?⏎ *DGANSM:0 OK
AT*DGAPL=<n>[,<cid>] [M]	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先(APN)を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。※2	<n>パラメータによって着信許可リストへの追加および削除を指定し、<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加(<n>=0)あるいは削除(<n>=1)します。本コマンドで追加(削除)しようとする<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加(削除)できます。 n=0 ：リストへ追加(<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加) n=1 ：リストから削除(<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除)	AT*DGAPL=0,1⏎ OK AT*DGAPL?⏎ *DGAPL:1 OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT*DGARL=<n>[,<cid>] [M]	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。※2	<n>パラメータによって着信拒否リストへの追加および削除を指定し、<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加（<n>=0）あるいは削除（<n>=1）します。本コマンドで追加（削除）しようとする<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加（削除）できます。 n=0 ：リストへ追加（<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加） n=1 ：リストから削除（<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストより削除）	AT*DGARL=0,1↵ OK AT*DGARL?↵ *DGARL:1 OK
AT*DRPW [M]	FOMA端末から通知される受信電力値を表示します。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 *DRPW:<m> m：0～75（受信電力の値）	AT*DRPW↵ *DRPW:0 OK
AT*DGPIR=<n> [M]	本コマンドの設定は、発信時に有効です。ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。※2	n=0 ：パケット通信確立時、接続先（APN）にそのまま接続（お買い上げ時） n=1 ：パケット通信確立時、接続先（APN）に184を付けて接続 n=2 ：パケット通信確立時、接続先（APN）に186を付けて接続 本コマンドとダイヤルアップネットワークの両方で186（通知）／184（非通知）を設定した場合については、P.20の表を参照してください。	AT*DGPIR=0↵ OK AT*DGPIR?↵ *DGPIR:0 OK
+++ [M]	FOMA端末のモードをオンラインデータモードからオンラインコマンドモードへ移行します。 エスケープガード区間は、1秒の固定値です。※2	―	（通信中） +++（表示は見えない） OK
AT+CACM=[<passwd>] [M]	UIMに記録される累積課金値をリセットします。※2	本コマンドで、パスワードが一致した場合は、UIMに記録される累積課金値をリセットします。 <passwd>：SIM PIN2 ※ ストリングパラメータであり、入力時は "で囲みます。	AT+CACM="0123"↵ OK
AT+CAOC=[<mode>] [M]	現在の課金値の問い合わせを行います。※2	<mode> 0：現在の呼の課金を問い合わせる 本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 +CAOC:"<ccm>"	AT+CAOC↵ +CAOC:"00001E" OK
AT+CBC [M]	バッテリー状態の問い合わせを行います。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 +CBC:<bcs>,<bcl> <bcs> 0：バッテリーによりFOMA端末が動作している状態 1：充電中 2：バッテリー未接続状態 3：減電中 <bcl> 0～100（バッテリー残量）	AT+CBC↵ +CBC:0,80 OK
AT+CBST=[<speed>[,<name>[,<ce>]]] [M]	発信時のベアラサービスの設定を行います。AT+FCLASS=<n>コマンド（☞P.34）が0の時のみ有効です。※1	<speed> 116：64Kデータ通信（お買い上げ時） <name> 1：固定値 <ce> 0：固定値	AT+CBST=116,1,0↵ OK
AT+CEER [M]	直前の通信の切断理由を表示します。※2	「切断理由一覧」を参照（☞P.38）。	AT+CEER↵ +CEER:36 OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先(APN)を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照(☞P.38)。	「ATコマンドの補足説明」を参照(☞P.38)。
AT+CGEQMIN [M]	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS(サービス品質)を許容するかどうかの判定基準値を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照(☞P.38)。	「ATコマンドの補足説明」を参照(☞P.38)。
AT+CGEQREQ [M]	パケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS(サービス品質)を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照(☞P.39)。	「ATコマンドの補足説明」を参照(☞P.39)。
AT+CGMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	—	AT+CGMR⏎ 1234567890123456 OK
AT+CGREG=<n> [M]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知されている内容は圏内／圏外です。※1	<n> 0：設定しない(お買い上げ時) 1：設定する AT+CGREG=1に設定すると、“+CGREG:<stat>”の形式で通知されます。<stat>パラメータは、0,1,4,5をサポートします。 <stat> 0：圏外 1：圏内(home) 4：不明 5：圏内(visitor)	AT+CGREG=1⏎ OK (通知ありに設定) AT+CGREG?⏎ +CGREG:1,0 OK (圏外を意味している) +CGREG:1 (圏外から圏内に移動した場合)
AT+CGSN [M]	FOMA端末の製造番号を表示します。※2	—	AT+CGSN⏎ 123456789012345 OK
AT+CLIP=<n> [M]	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。※1	<n> 0：リザルトを出さない(お買い上げ時) 1：リザルトを出す 「AT+CLIP?」のとき、+CLIP:<n>,<m>を表示します。 <m> 0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 2：不明	AT+CLIP=0⏎ OK AT+CLIP?⏎ +CLIP:0,1 OK
AT+CLIR=<n> [M]	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手側に通知するかどうかを設定します。※2	<n> 0：サービスご契約の設定どおり 1：通知しない 2：通知する(お買い上げ時) AT+CLIR?のとき、 +CLIR:<n>,<m>を表示します。 <m> 0：CLIRは起動していない(常時通知) 1：CLIRは常時起動している(常時非通知) 2：不明 3：CLIRテンポラリ・モード(非通知デフォルト) 4：CLIRテンポラリ・モード(通知デフォルト)	AT+CLIR=0⏎ OK AT+CLIR?⏎ +CLIR:2,3 OK
AT+CMEE=<n> [M]	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。※1	エラーを“ERROR”のみで表示するか、理由を文字あるいは数値でレポートするかを設定します。 <n> 0：リザルトコードを使用せずに“ERROR”を表示(お買い上げ時) 1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 2：リザルトコードを使用し、文字で理由を表示 「n=1」または「n=2」でエラーレポート表示に設定した場合、エラーレポートは以下のように表示されます。 +CME ERROR:xxxx xxxxには数字または文字が表示されます。「エラーレポート一覧」(☞P.38)	AT+CMEE=0⏎ OK AT+CNUM⏎ ERROR AT+CMEE=1⏎ OK AT+CNUM⏎ +CME ERROR:10

次ページへ続く ▶▶

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CNUM [M]	FOMA端末の自局番号を表示します。※2	number：電話番号 type　：129もしくは145 　129 ：国際アクセスコード+を含まない 　145 ：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM↵ +CNUM:,"+8190 12345678",145 OK
AT+COPS=[<mode>[,<format>[,<oper>]]] [M]	接続する通信事業者を選択します。※2	<mode> 0：オート（自動的にネットワークを検索して通信事業者を切り替える） 1：マニュアル（<oper>に指定された通信事業者に接続する） 2：通信事業者との接続を解除（切断）する ※非サポートとなります。 3：マッピングを行わない 4：マニュアルオート（<oper>に指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行う） ※非サポートとなります。 <format> 2：固定値 <oper>は国番号（MCC）とネットワーク番号（MNC）からなる16進数の値で示します。 書式は以下の通り。 　Digit 1 of MCC･･･octet 1 bits 1 to 4. 　Digit 2 of MCC･･･octet 1 bits 5 to 8. 　Digit 3 of MCC･･･octet 2 bits 1 to 4. 　Digit 3 of MNC･･･octet 2 bits 5 to 8. 　Digit 2 of MNC･･･octet 3 bits 5 to 8. 　Digit 1 of MNC･･･octet 3 bits 1 to 4.	AT+COPS =1,2,"44F001" ↵ OK （MCC:440MNC:10に接続）
AT+CPAS [M]	FOMA端末のアクティビティー状態問い合わせを行います。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 +CPAS:<pas> <pas> 0：ATコマンド送受信可能 1：ATコマンド送受信不可能（+CPAS: 1のリザルトを送出しない） 2：不明 3：ATコマンド送受信可能かつ着信中 4：ATコマンド送受信可能かつ通信中	AT+CPAS↵ +CPAS:0 OK
AT+CPIN=<pin>[,<newpin>] [M]	UIMに関するパスワード（PIN1,PIN2）の入力を行います。※2	<pin> PIN1入力待ち状態ではPIN1を入力（<pin>パラメータのみ入力） PIN2入力待ち状態ではPIN2を入力（<pin>パラメータのみ入力） PUK1入力待ち状態ではPUK1を入力 PUK2入力待ち状態ではPUK2を入力 ※ストリングパラメータであり、入力時は" "で囲みます <newpin> PUK1入力待ち状態では新しいPIN1を入力 PUK2入力待ち状態では新しいPIN2を入力 ※ストリングパラメータであり、入力時は" "で囲みます	AT+CPIN?↵ +CPIN:SIM PIN1 OK （PIN1入力待ち状態を表している） AT+CPIN="1234" ↵ OK AT+CPIN?↵ +CPIN:SIM PUK1 OK （PUK1入力待ち状態を表している） AT+CPIN="12345678","1234"↵ OK
AT+CR=<mode> [M]	回線接続時に“CONNECT”のリザルトコードが表示される前に、パケット通信／64Kデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1 パケット通信のときは、“GPRS”と表示され64Kデータ通信のときは“SYNC”と表示されます。	<mode> 0：回線接続時に表示しない（お買い上げ時） 1：回線接続時に表示する	AT+CR=1↵ OK ATD*99***1# +CR:GPRS CONNECT
AT+CRC=<n> [M]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。※1	n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する	AT+CRC=0↵ OK

次ページへ続く ▶▶

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CREG=<n> [M]	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。※1	AT+CREG=1に設定すると、“+CREG:<stat>”の形式で通知されます。<stat>パラメータは0,1,4,5をサポートします。 <n> 0 ：通知なし（お買い上げ時） 1 ：通知あり <stat> 0 ：圏外 1 ：圏内（home） 4 ：不明 5 ：圏内（visitor）	AT+CREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CREG?↵ +CREG:1,0 OK （圏外を意味している） +CREG:1 （圏外から圏内に移動した場合）
AT+CUSD=[<n>[,<str>[,<dcs>]]] [M]	付加サービスなどに関し、網側の設定を変更します。※1	<n> 0 ：中間リザルトを応答せず、OKを応答する（お買い上げ時） 1 ：中間リザルトを応答する <str> サービスコード ※ 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。 <dcs> 0 ：固定値	AT+CUSD=0,"xxxxxx"↵ OK
AT+FCLASS=<n> [M]	モード設定を行います。※1	<n> 0:データ（固定値）	AT+FCLASS=0↵ OK
AT+GCAP [M]	FOMA端末の能力リストを表示します。※2	—	AT+GCAP↵ +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI [M]	FOMA端末のメーカの名前が半角英数字で表示されます。※2	—	AT+GMI↵ SHARP OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名の略称（FOMA SH905i）がアルファベットおよび数字で表示されます。※2	—	AT+GMM↵ FOMA SH905i OK
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	—	AT+GMR↵ Ver1.00 OK
AT+IFC=<n,m> [M]	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。※1	DCE by DTE（<n>） 0 ：フロー制御を行わない 1 ：XON/XOFFフロー制御を行う 2 ：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） DTE by DCE（<m>） 0 ：フロー制御を行わない 1 ：XON/XOFFフロー制御を行う 2 ：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時）	AT+IFC=2,2↵ OK
AT+WS46? [M]	国際ローミング設定の３G／GSM切替設定に従い、応答を行います。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 <n> 12 :GSM／GPRSモード設定時 22 :３Gモード設定時 25 :自動モード設定時	AT+WS46?↵ 25 OK （自動モード設定時）
A/ [M]	直前に実行したコマンドを再実行するときに使用します。※2	—	A/ OK
ATA [M]	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。※2	パケット着信中には、「ATA184↵」（発信者番号通知なし着信動作）および「ATA186↵」（発信者番号通知あり着信動作）を入力できます。	RING ATA↵ CONNECT

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATD [M]	発信処理を行います。※2、※3	● パケット通信ATD*99***<cid>#⏎ ATD*99#を入力した場合： <cid>=1（お買い上げ時）を用います（<cid>の入力を省略した場合は、<cid>=1になります）。 ATD184*99***<cid>#で始まる書式を入力した場合： 指定した<cid>に規定した接続先（APN）に対して"184"が付加されます（発信者番号通知ありの"186"でも同様の操作ができます）。 ● 64K データ通信 ATD[パラメータ]、[電話番号]⏎ 相手側の電話番号に、0～9、*、#、+、A、a、B、b、C、c、D、d、-（ハイフン）、スペース、T、t、P、p、!、W、w、@、,（カンマ）以外を設定した場合は、発信できません。　　の文字は入力可能ですが、ダイヤル時には認識されません。	ATD*99***1#⏎ CONNECT
ATE<n> [M]	パソコンから送信された本コマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。※1	n=0 ：エコーバックなし n=1 ：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定してください。	ATE1⏎ OK
ATH [M]	パケット通信および64Kデータ通信時に入力すると、回線を切断します。※2	—	（通信中） +++（表示は見えない） OK ATH⏎ NO CARRIER
ATI<n> [M]	確認コードを表示します。※2	n=0 ：NTT DoCoMo n=1 ：製品名の略称を表示（FOMA SH905i） n=2 ：製品のバージョンを"VerX.XX"などの形式で表示 n=3 ：ACMP信号の各要素を表示 n=4 ：FOMA端末の有する通信機能の詳細を表示	ATI0⏎ NTT DoCoMo OK
ATO [M]	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻ります。※2	—	ATO⏎ CONNECT
ATQ<n> [M]	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。※1	n=0 ：リザルトコードを表示する（お買い上げ時） n=1 ：リザルトコードを表示しない	ATQ0⏎ OK
ATV<n> [M]	リザルトコードの表示方法を設定します。※1	すべてのリザルトコードを数字表記あるいは英文字表記で表示します。 n=0 ：リザルトコードを数字表記で表示 n=1 ：リザルトコードを英文字表記で表示（お買い上げ時）	ATV1⏎ OK
ATX<n> [M]	接続のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。※1	ビジートーン検出： 接続先が通話中のとき、BUSY応答を送出します。 ダイヤルトーン検出： FOMA端末に接続されているかどうかを判定します。 速度表示： 接続時のCONNECT表示に速度を表示するかどうかを設定します。 n=0 ：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1 ：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2 ：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3 ：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4 ：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時）	ATX1⏎ OK
ATZ<n> [M]	FOMA端末のATコマンド設定値をリセットします。※2、※4	FOMA端末のATコマンド設定値を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。 n=0のみ指定可能（省略可）	（オンライン時） ATZ⏎ NO CARRIER （オフライン時） ATZ⏎ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS0=<n> [M]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。※1	n=0 ：自動着信しない（お買い上げ時） n=1～255　：指定したリング数で自動着信する	ATS0=0↵ OK
ATS2=<n> [M]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=0～127（お買い上げ時n=43） n=127に設定するとエスケープは無効になります。	ATS2=43↵ OK ATS2?↵ 043 OK
ATS3=<n> [M]	復帰（CR）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド文字列の最後を認識するキャラクタを定義します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=13）。	ATS3=13↵ OK ATS3?↵ 013 OK
ATS4=<n> [M]	改行（LF）キャラクタの設定を行います。	英文でリザルトコードを表示する場合、CRキャラクタの後ろに付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=10）。	ATS4=10↵ OK ATS4?↵ 010 OK
ATS5=<n> [M]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。設定値は変更できません（お買い上げ時n=8）。	ATS5=8↵ OK ATS5?↵ 008 OK
ATS6=<n> [M]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：2～10（お買い上げ時n=5）	ATS6=10↵ OK
ATS8=<n> [M]	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、ポーズ時間（3秒）に影響しません。 n=0 ：ポーズしない n：1～255（お買い上げ時n=3）	ATS8=3↵ OK
ATS10=<n> [M]	自動切断の遅延時間（秒）を設定します（1/10秒）。※1	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：1～255（お買い上げ時n=1）	ATS10=1↵ OK
ATS30=<n> [M]	データの送受信をこの時間以上行わないと切断します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。<n>は分単位で設定します。 n：0～255（お買い上げ時n=0） n=0は不活動タイマオフ	ATS30=3↵ OK
ATS103=<n> [M]	着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0 ：*アスタリスク n=1 ：/スラッシュ （お買い上げ時） n=2 ：¥マーク あるいはバックスラッシュ	ATS103=0↵ OK
ATS104=<n> [M]	発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0 ：#シャープ n=1 ：%パーセント（お買い上げ時） n=2 ：&アンド	ATS104=0↵ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT¥S [M]	現在の設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。※2	―	AT¥S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT¥V<n> [M]	接続時の応答コード仕様を選択します。※1	本コマンドは、ATX<n>コマンド（☞P.35）がn=0以外のときのみ有効です。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する	AT¥V1↵ OK

※1　AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されます。
※2　AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。
※3　ATDN↵やATDL↵でリダイヤル発信ができます。
※4　AT&Wコマンドを使用する前にATZコマンドを実行すると、最後に記憶した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。
※5　AT&WコマンドでFOMA端末に記憶された設定値は、電源を切ると不揮発データとしてFOMA端末に格納されます。

切断理由一覧

パケット通信

値	理　由
27	接続先(APN)が存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM(FOMAカードに相当するＩＣカード)が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

コマンド名:+CGDCONT=[パラメータ]

概要

パケット発信時の接続先(APN)の設定を行います。
AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。
AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

+CGDCONT=[<cid>[,"<PDP_type>"[,"<APN>"]]]⏎

パラメータ説明

<cid>* ：1～10
<PDP_type>*：PPPまたはIP
<APN>* ：任意

<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先(APN)を管理する番号です。FOMA端末では1～10を登録できます。お買い上げ時、<cid>=1には「mopera.ne.jp」、<PDP_type>は「PPP」が、<cid>=3には「mopera.net」、<PDP_type>は「IP」が初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。<APN>は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

実行例

「abc」という接続先(APN)名を登録する場合のコマンド(<cid>=2の場合)
AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"⏎
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGDCONT=
すべての<cid>の設定をクリアします。ただし、<cid>=1および3の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。
AT+CGDCONT=<cid>
指定された<cid>の設定をクリアします。ただし、<cid>=1および3の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。
AT+CGDCONT=?
設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGDCONT?
現在の設定値を表示します。

コマンド名:+CGEQMIN=[パラメータ]

概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS(サービス品質)を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている４パターンが設定できます。
AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。
AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

AT+CGEQMIN=[<cid> [,, <Maximum bitrate UL> [, <Maximum bitrate DL>]]]⏎

パラメータ説明

<cid>* ： 1～10
<Maximum bitrate UL>*：なし(初期値)または384
<Maximum bitrate DL>*：なし(初期値)または3648

<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先(APN)を管理する番号です。FOMA端末では１～10を登録できます。お買い上げ時、<cid>=１には「mopera.ne.jp」が、<cid>=3には「mopera.net」が初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。[Maximum bitrate UL]および[Maximum bitrate DL]では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度(kbps)を設定します。[なし(お買い上げ時)]に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「384」および「3648」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますので、ご注意ください。

次ページへ続く ▶▶

実行例

以下の４パターンのみ設定できます。(１)の設定が各cidに初期値として設定されています。

（１） 上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド(<cid>=2の場合)
AT+CGEQMIN=2↵
OK

（２） 上り384kbps／下り3648kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド(<cid>=3の場合)
AT+CGEQMIN=3,,384,3648↵
OK

（３） 上り384kbps／下りすべての速度を許容する場合のコマンド(<cid>=4の場合)
AT+CGEQMIN=4,,384↵
OK

（４） 上りすべての速度／下り3648kbps速度のみ許容する場合のコマンド(<cid>=5の場合)
AT+CGEQMIN=5,,,3648↵
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQMIN=
すべての<cid>の設定をクリアします。
AT+CGEQMIN=<cid>
指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQMIN=?
設定可能な値のリストを表示します。
AT+CGEQMIN?
現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=[パラメータ]

概要

PPP/パケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS(サービス品質)を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている１パターンのみで初期値としても設定されています。
AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。
AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

AT+CGEQREQ=[<cid>]↵

パラメータ説明

各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。
<cid>*：１～10
<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先(APN)を管理する番号です。FOMA端末では１～10を登録できます。お買い上げ時、<cid>=1には「mopera.ne.jp」が、<cid>=3には「mopera.net」が初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。
上り384kbps／下り3648kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド

実行例

<cid>=3の場合
AT+CGEQREQ=3↵
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQREQ=
すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=<cid>
指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=?
設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGEQREQ?
現在の設定を表示します。

リザルトコード

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手側と接続しました。
2	RING	着信を検出しました。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウトしました。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460800bpsで接続しました。

次ページへ続く ▶▶

お知らせ

- リザルトコードは、ATV<n>コマンド（☞P.35）がn=1に設定されている場合は英文字表記（初期値）、n=0に設定されている場合は数字表記で表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため、通信速度は表示します。ただし、FOMA端末－PC間はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- [RESTRICTION]（数字：100）が表示された場合は、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

リザルトコード表示例

ATX0が設定されている場合

AT¥V<n>コマンド（☞P.37）の設定にかかわらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：　ATD*99***1#
CONNECT

数字表示例：　ATD*99***1#
1

ATX1が設定されている場合

● ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）

接続完了のときに、CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞の書式で表示します。

文字表示例：　ATD*99***1#
CONNECT 460800

数字表示例：　ATD*99***1#
1 21

● ATX1、AT¥V1が設定されている場合※

接続完了のときに、以下の書式で表示します。

CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞PACKET＜接続先（APN）＞／＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞／＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞

文字表示例：　ATD*99***1#
CONNECT 460800 PACKET
mopera.ne.jp/384/3648
（mopera.ne.jpに、上り最大384kbps、下り最大3648kbpsで接続したことを表す）

数字表示例：　ATD*99***1#
1 21 5

※ ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0のみでのご利用をおすすめします。

区点コード一覧

’07.11（1版）

4桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

- 区点コードとは、漢字などの文字ひとつひとつに付けられている固有の番号です。
  区点コードでの入力のしかたについては、取扱説明書の「区点コードで入力する」を参照してください。
- 区点コード一覧で該当する文字がない区点コードを入力すると、何も入力されないか、またはスペースが入力されます。
- 区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県

区点 1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲

区点 1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					

区点 1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る〜れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
474	桙	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤

区点 1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	瀦	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			